

## 目次

目次	1
はじめに	1
S セメスター (S1・S2 ターム) 科目紹介	2
英語の履修について	5
外国語 (英語一列・特別クラス)	6
外国語 (英語二列 S)	7
外国語 (英語二列 W)	10
外国語 (英語二列 W)	12
基礎科目 ドイツ語	14
基礎科目 フランス語	16
基礎科目 中国語	18
基礎科目 ロシア語	20
基礎科目 スペイン語	21
基礎科目 韓国朝鮮語	23
基礎科目 イタリア語	24
基礎科目 日本語	25
情報	26
身体運動・健康科学実習I	28
身体運動・健康科学実習II	29
身体運動・健康科学実習 (メディア)	30
初年次ゼミナール文科の履修について	31
初年次ゼミナール文科	32
初年次ゼミナール理科の履修について	63
初年次ゼミナール理科	64
基礎科目 社会科学	99
基礎科目 人文科学	103
基礎実験III・基礎実験IV	107
基礎生命科学実験・生命科学実験	108
数理科学基礎	109
微分積分学①	110
線型代数学①	111
数理科学基礎演習・数学基礎理論演習	112
力学A	114
力学B	116
熱力学	117
化学熱力学	118
物性化学	119
生命科学	120
生命科学 I	121
展開科目 社会科学ゼミナール	122
展開科目 人文科学ゼミナール	124
展開科目 自然科学ゼミナール	126

総合科目 L (言語・コミュニケーション)	128
総合科目 L 系列 ドイツ語	170
総合科目 L 系列 フランス語	179
総合科目 L 系列 中国語	188
総合科目 L 系列 ロシア語	199
総合科目 L 系列 スペイン語	205
総合科目 L 系列 韓国朝鮮語	212
総合科目 L 系列 イタリア語	217
総合科目 L その他外国語	223
総合科目 A (思想・芸術)	236
総合科目 B (国際・地域)	244
総合科目 C (社会・制度)	253
総合科目 D (人間・環境)	258
総合科目 E (物質・生命)	274
総合科目 F (数理・情報)	293
学術フロンティア講義	303
全学自由研究ゼミナール	312
全学体験ゼミナール	347
「国際研修」の履修について	372
国際研修	373
PEAK 科目	376

## はじめに

この冊子には、2019年度のSセメスターに教養学部前期課程の1・2年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS (<https://utas.adm.utokyo.ac.jp/campusweb/>) のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のI-4に掲載されている、(表2)「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目一覧表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

### 教室の変更について

講義を受講する学生が、教室の収容人数を大幅に超え、多数の学生が椅子に座ることのできないケースが、近年目立ってきています。この問題を解決するために、教員からの教室変更の要望があり次第、随時教室の変更を行っています。

したがって、授業期間開始から履修科目確認・訂正期間終了時までは、特に掲示・UTASを確認して、教室変更の情報に十分注意してください。

また、履修科目確認・訂正期間以降についても、空調の故障等の原因により、急遽教室変更が生じることがありますので、教室変更の情報は随時確認するようにしてください。

## S セメスター (S1・S2 ターム) 科目紹介

p.5 より、S セメスター (S1・S2 ターム) に開講される科目の科目紹介 (シラバス) が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。シラバスは本冊子以外にも、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することでも参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、UTAS 上のシラバスも併せて参照するようにしてください。具体的には、「授業計画」「学習上のアドバイス」などの項目は、UTAS 上のシラバスのみに掲載されています。

科目紹介 (シラバス) 例 (科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥	⑦
講義題目 目標概要 評価方法 ⑧ 教科書 ガイダンス								

### ①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

### ②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
S	S セメスター	概ね 4~7 月
S1	S1 ターム	概ね 4~5 月
S2	S2 ターム	概ね 6~7 月

授業日の詳細については、表紙裏の授業等日程を参照してください。

### ③所属

教養学部 (総合文化研究科) が開講する授業は、開講元の部会名又は学科 (専攻) が掲載されています。他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

## 開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻
表象文化論コース
超域文科化学専攻
比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻
アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

## ④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

## ⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

## ⑥教室

授業が行われる教室が掲載されています。表記と対応する号館・建物は以下のとおりです。

教室名称	建物名称
101～192	1号館
511～534	5号館
721～762	7号館
900	講堂
10-101～10-308	10号館
1101～1109	11号館
1211～1233	12号館
1311～1341	13号館

教室名称	建物名称
KALS	17号館2階
E21～E49	情報教育棟
K101～K502 (下2桁目が0)	21KOMCEE West
K011～K214 (下2桁目が1)	21KOMCEE East
学際交流ホール	アドミニストレーション棟3階
18号館ホール	18号館1階
音楽実習室	コミュニケーションプラザ 北館

駒場キャンパスの建物配置図については教養学部前期課程 HP の建物配置図を参照してください。教室欄に「シラバス参照」と記載されている授業は、上表以外の教室や駒場キャンパス以外の場所で開講される授業のため、正しい開講場所をシラバスやガイダンス等で確認してください。

また、初回のみ通常と異なる教室で行われる授業や、授業開始後に教室変更が行われる授業がありますので、シラバスや掲示板・教養学部前期課程 HP のお知らせを随時確認し、実際に授業が行われる教室を正確に把握するようにしてください。

## ⑦対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は17組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

## ⑧科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されています。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

## 英語の履修について

既修外国語の英語は各科目1単位または2単位で、計5単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目L系列3単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列Sも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生ともFLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列Wは、文科生はALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生はALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

●本冊子においては、p.6から「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」のシラバスが掲載されている。

●「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列S」は習熟度別にクラスが分けられている。

●「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」の3科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の4つのグループにあらかじめ分けられる。「(クラス指定総合科目L)」と記載されている部分については、総合科目L系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列①	英語二列S	(クラス指定 総合科目L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目L)		英語二列W	
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列①	(クラス指定 総合科目L)	英語二列S	英語一列②
	英語二列W		(クラス指定総合科目L)	
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定 総合科目L)
	(クラス指定総合科目L)		英語二列W	
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定 総合科目L)	英語一列①	英語一列②	英語二列S
	英語二列W		(クラス指定総合科目L)	

## 外国語（英語一列・特別クラス）

### 英語一列（教養英語）・特別クラス

#### ≪英語一列①（教養英語）≫

**目標・概要** 「教養英語」は、本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材（音声）およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

**授業の方法**

- ・「教養英語」が行われる時間帯には、それぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割当は教務課掲示板に掲示する（他の語学クラスとは違うので注意すること）。
- ・「教養英語」では、習熟度に応じて三つのグループを設定している。

グループ1： 約300名。授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど応用的な活動も含まれる。

グループ2： 約900名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。

グループ3： 約1800名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す。それを元にした発展的な活動を含むこともある。

- ・具体的な授業スケジュール（教材の選択、利用方法、必要な準備など）は、授業開始後に各クラスで教員から伝達される。

**成績評価方法** 定期試験（統一試験）および平常点

**教科書** 次の教科書を使用する。

書名 教養英語読本 I  
 著者（訳者） 東京大学教養学部英語部会（編）  
 出版社 東京大学出版会

**関連ホームページ** <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/>

#### ≪英語特別クラス≫

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列①」「英語二列」「総合科目L系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列①	教養英語 担当教員	各教室	S1	火 3	1年文一二 (13,24-25) 文三 (11,17) 理一 (1-4,9,18-19) 理二三 (7,13)
				火 4	1年文一二 (6,8,18) 文三 (5,7,12) 理一 (20,30-31,34-35) 理二三 (11,18,22)
				水 2	1年文一二 (5,15,19,26) 文三 (6,19) 理一 (7,12,23,28,36) 理二三 (6,23)
				水 3	1年文一二 (11,16,22) 文三 (10,14) 理一 (13,17,25,37,39) 理二三 (19-20)
			S2	火 3	1年文一二 (1-3,7,9,27) 文三 (1-3,8-9) 理一 (5-6,16,27) 理二三 (1-3,5,12,17)
				火 4	1年文一二 (4,21,23) 文三 (16,18) 理一 (21-22,32,38) 理二三 (8,14-15)
				水 2	1年文一二 (10,14,20) 文三 (4,13) 理一 (11,14-15,24) 理二三 (4,9-10)
				水 3	1年文一二 (12,17,28) 文三 (15,20) 理一 (8,10,26,29,33) 理二三 (16,21,24)

外国語（英語二列S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)					
授業の目標・概要		The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.			
成績評価方法		Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30401	S 1	火 3	ナオミ バーマン	K402	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30402	S 1	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	115 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30403	S 1	火 3	Kartika Diana	534 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30404	S 1	火 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	114 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30405	S 1	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	515 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30406	S 1	火 3	シンドレイエーバ ガリーナ	516 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30407	S 1	火 3	ハンセン キャサリン	10-206	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30408	S 1	火 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	116 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30409	S 1	火 3	BUENO Alex Falcon	149 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30410	S 1	火 3	WEITEMIER Adam	150 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30411	S 1	火 3	SHOKOUHI Marjan	118 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30412	S 1	火 3	沈 尚玉	10-304	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30414	S 1	火 3	マニナン ジョン	517 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30415	S 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	152 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
31757	S 1	火 3	DIETZ Richard	153 教室	1年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30523	S 1	火 4	テラシマ アレクサンドラ	152 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30525	S 1	火 4	DIETZ Richard	153 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30526	S 1	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	115 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30527	S 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	151 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30528	S 1	火 4	Kartika Diana	534 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30529	S 1	火 4	WEITEMIER Adam	150 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30530	S 1	火 4	SHOKOUHI Marjan	118 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30531	S 1	火 4	ジェームズ エリンガー	112 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30532	S 1	火 4	ROBB Nigel	K301	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30533	S 1	火 4	ナオミ バーマン	K402	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30534	S 1	火 4	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	157 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30535	S 1	火 4	シンドレイエーバ ガリーナ	516 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30536	S 1	火 4	BUENO Alex Falcon	149 教室	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30537	S 1	火 4	沈 尚玉	10-202	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30538	S 1	火 4	ハンセン キャサリン	10-206	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30654	S 1	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-102	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30655	S 1	水 2	ROBB Nigel	K114	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30656	S 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	516 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30657	S 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	515 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)

30658	S 1	水 2	ジェームズ エリンガー	117 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30659	S 1	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	116 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30660	S 1	水 2	マニナン ジョン	517 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30661	S 1	水 2	テラシマ アレクサンドラ	114 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30662	S 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	10-304	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30663	S 1	水 2	ハンセン キャサリン	534 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30664	S 1	水 2	ネルソン シャリティー	115 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30665	S 1	水 2	木村 大輔	149 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30666	S 1	水 2	BROOKS Britton	150 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30668	S 1	水 2	シンドレイエーバ ガリーナ	151 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
31780	S 1	水 2	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	152 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
31759	S 1	水 2	DIETZ Richard	518 教室	1年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30749	S 1	水 3	BROOKS Britton	150 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30750	S 1	水 3	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30751	S 1	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30752	S 1	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	10-202	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30753	S 1	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-102	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30754	S 1	水 3	テラシマ アレクサンドラ	114 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30755	S 1	水 3	WEITEMIER Adam	515 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30756	S 1	水 3	シンドレイエーバ ガリーナ	151 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30757	S 1	水 3	BUENO Alex Falcon	118 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30758	S 1	水 3	SEDDON Ryan John	516 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30759	S 1	水 3	ネルソン シャリティー	115 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30760	S 1	水 3	ハンセン キャサリン	534 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30761	S 1	水 3	SHOKOUHI Marjan	K112	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30762	S 1	水 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	149 教室	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30763	S 1	水 3	Kartika Diana	K113	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
40052	S 2	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	115 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40053	S 2	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	515 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40055	S 2	火 3	マニナン ジョン	517 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40057	S 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	152 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40058	S 2	火 3	ハンセン キャサリン	10-206	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40059	S 2	火 3	沈 尚玉	10-304	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40060	S 2	火 3	WEITEMIER Adam	150 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40061	S 2	火 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	114 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40062	S 2	火 3	Kartika Diana	534 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40063	S 2	火 3	ナオミ バーマン	K402	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40064	S 2	火 3	BUENO Alex Falcon	149 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40065	S 2	火 3	SHOKOUHI Marjan	118 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40066	S 2	火 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	116 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40301	S 2	火 3	DIETZ Richard	153 教室	1年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40095	S 2	火 4	ジェームズ エリンガー	112 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)

40097	S 2	火 4	ROBB Nigel	K301	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40098	S 2	火 4	DIETZ Richard	153 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40099	S 2	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	115 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40100	S 2	火 4	BUENO Alex Falcon	149 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40101	S 2	火 4	沈 尚玉	10-202	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40102	S 2	火 4	ナオミ バーマン	K402	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40103	S 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	151 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40104	S 2	火 4	Kartika Diana	534 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40105	S 2	火 4	テラシマ アレクサンドラ	152 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40106	S 2	火 4	WEITEMIER Adam	150 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40107	S 2	火 4	SHOKOUHI Marjan	118 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40108	S 2	火 4	ハンセン キャサリン	10-206	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40109	S 2	火 4	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	157 教室	1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40151	S 2	水 2	ROBB Nigel	K114	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40152	S 2	水 2	BROOKS Britton	150 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40153	S 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	10-304	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40154	S 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	515 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40155	S 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	516 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40156	S 2	水 2	木村 大輔	149 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40157	S 2	水 2	テラシマ アレクサンドラ	114 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40158	S 2	水 2	ネルソン シャリティー	115 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40159	S 2	水 2	マニナン ジョン	517 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40161	S 2	水 2	ハンセン キャサリン	534 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40162	S 2	水 2	DIETZ Richard	518 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40163	S 2	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	116 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40164	S 2	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-102	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40165	S 2	水 2	ジェームズ エリンガー	117 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40304	S 2	水 2	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	152 教室	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40166	S 2	水 3	テラシマ アレクサンドラ	114 教室	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40168	S 2	水 3	ハンセン キャサリン	534 教室	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40169	S 2	水 3	BROOKS Britton	150 教室	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40170	S 2	水 3	SEDDON Ryan John	516 教室	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40171	S 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	10-202	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40172	S 2	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117 教室	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40173	S 2	水 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	149 教室	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40174	S 2	水 3	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40175	S 2	水 3	ネルソン シャリティー	115 教室	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40176	S 2	水 3	WEITEMIER Adam	515 教室	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40177	S 2	水 3	Kartika Diana	K113	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40178	S 2	水 3	BUENO Alex Falcon	118 教室	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40179	S 2	水 3	SHOKOUHI Marjan	K112	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40180	S 2	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-102	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

外国語 (英語二列 W)

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)		開講区分	S
授業の目標・概要	This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will: - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.		
授業の方法	Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; drafting and revising an essay; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.		
成績評価方法	Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.		
関連ホームページ	<a href="http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/">http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/</a>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30040	月 2	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30041	月 2	ユウ ジョアン	116 教室	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30042	月 2	SHOKOUHI Marjan	10-102	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30043	月 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	E35 教室	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30044	月 2	ナオミ バーマン	K201	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30046	月 2	Kartika Diana	K302	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30047	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	117 教室	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30048	月 2	ネルソン シャリティー	E25 教室	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30049	月 2	BROOKS Britton	120 教室	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30050	月 2	BUENO Alex Falcon	118 教室	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30069	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30907	木 2	BROOKS Britton	149 教室	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30908	木 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	E39 教室	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30909	木 2	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	114 教室	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30910	木 2	DIETZ Richard	150 教室	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30911	木 2	ネルソン シャリティー	E35 教室	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30912	木 2	ハンセン キャサリン	534 教室	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30913	木 2	片山 晶子	E38 教室	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30914	木 2	SHOKOUHI Marjan	10-202	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30915	木 2	BUENO Alex Falcon	115 教室	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30916	木 2	Kartika Diana	K402	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
30981	木 3	片山 晶子	E38 教室	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30982	木 3	BROOKS Britton	116 教室	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30983	木 3	SHOKOUHI Marjan	10-202	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30984	木 3	ネルソン シャリティー	E35 教室	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30985	木 3	BUENO Alex Falcon	115 教室	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30986	木 3	ハンセン キャサリン	534 教室	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30987	木 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	E39 教室	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
30988	木 3	DIETZ Richard	518 教室	1年 文一二(13,15,24)文三(13)

30989	木 3	Kartika Diana	K201	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
31779	木 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	114 教室	1年 文一二(13,15,24)文三(13)
31086	金 1	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(12,19)文三(8,12)
31087	金 1	ユウ ジョアン	116 教室	1年 文一二(12,19)文三(8,12)
31088	金 1	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	118 教室	1年 文一二(12,19)文三(8,12)
31089	金 1	片山 晶子	E25 教室	1年 文一二(12,19)文三(8,12)
31090	金 1	BROOKS Britton	515 教室	1年 文一二(12,19)文三(8,12)
31091	金 1	ネルソン シャリティー	E35 教室	1年 文一二(12,19)文三(8,12)
31092	金 1	DIETZ Richard	119 教室	1年 文一二(12,19)文三(8,12)
31093	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	E42 教室	1年 文一二(12,19)文三(8,12)
31166	金 3	BROOKS Britton	515 教室	1年 文一二(5,16)文三(6,18)
31167	金 3	ハンセン キャサリン	534 教室	1年 文一二(5,16)文三(6,18)
31168	金 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	E38 教室	1年 文一二(5,16)文三(6,18)
31169	金 3	沈 尚玉	10-304	1年 文一二(5,16)文三(6,18)
31170	金 3	DIETZ Richard	119 教室	1年 文一二(5,16)文三(6,18)
31171	金 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	156 教室	1年 文一二(5,16)文三(6,18)
31172	金 3	ネルソン シャリティー	E39 教室	1年 文一二(5,16)文三(6,18)
31173	金 3	ユウ ジョアン	116 教室	1年 文一二(5,16)文三(6,18)

## 外国語 (英語二列 W)

Active Learning of English for Science Students (ALESS)		開講区分	S	
授業の目標・概要	In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.			
成績評価方法	Grades are based on writing a research paper, giving a presentation, weekly written assignments, and on participation in class activities.			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30070	月 2	SEDDON Ryan John	517 教室	1 年 理一(5,13,19)
30071	月 2	BORDILOVSKAYA Anna	518 教室	1 年 理一(5,13,19)
30072	月 2	神島 智子	119 教室	1 年 理一(5,13,19)
30073	月 2	木村 大輔	K501	1 年 理一(5,13,19)
30074	月 2	マニナン ジョン	KALS	1 年 理一(5,13,19)
30075	月 2	テラシマ アレクサンドラ	534 教室	1 年 理一(5,13,19)
30076	月 2	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	K303	1 年 理一(5,13,19)
31756	月 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	516 教室	1 年 理一(5,13,19)
30121	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	518 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30122	月 3	モレノ ベナランダ ラケル	K401	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30124	月 3	WEITEMIER Adam	515 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30125	月 3	神島 智子	119 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30126	月 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	115 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30127	月 3	ナオミ バーマン	KALS	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30128	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	516 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30129	月 3	RUIZ TADA Elisa	114 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30130	月 3	木村 大輔	K501	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30131	月 3	ROBB Nigel	10-102	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30132	月 3	ジェームズ エリンガー	118 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30133	月 3	テラシマ アレクサンドラ	534 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30134	月 3	SEDDON Ryan John	517 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30135	月 3	マニナン ジョン	E39 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30136	月 3	ユウ ジョアン	116 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30137	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	117 教室	1 年 理一(9,14-15,25,28,34)
30222	月 4	ジェームズ エリンガー	118 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30223	月 4	WEITEMIER Adam	515 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30224	月 4	ユウ ジョアン	116 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30225	月 4	RUIZ TADA Elisa	114 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30226	月 4	ROBB Nigel	10-102	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15,24)
30227	月 4	マニナン ジョン	E39 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30228	月 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	115 教室	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30302	火 1	ROBB Nigel	10-102	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30303	火 1	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	114 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)

30304	火 1	RUIZ TADA Elisa	517 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30305	火 1	神島 智子	534 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30306	火 1	ジェームズ エリンガー	116 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30307	火 1	モレノ ベナランダ ラケル	K401	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30308	火 1	SEDDON Ryan John	516 教室	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30609	水 1	マニナン ジョン	K301	1 年 理一(6,22,32,38)
30610	水 1	BORDILOVSKAYA Anna	518 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30611	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	516 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30613	水 1	ホールマン フランシス キャンドラー	116 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30614	水 1	RUIZ TADA Elisa	515 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
31758	水 1	モレノ ベナランダ ラケル	10-201	1 年 理一(6,22,32,38)
30615	水 1	ナオミ バーマン	K201	1 年 理一(6,22,32,38)
30616	水 1	ジェームズ エリンガー	117 教室	1 年 理一(6,22,32,38)
30617	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS	1 年 理一(6,22,32,38)
30943	木 2	木村 大輔	116 教室	1 年 理一(26,30)
30944	木 2	モレノ ベナランダ ラケル	E41 教室	1 年 理一(26,30)
30945	木 2	RUIZ TADA Elisa	151 教室	1 年 理一(26,30)
31110	金 1	WEITEMIER Adam	120 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31111	金 1	SEDDON Ryan John	516 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31112	金 1	BORDILOVSKAYA Anna	517 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31113	金 1	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31114	金 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	534 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31760	金 1	ホールマン フランシス キャンドラー	152 教室	1 年 理二三(5-6,18)
31201	金 3	WEITEMIER Adam	114 教室	1 年 理二三(7,22)
31202	金 3	SEDDON Ryan John	117 教室	1 年 理二三(7,22)
31204	金 3	ホールマン フランシス キャンドラー	149 教室	1 年 理二三(7,22)
31205	金 3	ROBB Nigel	10-102	1 年 理二三(7,22)
31761	金 3	ナオミ バーマン	151 教室	1 年 理二三(7,22)
31256	金 4	テラシマ アレクサンドラ	515 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31257	金 4	ナオミ バーマン	151 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31258	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	517 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31259	金 4	神島 智子	516 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31260	金 4	ROBB Nigel	10-102	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31261	金 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31262	金 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	534 教室	1 年 理一(37)理二三(16,24)

## 基礎科目 ドイツ語

ドイツ語		開講区分	S		
<p>授業の目標・概要 一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。 履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。</p> <p>成績評価方法 平常点および試験によって行う。なお、1年生Sセメスターの一列・二列には同一の成績がつく。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編</p> <p>関連ホームページ <a href="http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/">http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/</a></p> <p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>					
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30056	月2	ドイツ語一列①	田中 純	155 教室	1年 文一二(22)
30060	月2	ドイツ語一列①	石原 あえか	10-203	1年 文三(15)
30086	月2	ドイツ語一列①	梶谷 真司	1212 教室	1年 理一(30)
30087	月2	ドイツ語一列①	齊藤 渉	1213 教室	1年 理一(32)
30159	月3	ドイツ語一列①	森井 裕一	149 教室	1年 理一(29)
30161	月3	ドイツ語一列①	田中 純	155 教室	1年 理一(33)
30288	火1	ドイツ語一列①	高橋 亮介	105 教室	1年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
30446	火3	ドイツ語一列①	石田 勇治	1312 教室	1年 文一二(20)
30453	火3	ドイツ語一列①	足立 信彦	1222 教室	1年 文三(16)
30468	火3	ドイツ語一列①	竹峰 義和	1214 教室	1年 理一(31)
30553	火4	ドイツ語一列①	稲葉 治朗	1232 教室	1年 理二三(19)
30703	水2	ドイツ語一列①	一條 麻美子	K212	1年 理二三(17)
30704	水2	ドイツ語一列①	足立 信彦	1226 教室	1年 理二三(20)
30925	木2	ドイツ語一列①	大石 紀一郎	10-203	1年 文一二(21)
30946	木2	ドイツ語一列①	竹峰 義和	1214 教室	1年 理一(28)
31212	金3	ドイツ語一列①	森 芳樹	1222 教室	1年 理二三(18)
31253	金4	ドイツ語一列①	一條 麻美子	1222 教室	1年 理一(27)
30234	月4	ドイツ語二列	三宅 晶子	150 教室	1年 理二三(20)
30447	火3	ドイツ語二列	平松 英人	1211 教室	1年 文一二(21)
30467	火3	ドイツ語二列	日名 淳裕	1212 教室	1年 理一(28)
30547	火4	ドイツ語二列	久保 哲司	1222 教室	1年 理一(27)
30583	火5	ドイツ語二列	久保 哲司	1222 教室	1年 理二三(18)
30695	水2	ドイツ語二列	原田 晶子	1214 教室	1年 理一(33)
31255	水3	ドイツ語二列	原田 晶子	1214 教室	1年 理一(30)
30924	木2	ドイツ語二列	石田 勇治	157 教室	1年 文一二(20)
30926	木2	ドイツ語二列	田中 純	159 教室	1年 文一二(22)
30931	木2	ドイツ語二列	足立 信彦	1312 教室	1年 文三(16)
30947	木2	ドイツ語二列	識名 章喜	122 教室	1年 理一(31)
30948	木2	ドイツ語二列	中丸 禎子	1212 教室	1年 理一(32)
31028	木4	ドイツ語二列	SCHWARZ Thomas	515 教室	1年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)

## 基礎科目 ドイツ語

31211	金 3	ドイツ語二列	工藤 達也	1214 教室	1 年 理二三(17)
31213	金 3	ドイツ語二列	稲葉 治朗	1311 教室	1 年 理二三(19)
31240	金 4	ドイツ語二列	石原 あえか	10-308	1 年 文三(15)
31254	金 4	ドイツ語二列	工藤 達也	1214 教室	1 年 理一(29)

## 基礎科目 フランス語

フランス語		開講区分	S		
<p>授業の目標・概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1年生初修クラス 一列・二列の授業では、初級文法の教科書を用いて文法を中心にフランス語の全体を見渡す。文科生・理科生ともに、発音・聴解・表現などの実践的な授業を行う総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目も開講されるので、積極的に履修をしてほしい。</li> <li>●既修クラス フランス語既修者を対象とする。中級レベルの会話・実習を中心に授業を進める。教材については担当教員が指定する。</li> </ul> <p>成績評価方法</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること。 平常点（小テスト、出席、発言等）と定期試験で総合的に評価する方法をベースにした評価方法がとられる。詳細についてはUTASも参照にして確認をとること。</p> <p>教科書 関連ホームページ <a href="http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp">http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp</a> その他。</p> <p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>					
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30057	月2	フランス語一列①	飛嶋 隆信	108 教室	1年 文一二(24)
30061	月2	フランス語一列①	森元 庸介	158 教室	1年 文三(18)
30088	月2	フランス語一列①	大森 晋輔	1214 教室	1年 理一(37)
30163	月3	フランス語一列①	今橋 映子	512 教室	1年 理一(38)
30164	月3	フランス語一列①	泉 美知子	157 教室	1年 理一(39)
30210	月4	フランス語一列①	大森 晋輔	1214 教室	1年 文一二(23)
30217	月4	フランス語一列①	大池 惣太郎	121 教室	1年 文三(17)
30218	月4	フランス語一列①	郷原 佳以	149 教室	1年 文三(19)
30219	月4	フランス語一列①	森元 庸介	158 教室	1年 文三(20)
30289	火1	フランス語一列①	COUCHOT Herve	101 教室	1年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30472	火3	フランス語一列①	鈴木 順子	113 教室	1年 理二三(21)
30473	火3	フランス語一列①	関俣 賢一	162 教室	1年 理二三(23)
30474	火3	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1213 教室	1年 理二三(24)
30539	火4	フランス語一列①	関俣 賢一	162 教室	1年 文一二(25)
30540	火4	フランス語一列①	松村 剛	1224 教室	1年 文一二(26)
30541	火4	フランス語一列①	郷原 佳以	1213 教室	1年 文一二(27)
30542	火4	フランス語一列①	山田 広昭	1212 教室	1年 文一二(28)
30578	火5	フランス語一列①	大池 惣太郎	112 教室	1年 理一(34)
30579	火5	フランス語一列①	渡邊 淳也	107 教室	1年 理一(35)
30580	火5	フランス語一列①	鈴木 順子	113 教室	1年 理一(36)
30584	火5	フランス語一列①	桑田 光平	106 教室	1年 理二三(22)
30696	水2	フランス語二列	増田 一夫	K113	1年 理一(37)
30697	水2	フランス語二列	今橋 映子	K211	1年 理一(38)
30698	水2	フランス語二列	須藤 佳子	109 教室	1年 理一(39)
30802	水4	フランス語二列	増田 一夫	K113	1年 文三(17)
30927	木2	フランス語二列	松村 剛	156 教室	1年 文一二(23)
30932	木2	フランス語二列	郷原 佳以	158 教室	1年 文三(19)
30949	木2	フランス語二列	渡邊 淳也	1311 教室	1年 理一(35)
30950	木2	フランス語二列	中田 健太郎	164 教室	1年 理一(36)
30954	木2	フランス語二列	三浦 篤	511 教室	1年 理二三(22)

30997	木3	フランス語二列	篠原 学	157 教室	1年 文一二(25)
30998	木3	フランス語二列	山田 広昭	1214 教室	1年 文一二(26)
30999	木3	フランス語二列	伊達 聖伸	106 教室	1年 文一二(27)
31000	木3	フランス語二列	松村 剛	156 教室	1年 文一二(28)
31001	木3	フランス語二列	森元 庸介	158 教室	1年 文三(18)
31002	木3	フランス語二列	坂本 さやか	108 教室	1年 文三(20)
31029	木4	フランス語二列	ビゼ	10-102	1年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
31037	木4	フランス語二列	関俣 賢一	149 教室	1年 文一二(24)
31055	木4	フランス語二列	篠原 学	157 教室	1年 理二三(23)
31117	金1	フランス語二列	坂本 佳子	112 教室	1年 理二三(21)
31199	金3	フランス語二列	飛嶋 隆信	1212 教室	1年 理一(34)
31214	金3	フランス語二列	斎藤 かぐみ	106 教室	1年 理二三(24)

## 基礎科目 中国語

中国語		開講区分	S
授業の目標・概要	中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。 ●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(火1に開講) ●既習クラスは、講義内容、教科書など初修とは異なるため Web シラバスで確認をすること。		
成績評価方法	定期試験など		
教科書	次の教科書を使用する。 書名 現代漢語基礎 [改訂版] 著者(訳者) 小野秀樹・木村英樹・張麗群・楊凱榮・吉川雅之 著 出版社 白帝社 ISBN 978-4-86398-115-7		

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30059	月2	中国語一列①	大橋 義武	113 教室	1年 文三(13)
30290	火1	中国語一列①	林 少陽	156 教室	1年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30301	火1	中国語一列①	斉 金英	K114	1年 理一(3)理二三(3)(TLP)
30310	火1	中国語一列①	山影 統	121 教室	1年 理一(22)
30552	火4	中国語一列①	中村 元哉	533 教室	1年 理二三(13)
30619	水1	中国語一列①	波多野 真矢	158 教室	1年 理一(24)
30679	水2	中国語一列①	伊藤 徳也	532 教室	1年 文一二(17)
30685	水2	中国語一列①	石井 剛	1322 教室	1年 文三(12)
30692	水2	中国語一列①	瀬地山 角	1221 教室	1年 理一(19)
30693	水2	中国語一列①	相原 まり子	113 教室	1年 理一(26)
30702	水2	中国語一列①	波多野 真矢	158 教室	1年 理二三(16)
30800	水4	中国語一列①	楊 凱榮	149 教室	1年 文三(14)
30922	木2	中国語一列①	松本 秀士	101 教室	1年 文一二(14)
30942	木2	中国語一列①	下出 宣子	121 教室	1年 理一(25)
30990	木3	中国語一列①	下出 宣子	121 教室	1年 文一二(19)
31015	木3	中国語一列①	河野 直恵	107 教室	1年 理二三(15)
31034	木4	中国語一列①	渡辺 剛	151 教室	1年 文一二(15)
31035	木4	中国語一列①	河野 直恵	107 教室	1年 文一二(16)
31094	金1	中国語一列①	王 英輝	104 教室	1年 文一二(18)
31105	金1	中国語一列①	小方 伴子	107 教室	1年 理一(20)
31194	金3	中国語一列①	吉川 雅之	112 教室	1年 理一(23)
31209	金3	中国語一列①	韓 燕麗	101 教室	1年 理二三(14)
31234	金4	中国語一列①	岩月 純一	101 教室	1年 文一二(13)
31239	金4	中国語一列①	田原 史起	150 教室	1年 文三(11)
31252	金4	中国語一列①	谷垣 真理子	121 教室	1年 理一(21)
30084	月2	中国語二列	伊藤 博	154 教室	1年 理一(24)
30085	月2	中国語二列	毛 興華	156 教室	1年 理一(25)
30149	月3	中国語二列	賈 黎黎	107 教室	1年 理一(19)
30150	月3	中国語二列	伊藤 博	154 教室	1年 理一(20)

30157	月 3	中国語二列	大橋 義武	113 教室	1 年 理一(26)
30206	月 4	中国語二列	鄧 芳	157 教室	1 年 文一二(17)
30207	月 4	中国語二列	伊藤 徳也	511 教室	1 年 文一二(18)
30208	月 4	中国語二列	中村 元哉	512 教室	1 年 文一二(19)
30215	月 4	中国語二列	白 春花	156 教室	1 年 文三(12)
30466	火 3	中国語二列	山影 統	108 教室	1 年 理一(21)
30543	火 4	中国語二列	山影 統	108 教室	1 年 文三(13)
30618	水 1	中国語二列	青木 正子	157 教室	1 年 理一(23)
30678	水 2	中国語二列	青木 正子	157 教室	1 年 文一二(16)
30701	水 2	中国語二列	小野 秀樹	1212 教室	1 年 理二三(14)
30748	水 3	中国語二列	小野 秀樹	1212 教室	1 年 文一二(13)
30766	水 3	中国語二列	瀬地山 角	1221 教室	1 年 文三(11)
30779	水 3	中国語二列	岩月 純一	153 教室	1 年 理二三(13)
30793	水 4	中国語二列	毛 興華	158 教室	1 年 文一二(14)
31016	木 3	中国語二列	松本 秀士	101 教室	1 年 理二三(16)
31030	木 4	中国語二列	賈 黎黎	150 教室	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
31041	木 4	中国語二列	松本 秀士	101 教室	1 年 文三(14)
31042	木 4	中国語二列	李 彦銘	103 教室	1 年 理一(3)理二三(3) (TLP)
31193	金 3	中国語二列	田原 史起	150 教室	1 年 理一(22)
31210	金 3	中国語二列	王 英輝	1211 教室	1 年 理二三(15)
31235	金 4	中国語二列	賈 黎黎	106 教室	1 年 文一二(15)

※理科生の TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

## 基礎科目 ロシア語

ロシア語		開講区分	S		
授業の目標・概要 成績評価方法 教科書	ロシア語文法の基礎の修得。 定期試験と平常点。適宜小テストを行うことがある。 次の教科書を使用する。 書名 ロシア語をはじめよう 著者(訳者) 西中村浩、朝妻恵理子 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55504-1				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30115	月3	ロシア語一列①	濱田 華練	105 教室	1年 理一(4)
30116	月3	ロシア語一列①	乗松 亨平	102 教室	1年 理一(5)
30291	火1	ロシア語一列①	濱田 華練	106 教室	1年 (TLP)
30416	火3	ロシア語一列①	鳥山 祐介	1322 教室	1年 文一二(4)
30450	火3	ロシア語一列①	濱田 華練	1311 教室	1年 文三(4)
30548	火4	ロシア語一列①	鳥山 祐介	1322 教室	1年 理二三(4)
30721	水3	ロシア語二列	渡邊 日日	166 教室	1年 (TLP)
30933	木2	ロシア語二列	西中村 浩	106 教室	1年 理一(4)
30934	木2	ロシア語二列	奈倉 有里	162 教室	1年 理一(5)
31051	木4	ロシア語二列	西中村 浩	106 教室	1年 理二三(4)
31165	金3	ロシア語二列	小椋 彩	107 教室	1年 文一二(4)
31188	金3	ロシア語二列	鳥山 祐介	1322 教室	1年 文三(4)

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

## 基礎科目 スペイン語

スペイン語		開講区分	S
授業の目標・概要	S セメスターは週2回、A セメスターは週1回の授業が必修である。共通教科書を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。同時にスペイン語文化圏の豊かで多彩な文化と社会への関心を深めていく。S セメスターでは内容を一列(文法)と二列(講読)に分け、A セメスターでは一列で文法・講読の両方を扱う。文系学生はこの他に外国人教員が担当するクラス指定の演習を履修しなければならない。理系学生にもこれに対応する「スペイン語初級(演習)」(理系生限定)を開講する。これらの演習科目では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行う。他にも初級作文と初級会話の科目を開講しているので、積極的に参加してほしい。スペイン語を集中的に勉強したい学生のためには、インテンシヴクラスを週2回開講する。これらを履修すれば、スペイン語の運用能力をいっそう高めることができる。		
成績評価方法	各教員に任されている。		
教科書	次の教科書を使用する。		
	書名 スペイン語初級 第4版		
	著者(訳者) 東京大学教養学部スペイン語部会		
	出版社 朝日出版社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30080	月2	スペイン語一列①	宮地 隆廣	122 教室	1年 理一(9)
30147	月3	スペイン語一列①	岡本 年正	162 教室	1年 理一(12)
30229	月4	スペイン語一列①	齊藤 文子	1311 教室	1年 理一(11)
30309	火1	スペイン語一列①	網野 徹哉	112 教室	1年 理一(18)
31176	火1	スペイン語一列①	深澤 晴奈	K213	1年 文一二(8)
31006	火3	スペイン語一列①	網野 徹哉	1232 教室	1年 理一(10)
30519	火4	スペイン語一列①	受田 宏之	1321 教室	1年 文一二(7)
30582	火5	スペイン語一列①	川崎 義史	108 教室	1年 理二三(7)
30683	水2	スペイン語一列①	石橋 純	1311 教室	1年 文三(9)
30684	水2	スペイン語一列①	竹村 文彦	1312 教室	1年 文三(10)
30691	水2	スペイン語一列①	和田 佳浦	1321 教室	1年 理一(13)
30700	水2	スペイン語一列①	齊藤 文子	1211 教室	1年 理二三(8)
31177	水2	スペイン語一列①	川崎 義史	1102 教室	1年 文一二(9)
30551	水3	スペイン語一列①	深澤 晴奈	K213	1年 理二三(10)
30774	水3	スペイン語一列①	川上 英	1222 教室	1年 理一(14)
30775	水3	スペイン語一列①	和田 佳浦	1321 教室	1年 理一(15)
30776	水3	スペイン語一列①	渡辺 暁	113 教室	1年 理一(16)
30777	水3	スペイン語一列①	石橋 純	1311 教室	1年 理二三(11)
30778	水3	スペイン語一列①	若林 大我	1322 教室	1年 理二三(12)
30792	水3	スペイン語一列①	竹村 文彦	1312 教室	1年 文一二(10)
31116	水3	スペイン語一列①	久住 真由	157 教室	1年 理二三(9)
30799	水4	スペイン語一列①	深澤 晴奈	K213	1年 文三(8)
30808	水4	スペイン語一列①	渡辺 暁	113 教室	1年 理一(17)
31233	木4	スペイン語一列①	深澤 晴奈	K213	1年 文一二(11)
31033	金3	スペイン語一列①	笛田 千容	104 教室	1年 文一二(12)
30765	金4	スペイン語一列①	宮地 隆廣	108 教室	1年 文三(7)
30052	月2	スペイン語二列	栗林 ゆき絵	151 教室	1年 文一二(8)
30082	月2	スペイン語二列	岡本 年正	162 教室	1年 理一(16)

30138	月 3	スペイン語二列	石橋 純	511 教室	1 年 理一(10)
31045	月 3	スペイン語二列	深澤 晴奈	K114	1 年 理一(18)
30212	月 4	スペイン語二列	岡本 年正	162 教室	1 年 文三(8)
30213	月 4	スペイン語二列	三浦 麻衣子	112 教室	1 年 文三(9)
30230	月 4	スペイン語二列	深澤 晴奈	K114	1 年 理一(13)
30231	月 4	スペイン語二列	竹村 文彦	1312 教室	1 年 理一(14)
30452	火 3	スペイン語二列	受田 宏之	1321 教室	1 年 文三(7)
30520	火 4	スペイン語二列	深澤 晴奈	K213	1 年 文一二(9)
30294	水 2	スペイン語二列	川上 英	1222 教室	1 年 文一二(12)
30669	水 2	スペイン語二列	宮地 隆廣	1232 教室	1 年 文一二(11)
30699	水 2	スペイン語二列	網野 徹哉	159 教室	1 年 理二三(7)
30807	水 4	スペイン語二列	久住 真由	157 教室	1 年 理一(11)
30806	木 4	スペイン語二列	若林 大我	1212 教室	1 年 理一(9)
30938	木 2	スペイン語二列	倉田 量介	112 教室	1 年 理一(15)
30940	木 2	スペイン語二列	愛場 百合子	1213 教室	1 年 理一(17)
31009	木 3	スペイン語二列	若林 大我	1212 教室	1 年 理一(12)
31013	木 3	スペイン語二列	倉田 量介	112 教室	1 年 理二三(8)
31014	木 3	スペイン語二列	中島 聡子	113 教室	1 年 理二三(11)
31053	木 4	スペイン語二列	中島 聡子	113 教室	1 年 理二三(9)
31085	木 4	スペイン語二列	松浦 芳枝	164 教室	1 年 文一二(10)
31175	金 3	スペイン語二列	有田 美保	1231 教室	1 年 文一二(7)
31206	金 3	スペイン語二列	川崎 義史	108 教室	1 年 理二三(10)
31207	金 3	スペイン語二列	齊藤 文子	162 教室	1 年 理二三(12)
31238	金 4	スペイン語二列	笛田 千容	104 教室	1 年 文三(10)

## 基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語		開講区分	S		
授業の目標・概要	<p>●1年生初修クラス            文科生クラス、理科生クラスともに、一列・二列の授業では、共通教材を用いて授業を行います。はじめの数回の授業において文字と発音を完全に習得した後、引き続き、さまざまな文法事項と語彙を学んでいきます。            この授業では、一年間を通じて、基礎文法を完全に習得し、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また簡単な内容ならば、自分の考えや意見を表現できる程度の力を身につけることを目指します。            文科生はこのほか、韓国人教員が担当する「初級（演習）①」を履修し、基礎知識の応用をはかっています。理科生には、文科生の「初級（演習）①」に相当する「初級（演習）」が設けられているので、積極的に参加して下さい。</p>				
成績評価方法	定期テストと平常点（出席、小テスト、課題など）				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 ことばの架け橋 [再改訂試用版]				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30078	月 2	韓国朝鮮語一列①	永原 歩	121 教室	1年 理一(6)
30417	火 3	韓国朝鮮語一列①	月脚 達彦	1224 教室	1年 文一二(5)文三(5)
30549	火 4	韓国朝鮮語一列①	生越 直樹	K113	1年 理二三(5)
30977	木 3	韓国朝鮮語二列	伊藤 英人	162 教室	1年 文一二(5)文三(5)
31011	木 3	韓国朝鮮語二列	生越 直樹	K113	1年 理二三(5)
31104	金 1	韓国朝鮮語二列	三ツ井 崇	155 教室	1年 理一(6)

## 基礎科目 イタリア語

イタリア語	開講区分	S
<p>授業の目標・概要</p> <p>●初修クラス 「一、二列」では、発音からはじまり、初級文法を、SセメスターからAセメスターの前半までの期間に習得することが目標です。Aセメスター後半は、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、文法知識の整理にあてます。教科書は東京大学イタリア語教材編集委員会編の『イタリア語のスタート』（白水社）と、中級読解用テキスト『ピアッツァ』（東京大学出版会）を使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための「演習」が文科生には必修科目として開講されています。理科生は総合科目Lの「イタリア語初級（演習）」として選択できます。積極的に履修・参加して、表現力を身につけてください。さらに選択可能な総合科目Lの科目として、初級の会話・作文も開講されているので、積極的に受講してください。</p> <p>Sセメスターの基本的な学習項目は以下のようになります。 1) 発音 2) イタリア語の文の基本的な成り立ち 3) 名詞の性と数 4) 主語人称代名詞と動詞 essere 5) 形容詞 6) 指示代名詞と指示形容詞 7) 動詞 avere 8) 規則動詞の現在活用形 9) 不規則動詞 10) 疑問詞 11) 前置詞と冠詞の結合形 12) 補助動詞 13) 近過去 14) 再帰動詞 15) 未来</p> <p>●既修クラス 総合科目Lとして開講されている中・上級の演習・会話・作文・表現練習・読解・インテンシヴの授業を組み合わせることで受講することが可能です。イタリア語の習得を通して、音楽、芸術、映画、デザインなど、文化のさまざまな分野に関して、新しいテーマを素材に用い、現代社会のさまざまな側面についてもふれます。</p> <p>成績評価方法 平常点と定期試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習 著者(訳者) 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社 ISBN ISBN978-4-560-01763-0</p> <p>関連ホームページ <a href="http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp">http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp</a></p> <p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>		

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30058	月 2	イタリア語一列①	村松 真理子	K402	1年 文三(6)
30119	月 3	イタリア語一列①	山崎 彩	108 教室	1年 理一(7)
30120	月 3	イタリア語一列①	宮坂 真紀	158 教室	1年 理一(8)
30418	火 3	イタリア語一列①	池上 俊一	157 教室	1年 文一二(6)
30550	火 4	イタリア語一列①	宮坂 真紀	109 教室	1年 理二三(6)
30690	水 2	イタリア語二列	宮坂 真紀	108 教室	1年 理一(8)
30928	木 2	イタリア語二列	村松 真理子	107 教室	1年 文三(6)
30978	木 3	イタリア語二列	池上 俊一	104 教室	1年 文一二(6)
31043	木 4	イタリア語二列	山崎 彩	153 教室	1年 理一(7)
31052	木 4	イタリア語二列	宮坂 真紀	158 教室	1年 理二三(6)

# 基礎科目 日本語

日本語		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎科目一列①、基礎科目二列を、一年次Sセメスターに履修すること。</li> <li>・日本語科目（基礎科目一列、二列C、二列P、総合科目L系列、選択必修科目）の履修方法やカリキュラム等について、基礎科目一列①の初回授業で説明があるので、必ず出席すること。</li> <li>・基礎科目一列、および、基礎科目二列(S1)の初回授業に必ず出席すること。</li> <li>・基礎科目二列(S1)の初回授業に必ず出席に日本語能力テストを受験すること。日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、授業開始時に日本語能力テストを受ける必要がある。</li> <li>・総合科目L系列科目(S1, S2)の希望登録について、UTAS上の指示にも留意し従うこと。</li> </ul> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基礎科目 日本語一列① 1年生 既修外国語 『テーマで考え議論する日本語 -Active Learning in Academic Japanese -』 文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適切に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。 一列授業と二列授業とは、連動しつつ相互に相補的な活動を行う。 『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、『基礎科目 日本語二列C』（正確な精読、構文・語彙習得中心）、および、『基礎科目 日本語二列P』（アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション中心）の授業を行う。</li> <li>● 基礎科目 日本語二列C 1年生 既修外国語 『テーマで考え議論する日本語：正確な精読、構文・語彙習得中心』 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、構文・語彙増強、正確な精読や要約・ライティング等を行う。</li> <li>● 基礎科目 日本語二列P 1年生 既修外国語 『テーマで考え議論する日本語：アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション中心』 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。</li> </ul> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合科目 L 系列 「日本語中級」『滑らかに話すための日本語発音』 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要となる発音の習得を目指す。</li> <li>○ 総合科目 L 系列 「日本語中級」『文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える』 日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養う。</li> <li>○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『読解を通じ、日本の歴史を考える』 日本の歴史について書かれた論説文・歴史小説等の読解を通じ、日本史における事象やその文化的背景についての理解を深め、現代との関わりについて批判的に検討する。</li> </ul>		
成績評価方法	<p>「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTAS上のそれぞれの科目のページを参照すること。 全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。</p>		
教科書	<p>その他。</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
30336	S	火 2	日本語一列①	藤井 聖子	10-205	1年 文科 理科
31127	S	金 2	日本語一列①	藤井 聖子	10-205	1年 文科 理科
30884	S 1	木 1	日本語二列C	奥川 育子	10-205	1年 文科 理科
31287	S 1	金 5	日本語二列C	奥川 育子	10-205	1年 文科 理科
40211	S 2	木 1	日本語二列P	奥川 育子	10-205	1年 文科 理科
40234	S 2	金 5	日本語二列P	奥川 育子	10-205	1年 文科 理科

# 情報

	情報	開講区分	S
授業の目標・概要	<p>※「情報」初回の授業は情報教育棟大演習室[E31 または E21]で行う。</p> <p>※ オンライン新規利用者講習を受講して ECCS の利用ができるようにしておくこと。</p> <p>現代社会においては、すべての人が多様な場と状況において、情報システムとかわらざるをえない。その際に正しくかつ適切な対応をするためには、情報の技術面だけでなく、その人間のおよび社会的な側面の正しい理解が必要である。</p> <p>これは情報社会人の基本的素養であり、“知ることによって無知から自由になることができる”という意味であるリベラルアーツそのものと言うことができる。</p> <p>本科目の目的は、このような素養を、講義と演習とを通じて身に付けることである。</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の人間に関連する側面 表現, 認知, 伝達</li> <li>・情報の社会に関連する側面 情報システム, 情報関連の法, 技術と社会</li> <li>・情報の問題解決に関する側面 データと計算のモデル, 計算の複雑さ</li> </ul> <p>のそれぞれを、独立にではなく、他の側面の理解が可能なレベルまで掘り下げて学ぶ。</p> <p>この科目の目的は、いわゆる「利用・活用」の方法を習うことではない。</p> <p>なお、高等学校の教科「情報」で学ぶ項目のうち、機器操作の方法、Web ブラウザ、電子メール、デジタルの概念、著作権・知的財産権の基本、などは「既習」であることを前提とする。</p>		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全クラス共通の試験問題による定期試験を実施するが、教員が独自の問題を追加で出題することがある。</li> <li>・共通試験の出題範囲は「関連ホームページ」の「教科書の目次と必修学習項目」で指定されたものである。</li> <li>・定期試験の採点は教員ごとに行なう。</li> <li>・成績評価の方法は教員による。</li> </ul> <p>(定期試験のみ、レポートを加味、そのほか)</p>		
教科書	<p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 情報 第2版 (Introduction to the New Information World, 2nd Edition)</p> <p>著者(訳者) 山口和紀[編]</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>ISBN 978-4-13-062457-2</p>		
関連ホームページ	<p><a href="http://www.edu.c.u-tokyo.ac.jp/edu/information.html">http://www.edu.c.u-tokyo.ac.jp/edu/information.html</a></p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30053	月 2	山口 文彦	E31 教室	1年 文一二(9-11)
30079	月 2	辰己 丈夫	E21 教室	1年 理一(8,18,34)
30148	月 3	木下 裕介	E31 教室	1年 理一(13,21-22)
30155	月 3	辰己 丈夫	E21 教室	1年 理一(24,30,35-36)
30205	月 4	齋藤 俊則	E31 教室	1年 文一二(14,16,20)
31745	月 4	柴山 悦哉	E21 教室	1年 理一(17)理二三(16,19)
30292	火 1	松島 慎	E21 教室	1年 文一二(7)文三(5-6,17)
30300	火 1	教員未定	E31 教室	1年 文三(18-20)
30444	火 3	上條 俊介	E21 教室	1年 文一二(15,18,26)文三(15)
30522	火 4	上條 俊介	E21 教室	1年 文一二(17)文三(4,9-10)
30577	火 5	田中 哲朗	E31 教室	1年 理一(25-27)
30581	火 5	山口 和紀	E21 教室	1年 理二三(4-5,13,15)
30608	水 1	池尻 良平	E21 教室	1年 理一(7,15,33)
30682	水 2	藤垣 裕子	E31 教室	1年 文三(1-3,7,11,14,16)
31746	水 2	池尻 良平	E21 教室	1年 理一(5,29)理二三(22)
30768	水 3	山口 泰	E21 教室	1年 理一(1-3,31)理二三(1-3,14)
30796	水 4	中村 政隆	E21 教室	1年 文一二(19,21-22)
30798	水 4	森畑 明昌	E31 教室	1年 文一二(23-25)文三(12)

30921	木 2	萩谷 昌己	E31 教室	1 年 文一二(8,12-13)
31747	木 2	羽山 博	E21 教室	1 年 理一(37)理二三(11,18)
31005	木 3	萩谷 昌己	E31 教室	1 年 理一(6,14,19)
31012	木 3	石井 健太郎	E21 教室	1 年 理二三(6-7,21)
31044	木 4	落合 秀也	E31 教室	1 年 理一(10-12)
31054	木 4	石井 健太郎	E21 教室	1 年 理二三(10,12,24)
31102	金 1	品川 高廣	E21 教室	1 年 理一(4,9,16)
31107	金 1	福永 アレックス	E31 教室	1 年 理一(38-39)理二三(17)
31187	金 3	中村 政隆	E21 教室	1 年 文一二(27-28)文三(13)
31198	金 3	蔡 東生	E31 教室	1 年 理一(28)理二三(8-9,23)
31226	金 4	川崎 真弘	E21 教室	1 年 文一二(1-6)文三(8)
31250	金 4	蔡 東生	E31 教室	1 年 理一(20,23,32)理二三(20)

# 身体運動・健康科学実習 I

身体運動・健康科学実習 I		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>週1回の授業を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.身体および身体運動に関する知識を習得する。</li> <li>2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。</li> <li>3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技術を習得する。</li> <li>4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。</li> </ol>		
授業計画	<p>第1回 教室で教科書を用いた授業（教室は掲示を参照）                  第2回 体力テスト                  第3回 教室で教科書を用いた授業                  種目選択                  第4回から 選択した種目での授業</p>		
授業の方法	<p> Semester中に2度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。共通授業はコミュニケーションプラザ北館3階の身体運動実習室で行う。                  この他天候等により体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9号館前の掲示板を見ること。                  第3回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は <a href="http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/">http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/</a>を参照のこと。                  種目選択以降は、各種目に分かれて行う。                  基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。                  Semester中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。毎回の授業における心拍数、体力テストの結果等も教科書に記入する。                  通常授業での説明、教室での授業内容、科学的理解の授業、体力テスト等によって、Semester末にレポートを提出する。</p>		
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。</li> <li>2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。</li> <li>3 体力テスト 4月と12月に行い、評価に含める。</li> <li>4 レポート 通常授業での説明、教室での授業内容、体力テストの結果等を受けて、Semester末にレポートを提出する。</li> <li>5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。</li> </ol>		
教科書	<p>次の教科書を使用する。                  書名 教養としての身体運動・健康科学                  著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編                  出版社 東京大学出版会</p>		
履修上の注意	<p>種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。</p>		
学習上のアドバイス	<p>盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。</p>		
関連ホームページ	<p><a href="http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/">http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/</a></p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30039	月2	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(4,23)文三(16-17)理一(7,10-11,17,20,26,38)
30454	火3	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文三(18)理一(22-23,29-30,32,34-37,39)
30521	火4	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(13)文三(8,14,19-20)理一(24-25)理二三(1-3,7,17,21)
30723	水3	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(8,14,27)文三(9)理一(12,18-19,27)理二三(5-6,8)
30795	水4	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(16)理一(8,13-15)理二三(9-12,14-15)
30906	木2	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(1-3,5-6,24-25,28)文三(1-5,11)理一(1-3,6,21)理二三(4,16)
30979	木3	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(9)文三(6)理一(4-5,9,16)理二三(13,18,22-24)
31178	金3	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(11,15,18-20,26)文三(7,10,12,15)理二三(20)
31227	金4	身体運動・健康科学実習 I	実技担当	1年 文一二(7,10,12,17,21-22)文三(13)理一(28,31,33)理二三(19)

## 身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>週1回の授業を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.身体および身体運動に関する知識を習得する。</li> <li>2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。</li> <li>3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技術を習得する。</li> <li>4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。</li> </ol>			
授業計画	<p>第1回 月曜3限または火曜2限で開講されている総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」の種目選択を実施する場所に集合し（場所は9号館前掲示板を参照）、この授業用に開講されている1種目（開講種目は未定）に登録手続きを行い、担当教員からガイダンスを受ける。</p> <p>第2回以降 この曜限で開講されている種目での通常授業</p> <p>*セメスター中に2度、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。</p>			
授業の方法	<p>基本的には自分の身体を動かして実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。</p> <p>セメスター中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくること。</p> <p>通常授業での説明、科学的理解のための共通授業等によって、セメスター末にレポートを提出する。</p>			
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。</li> <li>2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。</li> <li>3 体力テスト（未定）</li> <li>4 レポート 通常授業での説明、共通授業等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。</li> <li>5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。</li> </ol>			
教科書	<p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 教養としての身体運動・健康科学            著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室編            出版社 東京大学出版会</p>			
履修上の注意	<p>1 Aセメスターでクラス指定された「身体運動・健康科学実習Ⅱ」の履修登録を削除した者（2Sで履修するために）、および1Aセメスターの「身体運動・健康科学実習Ⅱ」の単位未取得者が対象となります。</p>			
学習上のアドバイス 関連ホームページ	<p>盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。傷害保険に加入することが望ましい。  <a href="http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/">http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/</a></p>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
31774	月3	身体運動・健康科学実習Ⅱ(2S)	実技担当	2年 文科 理科
31775	火2	身体運動・健康科学実習Ⅱ(2S)	実技担当	2年 文科 理科

## 身体運動・健康科学実習 (メデikalケア)

身体運動・健康科学実習 (メデikalケア)		開講区分	S
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解(肌でわかる・体感する)のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第3回目までの授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。体力テストは見学する。第3回目の種目選択で、履修する曜限を決め、第4回目以降からそのメディカルケアの曜限で受講する。各自の状態に合わせて、実習を行う。		
授業の方法	基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各自の状態により様々なアプローチがなされる。教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。セメスター末にレポートを提出する。		
成績評価方法	1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席(遅刻、早退、見学を含む)はきわめて重視される。 2 達成度 各自の学習達成度について評価を行う。 3 レポート 授業での説明、実習内容、その結果等を受けて、セメスター末にレポートを提出する。 4 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	次の教科書を使用する。 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者(訳者) 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東京大学出版会		
履修上の注意	第1～3回目まで、クラス指定された身体運動・健康科学実習の授業に参加する。第4回目からメディカルケアコースの曜限に移行する。		
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	<a href="http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/">http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/</a>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30007	月1	身体運動・健康科学実習Ⅰ (メデikalケア3)	実技担当	1年 文科 理科
31781	月1	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデikalケア3)	実技担当	2年 文科 理科
30252	月5	身体運動・健康科学実習Ⅰ (メデikalケア1)	実技担当	1年 文科 理科
31782	月5	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデikalケア1)	実技担当	2年 文科 理科
30311	火1	身体運動・健康科学実習Ⅰ (メデikalケア3)	実技担当	1年 文科 理科
31783	火1	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデikalケア3)	実技担当	2年 文科 理科
30620	水1	身体運動・健康科学実習Ⅰ (メデikalケア2)	実技担当	1年 文科 理科
31784	水1	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メデikalケア2)	実技担当	2年 文科 理科

## 初年次ゼミナール文科の履修について

大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。

「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。

初年次ゼミナール文科はクラス指定の必修科目であり、以下の共通目標が定められている。

クラスごとに指定されたグループ（各2曜限）に開講されている授業のうち、1授業を選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。本冊子とともに配布されたプリント「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。なお、履修希望は必ず第8希望まで登録すること。

文科の2年生で初年次ゼミナール文科の単位を未取得の者（平成26年度以前の入学者については基礎演習の単位未取得の者）は、科目登録方法が通常他クラス聴講等の手続きとは異なるので、同じく「【重要】履修登録について」を注意して読んでおくこと。

第1回授業時には、合同のガイダンスを行う。授業教室とは別の教室で行われるので注意すること。履修希望の授業を第8希望まで登録することから、できる限り指定されたグループの授業が行われる2曜限とも出席することを勧める。ガイダンスが行われる教室については、掲示板等で告知する。

第2回授業時には、合同で、アカデミックマナーおよびアカデミックスキルに関するレクチャーと情報検索実習を行う。各自指定された曜限に授業を受けること。この回はカードリーダーで出欠を取るため、必ず学生証を持参し、早めに教室に来ること。第2回授業の出席曜限の指定および教室の決定は概ね第1回授業時頃までに行い、掲示板等で通知する。

第3回目からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。UTASにて決定された履修授業と教室を確認すること。

この授業の共通教材として『読む、書く、考える - 東京大学 初年次ゼミナール文科 共通テキスト-』を第2回目の授業時に全員に配布する。授業に持参するとともに、発表準備や論文執筆の前に熟読すること。

この授業に関する授業外サポートとして、大学院生が学習相談に応じるラーニングコモンズを21 KOMCEE West 地下のスペースで開く。開室時間や利用方法等については、授業時に告知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ1	月4・水4	1年 文一二(4,6-7,28)文三(4,16,18)
グループ2	火1・木2	1年 文一二(10,19,26-27)文三(7,9,13)
グループ3	火3・木3	1年 文一二(8,12,14,17)文三(10,12,14)
グループ4	火4・金1	1年 文一二(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)
グループ5	水2・金3	1年 文一二(13,21,24-25)文三(5,8,20)
グループ6	水3・金4	1年 文一二(9,18,20,23)文三(6,17,19)

## 初年次ゼミナール文科

グループ1 1年 文一二(4,6-7,28)文三(4,16,18)

グループ1 1年 文一二(4,6-7,28)文三(4,16,18)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31675	月 4	中国古典詩（漢詩）を読み解く	田口 一郎	国文・漢文学	119 教室
授業の目標・概要		<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 陶淵明・李白・杜甫などの詩人・作品について、感想文や引用の羅列でない、学術的な（小）論文を書くことを目標とします。資料の検索方法や適切な引用方法、工具書の使用法、論理的な読解方法など、古典文学研究に必要なスキルを学んでいきます。中国語を履修（予定）していなくてもかまいません。</p> <p>【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型</p>			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		漢詩、漢文、古典、翻訳、日本文学、中国文学			
教科書		教科書は使用しない。			
参考書		次の参考書を使用する。			
ガイダンス		<p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			
31676	月 4	基礎心理学の基礎知識	本吉 勇	心理・教育学	517 教室
授業の目標・概要		<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 代表的な教科書を足がかりに、人間の心や精神を科学的に研究するための基本的な方法を学ぶ。さらに、知覚、認知、記憶、思考、感情など主要な心の機能に関する認知心理学の実験や理論の文献を実際に読み解くことによって、用語や考え方を理解するための初歩的なスキルと批判精神を身につける</p> <p>【学術分野】心理・教育学 【授業形態】文献批評型</p>			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		心理学、人間科学、認知科学、脳科学			
教科書		授業中に指示をする。			
参考書		次の参考書を使用する。			
ガイダンス		<p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 書名 マイヤーズ心理学 著者（訳者） デーヴィッドマイヤーズ 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			
31677	月 4	東京の産業地区の変化と課題	松原 宏 鎌倉 夏来	人文地理学	K303
授業の目標・概要		<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 東京には、特徴のある産業が比較的狭い地域に集まっている産業地区がいくつもあります。この授業では、地図作業や統計分析、現地調査を通じて、そうした地区の歴史的变化や現状についての理解を深めるとともに、今後の課題について考えていくことにします。</p> <p>【学術分野】人文地理学 【授業形態】フィールド型</p>			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード		東京、産業集積、都市化、グローバル化、空洞化			
教科書		教科書は使用しない。			
参考書		次の参考書を使用する。			
ガイダンス		<p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>			

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31678	月 4	政治における因果関係	鹿毛 利枝子	法・政治	120 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 政治の世界において、「因果関係」とはどのように考えられるのだろうか。どのような条件の下でそれが「あり」、どのような条件の下でそれが「なかった」と判断できるのだろうか。この授業では、教科書（下記参照、ガイダンスの際にも説明）と受講者各自の選ぶ題材をもとに、考える。</p> <p>【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、グループや個人での発表、議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	政治学、因果関係、比較政治				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 『原因を推論する』 著者（訳者） 久米郁男 出版社 有斐閣				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31679	月 4	指標から社会を見る	岡田 晃枝	国際関係	K401
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 国民がどれくらい幸せなのかを示す幸福度、国内社会がどのくらい民主的なのかを示す民主化度、国民がどのくらい自分の将来を自由に選択できる社会かを示す人間開発指数等、社会の質的側面を表す指標に注目する。それらの指標がどのような要素から構成されているかを知り、同程度の国家間の制度や社会状況を比較するなど、学術的な議論ができるようになることを目指す。</p> <p>【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	質的データ、量的データ、民主化度、幸福度、人間開発指数、政治的自由				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31705	水 4	ナチズムを考える	石田 勇治	ドイツ語	517 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 今年はいまはワイマール憲法制定から 100 周年にあたる。当時世界で最も民主主義的と称された憲法を擁し、カントとゲーテの国ともいわれたドイツで、なぜ野蛮なナチズムが台頭し、ヒトラー独裁が生じたのか。そしてその下でなぜホロコーストなど未曾有の国家的犯罪が引き起こされたのか。この授業では、世界現代史に大きな影響を及ぼしたナチズムが内包する諸問題と取り組みながら、批判的学術研究の方法を習得するための訓練を行う。</p> <p>【学術分野】 歴史学、地域文化研究 関連分野として、政治、社会・社会思想史、国際関係</p> <p>【授業形態】ディシプリン型（学際性） ひとつの分野に拘らず、分野横断的なアプローチの手法の習得をめざす</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	現代史、ワイマール、民主主義と独裁、反知性主義、レイシズムと反ユダヤ主義				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	書名 『ヒトラーとナチ・ドイツ』 著者（訳者） 石田勇治 出版社 講談社（現代新書） 次の参考書を使用する。				
ガイダンス	書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 その他 参考文献リストを配布する 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31706	水 4	「偉人伝」を読む	永井 久美子	国文・漢文学	118 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 子ども向けのものを含め、これまでに偉人伝に接してきた人は多いだろう。感動し、敬意を表する「純粋な」読み方も、もちろん存在する。ただしこの授業では、何が「偉業」とされ、それがどのような表現を用いて語られているかを、客観的に分析してもらおう。その分析を通して、時代や社会が求める理想の人物像とは何かについて考察してほしい。</p> <p>取り上げる伝記は各自が自由に選択するものとし、時代や地域は不問とする。評伝のほか、映画や漫画も分析対象としてよい。また、問題を論じるうえで必要な場合は、複数の人物や書物についての比較対照を行ってもよい。</p> <p>授業では、選択したテーマの概要について各自に発表を行ってもらうほか、小論文の草稿についての意見交換を行うことを通して、最終課題の完成度を高めてゆく。</p> <p>【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型</p>				
成績評価方法	<p>発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 草稿は期限内に提出されたもののみを評価の対象とする。</p>				
授業のキーワード	<p>人物伝、批評、問題意識</p>				
教科書	<p>教科書は使用しない。</p>				
参考書	<p>次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p>				
ガイダンス	<p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31707	水 4	国際関係について理論的に考える	湯川 拓	国際関係	518 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 国際関係論（国際政治学）という学問の見地から、国家間の協調と対立について理論的に考察する。具体的には、戦争・国際機構・地域主義・人権・内戦（平和構築）などのテーマについて考えることになる。</p> <p>最初に、研究者によって書かれた学術論文を読むことで「リサーチとは何か」という点を実感してもらったうえで、自分たち自身で研究を行い、それを報告し、最終的にはペーパーとしてまとめる。</p> <p>「国際関係論」の専門的知識を養うことだけでなく、こうした作業を通して基本的なアカデミックスキル（適切なリサーチデザインを立てる、報告する、論文を執筆する）、特に論理的思考を身につけることを重視する。</p> <p>【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型</p>				
成績評価方法	<p>出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。</p>				
授業のキーワード	<p>国際関係、戦争と平和、国際制度</p>				
教科書	<p>教科書は使用しない。</p>				
参考書	<p>次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p>				
ガイダンス	<p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31708	水 4	都市と文学 —東京をテキストとして読む	谷本 道昭	教養教育高度化機構	K402
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 東京やパリといった都市は、近代以降、出版資本主義の到来とともに、創作、出版、読者・批評受容の中心地となることで、文学の首都としての地位を確立していった。出版資本主義の黎明期、勃興期を生き抜いた作家たちは、意識的あるいは無意識的に都市を主題化することで、都市のあり様と緊密に結びついた文学を創造し、フランスでは19世紀前半から中盤に、東京では19世紀後半から20世紀前半(明治、大正期から昭和初期)に、多種多様な都市=文学が誕生する。都市の姿を写し取るようにして紡ぎ出された都市=テキストは、やがて都市そのものをも包み込み、現実の都市とは別の生を生きていくこととなる。</p> <p>本演習では、19世紀フランス文学と日本近代文学の事例を参考にしながら都市と文学の関係を概観したうえで、明治維新から百年間の都市東京と密接に関わる小説、詩、エッセイなどを収めるアンソロジー『東京百年物語』(全三冊、岩波文庫、2018年)——特に第二分冊の『東京百年物語 2 1910-1940』を教材に、「東京」を都市=テキストとして読み解いていく。その際、テキストを狭義の文学研究の方法に従って解釈することに自足せず、文学、社会学、歴史学などを横断的に包括する都市論、出版文化史の視座から複眼的に分析し論じることを目指す。学生には、文献の読解、調査に加え、グループワーク、プレゼンテーションを通じて主体的に授業に参加してもらいたい。教室内外での学習にとどまらず、実地にフィールド調査に赴くことで見えてくるものも多くあるだろう。</p>				
成績評価方法	【学術分野】文学・人文学				
授業のキーワード	【授業形態】文献批評型 フィールド型				
教科書	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
	東京、パリ、都市、都市論、文学				
	次の教科書を使用する。				
	書名 『東京百年物語 2 1910-1940』				
	著者(訳者) ロバート キャンベル、十重田裕一、宗像和重編				
	出版社 岩波書店				
	ISBN 4003121724				
参考書	次の参考書を使用する。				
	書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』				
	著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31709	水4	本（テキスト）を読む、とは何をする事 なのか —E.H.カー『危機の二十年』を題材に—	馬路 智仁	国際関係	119 教室
授業の目標・概要		<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 人文・社会科学を学ぶ上で最も基本的かつ重要な作業は、本や論文を読むということです。では本を読む、とは一体何をする事なのでしょう。単に自身にとって利用価値の高い情報を入手することなのでしょう。自身の人生にとっての教訓を見つけることなのでしょう。あるいは筆者の主張を発見し、それを記憶することなのでしょう。本授業では、本（テキスト）を読むという根本的作業の訓練を行います。具体的には、テキストを文脈（コンテキスト）の中に位置付け、そのコンテキストの中でテキストの意味や意図を読解するという作業の練習を行います。また、テキストがそれ固有のコンテキストを離れて別のコンテキストに置き換えられたとき、そのテキストがいかなる新たな意味を帯びるのか、について考えます。総じて、本を読むという作業は、多重に織り成されるコンテキストの中でテキストを創造的に読解することであるという姿勢を身に着けることを目標とします。</p> <p>本授業では、以上のようなテキストとコンテキストが作る螺旋的連関を、国際関係論の古典である E.H.カー『危機の二十年』（原著 1939 年）を通じて学びます。第二次大戦前夜から今日まで読み継がれている『危機の二十年』ですが、その読まれ方は果たして一様だったのでしょうか。読まれ方、解釈のされ方が時代によって異なっているとしたら、それは何故なのでしょう。その解釈は、カー自身が込めた意味や意図と同じだったのでしょうか、あるいはどのように違っていたのでしょうか。なぜ、著者自身の意図と異なった読まれ方が許容されるのでしょうか。このような疑問に答えるため、カー自身のコンテキスト（そのテキストが書かれた政治的・文化的文脈やカーの知的経歴）や再コンテキスト化された状況（同時代や後年のアメリカ、日本においてどのように読まれたか）をpushしあいつつ、『危機の二十年』を読解していきます。</p> <p>本授業は、主に歴史や政治思想史、国際関係論に関心のある学生を念頭に置いています。ただし限定はしません。</p> <p><b>【学術分野】</b> 社会・社会思想史、国際関係 <b>【授業形態】</b> 文献批評型</p>			
成績評価方法		出席、報告および議論への知的貢献等の平常点と、小論文とで判断する。			
授業のキーワード 教科書		*小論文については、授業期間内に本授業の内容を踏まえた小論文課題（Essay question）を提示する予定である。 テキストとコンテキストの連関、解釈の変遷、E.H.カー、『危機の二十年』、政治思想史、国際関係論 教科書は使用しない。			
参考書		<p>書名 『危機の二十年 —理想と現実—』 著者（訳者） E.H.カー（原彬久訳） 出版社 岩波書店（岩波文庫）、2011 年</p> <p>次の参考書を使用する。</p> <p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>書名 『誠実という悪徳 —E.H.カー、1892-1982—』 著者（訳者） ジョナサン・ハスラム（角田史幸他訳） 出版社 現代思潮新社、2007 年</p> <p>書名 『危機の 20 年と思想家たち —戦間期理想主義の再評価—』 著者（訳者） D.ロング/P.ウィルソン（宮本盛太郎他訳） 出版社 ミネルヴァ書房、2002 年</p>			
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			
31710	水4	ひと味ちがう☆憲法学入門	石川 健治	法学部	120 教室
授業の目標・概要		<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 読めなければ、書けない。書けるから、読める——のどとすれば、まずは書くことではなく、読むことから始めるのが道理。日本の憲法学説史上、屈指の名論文として知られる、宮澤俊儀の「国民代表の概念」というテキストを読み抜くことを通じて、読むこと、書くこと、ついでに憲法学の入門まで果たしてしまおう、という本邦初公開（とまではいわないが、私としては初めて）の試みである。</p> <p><b>【学術分野】</b> 法・政治 <b>【授業形態】</b> 文献批評型</p>			
成績評価方法		出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。			
授業のキーワード 教科書		憲法 国民代表 民主主義 権力、法律学 政治学 社会学、政治史 思想史、転回期 プリントを配布する。			
参考書		<p>書名 国民代表の概念 著者（訳者） 宮澤俊儀</p> <p>その他 美濃部教授還暦記念『公法学の諸問題・第 2 巻』（有斐閣、1934 年）所収</p> <p>次の参考書を使用する。</p> <p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>書名 転回期の政治 著者（訳者） 宮澤俊儀 出版社 岩波文庫</p>			
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ2 1年 文一二(10,19,26-27)文三(7,9,13)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31680	火1	史料から知る三・一独立運動	外村 大	歴史学	117 教室
授業の目標・概要		<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 1919年、朝鮮で起きた三・一独立運動に関わる史料を読んでいく。具体的には、同時代の報道や朝鮮人の民族運動家の残した文書や後年の回想記、植民地統治に関わった日本人の軍人や政治家の日記などを取り上げる。その作業を通じて、わからないことがあった場合にどのように調べるかや史料批判など、歴史研究の基礎を習得する。</p> <p>【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	朝鮮、民族運動、植民地支配、史料、帝国				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31681	火1	学術論文を通して見る 歴史学の世界	黛 秋津	歴史学	115 教室
授業の目標・概要		<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 この授業では、皆さんがこれまでまず目にしたことがないと思われる「学術論文」について、徹底的に見てゆこうと思います。学術論文とは何か、何のために書くのか、どのように書くのか、どのような形式・体裁であるべきか、良い論文と悪い論文の違いは何か、など、様々な問題を、多くの事例に触れながら皆で一緒に考えます。履修者の顔ぶれによっては、一部歴史学以外の分野の論文を取り上げることも排除しませんが、担当教員が歴史学を専門とする関係上、取り上げる論文は歴史学に関わるものが中心となります。数多くの歴史学関連の学術論文を目にする中で、学問としての歴史学とはどういうものか、そしてどのような方法で研究すべきなのか、という点についても自ずと理解することになるでしょう。これから踏み入れることになる学問の世界に、皆さんが着実な一歩を踏み出せるようにすることがこの授業の狙いです。</p> <p>【学術分野】 歴史学 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型</p>			
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	歴史学、学術論文				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31682	火 1	バーナード・マンデヴィル『蜂の寓話』 (Bernard Mandeville, The Fable of the Bees) を読む。	徳盛 誠	留学生相談室	119 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 十八世紀前半のロンドンで書かれた奇書『蜂の寓話』を読む。「私人の悪徳こそ公共の利得」という挑発的な副題をもつ本書は、真面目とも不真面目ともつかぬ口調で、経済的繁栄、道徳、社会、欲望、等々に関する人びとの常識に思わぬ観点から揺さぶりをかける。経済学も社会学も心理学も学として成り立っていない時代に書かれ、後年、それら諸学に大きな刺激を与えたこの本は、どんな学にも属していない。その意味で、教養学部時代にこそ手に取るのがふさわしい古典である。</p> <p>授業の目標としては、まずは書物をじっくり読むことを身につけること、さらに報告と討議を通じて、この本の中から各人がそれぞれの「問い」を見つけ、その探究を、論文というかたちにする経験を行うことである。</p> <p>【学術分野】政治 経済 社会・社会思想史 文化人類学 哲学 心理・教育学</p> <p>【授業形態】文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	マンデヴィル、蜂の寓話、社会、経済、欲望				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	<p>書名 蜂の寓話—私悪すなわち公益 (新装版)</p> <p>著者(訳者) バーナード・マンデヴィル (泉谷治)</p> <p>出版社 法政大学出版局</p> <p>ISBN ISBN978-4-588-14015-0 C1310</p> <p>次の参考書を使用する。</p>				
ガイダンス	<p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』</p> <p>著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31683	火 1	紛争と介入をめぐる諸問題	岡田 晃枝	国際関係	KALS
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 現代の国際社会が直面するさまざまな問題のうち、紛争と介入をめぐる諸議論をとり上げ、文献を読み、批判的に検討しながら、学術的な論文の書き方と議論のあり方を学ぶ。主観的・直感的に「正邪」を議論するのではなく、事実関係を整理し、既存の議論をふまえた上で、「自分の」議論を説得的に展開できるようになることがこの授業の目標である。</p> <p>【学術分野】国際関係</p> <p>【授業形態】ディシプリン+文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	紛争、軍事介入、人道的介入、和解、保護する責任、平和構築				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	その他 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』上記以外の参考文献は授業中に指示する。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31684	火 1	アベラール書簡集を読む	源河 達史	法学部	120 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 ヨーロッパ中世の恋愛文学として名高いアベラールとエロイーズの書簡集から、アベラールの半生を綴った自伝的書簡を取り上げ、様々な方法で読み解くことを試みる。一つの著作を複数の観点と異なる方法で読む実験をしてみたい。また、同書簡集の真偽を論じる幾つかの論文（英文）を読み、テキストを批判する方法をも考えたい。共通のテキストとしては日本語訳を用いるが、適宜英訳を併用する。原書（ラテン語）を読むきっかけとなることを期待する。また、翻訳を読むという行為の意味を考えてみるのも面白いかもしれない。</p> <p>【学術分野】 法・政治 歴史学</p> <p>【授業形態】 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	テキスト批判、史料批判、中世、歴史				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	<p>書名 アベラールとエロイーズ 愛の往復書簡</p> <p>著者（訳者） 杓掛良彦、横山安由美</p> <p>出版社 岩波文庫</p> <p>ISBN 978-4003211922</p> <p>次の参考書を使用する。</p> <p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p>				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31711	木 2	斎藤茂吉『赤光』精読	品田 悦一	国文・漢文学	517 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 近代短歌史上の金字塔『赤光』を分担して精読し、茂吉という歌人の虚像を斥け、実像に迫る。</p> <p>【学術分野】 国文・漢文学</p> <p>【授業形態】 ディシプリン型、文献批評型</p>				
成績評価方法	発表の出来映えと討論における発言を総合して成績評価を行なう。ただし、発表が不首尾だったなどの理由で補足レポートの提出を希望する場合は、これを妨げない。				
授業のキーワード	斎藤茂吉、赤光、短歌、異化、万葉調、写生				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	<p>書名 『赤光』</p> <p>著者（訳者） 斎藤茂吉</p> <p>出版社 新潮文庫</p> <p>ISBN 978-4101494210</p> <p>その他 「私選茂吉秀歌 500 首」を配付する。</p>				
ガイダンス	授業中に指示をする。 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31712	木 2	駒場の歴史を歩く	田中 創	歴史学	518 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 駒場キャンパス内外にある歴史的モニュメントや遺構をきっかけとして、東京大学駒場キャンパスとその前身である旧制第一高等学校の歴史および渋谷・目黒・世田谷といった周辺地域の歴史を調べる。最終レポートでは、単に細かな地域史の調査で終わるのではなく、日本や世界の歴史のなかに駒場および周辺地域の歴史を位置づけることを目指す。</p> <p>授業内の報告発表の準備を通じて、過去の研究文献を探し出し、自分なりの関心・問題を設定するための基礎的な方法を身につける。また、レジюмеとパワーポイントを使った口頭発表を通じて、自分の意見の伝え方を訓練するほか、参考文献・脚注を伴う最終レポートの作成を通じて、学術論文の基本的な要素・作法を学ぶことを目指す。</p> <p>【学術分野】 歴史学</p> <p>【授業形態】 ディシプリン型、文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と最終レポートで判断する。				
授業のキーワード	歴史、日本史、第一高等学校（一高）、駒場、東京大学、教育史				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31713	木2	資料から考える歴史 —「東洋文庫」と「大航海叢書」を読む	岡田 泰平	歴史学	117 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 およそ全ての学術において、①研究書・研究論文を読む、②自分自身固有の「問い」を立てる、③調査をする、ということとは共通しています。この①～③を何回も何回も繰り返し、④「問い」への自らの「答え」を見つける、ということも共通事項でしょう。</p> <p>ただし、このような流れはあくまでも基本であり、これだけでは自由な思考をすることはできません。とりわけ歴史学においては、既存の研究を読むだけでは、十全な「問い」を立てることはできません。大学教員であれ、学生であれ、院生であれ、その人にとって意味のある「問い」を立てることは極めて重要です。そしてどのような「問い」を立てるかは、本質的に自由です。ただしこの自由は、ただ与えられるものではなく、学ぶという苦しいプロセスの後に、意味のある「問い」を立てることによって、跡付け的に実感できるものです。</p> <p>そこで、この初年次ゼミナールでは、なるべく皆さんの自由を確保する形で、それぞれの思考を深めていってもらいたいと思います。まず、「東洋文庫」(850点程、平凡社)、「大航海叢書」(42点、岩波書店)から、一つの文献(一冊～複数冊)を選びます。そして、その文献が書かれた時代や地域について調べ、さらには当該の文献に関わる二次文献を探し出します。それぞれについて発表をし、最終的には、当該文献の扱い方についての論文を書きます。</p> <p>なお、私の能力の限界もあることから、なるべく東南アジア関係のものを中心にできればと考えています。</p>				
成績評価方法	【学術分野】歴史学				
授業のキーワード	【授業形態】文献批評型				
教科書	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
参考書	一次資料、二次資料、東南アジア、古代～近代、「東洋文庫」、「大航海叢書」 教科書は使用しない。 次の参考書を使用する。				
ガイダンス	『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 書名 東洋文庫ガイドブック 著者(訳者) 平凡社東洋文庫編集部 出版社 平凡社 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31714	木2	イメージ世界の歴史学 —動物イメージを題材にして	池上 俊一	フランス語・イタリア語	118 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 さまざまなメディアが発達した今日、私たちは溢れるイメージに囲まれて生きている。そしてそれらによって、行動や価値判断が左右されがちだということにも気づいている。それでは、こうしたイメージの世界と歴史的現実とはいかなる関係があるのだろうか。本授業では、フランスで生まれた「新しい歴史学」の大きな成果であるイメージ世界の歴史学の手法を学びながら、歴史の中の動物イメージの意味と機能およびそれらの変遷を、参加学生による報告・討論をつうじて考えていきたい。報告する学生には、イヌ、ネコ、ネズミ、キツネ、オオカミ、ライオン、シカなど、好きな動物を1つ選び、絵画・彫刻、小説・詩、年代記・日記、神話・伝説、儀礼・慣習、夢などの「史料」からその動物イメージを探し出して、時代・地域の文脈の中で解釈を試みてもらう。時代と地域は大きく取っても、小さく限定してもかまわない。</p>				
成績評価方法	【学術分野】歴史学				
授業のキーワード	【授業形態】ディシプリン型				
教科書	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
参考書	新しい歴史学、イメージ、動物 教科書は使用しない。 次の参考書を使用する。				
ガイダンス	『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 書名 中世幻想世界への招待(河出文庫) 著者(訳者) 池上俊一 出版社 河出書房新社 ISBN 430941172X 書名 熊の歴史 著者(訳者) ミシェル・パストゥロー 出版社 筑摩書房 ISBN 4480858075 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31715	木2	功利主義を考える	井上 彰	社会・社会思想史	119 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 功利主義について日本では、弱者切り捨ての思想であるという見方に代表されるように、多くの誤解に満ちた言説にあふれている。かたや、分析哲学・倫理学において功利主義は影響力があるのみならず、依然として有力視されている立場である。その理由は、功利主義がもつ論理一貫性と循環論法に陥りにくい道徳・正義構想としての説得性にある。本演習では、アカデミックな作法を学ぶ観点から、論理一貫性と説得性の両面をあわせもつ功利主義について、その基本的文献の購読を通じて学習する。</p> <p>【学術分野】社会・社会思想史 【授業形態】文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	功利主義、論理一貫性、分析哲学・倫理学、政治哲学				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31716	木2	法の学び方を学ぶ	若狭 彰室	法・政治	120 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 国際法及び国内法を対象として、文献読解及びグループによる調査と報告を通じて、大学における法の学び方を実践的に身に付けることを目的とする。具体的には、教科書と論文の違い、論文/判決の読み方と要約の方法、調査・研究報告の進め方などが授業において扱われる。扱う文献は、国際法の解釈論の論文を中心とするが、他の国内法分野のものも受講生の興味に応じて対象となり得る。調査・研究報告は、国際法・憲法・民法などの法分野につきグループを形成し、『○○法の論点』シリーズや『判例百選』等に基づき、受講生が自らの関心に応じて任意の論点を取り上げて行うものとする。その上で、小論文を各個人が執筆する。</p> <p>【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型、文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	法学、国際法、憲法、民法				
教科書	授業中に指示をする。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ3 1年 文一二(8,12,14,17)文三(10,12,14)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31685	火3	「名所」の今昔	田村 隆	国文・漢文学	KALS
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 江戸時代に、江戸や京都などの「名所」を解説する「名所図会」のシリーズが編まれた。そこでは『源氏物語』や『伊勢物語』などの古典も引用される。この授業では「名所図会」を手がかりに古典から現代までの「名所」の変遷を追ってみたい。たとえば「隅田川」を例にとれば、本郷から隅田川へ続く「言問（こととい）通り」は『伊勢物語』の「いざ言問はん都鳥」に由来するし、お台場を走る「ゆりかもめ」の命名も元をたどれば「都鳥」に行き着く。「名所」の歴史をたどることを通じて、今の街の姿を再考し、あわせて古典に対する理解を深めるきっかけにしてほしい。</p> <p><b>【学術分野】</b> 国文・漢文学</p> <p><b>【授業形態】</b> 文献批評型 時にフィールド型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	名所、名所図会、古典、都市、景観、地図				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31686	火3	心の進化：ヒトはなぜ人間になったのか	岡ノ谷 一夫	心理・教育学	120 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標】</b> 資料を読み解き独自の視点を表現する方法を学ぶ。</p> <p><b>【学術分野】</b> 心理・教育学</p> <p><b>【授業形態】</b> 講義、反転講義、発表、討論などを行う。</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する				
授業のキーワード	行動学、コミュニケーション、動物心理学、脳科学、認知科学				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	<p>書名 脳に心を読む 著者（訳者） 岡ノ谷一夫 出版社 青土社 ISBN 978-4791770076</p> <p>次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学 初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 初年次ゼミナール文科運営委員会・教養教育高度化機構初年次教育部門 書名 つながりの進化生物学 著者（訳者） 岡ノ谷一夫 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4255006956</p>				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31687	火3	国際法の視点から現代の国際的 課題を分析する	キハラハント 愛	法・政治	K201
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 世界は今、紛争の形態の変化、テロリズム、増える難民、安全保障制度の変化、気候変動など、様々な課題を抱えている。これらの課題について、法的な観点から考察し、その作業を通じて、文献の批判的な読解、学問的な「問い」の立て方、「問い」への答えの追求の仕方、批判的かつ建設的なディスカッション、研究の過程・結果の報告や論文執筆の方法を学ぶ。</p> <p><b>【学術分野】</b> 法・政治</p> <p><b>【授業形態】</b> ディシプリン型 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	国際法、国際的課題、紛争、難民、人権				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31688	火 3	「グローバル化」における 「不平等」と「貧困」を考える	中西 徹	経済・統計	117 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 「グローバル化」が進む中、ピケティやハラリが指摘したように、地球規模での「不平等」と「貧困」の問題が深刻化しつつある。この授業では、この問題を様々な観点から考察したい。</p> <p>【学術分野】 経済・統計</p> <p>【授業形態】 ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	グローバル化, 不平等, 貧困				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31689	火 3	考古学研究入門	福田 正宏	文学部	119 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 歴史研究の意義を実践的に学び取るとともに、考古学の基礎的な考え方や考古学的資料の扱い方を身につけることを目指す。考古学を含む歴史学で今、論点となっている諸問題に関して討議を行い、歴史研究における問題設定の仕方や学問のパラダイムを理解する。途中、駒場キャンパス内の駒場博物館と埋蔵文化財調査室において、国内外の考古資料を実際に観察・分析する。ここでは、文化財の保存・公開に関する実際を知るとともに、資料から情報を引き出してまとめる考古学の基礎的な手法を学ぶ。客観的なデータの提示と、そのうえでの課題設定、理論構築を経て、結果を発表する、という研究プロセスを体験することができる。</p> <p>【学術分野】 歴史学</p> <p>【授業形態】 ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	考古学、人類史、論争・学説、遺跡、遺物				
教科書	プリントを配布する。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31717	木 3	近世東アジア思想入門 —朱熹『大学章句』を読む—	高山 大毅	国文・漢文学	118 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 朱熹『大学章句』を室鳩巢『大学章句新疏』に従い、熟読玩味することで、朱子学の思考の型を理解することを目指します。高校の教科書などの朱子学の説明からは、古めかしい抑圧的な思想といった印象しか持てないかもしれませんが、朱熹らの著作を実際に読んでみると、朱子学が、数百年にわたって東アジアの多くの知識人を魅了するだけの力を持った強靱な思想であることが見えてきます。朱子学の議論は、現代日本社会の一般的な思考とかけ離れていることも少なくないので、この授業を通じて、未知の秩序を有する不思議な異世界に迷い込むような経験ができるのではないかと思います。</p> <p>返り点・送り仮名のついた江戸時代の版本を用いて、中国語による直読ではなく、訓読で読んでいきます。漢文で書かれた注釈にしたがい、漢文を訳読してもらい、各回の報告担当者の解釈の是非を議論します。注釈者の問題関心を内在的に把握できているかが問われます。</p> <p>小論文では、授業内容を踏まえて、現代の研究者の朱子学の概説を論評してもらう予定です。</p> <p>朱子学は、近世東アジアの知識人の共通の教養となっているので、思想だけでなく、文学や歴史に関心のある人にとっても得る所は大きいでしょう。</p> <p><b>【学術分野】</b> 国文・漢文学 <b>【授業形態】</b> 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	朱子学、思想史、漢文、中国思想、日本思想				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31718	木 3	テクノロジーと社会の未来について考える	鈴木 貴之	哲学・科学史	117 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> テクノロジーの急速な発展によって、社会は大きく変貌しています。テクノロジーによってわれわれの生活は便利なものになりますが、その反面、さまざまな新たな問題も生じています。この授業ではバイオテクノロジーや情報テクノロジーなど、現在も発展を続けるテクノロジーの現状と今後の見通しを概観し、それらにはどのような長所と短所があるのか、社会は新しいテクノロジーをどのように扱っていけばよいのか、といった問題について考えていきます。</p> <p><b>【学術分野】</b> 哲学・科学史 <b>【授業形態】</b> ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断します。				
授業のキーワード	科学技術論、バイオテクノロジー、人工知能、ロボット				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	書名 『100年後の世界—SF映画から考えるテクノロジーと社会の未来—』 著者（訳者） 鈴木貴之 出版社 化学同人 ISBN 978-4-7598-1676-1				
ガイダンス	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31719	木 3	文化人類学の考え方 —民族誌的想像力を養う—	箭内 匡	文化人類学	120 教室
<p><b>授業の目標・概要</b> 【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。 【この授業の目標・概要】 文化人類学はフィールドワークという作業を最も重視してきた学問の一つとして知られる。調査対象の現場に自ら参加しながら長い時間を過ごし、その中で、その現場独特の、物事の生きられた連関——それは大抵、最初に予想していたのとは全く異なっている——がしだいに理解できるようになる。人類学者がこうしたフィールドワークの成果を一つの著作としてまとめたものが「民族誌」である。文化人類学はともかくとして、民族誌を読むことは、物事を地に着いた形で考える習慣をつけるトレーニングになるだろう。 この授業では、各自の興味関心に従って、この民族誌と呼ばれるジャンルの著作の面白さや奥深さを発見し、自分なりの仕方ですそれを掘り下げてもらいたいと思う。文化人類学者による民族誌は、かつてのいわゆる「未開社会」の研究にとどまらず、今日では様々な現代的テーマをカバーしているので、取り上げうる素材には大きな広がりがある。大事なことは、民族誌を読む中で、物事を地に着いた形で考える能力を養うこと、言い換えれば、一般的言明の向こうにある具体的現実をしっかりと想像する力を養うことである。研究テーマによるが、可能であれば、「フィールド」を経験してみてその感覚をより確かなものにするのもよい。 授業の方向性としては、授業参加者が「研究」をなるべく実質的に、分厚く学ぶことを重視したい。あらゆる研究に言えることだが、「問い」と「答え」の間には様々な迷いがあり、行き来があり、揺れがある。一見無駄に見える、そうした動きの中にもこそ研究という営みの最も深い部分がある（このことは文化人類学では特に大事だが、しかし文化人類学に限ったことではない）——それを実感を持って理解できれば授業の成果はあったことになると思う。</p> <p><b>成績評価方法</b> 【学術分野】文化人類学 【授業形態】ゼミナール型（＋フィールド型） 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。</p> <p><b>授業のキーワード</b> 文化人類学、フィールドワーク、民族誌</p> <p><b>教科書</b> 教科書は使用しない。</p> <p><b>参考書</b> 次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 書名 『イメージの人類学』 著者（訳者） 箭内匡 出版社 セリか書房 ISBN 978-4796703734</p> <p><b>ガイダンス</b> 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>					
31720	木 3	映画と小説 —文芸映画から翻案映画へ	谷本 道昭	教養教育高度化機構	119 教室
<p><b>授業の目標・概要</b> 【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。 【この授業の目標・概要】 映画は 19 世紀末にフランスで誕生して以来、先行する諸芸術から多くの要素を貪欲に取り込むことによって自らを豊かにし、発展していった。数ある芸術ジャンルの中でも、映画は、現実あるいは非現実の事象を再現し物語るという共通点を持つ小説から、ストーリー、構造、話法などの着想を得てきたという歴史があり、古典映画の時代から現代にいたるまで、小説を原作とする映画の例には枚挙にいとまがない。しかし、小説を原作とするいわゆる「文芸映画」は、映画と小説をめぐるこれまでの議論においては、安易な発想にもとづいた二次的な創作物として軽視されることが多かった。近年、ある種の「文芸映画」が「翻案映画」として見直され、映画と小説をめぐる生産的な議論が新たに生まれつつあるのは、オリジナル（原作小説）とそのコピー（映画）という二項的な枠組みによらず、翻案行為そのものに意義や創造性を見出そうとするアダプテーション論の興隆に負うところが大きい。 本演習では、映画と小説の関係を論じた映画論・表象文化論の古典として知られるアンドレ・バザンによる論考を読み進めた上で、現代のアダプテーション論にも目を向けつつ、映画と小説の双方向から「翻案映画」にアプローチしていく。「翻案映画」の分析を通じて、映画と小説それぞれのジャンルの特性を理解していくとともに、映画と小説のあいだに何を読み取ることができるのか、考えていきたい。</p> <p><b>成績評価方法</b> 【学術分野】映像文化論・文学 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。</p> <p><b>授業のキーワード</b> 映画、小説、文芸映画、翻案</p> <p><b>教科書</b> 次の教科書を使用する。 書名 『映画とは何か』上巻 著者（訳者） アンドレ・バザン（野崎歎、大原宣久、谷本道昭訳） 出版社 岩波書店 ISBN 4003357817</p> <p><b>参考書</b> 次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p><b>ガイダンス</b> 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>					

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31721	木3	民族・宗教と紛争	鶴見 太郎	国際関係	517 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 今日の国際関係を占ううえで、民族や宗教にまつわる紛争の制御が依然として重要な課題であることは、昨今の難民問題やテロ事件に言及するまでもなく明らかである。 しかし、とりわけ国際関係を久しく賑わせてきたこうした紛争が、いかなるメカニズムによって発生し、いかに制御・解消できるのかについては、いまだ十分に解明されていない。そもそも論者によって各紛争の捉え方は大きく異なることが常であり、何が客観的で正しい捉え方であるのか判断に窮することも多い。その一因は、民族や宗教がすぐれて主観的な営みであることにある。この授業では、日本国内のものを含む世界の様々な事例を受講生が取り上げながら、人間社会の主要課題の一つである民族・宗教紛争の捉え方を学ぶ。そのことを通じて、人文・社会科学固有の対象である、曖昧さや両義性、主観と客観の不分明さがつきまとう事象への様々なアプローチ方法を体得することを目標とする。</p> <p>【学術分野】 国際関係、社会学</p> <p>【授業形態】 ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	民族、宗教、ディアスポラ、国際問題、ナショナリズム、エスニシティ				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
	書名	『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』			
	著者（訳者）	東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会			
	書名	ナショナリズム論・入門			
	著者（訳者）	大澤真幸・姜尚中編			
	出版社	有斐閣			
	書名	国際社会学			
	著者（訳者）	宮島喬・佐藤成基・小ヶ谷千穂編			
	出版社	有斐閣			
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ4 1年 文一二(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31690	火4	日本史研究の最前線	桜井 英治	歴史学	120 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 歴史学の方法は主に史料の分析と先行研究の検討の2つからなるが、本授業では後者の方法に触れ、その実践力を向上させることを目的とする。具体的には最近完結した『岩波講座日本歴史』全22巻所載の概説的論文のいくつかを読むことを通じて、高校の日本史とは異なる、日本史研究の最新の成果や議論に触れるとともに、あわせて学術論文一般の読み方・書き方を身につける。</p> <p><b>【学術分野】</b> 歴史学</p> <p><b>【授業形態】</b> デシプリン型 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	日本史、中世史、古代史、近世史、近現代史				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	<p>次の参考書を使用する。</p> <p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>書名 『岩波講座日本歴史』（全22巻）</p> <p>著者（訳者） 大津透・桜井英治・藤井譲治・吉田裕・李成市編</p> <p>出版社 岩波書店</p> <p>ISBN 978-4-00-011321-2～</p>				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31691	火4	哲学の古典を読む	山本 芳久	哲学・科学史	119 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 哲学の古典を原典に即しながら丁寧に読み解いていく力を身につけていくことを目標とします。具体的には、西洋を代表する哲学書の一つであるトマス・アクィナス(1225-1274)の『神学大全』を、日本語訳で講読します。テーマは「感情について」です。一人では読み解きにくい哲学書を読み解くための技法を、みなさんが毎日抱く具体的な「感情」という身近なテーマに即しながら説明していきます。</p> <p><b>【学術分野】</b> 哲学・科学史</p> <p><b>【授業形態】</b> 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	西洋哲学、倫理学、キリスト教、トマス・アクィナス、『神学大全』、感情				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	<p>書名 『トマス・アクィナス 肯定の哲学』</p> <p>著者（訳者） 山本芳久</p> <p>出版社 慶應義塾大学出版会</p> <p>ISBN 978-4766421712</p> <p>次の参考書を使用する。</p> <p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>書名 『トマス・アクィナス 理性と神秘』</p> <p>著者（訳者） 山本芳久</p> <p>出版社 岩波書店</p> <p>ISBN 978-4004316916</p>				
ガイダンス	<p>その他 『神学大全』の日本語訳のコピーを配布する。</p> <p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31692	火 4	東京をフィールドワークする	田辺 明生	文化人類学	K501
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 この授業では、フィールドワークを通じて「問い」をたて「答え」を探求するための、文化人類学の基礎的方法を学んでもらう。受講生は自らの興味に基づいて「東京のいま」をとらえるための研究トピックを選び、それぞれフィールドワークを行う。まず自らのトピックについて文献調査を行い、フィールドワーク計画を作成する。その計画に基づいて、各自、参与観察やインタビューなどのフィールドワークを行う。そしてフィールドワークで得たデータを通じて、「問い」を立て直し、さらにその「答え」を導くことを試みる。</p> <p>【学術分野】 文化人類学 【授業形態】 フィールド型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	フィールドワーク、インタビュー、参与観察、文化人類学、東京				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える ―東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト―』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31694	火 4	現代民主主義の思想的問題	森 政稔	社会・社会思想史	114 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 民主主義とは何か、については高校の公民科教科書などで触れられ、一応は勉強したことになる。しかし、現代世界の政治で実際に民主主義がどのように作用しているのかを考えると、教科書的理解とはまるで異なることが生じているようである。このところ欧州での難民問題、排外主義的ポピュリズムの台頭など、民主主義をめぐる困難な問題が相次ぎ、さらに日本と韓国、中国など東アジアの国々における対立が深まっており、民主主義がこれらの問題に対処できるかどうかを深刻に問われるようになった。本年はそれらと関係の深い現代民主主義の関わるテーマを3つ設定する。</p> <p>1.近年の日本の政治状況を把握し、民主主義思想の視点からその問題や可能性を検討する。 2.ナショナリズムとは何か(ナショナリズムの理論と欧米やアジアにおける状況、ポピュリズムとの関係など)。 3.政治的コミュニケーション(ポピュリズムの多発とメディアの関係、政治教育の可能性など)。</p> <p>【学術分野】 社会・社会思想史 【授業形態】 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する				
授業のキーワード	政治的コミュニケーション、ナショナリズム、ポピュリズム、民主主義、多文化社会、経済発展と民主化				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える ―東京大学 初年次ゼミナール文科 共通テキスト―』 著者（訳者） 初年次ゼミナール文科運営委員会・教養教育高度化機構初年次教育部門 書名 変貌する民主主義 著者（訳者） 森 政稔 出版社 筑摩書房(ちくま新書)				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31699	火4	エピソード研究を通して人間理解を深める	大塚 類	教育学部	116 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> この授業では、質的研究のひとつであるエピソード研究論文を執筆することを通して、自分が世界や他者をどのように見て（認識して）いるのかと同時に、自分とは異なる他者の認識がどうなっているのかを知ることにより、自分自身も含めた人間理解を深めることを目標とする。</p> <p>教育学におけるエピソード研究とは、家庭・学校・会社・施設といったさまざまな日常生活の場に赴き、自分もその現場に身を置くなかで出会われてきた出来事を描写し、一つのエピソードとして考察するものである。現場のなかで様々に起こる出来事をどのように切り取り、どのように描写し、どのように考察するのかに、研究者の個性や力量が大きく現われる。</p> <p>ゼミの前半では、教育学におけるエピソード研究の論文を複数読むことにより、エピソード研究のひな型を学ぶ。エピソードの描写方法に関しては、小説なども参考にする。そのうえで、第1回フィールドワークを行い、各受講生が書いたエピソード（考察なし）を共有・検討する。ゼミの後半では、エピソードの分析・考察に焦点を当てる。論文・小説・マンガなどを事例とし、言葉・表情・ふるまいなどからその人物の心理や思考について推察する方法を学ぶ。そのうえで、第2回フィールドワークを行い、各受講生が書いたエピソード研究（考察あり）を共有・検討する。このエピソード研究をたたき台として、最終小論文を執筆することになる。こうした実践を通して、自分が経験したことを適切に言語化し、それを手がかりとして自己理解や他者理解を深められる能力を育むことを目指す。</p> <p><b>【学術分野】</b> 心理・教育学</p> <p><b>【授業形態】</b> フィールド型（文献講読も含む）</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	エピソード研究、臨床現象学、教育学、フィールドワーク				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
	書名 「読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—」				
	著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
	書名 エピソード教育臨床：生きづらさを描く質的研究				
	著者（訳者） 大塚類・遠藤野ゆり編				
	出版社 創元社				
	書名 施設で暮らす子どもたちの成長				
	著者（訳者） 大塚類				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31730	火 4	文学テキストの来歴を辿る	谷本 道昭	教養教育高度化機構	117 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 文学作品が一語一句そのままの形で残り続けることは稀であり、作者自身の意向や様々な外的な要請に従って、テキスト・作品のあり様が変わることが多い。ある作品が、文芸誌に掲載され、その後、書籍として刊行され、最終的に個人全集に収録されるとすると、書籍化を機に、また、書籍が版を重ねるたびにテキストに加筆や修正がなされるのが一般的であるし、ときには、作品の本質に関わる重大な変更が施されることもある。全集収録以降も、作品に手を加えることを辞さない作家もいる。その結果、ひとつの作品であっても、複数のバージョンが並存することになる。</p> <p>これまで、草稿から決定稿に至るまでのテキスト・作品の異同や変容については、生成研究やヴァリエーション研究といった、専門的な学問領域で論じられてきた。今日では、インターネットの普及、発展によって複数のバージョンへのアクセスが容易になり、テキスト・作品の来歴を辿る作業は、文学研究の基礎として欠かすことのできない工程となっている。時系列や創作のコンテキスト、掲載メディアの特徴などを注視しながらテキストの変容を追っていくことは、それ自体興味深く有益であるだけでなく、作品の理解、解釈に関わる重要な発見をもたらすこともある。</p> <p>本演習では、テキスト・作品の歴史を分析的に遡る手順を学んだ上で、日本語で書かれた著名作品を課題として取り上げ、雑誌掲載版(プレオリジナル版)、オリジナル版、決定版等を丹念に読み比べることで、古典として固定化されたテキスト・作品をできるだけ動的に捉えたい。よく知っているつもりのもので、これまでとは違った見え方をしてくれるはずである。課題作品は、『日本近代短篇小説選』(全六冊、岩波文庫、2012年)に収録された明治中期から昭和中期までの主要作家の短編作品から、学生と協議しながら選んでいく。</p>				
成績評価方法	【授業形態】 ディシプリン型 出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	エディション、バージョン、ジェネティック				
教科書	授業中に指示をする。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 書名 『日本近代短篇小説選』全六冊 著者(訳者) 紅野敏郎、紅野謙介、千葉俊二、宗像和重、山田俊治編 出版社 岩波書店 ISBN 4002011887				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31722	金 1	グローバル時代の地域文化研究： 自分の問いから始める	遠藤 泰生	英語	KALS
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 地域文化研究というきわめて複合的、複眼的な学術の入口に立つことを目標とする。当該地域の専門外国語を習得していない一年生に地域文化研究の方法論を習得してもらうのは難しいかもしれないが、「もの知り」の段階から「学術に触れる」段階までの思考の訓練を、共通の課題を読みながら積んでいく。最後は自分の関心を深め、地域文化研究の実践を経験してみることに授業は目的をおく。</p> <p><b>【学術分野】</b> 地域文化研究 (政治学・歴史学・文学・文化人類学・社会学を含む)</p> <p><b>【授業形態】</b> ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	民族、移民、国民、排外主義、ジェンダー、LGBT、共生、幸福、貧困、都市、市民社会、主権、民主主義、信仰、倫理、セクトと教会				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31723	金 1	アーレント『人間の条件』を読む	古荘 真敬	哲学・科学史	115 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 『人間の条件 (The Human Condition)』(1958年)において、ハンナ・アーレントは、「思考の欠如 (thoughtlessness) — 不用心な無謀さ、絶望的な混乱、陳腐で空虚になった『諸真理』の自己満足的な繰り返し」によって特徴づけられる「われわれの時代」の危機を見すえながら、われわれが人間であることの「条件」をあらためて検討しようとした。古代ギリシアから近代に至る西洋思想と社会のあり方の変遷の意味を独自の観点から考察したうえで、「人間の条件」そのものからの脱出を露骨に願望しはじめているように見える現代世界の無謀さを示唆する彼女の壮大な論考は、まさに、現代思想の古典の一つといえよう。この授業では、その論考の重要箇所を精選して検討しながら、われわれ人間のあり方の基盤について共にゆっくり考えることを試みたい。</p> <p>授業は、アーレントのテキストの講読演習という形式をとって展開する。だが、たんにテキストの解釈だけが目ざされているわけではない。目標はあくまでも、受講生各自が自分の問いを発見し、その問いを哲学的に展開していく最初の修練を重ねてみることである。</p>				
成績評価方法	【学術分野】 哲学・科学史				
授業のキーワード	【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型				
教科書	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
参考書	アーレント、人間の条件 次の教科書を使用する。 書名 『人間の条件』 著者 (訳者) ハンナ・アーレント 出版社 ちくま学芸文庫 ISBN 4480081569				
ガイダンス	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者 (訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31724	金 1	ガンディーを読む	井坂 理穂	歴史学	K301
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> この授業では、「インド独立の父」と呼ばれ、非暴力・不服従運動を率いた人物として知られる M・K・ガンディー (1869-1948) や、彼の周囲の人々が残した著作を読む。これらの著作の内容について考察するとともに、そこから同時代やその後のインドおよび世界の政治・経済・社会にかかわるさまざまな問いをたて、それらの問いに対する答えを出すためにどのような調査をすればよいのかを検討する。</p>				
成績評価方法	【学術分野】 歴史学				
授業のキーワード	【授業形態】 文献批評型				
教科書	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
参考書	歴史学、近代、インド、植民地支配、ナショナリズム 授業中に指示をする。 授業中に指示をする。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者 (訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
ガイダンス					
31725	金 1	法からみる世界と日本	北村 朋史	法・政治	K401
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 日本は、安全保障、領土問題、戦後補償、通商紛争、難民問題等、様々な国際的課題に直面している。こうした課題について検討する視点もまた様々あるが、この授業では、法的な観点からこれら課題について考察する。こうした作業を通じて、学問的な「問い」の立て方やそれへの取り組み方、また報告や論文執筆の方法を学ぶ。リサーチと報告は、3~4名程度のグループで行う。小論文は、各受講生がさらにリサーチを進め、個人で執筆する。</p>				
成績評価方法	【学術分野】 法・政治				
授業のキーワード	【授業形態】 ディシプリン型、文献批評型				
教科書	出席、報告および議論への貢献等の平常点、小論文で判断する。				
参考書	世界、日本、法、国際法 教科書は使用しない。 次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者 (訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
ガイダンス					

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31726	金 1	公法学の基本文献を読む	福岡 安都子	法・政治	117 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 最短ルートで目標に到着しようとするのではなく、テキストを精確に読み深く理解するという基礎の基礎から法学を学びたいと思う学生を対象に、公法学分野——国家と個人に関わる法律分野——の古典的な文献を読解し、討論する形で演習を行う。評価は、報告及び学期末のレポートのほか、各回の討論への貢献を基礎に行う。</p> <p><b>【学術分野】</b> 法・政治 <b>【授業形態】</b> 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	公法、国家、人権、法思想、比較法、精読				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

グループ5 1年 文一二(13,21,24-25)文三(5,8,20)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31693	水2	文章の心理学 ー読む・書く・測るー	椿本 弥生	教養教育高度化機構	K301
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 複雑さが増すこの社会において、さまざまな文章をきちんと読み、他人に伝わるように書き、書かれた文章の質を正しく評価することの重要性も増している。しかし一方で、日常的な行為である文章の読み書きや、入試など一生を左右しかねない場面での文章の評価をうまく行うには、例えば光背効果や系列位置効果に代表される多くの心理的困難があることが明らかになっている。</p> <p>この授業では、文章読解・産出・評価に関わる国内外の研究知見を参考にしながら、これまでも、そしてこれからも私たちの身近な存在であり続ける「文章」を研究する方法を習得する。具体的には、履修者各自で興味関心を活かした「問い」を設定し、「答え」を明らかにするための小規模な実験や調査を考えて実施してもらう。得られたデータを分析し、「問い」に対する「答え」を導いてほしい。</p> <p>文章の読み書きやデータ分析に自信がない人も、教員やTAが基本事項を講義・指導するため心配しなくてもよい。文章について学術的に考えてみたい人は積極的に履修してほしい。</p> <p>■目標 以上の概要をふまえて、以下の学習目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を研究するための問いを設定できる</li> <li>・問いを明らかにするための研究方法を設定できる</li> <li>・得られたデータを適切に分析できる</li> <li>・分析の結果を正しく読み取り、妥当な解釈ができる</li> <li>・討論や報告によって他者の学習に貢献できる</li> <li>・学術論文の構造をもった小論文を執筆できる</li> </ul> <p>【学術分野】心理・教育学 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型</p>				
成績評価方法	<p>出席、報告および議論への貢献等の平常点、小論文の3つの累積点数で評価する。</p> <p>a) 出席（振り返りシートへの記入と提出）：20点満点 b) 平常点（授業中の活動への参加）：30点満点 c) 小論文：50点満点</p> <p>注1）単位取得のためには、i) a～cの全てで60%以上得点していること、ii) 講義に2/3以上出席していること、の両方を満たすことが必要である。</p> <p>注2）特別な理由なく30分以上の遅刻・早退があった場合は、出席とみなさない。</p> <p>注3）平常点と小論文の評価基準（ループリック）は、授業内で示す。なお、適切なループリックを作成するために、小論文の仮提出を求める場合がある。</p>				
授業のキーワード	文章の読み方（読解方略）、文章はいかに書かれるか（産出モデル）、文章評価の揺らぎ、高次認知過程、メタ認知、データ分析				
教科書 参考書	教科書は使用しない。 次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える ー東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキストー』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 その他 その他の参考文献は授業中に提示する。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31695	水2	「おことば」からはじめる平成史	山口 輝臣	歴史学	K402
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 目標は、「おことば」に書かれた内容を丹念に調べることを通じて、歴史学の作法を体験すること。ここでの「おことば」とは、明仁天皇と美智子皇后の発言のことで、記者会見なども含める。</p> <p>【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	歴史学、史料、先行研究、平成、「おことば」				
教科書 参考書	教科書は使用しない。 次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える ー東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキストー』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 その他 その他の参考文献は授業中に提示する。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31696	水2	地域を調べる	梶田 真	人文地理学	K501
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標】</b> (1) 設定した問題に即して、必要な検討材料を自ら探し出し、分析していく能力を身につける、(2) 第三者に対して説得的な形で自分の主張を報告し、文章化する能力を身につける。</p> <p><b>【学術分野】</b> 人文地理学 <b>【授業形態】</b> フィールド型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する				
授業のキーワード	地理情報システム (GIS)、フィールドワーク、資料渉猟、地図、統計				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える - 東京大学 初年次ゼミナール文科 共通テキスト-』 著者 (訳者) 初年次ゼミナール文科運営委員会・教養教育高度化機構初年次教育部門				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31697	水2	日本の企業経営を考える	清水 剛	経済・統計	119 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> この授業では、この社会の主要なアクターのひとつとしての企業について、それがどのように経営されているのか、どのような問題があり、そのような問題にどのように対応すればよいのか、といった点を、主として経営学という分野に依拠して考えていく。</p> <p><b>【学術分野】</b> 経済・統計 <b>【授業形態】</b> ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	企業、経営、日本				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える - 東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト-』 著者 (訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31698	水2	人工社会を作ろう：マルチエージェント・シミュレーション入門	阪本 拓人	国際関係	E25 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> マルチエージェント・シミュレーション (MAS) と呼ばれるコンピュータ・シミュレーションの技法を使って、社会現象の理解を目指す授業である。MAS は、コンピュータの中に「エージェント」と呼ばれる多数の人工的な「生き物」を配置して相互作用をさせることで、いかなる集合的な秩序や動態が生成されるかを観察するシミュレーション手法である。個人や集団の間のネットワークの形成、市場での競争や独占、あるいは国家間の戦争や平和といった様々な現象を、コンピュータの中で実際に「作って理解する」ことを可能にする。</p> <p>この授業では、まず、既製のソフトウェアを使った実習を通じて MAS というツールを身につけてもらう。その上で、各々の学生が関心を持つ社会現象を、関連する先行研究も踏まえながら、MAS を使ってモデル化する作業を行ってもらう。そして、コンピュータの中に作られた各自の「人工社会」の観察・分析を通じて、当該の社会現象に対し、理解を深めたり新たな知見を得たりしてもらう。</p> <p>なお、本授業は文科系の初学者を想定しているため、MAS はもちろん、プログラミング等の知識・経験は前提にしている。</p> <p><b>【学術分野】</b> 社会科学全般 <b>【授業形態】</b> 実習型</p>				
成績評価方法	出席、実習への取り組み等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	学期末の小論文には、各自が作成した MAS モデルも添付してもらう。これも評価の対象である。				
教科書	マルチエージェント・シミュレーション、人工社会、社会科学、複雑系、エージェント、シミュレーション				
参考書	次の教科書を使用する。 書名 人工社会構築指南 著者 (訳者) 山影進 出版社 書籍工房早山 ISBN 978-4904701034				
ガイダンス	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える - 東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト-』 著者 (訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31727	金 3	日本語の「常識」を問い直す	矢田 勉	国文・漢文学	518 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 学術研究に第一に求められるものは「客観性」である。しかし、人間の思惟以前の存在を研究対象とする自然科学など以上に、人間の主観性とその産物を研究対象とする人文科学では、何によって客観性が担保されるのかが際どい問題として立ち起こってくる。ともすれば、単に広く人口に膾炙していること、何となく皆がそうだと信じ込んでいることが、客観性の根拠と誤解されることも多い。一方で、正しい科学的手続きの結果として明らかにされてきたことまでも無闇に疑うことは、研究の停滞を招くどころか、時としては思惟を「疑似科学」へと導きかねない原因にもなりうる。正しい研究の第一歩は、既存の知識がそのいずれに属するのかを正しく峻別する力である。</p> <p>「日本語」という対象は、日本語話者にとっては水や空気と同等のものであり、そのために、ただ何となくそのように信じられている、という事象も多い。科学的な論証手続きが求められる「日本語学」と、場合によっては主観的な物言いが許されている「日本語論」との境界線が分かりづらいこともある。日本語について考え直すことは、そうした、研究に関する基礎的スキルを身につけるのに恰好の訓練である。受講者には、それぞれ担当する日本語に関わる既存知識を再検討する中で、(日本語という) 日常不断に接する対象に対する捉え返し、先行言説の批判的再検討、新たな着眼点の発掘、研究成果を簡潔に分かりやすく伝える技法、といった諸能力の涵養も求められる。</p> <p>これらは、今後、いずれの研究分野に進むに当たっても必要な、「基礎体力」となるであろう。</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	日本語 日本語学 日本語論 客観的論証				
教科書	プリントを配布する。				
参考書	授業中に指示をする。				
ガイダンス	<p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』</p> <p>著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31728	金 3	情動の哲学	信原 幸弘	哲学・科学史	K402
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 情動が私たち人間の生において、じつは中心的な役割を果たしており、理性は情動の補佐役にすぎないのではないかという問題を考察する。とくに、情動と道徳や生きる意味、価値との関係に焦点を合わせる。</p> <p><b>【学術分野】</b> 哲学・科学史</p> <p><b>【授業形態】</b> ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	情動、道徳、生きる意味、価値				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	<p>書名 情動の哲学入門</p> <p>著者(訳者) 信原幸弘</p> <p>出版社 勁草書房</p> <p>ISBN 978-4-326-15450-0</p> <p>その他 2017年刊行</p> <p>次の参考書を使用する。</p> <p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』</p> <p>著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>書名 はらわたが煮えくりかえる：情動の身体知覚説</p> <p>著者(訳者) J・プリンツ著(源河亨訳)</p> <p>出版社 勁草書房</p> <p>ISBN 978-4-326-15439-5</p>				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31729	金 3	人間の心理と教育について	丹野 義彦	心理・教育学	120 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 人間の心理と教育について、各自ひとつのトピックを選び、それについて調べ発表する。以下の4つの基本的スキルを身につけることを目的とする。 4つの能力の養成：①調べる、②発表する、③討論する、④レポートを書く トピックは、心理学と教育学を中心にして、自分が興味のあるテーマを選んで良い。</p> <p>【学術分野】心理・教育学 【授業形態】ゼミナール型</p>				
成績評価方法	① 出席、②発表、③討論への参加、④レポートの4つを考慮して総合的に評価する				
授業のキーワード	人間の心理、教育				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31731	金 3	ひとり二役の論争：議論の交通整理	鍾 非	経済・統計	118 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 (文系も理系も) 大学で学ぶことは多々ある。政治・経済・社会・法律・哲学(以上、文系の一部)のいずれにおいても、ひとつの見方に対し、異なる角度から必ずや別の捉え方があり、有益な論戦はそこからスタート。たとえば、「円高 vs. 円安(経済)」「トランプ米大統領を巡る賛否両論(政治)」「個人主義か集団主義か(社会)」などなど、枚挙にいとまが無い。この授業は、正反対な考え(or 論争)について、数多くの実例を用いて深く考えてゆく。レトリックを使って言えば、議論の交通整理を体系的に行うこととする。理系・文系を問わず、様々な観点から自説を緻密に展開し、他者を納得させなければならない。その基本が、多岐にわたる議論を交通整理することである。普通、ひとりの人間には、ひとつの世界観(or 価値観)しかない。それがゆえに、特に二者択一を迫られると、ひとつの見方に対し、賛成(or 反対)するしかない。賛成(or 反対)する理由をいくら展開できても、自説の構造的弱点に気づかず、得てして「物事を一方的に論じられる」蛮力が身に付きやすい。惜しむらくは、向こう見ずな蛮力は無条件に論争に使うべきではない。常にひとつの世界観(or 価値観)にのみ基づいて物事を考えると、主張の方向性がはっきりするのは言うまでもない(論調が首尾一貫しているから)。ただし、一本調子の主張は永遠に勝ち続けられまい。それどころか、負けた後に、ノックアウトされたボクサーのように立ち直れない場合さえ少なくない。強過ぎた信念(≈負けん気)が生んだ悲劇だ。だから、世界観(or 価値観)にまったく縛られず、物事を百パーセント論理的に判断すべし。言い換えれば、正反対な主張の双方のあるべき姿を同時進行的に想像・整理することこそ、健全な論争の醍醐味。その意味で、筋の通った反対意見にも謙虚に耳を傾けられる柔軟な思考力と、それを支える広い心こそ、貴重である。ただ、「受動的」と言われかねぬ「聞く(or 聞かせる)」だけでは、物足りない。その柔軟な思考力と広い心を積極的に育成すべく、「ひとり二役」という論争の「リング」を作り出すのが、本講義だ。自分が心底嫌がることをも積極的に想像・整理することは、脳を「いじめる」ことにほかならない。「筋トレ」が筋肉をいじめその増強をもたらすのと同じように、「脳トレ」で脳をとことんいじめて「負けても倒れぬ」強靱なIDEAを手に入れよう。「文句なしの完勝、理路整然とした負け方にこだわる」のが、目標である。</p> <p>【学術分野】経済・統計 社会科学全般 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	基礎が大事。				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	授業中に指示をする。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31763	金 3	国籍とシティズンシップから移民社会を考える	伊東 直美	ドイツ語	K303
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> グローバル化が進むなか、世界各地で移民・難民排斥運動、外国人嫌いの風潮が高まり、極右政党が台頭しつつある。もはや我々の社会を考える際に、移民の存在を無視することは出来ない。移民と受け入れ社会での関係構築は古く、そして新しい問題である。その歴史的な連関性を検証することで、現代における我々の移民との共生の可能性を考察することを授業の目標とする。その際、シティズンシップの基本的な枠組みを理解し、これまでなされた研究を踏まえ、批判する方法を学ぶ中で、自身のテーマと「問い」を見出し、小論文を作成する。</p> <p><b>【学術分野】</b> 法・政治 国際関係 歴史学 <b>【授業形態】</b> ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	グローバル化、移民社会、国籍、シティズンシップ、ナショナリズム				
教科書	授業中に指示をする。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

グループ6 1年 文一二(9,18,20,23)文三(6,17,19)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31700	水3	名著で読む世界史	大塚 修	歴史学	120 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 歴史学における重要な作業の一つは、史料を正確に読解・分析し、それに基づいて論じることです。この授業では、歴史学研究で用いられる史料がどのようなものかを実際に体感し、それをどのような手法で扱い、分析していくのかについて学びます。具体的には、高校の世界史に登場する史料の中でも特に著名なもの（例えば『名著で読む世界史120』に収録されている書物）の中から各自興味のある史料を選び、その日本語訳を一定の分量、通読します。そして、関連研究の成果を参照しながら、史料の性格について考察した上で、その史料を通じてどのような歴史が書けそうか、について考えます。さらに、その成果について報告・討論を行い、小論文を作成する作業を通じて、自分の考えを論理的に発信する能力を向上させることを目指します。</p> <p><b>【学術分野】</b> 歴史学 <b>【授業形態】</b> ディシプリン型 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	世界史、史料、イスラーム、ヨーロッパ、アジア				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 書名 『名著で読む世界史120』 著者（訳者） 池田嘉郎・上野慎也・村上衛・森本一夫（編） 出版社 山川出版社 ISBN 9784634640634				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31701	水3	北輝次郎『国体論及び純正社会主義』（1906年） を読み、考え、議論し、書く。	岡本 拓司	哲学・科学史	517 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 多くの皆さんはまだ自分で問うには早い段階にあるので、まず何かを読んで理解するとはどういうことかを知っていただきたい。基本的な知識や姿勢が整わないうちに、勝手に見様見真似で問題を立てると、解きやすいものを解きやすい方法で解いて、なるべく他人を傷つけないような無難な結論に陥ることが多い。そうした癖が身に着く前に、自分の限界が試されるような文献に取り組む経験しておくことは、どういう進路を選ぶにせよ、有益である。そのために、十分な注釈や研究の積み重ねがなく、しかしある時代の若者が力の限りを尽くして書いた文献を材料として準備した。</p> <p><b>【学術分野】</b> 法・政治 社会・社会思想史 歴史学 哲学・科学史 <b>【授業形態】</b> 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。議論には積極的に参加してほしい。				
授業のキーワード	北一輝 天皇 社会主義 憲法				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	書名 北一輝思想集成（2005年刊行のもの。増補版でない方を用いる） 著者（訳者） 北一輝 出版社 書肆心水 その他 コピーやPDFを用意するので個人で入手する必要はないが、古本などで入手してもよい。				
ガイダンス	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31702	水3	社会史の世界	土屋 和代	英語	119 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 授業の前半では、アメリカ近現代史・西洋史を中心に、社会史が登場した背景、その射程、限界と可能性について基本文献を読みながら学ぶ。後半では、自らが設定した研究課題に関する文献を読み、批評する力、先行研究の整理の仕方、論の組み立て方、史料収集・解析の方法、注や参考文献の書き方を学ぶことで、論文を書くための方法を修得する。</p> <p>【学術分野】 歴史学 【授業形態】 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	歴史学、人種・エスニシティ、階級、ジェンダー、史料、問いの設定				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31703	水3	社会科学入門	西村 弓	法・政治	518 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 社会科学分野における、課題設定、プレゼンテーション、討論、論文執筆といった学問の基本的な技法の基礎を修得すること。</p> <p>【学術分野】 法・政治 【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	社会科学入門、法学入門、論文作成、国際法				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31704	水3	持続可能な開発について考える	岡田 晃枝	国際関係	K401
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 この授業では、国際社会が直面している地球規模問題群のうち、国連の「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に指定されたものについて、現状やこれまで（SDGs 制定以前含む）の国際的取組、その思想的背景など多角的に検討し、各自がこれらの問題に対するさまざまなアクターの取組について「問題」を設定して「検証」を行い、それを論文にまとめる。国際関係論や国際機構論、開発に関する学術論文だけでなく、国際機関の文書や報告書、資料の探し方や使い方についても学ぶことになる。また、文献から学ぶだけでなく、実務家を交えての議論も予定している。</p> <p>【学術分野】 国際関係 【授業形態】 ディシプリン+ケーススタディ型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	グローバル・ゴールズ、持続可能な開発のための2030アジェンダ、地球規模問題群、SDGs、MDGs、国際機関				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31732	金 4	文学の研究方法 ——日本の近代文学を題材にして	村上 克尚	国文・漢文学	115 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 このゼミナールでは、文学を研究するとはどういうことなのかについて考えます。題材は日本の近代文学ですが、ここで学ぶ方法は他の地域の文学研究にも応用可能だと思います。作品の語りの構造に注目して読む方法、作品発表時の歴史的・社会的な文脈に注目して読む方法、本文の生成過程に注目して読む方法など、文学作品に接近するための多様な方法について、段階を追って学んでいきます。</p> <p>【学術分野】 国文・漢文学 【授業形態】 文献批評型</p>				
成績評価方法	「出席、報告および議論への貢献等の平常点」(30%)と「小論文」(70%)で評価します。				
授業のキーワード	日本文学、文学研究				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 『大学生のための文学トレーニング 近代編』 著者(訳者) 河野龍也・佐藤淳一・古川裕佳・山根龍一・山本良編 出版社 三省堂 ISBN 978-4385365534				
参考書	その他 2,100円(本体価格) 次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31733	金 4	祖父母の体験に学ぶ昭和史	長谷川 まゆ帆	歴史学	117 教室
授業の目標・概要	<p>【共通目標】 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p>【この授業の目標・概要】 祖父母または曾祖父など、少し前の世代あるいはそれに準ずる人から体験を聞きながら、自分の知らない過去(昭和史)について学ぶ。彼(女)らの人生に昭和の時代や社会がいかなる影を落としているか、どのように影響しているかを探ってみる。時代背景をよく理解するとともに、2011年の震災や原発問題を祖父母がどのように感じ考え受け止めていたかを戦争体験とも比較しながら聞いてみるのもよし。こうした聞き取り調査を通じて、履修者自身が自分の知りえなかった過去に出逢い、疑問や謎、違和感や驚きをそこから見つけ出し、それについてさらに文献を使って調べ、自分なりの答えを導きだしていく。またその自分の考えたことを他者に伝え、それについての討論を経て自身の認識を広げていく。他の人に自分の考えを過不足なく伝えたり、対話していく技法を学ぶこともねらいの一つである。</p> <p>【学術分野】 歴史学 【授業形態】 フィールド型+ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	昭和史、聞き取り、戦争、記憶、体験、過去				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える—』 著者(訳者) 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 出版社 —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト				
ガイダンス	生きて帰ってきた男 著者(訳者) 小熊英二 出版社 岩浪新書 2015年 ISBN 9784004315490 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31734	金 4	言語哲学の問題と方法	藤川 直也	哲学・科学史	K402
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 参加する学生が、古典と言われる文献や当該分野の基本文献を読み解きつつ、そのディシプリンの手法や議論の系譜を知り、それについての批評や討論を通じて、アカデミックな「批判」のありかたを身につける。また、その過程をつうじて、自分なりの「問い」を導き出していくことを目指す。この講義では、まず、現代の言語哲学の基礎をなす古典的な文献を読み（各論文について、鍵となる例文を選び出し、その例文が提示する問題と、それに対する著者の解決をまとめるという作業を行う）、言語哲学の問題と方法について学ぶ。その上で、自ら設定した問題について言語哲学のアプローチをふまえた分析を行い、発表および小論文の形でまとめる。</p> <p><b>【学術分野】</b> 哲学・科学史 <b>【授業形態】</b> 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	言語哲学、言語学、意味論、語用論、論理学				
教科書	授業中に指示をする。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 書名 言語哲学重要論文集 著者（訳者） 松阪陽一編訳 出版社 春秋社 ISBN 978-439323106				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31735	金 4	データ分析入門	倉田 博史	経済・統計	118 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 教科書の輪読と各人の個人研究・プレゼンテーションを通して、データ分析の基礎事項を学び、統計資料からより効率的に情報を抽出するための知識と技能を身につけることを目指す。</p> <p><b>【学術分野】</b> 経済・統計 <b>【授業形態】</b> ディシプリン型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	個人研究・個人発表・自由研究、データ、統計資料、統計モデル				
教科書	次の教科書を使用する。				
参考書	書名 数学嫌いのための社会統計学（第2版） 著者（訳者） 津島昌寛・山口洋・田邊浩 出版社 法律文化社 ISBN ISBN978-4-589-03619-3 その他 但し変更もあり得る。ガイダンスで確定する。 次の参考書を使用する。				
ガイダンス	書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31736	金 4	イスラム教を通して世界を見る	菊地 達也	文学部	116 教室
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> イスラム思想、イスラム教徒、イスラム世界に関する複数の小論を読んで論じることで、多様なものの考え方に触れつつ、既成の概念を問い直し学問的に自説を展開するやり方を身につけることを目標とする。</p> <p><b>【学術分野】</b> 哲学・科学史 <b>【授業形態】</b> 文献批評型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	イスラム学、イスラム教徒、宗教研究				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。 書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』 著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31737	金 4	文化人類学入門	藏本 龍介	東洋文化研究所	K501
授業の目標・概要	<p><b>【共通目標】</b> 本誌「初年次ゼミナール文科の履修について」の頁を参照のこと。</p> <p><b>【この授業の目標・概要】</b> 文化人類学は、人間の具体的な生き方を通じて、「人間とはなにか」を問う学問である。そのためにフィールドに赴き、人間の諸活動（言語、宗教、政治、経済、芸術、法、開発、医療、教育など）に関するデータを収集・分析する。この授業では、こうした文化人類学的な関心および方法論を踏まえ、各自で設定したテーマについて文献調査・フィールド調査を実施し、それを論文としてまとめる訓練を行う。具体的には、個人で行う発表のほか、グループディスカッションや、ディベートの機会を設ける。こうした実践練習を通じて、①自らの主張を論理的な構造に基づいて発表する、②他者の発表を的確に批評する、③自らの主張の正当性を説得的に主張するといった技術を養うことを目的としている。なお、授業形態は「フィールド型」であるが、フィールド調査は必須ではない。逆に、フィールド調査を実施する場合でも、関連する文献調査は必須とする。</p> <p><b>【学術分野】</b> 文化人類学</p> <p><b>【授業形態】</b> フィールド型</p>				
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。				
授業のキーワード	討論、レポート作成、フィールド、発表技術				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	次の参考書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 『読む、書く、考える —東京大学初年次ゼミナール文科 共通テキスト—』</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養学部初年次ゼミナール文科運営委員会</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

## 初年次ゼミナール理科の履修について

初年次ゼミナール理科はクラス指定の必修科目である。クラスごとに指定されたグループ（各2曜限）に開講されている授業のうち、1授業を希望選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。本冊子とともに配布されたプリント「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。

第1回授業時には合同のガイダンスを行う。個別授業の教室とは別の教室で行われるので注意すること。各授業の開講される曜限で授業担当教員が授業紹介を行う。指定されたグループに割り当てられた2曜限のうち、履修を検討している授業の曜限のガイダンスに出席すること。

第2回授業時には、合同でサイエンティフィック・スキルに関する導入の共通講義を行う。教室は第1回のガイダンスと同様である。指定されたグループに割り当てられた2曜限のうちのどちらかで授業を受けること。

第3回目からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。UTASにて決定された履修授業と教室を確認すること。

この授業の教科書として『科学の技法—東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト—』がある。必要に応じて購入し、プレゼンテーション準備やレポート・論文執筆の際に参照すること。

また、初年次ゼミナール理科のウェブサイト FYS portal (<http://fye.c.u-tokyo.ac.jp/>) にてオンライン教材や教務情報、機材使用法等の情報を提供するので活用してほしい。また、ITC-LMS の初年次ゼミナール理科共通エリアで教材やお知らせを掲載することもある。

この授業に関する授業外サポートとして、21 KOMCEE West 地下のスペースでラーニングコモンズを開室し、アカデミックスキルに関する講習会やTAによる学習相談、自習機材の貸し出しを行う。開室時間等は FYS portal や UTAS 上で告知する。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ1	月4・水4	1年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)
グループ2	火1・木2	1年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)
グループ3	火3・木3	1年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)
グループ4	火4・金1	1年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)
グループ5	水2・金3	1年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)
グループ6	水3・金4	1年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

第1回・第2回合同授業教室：UTAS, FYS portal で告知します

## 初年次ゼミナール理科

グループ1 1年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)

グループ1 1年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31409	月4	身近な物理でサイエンス	松本 悠	教養教育高度化機構	K402
授業の目標・概要	<p>簡単な測定や実験データ整理・解析、ものづくり等を実際経験してもらい、試行錯誤や実験の難しさと計画性の重要性などを学んでもらいます。限られた材料・工具・時間の中で、自由な発想をもって、問題発見と解決方法・実験方法を自分たちで考察してもらいます。小グループに分かれ、議論による協調学習を通して、コミュニケーション能力を伸ばしてもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何かを研究する時に、何が分かっているか、何が分かっているのか、何が問題でどうやったら解決できるのか、自分の頭で考えることができるようになる</li> <li>・実験データの簡単な解析方法と、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に論じる力を身につける</li> <li>・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、サイエンスコミュニケーション能力の基礎を身につける</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 (この講義での個別の評価基準)				
授業のキーワード 教科書 ガイダンス	より良いデータ取得を目指して、独自性のある、コストパフォーマンスの良い、実験機の開発・改良ができたか 問題発見・解決型、データ解析型、物理、小実験、サイエンスコミュニケーション 教科書は使用しない。 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31411	月4	光は粒子か？電子は波か？	志村 努	生産技術研究所	シラバス参照
授業の目標・概要	<p>(授業の概要)</p> <p>普通の感覚では、光は波であり、電子は粒子である、と思うのが普通だろう。だが、デジカメの撮像素子、人間の目といった光の検出器は光子 (photon) の数を勘定することで光の強さを検出している。一方、特殊な電子顕微鏡を用いると、電子(electron)は光のように干渉し、干渉縞を作ることができる。光子や電子とはいったい何者なのか。波なのか、粒子なのか、それとも両方なのか。場面場面で姿を変えるのか。これらに関して文学的な言葉ではなく、物理の言葉で理解し、表現し、他人に説明できるようになることを目指して、自らの力で調べ、議論し、体験しながら理解を深めていく。どこまで理解すれば良い、という目標は設定しない。各自が自らの力で、またグループの協力により理解を深めてもらう。おそらく理解が進めば進むほど、さらに知らねばならない、考えねばならない事項が雪だるま式に増えてくる、ということに気付くであろう。教員と TA は最小限の方向性を示し、必要に応じてアドバイスを与え、相談に乗り、ともに議論する。</p> <p>(授業の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光子とは何か、電子とは何か、光や電子の波動性と粒子性とは何か、光を電子に変換して測定するとはどういうことなのか、等を、なにがしかでも正しく理解し、他者に説明できるようになる。</li> <li>・物理の現象を、文学的な言葉ではなく、物理の言葉で理解し、他者に説明できるようになる。</li> <li>・光子や電子とは何かということを考えることをきっかけにして、自力で幅広く物理学の理解を深め、周辺分野にも触手を伸ばし、必要となるスキル (たとえば数学など) を身につけていける能力を養う。</li> </ul> <p>(開講場所)</p> <p>駒場リサーチキャンパス (駒場 II) キャンパス内 生産技術研究所 総合研究実験棟 As 棟 中セミナー室 2 (As301・302) アクセスマップ <a href="http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html">http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html</a> キャンパスマップ <a href="http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html">http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html</a> 参照のこと</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード 教科書 ガイダンス	問題発見・解決型、応用物理学/光学、光子、物質と光の相互作用、光のエネルギー 教科書は使用しない。 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31418	月4	海を知ろう	黒田 潤一郎	大気海洋研究所	K302
授業の目標・概要	<p>本授業は、大気海洋研究所所属の教員 2 名のリードのもと、「海」について様々な側面から掘り下げて考える機会を提供します。「能動的」な学びの過程を通じて皆さんに「研究」の初歩を体験してもらおうことを目指します。海に関する予備知識は必要ありません。むしろ、海について学んだことのない方の履修を歓迎します。</p> <p>本授業で主に行うのは、調べる、まとめる、発表する、議論する、といった作業です。中でも、特に「議論」に重点を置きます。教員の発表を学生が聞く時間は必要最小限にし、学生が主体的に参加し進めてゆく授業となります。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード 教科書 ガイダンス	議論・調査・発表、海洋・物理・地学・化学・生物 教科書は使用しない。 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31427	月 4	数値流体力学による 航空機設計入門	今村 太郎	工学部	E25 教室
授業の目標・概要	<p>本講義の目標は以下の3点です。</p> <p>①航空機の翼型周りの流体解析を通じて、流体力学について学ぶと共に、航空機の空力設計を体験してもらいます。</p> <p>②最先端の数値流体力学コード（拙研究室にて現在進行形で開発中！）を利用方法を学びます。計算機/ソフトウェアの利用方法やデータ可視化/データ分析方法についても学びます。</p> <p>③2つの課題に対して、個人/グループでのアプローチを行ってもらいます。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、航空機、流体力学、計算科学、授業のキーワード3、授業のキーワード4				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31428	月 4	バーチャルリアリティ入門	檜山 敦	工学部	K301
授業の目標・概要	インタラクティブなバーチャルリアリティ体験をつくることを目標とする。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	ワークショップ、情報工学、バーチャルリアリティ、3Dモデル、音声の加工変換				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31429	月 4	化学工学を理解して、地球温暖化に挑む	脇原 徹	工学部	E35 教室
授業の目標・概要	<p>「持続可能な社会」を実現するためには地球温暖化問題を克服しなければならない。</p> <p>既に地球温暖化による影響は各所に見られるようになってきたが、依然として CO2 をはじめとする地球温暖化ガスの排出量は増え続けているのが現状である。危機的状況にあるといっても過言ではない。この問題に取り組むためには、特にサイエンス&amp;テクノロジーの役割は大きい。特に、“化学システム工学”がキーであり、本授業ではこれを学んでもらう。</p> <p>化学システム工学とは、化学を基盤に、地球、社会、環境、安全など幅広い視野からシステムチックに対象をとらえる学問である。現実を踏まえた幅広い視野から対象をシステムチックに深く探求する。このアプローチこそが、現実の問題解決への具体的なビジョンを示す可能性をもっている。</p> <p>この授業を通じて、地球温暖化は食い止めることが可能である、ということを理解してもらいたい。</p> <p>1年生の少人数クラスでの議論を通して、正解が明らかでない問題について考える力を養うことを目的とする。意欲のある学生を歓迎したい。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	地球温暖化、問題発見・解決型、エネルギー・環境、持続可能な社会、化学工学				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31477	月 4	都市における自然の恵みを考える	松下 範久	農学部	K201
授業の目標・概要	<p><b>【授業の概要】</b></p> <p>日本は、陸地面積の約3分の2が森林に覆われた自然の豊かな国です。東京大学の構内にも、古くから多くの樹木が植栽されて緑豊かなキャンパスを形作っています。私たちは、自然から様々な恩恵を受けていますが、日常生活で身近な自然の恵みを意識することは少ないかもしれません。本ゼミナールでは、私たちは自然からどのような恩恵を受けているのか、そうした恩恵を得るためにはどのように都市の自然を管理すればよいのか、そして今後、都市で良好な人と自然の関係を築くためには何が必要かなど、都市の自然とそこで生活する人々との関係に関するテーマを自ら設定し、論文の読解や駒場キャンパスでのフィールド調査、結果の取りまとめや発表、学生間の討論を通じて、自然科学研究の思考や方法を体験します。</p> <p><b>【授業の目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドサイエンスの魅力や面白さを理解する。</li> <li>・論理的に思考する能力を身につける。</li> <li>・自ら課題を発見し、解決のための方法を考える能力を身につける。</li> <li>・自分の考えを分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につける。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、農学/生態学、生態系サービス、都市生態系、フィールド調査、グループワーク				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31478	月 4	ワンヘルスと感染症を考える	芳賀 猛	農学部	K501
授業の目標・概要	<p>ワンヘルス (One Health) は、人、動物、環境は相互に密接な関係があり、それらを総合的に良い状態にすることが真の健康である、という概念です。グローバル化が加速し、世界的な人口増加の中、環境・食糧・感染症といった、人類共通の課題がクローズアップされてきます。このような課題の克服には、世界は一つ、健康も一つ "One World, One Health" の観点から、地球規模で、分野横断的なアプローチが求められます。</p> <p>この講義では、獣医学と農学国際の専門家が担当します。前半は日本の事情を中心に、後半は途上国の事情を中心に、ワンヘルスと感染症という観点から、動物や人類との関わりをトピックごとに考えます。講義の中では、現状を調査して課題についてグループディスカッションを行い、多様な意見を交換することで課題解決への糸口を探ります。</p> <p>講義の折り返し時点で、文京区弥生にある農学部キャンパスを見学する機会を設けています。ここでは、東大農学部の教授であった上野博士の忠犬ハチ公の臓器を教材に、犬の健康を侵すフィラリアを学んだり、農学部キャンパスにある世界動物保健機構 (OIE) のアジア太平洋事務所との協力を得て国際機関の役割を紹介し、テーマについての理解を深めます。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	「問題発見・解決型」、農学/獣医水産学、感染症、健康、食料、環境				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31396	水 4	数式の可視化・直感的理解・訴求力	齋藤 晴雄	物理	E25 教室
授業の目標・概要	<p>目標1 数式を含む定理、法則について可視化を用いた説明の能力を身に着けること</p> <p>目標2 定理、法則の意味を他者に分かるように伝える能力を身に着けること</p> <p>目標3 授業で取り扱わなかった定理、法則については、自分の理解のレベルが自分で判断できるようになること。</p> <p>高度情報化社会の中で、我々に求められる「知」の形が変化しつつあるということがしばしば語られています。一方、理系学問の骨組みであり、主要言語でもあるところの「数式」については、社会の中での受け取られ方にまったく変化が見られません。</p> <p>高度情報化以前も以後も、一般社会の中での「数式」は、まったく意味不明なものであり、敬遠すべきものの代表格とされています。一方、その意味を理解するものにとっては、「数式」には深い意味があり、物理では世界観の一部をなしています。しかし「数式」の意味を理解していると自負している「専門家」はともすれば、本来の意味を超えて使ってしまうがちで、それが再び一般社会での敬遠傾向を強め不信を招いているようです。</p> <p>このように、「数式」をとりまく状況は、社会の高度情報化の影響を今のところまったく受けていないように見えます。したがって、もし1年生の皆さんが、数式の意味を正確に他人に伝達する能力を身に着けたとすれば、それは今後の皆さんの人生にとって、大きな武器となる可能性があります。言い換えれば、AIでは代替できない仕事ができるようになる、ということです。</p> <p>この授業では、数学の定理や物理法則をテーマとして選び、それを他人に分かるように説明する方法を皆さんに考えてもらいます。その際「可視化」が重要な方法となりますので、多少のプログラミングが必要になります。もちろん「可視化」以外の視点も必要になるでしょう。</p>				
成績評価方法	遅刻、欠席は厳禁です。複数回の「達成度アンケート」を行います。これはテストではありませんので、回答内容が成績に影響することはありません。授業の性格上、学力的な達成度でなく、努力の度合いを評価します。				
授業のキーワード	原理解明・伝達型、「数学」「物理学」、定理、物理法則、可視化、プログラミング				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31423	水 4	食行動の分析に基づく ヘルスプロモーション	山本 則子	医学部	K301
授業の目標・概要	<p>本講義では、駒場学生の日常生活活動の中でも食行動にまつわる健康課題を特定し、改善策を報告書にまとめる。健康課題を特定するために必要な研究的アプローチの手法として、食行動・食事摂取実態を観察するための手法（観察・計量等の手法）と、一般的な社会調査の手法（既存データ分析、インタビュー調査、フィールドの参与観察、資源マッピング等）を組み合わせる。</p> <p>駒場学生の生活する環境の分析、及び解決策創出の過程を踏みながら、「学生の健康」が「キャンパス環境」に影響されていることを体感的に学び、また、健康総合科学の科学的手続きについて学ぶ。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、医学/看護学、健康、食行動、コミュニティ、学生生活				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31430	水 4	未来のエネルギーを考える	鈴木 雄二	工学部	K302
授業の目標・概要	<p>エネルギー問題の解決には、技術的な側面だけではなく、環境への配慮、経済、地域特性といった多方面からの検討が必要である。本ゼミナールでは、現実の社会問題にはこういった複雑な背景があることを理解しながらエネルギー問題の解決策や未来予測を行うことを通じて、問題解決能力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>まず、日本と世界のエネルギー事情を概観した後、(1)ガスタービン、エンジンなどのエネルギーの基盤技術、(2)自動車をめぐるエネルギー技術、(3)IoT デバイスに必要とされるエネルギーハーベスティング技術の3つのテーマについて学習する。これら基本的な仕組みや原理に関する学習の後、グループに別れ、研究段階の技術から実用化された技術までの調査を行い、調査結果のプレゼンテーションを行う。現状を把握した上で今後の課題を抽出し、将来展望を議論する。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、機械工学、エネルギーシステム、地球温暖化、エネルギーハーベスティング（環境発電）				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31431	水 4	モーションコントロール入門 ---ロボットや車両を上手に動かす科学	古関 隆章	工学部	K401
授業の目標・概要	<p>すでに高校の物理で習ってきたように、目の前のものから、天体に至るまで世にあるものは力学に関する物理法則にしたがって動いている。ニュートンにより提唱された力学の法則は数学的表現では、時間に関する二階の微分方程式の形をとり、ものをうまく動かすために、その微分方程式に基づく「動的な性質」を理解し取り扱うことが重要になる。ものの「動的な性質」に着目して対象をモデル化し、状態を計測し、リアルタイムに情報を処理して、入力をうまく決め、「思ったように物を動かす」一連の手法を制御という。ここでは、倒立振り子という、そのままでは倒れてしまうものを例題に、上手にものを動かすモーションコントロール=運動制御について、グループでの議論、数値計算、実験を通じて学び、数式に基づいて論理的に考えることの大切さを体験することを目的とする。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ 実験データ解析型、学術分野 工学/電気電子工学、ロボット、車両、動的システム、運動制御				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31432	水 4	化学で脳の謎を解く	平林 祐介	工学部	KALS（17号館 2階）
授業の目標・概要	<p>概要：「生命」は化学物質の変換を巧みに行い自律的に活動する複雑なシステムです。また「分子」はそれら化学物質の基本的な構成単位であり、その機能の発現において中心的な役割を担っています。生命や分子を「化学」の視点から眺め理解することは、我々自身やまわりの現象を深く知る上で欠かすことができません。</p> <p>私たちは「化学」の力を使い、「分子」をデザインすることで自らの創造力を具現化することができます。これによって天然に存在する分子を模倣したり、自然界には存在しない人工的な分子や素材を創り出したりすることで、これまでにない全く新しい機能を持たせることも可能になります。これらのアプローチは生命現象の理解や病気の治療法の考案など、人類社会が抱える数多くの問題を解決する糸口を提供します。</p> <p>本ゼミナールでは生命体が我々の脳に高度な機能を与えるためにとったストラテジーの解明や、脳の機能が異常を示した際（＝病気）の解決策について、化学や分子の視点から文献調査やディスカッションを通じて主体的に考えることを主眼にしています。最終的にオリジナリティの高い提案を行うことを目標に進めていきます。</p> <p>具体的には、ニューロン同士の結合パターンや、ニューロンの活動パターンなど脳が働くメカニズムを知るのに役立つ分子や、脳の病気の治療を目指せるような分子のデザインに挑戦します。脳の中でどのような分子が活躍しているのかを理解しながら、それらの分子を模倣したり改変したりすることで、世界でたった一つのオリジナルの分子をデザインしましょう。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、化学/生命科学、有機化学、脳神経				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31433	水 4	エネルギーと環境：人類社会の持続性 のための工学技術を考える	小林 肇	工学部	1109 教室
授業の目標・概要	<p>(授業の概要)</p> <p>地球温暖化の進行を緩和しつつ、社会の発展を維持するために十分なエネルギーの供給を続ける事は、一つの領域の技術や対策だけでは成し遂げることは出来ません。新たな技術オプションを創出して行くと共に、多様な技術群を結びつけ総体として最適に機能させるシステム思考的アプローチが必要となります。本ゼミでは、エネルギーと環境に関わる現行から最先端の多様な技術の小実験を行い、それら技術の基礎学理を学習するとともに、実験・データ解析・考察手法を習得します。さらに、そこで学習した知見と最新の技術動向を基に未来の新技术システムを自分たちでデザインし、持続可能性へ寄与する新たな方法論を提案・議論します。</p> <p>小実験では、具体的には火力発電、太陽光発電、風力発電、燃料電池、水素エネルギー、ヒートポンプ、二酸化炭素地中貯留、温度差発電、バイオエネルギー変換に関するそれぞれ基礎的な実験を行います。単に技術の原理を学習するだけでは無く、当該技術の現状を学んだり、課題を考察したりします。</p> <p>また、エネルギー・環境に関わる最新の動向を調査・学習し、課題を正しく把握する事を通じた上で、それらを解決する為の未来の技術システムをデザインします。システムとは、一つの技術をより良く機能させる方法論、または複数の技術を組み合わせたもの、あるいはある技術を中心としたビジネスモデルも含まれます。このデザインを小グループで独自に考案する事で、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につけます。</p> <p>(授業の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エネルギー・環境に関わる多様な技術を深く掘り下げて研究する事により、工学的な方法論や考え方を学ぶ。</li> <li>・ エネルギー・環境に関わる最新の動向、課題を正しく把握する事を通し、これからの学習・研究の基盤知識とすると共に、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につける。</li> <li>・ 実際に動作する装置を組み立て、実験する事により、問題解決能力を養う。</li> <li>・ 小グループで独自に調査、立案、検証、議論し、創造する楽しさを体験する。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決・データ解析型、工学、エネルギー、環境、データ測定と解析、小実験				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31465	水 4	ロボットオペレーティングシステム	加藤 真平	理学部	E35 教室
授業の目標・概要	自律移動ロボットや自動運転システムの開発に欠かせなくなっているロボットオペレーティングシステム (ROS) を用いたプログラミング演習を行います。講義の中で提供されるセンサーのデータを利用して、仮想空間上でロボットや自動運転車を動かしてみることににより、自律移動ロボットや自動運転システムに必要とされる要素技術を学びます。				
成績評価方法	作成したプログラムの提出とレポート評価。				
授業のキーワード	自律移動ロボット、自動運転システム				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31479	水 4	プラスチックと人類の共存を考える	岩田 忠久	農学部	K303
授業の目標・概要	<p>プラスチックは石油から合成され、熱により様々な形に成形加工でき、軽くて、丈夫で長持ちし、人類の生活を劇的に快適にした 20 世紀の最大の産物であるといっても過言ではありません。しかし現在、プラスチックの焼却に伴う二酸化炭素排出による地球温暖化問題、石油資源の枯渇、海洋マイクロプラスチックなどの環境破壊および生態系への影響などが世界規模の解決すべき課題となっています。本初年次ゼミでは、前半部分で、プラスチックの環境への影響とその解決について、「生分解性プラスチック」と「バイオマスプラスチック」の観点から一緒に考えます。</p> <p>後半では、プラスチックと同様に、石油から製造され、製品の利用には欠かせない接着剤を取り上げ、接着剤と環境を主要テーマとして、低炭素社会とバイオマス利用の観点から一緒に考えます。接着の技術は紀元前のエジプトから利用されています。しかし、その現象は未だに科学的に解明されていません。接着することはわかっていても、接着のメカニズムはわかっていないのです。地球上で植物によって固定される炭素は、エネルギー化して CO2 として排出されても問題はないはずですが、その炭素をより長く固定化することで、二酸化炭素の増加は食い止めることができると考えることもできます。粘接着現象を解明することにより、炭素の固定化にいかに関与できるかを一緒に考えます。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ「問題発見・解決型」、ポリマー（高分子）、生分解性プラスチック、バイオマスプラスチック、接着剤、環境保全				
教科書	プリントを配布する。				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ名2 1年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31398	火1	天然有機化合物の構造と機能を考える	浅井 禎吾	化学	K302
授業の目標・概要	<p>有機化合物の構造決定は、有機化学の最も重要なスキルの一つです。本ゼミナールでは、有機化合物の構造決定を題材として、研究に必要な論理的思考を養ってもらいます。自然界には多種多様な有機化合物が存在する。微生物や植物がつくり出す二次代謝物は、染料、香料、スパイス、薬に使われる。また、われわれ人類も他の生物と同様、多種多様な有機化合物の合成と代謝を行って生命を維持している。網羅的な解析が行われるようになると、膨大な未知化合物の存在が明らかになってきており、未知化合物の構造を決めるといのは、有機化学のみならず生命科学研究においても重要なスキルです。</p> <p>有機化合物の構造決定はNMRを主とするスペクトル解析により行います。推定構造を設定し、全てのスペクトル情報で矛盾がないか検証し、一義的に構造を導き出す過程は、研究推進能力を養うのに最適な教材と言えます。この授業では、序盤にNMRスペクトルの読み方の基礎を学び、また、演習を通して自ら化合物の構造を決められる力を養います。終盤ではグループごとに異なる天然有機化合物の生データを読み解き構造を導き出します。しかし、与えたスペクトルだけで決定できるとは限りませんので、どのような情報があれば構造が決められるかなども考えて頂きます。プレゼンテーションでは、構造をどのように導き出したか論理的に説明する能力とディスカッション能力を養って頂きます。</p> <p>また、グループワークでは、NMRスペクトル解析に取って代わる汎用性の高い構造決定法についてアイデアを出して頂き、発表してもらうことも予定しています。有機化合物の構造は決められるという感覚と分子を構造レベルで考える習慣は、様々な研究分野で役立つと期待しています。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、有機化学、有機化合物、構造決定、NMRスペクトル解析、生合成				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31408	火1	宇宙物理学・天文学の(最先端)研究に 挑戦してみる。	鈴木 建	宇宙地球	515 教室
授業の目標・概要	<p>受講生が自らの興味で以下のような内容に主体的に取り組み、発表していく形式を取ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.最先端の論文を読む。</li> <li>2.新たな問題を設定する。</li> <li>3.可能であれば解いてみる。必要に応じて数値計算を行う。</li> </ol>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	「問題発見・挑戦型」、宇宙物理学・天文学、力学、電磁気学、流体力学				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31416	火1	ヒッグス粒子のみつけかた	石野 雅也	素粒子物理国際 研究センター	E39 教室
授業の目標・概要	<p>古代ギリシャの哲学者たちが「万物の根源・原初的要素は何者か？」と問い、「土・水・空気・火」と答えた数千年前から、素粒子物理学は人類共通の興味の対象であり続けている。その深遠な問いに対する答えを見つけるために、研究者たちは実験的に検証をするための道具（加速器、検出器、計算機）の性能を向上させ続け、実験的データとして記録・解析し、新しい人類共通の知として成果をまとめ、再解釈してきた。</p> <p>この繰り返しにより、特に過去40年間、素粒子物理学の研究は急速な進歩を遂げ、素粒子の相互作用についての理解、初期宇宙に関する知見（科学的な推論を含む）を得てきた。「ヒッグス粒子の発見」は、2012年夏に成し遂げられた歴史的なイベントで、翌年、ノーベル賞が授与された。これをきっかけに、素粒子物理学は次の大きな問いに挑戦するスタートラインに立ったところである。</p> <p>これまでの素粒子物理学が理解してきた世界、そこで使われる道具の原理、今後どのような問いがあってどのようなアプローチをかけていくのか？授業中のやりとりを通じて、これらの事を理解し、また、それらのことが意外と少数の基本原則から理解できることを実感できる様になりたいと思う。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ（「対話型」）、学術分野（物理/素粒子物理）、(1) 科学的で論理的な問い 推測 検証、(2) 素粒子物理・初期宇宙の疑問、(3) 素粒子物理実験の原理				
教科書	授業中に指示をする。				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31426	火1	外科学入門	川合 一茂	医学部	E35 教室
授業の目標・概要	<p>外科学、特に当教室で扱っている大腸肛門疾患及び血管疾患に対する外科を題材として大きく2つのことを学ぶ。外科、という単に手術をする部署、というイメージがあると思うが、実際には基礎的な研究から疾患の予防・発見・治療まで、はば広い内容を持つ部門である。外科で扱う多様な業務内容の全体像をつかんでもらうことが1つ目の目的である。また医学においては実際の患者さんの治療を行うだけでなく、臨床から得られた様々な情報を解析し、論文の形にまとめることも重要な業務の1つである。そこで実際にこの作業を体験してもらい、医学研究を行うに必要な基本的な手法を身につけて貰うのがもう1つの目的である。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	スライドによる講義、医学/外科学、腫瘍外科、血管外科、医学研究				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31434	火1	環境の認知と空間デザイン	松田 雄二	工学部	K301
授業の目標・概要	<p>皆さんは、「自分は地図を読むことができない」とか、「慣れない場所だと迷いやすい」などと感じたことはありませんか。「自分は方向音痴だ」などと感じたことは、ありませんか。</p> <p>迷いやすい人もそうで無い人も考えてもらいたいのですが、ではなぜ、人によって迷いやすかったり、そうでなかったりするのでしょうか。私は建築の専門なので、「迷いやすいのは、環境が（自分にあわせて）きちんとデザインされておらず、適切な情報が発信されていないのが悪い」と考えます。問題は、環境のデザインのされ方なのです。</p> <p>私たちは、あたりまえですが環境の中に存在しています。これは、私たちが生きるために利用するすべての情報は、私たちが対峙する環境の中から取得されることを意味します。たどり着きたい場所になかなかたどり着けなかったり、迷ってしまったら、このようなことは、環境の中の情報を私たちが上手に利用できていないから発生します。</p> <p>この状況は、建築の設計者や都市構造の設計者などのデザイナーの立場からは、上述の通りきちんと環境がデザインされていないから発生する、とも考えられます。でも、環境はあまりにもあたりまえに私たちの目の前に存在するので、なにが「よくない/わかりにくい」デザインなのか、指摘することはそれほど簡単な事ではありません。</p> <p>この授業では、まず私たちがどのように環境を捉えているのかということについて、建築学や心理学などの分野で研究されてきた成果をもとに解説します。次に、それらの知見をもとに、私たちが「あたりまえ」のものとして感じている環境を見つめ直し、そこにどのような「意味」が隠されているのか、実際の環境を歩きながら考えます。</p> <p>引き続き、情報が環境に埋め込まれているという視点から身の回りの環境をじっくり観察し、目的とする行為に対し、環境がどのような情報を発しているか、既存の環境を改善する具体的な提案まで、検討することを目指します。</p> <p>本講義は、建築と環境のデザインに関わる内容ではありますが、デザインそのものは問題ではありません。本講義での到達目標は、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あたりまえ」の環境を、分析的な視点から観察すること</li> <li>・「あたりまえ」の環境から、特徴や問題点を見つけ出すこと</li> <li>・観察と分析の結果を、わかりやすくプレゼンテーションすること</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学/建築学、環境デザイン、フィールドワーク、プレゼンテーション				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31435	火1	体験で学ぶ電磁気学	関野 正樹	工学部	K303
授業の目標・概要	<p><b>【授業の概要】</b></p> <p>磁気浮上は、将来の高速鉄道への応用に関して注目を集めています。磁気による安定な浮上を実現する代表的な方法として、電磁力と制御技術の使用、超電導、反磁性効果などが知られています。電磁場を直接的に利用した現象である磁気浮上を通じて、目に見えない電磁場を体験的に理解することができます。本ゼミナールでは、科学おもちゃや、カエルを磁気浮上させた実験、超電導体など、様々な磁気浮上現象を題材として、磁気浮上の原理や、安定な浮上を実現する条件を考察します。磁場分布の測定も行い、電磁場を可視化することによって、理解を深めます。各回の講義のはじめに、電磁気学の初歩的な講義も行います。小グループに分かれて、グループ毎に題材を選んで理論的検討や実験を行い、その結果を発表します。電磁気学は、理科系の広い分野と関係しており、本ゼミナールで身につけた電磁気学の理解や、現象をモデル化する技法は、様々な場面で役に立つことが期待されます。</p> <p><b>【授業の目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの力で課題を定義し、それを解決するプロセスを体験する。</li> <li>・物理学の理論を、実際の問題の解決に活用するための応用力を養う。</li> <li>・現象の本質を抽出して単純なモデルで表現し、その振る舞いを考察する技法を身につける。</li> <li>・自分の考えをまとめて分かりやすくプレゼンテーションする能力を身につける。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学/電気電子工学、電磁気学、磁気浮上、小実験				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31436	火 1	材料科学の課題と先端的应用 (問題発見・解決型)	坂田 利弥	工学部	K201
授業の目標・概要	<p>&lt;授業の概要&gt;          これまで材料科学分野で未解決の課題や将来こんな材料があればといった課題設定に対して調査・議論することで教科書に載っていない問題や社会的意義についてまとめプレゼンテーションを行う。教員から設定された以下の3つのサブテーマに対し、その背景から問題の抽出や発展させるための研究方法などグループに分かれ調査・討議し、最終プレゼンテーションをグループごとに行う。</p> <p>&lt;サブテーマ&gt;          サブテーマ1「デバイスの未来を劇的に変える身近な材料」          ・半導体の集積化技術はシリコンに対して予想される原理的限界に到達しつつあります。半導体デバイスが今後進化し続けるためには、新しい優れた材料の開発が急務です。その鍵を握っているのが、皆に身近な「鉛筆」の中にあるカーボン系材料です。カーボン系の歴史的背景の調査や、鉛筆の電気伝導の測定・解析等を通して、それが応用されていくであろうナノテクノロジーの将来を考えたい。</p> サブテーマ2「生物に学ぶ機能性高分子材料」 ・人類は古くから自然や生物にヒントを得て材料を開発してきました。近年の分子生物学やナノテクノロジーの進展は生物の分子レベル・ナノレベルでの理解を大きく深めたため、生物模倣技術も新展開を迎えています。本サブテーマでは生物に学ぶ機能性高分子材料の開発例を調査した後、どのような未来材料が考えられるかを議論します。         サブテーマ3「ものづくりから考える健康診断」 ・糖尿病患者が合併症を引き起こさないためには日頃の血糖値を自己管理する必要があります。また、アレルギーの発症は乳幼児で最も高く、その検査には多くの血液を採取する必要があります。このような自身の健康状態を診断するために様々なテクノロジーを駆使したバイオセンサが使われ、金属、半導体、高分子といった特徴ある機能を持った材料が使われています。本サブテーマでは、ものづくりの視点に立って健康診断の現状と課題について議論したい。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、材料科学、ナノテクノロジー、バイオマテリアル				
教科書	プリントを配布する。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31437	火 1	システムダイナミクス入門	古田 一雄	工学部	E25 教室
授業の目標・概要	<p>システムダイナミクスは、多数の変数とその相互作用の数理的因果関係をグラフィカルな表現を用いてモデル化し、コンピュータシミュレーションによってシステムの動的挙動を解明する手法である。この手法は1970年代に人類の未来を予測したローマクラブレポート「成長の限界」で有名になり、以来、生態系や経済社会系などの複雑システムの解析手法として用いられている。本ゼミでは、主に力学系、生態系、経済社会現象などを題材に、システムダイナミクスによるシステムモデリングの基礎を修得するとともに、加えて各自が興味を持つ対象のモデリングを通じて応用力とシステム思考力を養う。</p>				
成績評価方法	出席、発表、発表会での質疑への参加、レポートに基づいて行う				
授業のキーワード	システムダイナミクス、システムモデリング、一般システム理論、シミュレーション、未来予測				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31489	火 1	薬学を支える基盤技術の役割と貢献	西田 紀貴	薬学部	K402
授業の目標・概要	<p>授業の目標、概要：新薬を開発するためには、少なくとも十数年に及ぶ研究期間と莫大な研究開発費を要します。創薬研究のプロセスは、探索研究、開発研究、臨床研究に大きく分類され、それぞれの研究段階において多くの研究分野が創薬を支えています。本授業においては、分子の細胞内動態・機能を明らかにする蛍光顕微鏡法、薬のターゲットであるタンパク質の立体構造を明らかにする X 線結晶構造解析や核磁気共鳴法、薬物が私たちの体内でどのような挙動を取るのかを明らかにする薬物動態を取り上げ、これらの技術が創薬においてどのような役割を果たしているのかを論文読解やグループワークを通して理解します。授業で取り上げる技術をはじめとする様々な創薬基盤技術の今後の可能性をグループで調査・議論し、プレゼンテーションを行います。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	情報収集・問題解決型、物理系薬学、蛍光顕微鏡法、X 線結晶構造解析、核磁気共鳴法、薬物動態				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31397	木 2	生命現象のモデル化と実験検証	若本 祐一	物理	515 教室
授業の目標・概要	<p>(授業の概要と目的)</p> <p>生物学の歴史を振り返ると、メンデルの遺伝の法則に代表されるように、現象を担う「もの」の実体が理解されるより前に生命現象自体の「こと」としての定量的関係や法則性がまず理解され、その背景原理の解明につながった事例が多くみられます。近年になり、計測技術の進展も相まって、生命科学の研究では、定性的な実験データだけでなく、定量的なデータが多く得られるようになってきています。その結果、これまで物理学で主に行われてきたような、理論モデルの予言と実験結果の厳格な定量比較により、モデルや仮説の妥当性を厳しく検証し「こと」としての生命現象の本質に迫る研究が実現しつつあります。</p> <p>そこで本授業では、グループワークや文献紹介、モデル構築や実験を通して、生命現象にみられる定量関係、定量法則について理解を深めるとともに、自ら新たな仮説をモデルとして表現し、その妥当性を評価したり、自ら仮説を検証する実行可能な実験を立案・実行できる能力を養うことを目指します。</p> <p>この授業の具体的な目標は以下のとおりです。</p> <p>(授業の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な生命現象にみられる定量関係、定量法則について理解を深める。</li> <li>・実験により明らかにされた生命現象に対し、その背景原理について自ら仮説やモデルを立てられるようになる。</li> <li>・自分の仮説を検証するための適切な検証実験を立案できるようになる。</li> <li>・自分のモデルをもとに、理論解析や数値シミュレーションなどにより、自ら結論や新たな予言を導くことができるようになる。</li> <li>・生命現象を「もの」の観点から知るだけでなく、「こと」として捉える観点を身につける。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、物理/定量生物学、モデル化、実験、仮説検証、グループワーク				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31402	木 2	ホルモンからヒトの行動を考える	坪井 貴司	生物	K401
授業の目標・概要	<p>(授業の概要)</p> <p>わたしたちの複雑な生命活動は、多種多様なホルモンが、環境変化に応じて、適切に血液中へ分泌されることによって調節されています。この多種多様なホルモンは、ごく微量で驚くべき作用をします。例えば、「恋」や「食欲」、そして「睡眠」もこのホルモンによって調節されます。</p> <p>本ゼミナールでは、ホルモンの生理作用やその生理作用を利用した先端医療への応用の可能性、そして生命倫理に関する課題について、各グループ内で討議を行い、その中で、仮説を設定し、そして結論を導き出し、その内容をゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。</p> <p>(授業の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題における目的や問題点を認識し、その解決のための手段を考えるという活動を行います。</li> <li>・仮説をたて、結論に至るまでに必要な科学的プロセスを考え、行動します。</li> <li>・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につけます。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物/生理学・神経科学、ホルモン、神経、内分泌、グループワーク				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 みんなの生命科学				
	著者（訳者） 北口哲也、塚原伸治、坪井貴司、前川文彦				
	出版社 化学同人				
	ISBN 978-4-7598-1811-6				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31412	木 2	建築の可能性	川添 善行	生産技術研究所	シラバス参照
授業の目標・概要	<p>例えば、古い中世の教会を訪れ、その空間に感動したとします。そのとき、私たちは言語を超え、時代を超え、宗教を超え、その「空間」の持つ意味と力を理解し、感動したのだと思います。</p> <p>空間とは、言語のようなもので、ある時代や、それを生み出した人の意思を、言語とは違うかたちで伝えるものなのだと思います。この授業では、空間が持つ力を理解し、それを生み出すためのトレーニングを行います。</p> <p>開催場所：生産技術研究所 S棟 1F108 室</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	建築、デザイン、空間、製作				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 空間にこめられた意志をたどる				
	著者（訳者） 川添善行				
	出版社 幻冬舎				
	ISBN 4344952464				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31438	木 2	社会インフラ構造物の計画と維持管理 ～橋梁と風力発電設備を例に	山口 敦	工学部	K301
授業の目標・概要	橋梁と風力発電設備を例として、社会インフラシステムの計画と維持管理について、学習する。橋梁は、国土/都市計画等から構造形式、コスト、環境影響、維持管理まで多様な観点から計画・架設され長期間にわたり供用される。多面的な検討に基づく橋梁の計画と維持管理を疑似体験し、考える。風力発電は再生可能エネルギーの中で最も注目されており、現在多くの計画が進められている。実際の計画において不可欠となる賦存量とコストの算定について、現実的なプロジェクトの計画を体験することにより学習する。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題解決型、橋梁工学、風力発電工学、橋梁モニタリング・維持管理、風力発電賦存量・コスト評価				
教科書	プリントを配布する。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31439	木 2	東京オリンピック 2020 から考える 環境問題と持続可能社会	片山 浩之	工学部	K302
授業の目標・概要	2020年に開催される東京オリンピックでは、前回のロンドン大会に引き続き、会場整備や運営において、環境問題や持続可能社会への配慮が特に重視されている。五輪期間中には、延べ1000万人にも及ぶ来場者が想定されており、短期間に東京圏が受ける環境ストレスを緩和する方策も求められている。本授業では、東京オリンピック2020を題材として、環境問題や持続可能社会に関する知見を収集し、課題に対する対策を立案することを目的とする。具体的なトピックとしては、大会メダルの原料として着目されている都市鉱山、トライアスロン会場となるお台場海域における雨天時水質汚濁、大会インフラ整備における気候変動・生物多様性への対応（2020年は温室効果ガスの削減目標年であるとともに、生物多様性に係る愛知目標の目標年）、オリンピックとESG投資・持続可能な調達との関係などが挙げられる。また、前回1964年東京オリンピックから現在に至る東京の環境の推移についても理解を深める。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学/都市工学・環境工学、環境問題、低炭素社会				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31466	木 2	量子情報技術を「正しく」理解する	村尾 美緒	理学部	E25 教室
授業の目標・概要	従来型の情報処理や情報通信の限界を超えるブレイクスルーの候補として、量子コンピュータや量子暗号、量子テレポーテーションなどの量子情報技術が最近注目を集めている。これらの量子情報技術は、量子エンタングルメントや量子測定など、日常の直感に反する量子力学の特性を情報処理や情報通信に利用したものであり、量子情報技術を「正しく」理解するためには、情報処理の観点を取り入れた量子力学の正しい理解が必要である。しかし、量子力学は一般にはなじみの薄い概念であり、報道などにおいても不適切な解説をたびたび見かける。本講義では、量子情報技術を「正しく」理解し、量子力学を習ったことのない人々にもわかりやすく正しく説明できるようになることを目標とする。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ（講義・演習・調査・発表）、物理学、量子力学、量子情報技術、量子計算、量子情報				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31467	木 2	生物はどこまで環境に適応できるか を考える	國枝 武和	理学部	516 教室
授業の目標・概要	(授業の概要と目的) 地球上には様々な生物が生息しており、それぞれの生物が独自の生存戦略を持って環境に適応している。生物が秘めるこうした多様な環境適応能力は、将来に渡って地球規模で危惧されている温暖化や砂漠化と言った環境変化や、宇宙などの新規環境への生命進出に資することが期待される。 本ゼミナールでは、生物の持つ環境適応能力・生存戦略に着目し、各グループごとにテーマを定め、生命の適応する環境にはどのようなものがあるのか、どのような生物が生息しているのか、適応する上で問題点は何か、それをどのように克服したらよいか/克服している例があるのか、生命の持つ制約は何か、等について文献調査、グループワークによる討議を経て、プレゼンテーションする。 最後は、上記の活動結果を踏まえ、温暖化や砂漠化に対する対抗策や宇宙等への進出に向けた提案を議論する。				
成績評価方法	(授業の目標)				
授業のキーワード	・自ら調べ、考え、発表するスタイルを身につける。 ・情報収集・分析、資料作成、プレゼンテーションの基礎を身につける。 ・グループワークでの討議を通じて、他者と共同で問題を解決できるようになる				
教科書	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
ガイダンス	問題発見・解決型、生物学/環境生理学、環境適応、多様性、宇宙 教科書は使用しない。 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31480	木2	福島放射能汚染を考える －農学的視点から－	益守 眞也	農学部	K303
授業の目標・概要	<p>概要</p> <p>2011年の福島第一原子力発電所事故により放出され福島県西部を中心に広く降下沈着した放射性物質は、8年経った現在でも様々な農林産物の生産・流通を妨げ、当該地域の農業復興を妨げる大きな要因となっています。</p> <p>本ゼミナールでは、この問題に関わる学術論文や報告書を収集・整理し、現在までに至る放射能汚染の状況変化と農林業への影響について学びます。さらに、土壌（農地）と林産物での放射性物質の挙動に関する科学的基礎知識を習得した上で、本問題の重要性と、社会経済、政策制度との関わりも含めて今後求められる放射能汚染対策について考えを進めていきます。本ゼミナールを通して、自然科学研究の思考や方法論についても理解してもらいます。</p> <p>事故以降、汚染地域での調査と放射性物質に関する研究室内での実験に携わってきた農学生命科学研究科の教員2人と大学院生が授業を担当します。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決すべき問題に対して主体的に情報を取りし自ら課題を設定する力を身に付ける。</li> <li>・グループによる課題設定、進捗状況の共有、プレゼンテーションの実施、質疑応答といった共同作業のスキル、またグループワークにおける主体的な関わり方を身に付ける。</li> <li>・自然科学の研究技法を通じた論理的思考法・批判的思考法、建設的な議論の組み立て方を身に付ける。</li> </ul> <p>成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>授業のキーワード 文献検索、グループワーク、農林業、土壌学、植物生理学、環境科学</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会</p> <p>ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31481	木2	人工光型植物工場を考える	富士原 和宏	農学部	K201
授業の目標・概要	<p>高度環境制御型植物生産施設の一形態である人工光型植物工場および関連する植物環境制御技術の概要を理解し、それらの概略を説明できるようになります。また、人工光型植物工場の現状、問題点、今後の発展、および限界について客観的な意見を述べるできるようになります。</p> <p>人工光を用いた植物栽培における光照射法に関する論文を題材として読み、学術論文の基本構成、必要記載内容等の基礎的事項を理解します。また、その論文で取り上げている内容を理解することにより、植物の純光合成速度に及ぼす光環境の影響に関する基礎的事項を説明できるようになります。さらに、新しい研究テーマを提案するには、過去の関連研究の内容を慎重に読み込み正確に理解する必要があることを認識できるようになります。</p> <p>なお、本ゼミでは、プレゼンテーションソフトウェアを用いて効果的な科学技術発表ができるようになることも目標としています。</p> <p>成績評価方法 発表（とくにプレゼンテーションソフトウェアを用いた発表）、レポート、および出欠を含む授業に取り組む態度・積極性を総合的に評価します。第3回以降に4回以上の欠席（15分以上の遅刻は欠席扱い、2回の遅刻で1回の欠席扱い）、または個人・グループの発表にかかわらず発表時に2回以上の欠席で不可となります。</p> <p>授業のキーワード アクティブラーニング、農学／農業環境工学、植物工場、人工光植物栽培、LED、パルス光</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会</p> <p>ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

グループ3 1年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31399	火3	分子の形を知り、物質をデザインする	真船 文隆	化学	K501
<p>授業の目標・概要 (授業の概要) 水分子が、1個の酸素原子と2個の水素原子からなり、折れ曲がった二等辺三角形のかたちをとることはよく知られています。このように非常に小さな分子の構造はどのようにして決定されたのでしょうか。本初年次ゼミでは、この疑問から出発し、分子の形がどうすればわかるのかを調べ、なぜわかるのかを考えてもらいます。具体的にどのような測定データにもとづき分子の構造が決まるのかを、様々な文献やデータベースにもとづいて調べます。そのあと、それぞれ1個の元素を選び、その元素のもつ特徴を明らかにしながら、どういう物質を構成しうるのかを考えます。授業の進行は、4、5人のグループで行い、グループ毎にテーマを設定してもらいます。グループ中で様々なアイデアを出してもらい、また議論してもらい、最終的にグループ毎にまとめた結果を発表してもらいます。</p> <p>(授業の目標) 1. 分子のかたちはそうすればわかるかという素朴な問いから、この疑問を解き明かすというアカデミック体験をしてもらいます。 2. グループごとに1つの元素を選択し、その元素からどのような物質ができそうかを考えます。 3. 問題を解決するにあたって、グループワークをしてもらい、お互い疑問点を出し、議論し、分からない部分は教え合いコミュニケーション能力を身につけます。 4. 最終的に自ら設定した課題について、その結果を発表してもらい、プレゼンテーションの能力を身につけます。</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス 化学、原子・分子、構造、分光学、スペクトル 教科書は使用しない。 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>					
31413	火3	Quantum technologies and their future impact (英語)	HOLMES MARK JAMES	生産技術研究所	シラバス参照
<p>授業の目標・概要 The overall aim of this course is not to gain a knowledge of quantum technologies per se, but to gain a knowledge of the scientific transferable skills required in a modern international research environment: Communication skills, scientific writing skills, group work skills, presentation skills. The course will proceed via the timeline of preparing for a “conference” that will be held in the final weeks, to which the students will submit their work, and give presentations.</p> <p>成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 Problem finding, Quantum technology, English, Communication, Writing, Presentation 教科書は使用しない。 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>					
31415	火3	バイオミメティック・エンジニアリング	池内 与志穂	生産技術研究所	E25 教室
<p>授業の目標・概要 生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの斬新な企画提案を行う。 そのために、 (1) 生物の優れた機能を解明した研究、またはバイオミメティック・バイオインスパイアドというキーワードに基づいて行われたモノづくり研究の過去の例を学ぶ(文献検索と読解、発表を通じた情報共有)。 (2) 小グループに分かれて、(1)で得られた情報などを参考に議論し、柔軟な発想で、生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの企画を考える(課題解決のためのグループワーク)。 これらを通じて、 ・コミュニケーション能力を伸ばす。 ・プロジェクトを推進する時に、何が分かっている、何が分かっているのか、何が問題で、どうやったら解決できるのか、自分の頭で考える能力を身につける。 ・試行錯誤やプロジェクト推進の難しさと、計画性の重要性などを学ぶ。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで、新たなアイデアや知見を得るためのコミュニケーション能力の基礎を身につける。</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 プロジェクト提案/企画提案、バイオインスパイアド、バイオミメティック 次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 ガイダンス 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>					

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31440	火3	知能ロボット入門	新山 龍馬	工学部	K401
授業の目標・概要	<p>ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。この授業では、知能ロボットを構成する基本要素や、知的な振る舞いの作り方を学ぶため、最新版のLEGO Mindstormsを利用して実際にロボットを作ってもらいます。ただし、LEGOはあくまで入門の道具であって、授業の中では、最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを、議論してもらいます。また、グループワークを通じた、工学的な思考方法の習得や、問題解決のアイデアをわかりやすく伝える技術の学習も狙いです。</p> <p>授業の目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロボットや知能といった未定義で学際的なことに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる</li> <li>・ 工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける</li> <li>・ 自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学/知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31441	火3	物理のための数学ゼミ	吉川 純一	工学部	E38 教室
授業の目標・概要	<p>物理学では、様々な現象の中に法則性を見い出して、それを数学的に記述します。また、その数学から予想される現象は、実験的に確かめられます。こうした過程の中で、それまで思いもよらなかった応用が見つかることがあります。例えば、量子力学の応用としての量子コンピュータなどです。</p> <p>この授業では、基礎となる数学を学び、物理の記述にどう生かされるのかを調べ、受講者同士の議論を通して理解を深めます。文献の検索、発表資料の作成、科学的な内容でのコミュニケーションの経験を積みみます。最終的には、4名程度のグループに分かれて、興味のあるテーマを自ら設定し、他の受講者の前で発表してもらいます。物理に関連していれば基本的にどんなテーマでもよいので、面白い発表を期待しています。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、物理学/量子力学、相互学習、サイエンスコミュニケーション、グループワーク				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31442	火3	暗号理論・情報セキュリティ入門	高木 剛	工学部	K301
授業の目標・概要	<p>暗号技術は、現在、幅広く使われており、すでになくはならない技術となっています。その一方で、暗号技術は、常に、攻撃にさらされる環境にあり、強い暗号が必要となります。強い暗号とは、様々な角度から安全性を検証されて（安全性解析）、事実上攻撃手段がない暗号や、安全であることが理論的に証明された（安全性証明）暗号を指します。この授業では特に、現実の世の中で用いられている暗号、もしくは、将来用いられると期待される暗号に対して、その安全性証明と安全性解析について体験します。本授業の冒頭に暗号理論の基礎を学んだ後、グループに分かれてより具体的な課題を選択して関連する英語文献を読み、暗号の安全性証明手法や安全性解析手法について基礎的な能力の習得を目指します。その後、文献調査、学生間の討論を通して、暗号方式の改善や安全性解析の改良を試み、最終的にグループ毎に研究成果の発表をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究課題における目的や問題点を認識し、その解決のための手段を考える。</li> <li>・ 自分の考えをわかりやすく他人に伝え、情報共有することで新たなアイデアや知見を得るためのコミュニケーション能力を身につける。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	論文講読+問題発見解決型、数理工学/暗号理論、安全性証明、安全性解析、アルゴリズム				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31443	火3	化学のブレークスルーに学ぶ(1) (無機化学・物理化学編)	齊藤 圭亮	工学部	K303
授業の目標・概要	<p>化学のブレークスルーに学ぶ(1)(無機化学・物理化学編)では、工学部応用化学科で現在 精神的に研究が行われている無機化学・物理化学系の世界最先端のトピックをとりあげ、その研究がもたらした各分野のブレークスルーを学びます。本講義では、無機化学・物理化学をベースにした材料開発について、基本原理から実際の研究の様子、応用展開に至るまでを論文輪読、文献調査およびそれらに携わった研究者達の話の中でより身近に感じ、学ぶことができます。主に、触媒、電池、燃料電池、蛋白質などを題材にして、これらの研究がどのように生まれ、どのようなブレークスルーがあったか、また、これらの研究やその応用展開が現在どのように社会の役に立っているのかを、ゼミナール形式の授業で、分かりやすく学ぶことができます。また、実際の研究現場を見学することで、最先端の研究がどのように生まれるか、どのように行われているかを体験していただけます。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	応用化学、無機化学、物理化学				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31468	火3	解析学の基礎	松本 久義	理学部	K302
授業の目標・概要	<p>「数」というものがなかったらどうなっていたらう。まずお金というものが成り立たなくてコンビニで三角サンドが買えないことになる。時間が数で表せないので授業時間をきめて学生や教員が教室に集まるのも無理だろうし、体温を計るのにも困るので医者も大変である。まあ要するに人間は物事を「数」に結び付けて理解しているのであり、そういうわけで算数も含めると数学が学校教育の多くの部分を占めており、また他の多くの学問の基礎となっているわけである。特に「長さ」と「数」を結びつけると、棒切れに等間隔に目盛を打つことになって、「物差し」ができる。こういったことから「数」と「直線上の点」を対応させるという発想が自然に生まれる。「直線上の点」に対応する数が「実数」である。物理学や統計学や工学を始めとして多くの分野で使われる解析学(高校の微分・積分を発展させた数学の分野)は実数を舞台としているし収束概念は解析学の柱ともいえる基本要素である。</p> <p>高校までの微分積分や点列の収束の扱いと異り、学問としての数学において、解析学は厳密に議論が展開される。そのなかでも基本となるのは「デデキントの切断による実数の定義」と「イプシロン・デルタ論法による点列の収束の定義」である。体験上ここで多くの学生はとまどったり、ややもすると拒否反応をおこしたりする場合もある。</p> <p>「学問としての数学」などと権威主義っぽい書き方をしたが、当然「実数」とか「収束」とかいうことについてはいろいろな人がいろいろなことを考え(厳密性にこだわることへの批判もあった)、それを公表して長きにわたって戦いが行われてきたのである。(「デデキントの切断」は150年ぐらい、「イプシロン・デルタ論法」は200年ぐらいの歴史がある。)これらの古典的な数学はあるいは現在の数学のありかた(他の学問もおなじだろうが)は、こういったタフな戦いの勝ち残りなのであり、こうして大学で教えられていることにはそれなりの理由がある。</p> <p>この授業においては、全体を小グループにわけ、担当教員による講義、グループディスカッションなどを授業計画によって進め、最終的に「デデキントの切断による実数の定義」あるいは「イプシロン・デルタ論法による点列の収束の定義」のいずれかのテーマについて、この授業に参加していないような学生にもよくわかるような「理想的な講義」を自分達の手で作らなければならないのが目標である。このような体験を通じ、題材としてとりあげたテーマについて理解を深めるのみならず、文献・資料の収集法、グループによる共同学習の手法などについても習得する。また数学の意義についての自分なりの観念の確立に資するようにもしたい。</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p>				
成績評価方法	原理解明・伝達型、数学/解析学、実数、デデキントの切断、イプシロン・デルタ論法、収束				
授業のキーワード	教科書				
ガイダンス	<p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科</p> <p>著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31403	木3	哺乳類の受精・卵割の特性	大杉 美穂	生物	K301
授業の目標・概要	<p>&lt;概要&gt;</p> <p>受精・卵割による新たな生命の誕生は、異形配偶子形成を行う生物に普遍的な生命現象である一方、生物種によって驚くほどの多様性も示します。</p> <p>本ゼミナールでは、まず受精に関連するキーワードを含む一般のニュース記事(過去1年分)の中から興味をもったものを選び、内容について科学的に説明するためのグループごとの調査・発表を通して受精についての普遍的な知識を得ます。</p> <p>その後、その記事の元となった学術論文について調査・発表を繰り返す過程で、受精過程が多様であることにどのような意義や利点があるのか(あるいはないのか)、私たちヒトを含む哺乳動物の受精・発生にはどのような特性があるかについて議論を進め、理解を深めます。</p> <p>&lt;目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書的な知識を丸覚えするのではなく、それがどのような観察結果や実験結果から導かれたものであるかを理解する。</li> <li>・「まだわかっていないことは何か」を意識しながら学び、科学的課題の設定や仮説の立て方とその検証方法について知る。</li> <li>・人にわかってもらうためのプレゼンテーション技術の基礎を身につける。</li> </ul>				
成績評価方法	初年時ゼミナール理科の評価方法によって評価します				
授業のキーワード	生命科学、受精、繁殖、哺乳類、生殖医療・再生医療				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31414	木3	デザイン・エンジニアリング・ワーク ショップ ～ 機能的で美しいものを作るための観察、コンセプトワーク、 スケッチ、プロトタイピング	山中 俊治	生産技術研究所	シラバス参照
授業の目標・概要	<p>※開講場所：生産技術研究所（駒場第二キャンパス） S棟2階 ギャラリー-S2 会議室</p> <p><b>【背景】</b> デザインという言葉は、かつては装飾的な「意匠」の意味で使われていましたが、今日では人々の生活を豊かにするための幅広い価値創出の技術として、様々な分野で活用されるようになりました。本授業ではデザインについて、次のような新しい定義を採用します。 「デザイン：人工物あるいは人工環境と人との間で起こるほぼ全てのことを計画し、幸福な体験を実現すること」 便利で使いやすく美しい人工物をデザインするには、基本機能を設計するための幅広い自然科学と、人のふるまいを理解するための人文科学の知識、自然物や抽象形態に対する繊細な美的感覚と表現力が必要です。いずれも習得に時間がかかる巨大な体系ですが、最も重要なのはそれぞれの方法論の違いを理解し、常に多視点、多重思考で考えることです。</p> <p><b>【目的】</b> ・科学知識と美的感覚、論理思考と手作業、概念操作とプロトタイピングなど、相反する創造プロセスを同時に扱うための「振り子」思考を身につける ・アイデア創出の方法を学ぶ ・アイデアを具現化し、人に伝えるためのプロトタイピング手法を学ぶ ・スケッチや立体物製作のための基本となる物の見方、身体の使い方を学ぶ</p> <p><b>【概要】</b> 後述の3つの課題に挑戦してもらいます。 制作は、しばしばホームワークであり、かなりハードワークになります。</p> <p><b>【参考】</b> 教員のひとりとなりを知りたい場合は、下記のブログや Twitter を参考にしてください。 ・ブログ「デザインの骨格」 <a href="http://lleedd.com/blog/">http://lleedd.com/blog/</a> 2014年から更新されていませんが、デザインの基礎となるものの見方や考え方をエッセイ風に記録したものです。 ・twitter @Yam-eye <a href="https://twitter.com/Yam_eye">https://twitter.com/Yam_eye</a> ・Instagram <a href="https://www.instagram.com/yam_sketch/">https://www.instagram.com/yam_sketch/</a> 山中のスケッチ置き場です。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見解決型演習、デザイン・エンジニアリング、スケッチ、プロトタイピング、アイデアの作り方、ユーザビリティ				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31419	木3	身近な CO2・PM2.5 濃度の変動を 捕らえる	今須 良一	大気海洋研究所	K501
授業の目標・概要	<p>(授業の概要) 地球温暖化は温室効果ガスの大量放出により引き起こされます。その中で最も重要で身近なものは二酸化炭素(CO2)です。一方、健康に深刻な影響を及ぼす大気汚染物質の一つとして PM2.5 が問題となっています。本ゼミナールでは、簡易測定装置を用いて身近な環境における CO2 や PM2.5 の濃度変動を測定し、そのデータの解析、結果の考察を通じて、科学的なものの方や論理の展開の仕方を身につけます。また、関心がある場合には、赤外線強度の測定装置（サーモグラフィ）も用いた実験も行えます。これらは、グループ単位での測定実験、解析、発表、および、全員での質疑応答の形式で行います。これと併せ、あるテーマについて講義形式で話題提供し、グループ討議や全体討論を通じて、科学的なものの方の幅を広げていくことを目指します。</p> <p>(授業の目標) ・自分たちで行った測定結果を題材に、論文や口頭発表の構成要素である、序論・手法・結果・議論の展開ができるようになる。 ・実験の立案、実施、まとめの過程で、個人の考えを出し合い、議論を通してグループとしての考えや提案をまとめる能力を身につける。 ・研究発表に対して質問する能力を向上させる。また、発表者は質問や批判に対する対応力を強化する。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 定期試験は行わず、毎回の作業への取り組みや、発言頻度・内容により評価を行います。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、地球科学/気象、気候変動・地球環境、発想力、調整能力、観察力				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31420	木 3	先端科学技術の現場を「体験」する	石北 央	先端科学技術研究 センター	K302
授業の目標・概要	この授業では、皆さんが今いる駒場キャンパスと先端科学技術研究センター（先端研）が位置する駒場リサーチキャンパスを舞台に、世界と競い合う最高水準の先端科学技術を体験してもらいます。最先端研究が、キャンパスの殻の中に閉じこもる旧来型の研究ではなく、学術の進展や社会の変化に機動的に挑戦して人間と社会に向かっていることを、この授業で実感できるはず。先端研の根幹の研究領域（環境・エネルギー、情報、材料、生物医学、バリアフリー、社会科学）の中から、今年の講義では、基礎的な概論とともに3つの話題を紹介します。基礎から最新のトピックまでじっくりと体験できるはず。 <p>「概論」（石北）：先端研の最先端研究の概略を紹介するとともに、光エネルギー、光合成、蛋白質、量子化学、理論計算の接点をテーマに先端科学技術の一端をちょっとだけ覗いてみます。</p> <p>1) 先端研「エネルギー環境」分野（×3回） 2) 先端研「生命データサイエンス」分野（×3回） 3) 先端研「政治行政システム」分野（×3回）</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、光エネルギー変換、光合成、太陽電池、次世代シーケンサ、ビッグデータ解析、空間と政治・建築、日本政治外交史、蛋白質、理論化学				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31749	木 3	聴覚・平衡覚・嗅覚・発声の不思議 に迫る	山岨 達也	医学部	K402
授業の目標・概要	初回に聴覚、平衡覚、嗅覚、発声について概略を座学で授業する。その後、2週単位で聴覚、平衡感覚、嗅覚、音声についてテーマを与え、それぞれゼミ形式で発表する。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	「問題発見・解決型」、学術分野 医学/感覚器、感覚器、発声				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31444	木 3	途上国開発に学ぶプロジェクトマネジメントとコンクリート工学	高橋 佑弥	工学部	K303
授業の目標・概要	途上国開発をはじめとした国際建設プロジェクトにおいては、調査・計画・契約・施工などそれぞれの段階で、技術者が工学的判断を行うことが必要である。様々な制限や制約条件下で複数の要因のトレードオフの中、技術者の主体的判断のもと問題を解決することが求められるが、時として、異なる関係主体に関する理解が不十分なことによりプロジェクトの成功が危ぶまれることもある。例えば、橋の建設において、工事手順への配慮に欠いた造形を重視した設計が施工会社の工事失敗リスクを増大させてしまうような事例も生じている。援助国・被援助国政府、住民、設計会社、コンサルタント、施工会社といった異なる主体間の連携と相互理解のもと、それぞれが適した判断を行うことが大切である。本ゼミナールでは、上記の観点から、途上国のインフラ開発を題材として、国際建設プロジェクトの運営を疑似体験する。案件形成・計画からプロジェクト遂行・建設までを異なる立場で体感することで、問題の発見・解決の姿勢や多角的視点を身に着けると共に、建設プロジェクトに関わる工学分野（建設マネジメント、コンクリート工学）の基礎を学ぶことを目標とする。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決+ものづくり型、工学/建設マネジメント・建設材料、海外建設プロジェクト、途上国開発、プロジェクトマネジメント、コンクリート				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31445	木 3	データ分析を通じた未来予測	合田 隆	工学部	515 教室
授業の目標・概要	データ分析とは現時点で入手可能なデータから（個別のデータにはあまり意味を持たない場合でも）重要な情報を抽出することが目標であり、取り扱うデータの種類、性質、どのような情報を抽出したいのか、などに応じて適切な分析手法を選択する必要があります。特に将来予測、すなわち現時点までの推移データから将来起こりうる推移を「外挿」することを目的とする場合、分析結果の少しの違いが予測幅に大きな変化をもたらします。				
成績評価方法	本ゼミナールでは、ある事象の最大値（あるいは最小値）、例えば				
授業のキーワード	<ul style="list-style-type: none"> <li>ある地点において今後 10 年間で観測しうる最大降雨量</li> <li>人間の寿命の限界（そもそも存在するのか）</li> <li>100m 走の世界記録の限界</li> </ul>				
教科書	といった値について、れまでに観測あるいは記録されたデータを基に予測する分析手法について扱います。（あまり深く立ち入りませんが）分析手法の学習、文献調査、（興味のある事象についての）データ収集、分析手法の適用、結果の解釈とまとめ、という一連の流れを体験することによって、データ分析への関心が高まることを期待しています。				
ガイダンス	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
	問題発見・解決型、データ分析、数理統計、極値理論				
	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31469	木 3	材料をつくり出す化学	長谷川 哲也	理学部	516 教室
授業の目標・概要	化学がつくり出す様々な先端材料（超伝導体や磁性体、太陽電池など）について、なぜそのような性質を示すのか、またどのような応用あるかについて調べ発表を行うとともに、簡単なデモンストレーションや実験を通して材料を体験する。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、化学/材料化学、先端材料、物性化学、デバイス				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31490	木 3	薬学を支える生物学の役割と貢献	小山 隆太	薬学部	K401
授業の目標・概要	薬学部では、生命現象の理解を究めつつ、最終的なアウトプットとして創薬を視野に入れた研究を行っています。生命現象を深く理解するためには、生物を構成する最小単位である細胞のことを詳しく知る必要があります。そして細胞のことを詳しく知る方法として正常な細胞と正常でない細胞を比較し、その違いがどこから生じているのか調べることはとても有効な手段です。数多ある病気の原因は各々ですが、究極的には特定の細胞の機能異常が病気を引き起こしているとみなすことができます。これはすなわち病気の原因を探ることが正常な細胞の本来あるべき姿を知る手がかりにもなることを意味します。				
成績評価方法	このゼミナールでは創薬の対象となりうる各種の病気やその発症原因について学習しながら、正常な細胞の姿の一端を知ることを目的とします。さらにそれらの疾患を治療するためにはどのような戦略を取り、どのような創薬ストラテジーがあるかということグループで考え、プレゼンテーションも行います。これらの作業を通じて文献やデータベースの探索方法、グループディスカッションの仕方、わかりやすいスライドの作成・発表方法などの習得も目指します。				
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
教科書	論文読解型・問題解決型、生物学/薬学、細胞生物学、分子生物学、創薬、グループワーク				
ガイダンス	教科書は使用しない。				
	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ4 1年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31407	火4	人間行動のメカニズムを科学的に探る —創造性と意思決定を例にして—	横山 ゆりか 植田 一博	情報・図形	K303
授業の目標・概要	人間行動のメカニズムに関する科学的関心が、現代日常世界の課題と関係していることを理解し、日常世界の体験と科学研究の両者を結ぶ研究テーマを企画することを試みる。 第I部では創造性の向上が現代社会の様々な場面で課題となっていることを学び、創造性を高める環境デザインを対象にして研究テーマを考える。実際に企業・研究所で行われている創造性向上のためのオフィス環境改善の事例を見て、その背景にある研究を探索する。探索を通して最終的には自分の実証したい新しい研究テーマを見つけ、探索した研究の手法を参考にして実証研究を企画することを目標とする。 また第II部では、日常における判断と意思決定を対象にして研究テーマを考える。認知科学分野で行われている判断と意思決定の実験を体験し、実験に不可欠な統計について学んだあと、統計処理を念頭に入れた自分たちの実験計画を作成する。前半より踏み込んだかたちで、実際に実施可能な実験計画を作成することを試みる。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 (この講義での個別の評価基準) 日常的な出来事から研究のテーマを見つけ出し、科学的検討のプロセスに落とし込むことができたか				
授業のキーワード	論文読解・問題発見・研究企画、認知科学、環境心理学、心理学実験・フィールド調査				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31446	火4	知能ロボット入門	山本 江	工学部	K401
授業の目標・概要	ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。この授業では、知能ロボットを構成する基本要素や、知的な振る舞いの作り方を学ぶため、最新版のLEGO Mindstormsを利用して実際にロボットを作ってもらいます。ただし、LEGOはあくまで入門の道具であって、授業の中では、最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを、議論してもらいます。また、グループワークを通じた、工学的な思考方法の習得や、問題解決のアイディアをわかりやすく伝える技術の学習も狙いです。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学/知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31447	火4	体験的ものづくり学 —3Dプリンタによるコマづくり—	三村 秀和	工学部	K201
授業の目標・概要	(授業の概要) 日本は、「ものづくり」が重要とされていますが、「ものづくり」とは何でしょう？自動車、パソコン、テレビ、携帯・・・と製品が、まず思い浮かびますね。こうした製品に加えて、ライト、センサー、タイヤ、レンズなどの部品や、銅、ウエハ、ガラス、プラスチックなどの素材を生み出すことも、「ものづくり」です。 この「ものづくり」というのは、目標とする機能があり、それを満たす設計を行い、その設計に基づいて実際に作製し、作られた製品を評価するという一連の流れで成り立っています。「ものづくり」は、お互いが関連しており、作製方法を知らなければ、設計できませんし、目標とする機能の設定もできません。 本講義では、「コマ」の作製を通じて、ものづくりの一連の流れを体験してもらいます。「コマ」は誰もが知っていますね？なぜ、「コマ」は倒れずに回るのでしょうか？よく回る「コマ」はどういったものなのでしょう？その答えを、剛体と回転に関する力学を勉強してもらい、理解してもらいます。そして、その物理的な理解をベースに各グループが自由な発想の元、「オリジナルなコマ」を提案、設計し、実際に3Dプリンタで作製してもらいます。3Dプリンタは、優れていますが何でも作れるというものではありません。3Dプリンタを実際に体験し、精度などの特徴を理解して、設計にフィードバックします。 このように、本講義では、コマの力学、設計、3Dプリンタを勉強し、「世界オンリーワンのコマ」の作製を通して、「ものづくり」に関する総合的な知識を身につけます。				
成績評価方法	(授業の目標) ・回転、剛体に関する力学、ものづくり設計、3Dプリンタに関する知識を学びます。 ・与えられた課題の物理的特徴を理解し、ものづくり設計に活用する思考法を身につけます。 ・作製方法を理解し、ものづくり設計にフィードバックする能力を身につけます。				
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
教科書	実験データ解析型、工学/力学、設計、生産、3Dプリンタ、剛体の力学、設計、CAD				
ガイダンス	教科書は使用しない。 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31448	火 4	原子力エネルギー・放射線医療と社会/ Nuclear Energy / Radiation Medicine and Society	上坂 充	工学部	517 教室
授業の目標・概要	原子力エネルギーと放射線医療の原理を理解し、それらの社会受容性をシナリオ・プランニング手法を活用して討論する。原子力エネルギーにつき、他のエネルギー源との比較、地球環境、国際関係、放射線がん医療につき、放射線人体影響、放射線安全、他の治療法との比較、社会受容性につき、リスクコミュニケーションを学習し、討論する。複雑な問題の中から課題とその解決方法の発見を試みる。最後は討論内容をプレゼンテーションし、発表技術も向上させる。				
成績評価方法	問題発見・解決型、工学/システム創成、原子力発電、放射線がん治療、社会受容性、シナリオ・プランニング				
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学/システム創成、原子力発電、放射線がん治療、社会受容性、シナリオ・プランニング				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31470	火 4	解析学の基礎	下村 明洋	理学部	シラバス参照
授業の目標・概要	大学での標準的な数理科学の立場から観ると、高等学校までの数学において極限と連続性や微分積分の取り扱いはやや直観に頼ったものであり、大学での学問としての数理科学ではこの分野は厳密な理論が展開される。「数理科学の立場から厳密に記述された微分積分学（解析学の初歩）の文献の極限と連続性に関する部分」を受講生が輪読する事により、この分野に関する理解を深める事を目標とする。この科目は、受講生による発表形式（黒板を使用）で行うので、受講生が能動的に学習し発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする。この分野の能動的な学習を通して、数理科学的な思考力を養う事も目標である。				
成績評価方法	個別授業の開講場所：数理科学研究科棟 126 教室。				
授業のキーワード	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
教科書	文献輪講型、数理科学/解析学、数列と関数の極限、連続関数、イプシロン・デルタ論法				
ガイダンス	授業中に指示をする。 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31471	火 4	宇宙・惑星・地球物理学の進め方	笠原 慧	理学部	E39 教室
授業の目標・概要	地球惑星科学が対象とする分野は地球の内部から太陽系外の宇宙空間まで、多岐に渡ります。なかでも気候変動や宇宙・惑星のトピックはニュース・テレビ番組や科学雑誌でしばしば取り上げられるため、中高生でも科学好きであれば「現象論的な知識」を得る機会は多いでしょう。ところが、報道内容のような結論がどのような「観測根拠」と「推論過程」で導かれたのかについては、理解されていないことがほとんどです。これら観測根拠や推論過程は、発見の事実と比べたら地味で小難しい内容であることが大抵ですが、これらこそが科学を科学たらしめている本質です。惑星探査プロジェクトのような100億円超の大型予算を要する研究計画も、こうした理学的議論に立脚して形成されていきます。本ゼミでは、こうした観測データと物理の基本法則に基づいた科学的議論を体験します。前半は気候変動に関するデータ解析、後半は、宇宙・惑星探査の計画立案を扱います。				
成績評価方法	(1) 気候変動				
授業のキーワード	エルニーニョ現象は、東太平洋赤道域の海面水温が、平年よりも暖くなる気候変動現象である。この現象が発生すると、世界各地に異常気象を引き起こすことから、活発に研究が行われている。本ゼミでは、いくつかのグループに分かれて、エルニーニョ現象に関するデータ解析を実際に行い、得られた結果に関する考察を行う。				
教科書	【テーマ例1】温暖化に伴い、エルニーニョ現象は、どのように変化するのだろうか？気候変動に関する政府間パネル（IPCC：Intergovernmental Panel on Climate Change）が利用した大気海洋結合モデルによる温暖化実験の結果の解析を行うことにより調べる。				
ガイダンス	【テーマ例2】エルニーニョ現象は太平洋熱帯域で発生するが、同様の現象が、インド洋や大西洋でも発生するのだろうか？インド洋や大西洋の海面水温データ等を解析することにより、他の現象について調べる。 得られた結果は、レポートにまとめる。また、他のグループの学生が執筆したレポートのピアレビューを行う。				
	(2) 宇宙・惑星探査				
	複数のチームを作り、それぞれ過去の宇宙・惑星探査の調査、および将来探査の提案プレゼンテーションを実施する。				
	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
	講義・輪講・理論実習、気候変動・エルニーニョ現象、宇宙・惑星探査、探査ミッション、観測、データ解析				
	次の教科書を使用する。				
	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31482	火 4	食料の“健康”を考えてみる	伊藤 直樹	農学部	E38 教室
授業の目標・概要	<p>人類は有史以来、食料を効率的に生産することに多大な努力を払い、様々な植物、畜産物、そして水産物の domestication を成し遂げてきました。世界規模での人口増加が予想される現在、効率的食料生産技術開発の重要性はますます増加していくと予想されます。</p> <p>一方で、このような効率性食料生産技術に起因する様々な問題も顕在化しています。例えば、高密度環境での生産は病原体の伝播が起りやすく、また生産対象生物の移動に伴う病原体の移動は、感染症の拡大をもたらします。人工飼育条件下で与えられる人為的な餌が、生産対象種の健康に影響を及ぼす例も知られています。</p> <p>『食』は人類が生きていくためには必須な存在です。そのため、人類社会の持続的発展には、食料生産技術に関連する課題への解決も求められることとなります。</p> <p>本講義では、水産学と獣医学の専門家が担当します。前半は水産生物、後半は畜産物を中心に、“健康”に関連するトピックごとに考えていきます。講義の中では、関連する資料に基づいてグループディスカッションを行い、討議を通じて問題の理解と課題解決への道筋を探っていきます。</p> <p>講義の一部で、実際の食料生産・供給現場を訪問することで、食料を安全に提供することに対してどのような取り組みを実施しているか、また、それが限りなく完全に実施されるためには、どのような仕組みを取り入れているか、また、規制当局の関与についても学んでいきます。</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p>				
成績評価方法	問題発見・解決型、農学、食料生産、健康				
授業のキーワード	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31483	火 4	私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する	田中 智	農学部	K302
授業の目標・概要	<p><b>【授業の概要】</b></p> <p>生体内で起こるほとんどすべての生命現象はタンパク質を必要としています。タンパク質はアミノ酸が連結した高分子ですが、その配列によって機能が異なります。例えば、物質輸送にかかわるタンパク質、貯蔵にかかわるタンパク質、運動に必要なタンパク質、生体構造を維持するタンパク質、生体防御にかかわるタンパク質、情報を伝えるタンパク質などが存在します。我々は、これらのタンパク質を取り出し、食べることによって栄養素として、あるいはいろいろな産業応用をして、実生活に役立てています。そこで本講義では、私たちの身近にある興味あるタンパク質を選び、性質やその利用法を考えると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、他の人達に、そのタンパク質の重要性を納得してもらおうツールを作ることを目標とします。</p> <p><b>【授業の目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを通じて、集団での問題設定、情報共有、討論、役割分担などコミュニケーションスキルを身につけます。</li> <li>・自分たちの知りたい科学情報を検索する手法を習得します。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 (この講義での個別評価基準)				
授業のキーワード	自分で考え、自分で課題を見つけ出す。				
教科書	問題発見・解決型、生物/タンパク質、グループワーク				
ガイダンス	教科書は使用しない。 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31491	火 4	薬学を支える有機化学の役割と貢献	尾谷 優子	薬学部	E25 教室
授業の目標・概要	<p><b>(授業の概要)</b></p> <p>医薬分子による生体機能の操作は、医薬分子と生体分子や細菌などとの化学的な相互作用に由来し、この現象は分子レベルで化学の知識を用いて理解することができます。また同時に、このような相互作用を理解することで、どのように医薬品分子を分子設計すれば、どのような効果が期待できるかなどを予想することができます。また、望みの物質(化合物)をつくりだすために有機化学は大きな力を発揮します。このように有機化学は薬学の根幹をなす学問です。本授業では、化学の視点から各担当教員が専門とする最先端の研究を通して、薬学の面白さを学んでいきます。本授業の初めに、文献検索法、研究倫理、統計、批判的思考などを学び、議論します。その後、小グループに分かれ、3つのテーマについて協調して調査し、発表や議論を通して科学的な思考における基礎的な能力の習得を行います。</p> <p><b>(授業の目標)</b></p> <p>本講義を通して、サイエンスの面白さを学ぶと共に、以下のスキルを身につけることを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題における目的や問題点を認識し、その解決のための手段を考える力。</li> <li>・実験データの理解方法と、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に論じる力。</li> <li>・自分の考えを分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るためのコミュニケーション能力。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、薬学/有機化学・天然物化学、医薬分子、酵素、抗菌薬、ものづくり				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31410	金 1	フューチャー・オブ・マインド	坂口 菊恵	教養教育高度化機構	K302
授業の目標・概要	<p>脳機能や身体運動のイメージング技術の普及と、得られたデータの機械学習の組み合わせにより、頭で想像することにより機器を操作したり、思考をデータ化して他者に送り、仮想現実を体験させたりといった SF のような技術の基礎は既にできており、今後の急速な発展が見込まれている。これらは工学的応用の側面だが、そうしたアイディアのもととなる基礎的知見は、心理学や行動学による身近な事象の観察と、それに疑問を持ちメカニズムを解明しようとする営みにより積み上げられてきた。</p> <p>本授業の前半では、ミチオ・カク著「フューチャー・オブ・マインド：心の未来を科学する」をグループに分かれて読み、その近未来的なビジョンを楽しんでもらうとともに、これまでの神経科学や心理学の知見について、適宜原著論文にあたって理解することを目的とする。そして、SF 的な技術を実現するために現在どこまで技術が進んでいるか、ボトルネックはどこにあるのかを考察する。</p> <p>後半では、ウェアラブル脳波計など簡易的なデバイスを用い、量販される機器でどれだけのことができるか体験し、可能性を検討する。得られたデータを利用して動作する作品を作る、もしくは技術を利用した基礎研究や応用研究の計画を立案する、ことをゴールとする。</p>				
成績評価方法	現在の知見や技術をもとに、いかに奔放に想像力を羽ばたかせられるかを評価する。				
授業のキーワード	問題発見解決・データ解析型、生物学／心理学、ブレインマシンインターフェース、モバイル脳機能計測、ニューロリハビリテーション				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 フューチャー・オブ・マインド：心の未来を科学する 著者（訳者） ミチオ・カク 出版社 NHK 出版 ISBN 978-4140816660				
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31424	金 1	感染症の克服に向けて：日本と世界での取り組み	水口 雅	医学部	K303
授業の目標・概要	<p><b>【授業の概要と目的】</b> 1950~1980 年ころ、抗菌薬（抗生物質）の開発やワクチン（予防接種）の普及など医学・生命科学の急速な進歩によって、あたかも感染症は制圧される寸前であるかのように見えました。ところが現実には、1980 年以降今日に至るまで、感染症の逆襲とも言える状況が続いています。この間、AIDS や新型インフルエンザ、病原性大腸菌 O-157 に代表される新興・再興感染症、ブドウ球菌、緑膿菌やマラリアの薬剤耐性など新たな問題が生じ、2019 年現在も世界と日本で大きな問題を起こし続けています。</p> <p>本ゼミナールでは感染症をテーマとして、「何が問題なのか?」、「克服に向けて医療、保健分野でどのような取り組みがなされているか?」を学生が主体的に調べ、学び、まとめ、発表します。</p> <p><b>【授業の目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に関する日本の問題、世界の問題、それらに対する取り組みの一端に触れる。</li> <li>・医学・生命科学分野における Web・文献検索、科学的思考、ディスカッション、プレゼンテーションの初歩を体得する。</li> <li>・研究には基礎医学、臨床医学、社会医学など多様な分野があることを理解する。</li> <li>・学術論文には総説と原著があること、それらの構造と読み方について理解する。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ：論文読解型、学術分野：医学／微生物学、新興・再興感染症、細菌、ウイルス、寄生虫				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31449	金 1	東京の街を歩き、その空間について考える	廣井 悠	工学部	114 教室
授業の目標・概要	<p>本授業は、フィールド体験型ゼミナールとして、駒場キャンパス及びその周辺や東京の街を歩き、その空間の特徴を把握しながら魅力と課題を発見し、それらを表現する力を養うことを目的としています。授業では、まず、1つの小さな街とも言える駒場キャンパス及びその周辺をフィールドに、現地踏査と情報収集（写真撮影、寸法測定、観察等）、収集した情報に基づく空間の特徴の把握、魅力や課題に関する討議と整理、整理した内容の表現・発表（大判ポスター）といった一連の作業を 7 名程度の少人数グループで行います。次に、個人で、東京の街を歩き、魅力的な街を 3ヶ所選び、その魅力について発表を行います。そして、小人数グループで「東京の魅力的な街マップ」を作成します。</p>				
成績評価方法	出席点、平常点(授業における貢献度)、個人課題・グループ作業の成果物				
授業のキーワード	キャンパス、街、資料収集・分析、現地踏査、発表、グループ作業				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31450	金 1	ロケット工学から見た深宇宙探査	小泉 宏之	工学部	E38 教室
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	<p>深宇宙探査において目的地に到達するための方法を学ぶ。学問としては、軌道力学と宇宙推進工学がメイン。初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>授業のタイプ：現象シミュレーション型、宇宙工学、軌道力学、深宇宙、宇宙推進 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 宇宙はどこまで行けるか 著者（訳者） 小泉宏之 出版社 中央公論新社 ISBN 4121025075</p> <p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31451	金 1	社会シミュレーション入門	和泉 潔	工学部	K201
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	<p>※後半の数回分(グループワーク)を6月土曜日の午後に本郷キャンパスで行う予定です。 履修希望者は上記日程の都合が合うことを確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●社会現象のモデリング&amp;シミュレーションにより「答えのない問題を解く力」を身につける</li> <li>●「研究の基礎的な流れ」を学ぶ</li> </ul> <p>(授業の概要) 現実社会では正解がない問題、答えがひとつとは限らない問題、解法の指針がわからない問題が数多く存在します。実際に社会に出た時、そういった問題に向き合うためには、自ら考え仮説を立て検証する「仮説検証能力」が必要となります。</p> <p>本授業では、仮説検証能力向上のアプローチとして、社会現象を対象としたモデリング&amp;シミュレーションの技術を学びます。特に、現実社会では実験が難しい事象について、コンピュータを用いて検証を行う技術を身につけます。エージェントと呼ばれる社会の中での個人のような働きをするプログラムが多数集まって社会現象を再現するエージェントシミュレーションという技術を学びます。</p> <p>また仮説検証能力は、学術研究分野において重要な基礎であり、モデリング&amp;シミュレーションの考え方は、今後研究活動を始めるにあたり効果的な事前学習となります。</p> <p>(授業の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- プログラミング言語の習得だけではなく、現象をモデリングするスキルを身につける。</li> <li>- 実際の研究・開発の流れを学ぶ。</li> <li>- 社会経済現象に関するデータを解析しモデルを構築する工学的手法を学ぶ。</li> <li>- モデルを用いた計算機シミュレーションから、予測・制御・設計を行う手法を学習する。</li> <li>- シミュレーション言語を用いた、社会現象のマルチエージェントモデルの作成を行う。</li> <li>- グループワークを通して自分の考えを相手に伝え、相手の考えを理解することでプロジェクト実施時におけるコミュニケーション能力を養う。</li> </ul> <p>出席と通常講義での課題・発表及びレポートで評価します。</p> <p>問題発見・解決型、システム科学、社会シミュレーション、モデリング 教科書は使用しない。 第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31472	金 1	分子の世界への招待	磯部 寛之 佐藤 宗太	理学部	E39 教室
授業の目標・概要 成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	<p>Central Science とも称される「化学」の成り立ちについて学ぶ。データベース検索などを活用し、知識が形成される過程を、学術論文を中心として学生自身が主体的に学び取る。また、学んだことをグループ学習によるプレゼンテーションにより他者にわかりやすく伝える体験を通して、プレゼンテーションに関わる技能を学ぶ。化学の分野を題材にしながら、科学一般の基礎となる学術的スキルを実践的に習得することを目標とする。また、1コマは本郷の研究室にて有機化学の最前線の研究現場を見学し、関連する化学実験を体験する。</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>論文読解・演習型、化学/有機化学、少人数ゼミ、化学、情報検索、プレゼンテーション 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会</p> <p>第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31484	金 1	人間社会と森林	櫻井 武司	農学部	K501
授業の目標・概要	<p>(授業の概要)</p> <p>森林は木材だけでなく、薪炭その他の様々な産物を人間社会に提供するという経済的価値を有している。さらに、景観の提供、水源涵養、土壌流出の防止、二酸化炭素の吸収などといった公共的役割も果たしている。科学技術の発展は森林の前者の役割を減少させているが、発展途上国の農村ではいまだに一定の役割を果たしている。経済的な価値の減少は、過剰な採取による森林資源の減少という問題を軽減させているが、他方で公共的な役割を持つ森林を保全する動機の提供を困難にしている。この授業では、このような人間社会と森林の関係を社会科学的視点（農業経済学）と自然科学的視点（林学）から学び、さらに両者を融合することで新しい問題を発見することを試みる。</p> <p>(授業の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題における問題点を文献に基づき把握する。</li> <li>・異なる学問分野を融合することの意義を知る。</li> <li>・成果をとりまとめて発表し、コメントに応じて修正するというプロセスを経験する。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	論文講読＋問題発見型、学術分野（農学/農業経済学、林学）、森林、農業経済学、林学				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

グループ5 1年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31404	水2	光合成を科学する	増田 建	生物	KALS (17号館 2階)
授業の目標・概要	<p>(授業の概要) 光合成生物は、太陽から放射される光エネルギーを光合成により化学エネルギーに変換し、二酸化炭素を有機物の形に変換することで蓄えています。地球上のほぼ全ての生物は、光合成生物が固定するこの有機物に依存して生存しています。また近年の研究から、静的に見える植物においても、光合成の反応は環境条件に応じてダイナミックに変化していることが分かってきています。</p> <p>本ゼミナールの前半では光合成の基礎について、分担した課題についての調査発表により共通の知識を得た後、光合成の環境応答について、グループ毎に光合成の可能性に関するテーマを設定して、実際に光合成の測定などの実験を行いながら、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。文献調査、発表、学生間の討論を通して、最終的にグループで発表を行います。</p> <p>(授業の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究課題における目的や問題点を認識し、その解決のための手段を考えるという活動に取り組む。</li> <li>仮説をたて、結論に至るまでに必要な科学的プロセスを組み立てる。</li> <li>自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につける。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物/植物、光合成、食糧問題、エネルギー問題、グループワーク				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31421	水2	Seeing the world through sensors	Lippmaa Mikk	物性研究所	K201
授業の目標・概要	<p>The goal of this seminar is to introduce the basic concepts of the scientific process and scientific thinking. We start by learning the importance of empirical evidence in science and practice performing various measurements with smartphones and tablets. The seminar will be organized around small groups of 2 to 3 students who can work together on solving a series of tasks that illustrate various aspects of the scientific process, starting from collecting measurement data, processing the data, learning how to draw conclusions from measurements, and practicing presentation of the results.</p> <p>Students are encouraged to bring their mobile devices to the seminar, learn about the sensing capabilities of the phones and tablets and use the mobile devices for performing actual experiments.</p> <p>The seminar is divided into four main parts:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) learn what is special about science, where knowledge comes from</li> <li>(2) learn how to observe, how to perform measurements</li> <li>(3) learn numeric data processing</li> <li>(4) practice reporting the measurement and analysis results.</li> </ol> <p>The seminar presentations and discussions will be done mostly in English. Students will be provided with written materials that should be reviewed before each seminar. The seminar time will be used mostly for practical work, discussion, and short presentations. All group communications, information sharing, questions and answers, etc. are done online.</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	problem solving、physics/engineering、sensor、numeric data、analysis、presentation				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31452	水 2	工学×デザイン～ワークショップで 学ぶ理系のためのデザイン	村上 存	工学部	K303
授業の目標・概要	<p>■ 授業の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異なるテーマのワークショップを通して、ものづくりにおけるデザイン（設計）を体験します。</li> <li>グループワークによる問題設定、分析、アイデア発想、プレゼンテーションのプロセスを身につけます。</li> <li>デザインに必要な基礎的な工学的知識を身につけます。</li> </ul> <p>■ 授業の概要</p> <p>良いデザイン（設計）とは何でしょうか。それは、単に見た目が美しいだけでなく、安全で、使いやすく、使うと嬉しくなるような人にとって思いやりのある設計を指すかもしれません。あるいは、シンプルな構造で優れた性能を発揮する巧妙な設計を意味することもあるかもしれません。この様に、ものづくりにおける「デザイン」の意味は多様です。本ゼミでは、グループワークによるワークショップを通して、ものづくりにおける多様なデザインの観点と、それに必要な方法を理解します。</p> <p>前半では、身の回りから、危険、非効率、分かりにくい、使いにくいなどの「困った」デザインを調査・発掘し、問題の本質を議論します。そして、それらを「よい」デザインに変えるアイデアを提案、プレゼンテーションします。</p> <p>後半では、軽くて安全な構造物をデザインすることを目的に、バスタで橋を作るバスタブリッジコンテストを通じて、機能を達成するための工学デザインを体験します。最終回は、グループごとに発表会を行い、それぞれのデザインについて議論します。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、機械工学／設計、デザイン、力学、理論＋実践、発想・創造				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31453	水 2	数学・物理をプログラミングで考える	田浦 健次朗	工学部	K401
授業の目標・概要	<p>より詳しくは以下の URL を参照  <a href="http://pmp.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/">http://pmp.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/</a>          コンピュータ（プログラミング）を使って、数学や物理の問題、実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます。そうすることを通してプログラミング、数学、物理を学ぶとともに、それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します。</p> <p>実際の問題をいくつか、例・テンプレートとして提示し、グループに別れて解法や、問題の発展形や一般化などについて議論します。それと並行して、プログラミングの基本について、演習します。最後に、お互いが解いた問題について発表しあう、発表会を行います。途中でも、グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため、適宜ミニ発表会を行います。KOMCEE でグループごとに机を分け、ノート PC を用いてプログラミングや文献調査を行います。</p>				
成績評価方法	出欠、授業への参加意欲など				
授業のキーワード	プログラミング、Python、物理シミュレーション、微分方程式				
教科書	プリントを配布する。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31454	水 2	材料科学の最前線	南部 将一	工学部	K302
授業の目標・概要	<p>『とても堅くて、どんな鋭い矛(ほこ)でも突き通せない柄』— そんな不可能を可能にする学問について考えてみましょう。実際、社会から科学技術への期待や要求の中には、不可能とさえ思えるほどの無理難題が多くあります。一般には、強固な物質はしなやかな変形ができません。電気抵抗の小さな材料は電流をよく通しますが、高い電圧をかけられません。これらの全く異なる要求を両立させることはとても困難に見えるかもしれませんが、しかし、もし2つの相反する要求(トレードオフ)を満たす物質が作り出せるとしたら・・・材料科学には、そんな一見すると不可能に見える要求を実現するという重要な使命があります。例えば、強くてタフな材料、低抵抗になったり高抵抗になったりする材料。社会が求める機能を発揮させるように生み出された新しい材料(マテリアル)が、現代の技術革新(ブレークスルー)には重要な役割を果たしています。</p> <p>本講義は、そんな最先端の材料科学について基礎を学びます。材料技術の進展によって、原子レベルに至る微細構造を制御することが可能になりつつあり、所望の特性を持つ材料を自由に設計して創り出せる時代は、すぐそこまで来ています。この授業では、高強度材料や電子デバイス材料、医療用材料などの技術についての解説文を題材としながら、いかにして相反する要求(トレードオフ)を克服する技術を生み出すことができるのか、その基礎を学びます。これらの実例を通じ、社会に貢献するための科学技術とは何かを体感してください。</p> <p>【 題材の例 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 超高強度材料を目指せ： 持続可能な社会を可能にするためには輸送機器の軽量化と安全性の両立が不可欠であり、今までにない強くて伸びる新材料の開発が求められています。これを実現可能とするための、最先端の材料研究を調査します。</li> <li>2) 電流のオン/オフを変えられる材料とその仕組み： 情報機器の頭脳となる集積回路では微細加工されたトランジスタが何億個も並び、それぞれの材料中の電流がオン・オフと切り替わって動作します。どのようにこのスイッチを実現するのか、最先端電子デバイスの材料と構造を調査します。</li> <li>3) ハイドロゲルの医用応用： ハイドロゲルは、90%程度の網目状高分子から出来ています。その組成は、生体軟組織と極めて近く、医用材料として注目を集めています。医用応用を行う上で、どのような材料設計が重要になるのか、最先端の医用材料について調査します。</li> </ol> <p>【 授業の目標 】</p> <p>学術論文の構成を知り、学術研究を行ううえでの基礎を身につけます。調査・研究とグループ討議や研究発表を通じ、学術的なコミュニケーション能力を身につけます。材料科学を題材にしながら基礎研究と最先端技術との関連についての実例を学び、科学技術が社会にどのように関わり、貢献することができるのかを議論し、理解を深めます。</p>				
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	<p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>論文読解型、材料工学、構造材料、電子デバイス材料、高分子ゲル プリントを配布する。</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31455	水 2	化学を使って生命や分子の謎を解く	加藤 隆史	工学部	E39 教室
授業の目標・概要	<p>授業の概要：</p> <p>「生命」は化学物質の変換を巧みに行い自律的に活動する複雑なシステムです。また「分子」はそれら化学物質の基本的な構成単位であり、その活動や機能の発現において中心的な役割を担っています。生命や分子を「化学」の視点から眺め理解することは、我々自身やまわりの現象を深く知る上で欠かすことができません。</p> <p>わたしたちは「化学」の力を使って、自らの創造力を「分子」をデザインすることにより具現化することができます。それによって生命現象の理解や病気の治療法を考案したり、自然界にはない新たな機能を持つ分子や素材を生み出すことが可能となります。まさにこの分野は、21世紀の人類社会が抱える多くの諸問題を解決する糸口を提供します。</p> <p>本ゼミナールでは、生命現象や機能性分子・機能素材に焦点を当て、様々な課題を解決するために、化学や分子の視点からどのようにアプローチし、どのようにアイデアを具現化するかについて、文献調査やディスカッションを通じて主体的に考え、オリジナリティの高い提案を行うことを目標に進めていきます。</p> <p>具体的には、生物に学ぶ機能分子・分子集合体・材料をデザインすることに挑戦します。生物がどのような仕組みで有機分子や無機物などから自分達の体をつくりあげ、精密な秩序構造や動的構造を形成して高機能を発現しているかなどを考えてみましょう。さらにそれらを人工的に模倣することによって、生物機能を凌駕するような新しい物質・材料の設計のための創造的討論と発表を行います。世界でまだ誰も考えていない生物模倣材料をつくることを考えてみましょう。</p> <p>授業の目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解決すべき問題に対して自ら課題を設定し、解決法を提案する主体性を育成する。</li> <li>・ グループによる課題設定、進捗状況の共有、プレゼンテーションの実施、質疑応答といった共同作業のスキル、またグループワークにおける主体的な関わり方を身に付ける。</li> <li>・ 自然科学の研究技法を通じた論理的思考法・批判的思考法、建設的な議論の組み立て方を身に付ける</li> </ul> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>問題発見・解決型、化学/生命科学・有機化学、生物機能模倣科学、材料化学、超分子化学 授業中に指示をする。</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
成績評価方法 授業のキーワード 教科書 ガイダンス	<p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p> <p>問題発見・解決型、化学/生命科学・有機化学、生物機能模倣科学、材料化学、超分子化学 授業中に指示をする。</p> <p>第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31473	水 2	宇宙の未解決問題を考える。 Unsolved problems in Astronomy: Dark matter	柏川 伸成	理学部	118 教室
授業の目標・概要	今年度はダークマターについて考える。これまでの研究史を振り返りながら、どうしてこの概念が現代天文学で必要とされているのかを知る。ダークマターに深く関与する観測事実について理解し、現代天文学においてダークマターはどのような意味を持つか、またその正体を暴くにはどうすればよいかを最終的には議論する。				
成績評価方法	出席とレポート。欠席は3回まで。欠席することがあらかじめ分かっている場合には、メールで連絡すること（メールアドレスはUTAS参照）。				
授業のキーワード 教科書	授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、天文学/Astronomy、銀河/galaxy、ダークマター/dark matter、宇宙論/Cosmology 次の教科書を使用する。 書名 The dark matter problem : A historical perspective 著者（訳者） Robert H. Sanders 出版社 Cambridge University Press ISBN 9781139192309 その他 教科書を購入しなくてもプリントで配布します。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31485	水 2	食糧生産の現場で科学者は何ができるか	神谷 岳洋	農学部	E35 教室
授業の目標・概要	世界人口は増え続け、2050年までに90億人に達すると予測されている。くわえて、温暖化の進行により、耕地に適した土地は少なくなり、深刻な食糧不足が生じることが予測されている。我々、科学者は来るべき食糧危機に備えて、最新の技術を用いた作物の育種や栽培方法を通して、食糧問題の解決を図っている。本授業では、グローバルおよびローカルでどのような食糧問題が起きているかをsh資料検索、文献読解等を通じて把握することを目指します。加えて、問題解決に向けて、現場の科学者がどのような取り組みを行っているかを、文献だけではなく、実際の研究の現場を見学することにより学び、未来を見据えた解決策を議論しながら提案することを目指します。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード 教科書	問題発見・解決型、農学、食糧、農業、ゲノム、生命科学 次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31395	金 3	Arts and Sciences	池上 高志	物理	K302
授業の目標・概要	駒場は、文系といわれる学問と理系と言われる学問から成り立っています。しかしこの2つの学問領域の境界は実は曖昧で、明確な区切りはないのです。アートとサイエンスは、異なる言語の下で共に進化してきた領域です。ここではinterdisciplinary（学際）ではなくtransdisciplinary（分野横断的）、つまり自分でサイエンスもアートも自分で開拓できる精神を共有したいと考えています。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード 教科書	レクチャー＋ワークショップ、複雑系の科学、アート、サウンドアート、プログラミング 次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31400	金 3	液体としての水の特異性について考える	平岡 秀一	化学	K201
授業の目標・概要	水 = H <sub>2</sub> O は我々にとっても最も身近でかつ不可欠な物質です。水はその極めて単純な分子構造にもかかわらず、様々な特異な性質が知られています。これらの水の特異な性質は何に由来しているのでしょうか？また、水は我々生命にとって必須の物質だと考えられていますが、なぜなのでしょう？水がないとどのようなことが起こり、水の代わりとなる別の物質はないのでしょうか。溶媒としての水の特異性の一つに疎水効果と呼ばれる現象がありますが、なぜそのようなことが起こるのでしょうか。また、疎水効果に相当する現象は、水以外の溶媒では起こらないのでしょうか。このように、水を取り巻く様々な現象を水分子に着目し、考えてみたいと思います。後半では、水中における分子の集合化について考え、新しい分子のデザインにも挑戦します。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード 教科書	水、化学、疎水効果、自己集合、ファンデルワールス力 次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31405	金 3	ダイエット・減量の科学	寺田 新	スポーツ・身体運動	K301
授業の目標・概要	書店では、健康の維持・増進のための食事法や減量法・ダイエット法に関する書籍が数多く販売されており、ネット上にも様々な情報が氾濫している。これらの情報のうち、どれを信じてよいのかわからなくなったことはないだろうか。このように世の中に溢れる健康情報に対して、それらを総合的に考え、自分に当てはまる情報を取捨選択する能力を身につけることが必要とされている。このゼミでは、まず、世の中に広まっている減量・ダイエット理論がどのようにして構築されてきたのか？それらはどのような科学的根拠に基づいているのか？ということについての検証を通じて「健康リテラシー」を身につけることを目指す。さらに、簡単な実習・実験を行いながら、実際に自分たちが研究者となって健康やダイエットに関する新たな科学的理論を構築しようとした場合、どのような実験を行ったらよいのか？また、得られたデータをわかりやすく伝えるためには、どのような発表を行えばよいのか？ということについて考え、一連の研究プロセスについて学ぶことを目標とする。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	論文読解型/データ解析型、栄養学・スポーツ栄養学、健康科学、スポーツ科学、健康リテラシー				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31750	金 3	産婦人科学入門	甲賀 かをり	医学部	516 教室
授業の目標・概要	医学部産婦人科では妊娠出産を扱っています。昨今の生殖医療の進歩により、多くの疾患が克服されてきましたが、同時に多くの倫理的問題が発生してきました。本ゼミナールでは下記のような問題を題材に、文献調査、学生間の議論を通して、プレゼンテーションスキル、論文作成スキルを身につけます。 1) 出生前検査（妊娠中に染色体数の異常など胎児の疾患を診断すること） 2) 緊急避妊ピル（性交渉の後に薬を内服することで妊娠を回避できる） 3) 代理懐胎（他人の卵子をもらって出産する、あるいは他人の子宮を借りて出産してもらう）				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、ディベート、プレゼンテーション、産婦人科学、生殖医療、生命倫理				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31456	金 3	建物振動の計測と制御	伊山 潤	工学部	E25 教室
授業の目標・概要	建物を想定した振動応答解析理論の概要を学び、応答解析計算、計測の自習および応答制御を想定したケーススタディを行います。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	実験・実習、工学/建築構造、振動・応答、構造解析				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31486	金 3	種と成長をわけるもの	中西 啓仁	農学部	K401
授業の目標・概要	私たちは多様な生物と生態系との関りの中で生活をしています。私たちの衣食住を支え、私たちの精神生活に潤いをもたらす多様性は、生命の誕生以来 38 億年にわたる悠久な進化の歴史によりもたらされたものです。このゼミナールでは、みんなが植物を水耕栽培します。種（たね）が発芽すると、成長とともに次第に多様化して、種（しゅ）と個体の個性が引き出されてくることを実感します。実感しつつ生物の進化と適応を推し量り、生物の個性を利用したバイオテクノロジーの現在を見つめます。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物学/生物多様性、種の多様性、環境と適応、バイオテクノロジー				
教科書	次の教科書を使用する。 書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31457	金 3	物理のための数学ゼミ	荒井 俊人	工学部	517 教室
<p>授業の目標・概要 (授業の概要)            大学で物理学を勉強するに当たり必要と思われる数学的知識をゼミ形式の演習と発表を通して理解を深めます。物理学習得のための数学の初歩を学び、学んだ数学が実際にどのように使われているかを自分で調べ、調べた内容を他の受講者の前で発表します。力学、電磁気学、身近な物質の性質を研究対象としている物性物理学を中心的な題材としますが、それ以外の興味ある物理学のトピックに着目しても構いません。受講者を 4,5 名から成るグループに分け、各グループで興味ある物理学のテーマを設定し、そこに使われている数学について解説したり、自分で関連した問題を作成して解法を解説する形式で進めます。受講者間の討議や文献検索を通して内容をまとめ、それをプレゼンテーションによって他人に分かりやすく伝える事を学びます。</p> <p>(授業の目標)            ・演習を通して既存の課題の目的や問題点を認識し、その解決のための手段を学ぶ。            ・新しいテーマを自ら設定し、課題解決のために必要な道筋を考える力を身につける。            ・自分の考えを分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るためのコミュニケーション能力の基礎を身につける。</p> <p>成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。            授業のキーワード 問題発見・解決型、物理学/物性物理学、物理数学、グループワーク、サイエンスコミュニケーション            教科書 教科書は使用しない。            ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>					
31458	金 3	やってみよう！化学を使った社会設計	杉山 弘和	工学部	K501
<p>授業の目標・概要 本ゼミでは、化学の知識を活かして、私たちの社会に関する課題を発見し、解決策を提案することを目指します。まず基礎知識を取得するために、以下のような演習課題を解きます。            ・エアコンの効率が 100%にならないのはなぜか？（熱力学の応用）            ・スイッチを冷やすまでにどれくらいの時間が必要か？（微分方程式の応用）            ・PET ボトルのリサイクルは環境に良いのか？（プロセス工学の応用）            これらの知識を土台に、グループワークで以下のようなテーマに取り組みます。テーマ設定は自由です。            ・医療・医薬の問題            ・環境問題            ・エネルギー問題</p> <p>本ゼミの狙いは、受講生が講義で学ぶ基礎知識をネットワーク化し、それを実際の課題解決に活用できるツールとして身に着けることです。</p> <p>成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。            授業のキーワード 問題発見・解決型、化学・システム工学、演習・グループワーク、情報学、工学、モデル化・シミュレーション・最適化            教科書 次の教科書を使用する。            書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科            著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編            出版社 東京大学出版会            ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>					
31474	金 3	地球の環境と生物 ～物質循環と生態系の相互作用～	板井 啓明	理学部	E35 教室
<p>授業の目標・概要 この授業では、地球の表層における物質の循環プロセスと、その生物との関わりについて学習します。地球表層は、大気・海洋・土壌など性質の異なるシステムから構成され、物質循環の解析法はシステムごとに特徴があります。これら環境中の化学および微生物生態に関するデータの基礎的な解析方法を実習を通して身につけるとともに、ヒ素（土壌-地下水）や水銀・放射性物質（大気-海洋-生物）などを題材にグループワークを実施し、環境動態・生体毒性・環境浄化など異なる視点から問題発見および解析のプロセスを学習します。授業を通じ、以下の目標を達成します。            ・地球環境における物質循環要素を理解できるようになる。            ・環境・生態系を対象にした基礎的なデータ解析ができるようになる。            ・環境汚染に対する理学・工学的視点を身につける</p> <p>成績評価方法 初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。            授業のキーワード 問題発見・解決型、物質循環/微生物、グループワーク、微量元素、放射性物質、基礎統計学            教科書 次の教科書を使用する。            書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科            著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編            出版社 東京大学出版会            ガイダンス 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>					

グループ6 1年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)					
時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31394	水3	相対論について考える	酒井 邦嘉	物理	K302
授業の目標・概要	<p>(授業の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイエンスにおける問題発見と解決方法の基礎を学び、結論だけでなく科学者の思考過程そのものを理解できるようになる。</li> <li>「科学発表の3原則」である、「正しく、分かりやすく、短く」を心がけて実践に生かせるようになる。</li> <li>自ら問題に取り組みながら科学研究に必要な「論理的な思考力」を磨くことで、学問の進め方の基礎を身につける。</li> </ul> <p>(授業の概要)</p> <p>物理学の発展の歴史に相対論を位置付け、アインシュタインの仕事を通して発見の軌跡を自分たちで追体験します。また、科学研究の成果をいかに正確に、そして分かりやすく伝えるかを重視して、議論や発表の基本を学びます。小グループ分けによる協調学習を通して、論理的な思考力を深めることを目指します。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、物理学/物理一般、アインシュタイン、相対論、科学の基礎				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 『高校数学でわかるアインシュタイン』				
	著者(訳者) 酒井邦嘉著				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31406	水3	心の動き(emotion)と身体の動き (locomotion)の harnessing mechanisms	柳原 大	スポーツ・身体運動	K301
授業の目標・概要	<p>【授業の概要と目標】</p> <p>私たちの生命活動及び行動において、身体運動、とりわけ姿勢(posture)や歩行・走行(locomotion)はその基盤となり、一方で、情動(emotion)は多種多様な環境下で発現します。本ゼミナールでは、運動や情動が脳を含めた生体のどのような仕組みにより発現し、調節されているのか、また、どのように相互作用、協調しているのかについて、実際の実験と観察を交えながら学習していく。グループ内で討議を行い、「参考資料及び文献の収集」、「問いあるいは仮説の設定」、「研究方法の設定」、「論述の組み立て」などのアカデミックスキルを学ぶ。それらの内容はゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。</p> <p>【学術分野】神経生理学、運動生理学、計算論的神経科学、バイオメカニクス</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	運動、情動、生理学、脳、筋骨格、問題発見・解決型				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31459	水3	未来医療工学	牛田 多加志	工学部	K303
授業の目標・概要	<p>医療の発展はめざましいものがあるが、それは医学の基礎知識に工学の技術を複合させることにより実現している。さらなる将来の医療の発展を目指して様々な医療工学が現在、研究されている。本ゼミでは、その中から再生医療工学、医療機器デザインの視点から、それぞれの基礎知識、文献検索、医療工学技術の提案、プレゼンテーションについてグループワークを進める。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	授業のタイプ(「問題発見・解決型」など)、学術分野(大分類/小分類) 機械工学、医療機械、再生医療工学				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31460	水3	データ解析により予測する2050年の 世界の鉄鋼産業	井上 純哉	工学部	E25 教室
授業の目標・概要	<p>授業のキーワード「鉄」は3000年に渡り、私たちの生活と社会を支えてきました。自動車、鉄道、建物など身の回りの多くの製品には鋼材が使われています。世界最長の吊り橋の明石海峡大橋、東京スカイツリーなどのランドマークも鋼材により作られています。これから先も、鋼材が私たちの社会の基盤材料であることは間違いありません。本授業では、日本および世界の過去(1950-2015年)の様々なデータ(人口、経済発展(GDP/人)、粗鋼生産量、鋼材の用途別消費量、製品の寿命など)を解析し、鋼材消費量がどのような因子と相関があるかデータ解析を行います。そして、相関解析から得た知見を基に、2050年までの世界の鉄鋼需要の予測を行います。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	データ解析、マテリアル工学・産業エコロジー、将来需要推計、環境制約				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31461	水3	化学のブレークスルーに学ぶ(2) (有機化学・分析化学編)	澤田 知久	工学部	KALS (17号館 2階)
授業の目標・概要	有機化学・分析化学におけるブレークスルーとなる発見や成果をもたらした研究に関して、その背景と基礎知識を講義や文献読解により学ぶとともに、世界最先端の研究現場やその舞台裏に触れる。研究の基礎となる理論や手法を身につけた上で、それを基に研究がどのように展開され応用技術や新しい概念に結びついたのかを順を追って学ぶ。				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	応用化学、有機化学、分析化学				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31475	水3	世の中を変えた物理、変える物理	長谷川 修司	理学部	K402
授業の目標・概要	本ゼミでは、調査研究やグループ討論、プレゼン、相互批評などを通して、一つのテーマについて、自分自身で調査のやり方や方向性を決め、能動的に情報を集め、体系化して論文にまとめあげるという体験をする。テーマとしては、物理学（とその周辺分野）における歴史的な発見や発明、あるいは将来大きな影響力を持つと考えられる物理学に関するトピックスを一つ選び、その内容を調べるだけでなく、それがその後どう展開され、現代社会や未来社会にどう繋がっているのか、われわれの認識や考え、生活のしかたをどう変えた（る）のか、などを深掘りする。テーマの設定や調査研究の進め方などは、グループディスカッションを通して自立的に設定する。最終的には、各個人のそれぞれのテーマに関して論文形式のレポートにまとめる。その作業過程で、プレゼンテーションや相互批評（ピアレビュー）などを行い、コミュニケーションスキルを高めるとともに最終レポートのブラッシュアップに役立てる。				
成績評価方法	議論のとっかかりとして、最初に、すべてのノーベル物理学賞と関連するノーベル賞の一覧表を提供するが、それにとらわれず、自由にテーマを選んでよい。また、発明や発見の内容を学術的に正確に記述することにとらわれず、その発明や発見の意義を広く理解してもらえらる表現や議論を重視して進める。				
授業のキーワード	ゼミ形式、物理学、ノーベル賞、科学史、科学と社会				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31476	水3	生命を分子・情報から読み解く	飯野 雄一	理学部	E35 教室
授業の目標・概要	2008年のノーベル化学賞の対象となったのは下村脩博士らによる緑色蛍光蛋白質（GFP）の発見とその応用であった。緑色蛍光蛋白質は生物学や医学の研究を塗り替え、いろいろな生命現象を目の当たりに見ることができるようになった。本ゼミナールでは緑色蛍光蛋白質がどう見つかりどう使われているか、実際の観察を交えながら学習し、今後どういう可能性があるかについて各グループで調べながら考察する。さらに、生命現象を支える分子についての理解をふまえ、ゲノミクス、バイオインフォマティクス、システム生物学などそれらの全体像を捉える生物情報科学分野の近年の進展とその社会との接点（合成生物学、個人ゲノム解析、遺伝子検査など）に関して考察する				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物学／分子生物学、生物学／生物情報科学、生命現象のしくみ、蛍光蛋白質(GFP)				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社 東京大学出版会 第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31487	水 3	2050年の農業・農村と環境を考える	橋本 禪	農学部	K501
授業の目標・概要	<p>国連の推計によると、受講生の皆さんが社会の中心的な役割を担う世代となる2050年には、世界の総人口は97億人を超えると推定されています。そのため世規模でみると、増加する人口を支えるためにさらなる食料の増産が求められており、その使命が農業と農村に課せられています。他方、日本の人口はすでに減少局面に入り、2050年には1億人を割るといわれています。日本の農山村では過疎化や高齢化、農業の後継者不足等から、われわれにさまざまな恵みをもたらしてきた里地里山の利用・管理の低下、それに伴う耕作放棄地の増加、農村社会の衰退などさまざまな問題が指摘されています。農業・農村やその周辺環境は今後どのような姿になっていくのでしょうか。</p> <p>そこで本ゼミナールでは主に日本に焦点をあて、皆さんとともに2050年の農業・農村や環境の姿について考えたいと思います。本ゼミナールを担当する教員2名はそれぞれランドスケープ・プランニングと農業経営学を専門としています。学問分野の細分化が進む中、2つの分野の視点を踏まえた相乗的な議論を行うことを目指しています。</p> <p>ゼミナールではまず、農業と農村を取り巻く現状や問題点、それを解決していくための技術や社会的対応について、論文読解と情報収集を通して知識を深めます。続いて、得られた客観的情報をもとに各グループで議論を行い、次の時代の農業と農村のあるべき姿を、根拠をもって具体的に提案します。最後に、得られた提案を発表し、さらにその発表に対して再検討を行います。レポートにまとめます。これらの過程で、情報収集、論文読解、グループ討論、計画立案、プレゼンテーションといった活動を実際に体験し、能動的な問題解決能力を身に着けます。</p> <p>(授業の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会の問題解決における自然科学、社会科学の役割について理解を深める。</li> <li>・科学研究を行う上で必要な基本的スキル(情報収集、論文読解、グループ討論、計画立案、プレゼンテーション等)を身につける。</li> <li>・考えを分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力を磨く。</li> </ul> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p>				
成績評価方法	問題発見・解決型、ランドスケープ・プランニング、農業経営、多面的機能、多面的機能、グループ討論				
授業のキーワード	次の教科書を使用する。				
教科書	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者(訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31401	金 4	化学で切り開く新しい生命科学： 研究者に求められる能力とは？	吉本 敬太郎	化学	K301
授業の目標・概要	<p>【はじめに】</p> <p>皆さんの「化学」のイメージは、周期表や反応式、化合物名や成経路の暗記、さらにモル収支の計算など、覚えることばかりで計算が面倒、泥臭い実験、汚い白衣のイメージ、、、なんて方が多いでしょうか。一方、「生命科学」のイメージは、オートファジー、iPS細胞、難病治療薬、などのトピックスが最近メディアでも華々しく報道され、非常に輝いて見えるのかもしれませんが。しかし、「化学」と「生命科学」はとても深く密接な関係にあります。化学の発展無しには生命科学の発展はありえません。</p> <p>本授業は、「生命科学」の研究分野において「化学」が極めて重要な要素・学問であることを学び、皆さんに「今まで知らなかった"生命化学"」に出会ってもらうことを大きな目的としています。さらに、研究者という職業について深く知ること、また昨今話題となっている研究者のモラルについても考えたいと思います。研究者を公平に評価する"物差し"を皆さんとディスカッションしながら考えていきたいと思っています。</p> <p>研究者を評価する物差しや化学と生命の融合領域について考えるなかで、アイデアの出し方、グループディスカッションの経験を積んでいただくことを大きな目的としています。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>「分子認識化学」「材料化学」「生命科学」をキーワードとする各テーマについて、グループディスカッション・発表・討論することを最終的な目標として設定しています。このための事前準備(議論、提案、プレゼンなどの訓練)も本講義内で行います。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	化学(材料化学・バイオマテリアル)、生命科学、メカノバイオロジー、幹細胞、学者・研究者、グループディスカッション				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31417	金 4	世界の海底物理・地質情報から プレートテクトニクスを"視る"	清水 久芳	地震研究所	E35 教室
授業の目標・概要	<p>今から約 100 年前、Alfred Wegener は、世界地図の上で大西洋を挟んだアフリカ・南アメリカ大陸両海岸線の類似した形を見て、大陸移動のアイデアを思いつきました。このアイデアは、当初、大陸を移動させる駆動力について明確な説明ができず、地球科学界では忘れ去られてしまいます。しかし、1950 年代以降、地球科学上の新しい証拠によって再評価され、プレートテクトニクス理論へと確立されました。その間にも、地形や地震・火山の分布の特徴や規則性から、地球のダイナミクスや歴史について様々な発見がされています。</p> <p>現在、私たちは、Wegener の時代とは比較にならない膨大な地球情報や、それを視たり手を加える便利なツールを手にしています。人工衛星や調査船による地形・3 次元地下構造探査、掘削による地下物質・状態の直接観察、海底ケーブルによる地震・地殻変動モニタリング、等により、地球の表面や内部が「どのようになっているか」は、ずいぶん詳しく分かってきました。一方で、「なぜそのようになっているか」については、多くの問題が残されています。例えば、海溝型地震・津波が超巨大になる要素は何か、地球磁場なぜ逆転するのか、生物大量絶滅はなぜ起きたのか、などの根源的な問題はまだ理解されていません。</p> <p>深海底は大半のプレート境界がある活動的な場所であり、また、新しいタイプの極小海底火山などの「発見」や、地殻とマントルの境界面がどこにあるのか、といった探索の要素が未だ残されています。残された秘境とっていいでしょう。</p> <p>本ゼミナールでは、最新のデジタル地球データを駆使して、皆さんにあまりなじみのない世界の海底の姿を観察し、その特徴が語る地球の歴史や未来の姿を描き出します。新しい規則性の発見や、斬新な仮説がこのゼミナールから生まれることを期待します。</p> <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「どのようになっているか」を知るため、情報を収集・分析するスキルを身につける。</li> <li>○「なぜそのようになっているか」という問題意識を持ち、解決に向けて取り組む姿勢を身につける。</li> <li>○グループで問題設定、情報共有、議論を行い、考えをまとめるグループワークを経験する。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、地球科学、デジタル地球データ、プレートテクトニクス、地球の進化				
教科書	次の教科書を使用する。				
ガイダンス	<p>書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科</p> <p>著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編</p> <p>出版社 東京大学出版会</p> <p>第 1 回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。</p>				
31422	金 4	疾患克服を目指した医科学研究の実際 －疾患の分子病態から予防、診断、 治療法を考える－	井元 清哉 渡邊 すみ子	医科学研究所	K302
授業の目標・概要	<p>がん・アレルギー疾患・感染症・神経疾患をはじめとする難病を克服し、健康で長生きできる社会を実現するためには、疾病の原因となる分子や遺伝子を同定して、その異常と病態発症、進展におけるメカニズムを解明することが極めて重要です。そして、得られたデータを様々な手法で解析することにより新しい予防・診断・治療法の開発へと発展させて行く必要があります。これらの情報が、近年注目を集めている医療分野の人工知能 (AI) の開発にも繋がっていきます。私たちの医科学研究所では、モデル動物、患者サンプルなどを使った実験的基礎医学から、高度な数学的手法を用いたデータ解析、さらにモダリティと呼ぶ様々な薬や治療法のデザインまでカバーし、一体となって医科学研究を行なっています。</p> <p>本ゼミナールでは、がんを主な題材として、基本的な科学用語の検索から、病気の発症メカニズムを共同学習しながら能動的に学習して発表し、議論することで医科学研究の実験生物学からスーパーコンピュータを用いた情報解析、それが治療や創薬に繋がっていく実際を体験してもらいます。また、グループ学習を通して、疾病に対する診断、治療、予防法などを考えてプレゼンテーションも行う予定です。その過程で、実際に研究施設を見学し、研究の現場を体感する機会を設けるとともに、研究に必要な学術的スキル（問題発見、検索、グループワーク、考察、プレゼンテーションなど）を習得します。</p> <p>開催場所：通常は駒場キャンパスで実施 第 3 週、4 月 26 日（金）は休講とし、代わりに 5 月 11 日（土）に医科学研究所の施設見学（スパコン、バイオバンク、実験施設等）を行う。 （集合時間：10 時、集合場所：白金台キャンパス近代医科学記念館）</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決型、医学、ゲノム・精密医療、人工知能、創薬				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第 1 回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31425	金 4	コホート研究をしてみよう	小林 廉毅	医学部	E25 教室
授業の目標・概要	<p>喫煙と種々の疾病の関係はすでに多くの人の知るところですが、それらの関係を明らかにしたのは、コホート研究などをはじめとする疫学の方法論です。疫学研究を計画するためには、疾病のメカニズム、調査におけるバイアス、統計学的手法、倫理的配慮などへの理解が必須です。この授業では、コホート研究を題材として、上記の事項を参加型授業をとおして学習してもらおうことを目的とします。</p> <p>初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。</p>				
成績評価方法	参加型授業、医学 / 社会医学、疫学、コホート研究、バイアス、研究倫理				
授業のキーワード	プリントを配布する。				
教科書	第 1 回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
ガイダンス					

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31462	金 4	社会のためのロボティクス	山下 淳	工学部	K201
授業の目標・概要	<p>(授業の概要) 医療・福祉・生産から極限環境調査や災害対応まで、さまざまな現場でロボット技術 (Robot Technology) が活用されています。</p> <p>本授業では、ロボットについて初めて学ぶ学生のために、世界の第一線で活躍中のロボット研究のトップランナーたちが、社会とロボットの関わり、社会のための最先端ロボット技術について解説します。また、文献調査、グループ討論、プレゼンテーション実習などを行い、社会のためのロボット技術に関する理解を深め、ロボットの役割について考えます。ロボット実習では、実際のロボット技術に触れ、最新のロボットについて学習します。更に、これらの体験を通じて学習した内容に関してプレゼンテーションやグループ討論を行い、科学技術に関するコミュニケーション能力の向上を図ります。</p> <p>ロボティクスは、精密工学、情報科学、機構学、運動学、制御工学、計測工学、人工知能などの幅広い内容を含む総合的な学問です。</p> <p>授業を通じてロボットに関する基礎知識を身に付け、ロボット研究の奥深さや面白さを感じとって下さい。また、社会とロボットの関わりについて、考えてみて下さい。</p> <p>本授業はきっかけを与える入口です。自分から積極的に情報収集をすることにより、ロボットに対する理解と興味が更に深まることでしょう。</p> <p>(授業の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のためのロボット技術に関する理解を深め、最先端ロボット技術に関する知識を身につけます。</li> <li>・ロボット実習の結果を解析し、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に考察する力を身につけます。</li> <li>・自分の考えを他人に分かりやすく伝える科学技術プレゼンテーション能力と、他人とディスカッションを行うコミュニケーション能力の基礎を身につけます。</li> </ul>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	問題発見・解決・実験データ解析型、工学・情報科学/ロボティクス、ロボット技術、ロボットと社会・人間、ロボットと医療・福祉、ロボットとサービス				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者 (訳者) 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31463	金 4	数学・物理をプログラミングで考える	山崎 俊彦	工学部	K401
授業の目標・概要	<p>昨年までの講義の様子は以下の URL を参照 <a href="http://www.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/~tau/lecture/programming_math_physics/">http://www.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/~tau/lecture/programming_math_physics/</a> コンピュータ (プログラミング) を使って、数学や物理の問題、実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます。そうすることを通してプログラミング、数学、物理を学ぶとともに、それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します。</p> <p>実際の問題をいくつか、例・テンプレートとして提示し、グループに別れて解法や、問題の発展形や一般化などについて議論します。それと並行して、プログラミングの基本について、演習します。最後に、お互いが解いた問題について発表しあう、発表会を行います。途中でも、グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため、適宜ミニ発表会を行います。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	プログラミング、Python、微分方程式、シミュレーション				
教科書	教科書は使用しない。				
ガイダンス	第1回授業日に行く。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

時間割 コード	曜限	講義題目	担当教員	所属	教室
31464	金 4	電子回路で学ぶモデリング手法	三田 吉郎	工学部	E38 教室
授業の目標・概要	<p>本ゼミでは、凡そ理科を志す者にとって必須のスキルとなる「未知の現象を正確に観察、定量化し、モデルを立てて振舞いを理解する」作業を、具体的な電子回路を例にとってわかりやすく学習し、身に付けることを目的とする。本講義では昨年に引き続き、学生の理解の進捗を注意深く観察し、講義・演習の長短を含め柔軟に対応する。</p> <p>学習する回路の例:</p> <p>(0)実験設備製作体験</p> <p>(1)線型な回路、非線形な回路(スケールの議論)</p> <p>(2)振動する現象 I(定常状態)</p> <p>(3)振動する現象 II(過渡的応答)</p> <p>(4)能動素子の考え方</p> <p>(5)増幅回路</p> <p>(6)発振回路</p> <p>(7)変調復調回路(AM 送受信機)</p> <p>(8)その他の素子(MEMS 等)</p> <p>身に付けられるスキルの例:</p> <p>(あ)現象を数式で表現して理解する手法</p> <p>(い)スケール(ログ、リニア)を変えた特性の評価</p> <p>(う)周波数領域での事象の理解</p> <p>(え)時間領域での事象の理解と周波数との関連性</p> <p>(お)線形化による見通しのよい特性理解</p> <p>(か)電気系で使用する様々な器具に触れる(オシロスコープなど)</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	講義と演習、工学/実験による現象理解、電子回路、線形回路、非線形回路、線形化				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				
31488	金 4	見えない微生物の大きな役割	勝山 陽平	農学部	K303
授業の目標・概要	<p>微生物は自然環境中のあらゆる場所に存在し、人間に多大な影響を与えて来た。しかし、その小ささから近代まで生物として認識されて来なかった。にもかかわらず、人類らはこれらの生物を「発見」する前から、それらの能力を利用して来た。発酵食品の製造はその代表的な例である。一方で、微生物は腐敗や感染症を引き越す問題児でもある。近代に微生物学が確立されたことによって微生物の利用法は拡大した。現代では微生物の存在は欠かせないものになり、医薬品、産業用酵素、発酵食品の製造、排水浄化など様々な場面で利用されている。また、微生物は優れたモデル生物でもあり、分子生物学の発展に欠くことのできない存在である。本ゼミナールではグループワークを通して微生物に関する基礎的な知識を身につけるとともに、微生物を取り巻く近年の状況や利用法に関して学ぶ。同時に文献を検索、プレゼンテーションのトレーニングを行う。</p>				
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。				
授業のキーワード	論文読解・演習型、微生物学、微生物、発酵、環境浄化、病原菌				
教科書	次の教科書を使用する。				
	書名 科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科				
	著者（訳者） 東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編				
	出版社 東京大学出版会				
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。				

## 基礎科目 社会科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30586	S	法 I	西村 弓	法・政治	火 5	1331 教室	1 年 文二 2 年 文二
講義題目 授業の目標概要		法学入門—国際的視点から この授業では法学を学んでいくにあたっての基礎的な思考方法を修得することを目指します。条文・判決文・学説等の法学的テキストを厳密に読み、解釈する力を養うことがその目標の1つとなります。 具体的な素材は授業中に示しますが、現代においては国内社会と国際社会が相互に大きく影響しあっていることから、法規律の国際的側面を中心に取り上げ、さまざまに生じている具体的な事案に即して検討を進める予定です。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30621	S	法 I	早川 眞一郎	法・政治	水 1	900 教室	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要		法 I (文科 I 類) ★この講義を受講できるのは、文科 I 類の学生のみであるので注意すること★ 法に関する基礎知識と法学の思考方法を学ぶ。 司法(裁判) 制度及び法体系全般についてその概要を説明した後、主として私法とくに民法(契約、家族、事故などをめぐり、一般市民の間の関係を規律する基本法)を素材として、法と法学に関する入門的な講義を行う。それを通じて、われわれの社会にとって法がどのような役割を果たしているか、学問としての法学にはどのような意味と面白さがあるかを考えてみたい。 授業には、最新版の六法(ポケット六法サイズでよい。有斐閣または三省堂の出版したものが望ましい)を必ず持参すること。 授業に使用する資料は、授業開始後に、ITC - LMS で入手できるようにする予定であるので、教室での指示に従い、各自がダウンロードして教室で読める形で持参すること。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点+筆記試験 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30622	S	法 I	弥永 真生	法・政治	水 1	1331 教室	1 年 文三 2 年 文三
講義題目 授業の目標概要		社会における法の役割 主として社会・ビジネスにおいて、法がどのような役割を果たしているのかについて、ニュース記事などを題材にして、解説を加える。そのプロセスにおいて、法律学〔主として、私人間の関係を規律する私法〕の基本的知識を併せて理解していただくことを目的とする。					
評価方法		グループ・レポート(1 グループ 5 人以内。ただし、1 人で提出することも認める)40 点、定期試験 60 点の割合で評価する。ただし、授業中に発言を求めた際の的確な発言に対しては、当該学生に与えられたグループ・レポートの評価に、合計の得点が 40 点を超えない範囲で、加点を行う。					
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30172	S	政治 I	鹿毛 利枝子	法・政治	月 3	1313 教室	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要		比較政治学入門 政治学の基本的な概念や考え方を紹介する。詳細は初回の授業時に説明する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30173	S	政治 I	上神 貴佳	法・政治	月 3	743 教室	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>政治学の基礎概念 本講義は政治学における基礎的な概念を紹介し、受講生が政治現象を理解するための一助となることを目標とする。とくに、現代の政治を構成する中心的な原理としてのデモクラシーについて考察する。</p> <p>定期試験で評価する。 次の教科書を使用する。 書名 現代政治理論 [新版] 著者(訳者) 川崎修・杉田敦編 出版社 有斐閣アルマ ISBN 978-4-641-12454-7 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30174	S	経済 I	松原 隆一郎	経済・統計	月 3	1106 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>経済学概説 経済学が背景とする論理を明示しつつ、その限界を理解する。 論述形式の定期試験による。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30587	S	経済 I	中西 徹	経済・統計	火 5	1313 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>経済 I：発展途上国における経済と社会 発展途上国の社会経済を対象として経済学の分析が有する意義と限界について検討します。 開発政策の原理とその歴史、および貧困層の経済行動を検討することによって、発展途上国の社会変動についての理解を深めると同時に、これを補完ないしは代替する地域研究の役割について理解することを目標とします。 原則として定期試験(レポート課題を課す場合にはレポートを含める)による。 講義初回に説明する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30588	S	社会 I	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 5	743 教室	1 年 文三 2 年 文三
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>近代社会と官僚制 この講義では「社会とは何か」という社会学における根源的な問いから、官僚制をキータームにわれわれの生きる近代社会特有の諸問題を把握する。特に官僚制の極限事象とみなされる全体主義とホロコースト、その後のアイヒマン裁判および裁判をめぐる論争を学び、現代に通底する問題構成を理解する。 定期試験(もしくはレポート)を中心としておこなう。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30623	S	社会 I	小山 裕	社会・社会思想史	水 1	1313 教室	1 年 文一 文二 2 年 文一 文二
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	社会学入門 現代社会の諸問題を念頭におきつつ、社会学の基礎概念と基礎理論を学習する。 定期試験を中心におこなう。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30589	S	数学 I	志甫 淳	数学	火 5	761 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	数学 I 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30624	S	数学 I	北山 貴裕	数学	水 1	761 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	数学 I 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30625	S	数学 I	林 修平	数学	水 1	743 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	数学 I 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 次の教科書を使用する。 書名 入門微分積分 著者(訳者) 三宅敏恒 出版社 培風館 ISBN ISBN-10: 4563002216 ISBN-13: 978-4563002213 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30590	S	数学Ⅱ	古田 幹雄	数学	火 5	531 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>数学Ⅱ 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30626	S	数学Ⅱ	白石 潤一	数学	水 1	525 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>数学Ⅱ 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。 主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。 特に行わない。</p>						

## 基礎科目 人文科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30175	S	哲学 I	古荘 真敬	哲学・科学史	月 3	1331 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	<p>哲学の根本的問い わたしたちの誰もが一度は向き合ざるをえないであろう「哲学の根本的問い」の幾つかについての考察を展開していきながら、関連する哲学史上の古典的テキストを紹介し、受講生の皆さんの今後の哲学的思索の厚みが増すようにお手伝いしたい。</p> <p>考察の出発点は、わたしたちの日常生活である。まずは、各々の「わたし」が、生活の現場において遭遇するさまざまな問題に対処しながら生きる日常の基本構造を振り返ってみよう。そのうえで、「知の根拠」「行為と自由」「人格と倫理」「真理と価値」「生の意味」といった事柄をめぐる哲学の基本的な問いを、具体的に展開していきたい。</p> <p>実のところ、「哲学」とは、何ら特別なものではない。わたしたちは、さまざまな問題に忙しく対処しながら生きる日常のなか、ふと立ち止まり、「いったい自分たちは何をやっているのだろうか？ こうしたことはいったい何を意味しているのだろうか？」と問い直さざるをえなくなることもあるのではないかと。わたしたちは、走ってばかりはいられない。走るにしても、走ることを意味を問わざるをえない。その問いとともに始まるのが、急ぎ足で前進することとは異なる「哲学」の時間なのである。この営みには、人間の歴史と同じくらい古い歴史がある。人間は、人間であるかぎり哲学する。</p> <p>さあ、君も立ち止まって考えよう。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験の成績で評価する。</p> <p>プリントを配布する。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30627	S	哲学 I	鈴木 貴之	哲学・科学史	水 1	K214	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	<p>哲学の根本問題から哲学とは何かを考える 哲学の根本問題の多くは、古代ギリシア時代から論じ続けられているものです。そして、哲学という学問には、その時代から大きな進歩がないようにも見えます。このことは、哲学の問いは無意味な問いであることや、それらは別の方法で探究した方がよいことを示唆しているのでしょうか。そうではないかもしれません。哲学の根本問題は、われわれが当然成り立つと考えている一連の事柄がじつは両立不可能だということや、一見説明できてあたりまえの事柄にじつはきちんとした説明を与えることができないことを明らかにするものだからです。哲学の根本問題は、われわれの常識的なものの見方には根本的な問題があることを示しているのかもしれないのです。</p> <p>この授業では、哲学の根本問題のいくつかを題材として、哲学とはどのような学問なのか、哲学の問題は他の学問が扱う問題とどのように異なるのか、哲学の問題に正解はあるのか、といったことについて考えていきます。</p> <p>学期末の筆記試験（70%）と小レポート（30%）の内容によって評価します。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験の成績で評価する。</p> <p>プリントを配布する。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30591	S	倫理 I	阿部 善彦	哲学・科学史	火 5	K212	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	<p>人間探求 自己探求としての倫理 今日に至るまで伝えられた「古典」と呼ばれるテキストを手がかりに、倫理に関する基本的なテーマを探求する。それは人間探求、自己探求としての意味を持つ。その探求の手がかりとして、主に、哲学、そして、キリスト教（中世キリスト教思想）に関するものを取り上げる予定である。そこから、探求すること、考えを深めることを学んでゆくことが求められる。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験のほか、教員の指示する講義ノートや小レポートなどの提出物、授業内での活動による。</p> <p>授業中に指示をする。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30176	S	歴史 I	岡田 泰平	歴史学	月 3	533 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>近代植民地主義を考える——東南アジアにおける植民地支配と国民国家</p> <p>本授業では、東南アジアの近代植民地を中心として、テーマ別に近代植民地とはどのような政治・社会体制だったのかを学びます。おおむね東南アジアは 19 世紀末に西洋の近代植民地になり、1940 年代に独立を果たし、それぞれの国民国家が出来上がります。本授業では、この 20 世紀前半期を中心に扱います。</p> <p>ただし、この近代植民地主義は、植民地化以前の反乱やナショナリズムの問題、そして植民地支配から政治的・文化的・社会的に解放されることとは何か、という脱植民地化の問題と深く絡まりあっています。ついては、植民地化以前と以後も視野に取って授業を行います。</p> <p>この授業では、①東南アジア地域への理解を深めること、②20 世紀史の流れを理解すること、③近代史が 21 世紀の現在にどのようにつながっているのかを考えることを、当面の目的とします。</p> <p>なるべく幅広く異なった事例に言及していくことを希望しますが、私の能力の限界もあり、アメリカ合衆国とフィリピンについて多く言及することになると思います。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>ミニ・エッセーの合計点+期末課題</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30177	S	歴史 I	長谷川 まゆ帆	歴史学	月 3	1101 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>近世フランスの社会とその変化</p> <p>この授業では、近世期フランスの社会と文化の特質を広く多面的に概観する。対象としては、地理、言語、宗教や土地制度、司法行政システム、軍隊や教育、家族や子育て、人口と移民、医療や出版、食糧など多岐にわたるが、これらをこの時期に確立されていく統治システムと関連させながら講義していく。それによって、この数百年の社会形成の実際を学ぶとともに、人と人との関わりや感じ考える仕方が、この時代にどのように脱構築され、再構築されていったかを考える。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>筆記試験</p> <p>授業中に指示をする。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30592	S	歴史 I	田中 創	歴史学	火 5	K011	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>ローマ帝国とローマ法の歴史</p> <p>共和政から帝政へと変容し、さまざまな問題に直面した古代ローマ帝国がどのような法制度を発達させて、現実社会に適用したのかを通覧する。その中で、現代社会にまで影響を及ぼしたローマ法が発達した歴史的・文化的背景についての理解を深めることを目標とする。</p> <p>授業では古代ローマの歴史を講義形式で概観する一方で、いくつかの史料翻訳を具体的に取り上げながら、それぞれの時期の国制や統治領域の変化に応じて発達した法制度の諸相を考えていきたい。</p> <p>本講義は、法律上の概念や政治思想を論じるものではなく、主として所与の史料がどのように我々のもとに残されたかを考察することで、史料の扱い方に関する基本的姿勢を身につけることを目的とする。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>定期試験で評価する。</p> <p>プリントを配布する。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30628	S	歴史 II	渡辺 美季	歴史学	水 1	K212	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>異文化交流から見た琉球・沖縄の歴史</p> <p>琉球は、12 世紀前後に王国形成を開始し、その後「沖縄県」として日本に組み込まれる 1879 年まで、東アジアの一王国として存続し、独自の文化的特徴を発展させた。本講義では、周辺諸国との交流の中で、琉球王国がいかにしてその文化的固有性を育んだのか、また沖縄県となった後、日本やアメリカとの関わりの中で、その文化がどのように継承され変容したのかを、時間軸に沿って講義する。近代とは異なる国家や国際関係のあり方への理解を深めることで、現在の諸地域や国家を相対化する視点を養い、変容しながらも近代以降に継承される文化を扱うことで、長いタイム・スパンで事象を捉える姿勢を身に付けることを目指したい。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>学期末のレポートを主とし、授業中の課題などを加味して総合的に判断する。</p> <p>プリントを配布する。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30629	S	ことばと文学Ⅰ	遠藤 智子	英語	水 1	109 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		言語使用と体系の創発 この講義では、言葉についての学問である言語学が扱う諸現象を概観し、その基本的な全体像を理解することを目指すとともに、現在起きている言語現象についての分析を紹介します。言語は使用の中で変わり続けるものであり、また様々な意味で多様性を持つものですが、そのような言語を体系として扱うことはどのようにすれば可能なのか考えていきます。言葉の研究に興味のある人の受講を歓迎します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		ミニレポートと定期試験による プリントを配布する。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31741	S	ことばと文学Ⅰ	渡邊 淳也	フランス語・イタリア語	水 1	159 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		「言語と論証 (argumentation)」 フランスの統合的語用論者オズヴァルド・デュクロが提唱した「言語内論証理論」を中心とし、関連する諸理論を概観するとともに、事例研究を紹介する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		試験 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30593	S	ことばと文学Ⅱ	田村 隆	国文・漢文学	火 5	109 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		『源氏物語』若菜巻の世界 上下二巻に分かれる若菜巻は『源氏物語』54帖の中でも最大の分量を有する。また、内容面でも前巻の藤裏葉で准太上天皇という栄華に上りつめた光源氏の舞台がこの若菜巻で暗転するという、きわめて重要な巻であり、著名な桐壺巻や若紫巻などを高校の教科書で学んできた皆さんにはその先の物語を是非味読してほしい。 本講義では 2017 年の 7 月から半世紀ぶりの改版が始まった岩波文庫をテキストに使い、若菜巻を一語一語にこだわりながら共に精読してゆく。併せて、『源氏物語』全体についても理解が及ぶよう努める。					
評価方法 教科書 ガイダンス		論述試験 (持込不可)。 次の教科書を使用する。 書名 源氏物語 (五) 梅枝—若菜下 著者 (訳者) 藤井貞和ほか 出版社 岩波文庫 その他 2019 年 3 月刊行予定。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30178	S	ことばと文学Ⅲ	村上 克尚	国文・漢文学	月 3	109 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		日本近代文学における「ことばと文学」 この授業では、近代の日本語文学を事例として、作家たちが、いまだ表象されたことのない現実を表象するために、「ことば」をどのように作り変えてきたのかについて考えます。この作業を通じて、ある表現の内容と形式の相関関係の重要性を学ぶとともに、文学以外のジャンルの作品にも応用できる分析方法を習得することを目標とします。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業参加 30%、期末レポート 70% で評価します。 次の教科書を使用する。 書名 浮雲 著者 (訳者) 二葉亭四迷 出版社 岩波文庫 ISBN 978-4003100714 その他 760 円 (本体価格) 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30179	S	心理 I	四本 裕子	心理・教育学	月 3	1323 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	心理学概論 ヒトや動物の心や行動を対象とする心理学は、その科学的測定の特異さゆえ、誤った理解や理論が社会に広がることも多い。心理学は、人間の心と行動の理解を目指す歴史ある学問であるが、心理学における研究手法は、科学技術の発達とともに常に変容しつづけている。本講義では、これまでの心理学実験の例やそこから導きだされた理論を学ぶことにより、心理学の基礎を学術的に理解することを目標とする。						
評価方法 教科書 ガイダンス	持ち込み禁止の定期試験。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30594	S	心理 I	田谷 修一郎	心理・教育学	火 5	1323 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	心理学概論 誰しも「心とはこういうものだ」という素朴な信念を持っているだろう。しかしそうした内省が、我々のものの見方の持つバイアス（歪み）の影響を逃れることは難しい。心理学とは科学的な手続きによってこのバイアスを回避し「心」の仕組みについて普遍性のある説明を与えることを目指す学問である。本講義ではまず「心理学の成り立ち」について触れ「心」を測定することの難しさと、その困難を先人たちがどのように乗り越えようとしてきたかを学ぶ。その上で、過去の研究から導かれる「人の心の基本的な仕組み及び働き」についてデモンストレーションや模擬実験を交えながら解説していく。単に現象や理論について知るだけでなく、研究の手続きについても学ぶことで、心理学の可能性と現時点における限界の双方について考えることのできる講義を目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	試験を中心に評価する。コメントシートの内容など、授業への積極的貢献を評価する可能性がある。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

## 基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。</p> <p>1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。</p> <p>2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。</p> <p>3) 未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、自ら実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。</p>		
授業の方法	<p>自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。</p> <p>1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。</p> <p>2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。</p> <p>3) 未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、自ら実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。</p>		
成績評価方法	<p>◆基礎実験（物理学）では出席、試問、及び実験ノート（実験最終日に提出）で成績を評価する。</p> <p>◆基礎実験（化学）では出席、予習、実験ノート、試問、片付け、及び実験報告書（提出期限は次回実験日の午後1時）で成績を評価する。</p>		
教科書	<p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 基礎実験（物理学）の教科書は学術図書出版社の『基礎物理学実験』、基礎実験（化学）の教科書は東京化学同人の『基礎化学実験』である。</p> <p>その他 教科書は駒場生協で入手可能である。</p>		
履修上の注意	<p>◆第1回授業日に行うガイダンスには必ず出席すること。</p> <p>◆過去ノートの持ち込みはカンニングとみなす。</p> <p>◆実験中は携帯電話の電源を切っておくこと。実験中の携帯電話の使用はカンニング行為とみなされる場合がある。</p> <p>◆実験室及び実験室のある建物内は禁煙である。また、実験室は飲食厳禁である。</p> <p>【基礎実験Ⅳの履修】</p> <p>◆S2に開講される基礎実験Ⅳは、履修者数の状況によっては開講曜日の変更が行われる。その際には再度希望日の選択が可能である。</p> <p>◆履修登録方法などの詳細は、基礎実験Ⅲの初回に実施されるガイダンスで周知する。</p>		
※講義の詳細については、UTASを参照すること			

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30117	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(1-3,5,7-9,12-14)
30464	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(20-25)
30769	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(4,6,29,31,33-35,38)
31007	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(10-11,15-19)
31195	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2年 理一(26-28,30,32,36-37,39)
40014	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
40067	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
40206	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
40217	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
40232	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2年 理一
30118	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(1-3,5,7-9,12-14)
30465	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(20-25)
30770	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(4,6,29,31,33-35,38)
31008	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(10-11,15-19)
31196	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2年 理一(26-28,30,32,36-37,39)
40015	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2年 理一
40068	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2年 理一
40207	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2年 理一
40218	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2年 理一
40233	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2年 理一

## 基礎生命科学実験・生命科学実験

基礎生命科学実験・生命科学実験		開講区分	S	
授業の目標・概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法の原理を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。			
授業の方法	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法の原理を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。			
成績評価方法	成績は、出席、レポート、後片付けその他で評価する。			
教科書	次の教科書を使用する。 書名 基礎生命科学実験 第2版 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062218-9			
履修上の注意	・ S1「基礎生命科学実験」の履修を希望する文科生は初回授業（4月5～11日）の希望曜日に必ず出席して受講希望の旨を教職員に申し出、履修希望カードを提出すること。これに加え、受講に際しては教務課に履修認定カードを提出する必要がある。下記HP参照のこと。 ・ S2「生命科学実験」履修希望者は火、水、木から希望する受講曜日を選択すること。また、2回目の訂正期間（6月13日～18日）に履修を変更する者は、6月5日のS2ターム開始前までに教職員に必ず連絡すること。			
関連ホームページ	ガイダンスでは、「実験補遺」のPDF（ <a href="http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/hoi.pdf">http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/hoi.pdf</a> ）を印刷して持参すること。教科書添付のDVDをみること。			
※講義の詳細については、UTASを参照すること				
時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30166	S1	月3, 月4	基礎生命科学実験	2年 理二三(1-4,6-8)
30471	S1	火3, 火4	基礎生命科学実験	2年 理二三(11,13,15,17)
30780	S1	水3, 水4	基礎生命科学実験	2年 理二三(14,21,23-24)
31010	S1	木3, 木4	基礎生命科学実験	2年 理二三(5,9-10,20,22)
31208	S1	金3, 金4	基礎生命科学実験	2年 理二三(12,16,18-19)
40069	S2	火3, 火4	生命科学実験	2年 理科
40208	S2	水3, 水4	生命科学実験	2年 理科
40219	S2	木3, 木4	生命科学実験	2年 理科

## 数理科学基礎

数理科学基礎		開講区分	S 1	
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び、高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなり、それぞれ通しの授業として開講される。本科目の講義内容はS2タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する。			
成績評価方法	主としてS1ターム末に行われる定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場がある。			
教科書	授業中に指示をする。			
関連ホームページ	<a href="http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/ms_s1.html">http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/ms_s1.html</a>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30001	月2,水1	田中 公、岡崎 龍太郎	721 教室	1年 理二三(1-7)
30002	月2,水1	阿部 紀行、植野 義明	523 教室	1年 理二三(8-10)
30003	月2,水1	緒方 芳子、小林 正典	524 教室	1年 理二三(11-13)
30004	月2,水1	木田 良才、村上 順	724 教室	1年 理二三(14-17)
30005	月2,水1	高木 俊輔、山浦 義彦	741 教室	1年 理二三(18-20)
30006	月2,水1	斎藤 毅、関口 英子	723 教室	1年 理二三(21-24)
30151	月4,木3	石毛 和弘、飯田 正敏	724 教室	1年 理一(20-23)
30156	月4,木3	白石 潤一、松田 茂樹	723 教室	1年 理一(24-27)
30158	月4,木3	逆井 卓也、下川 航也	523 教室	1年 理一(28-31)
30160	月4,木3	金井 雅彦、梶原 健	741 教室	1年 理一(32-35)
30162	月4,木3	WILLOX RALPH、山崎 満	721 教室	1年 理一(36-39)
30455	火4,金3	竹内 知哉、斉藤 義久	523 教室	1年 理一(1,17-19)
30460	火4,金3	松井 千尋、大坪 紀之	531 教室	1年 理一(2,4-5,8)
30461	火4,金3	木田 良才、戸瀬 信之	524 教室	1年 理一(3,11-13)
30462	火4,金3	足助 太郎、津田 照久	724 教室	1年 理一(6-7,9-10)
30463	火4,金3	大田 佳宏、大場 清	741 教室	1年 理一(14-16)

## 微分積分学①

微分積分学①		開講区分	S 2	
<p>授業の目標・概要 代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライブニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。S2タームの「微分積分学①」で項目1,2を扱い、Aセメスターの「微分積分学②」で項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一変数関数の微分（微分の基本性質、テーラーの定理、テーラー展開）</li> <li>2. 多変数関数の微分（偏微分と全微分、合成関数の微分の連鎖律）</li> <li>3. 多変数関数の微分（続き）（高階偏微分、多変数のテーラーの定理とその応用）</li> <li>4. 一変数関数の積分（区分求積法、微分積分学の基本定理）</li> <li>5. 多変数関数の積分（多重積分と累次積分、多重積分の変数変換公式）</li> <li>6. 無限級数と広義積分（関数列の収束、広義積分）</li> </ol> <p>実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学統論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。</p>				
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。		
教科書		授業中に指示をする。		
関連ホームページ		<a href="http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/calculus.html">http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/calculus.html</a>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
40002	月 2	岡崎 龍太郎	721 教室	1年 理二三(1-7)
40003	月 2	阿部 紀行	523 教室	1年 理二三(8-10)
40004	月 2	緒方 芳子	524 教室	1年 理二三(11-13)
40005	月 2	木田 良才	724 教室	1年 理二三(14-17)
40006	月 2	山浦 義彦	741 教室	1年 理二三(18-20)
40007	月 2	斎藤 毅	723 教室	1年 理二三(21-24)
40016	月 4	石毛 和弘	724 教室	1年 理一(20-23)
40017	月 4	松田 茂樹	723 教室	1年 理一(24-27)
40018	月 4	逆井 卓也	523 教室	1年 理一(28-31)
40019	月 4	金井 雅彦	741 教室	1年 理一(32-35)
40020	月 4	WILLOX RALPH	721 教室	1年 理一(36-39)
40110	火 4	斉藤 義久	523 教室	1年 理一(1,17-19)
40111	火 4	大坪 紀之	531 教室	1年 理一(2,4-5,8)
40112	火 4	木田 良才	524 教室	1年 理一(3,11-13)
40113	火 4	津田 照久	724 教室	1年 理一(6-7,9-10)
40114	火 4	大場 清	741 教室	1年 理一(14-16)

## 線型代数学①

線型代数学①		開講区分	S 2
授業の目標・概要	<p>線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。</p> <p>自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理科学基礎」において学んだ線型代数に関する知識を前提とする。</p> <p>S2タームの「線型代数学①」で以下の項目1,2を扱い、Aセメスターの「線形代数学②」で項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ベクトル空間、線型写像</li> <li>2. 生成系、一次独立性、基底</li> <li>3. 内積</li> <li>4. 行列式</li> <li>5. 固有値、固有ベクトル</li> <li>6. 対称行列の対角化と二次形式</li> </ol>		
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある..		
教科書	授業中に指示をする。		
関連ホームページ	<a href="http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/linear_algebra.html">http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/linear_algebra.html</a>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
40120	水 1	田中 公	721 教室	1年 理二三(1-7)
40121	水 1	植野 義明	523 教室	1年 理二三(8-10)
40122	水 1	小林 正典	524 教室	1年 理二三(11-13)
40123	水 1	村上 順	724 教室	1年 理二三(14-17)
40124	水 1	高木 俊輔	741 教室	1年 理二三(18-20)
40125	水 1	関口 英子	723 教室	1年 理二三(21-24)
40212	木 3	飯田 正敏	724 教室	1年 理一(20-23)
40213	木 3	白石 潤一	723 教室	1年 理一(24-27)
40214	木 3	下川 航也	523 教室	1年 理一(28-31)
40215	木 3	梶原 健	741 教室	1年 理一(32-35)
40216	木 3	山崎 満	721 教室	1年 理一(36-39)
40227	金 3	竹内 知哉	523 教室	1年 理一(1,17-19)
40228	金 3	松井 千尋	531 教室	1年 理一(2,4-5,8)
40229	金 3	戸瀬 信之	524 教室	1年 理一(3,11-13)
40230	金 3	足助 太郎	724 教室	1年 理一(6-7,9-10)
40231	金 3	大田 佳宏	741 教室	1年 理一(14-16)

## 数理科学基礎演習・数学基礎理論演習

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習						
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。S1 タームの「数理科学基礎演習」は「数理科学基礎」の講義と、S2 タームの「数学基礎理論演習」は「微分積分学①」・「線型代数学①」の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。					
成績評価方法	S1 タームの「数理科学基礎演習」の成績評価は、「数理科学基礎」の成績に演習の平常点などを加味して行う。S2 タームの「数学基礎理論演習」の成績評価は、「微分積分学①」「線型代数学①」の成績に演習の平常点などを加味して行う。					
教科書	授業中に指示をする。					
関連ホームページ	<a href="http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/index.html">http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/index.html</a>					
※講義の詳細については、UTAS も参照すること						

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	教室	対象クラス
30168	S 1	月 3	数理科学基礎演習	牛腸 徹	524 教室	1 年 理二三(11-13)
40010	S 2	月 3	数学基礎理論演習	牛腸 徹	524 教室	1 年 理二三(11-13)
30169	S 1	月 3	数理科学基礎演習	鮑 園園	724 教室	1 年 理二三(14-17)
40011	S 2	月 3	数学基礎理論演習	鮑 園園	724 教室	1 年 理二三(14-17)
30165	S 1	月 3	数理科学基礎演習	石毛 和弘、田中 公	721 教室	1 年 理二三(1-7)
40008	S 2	月 3	数学基礎理論演習	石毛 和弘、田中 公	721 教室	1 年 理二三(1-7)
30170	S 1	月 3	数理科学基礎演習	中村 勇哉	741 教室	1 年 理二三(18-20)
40012	S 2	月 3	数学基礎理論演習	中村 勇哉	741 教室	1 年 理二三(18-20)
30171	S 1	月 3	数理科学基礎演習	山本 宏子、田中 雄一郎	723 教室	1 年 理二三(21-24)
40013	S 2	月 3	数学基礎理論演習	山本 宏子、田中 雄一郎	723 教室	1 年 理二三(21-24)
30167	S 1	月 3	数理科学基礎演習	阿部 紀行、石本 健太	523 教室	1 年 理二三(8-10)
40009	S 2	月 3	数学基礎理論演習	阿部 紀行、石本 健太	523 教室	1 年 理二三(8-10)
30567	S 1	火 5	数理科学基礎演習	竹内 知哉、斉藤 義久	523 教室	1 年 理一(1,17-19)
40115	S 2	火 5	数学基礎理論演習	竹内 知哉、斉藤 義久	523 教室	1 年 理一(1,17-19)
30571	S 1	火 5	数理科学基礎演習	清野 和彦	532 教室	1 年 理一(14-16)
40119	S 2	火 5	数学基礎理論演習	清野 和彦	532 教室	1 年 理一(14-16)
30568	S 1	火 5	数理科学基礎演習	牛腸 徹	723 教室	1 年 理一(2,4-5,8)
40116	S 2	火 5	数学基礎理論演習	牛腸 徹	723 教室	1 年 理一(2,4-5,8)
30569	S 1	火 5	数理科学基礎演習	木田 良才、寺田 至	524 教室	1 年 理一(3,11-13)
40117	S 2	火 5	数学基礎理論演習	木田 良才、寺田 至	524 教室	1 年 理一(3,11-13)
30570	S 1	火 5	数理科学基礎演習	足助 太郎、津田 照久	724 教室	1 年 理一(6-7,9-10)
40118	S 2	火 5	数学基礎理論演習	足助 太郎、津田 照久	724 教室	1 年 理一(6-7,9-10)
31046	S 1	木 4	数理科学基礎演習	中村 勇哉	724 教室	1 年 理一(20-23)
40220	S 2	木 4	数学基礎理論演習	中村 勇哉	724 教室	1 年 理一(20-23)
31047	S 1	木 4	数理科学基礎演習	山本 宏子、白石 潤一	723 教室	1 年 理一(24-27)
40221	S 2	木 4	数学基礎理論演習	山本 宏子、白石 潤一	723 教室	1 年 理一(24-27)
31048	S 1	木 4	数理科学基礎演習	清野 和彦	523 教室	1 年 理一(28-31)
40222	S 2	木 4	数学基礎理論演習	清野 和彦	523 教室	1 年 理一(28-31)
31049	S 1	木 4	数理科学基礎演習	金井 雅彦、梶原 健	741 教室	1 年 理一(32-35)
40223	S 2	木 4	数学基礎理論演習	金井 雅彦、梶原 健	741 教室	1 年 理一(32-35)
31050	S 1	木 4	数理科学基礎演習	WILLOX RALPH、山崎 満	721 教室	1 年 理一(36-39)

40224	S 2	木 4	数学基礎理論演習	WILLOX RALPH、山崎 満	721 教室	1 年 理一(36-39)
-------	-----	-----	----------	-------------------	--------	---------------

## 力学A

力学A		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>古典力学の基本法則とその具体的応用を微積分や解析幾何等の数学的手法を用いて考察し、物理学における論理的・体系的理解への基礎を学ぶ。高校での物理学を履修したという前提に立って講義する。具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 序論：物理学の世界</li> <li>2. 運動の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デカルト座標</li> <li>・ベクトルとその演算（内積、外積など）</li> <li>・極座標（2次元、*3次元）</li> <li>・次元と単位系</li> </ul> </li> <li>3. 運動の法則 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュートンの三法則</li> <li>・質量と力</li> <li>・簡単な運動の例（自由落下など）</li> <li>・力積と運動量</li> <li>・仕事とエネルギー（線積分）</li> <li>・保存力とポテンシャル（グラディエント）</li> </ul> </li> <li>4. 運動の解析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・落体の運動（速度に依存する抵抗がある場合を含む）</li> <li>・慣性質量と重力質量</li> <li>・単振り子・調和振動</li> <li>・減衰振動</li> <li>* 強制振動（共鳴）</li> <li>・力のモーメント</li> <li>・中心力と角運動量</li> <li>・万有引力とケプラーの法則</li> </ul> </li> <li>5. 運動の相対性と慣性力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・慣性系とガリレイ変換</li> <li>・並進加速度系と慣性力</li> <li>・回転系（遠心力とコリオリ力）</li> </ul> </li> <li>6. 多粒子系 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内力と外力</li> <li>・重心運動と相対運動</li> <li>* 対称性と保存則</li> <li>・二体系（換算質量、衝突など）</li> </ul> </li> <li>* 7. 剛体の運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 剛体の自由度と運動方程式</li> <li>* 慣性能率</li> <li>* 対称性と保存則</li> <li>* 剛体の平面運動</li> </ul> </li> <li>* 8. 力学の原理 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 仮想仕事、ダランベールの原理</li> <li>* ハミルトンの原理（最小作用）</li> <li>* 対称性と保存則</li> <li>* ラグランジュの運動方程式</li> </ul> </li> </ol>		
成績評価方法	定期試験		
教科書	教科書は使用しない。		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30809	水 4	金澤 直也	523 教室	1 年 理一(20,38)
30811	水 4	下村 裕	741 教室	1 年 理一(21,27-28)
30812	水 4	※ 鈴木 康夫	524 教室	1 年 理一(22,29,34)
30813	水 4	井上 純一	533 教室	1 年 理一(23,30,35)
30814	水 4	大井 万紀人	723 教室	1 年 理一(24,31,36)
30815	水 4	中島 直人	721 教室	1 年 理一(25,32,37)
30816	水 4	※ 大泉 匡史	532 教室	1 年 理一(26,33,39)
30817	水 4	※ 簗口 友紀	761 教室	1 年 理二三(16,19-21)
30818	水 4	※ 木本 哲也	1101 教室	1 年 理二三(17-18,22-24)
31242	金 4	※ 國場 敦夫	721 教室	1 年 理一(1-4,18)
31244	金 4	溝口 俊弥	761 教室	1 年 理一(5,19)

31245	金 4	※ 板倉 数記	724 教室	1 年 理一(6,10,14)
31246	金 4	今井 伸明	531 教室	1 年 理一(7,11,15)
31247	金 4	大谷 宗久	533 教室	1 年 理一(8,12,16)
31248	金 4	酒井 一博	524 教室	1 年 理一(9,13,17)
31263	金 4	※ 藤井 宏次	523 教室	1 年 理二三(1,6-7,10,13)
31264	金 4	藤井 通子	741 教室	1 年 理二三(2,4,8,11,14)
31265	金 4	※ 塩見 雄毅	723 教室	1 年 理二三(3,5,9,12,15)

【注意】基礎科目「力学 A」を他クラス聴講する場合、または文科生が要求科目として履修（要履修許可科目）する場合は、上表のうち※印の付いている教員の授業を選択し履修すること。

# 力学B

力学B		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>入試で物理学を選択しなかった学生のうち希望する者を対象とする。高度な問題や詳細には深入りをせず、例題や宿題を多用することにより、物理学がどのような局面で役に立つのかを学ぶ。具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 序論：物理学の世界</li> <li>2. 運動の記述 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デカルト座標</li> <li>・ベクトルとその演算（内積、外積など）</li> <li>・極座標（2次元、*3次元）</li> <li>・速度と加速度</li> <li>・次元と単位系</li> </ul> </li> <li>3. 運動の法則 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュートンの三法則</li> <li>・質量と力</li> <li>・簡単な運動の例（自由落下など）</li> <li>・力積と運動量</li> <li>・仕事とエネルギー（線積分）</li> <li>・保存力とポテンシャル（グラディエント）</li> </ul> </li> <li>4. 運動の解析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・落体の運動（*速度に依存する抵抗がある場合を含む）</li> <li>*慣性質量と重力質量</li> <li>・単振り子・調和振動</li> <li>*減衰振動</li> <li>*強制振動（共鳴）</li> <li>・力のモーメント</li> <li>・中心力と角運動量</li> <li>・万有引力とケプラーの法則</li> </ul> </li> <li>5. 運動の相対性と慣性力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・慣性系とガリレイ変換</li> <li>・並進加速度系と慣性力</li> <li>・回転系（遠心力と*コリオリ力）</li> </ul> </li> <li>6. 多粒子系 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内力と外力</li> <li>・重心運動と相対運動</li> <li>*対称性と保存則</li> <li>・二体系（衝突、*換算質量など）</li> </ul> </li> <li>*7.剛体の運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>*剛体の自由度と運動方程式</li> <li>*慣性能率</li> <li>*剛体の平面運動</li> </ul> </li> </ol>			
成績評価方法	定期試験			
教科書	教科書は使用しない。			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30810	水 4	新井 宗仁	531 教室	1年 理一(20-39)理二三(16-24)
31243	金 4	陶山 明	511 教室	1年 理一(1-19)理二三(1-15)

## 熱力学

熱力学		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>熱力学は、膨大な数の原子・分子等のマイクロ（微視的）な粒子の集団から成るマクロ（巨視的）な物質の状態を、温度、圧力、体積などのマクロな物理量を用いて記述し、いくつかの基本原理をもとに、マクロな観点から物質の状態がいかに変化するかを考察する学問体系である。熱力学は、力学、電磁気学とともに古典物理学の基礎を構成している。ここで学ぶ内部エネルギー、エントロピーなどの概念は理科生にとって必須の基礎概念である。</p> <p>以下に標準的な講義内容を示すが、担当教員によって項目の順序や内容は若干異なる。講義では、高校までに習った初等数学以外に、偏微分等の数学的手法を用いることがあるが、その場合は、そのつど必要に応じて講義で解説される。</p> <p>0.序論 熱力学とは何か？マイクロな系とマクロな系、力学や電磁気学との対比</p> <p>1.熱平衡状態 温度、圧力、状態量、示強変数と示量変数、状態方程式</p> <p>2.熱力学第一法則 熱量と仕事、熱の仕事当量、内部エネルギー、定積熱容量（定積比熱）と定圧熱容量（定圧比熱）</p> <p>3.熱力学第二法則 第二法則の諸表現（Thomson の原理、Clausius の原理）、可逆循環過程、Carnot サイクル、不可逆過程、準静的過程、熱機関の効率、熱力学的絶対温度、Clausius の不等式、エントロピー</p> <p>4.自由エネルギー Helmholz の自由エネルギー、Gibbs の自由エネルギー、Maxwell の関係式 その他、オプションとして取り上げられるトピックス 混合のエントロピー、エンタルピー、Joule-Thomson 過程、Legendre 変換、熱力学第三法則、相平衡、相律、Clapeyron-Clausius の式、Le Chatelier の原理、化学ポテンシャル、Gibbs-Duhem の関係式、Maxwell の等面積則</p>		
成績評価方法 教科書	<p>定期試験 教科書は使用しない。</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30062	月 2	※ 加藤 岳生	525 教室	1 年 理一(1-3,27-28,39)
30081	月 2	福山 寛	1101 教室	1 年 理一(12,14-15,23)
30083	月 2	岸根 順一郎	1102 教室	1 年 理一(22,31,33)
30688	水 2	藤山 茂樹	531 教室	1 年 理一(4,34-35)
30689	水 2	※ 池田 昌司	723 教室	1 年 理一(6,9,20)
30771	水 3	森松 治	531 教室	1 年 理一(7,11,32)
30935	木 2	富谷 光良	724 教室	1 年 理一(8,10,13)
30939	木 2	下村 裕	721 教室	1 年 理一(16,18,29)
30941	木 2	※ 関野 恭弘	723 教室	1 年 理一(19,38)
31103	金 1	※ 福島 孝治	721 教室	1 年 理一(5,17,24)
31106	金 1	尾関 之康	741 教室	1 年 理一(21,25,30)
31197	金 3	※ 菊川 芳夫	723 教室	1 年 理一(26,36-37)

【注意】基礎科目「熱力学」を他クラス聴講する場合、または文科生が要求科目として履修（要履修許可科目）する場合は、上表のうち※印の付いている教員の授業を選択し履修すること。

## 化学熱力学

化学熱力学		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>熱力学では、多数の原子分子の集団から成る物質の状態を圧力、体積、温度などの巨視的な量を用いて指定し、いくつかの基本原理をもとに、巨視的な観点から物質がいかに変化するかを考察していく。これらは、化学平衡や化学反応を理解する上での基礎的な概念を与える。本講義では、化学への応用をめざして熱力学を学ぶ。以下に標準的な講義項目を示すが、教員によって実際の順序や内容は若干異なる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 序論 熱平衡状態、温度と熱、状態量（示強性、示量性）、状態方程式（理想気体、ファン・デル・ワールス気体）</li> <li>2. 熱力学第一法則 熱と仕事、内部エネルギー、準静的過程、定積過程と定圧過程、エンタルピー、熱容量（比熱）、ヘスの法則</li> <li>3. 熱力学第二法則 熱機関とカルノーサイクル、第二法則の諸表現（トムソンの原理、クラウジウスの原理）、不可逆過程、クラウジウスの不等式、エントロピー</li> <li>4. 自由エネルギー ヘルムホルツエネルギー、ギブスエネルギー、マックスウェルの関係式、ギブスエネルギーの圧力・温度依存性</li> <li>5. 化学ポテンシャルと化学平衡 相平衡と相律、クラペイロン・クラウジウスの式、化学ポテンシャル、化学平衡、質量作用の法則、ル・シャトリエの原理</li> </ol>			
成績評価方法 教科書	<p>担当教員の UTAS シラバスを参照の事。 その他。</p>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30469	火 3	松尾 基之	1225 教室	1 年 理一 理二三(4,16,18,20,22)
30470	火 3	藤田 雅弘	741 教室	1 年 理一 理二三(6,8,11,15)
30951	木 2	小倉 賢	1101 教室	1 年 理一 理二三(1-3,5,7,9-10)
30952	木 2	若杉 桂輔	1102 教室	1 年 理一 理二三(12-14,17)
30953	木 2	長谷川 宗良	741 教室	1 年 理一 理二三(19,21,23-24)

## 物性化学

物性化学		開講区分	S 1	
授業の目標・概要		物質の多様な構造、性質および反応を理解するための、基礎的な化学の概念、理論を具体的な化合物を例にして学ぶ。以下の項目とその関連事項を内容とするが、教員により順序や重点の置き方に少し違いがある場合もある。		
		1. 多原子分子の構造 ルイス構造と分子構造、共有結合の方向性、混成軌道		
		2. パイ結合の化合物 共役二重結合、共鳴、ベンゼン、芳香族化合物		
		3. パイ電子と分子軌道 パイ電子近似、LCAOMO、変分法、HOMO と LUMO		
		4. 配位結合の化合物 Lewis 酸・塩基、金属錯体と配位結合、遷移金属錯体と d 軌道、結晶場 分裂		
		5. 分子間相互作用と凝集系、生体高分子化学 van der Waals 力、水素結合		
		6. 結晶の構造と結合 最密充填、単純格子、イオン半径と結晶構造、金属と半導体		
		7. イオン結晶 格子エネルギー、Madelung 定数、Born-Haber サイクル		
成績評価方法		担当教員の UTAS シラバスを参照の事。		
教科書		その他。		
関連ホームページ		<a href="http://www.iis.u-tokyo/~houjou/hjlab_wiki/">http://www.iis.u-tokyo/~houjou/hjlab_wiki/</a>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30063	月 2,木 2	青木 優	531 教室	2 年 理一(27,32)理二三(12,24)
30064	月 2,木 2	豊田 太郎	532 教室	2 年 理一(25)理二三(14,16)
30065	月 2,木 2	北條 博彦	533 教室	2 年 理一(4,26,39)
30066	月 2,木 2	横田 泰之	1108 教室	2 年 理一(28)理二三(11,17,19)
30067	月 2,木 2	内田 さやか	1225 教室	2 年 理一(18)理二三(13,15)
30152	月 3,木 3	増田 茂	1225 教室	2 年 理一(20,23,30,37)
30153	月 3,木 3	佐藤 守俊	532 教室	2 年 理一(24,29,36,38)
30154	月 3,木 3	竹中 康将	531 教室	2 年 理一(21-22)理二三(18,23)
30456	火 3,金 3	浅井 禎吾	1101 教室	2 年 理一(3,12,35)理二三(5,20)
30457	火 3,金 3	増田 茂	1108 教室	2 年 理一(15,17)理二三(6,22)
30458	火 3,金 3	角野 浩史	532 教室	2 年 理一(13-14)理二三(3-4,10)
30459	火 3,金 3	寺尾 潤	1102 教室	2 年 理一(1-2,5,8,11)理二三(1-2,9)
30544	火 4,金 4	片山 正士	1101 教室	2 年 理一(33-34)理二三(8,21)
30545	火 4,金 4	溝口 照康	1102 教室	2 年 理一(16,19,31)理二三(7)
30546	火 4,金 4	田代 省平	532 教室	2 年 理一(6-7,9-10)

# 生命科学

生命科学		開講区分	S1
授業の目標・概要	<p>本講義は理科1類の学生に特化し、生命現象の中でも数式で表しやすい内容を計算演習とコンピュータの活用により学ぶ。数理ダイナミクスの観点から生命現象の謎に迫るおもしろさを実感してもらうことを期待する。具体的には、以下のような内容を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命科学の基礎</li> <li>2. 生体物質：細胞を作り上げる物質群</li> <li>3. 細胞の構造と増殖</li> <li>4. 生命の駆動力：代謝と自由エネルギー</li> <li>5. 遺伝情報</li> <li>6. 生命のシステムの理解</li> <li>7. 生命のダイナミクスとパターン形成</li> <li>8. マクロなダイナミクス</li> <li>9. 生命科学の数理的展開</li> </ol>		
成績評価方法	<p>毎回行う練習問題と試験</p>		
教科書	<p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 演習で学ぶ生命科学                      著者（訳者） 東京大学生命科学教科書編集委員会 編                      出版社 羊土社</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30220	月 4	矢島 潤一郎	1102 教室	2年 理一(4,6,11,17)
30221	月 4	佐藤 健	531 教室	2年 理一(16,23-24,32)
30686	水 2	長谷川 禎彦	523 教室	2年 理一(1,15,21,27-28)
30687	水 2	河原 正浩	524 教室	2年 理一(2-3,5,18,29-30)
30694	水 2	寺田 透	533 教室	2年 理一(26,33,35,39)
30936	木 2	山口 哲志	524 教室	2年 理一(12-14,37)
30937	木 2	飯野 雄一	523 教室	2年 理一(8,34,36,38)
31191	金 3	杉山 宗隆	533 教室	2年 理一(7,10,22,25)
31192	金 3	館野 正樹	1225 教室	2年 理一(9,19-20,31)

# 生命科学 I

生命科学 I		開講区分	S	
授業の目標・概要	生命科学の基本概念と遺伝・膜構造・代謝を中心とした生命現象のしくみについて、分子から細胞までの構成原理を概観する。 1. 生物の多様性と斉一性 2. タンパク質の構造と機能 3. 遺伝子と遺伝情報 4. 細胞の構造 5. 代謝と光合成			
成績評価方法	定期試験			
教科書	次の教科書を使用する。 書名 理系総合のための生命科学 第4版 著者(訳者) 東京大学教養学部理工系生命科学教科書編集委員会 編 出版社 (株)羊土社 ISBN 978-4-7581-2086-9			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30232	月 4	豊島 陽子、増田 建	532 教室	1年 理二三(9,12,17,21-22)
30233	月 4	美川 務	533 教室	1年 理二三(5,13-14,18,24)
31108	金 1	矢島 潤一郎	1106 教室	1年 理二三(1,3,10,19-20,23)
31109	金 1	和田 元	532 教室	1年 理二三(2,7-8,11,15)
31200	金 3	渡邊 雄一郎	1331 教室	1年 理二三(4,6,16)

## 展開科目 社会科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31671	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	源河 達史	法学部	火 5	116 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ローマ法演習 W. W. Buckland, A Textbook of Roman Law from Augustus to Justinian, CPU, Cambridge (1921)から幾つかの節を取り上げ、引用されたローマ法の原文(ラテン語)にあたりながら、少しずつゆっくりと読みます。1年生の時にラテン語を学んでいる方を想定していますが、2年生でラテン語を学びながら参加して下さる方も歓迎します。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と発言などを通じた貢献度で評価します。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31672	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	原田 央	法学部	金 5	117 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	グローバル社会と法 グローバル社会における様々な問題(多国籍企業の活動から生ずる人権侵害、グローバル・カルテルの規制、など)につき、英文教材を用いた事例研究を行う。基本的な法的素養を習得するだけでなく、それを活かしつつ創造的に未解決の問題に取り組む姿勢を養う。英語文献、英文外国判決を精確に読むトレーニングと、そして事例を構造的・文脈的に理解し分析するトレーニングも兼ねる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業内で取り上げた事例(またはそれ以外に教員が指定した事例のいずれか)に関する、レポート評価による。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31748	S	社会科学ゼミナール (法・政治)	伊藤 武	法・政治	金 2	515 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	デモクラシーと政党—その両義的関係の探究 <b>Democracy and Parties: Exploring the Ambivalent Relationship</b> 近年「民主主義の後退」論や「ポピュリズム」論など民主主義の質を問い直す議論が盛んとなる中、改めて注目されているのが政党の役割です。近代デモクラシーにおいて、政党は不可欠な存在として認められてきました。しかし、現代では、政党はもはや旧い時代の遺物で、むしろデモクラシーの機能を阻害していると批判を浴びています。さらに、政党が機能するのは何もデモクラシーに限られず、権威主義体制でも一部は似たような機能を果たしていることも分かり始めています。						
評価方法 教科書 ガイダンス	デモクラシーと政党の関係は、複雑で陰影に富んだ、両義的関係です。本ゼミナールでは、現代・近代の政党とデモクラシーをめぐる重要な英語文献を購読しながら、その関係を考察していきます。 ゼミでは、英語文献を読むことで、専門分野に進む上で必須となる、社会科学的分野(および人文科学分野)の英語文献を読みこなす基礎訓練を積むことも目的としています。課題文献は、一流の政治学研究者の手によるものながら、一般読者も意識した比較的平易な内容です。文献を読む速度などは参加者のレベルに合わせて調整し、読解に必要な邦語参考文献も適宜明示します。科類・文理を問わず、意欲的な方の参加を期待しています。 履修希望者は、課題文献の紹介ページ( <a href="https://yalebooks.yale.edu/book/9780300232752/responsible-parties">https://yalebooks.yale.edu/book/9780300232752/responsible-parties</a> )にある文献紹介("Description")の和訳、大学の英語関連科目の成績・外部英語試験スコア・留学経験などの参考情報をA4で1~2枚にまとめた資料を作成し、初回授業(4月5日[金])に必ず持参してください。必要に応じて、その内容と履修人数(最大20名程度)を勘案して選考を行います。受講許可者は、4月9日までに掲示で告知します。 ・全回事前資料の提出と出席を前提に、報告内容、研究論文の内容を総合的に判断して決定します。 ・やむを得ぬ理由のない欠席者には単位を付与できないので、注意して下さい。 次の教科書を使用する。 書名 Responsible Parties: Saving Democracy from Itself 著者(訳者) Rosenbluth, Frances M. and Ian Shapiro 出版社 Yale University Press ISBN 978-0300232752 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30239	S	社会科学ゼミナール (経済・統計)	佐藤 俊樹	経済・統計	月 4	117 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>ルーマンを読む(1) – マスメディアのリアリティ(5)</p> <p>教員の所属組織上「経済学・統計学」になっているが、内容は社会学のマスメディア論とシステム論である。ルーマンの『マスメディアのリアリティ』を読んでいく。担当教員の専門と関心から、厳密なテキスト読解ではなく、あくまでも分析手法として読み、経験的な社会科学的探究に役立てることをめざしている。それぞれの水準でかまわないから、意欲をもって自分で考えていくことを身につけるのが目標。基本的には昨年度からの続きである。</p>						
評価方法	<p>授業時間中の参加度と学期末に提出してもらってレポートで評価する。授業時間中に頭をしっかりと使ってもらうことになるので、授業に参加していればレポートの方の課題は重いものではない。</p>						
教科書	<p>「授業の方法」項目も参照。 次の教科書を使用する。 書名 マスメディアのリアリティ 著者(訳者) ニクラス・ルーマン (林香里訳) 出版社 木鐸社 ISBN 4-8332-2366-X</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31288	S	社会科学ゼミナール (経済・統計)	竹野 太三	経済・統計	金 5	K213	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>社会科学ゼミナール (マイクロ経済学)</p> <p>このゼミナールは、2018年 A セメスターに竹野が担当した基礎科目「経済学 I I」を履修された方を想定しています。勿論、履修されなかった方も受講できますが、「経済 I I」で紹介された価格理論の講義について、さらに詳しく学びたい方、理解を深めたい方に、少人数クラスの特徴を生かして、講義とゼミ形式でマイクロ経済学について学びたいと思います。具体的なトピックについては、「経済学 II」では紹介しなかった概念(例えばコアの理論)や、履修者の方の関心にもよりますが、ゲーム理論、国際貿易論からのトピック、あるいは経済学で用いられる数学(例えば Lagrange 乗数法など)について、時間をかけて学ぶことなども検討しています。学期末には、履修者の方に発表をしていただくことを予定しています。</p>						
評価方法	<p>出席、講義での発言に加えて、グループによるプレゼンをしていただきます。</p>						
教科書	<p>その他 レジュメをアップします。英語の学術論文を読みますので、レジュメも英語の場合もありますが、講義は日本語で行われます。</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。</p>						

## 展開科目 人文科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31673	S	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	鈴木 泉	文学部	水 5	120 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	レヴィナス『全体性と無限』を読む 現代フランスを代表するユダヤ系の哲学者エマニュエル・レヴィナス (Emmanuel Lévinas) の主著の一つ『全体性と無限 Totalité et infini』(1961 年) を精読し、レヴィナス哲学、さらには現代フランス哲学の豊穡さを掴み取ることを目指す。併せて、諸概念のテキスト内における相互連関、フッサール・ハイデガーを始めとする古典的現象学の理解を必須の要件とする、現代哲学の古典文献に関する読解技法のトレーニングを行い、人文学の基本的な方法論を身につけることをも目指す。さらに、適宜フランス語原文をも参照することを通して、フランス語読解に関する基本的なトレーニングも行う。						
評価方法 教科書	平常点・期末レポート 次の教科書を使用する。 書名 『全体性と無限』(上)・(下) 著者(訳者) エマニュエル・レヴィナス(熊野純彦訳) 出版社 岩波書店 ISBN 4003369114/978-4003369111、4003369122/978-4003369128						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30337	S	人文科学ゼミナール (歴史学)	山口 輝臣	歴史学	火 2	114 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「歴史的音源」による歴史学への誘い 目標は、歴史学の作法、とりわけ史料への向き合い方を体得してもらうこと。そのための共通の素材として、この授業では「歴史的音源」を用いる。ここでの「歴史的音源」とは、国立国会図書館がデジタル化し公開している音声資料のことで、20 世紀前半に日本国内で製造された SP 盤等に収録された音楽や演説などからなる。この授業では「歴史的音源」を実際に聴き、文字に起こすところからはじめ、それが作成された経緯や内容などについて丹念に調べ、その成果を小論文へと仕上げしてみる。この作業を通じて、歴史学の作法を体得してもらいたい。なお、「歴史的音源」を用いる関係から、研究対象となるのは主として 20 世紀前半の日本となる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31674	S	人文科学ゼミナール (歴史学)	村 和明	文学部	金 5	106 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	史料で読む江戸時代の天皇 江戸時代の史料(古文書)の読み方を学び、実際に読み、その文意や作成意図、時代背景などについて考察することにより、歴史学の基本的な考え方を理解できるようになる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席・授業参加・レポートによる。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30841	S	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	吉川 雅之	中国語	水 5	116 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代中国語の読解 現代中国語で書かれた専門書を読解し、中国語の読解能力を高める。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と定期試験の点数を重視します。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31289	S	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	毛利 公美	ロシア語	金 5	115 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>ロシア語テキスト購読</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロシア語の初級文法を習得した学生を対象に、テキスト読解を通して中級レベルの文法、語彙、構文の習得を目指す。必要に応じ、基礎文法の確認のための練習問題の実施、関連語彙や構文の解説、リーディング（音読）の練習も行うことで、総合的なロシア語運用能力を高める。</li> <li>・学習を目的にしたテキストではなく、読むことで何らかの知識や満足が得られるような文章を読む。具体的な内容については、受講者の関心を考慮して決める。例えば、誰もが知っている文学作品の冒頭や有名な一節を読み、ロシア文学についての基本的知識を身につけ、韻律などの技法や文体の違いを理解する。また、ロシアの社会や文化についてのテキストを読み、ロシアについての常識を身に付ける。ジェスチャー、マナー、慣習、迷信、ジョークなど。</li> </ul>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験と平常点（授業への取り組み、担当箇所について正確にできているかどうか）により総合的に評価する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

## 展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31128	S	自然科学ゼミナール (生命科学)	伊藤 元己	生物	金 2	K401	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然史生物学：植物野外観察と博物館体験 基礎知識を学ぶ講義と野外生物の観察、標本作成および博物館におけるキューレーションや展示作成の実習を行い、多様性生物学を支える基盤について学ぶ。 実習を伴うため、受講者を15名程度に制限する。受講希望者が受講可能数を超える場合は、レポート課題により受講者を選抜する。その他、詳しい内容はガイダンスにおいて説明・指示する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポート・参加姿勢 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31669	S	自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 洋一郎	アイソトープ 総合センター	火 1	518 教室	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	放射線に対する生物応答の分子機序と放射線利用の最先端 東京大学では放射線に関して、生命科学から工学、物理学、数理科学まで広範な領域にわたる研究が行われている。全学センターとしてアイソトープ総合センターはその拠点となり、学内の放射線利用者への教育と同時に、放射線を使った先端的研究が行われている。学外に向けては原子力発電所事故の被災自治体や地元教育研究機関と協力して、除染・測定を含む学術的活動を継続的に行い、帰還を支援している。当センターはこれらの活動を通じて、被災地住民にとって真に重要な課題を明らかにし、これに取り組むために従来の学問の限界や枠組みを押し広げる努力を行っている。放射線影響、特に低線量の内部被ばくメカニズム解明やそれに対する防護については未知の点が多く、集学的な対応が必要であることから、その全貌を把握する系統的機会は少ない。そこで、本講義においては可及的に多様な視点から放射線が生体に及ぼす現象平易に解説することを目的とする。また、当センターは放射線を製造する加速器研究者や、分析装置の研究者と共に、生体イメージングや、 $\alpha$ 線核種を用いた医薬品開発を行っており、最先端的なアイソトープ利用の拠点としての役割も果たしているため、最新の学問的潮流を踏まえて、放射線の有効利用の現状と次の展開についても解説することが可能である。特に、アイソトープ総合センターの教職員が取り組む研究とその成果をとりあげることににより、現実的な課題から最先端の科学研究に至るまで概観することを本講義の目的とする。 「放射線影響と利用」では、(受講希望者が多数の場合には、)、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由をA4用紙1枚程度に記載し、第1回講義の際に提出すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	それぞれの講義のうち幾つかを選択した上でレポート提出を求め、最終回に予定している測定演習の成績と総合して理解度を判定、評価する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31667	S	自然科学ゼミナール (数理科学)	儀我 美一	数理科学研究科	金 2	シラバス 参照	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	微分方程式による結晶成長現象の解析 結晶表面の現象をモデルに微分方程式の基礎を学ぶ。結晶には雪結晶のようなものから体内の結石までさまざまなものがある。特に、どのようにしてその形状が変わっていくかを解明することは応用上重要である。結晶は成長や融解によりその表面の形が変化していくので、その動きを記述するためにさまざまなモデルが提案されているが、微分方程式によるモデルは極めて有効である。例えば、金属の焼きなまし時における結晶粒界の動きを記述するために平均曲率流方程式が60年前に提案されている。この方程式は曲面をその面積の減少率が最も大きくなるように法線方向に動かすことを要請するものであるが、非線形偏微分方程式であるために、当時の数学の水準では難しく扱えなかった。しかし、20世紀後半の非線形解析学の進展により、今日はそのような方程式も扱えるようになった。本セミナーではこの種の方程式を題材に、微分積分学の自然な発展としての数学解析のさまざまな考え方に触れる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席とレポート 次の教科書を使用する。 書名 動く曲面を追いかけて 著者(訳者) 儀我・陳 出版社 日本評論社 ISBN 978-4-535-78598-4 その他 2015 新版 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31668	S	自然科学ゼミナール (数理科学)	植田 一石	数理科学研究科	金 3	K211	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然科学に現れる微分方程式 本ゼミナールでは、自然科学において、さまざまな現象を記述する微分方程式について学ぶ。力学に現れる運動方程式から始めて、波動方程式、熱方程式、ラプラス方程式などを扱う。また、将来、解析力学などで必要になる変分法にもふれる。自然現象に現れる課題について、受講者がワークの形で取り組めるようにする。						
評価方法 教科書 ガイダンス	発表を中心とした授業への参加によって評価する。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31670	S	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	情報学環	火 4	E41 教室	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	暗号資産と経済成長戦略 「ビットコイン」に代表される<暗号通貨>のブームが終わり、汎用技術としてのブロックチェーンを代表とする<暗号資産>の可能性が残った。成長公会計のLS行列モデルを軸に、「諸国民の富」の成長戦略を実践的に考える。						
評価方法 教科書	出席と小テストを予定している。 次の教科書を使用する。 書名 「ブロックチェーンと国富」 著者(訳者) 伊東 乾編 出版社 東大出版会 ISBN 2019年春刊行予定						
ガイダンス	その他 刊行が間に合わなかったときはコピーで配布 第一回授業日に行う。						

## 総合科目 L (言語・コミュニケーション)

英語中級 クラス指定ターム型 火3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30419	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ナルト デリック	英語	火 3	1341 教室	1年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
40045	S 2						1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	Futurology: Imagining the World of Tomorrow Futurology (or Futures Studies) involves the study of the past and present to make educated guesses about the future. It draws on both the arts and sciences as a field of inquiry. It does this by grappling with complex philosophical questions concerning economic, political, cultural, and technological change but also by analyzing scientific data to make forecasts and predictions. In this introductory course we will examine how the future has been imagined in the past eras but also in our own era. Interdisciplinary in nature, the course will refer to ideas expressed in popular culture and the humanities as well as scientific studies. Upon completing the course, students will be familiar with key debates in futurology, possess their own viewpoints about emerging developments, and be more adept at envisioning and understanding social, environmental, and technological change.						
評価方法	Writing Assignment: 40% Final Exam: 40% Participation: 20%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30420	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	佐原 彩子	英語	火 3	523 教室	1年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
40049	S 2						1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	New Windows on America: Reading the Atlantic Articles The goal is to read articles in English (specifically articles from The Atlantic Magazine) to understand current issues of the U.S. in English. Students need to read an article a week to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.						
評価方法	Quizzes and Class Activities (including discussions (70%)/An Essay (30%)						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30421	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 3	154 教室	1年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
40048	S 2						1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要	現代政治思想の「方向感覚 (Orientation)」 19・20世紀から現代にかけての代表的な政治思想 (イデオロギー) について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム (「リベラルな平等」および新自由主義)、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。						
評価方法	授業内でのプレゼンテーション (40%)、レポート (40%)、出席 (20%) によって判断する。						
教科書	次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者 (訳者) Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30422	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	英語	火 3	103 教室	1年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
40047	S 2						1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		英語で世界を見聞きする 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への参加度およびテストによる。 授業中に指示をする。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30423	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	156 教室	1年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
40044	S 2						1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
評価方法		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30424	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	159 教室	1年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
40050	S 2						1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法		平常点(授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況) 40%、試験と小テスト 60%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30425	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	155 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
40046	S 2						1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30426	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	英語	火 3	1226 教室	1 年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		The Cold War in the Third World Robert J. McMahon, ed., <i>The Cold War in the Third World</i> (Oxford: Oxford University Press, 2013) の中東とアフリカについての章を読み、英語の論文の読解を通して、第三世界における冷戦の歴史について学ぶ。1週間で扱う英文は5ページ程度である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40051	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	英語	火 3	1226 教室	1 年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		The Shock of the Global: The 1970s in Perspective Niall Ferguson, Charles S. Maier, Erez Manela, and Daniel Sargent, eds., <i>The Shock of the Global: The 1970s in Perspective</i> (Cambridge, Mass.: The Belknap Press, 2010) の、①アメリカと発展途上国、②国際制度の変容、③人権に関する章を読み、英語の論文の読解を通して、1970年代のグローバリゼーションの歴史について学ぶ。1週間で扱う英文は6~8ページ程度である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30496	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	159 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
40087	S 2						1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。</p> <p>平常点(授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況) 40%、試験と小テスト 60%</p> <p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30497	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	155 教室	1 年 文一二(4)文三(18)理一 (22,32,38)理二三(15)
40091	S 2						1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。</p> <p>発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。</p> <p>プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30498	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ナルト デリック	英語	火 4	1341 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
40090	S 2						1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Futurology: Imagining the World of Tomorrow Futurology (or Futures Studies) involves the study of the past and present to make educated guesses about the future. It draws on both the arts and sciences as a field of inquiry. It does this by grappling with complex philosophical questions concerning economic, political, cultural, and technological change but also by analyzing scientific data to make forecasts and predictions.</p> <p>In this introductory course we will examine how the future has been imagined in the past eras but also in our own era. Interdisciplinary in nature, the course will refer to ideas expressed in popular culture and the humanities as well as scientific studies. Upon completing the course, students will be familiar with key debates in futurology, possess their own viewpoints about emerging developments, and be more adept at envisioning and understanding social, environmental, and technological change.</p> <p>Writing Assignment: 40% Final Exam: 40% Participation: 20%</p> <p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30499	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	156 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
40086	S 2						1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		<p>Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims</p> <p>This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.</p> <p>The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.</p>					
評価方法		Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30%					
教科書 ガイダンス		Individual Assignments: 70% 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30500	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	Williams David	英語	火 4	158 教室	1 年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
40092	S 2						1 年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		<p>Critical Discussion and Thinking</p> <p>The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group.</p> <p>At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future.</p>					
評価方法		This course will be taught exclusively in English. Assessment for this class will be based on four aspects: (i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (50% approx.) (ii) weekly vocabulary test (15%) (iii) one in-class presentation (15%) (iv) final examination (20%)					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30501	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	英語	火 4	154 教室	1年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
40093	S 2						1年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		現代政治思想の「方向感覚 (Orientation)」 19・20世紀から現代にかけての代表的な政治思想 (イデオロギー) について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム (「リベラルな平等」および新自由主義)、④デモクラシーを取りあげ、それらの表象で括られた思想と政治体制について理解し、議論を行う。これらの内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。					
評価方法 教科書		授業内でのプレゼンテーション (40%)、レポート (40%)、出席 (20%) によって判断する。 次の教科書を使用する。 書名 Political Ideologies (Sixth Edition) 著者 (訳者) Andrew Heywood 出版社 Palgrave, 2017					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30502	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	英語	火 4	103 教室	1年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
40088	S 2						1年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		英語で世界を見聞きする 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。 授業への参加度およびテストによる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30503	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	英語	火 4	1226 教室	1年 文一二(4)文三(18) 理一(22,32,38)理二三(15)
講義題目 授業の目標概要		The Cold War in the Third World Robert J. McMahon, ed., <i>The Cold War in the Third World</i> (Oxford: Oxford University Press, 2013) の中東とアフリカについての章を読み、英語の論文の読解を通して、第三世界における冷戦の歴史について学ぶ。1週間で扱う英文は5ページ程度である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40089	S 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	英語	火 4	1226 教室	1年 文一二(6,18)文三(12) 理一(30,34)理二三(18,22)
講義題目 授業の目標概要		The Shock of the Global: The 1970s in Perspective Niall Ferguson, Charles S. Maier, Erez Manela, and Daniel Sargent, eds., <i>The Shock of the Global: The 1970s in Perspective</i> (Cambridge, Mass.: The Belknap Press, 2010) の、①アメリカと発展途上国、②国際制度の変容、③人権に関する章を読み、英語の論文の読解を通して、1970年代のグローバリゼーションの歴史について学ぶ。1週間で扱う英文は6~8ページ程度である。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30670	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ナルト デリック	英語	水 2	102 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
40127	S 2						1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要	Persuasion Persuasion refers to the process of how communicators induce others to change their thoughts or take actions to achieve a specific aim. It can be either a positive or negative force in society, leading to mutual gain or harm to one or more persons. In this course, we will study time-honored approaches, strategies, and techniques of persuasion as well as learn about the science behind effective persuasion. By the end of the course, students will learn how to be ethical and effective persuaders and better recognize others' attempts to influence them. They will, in addition, hone their analytical, creative, and critical thinking skills.						
評価方法	Writing Assignment #1: 20% Writing Assignment #2: 30% Speech: 20% Participation: 30%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30671	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	英語	水 2	103 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
40126	S 2						1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要	Improving the four language skills (speaking, listening, reading and writing) in English through active learning. Students will by the end of the term: ・ be able to understand the input, express her/his opinion on a particular topic, understand that of the others and discuss / cooperate in doing a task, using English. ・ know and be able to correctly use the language (grammar) studied in the topic.						
評価方法	Attendance (participating in class) = 30 Homework = 15 Presentations and activities in class = 25 Final exam = 30 Total = 100						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30672	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 2	10-205	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
40133	S 2						1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要	Presentation on Your Research in English This class is designed to provide students opportunities presenting their research project(s) in English. You will introduce a brief outline of your research (e.g. research questions, research methods, brief summary of main arguments, etc.) to your classmates for 15 minutes. More detailed guideline will be provided later in class.						
評価方法	Draft for presentation (30%), Final presentation (40%), Class participation (20%), Attendance (10%)						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30673	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 2	162 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
40130	S 2						1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点(授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況) 40%、試験と小テスト 60% 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30674	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 2	10-201	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
40129	S 2						1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		Seeing Nature In this course, students will read several argumentative essays on topics related to nature artwork/photography, the natural world, and environmentalism by authors such as Joan Didion, William Cronon, John Muir, and Anna Norris. They will also examine works by photographers like Ansel Adams, William Henry Jackson, and Sebastiao Salgado. In their discussions, presentations, and written work, students will focus on how to examine visual works, and how to formulate an argument through analyzing texts that reference visual works.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Final Presentation: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30% プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30675	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 2	154 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
40132	S 2						1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		Fortean Geographies: critical engagements with supernatural spaces This short comprehension-based course will introduce students to a series of examples of strange and supernatural geographies. Each week students will examine a different instance of the Fortean, a term developed from the writings of Charles Fort (1874-1932), who published a number of popular works on the supernatural. From crop circles and UFOs to ghosts and telepathy, you will analyse the ways in which the supernatural has had a continued influence on our understanding of the world around us. You will be required to think critically about the relationship between paranormal phenomena and the specific geographies in which they are encountered, considering what role such beliefs might play in the development of the geographic imagination. What do strange encounters with the environment tell us about contemporary belief in the supernatural? Why are certain types of place still commonly believed to be cursed, haunted or magical? A number of short English-language readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts, articles and short stories in English on a weekly basis in preparation for in-class activities.					
評価方法		Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 40% Presentation: 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30676	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	加治屋 健司	英語	水 2	155 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
40131	S 2						1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>英語で読む芸術のモダニズム オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『モダニズム』を読みます。本文 102 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。 小テストの結果と授業への貢献度によって最終的な成績を付けます。 次の教科書を使用する。 書名 Modernism: A Very Short Introduction 著者(訳者) Christopher Butler 出版社 Oxford University Press ISBN 9780192804419 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30677	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	156 教室	1 年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
40128	S 2						1 年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。 授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 プリントを配布する。 書名 Identity Troubles: An Introduction 著者(訳者) Anthony Elliott 出版社 Routledge ISBN 9780415837118 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30740	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	水 3	162 教室	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
40205	S 2						1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>優れた短編作品を深読みする 短編作品を精読した後、その背景にある社会状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックな表現に注目しながら、作者や作品の世界観を探っていく。グループでの話し合いを行いながら、コミュニケーション能力の向上も目指す。</p> <p>平常点(授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況) 40%、試験と小テスト 60%</p> <p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30741	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 3	10-201	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
40199	S 2						1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Literature as Social Criticism In this course, students will learn to read literature through the lens of social issues. Students will read two short stories by American author Shirley Jackson, "The Lottery" and "Flower Garden" and examine each in two different contexts, theoretical and socio-political. In addition to the stories, they will be introduced to social criticism and cultural theory on race and politics from the 1940s and 1950s. In their discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach literature from an interdisciplinary standpoint, and how to deeply read a story for its context and multiple meanings. Final Presentation: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments and participation: 30%</p> <p>プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30742	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェーム ズ クリストファー	英語	水 3	154 教室	1 年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
40201	S 2						1 年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Fortean Geographies: critical engagements with supernatural spaces This short comprehension-based course will introduce students to a series of examples of strange and supernatural geographies. Each week students will examine a different instance of the Fortean, a term developed from the writings of Charles Fort (1874-1932), who published a number of popular works on the supernatural. From crop circles and UFOs to ghosts and telepathy, you will analyse the ways in which the supernatural has had a continued influence on our understanding of the world around us. You will be required to think critically about the relationship between paranormal phenomena and the specific geographies in which they are encountered, considering what role such beliefs might play in the development of the geographic imagination. What do strange encounters with the environment tell us about contemporary belief in the supernatural? Why are certain types of place still commonly believed to be cursed, haunted or magical? A number of short English-language readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts, articles and short stories in English on a weekly basis in preparation for in-class activities. Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 40% Presentation: 30%</p> <p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30743	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	加治屋 健司	英語	水 3	155 教室	1年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
40203	S 2						1年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		英語で読む芸術のモダニズム オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『モダニズム』を読みます。本文 102 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。					
評価方法 教科書		小テストの結果と授業への貢献度によって最終的な成績を付けます。 次の教科書を使用する。 書名 Modernism: A Very Short Introduction 著者(訳者) Christopher Butler 出版社 Oxford University Press ISBN 9780192804419					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30744	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ナルト デリック	英語	水 3	102 教室	1年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
40200	S 2						1年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Persuasion Persuasion refers to the process of how communicators induce others to change their thoughts or take actions to achieve a specific aim. It can be either a positive or negative force in society, leading to mutual gain or harm to one or more persons. In this course, we will study time-honored approaches, strategies, and techniques of persuasion as well as learn about the science behind effective persuasion. By the end of the course, students will learn how to be ethical and effective persuaders and better recognize others' attempts to influence them. They will, in addition, hone their analytical, creative, and critical thinking skills.					
評価方法		Writing Assignment #1: 20% Writing Assignment #2: 30% Speech: 20% Participation: 30%					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30745	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	英語	水 3	103 教室	1年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
40202	S 2						1年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Improving the four language skills (speaking, listening, reading and writing) in English through active learning. Students will by the end of the term:					
評価方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>be able to understand the input, express her/his opinion on a particular topic, understand that of the others and discuss / cooperate in doing a task, using English.</li> <li>know and be able to correctly use the language (grammar) studied in the topic.</li> </ul> Attendance (participating in class) = 30 Homework = 15 Presentations and activities in class = 25 Final exam = 30 Total = 100					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30746	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	具 裕珍	英語	水 3	10-205	1年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
40198	S 2						1年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Reading Social Issues in English This course briefly introduces students to various social issues in both domestic and international aspects. You will read a variety of text such as newspaper articles, speeches, and short research papers during the semester. It will help students to develop broad perspectives on social issues and better understand current events in the world. You will also develop academic interests for the future research through the readings. More detailed guideline will be provided later in class.					
評価方法 教科書 ガイダンス		Draft for presentation (30%), Final presentation (40%), Class participation (20%), Attendance (10%) 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30747	S 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	156 教室	1年 文一二(12)文三(20) 理一(10,26)理二三(16,24)
40204	S 2						1年 文一二(16)文三(10) 理一(13,25,37)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、デジタル技術、移動のための技術、整形手術といった一連の科学技術の進展が現代人の自己意識、身体、空間認識等に与える影響を考察している社会学者の著作である。そこでは、これらの科学技術がもたらした社会変化の加速や人間関係の変化に対応するために、個人が絶えず自らを作り変えるよう迫られ、持続したアイデンティティを保つことが困難になっているという見方が、さまざまな事例を通じて示される。この著作を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 プリントを配布する。 書名 Identity Troubles: An Introduction 著者(訳者) Anthony Elliott 出版社 Routledge ISBN 9780415837118 特に行わない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30029	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 2	149 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, screenings, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal, written and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.).						
評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Research Paper: 50% Presentation: 30%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30030	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 2	150 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	ヴィクトリア朝喜歌劇(元祖ミュージカル)の台本を読む 『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約 100 年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言うべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本(・歌詞)と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高い。今学期は、レパートリーの中から、婚約不履行訴訟の法廷を舞台にした『陪審裁判』(Trial by Jury)をビデオを鑑賞しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。韻を踏んだ歌詞、時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注など、多様な文体にふれる機会にもなる。						
評価方法	試験の成績に出席、平常点を加味する。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30031	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	月 2	152 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	Let's Read and Discuss The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion. We will read a contemporary British author Zadie Smith's novella, 'The Embassy of Cambodia' (2013) as the core textbook. Set in Willesden, north-west London, it is an absorbing story about the life of a young migrant worker from the Ivory Coast, filled with resonant imagery. It is hoped that carefully reading this novella together will help students to develop their reading fluency and to learn to enjoy authentic texts, as well as will open up new horizons for students.						
評価方法	Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations and vocabulary quizzes (approx. 70%). 理由の如何にかかわらず、授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退 2 回で欠席 1 回とみなす。5 回以上の欠席は不可。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 The Embassy of Cambodia 著者(訳者) Zadie Smith 出版社 Hamish Hamilton/ Penguin Books ISBN 978-0-241-14652-1						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30032	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 2	106 教室	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	英語の自立的学習者になる方法を学ぶ：カズオ・イシグロのちょっと笑える短編小説を題材に Kazuo Ishiguro の短編 "Nocturne" を読みます。主人公 Steve は、才能あふれるサックス・プレイヤーなのですが、妻の Helen に浮気され逃げられたうえに、その Helen に「顔があれだから」と整形手術を勧められます。さらに、その整形手術のせいで大嫌いな有名人 Lindy と知り合いになり、ドタバタに巻き込まれ.....というなんともかわいそうなお話です。でもちょっと笑えます。						
評価方法 教科書 ガイダンス	この講義の短期的な達成目標は、(1) 英語で書かれた文章を読んでいて出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは？」と思えるようになること、(2) それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3) その言い回しを自分でも使ってみたい(または使えそうだ)と思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。 毎週の課題 (40%) + 偶数週の復習小テスト (60%) 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30033	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 2	10-308	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	TED Talks and Discussion The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.						
評価方法 教科書 ガイダンス	70% Assignments and quizzes 30% Participation 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30034	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	英語	月 2	153 教室	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	Professional presentation skills The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organise, articulate and support their ideas, whether presented in written or oral form. These skills include the ability to argue for your opinion with supported arguments (facts, statistics, etc.), and to make effective use of PowerPoint.						
評価方法 教科書 ガイダンス	Although the class assignments will focus primarily on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on. Students will be evaluated based on their research and preparation done in class and at home, and two formal oral presentations (one with and one without the use of PowerPoint). Participation 10% Preparation 30% Presentations 60% 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30035	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 2	112 教室	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	<p>楽園はどこにある—Ronald Blythe, <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。</p> <p>『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i>』(1969) は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。</p> <p>話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート (3~4頁分の英文の和訳)。 プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30036	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 2	101 教室	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要	<p>English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M2 The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries. In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, NGOs and lobbying - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)</p>						
評価方法	<p>30%: Digital Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Museum Visit 20%: Presentation 20%: Active contribution to the class</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30037	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	月 2	103 教室	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目	プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communication in English among professionals						
授業の目標概要	プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。 英語を多用な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを学びます。						
評価方法	英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。 授業内活動への積極的な参加・提出物・授業内ミニテスト 60% 授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価 中間プレゼン 15% 定められたテーマに沿って3分程度のプレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点 (履修学生数によって、個人またはグループプレゼンとする) 期末プレゼン 25% 定められたテーマに沿って、3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 実践ビジネス英語：ニューヨークシリーズ ベストセレクション 著者(訳者) 杉田敏 出版社 NHK 出版 ISBN 978-4140395837 その他 授業外のリスニング課題の教材として使います。ニューヨークに生活するビジネスパーソンが会う、社会的問題点や異文化間の考え方の違いを扱う Lesson を選んで聴きます。授業の教材はプリント配布します。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30038	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	月 2	10-103	1 年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目	The Terminal						
授業の目標概要	Steven Spielberg 監督、Tom Hanks 主演の 2004 年アメリカ映画 The Terminal を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。詳細な英語の追求より、物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。						
評価方法	毎週の小テスト(ディクテーション)、定期試験。欠席は3回までとし、4回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。						
教科書	プリントを配布する。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30139	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 3	112 教室	1 年 理一(11,16-17, 23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	<p>楽園はどこにある—Ronald Blythe, <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)を読む あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。</p> <p>『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i>』(1969) は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。</p> <p>話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート (3~4 頁分の英文の和訳)。 プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30140	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 3	101 教室	1 年 理一(11,16-17, 23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	<p>English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M3 The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries.</p> <p>In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc.</p> <p>Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, NGOs and lobbying - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)</p>						
評価方法	<p>30%: Digital Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Museum Visit 20%: Presentation 20%: Active contribution to the class</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30141	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 3	10-308	1年 理一(11,16-17, 23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	TED Talks and Discussion The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.						
評価方法	70% Assignments and quizzes 30% Participation						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30142	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 3	150 教室	1年 理一(11,16-17, 23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	黒船ミュージカルの台本を読む 黒船来航時の日本の混乱をコミカルに描いたスティーヴン・ソンドハイム(『ウェスト・サイド物語』では作詞を担当)作詞・作曲のブロードウェイ・ミュージカルの台本を舞台映像を見ながら読む。アメリカ建国 200 周年の年に初演されたこの作品では、浦賀奉行所与力の香山栄左衛門とジョン万次郎(元祖帰国子女、史実的にはその後、東大講師)のたどる対照的な運命を軸に、幕末明治の混乱が描かれている。外国人を歓迎する遊郭の女たちが歌う「ウェルカム・トゥー・カナガワ」や、日本側が欧米列強の砲艦外交の圧力により不平等条約を結ばされる「プリーズ・ハロー」などのナンバーは傑作だ。史実の大胆な書き換えはあるものの、日本を舞台とした欧米の作品にしては珍しく、粗暴でカタコト英語を話すのはアメリカ人で、日本人がより好意的に描かれている点も注目される。						
評価方法	試験の成績に出席、平常点を加味する。						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30143	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	月 3	103 教室	1年 理一(11,16-17, 23,27,31)
講義題目 授業の目標概要	プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communication in English among professionals プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。						
評価方法	英語を多用な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) 将来プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを学びます。 英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。						
教科書	授業内活動への積極的な参加・提出物・授業内ミニテスト 60% 授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価 中間プレゼン 15% 定められたテーマに沿って3分程度のプレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点 (履修学生数によって、個人またはグループプレゼンとする) 期末プレゼン 25% 定められたテーマに沿って、3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点						
ガイダンス	次の教科書を使用する。 書名 実践ビジネス英語：ニューヨークシリーズ ベストセレクション 著者(訳者) 杉田敏 出版社 NHK 出版 ISBN 978-4140395837 その他 授業外のリスニング課題の教材として使います。ニューヨークに生活するビジネスパーソンが会う、社会的問題点や異文化間の考え方の違いを扱う Lesson を選んで聴きます。授業の教材はプリント配布します。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30144	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石井 クンツ 昌子	英語	月 3	151 教室	1 年 理一(11,16-17, 23,27,31)
講義題目	英語で社会問題についてディベートしよう Let's debate about social problems in English						
授業の目標概要	この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。また、時間の許す限り、米国の社会問題を扱ったドキュメンタリー映画を視聴し、スモールグループディスカッションを行う。						
評価方法	出席率(欠席は3回までとして、4回以上の場合は評価は「不可」とする)、ディベートとデリバリー技術と内容、ディベートへの準備、ディベートとディスカッションへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話セッションへの参加						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30145	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 3	106 教室	1 年 理一(11,16-17, 23,27,31)
講義題目	英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：ちょっと不気味な短編小説を題材に						
授業の目標概要	Roald Dahl の短編 "The Great Automatic Grammatizator" と "Lamb to the Slaughter" を読みます。前者は作家崩れのエンジニアが自動文章生成マシンを作ってしまうというお話、後者は妊娠中の奥さんが旦那を身近な「とあるもの」で殺してしまうお話です。この講義の短期的な達成目標は、(1) 英語で書かれた文章を読んでいて出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは?」と思えるようになること、(2) それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3) その言い回しを自分でも使ってみたい(または使えそうだ)と思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。						
評価方法	毎週の課題(40%) + 奇数週の復習小テスト(60%)						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30146	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	月 3	152 教室	1 年 理一(11,16-17, 23,27,31)
講義題目	Let's Read and Discuss						
授業の目標概要	The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion. We will read a contemporary British author Zadie Smith's novella, 'The Embassy of Cambodia' (2013) as the core textbook. Set in Willesden, north-west London, it is an absorbing story about the life of a young migrant worker from the Ivory Coast, filled with resonant imagery. It is hoped that carefully reading this novella together will help students to develop their reading fluency and to learn to enjoy authentic texts, as well as will open up new horizons for students.						
評価方法	Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations and vocabulary quizzes (approx. 70%). 理由の如何にかかわらず、授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退 2 回で欠席 1 回とみなす。5 回以上の欠席は不可。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 The Embassy of Cambodia 著者(訳者) Zadie Smith 出版社 Hamish Hamilton/ Penguin Books ISBN 978-0-241-14652-1						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30198	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	月 4	103 教室	1年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目	プロフェッショナルのための共通語としての英語 Communication in English among professionals						
授業の目標概要	プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働できるようになることを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。 英語を多用な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージしながら、1) グローバル社会の英語の役割、2) プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3) 英語を将来にわたって長期的に学び、使っていくための英語学習方法、の3点を学ぶことを目指します。 授業では、ケースやタスクをもとに実際に英語を使い、国際協働のための英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使う土台となる基本的スキルを学びます。						
評価方法	英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。 授業内活動への積極的な参加・提出物・授業内ミニテスト 60% 授業内のタスクへの積極的・効果的参加、提出物、授業内に行う範囲を指定されたリスニング教材の「聴き取り・理解を確認するミニテスト」の結果によって総合的に評価 中間プレゼン 15% 定められたテーマに沿って3分程度のプレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点 (履修学生数によって、個人またはグループプレゼンとする) 期末プレゼン 25% 定められたテーマに沿って、3分程度の個人プレゼンを行う・講師と学生の相互評価の総合点						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 実践ビジネス英語：ニューヨークシリーズ ベストセレクション 著者(訳者) 杉田敏 出版社 NHK 出版 ISBN 978-4140395837 その他 授業外のリスニング課題の教材として使います。ニューヨークに生活するビジネスパーソンが会う、社会的問題点や異文化間の考え方の違いを扱う Lesson を選んで聴きます。授業の教材はプリント配布します。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30199	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	月 4	10-303	1年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目	Maritime Economy and the Weird Tale						
授業の目標概要	This class will focus on reading a variety of short "weird tales" that concern the maritime economy between the mid-1800s to early WWII, touching on monsters, shipwrecks, and weird sea places. Students will consider how these stories criticize nautical transport, slavery and the slave economy, colonialism, and human greed. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students who want to understand psychological, economic, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.						
評価方法	Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30%						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 From the Depths and Other Strange Tales of the Sea 著者(訳者) Mike Ashley 出版社 British Library (Tales of the Weird) ISBN 978-0-7123-5236-9						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30200	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 4	10-308	1年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目	TED Talks and Discussion						
授業の目標概要	The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through discussion activities and presentations, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.						
評価方法	70% Assignments and quizzes 30% Participation						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30201	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石井 クンツ 昌子	英語	月 4	151 教室	1 年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目	英語で社会問題についてディベートしよう Let's debate about social problems in English						
授業の目標概要	この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。また、時間の許す限り、米国の社会問題を扱ったドキュメンタリー映画を視聴し、スモールグループディスカッションを行う。						
評価方法	出席率(欠席は3回までとして、4回以上の場合の評価は「不可」とする)、ディベートとデリバリー技術と内容、ディベートへの準備、ディベートとディスカッションへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話セッションへの参加						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30202	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	月 4	10-101	1 年 文一二(10) 理一(8,12)理二三(8)
講義題目	TOEFL/TOEIC の後は、名作を英語で読もう						
授業の目標概要	本授業では、授業前半で TOEFL や TOEIC の reading 問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。随時、名作の中心場面の映像(映画)の視聴、ディスカッション・プレゼンテーションを取り入れることによって、バランスのとれた英語力育成を目標にする。						
評価方法	授業参加度:60%、出席 (TOEFL/TOEIC の reading 問題、名作に対する課題を含む)、ディスカッション、プレゼンテーションの成果を含む。 定期試験・レポート:40%						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30203	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 4	101 教室	1 年 文一二(10)理一 (8,12)理二三(8)
講義題目	English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M4						
授業の目標概要	The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries.						
評価方法	In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc. Topics covered will include: - TV Commercial Strategies - Print Advertisements Design Analysis - PSAs, NGOs and lobbying - Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)						
教科書 ガイダンス	30%: Digital Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Museum Visit 20%: Presentation 20%: Active contribution to the class 教科書は使用しない。 特に行わない。						

## 英語中級 クラス指定セメスター型 火1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30295	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	河合 祥一郎	英語	火 1	E42 教室	1年 文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要	『不思議の国のアリス』を原文で読む 『不思議の国のアリス』の原文の音声教材を自宅できく聴いて予習し、発音やリズム等に気をつけながら音読することで、英語の読み方の基本を身につけます。『鏡の国のアリス』からも「トウィードルダムとトウィードルディー」「ハンブレイ・ダンブティ」「女王アリス」の3章を読みます。また、毎回授業の初めに TOEIC の語彙についての小テストを行い、語彙力を維持します。毎回発音指導を行い、そのための早口言葉を覚えてもらいます。						
評価方法 教科書 ガイダンス	毎回の小テストとクラスでの取り組み姿勢を評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30296	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	エリス 俊子	英語	火 1	103 教室	1年 文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要	Japan Narrative: Looking at Japan from Outside This course will examine how Japan has been narrated, represented and translated in modern Western discourses by looking at films and reading texts related to Japan. 「日本」が海外でどのように語られ、表象され、翻訳されてきたか、日本をめぐる映画や日本に関する文章を読みながら考える。主として英語圏のテキストを扱う。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席及び参加点、授業内のチェックテストやリスボンスピーパー、定期試験の総合評価 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30297	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	遠藤 泰生	英語	火 1	102 教室	1年 文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要	海の文化の歴史 世界の大陸が探検踏査の対象となり、山や河が次々と「発見」されたのとは違い、海とその水面下の世界は人類にとって未踏のフロンティアで長くあり続けた。海の中に何かがあるのか、われわれが知ったのはそれほど昔のことではない。そもそも、海岸に出掛けて潮風にあたりといった文化が生まれたのだから、ごく最近のことだろう。そうした海と人との関わりの歴史を綴った研究書を読んでみる。歴史学・科学史・地域文化研究の専門書に触れることに授業の目的をおく。不足している知識は、随時、授業で補う。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業への参加と語彙小テスト、および定期試験。 プリントを配布する。 書名 Fathoming the Ocean: The Discovery and Exploration of the Deep Sea 著者(訳者) Helen M. Rozwadowski 出版社 The Belknap Press of Harvard University Press 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30298	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	寺澤 盾	英語	火 1	155 教室	1年 文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要	プレゼンテーションの基礎 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の使い方についても学んでいく。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30299	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	矢田部 修一	英語	火 1	108 教室	1 年 文一二(23) 文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要	映画「Night of the Living Dead」(1968) を見る 1968 年に公開された映画「Night of the Living Dead」(著作権の切れた映画なので、ネット上で無料で見ることができる)を見ることを通じて、口語的な英語を理解する力を伸ばすことがこの授業の主要な目標である。また、この映画に関する文章を読んで、文語的な英語を理解する力を伸ばすことも副次的な目標としたい。単なるホラー映画ではない傑作であるが、ホラー系が苦手な人には向かない授業である。						
評価方法	3 回の小テストと定期試験の出来具合に基づいて成績評価を行う。どのテストにも、読解問題と聞き取り問題の両方が含まれる。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30572	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	156 教室	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.						
評価方法	Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect to both (i) and (ii) objectives.						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30573	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Williams David	英語	火 5	158 教室	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	Intermediate Reading, Thinking & Discussion The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Taking a contemporary, thematic approach students will critically examine and consider authentic and semi-authentic texts in groups where texts will be revisited after in depth pre-class reading. The themes explored in class will be exclusively on contemporary British culture. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a wide range of contemporary topics of domestic and international significance. Students will find that the skills acquired in this class will assist in expressing themselves in other areas of their academic studies, and later in their professional lives.						
評価方法	Assessment for this class will be based on evidence of completed homework reading (40%), active class participation, two forum-based presentations (30%), and a final assessment (30%). In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class.						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30574	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	英語	火 5	121 教室	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	世界で勝つための英語プレゼンテーション 英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション(以下プレゼン)は不可欠なスキルである。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル(プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション(ジェスチャー、アイコンタクトなど)の効果的な使い方)を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションを実施する。さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。						
評価方法 教科書	授業への積極的な参加・提出物・プレゼンテーション・レポート 次の教科書を使用する。 書名 20ステップで学ぶ 日本人だからこそできる英語プレゼンテーション 著者(訳者) 藤尾 美佐 出版社 DHC 出版						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30575	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	牛村 圭	英語	火 5	155 教室	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。						
評価方法 教科書	担当した訳文の発表を含めた平常点、学期中に実施の語彙力テスト、そして学期末の筆記試験による。 次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 ニューヨークタイムズ社会点描 出版社 英潮社 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30576	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	火 5	10-101	1 年 理一(24,33) 理二三(9)
講義題目 授業の目標概要	Pronunciation and Listening 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、発音だけでは自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくいと感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。						
評価方法	目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。(1) 英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。(2) 日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。(3) 専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。(4) 英語リスニング力を向上させる。						
教科書	個別発音テスト 40%、リスニングテスト 20%、単語テストとレポート 20%、授業参加（発表、出席を含む）20% を総合して評価する予定。 次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 DVD&CD でマスター 英語の発音が正しくなる本 著者(訳者) 鷺見由理 出版社 ナツメ社 ISBN 13: 978-4816344640 その他 下記の参考書 (UTAS Web シラバス参照) も授業で使用する。教科書と参考書、計 2 冊は購入の必要あり。 特に行わない。						

間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30603	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	後藤 春美	英語	水 1	102 教室	1 年 理一(1-3, 18,20-21)
講義題目 授業の目標概要	China in Western Minds Jonathan D. Spence, <i>The Chan's Great Continent: China in Western Minds</i> (W.W. Norton, 1998) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。						
評価方法	平常点(毎回の授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無、出席などを勘案する)を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。						
教科書	その他 初回の方は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30604	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中尾 まさみ	英語	水 1	149 教室	1 年 理一(1-3, 18,20-21)
講義題目 授業の目標概要	20 世紀の英語短編小説を読む ブリテン諸島で 20 世紀に書かれた短編小説を講読します。ブリテン諸島は国名で言えばイギリスとアイルランドになりますが、大きく言って四つの地域/文化圏(スコットランド、イングランド、ウェールズ、アイルランド)から構成されています。授業では、それぞれの地域で書かれた作品をとりあげ、丁寧に読んで英語表現や文法構造などを解析する力をつけるとともに文化的背景についても学びます。						
評価方法	平常点(授業参加、小テスト等)および定期試験						
教科書	プリントを配布する。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30605	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ダルグリーシュ ブレガム	英語	水 1	115 教室	1 年 理一(1-3, 18,20-21)
講義題目 授業の目標概要	Ideas and Thinkers Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West.						
評価方法	Objectives: 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 30%; Seminar participation = 30%; End of semester written short response paper = 40%.						
教科書	プリントを配布する。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30606	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	土屋 和代	英語	水 1	150 教室	1 年 理一(1-3, 18,20-21)
講義題目 授業の目標概要	<p>アメリカにおける差別と平等—過去から現在へ 戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人解放運動は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、黒人解放運動に関連する文献を読み、学ぶ。黒人解放運動の特色を理解するとともに、現代アメリカの差別と平等について考察する。</p> <p>上記の文献を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させる。関連する映画、ドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人解放運動と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業への貢献・コメントペーパー30%、定期試験 50%、レポート 20% プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30607	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 1	151 教室	1 年 理一(1-3, 18,20-21)
講義題目 授業の目標概要	<p>Colonial Encounters This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. The course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus primarily on the work of the British writer Andrea Levy, but will also include work related to the Caribbean writer Stuart Hall. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Readings for this class will be distributed in class or will be available on line.</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Grades will be based on class participation, a presentation and written work. 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

## 英語中級 クラス指定セメスター型 木2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30917	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	後藤 春美	英語	木 2	102 教室	1 年 文一二(7,11) 文三(14)
講義題目 授業の目標概要	China in Western Minds Jonathan D. Spence, <i>The Chan's Great Continent: China in Western Minds</i> (W.W. Norton, 1998) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。						
評価方法	平常点(毎回の授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無、出席などを勘案する)を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。						
教科書	その他 初回のは、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30918	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	田尻 芳樹	英語	木 2	103 教室	1 年 文一二(7,11) 文三(14)
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。						
評価方法	平常の参加度と定期試験。						
教科書	プリントを配布する。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30919	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小田 悠生	英語	木 2	153 教室	1 年 文一二(7,11) 文三(14)
講義題目 授業の目標概要	国際人口移動の基本概念と現代世界の諸課題 この授業では、平易な英語で書かれたテキストと新聞記事、ビデオを併用しながら、特定テーマに関する一般向けの報道から入門者向けの概説書まで速読できる力を身につけます。中心とする指定教科書は、いわゆる「新書」相当のものであり、各自の専門分野・前提知識を問わず、アカデミックな文章を読解することができるようになることが目標です。リーディングのテーマは、国際人口移動です。日本でも入国管理法の改正に伴い、「外国人労働者」や「移民」に関する議論が活発となっていますが、移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、現代の世界において国境が持つ意味といった問題まで、様々なイシューについて考えてみましょう。						
評価方法	出席回数が三分の二を満たさない場合、単位は認めない。 毎回の宿題提出：30% 授業内課題への取り組み：30% 定期試験：40%						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 International Migration: A Very Short Introduction. 2nd edition. 著者(訳者) Khalid Koser 出版社 Cambridge: Oxford UP, 2016. ISBN 978-0198753773						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30920	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 2	154 教室	1年 文一二(7,11) 文三(14)
講義題目 授業の目標概要	英語発音演習—発音力から聴解力へ— この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習 (音読)は、模倣からのみでなく音声学の理論(特に、IPA: International Phonetic Alphabet)やシャドーイング、オーバー ラッピングの手法を用いて行います。また、英語の学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。						
評価方法 教科書	定期試験、平常点 次の教科書を使用する。 書名 英語音声の基礎と聴解トレーニング 著者(訳者) 杉森 幹彦他 出版社 金星堂						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30991	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	後藤 春美	英語	木 3	102 教室	1 年 文一二(21) 文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要	China in Western Minds Jonathan D. Spence, <i>The Chan's Great Continent: China in Western Minds</i> (W.W. Norton, 1998) の一部を読む。歴史の本ではあるが、歴史の授業ではない。一人で英文を正確に読めるようになることを目標とする。						
評価方法	平常点(毎回の授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無、出席などを勘案する)を主とし、最終授業時間に行うテストで補完して評価する。						
教科書	その他 初回の方は、プリントを用意して当日教室で配布する。二回目以降は、全体を ITC-LMS にアップするので、各自でダウンロードして欲しい。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30992	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	英語	木 3	150 教室	1 年 文一二(21) 文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要	Creative Thinking Albert Einstein once said that "creative imagination" is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity as said to be in today's competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action						
評価方法	Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30%						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30993	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中山 匡美	英語	木 3	10-203	1 年 文一二(21) 文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要	ニュース英語でインプットからアウトプットへ 日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界的な出来事についての英文ニュースを文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁に使われる語彙や表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。また、英文ニュース特有の表現や構成についても学び、英語でニュースを書くことをめざす。						
評価方法	3 回以上欠席した学生は評価の対象とならない。授業への参加姿勢、小テスト、課題、定期試験を総合して評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 時事英語の総合演習—2019 年度版— 著者(訳者) 堀江洋文、加藤香織、小西和久、宮崎修二、内野泰子 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-15642-2						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30994	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	木 3	151 教室	1 年 文一二(21) 文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要	Ecologies of Capital: culture, space and society This reading-based course provides students with an opportunity to engage in critical, cultural and geographic theory, exploring the relationship between geography, capitalism and culture through English language texts. The course will be organised around key ideas taken from the writings of Karl Marx (e.g. the commodity, fetishism, phantasmagoria), with each class used to explore a specific Marxist concept in relation to the spaces and cultures of capitalism. The course will make use of a series of interesting examples from popular culture as a basis for conducting discussions (in English) on capitalism's role in the shaping of class, gender and race. The course will introduce students to a range of thinkers from across the academic world, developing their knowledge of how and where critical and cultural theory can be applied in the analysis of contemporary capitalism. A number of short readings will provide opportunities for class discussion and will develop comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts of texts and short articles in English on a weekly basis as preparation for in-class activities.						
評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30995	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	久世 恭子	英語	木 3	153 教室	1 年 文一二(21) 文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要	Language Myths 言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテキストを教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲 Pygmalion の読み合わせや映画 Pygmalion/My Fair Lady の視聴を取り入れることにより、文学的な作品にも触れる。						
評価方法 教科書	授業参加・発表 20%、小テスト 20%、課題 10%、筆記試験 50% 次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 Language Myths 著者(訳者) Laurie Bauer and Peter Trudgill (eds.) 出版社 Penguin ISBN 978-0-14-026023-6 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30996	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	木 3	152 教室	1 年 文一二(21) 文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要	Colonial Encounters This reading and discussion based course will use different texts to develop students' skills in English comprehension and discussion. The course will draw on fiction, essays and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus primarily on the work of the British writer Andrea Levy, but will also include work related to the Caribbean writer Stuart Hall. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to discuss their responses to the readings in class. Readings for this class will be distributed in class or will be available on line.						
評価方法 教科書 ガイダンス	Grades will be based on class participation, a presentation and written work. 教科書は使用しない。 特に行わない。						

## 英語中級 クラス指定セメスター型 金1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31095	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	金 1	10-205	1年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	はじめてのニュース英語 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。						
評価方法 教科書	シャドイング・授業参加・単語テスト・定期試験 次の教科書を使用する。 書名 Seeing the World through the News 3 著者(訳者) Timothy Knowles et al. 出版社 Kinseido ISBN 978-4-7647-4015-0						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31096	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	広瀬 友紀	英語	金 1	E41 教室	1年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	読むこと聴くことによる情報収集の訓練 さまざまな社会問題や、科学的トピックを紹介するインターネット記事やドキュメンタリー映像教材をとおして、共通のトピックを軸にした複数の情報源から内容を読んで、聴いて理解する、情報の関連性を見いだす、知識を整理する、という訓練を繰り返します。						
評価方法 教科書	授業内外の課題・クイズの積み重ね 教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31097	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 1	105 教室	1年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	Exploring the Human Condition through Dialogs To get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations (conversations, speeches, explanations), and performing in front of the class. The course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions. For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and in class there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s).						
評価方法	Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Dialogs Among Thoughtful Folk 著者(訳者) Moatfield						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31098	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	川崎 修一	英語	金 1	151 教室	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する文献を読む 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成である。また、学校文法で扱われることのない文法や構文などの言語現象に関する様々な文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とする。						
評価方法	小テスト (40%) と定期試験 (60%)						
教科書	プリントを配布する。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31099	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	英語	金 1	10-203	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	Strategic management in business English In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication. You will be expected to develop their business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English.						
評価方法	Weekly homework (quizzes) 30% Final exam 30% Presentation 20%						
教科書	Active Participation 20% 次の教科書を使用する。 書名 『Strategic Management in Business English』 著者(訳者) Yoichi Sato, Steven William Smoley & Seisho Ano 出版社 播磨書院 その他 (近刊、税抜 2,000 円)						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31100	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	英語	金 1	157 教室	1 年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目 授業の目標概要	Reading and Listening to The New York Times インターネット版 The New York Times から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。						
評価方法	平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約 25%+小テスト他の合計約 35%+学期末 テスト約 40%をめやすとする。 欠席・遅刻の多い場合(欠席 3 回超、なお遅刻 3 回で欠席 1 回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者(訳者) The New York Times 出版社 The New York Times その他 毎回予習用に通達する URL から教材記事へのアクセスは可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rate で 1 月までの定期購読を強く勧めます。 <a href="https://www.nytimes.com/subscriptions/innyt/ed u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR">https://www.nytimes.com/subscriptions/innyt/ed u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR</a>						
ガイダンス	特に行わない。						

## 英語中級 クラス指定セメスター型 金 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31180	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	英語	金 3	154 教室	1 年 文一二(17,22) 文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	英語で提供された情報の理解と分析 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる切り口から書かれたり、異なる側面を扱う記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。						
評価方法	テーマごとに行う小テスト (計 50%)、グループワーク (30%)、課題 (20%)						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31181	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野瀬 宗一郎	英語	金 3	152 教室	1 年 文一二(17,22) 文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	ブライアン・フリール著『フェイス・ヒーラー Faith Healer』を読む。 現代アイルランド演劇を代表する北アイルランドの劇作家ブライアン・フリールの『フェイス・ヒーラー Faith Healer』(1979)を精読し、英語の読解力の向上を目指す。						
評価方法	出席・授業態度 30% 小テスト (4回の実施を予定) 40% 学期末レポート 30%						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Brian Friel: Plays I 著者(訳者) Brian Friel 出版社 Faber and Faber ISBN 571177670						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31182	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	英語	金 3	155 教室	1 年 文一二(17,22) 文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	Reading, Listening and Discussion in English: Asperger Syndrome In this course, you will develop your ability to understand written and spoken English. You will also have the chance to take part in discussion work.						
評価方法	The course materials concentrate on the theme of autism in society, paying particular attention to Asperger Syndrome. Grading will be based on a combination of scores for written work and classwork. There is no final test but you will write several short texts in class and at home, some of which will be graded. You will also write a final essay of approximately 500 words (in English) at the end of the course.						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 The Curious Incident of the Dog in the Night-Time 著者(訳者) Haddon, Mark 出版社 Vintage						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31183	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	古田 直肇	英語	金 3	164 教室	1年 文一二(17,22) 文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	<p>「悪の陳腐さ」を通して人間性を探り、「自由」を思索する 本講義では、政治哲学者ハンナ・アーレントの提唱した概念である「悪の陳腐さ (the banality of evil)」と経済学者フリードリッヒ・フォン・ハイエクの提唱した「自由主義 (liberalism)」について受講生とともに思索を深めていきたい。その作業を通して、複雑な思考を英語で理解し、英語で表現する力を涵養していく。</p> <p>アーレントは、その著書『エルサレムのアイヒマン』において、悪を成すのは、特別な人間ではなく、むしろ普通の人間であると指摘している。もし、アーレントの言うように、凡人こそが邪悪な行為をするのだとすれば、我々は一様に悪に陥る可能性を秘めていることとなる。では、一体、どのようにすれば、我々は、「陳腐な悪」に陥らずに済むのだろうか。学期中、前半部では、様々な角度からこの問いに対して向き合っていくが、特に人間の自由意志について考えを巡らせることが多くなるだろう。</p> <p>学期の後半は、ハイエクの著作・論文を精読していく。ハイエクの思想のエッセンスを理解することを通して、社会における個人の自由について思索を深めていきたい。ハイエクが人間の自由についてどう考えていたか、この理解を踏み台として受講生には自分の自由論を形作ってもらう。これが学期後半の到達目標である。</p> <p>受講生は、TED Talk などのインターネットの動画視聴あるいは英文のリーディングを課題として課されるので、事前に配布される Study Questions に答えておくことが求められる。受講生自身が自分の手と頭を使って下調べをして講義に臨んでいることを前提にして、教員は授業を行う。</p> <p>予習に限らず、自ら動き、自ら調べ、自ら考える。この姿勢なき者が、この授業に出ても意味はない。自分の頭で人間性の本質を理解しようと足掻き続けることを厭わないもの、「呻きつつ求める」ものを歓迎したい。</p> <p>本講義の到達目標は、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「悪の陳腐さ」「自由主義」について、その概念と由来・歴史的背景を正確に理解し、その概要を英語で説明できる。</li> <li>・「悪の陳腐さ」「自由主義」に関する自分の見解を、わかりやすい英語で説明できる。</li> <li>・「実践知」「自由意志」「決定論」「実存主義」「個人主義」といった概念を正確に理解し、その概要を英語で説明できる。</li> </ul> <p>また、それについての自分の見解を英語で述べるができる。</p>						
評価方法	<p>Attendance and participation: 30%</p> <p>Mid-term exam (oral presentation): 30%</p> <p>Final exam: 40%</p>						
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31184	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	英語	金 3	157 教室	1年 文一二(17,22) 文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	<p>Reading and Listening to The New York Times インターネット版 The New York Times から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。</p>						
評価方法	<p>平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約 25%+小テスト他の合計約 35%+学期末 テスト約 40%をめやすとする。 欠席・遅刻の多い場合(欠席 3 回超、なお遅刻 3 回で欠席 1 回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。</p>						
教科書	<p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者(訳者) The New York Times 出版社 The New York Times その他 毎回予習用に通達する URL から教材記事へのアクセス は可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rate で 1 月までの定期購読を強く勧めます。 <a href="https://www.nytimes.com/subscriptions/invt/ed u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR">https://www.nytimes.com/subscriptions/invt/ed u/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR</a></p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31185	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	英語	金 3	103 教室	1年 文一二(17,22) 文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	Communication across Cultures 毎回の授業の前半では日本でのコミュニケーションについて論じたテキストを精読する。後半では世界の中での英語についてのテキストの聴解や、英語でのグループディスカッションを行う。						
評価方法 教科書	授業への参加と授業中に行うテストの結果で判断する。 次の教科書を使用する。 書名 Delighting in Cultures: A vision of Japan's future 著者(訳者) Roger Pulvers 出版社 金星堂 ISBN 978-4-7647-3885-0						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31186	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 3	105 教室	1年 文一二(17,22) 文三(16) 理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	Exploring the Human Condition through Dialogs To get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations (conversations, speeches, explanations), and performing in front of the class. The course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions. For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and in class there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s).						
評価方法 教科書	Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these. 次の教科書を使用する。 書名 Dialogs Among Thoughtful Folk 著者(訳者) Moatfield						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31228	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	英語	金 4	103 教室	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Communication across Cultures 毎回の授業の前半では日本でのコミュニケーションについて論じたテキストを精読する。後半では世界の中での英語についてのテキストの聴解を行うと共に、英語でグループディスカッションを行う。						
評価方法	授業への参加と授業中に行うテストの結果で判断する。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Delighting in Cultures: A vision of Japan's future 著者(訳者) Roger Pulvers 出版社 金星堂 ISBN 978-4-7647-3885-0						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31229	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 4	105 教室	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Exploring the Human Condition through Dialogs To get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations (conversations, speeches, explanations), and performing in front of the class. The course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions. For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and in class there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s).						
評価方法	Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations, and the grade for the entire course will be based on the summation of these.						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Dialogs Among Thoughtful Folk 著者(訳者) Moatfield						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31230	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野瀬 宗一郎	英語	金 4	152 教室	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	ブライアン・フリール著『フェイス・ヒーラー Faith Healer』を読む。 現代アイルランド演劇を代表する北アイルランドの劇作家ブライアン・フリールの『フェイス・ヒーラー Faith Healer』(1979)を精読し、英語の読解力の向上を目指す。						
評価方法	出席・授業態度 30% 小テスト(4回の実施を予定) 40% 学期末レポート 30%						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Brian Friel: Plays I 著者(訳者) Brian Friel 出版社 Faber and Faber ISBN 571177670						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31231	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	英語	金 4	154 教室	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	英語で提供された情報の理解と分析 オンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。 同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、 様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。						
評価方法 教科書 ガイダンス	テーマごとに行う小テスト (計 50%)、グループワーク (30%)、課題 (20%) 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31232	S	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	英語	金 4	155 教室	1 年 文一二(8,26,28) 理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Reading, Listening and Discussion in English: Asperger Syndrome In this course, you will develop your ability to understand written and spoken English. You will also have the chance to take part in discussion work.						
評価方法	The course materials concentrate on the theme of autism in society, paying particular attention to Asperger Syndrome. Grading will be based on a combination of scores for written work and classwork. There is no final test but you will write several short texts in class and at home, some of which will be graded. You will also write a final essay of approximately 500 words (in English) at the end of the course.						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 The Curious Incident of the Dog in the Night-Time 著者 (訳者) Haddon, Mark 出版社 Vintage						
ガイダンス	特に行わない。						

## 英語中級 全クラス型

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30253	S	英語中級	中澤 恒子	英語	月 5	10-103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	The Terminal Steven Spielberg 監督、Tom Hanks 主演の 2004 年アメリカ映画 The Terminal を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。詳細な英語の追求より、物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。						
評価方法	毎週の小テスト (ディクテーション)、定期試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30338	S	英語中級	グレノン イザベル	英語	火 2	102 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Professional presentation skills The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organise, articulate and support their ideas, whether presented in written or oral form. These skills include the ability to argue for your opinion with supported arguments (facts, statistics, etc.), and to make effective use of PowerPoint.						
評価方法	Although the class assignments will focus primarily on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on. Students will be evaluated based on their research and preparation done in class and at home, and two formal oral presentations (one with and one without the use of PowerPoint). Participation 10% Preparation 30% Presentations 60%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30339	S	英語中級	田尻 芳樹	英語	火 2	103 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。						
評価方法	平常の参加度と定期試験。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30842	S	英語中級	矢田部 修一	英語	水 5	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	映画「Night of the Living Dead」(1968) を見る 1968 年に公開された映画「Night of the Living Dead」(著作権の切れた映画なので、ネット上で無料で見ることができる)を見ることを通じて、口語的な英語を理解する力を伸ばすことがこの授業の主要な目標である。また、この映画に関する文章を読んで、文語的な英語を理解する力を伸ばすことも副次的な目標としたい。単なるホラー映画ではない傑作であるが、ホラー系が苦手な人には向かない授業である。						
評価方法	3 回の小テストと定期試験の出来具合に基づいて成績評価を行う。どのテストにも、読解問題と聞き取り問題の両方が含まれる。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30843	S	英語中級	LANDAU Samantha	英語	水 5	10-203	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.						
評価方法	Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30%						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31070	S	英語中級	矢島 宏紀	英語	木 5	151 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アメリカ建国期の諸問題を英語で理解する アメリカ合衆国が建国された時期を解説した歴史概説書、同時期の重要な史料、同時期を論じた研究書(論文)を読むことで、初期アメリカ史の知識のみならず、高度な英文読解力、調査力、分析力を習得することを目指す。						
評価方法	定期試験 50% 発表 30% 態度・発言 20%						
教科書	プリントを配布する。 書名 American History: A Very Short Introduction 著者(訳者) Paul S. Boyer 出版社 Oxford University Press ISBN 978-0195389142						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31129	S	英語中級	広瀬 友紀	英語	金 2	E41 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	読むことと聴くことによる情報収集の訓練 さまざまな社会問題や、科学的トピックを紹介するインターネット記事やドキュメンタリー映像教材をとおして、共通のトピックを軸にした複数の情報源から内容を読んで、聴いて理解する、情報の関連性を見いだす、知識を整理する、という訓練を繰り返します。						
評価方法	授業内外の課題・クイズの積み重ね						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31130	S	英語中級	土屋 和代	英語	金 2	154 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>「多人種都市」ロスアンジェルス の歴史 スペイン領地として誕生し 1848 年にアメリカの都市となったロスアンジェルスは、20 世紀初頭までは中西部出身のアン グロサクソン系の農民が人口の大多数を占める「アングロの街」としての特徴を強くもっていた。20 世紀に入り、中南 米、アジア、東欧・南欧など様々な地域からの移民と、人種隔離制度下にあった南部から機会を求めて移住した黒人の 「越境者」が急増する中で、世界で最も「多人種化」が進んだ都市の一つへと変容した。ロスアンジェルスは、経済、政治、 文化の変化とこの「多人種化」がいかに重なり合い、現代のロスアンジェルスを形成するに至ったかを探る。 英文読解力を向上させるとともに、関連する映画、戯曲を視聴し、背景となる 20 世紀米国の歴史、社会、文化について の理解を深める。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>出席・授業への貢献 20%、定期試験 50%、コメント 30% プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31290	S	英語中級	LANDAU Samantha	英語	金 5	10-303	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>Introduction to American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Final Report: 40%, Written assignments (Including Mid-term Report): 30%, In-class assignments and participation: 30% プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31291	S	英語中級	田尻 芳樹	英語	金 5	103 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい 文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを 訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりす る訓練をします。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>平常の参加度と定期試験。 プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30254	S	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 5	102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Geographies of Horror This course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, H.P Lovecraft and Shirley Jackson. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, vampires, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for class discussion in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.						
評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Research Paper: 50% Presentation: 30%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30844	S	英語上級	ダルグリーシュ ブレガム	英語	水 5	115 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Ideas and Thinkers Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives:						
評価方法	1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 30%; Seminar participation = 30%; End of semester written short response paper = 40%.						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

## 総合科目L系列 ドイツ語

ドイツ語初級(演習)①		開講区分	S	
授業の目標・概要	発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。特に文法と会話の練習に重点を置く。 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gesprächsuebungen durchgefuehrt, die sich an den Themen des Grammatikbuchs in der ersten und zweiten Reihe orientieren.			
成績評価方法	平常点(出席、宿題)および試験によって行う。			
教科書	Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt. 次の教科書を使用する。 書名 ドイツ語共通教科書 著者(訳者) 東京大学教養学部ドイツ語部会編			
関連ホームページ	<a href="http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/">http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/</a>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30209	月 4	SCHWARZ Thomas	106 教室	1年 文一二(21)
30361	火 2	稲葉 治朗	106 教室	1年 文科(TLP)
30448	火 3	オプヒュルス 鹿島	K114	1年 文一二(22)
30767	水 3	クリスティアン クリンク	K114	1年 文三(16)
30797	水 4	クリスティアン クリンク	K114	1年 文一二(20)
30801	水 4	SCHWARZ Thomas	106 教室	1年 文三(15)
31300	金 5	斉藤 涉	150 教室	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30340	S	ドイツ語初級（演習）	ヘルマン ゴチェフスキ	ドイツ語	火 2	学際交流 ホール	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（第二外国語、必修）を伴う実習 文法教科書で学んだことを深めるために様々な練習課題を与える。母音と子音の発音、数字、日付の読み方、会話の表現、道案内など、簡単な韻文の朗読と歌の歌唱をもってドイツ語を身につける。						
評価方法 教科書 ガイダンス	主に毎週の宿題と小テストをもって、積み重ねの平常点に基づいて評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30359	S	ドイツ語初級（演習）	稲葉 治朗	ドイツ語	火 2	106 教室	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.						
評価方法 教科書 ガイダンス	この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。 授業への積極的な参加、宿題、試験などによって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名 Menschen A1. Kursbuch. Deutsch als Fremdsprache 著者（訳者） Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31292	S	ドイツ語初級（演習）	原田 晶子	ドイツ語	水 5	154 教室	1年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級文法の復習と読解・聞き取り・作文への応用 必修の初修外国語としてドイツ語を受講している理系の1年生を対象とした授業である。 共通教科書で学ぶ文法項目に準拠しながら、語彙力の強化、読解、聞き取り、作文の練習を通じて、基礎力の定着とドイツ語の実践をめざす。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点とレポート。 レポートの方法や内容は、授業の方法（UTAS Web シラバス参照）によって変動するため、第1回の授業での相談内容に応じて、授業内で確定する。 次の教科書を使用する。 書名 共通教科書 Einblicke 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31298	S	ドイツ語初級（演習）	斉藤 渉	ドイツ語	金 5	150 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.						
評価方法	この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。						
教科書	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名 Menschen A1. Kursbuch. Deutsch als Fremdsprache 著者（訳者） Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3 その他						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31293	S	ドイツ語初級（会話）	I・カウフマン	ドイツ語	金 5	10-102	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（会話） In diesem Kurs liegt der Schwerpunkt auf dem Hörverständnis und dem mündlichen Ausdruck im Alltag. Die Teilnehmer sollen lernen, sich in Alltagssituationen auf Deutsch auszudrücken und sich über Themen des Alltags zu unterhalten. Bereitschaft zur aktiven Teilnahme am Unterricht ist Grundvoraussetzung. この授業では聴き取りと日常会話を練習します。日常のさまざまな場面でのドイツ語表現や、日常的なテーマについてのドイツ語の表現に重点を置きます。ドイツ語で日常的な状況、テーマで実際に会話することを学びます。授業への積極的な参加を求めます。						
評価方法	平常点および試験によって行う。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 DaF leicht A1.1 著者（訳者） Sabine Jentges et al. 出版社 Klett ISBN 978-3-12-676250-2						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31131	S	ドイツ語初級（作文）	林 志津江	ドイツ語	金 2	155 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級(作文) 理科生を対象として開講される、文科生の演習にあたる科目です。1年理科生のみ受講可能。 最終評価試験40%、平常点（授業に対する貢献・提出課題・小テスト）60%を総合的にあわせて判定します。						
評価方法							
教科書	次の教科書を使用する。 書名 プリマ・ブルス 著者（訳者） 藁谷郁美、Marco Raindl、太田達也 出版社 朝日出版社 ISBN 9784255253961						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30341	S	ドイツ語初級 (表現練習)	オプヒュルス 鹿島	ドイツ語	火 2	153 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	口頭表現の練習。						
授業の目標概要	初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、DVD 付きの教科書を使って日常生活における基礎的なドイツ語表現（聞き取り、コミュニケーション能力、単語習得）の運用能力を養う。						
評価方法	Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer zu entwickeln.						
教科書	平常点（出席、宿題）および試験によって行う。						
ガイダンス	Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt.						
	次の教科書を使用する。						
	書名 ドイツ語の時間ー恋するベルリン (DVD) Meine Deutschstunde – Auf geht's nach Berlin						
	著者(訳者) 清野智昭						
	出版社 朝日出版社						
	ISBN 978-4-255-25303-9						
	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30342	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	SCHWARZ Thomas	ドイツ語	火 2	516 教室	1 年 文科 理科
30885					木 1	515 教室	
講義題目	ドイツ語初級 (インテンシヴ)						
授業の目標概要	Einführung in die deutsche Sprache und Kultur このコースはドイツ語の予備知識を前提しないが、基礎科目などで学習するドイツ語の文法知識を確認しながら、基礎的なドイツ語を実践的に練習して、読む・聴く・話す・書く総合的な能力の定着を図る。ドイツ文化についても折に触れて紹介する。						
評価方法	Im Zentrum dieses Kurses steht die Kommunikation im Alltag auf Deutsch. Die Studierenden trainieren ihr Hör- und Leseverständnis und die Schreibfertigkeiten. Der Kurs vermittelt elementare Grammatikkenntnisse und thematisiert verschiedene Aspekte der deutschen Kultur.						
教科書	This course introduces students to everyday communication in German. They will develop their listening and reading comprehension, as well as their writing skills. The course provides not only training in German grammar but also gives an insight into German culture.						
	- 宿題, テスト						
	- Hausaufgaben, Tests						
	- Homework, tests (60 %)						
	次の教科書を使用する。						
	書名 studio 21. Grundstufe A1, Gesamtband. Deutsch-Englisch						
	著者(訳者) Funk, Hermann / Kuhn, Christina						
	出版社 Cornelsen						
	ISBN 978-3-06-520105-6						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30360	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	I・カウフマン	ドイツ語	火 2	10-102	1年 文科 理科
30891					木 1	10-202	
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習 (TLP クラス指定科目) In dem Kurs wird zum einen das in der 1. und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.						
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名 Menschen A1. Kursbuch. Deutsch als Fremdsprache 著者(訳者) Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31077	S	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	木 5	K114	1年 文科 理科
31299					金 5		
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習 (TLP クラス指定科目) In dem Kurs wird zum einen das in der 1. und 2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の第一列・第二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.						
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名 Menschen A1. Kursbuch. Deutsch als Fremdsprache 著者(訳者) Evans, Sandra et al. 出版社 Hueber ISBN 978-3-19-101901-3						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30255	S	ドイツ語初級 (第三外国語)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 5	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner) Dieser Kurs ist für Studierende ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Vermittlung der grundlegenden deutschen Grammatik. Durch diverse Übungen sollen grundlegende sprachliche Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt werden. Der Kurs beginnt im Sommersemester (April) und wird im darauffolgenden Wintersemester (September) fortgeführt. Studenten können sich allerdings auch nur für einen der beiden Kurse einschreiben, sollten aber beachten, dass der Kurs im Sommersemester ein reiner Anfängerkurs und im Wintersemester ein Fortsetzungskurs auf Niveau A1.1 ist. This course is designated for students without any previous knowledge of German (Level A1 of the European Reference Framework). The course focuses on the foundation of the German grammar. Through various exercises, students are taught the essentials of the language (listening, reading, writing, speaking). The course starts in the spring semester (April) and will be continued in the autumn semester (September). Students can take either or both courses, but they should be aware that the course starting in April is a class for complete beginners and the one starting in September requires knowledge of the German language roughly equal to the A1.1 level of the European Reference Framework.						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und Tests. Relevant for the evaluation are the quality of the contribution in class, homework as well as tests.						
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30343	S	ドイツ語初級 (第三外国語)	日名 淳裕	ドイツ語	火 2	1224 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	第三外国語としてドイツ語を学ぶ人を対象にした、初級文法を半期で習得する授業です。速習クラスになりますので、文法の正しい理解と読解力の養成が第一目標となりますが、書く、聞く、話す力も伸ばせるように練習の機会を設けます。また、ドイツ語を通して、ドイツ語圏の政治、生活、歴史、文化などについても学びます。 ・ドイツ語の初級文法を習得する。 ・辞書を用いつつ新聞・雑誌記事などが読めるようになる。 ・旅行など短期滞在した際にドイツ語で挨拶や意思表示ができるようになる。						
評価方法 教科書	積極的な授業参加、小テスト、定期試験によって評価します。 次の教科書を使用する。 書名 アプライゼ 伝え合うドイツ語 著者(訳者) 高橋亮介 川名真矢 出版社 朝日出版社 ISBN 9784255254067						
ガイダンス	その他 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30241	S	ドイツ語中級(演習)	石原 あえか	ドイツ語	月 4	10-202	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習(TLPクラス指定科目) トライリンガル・プログラム用の演習授業。ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のA2から始め、最終的にはB1レベルに相当する言語運用能力を養成する。 1年生で習得した基礎文法をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力をレベルアップさせる。週2回のネイティブ教員(クリンク先生)による授業と連動して、発展的な学習を進める。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 (詳しい評価や受講上の注意等は授業で説明します)。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Passwort Deutsch 4 および 5 (Kurs- und Übungsbuch mit Audio-CD) 著者(訳者) Ulrike Albrecht, Christian Fandrych et. al. 出版社 Klett ISBN 978-3-12-676419-3, 978-3-12-676424-7 その他 購入方法等は授業中に指示します。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30256	S	ドイツ語中級（演習）	三宅 晶子	ドイツ語	月 5	119 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級（演習） 初級文法を学習済みの受講者を対象として、練習問題・DVDを使ったドイツ語会話・中級文法・独作文・テキスト読解等を通して、ドイツ語の総合的な能力のさらなる発展と強化、ドイツ文化の理解を目指します。レベルとしては、欧州言語共通参照枠 A2 ないしはドイツ語検定 3 級（文法全体を勉強し終えたレベル）を確実にし、さらにその上の B 1 ないしは独検 2 級取得可能なレベルを目標とします。						
評価方法 教科書 ガイダンス	積極的な授業参加、小テスト、定期試験 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30344	S	ドイツ語中級（演習）	香田 芳樹	ドイツ語	火 2	115 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自分で読んでみよう、ドイツの旬の話題 この授業では、読解を中心に初年度で獲得した初級文法の知識を実用できるようにすることを目指します。 テキストは、ドイツの教育出版社 Spotlight 社が発行しているドイツ語教育雑誌『Deutsch perfekt』（月刊）を使用します。 この雑誌には、ドイツや世界に関するさまざまなテーマを扱った、短いコラムからやや長めの論説までのさまざまなテキストが、3つの難易度レベルに分けて掲載されています。それぞれには、読解のポイントや語彙の解説があり、学習の助けをしてくれます。扱うテーマはたとえば、「旅行案内書 vs グーグルマップ」、「ドイツの最年少デザイナー」、「私のドイツ留学元年」、「16歳選挙権への Ja oder Nein」、「史上初の自転車乗り Karl Drais」、「100の愛の言葉」などヴァリエーションに富み、読者を飽きさせません。ドイツ語は初学者用に、選び抜かれた語彙と構文が使われ、教育教材として優れています。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（2/3以上の出席）と期末の筆記試験 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30488	S	ドイツ語中級（演習）	大石 紀一郎	ドイツ語	火 3	10-202	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP ドイツ語 ドイツ語の実践的な運用能力をさまざまな練習を通じて養成することをめざす。 なお、2年生からの編入の可能性に関しては、教務課・ドイツ語部会の案内に注意すること。						
評価方法	TLP クラスとして適切な評価を行う。授業への積極的な参加等により平常点の評価を行い、Kaufmann 先生の時間内に複数回行う予定の試験と併せて、総合的に評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Passwort Deutsch 4 (L. 21 から)および 5 著者（訳者） Ulrike Albrecht ほか 出版社 Ernst Klett Sprachen						
ガイダンス	その他 教科書の購入については授業で指示する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31132	S	ドイツ語中級（演習）	高橋 亮介	ドイツ語	金 2	119 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	演習（文法・表現） 初級文法を履修済みの受講者を対象とした科目。初等学習の段階ではあまり詳しく取り上げられない項目を優先的に扱うことにより、既存のドイツ語知識の精緻化を目指す。また、さまざまな形式の演習を組み合わせることにより、総合的な運用能力の向上にも努める。						
評価方法 教科書 ガイダンス	中間試験、授業期間を利用した定期試験、小テスト、出欠状況などの基準に基づき、総合的に成績評価を行う。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30845	S	ドイツ語中級（会話）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	515 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Deutsch-Konversation für Fortgeschrittene (Mittelstufe) Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden vor allem das aktive Sprechen und Reagieren im Gespräch; Ziel ist die Erweiterung des Wortschatzes und der Redemittel zur aktiven und spontanen Anwendung. Lehrmaterial und Themen orientieren sich am Niveau und Interesse der Teilnehmenden. ドイツ語を1年（以上）学んだことがある受講者を想定している。授業の目標はドイツ語圏での日常生活の様々な状況に対応できる表現力を養うことにある。授業はペアーや少人数グループ練習などを通して実際的な口頭練習に重点をおく。教材と具体的な内容は、参加者のレベルと興味によって決定させる。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, der Hausaufgaben und Präsentationen. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. 成績評価は平常点によって行う。授業中の貢献、宿題、小さな発表の質が判断基準となる。積極的な参加が前提となる。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30257	S	ドイツ語中級（作文）	SCHWARZ Thomas	ドイツ語	月 5	106 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語作文 Schreibübungen 様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。 In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen liest und schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern.						
評価方法	3度の課題提出。 3 benotete Texte						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30362	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	火 2	K114	1年 文科 理科
31142					金 2		2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習 (TLP クラス指定科目) In dem Kurs werden die in den ersten beiden Semestern erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A2 und soll zum Niveau B1 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. この授業では、2018のS・Aセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA2レベルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、B1レベルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Passwort Deutsch, 5-bändige Ausgabe, Passwort Deutsch 4: Kurs- und Übungsbuch + Audio-CD 著者 (訳者) Ulrike Albrecht et al. 出版社 Klett ISBN ISBN 978-3126764193						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30597	S	ドイツ語中級 (インテンシヴ)	I・カウフマン	ドイツ語	月 5	10-102	1年 文科 理科
31058					木 4		10-202
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習 (TLP クラス指定科目) Der Kurs richtet sich an Lerner mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, so dass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner sollen in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren, und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen.						
評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und 2 Tests. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Passwort Deutsch 5, Kurs- und Übungsbuch 著者 (訳者) Ulrike Albrecht et al. 出版社 Klett ISBN 9-783126-764223						
ガイダンス	特に行わない。						

## 総合科目 L 系列 フランス語

フランス語初級(演習)①		開講区分	S
授業の目標・概要	<p>一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。</p> <p>この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級(演習)」が開講されているので、積極的に参加してほしい。</p>		
成績評価方法	<p>平常点(宿題、出席、発言等)と定期試験で総合的に評価する。</p>		
教科書	<p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 『Rythmes &amp; communication (リズムコミ! フランス語会話)』</p> <p>著者(訳者) アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦</p> <p>出版社 朝日出版社</p> <p>ISBN 978-4-225-35275-6</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30211	月 4	デルヴロワ ミカエル	10-201	1年 文一二(26)
31785	火 2	伊達 聖伸	108 教室	1年 文科(TLP)
31786	火 2	桑田 光平	101 教室	1年 文科(TLP)
30449	火 3	DE VOS PATRICK HENRI	10-204	1年 文一二(23)
30680	水 2	ファイフ ベアトリクス	10-103	1年 文一二(27)
30681	水 2	DE VOS PATRICK HENRI	10-101	1年 文一二(28)
30764	水 3	ファイフ ベアトリクス	10-103	1年 文一二(25)
30803	水 4	アルベリック ドリブル	10-103	1年 文三(20)
31189	金 3	ビゼ	10-202	1年 文三(17)
31190	金 3	マルティネル ルイ	10-303	1年 文三(19)
31236	金 4	マルティネル ルイ	10-303	1年 文一二(24)
31241	金 4	アガエス ジュリアン	10-203	1年 文三(18)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30363	S	フランス語初級 (演習)	伊達 聖伸	フランス語・イタリア語	火 2	108 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	T L P フランス語演習 (1 年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書	定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 Amical Niveau 1 著者 (訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30364	S	フランス語初級 (演習)	桑田 光平	フランス語・イタリア語	火 2	101 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	T L P フランス語演習 (1 年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P 用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P 用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書	定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 Amical Niveau 1 著者 (訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30846	S	フランス語初級 (演習)	デルヴロワ ミカエル	フランス語・イタリア語	水 5	10-205	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初修 一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級 (演習)」が開講されているので、積極的に参加してほしい。						
評価方法 教科書	平常点 (宿題、出席、発言等) と定期試験で総合的に評価する。 教科書は使用しない。						
ガイダンス	書名 『Rythmes & communication (リズコミ! フランス語会話)』 著者 (訳者) アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-225-35275-6 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30345	S	フランス語初級 (会話)	Vallienne Corinne	フランス語・イタリア語	火 2	113 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Parlons français ! 会話の例文を読んでからペアで練習します。学生同士のコミュニケーションが中心です。教科書の練習問題をしながら、聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。初心者を対象とします。					
評価方法 教科書		平常点 40点、定期試験 60点 次の教科書を使用する。 書名 SPIRALE NOUVELLE EDITION/LIVRE DE L'ELEVE 著者(訳者) CREPIEUX+CALLEN+TAKASE+NEGISHI 出版社 Hachette FLE ISBN 9782014015812 その他 履修人数に制限をかける場合があるので、教科書を事前に購入しないこと。					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31294	S	フランス語初級 (読解)	斎藤 かぐみ	フランス語・イタリア語	金 5	102 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語テキスト読解の第一歩 ニュース速報レベルのテキストであれば、辞書を引きながら自力で読めるようにすることを目標とします。					
評価方法 教科書		平常点および期末のレポート プリントを配布する。					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30016	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	月 1	10-202	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語インテンシヴ・コース (1年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
評価方法 教科書		定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。 書名 Amical Niveau 1 著者(訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30017	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	月 1	10-203	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		T L P フランス語インテンシヴ・コース (1年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
評価方法 教科書		定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。 書名 Amical Niveau 1 著者(訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31143	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	金 2	10-203	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書	定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。 書名 Amical Niveau 1 著者 (訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31301	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	金 5	10-203	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書	定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。 書名 Amical Niveau 1 著者 (訳者) Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 CLE International ISBN 978-2-09-038602-8						
ガイダンス	その他 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30258	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	月 5	10-202	1年 文科 理科
30847					水 5	10-103	
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級 (インテンシヴコース) このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜日5限の授業 (フランス語初級 (インテンシヴ)、ドリブル) も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。						
評価方法 教科書	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 その他 開講時に指示します (学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30259	S	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	月 5	10-203	1年 文科 理科
30886					木 1		
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級(インテンシヴコース) このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日1限の授業(フランス語初級(インテンシヴ)、アガエス)も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。						
評価方法 教科書 ガイダンス	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 その他 開講時に指示します(学期開始の時点ですでに教科書が販売されていては初回終了までは購入しないこと)。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30260	S	フランス語初級 (第三外国語)	中田 健太郎	フランス語・イタリア語	月 5	166 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級(第三外国語) フランス語の初級文法を理解する。フランス語の発音の規則を学び、テキストを音読できるようになる。仏和辞典の引き方を理解し、講読の基礎を固める。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点(授業への積極的参加や小テストの結果)および定期試験によって総合的に判断する。 次の教科書を使用する。 書名 フランス文法要説(第3版) 著者(訳者) 石井洋二郎 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-35258-9 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30848	S	フランス語初級 (第三外国語)	小野 潮	フランス語・イタリア語	水 5	104 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級(第三外国語) フランス語の初級文法の骨格を理解する。 フランス語のテキストを正しく音読できるようにする。 辞書を引きながら簡単なフランス語を理解できるようにする。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験 次の教科書を使用する。 書名 新・東京一パリ,初飛行 著者(訳者) 藤田祐二 藤田知子 Syvic GILLET 出版社 駿河台出版社 ISBN 978-4-411-01124-4 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30786	S	フランス語中級 (演習)	原 和之	フランス語・イタリア語	水 3	112 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語インテンシヴ・コース(2年次) TLP(トライリンガル・プログラム)履修生のための授業。一列・二列(文法と講読)、演習(TLP用)、そしてインテンシヴ・コース(TLP用)を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。 書名 Édito niveau B1 出版社 Didier 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31144	S	フランス語中級 (演習)	DE VOS PATRICK HENRI	フランス語・イタリア語	金 2	10-204	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>TLPフランス語インテンシヴ・コース(2年次) TLP(トライリンガル・プログラム)履修生のための授業。一列・二列(文法と講読)、演習(TLP用)、そしてインテンシヴ・コース(TLP用)を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。 書名 Édito niveau B1 出版社 Didier 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30346	S	フランス語中級 (会話)	ラタンジオ リリアヌ	フランス語・イタリア語	火 2	10-103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Conversation フランス語で自分の意見や考えを説明できるように実践します。 正しい表現を身につけ、使えることを目指します。 授業時での参加度、最終授業における口頭試問による。 次の教科書を使用する。 書名 À VOL D'OISEAU(鳥に乗って一直線) 著者(訳者) Olivier Lorrillard,Ryo Oda 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-35265-7 C10 その他 授業登録に当たって選抜をするので、教科書は登録が決まってから購入してください。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31277	S	フランス語中級 (作文)	ビゼ	フランス語・イタリア語	金 4	122 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Composition écrite Ce cours a pour objectif de former et d'entraîner les étudiants à la composition et à la rédaction (en français). Les sujets à partir desquels nous travaillerons seront choisis avec les étudiants (selon le niveau du groupe). Nous étudierons principalement l'emploi des temps du passé en français et travaillerons sur la rédaction de petits récits. Deux travaux seront notés en cours de semestre (contrôle continu), et un examen écrit à la fin du semestre (contrôle final). 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31742	S	フランス語中級 (表現練習)	ファイフ ベアトリクス	フランス語・イタリア語	水 4	151 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>フランス語 表現練習 ジェスチャー、ボイストレーニング、ロールプレー、歌などでフランス語を学び、自分の表現力を磨く。 オラル・テストと平常点 次の教科書を使用する。 書名 Amical 2 著者(訳者) 教科書: Amical 2 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30100	S	フランス語中級 (読解)	佐々木 悠介	フランス語・イタリア語	月 2	1221 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語でコルトーのショパン論を読む フランス語の文法を一通り学び終えた駒場生なら、その気になれば辞書を駆使してかなりのレベルのものを読むことができる。しかし読解力を養うという観点からすれば、あまり難解なフランス語を、パズルを解くようにして読み解いていくのが最善の道であるとは限らない。 演奏家のエッセーの良さは、多くの場合、編集者の手が入ることによって癖のないシンプルな文体に整えられていることである。それでいて日常会話のフランス語とは異なる書き言葉としての性質も備えているから、読解練習にはもってこいである。						
評価方法 教科書 ガイダンス	予習(授業中にあった分)をメインに評価を行い、辞書持ち込み可の定期試験を行う。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30965	S	フランス語中級 (読解)	桑田 光平	フランス語・イタリア語	火 3	151 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語テキスト読解 現代作家が書いた美術に関する短いエッセイを読み、読解力をつける。テキストとしてはゴンクール賞受賞作家のタール・ベン・ジェルーンの <i>Lettre à Matisse</i> を予定しているが、参加者と話し合いで他のテキストにする可能性もある。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と期末レポートから総合的に評価する。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31665	S	フランス語中級 (読解)	塚本 昌則	文学部	水 3	1224 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	クンデラ「失われた手紙」を読む フランス語の文法を一年間学んだだけでは、フランス語で書かれたテキストを読める状態にはなかなかありません。ここでは、チェコの亡命作家クンデラの短編小説「失われた手紙」を講読しながら、辞書を片手に、自分でフランス語テキストを読みすすめる力を得ることを目標とします。読む力をつけるためには、言葉の連なりを基本的な文型に分解したり、小説読解に必要な文法知識を身につけたり、基本的な熟語を覚えたり等々、さまざまな作業を積み重ねる必要があります。皮肉で力強い人間観察を平易な言葉で練りひろげる短編を楽しみながら、フランス語読解力の向上を目指します。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業への参加度 40%、定期試験 60% プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30242	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	月 4	10-203	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLPフランス語インテンシヴ・コース(2年次) TLP(トライリンガル・プログラム)履修生のための授業。一列・二列(文法と講読)、演習(TLP用)、そしてインテンシヴ・コース(TLP用)を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。 書名 Edito niveau B1 出版社 Didier 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30243	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	月 4	10-204	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	T L Pフランス語インテンシヴ・コース (2年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてイン テンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書	定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 Édito niveau B1 出版社 Didier 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31078	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	木 5	10-203	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	T L Pフランス語インテンシヴ・コース (2年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてイン テンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書	定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 Édito niveau B1 出版社 Didier 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31221	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	フランス語・イタリア語	金 3	10-203	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	T L Pフランス語インテンシヴ・コース (2年次) T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてイン テンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書	定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 Édito niveau B1 出版社 Didier 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30486	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	ビゼ	フランス語・イタリア語	火 3	10-103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Cours de français intensif Ce cours a pour objectif d'encourager les étudiants à parler français dans des conditions de performances improvisées.						
評価方法	Le contrôle est CONTINU. Les étudiants sont donc évalués pour trois ou quatre travaux PENDANT LES COURS.						
教科書 ガイダンス	Il n'y a pas d'examen final. 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31018	S	フランス語中級 (インテンシヴ)	ビゼ	フランス語・イタリア語	木 3	10-102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Cours de français intensif Ce cours a pour objectif d'encourager les étudiants à s'exprimer, oralement et par écrit, sur un thème choisi par les étudiants eux-mêmes, au début du semestre. Je proposerai moi-même quelques thèmes possibles.						
評価方法 教科書 ガイダンス	Les étudiants seront évalués lors d'un examen final. 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30312	S	フランス語上級 (会話)	アガエス ジュリアン	フランス語・イタリア語	火 1	10-203	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1/B2) Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés. Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt.						
評価方法 教科書 ガイダンス	Examen final, présentations, rapports, attitude et participation en classe. 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31362	S	フランス語上級 (読解)	斎藤 かぐみ	フランス語・イタリア語	水 4	153 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	仏語紙の論説や記事の読解。 授業の目標、概要：時事的な仏文を広く読みこなす能力をつける。日刊 Le Monde、月刊 Le Monde diplomatique を主とした新聞論説・記事を扱う。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点および期末のレポート プリントを配布する。 特に行わない。						

## 総合科目 L 系列 中国語

中国語初級(演習)①		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。</p> <p>注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。</li> <li>●TLP クラスは教科書が異なるので Web シラバスで確認をすること。</li> </ul>			
成績評価方法	定期試験と小テストなど			
教科書	次の教科書を使用する。			
	書名 現代漢語基礎 口語演習教材			
	著者（訳者） 駒場中国語教育研究会編			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30055	月 2	林 立梅	107 教室	1 年 文一二(16)
30204	月 4	賈 黎黎	107 教室	1 年 文一二(13)
30214	月 4	毛 興華	153 教室	1 年 文三(11)
30216	月 4	王 嵐	105 教室	1 年 文三(14)
30445	火 3	喬 志航	166 教室	1 年 文一二(19)
30794	水 4	中原 裕貴	112 教室	1 年 文一二(15)
30923	木 2	王 前	105 教室	1 年 文一二(17)
30930	木 2	菊池 真純	104 教室	1 年 文三(12)
31036	木 4	李 雲	112 教室	1 年 文一二(18)
31040	木 4	柴 森	105 教室	1 年 文三(13)
31179	金 3	張 玉萍	121 教室	1 年 文一二(14)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30313	S	中国語初級（演習）	李 洵	中国語	火 1	107 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固める理系生のためのトレーニング 1年理系生を対象とした演習授業である。 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。						
評価方法 教科書	定期試験と小テストなど 次の教科書を使用する。 書名 現代漢語基礎 口語演習教材 著者（訳者） 駒場中国語教育研究会編						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31145	S	中国語初級 （表現練習）	菊池 真純	中国語	金 2	118 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語 理系生のための基礎トレーニング TLP（トライリンガル・プログラム）理系履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。TLP 修了必須科目ではないが、できるだけ参加することが望ましい。						
評価方法 教科書	定期試験と小テストなど 次の教科書を使用する。 書名 『汉语纵横 精读』 ○級 著者（訳者） 马燕华 出版社 北京语言大学出版社						
ガイダンス	特定日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30365	S	中国語初級 （インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	火 2	117 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・定期試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名 汉语縦横 会話 0級 第二版 著者（訳者） 盛双霞 出版社 北京語言大学出版社						
ガイダンス	特定日に行う。 追って連絡をする。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30367	S	中国語初級 （インテンシヴ）	白 春花	中国語	火 2	118 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（初級会話） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・定期試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名 汉语縦横 会話 0級 第二版 著者（訳者） 盛双霞 出版社 北京語言大学出版社						
ガイダンス	特定日に行う。 追って連絡をする。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30366	S	中国語初級 (インテンシヴ)	李彦銘	中国語	火 2	156 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (初級会話) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・定期試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名 汉语縦横 会話 0 級 第二版 著者 (訳者) 盛双霞 出版社 北京語言大学出版社						
ガイダンス	特定日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30892	S	中国語初級 (インテンシヴ)	白春花	中国語	木 1	152 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。						
評価方法	平常点：40% 定期試験：60%						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材 著者 (訳者) 駒場中国語教育研究会 孫军悦、王雪萍、小野秀樹						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30893	S	中国語初級 (インテンシヴ)	鄧芳	中国語	木 1	151 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (初級リスニング) この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・定期試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材 著者 (訳者) 駒場中国語教育研究会 孫军悦、王雪萍、小野秀樹						
ガイダンス	特定日に行う。 追って連絡をする						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31020	S	中国語初級 (インテンシヴ)	李彦銘	中国語	木 3	103 教室	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング この授業はトライリンガル・プログラム (TLP) の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。						
評価方法	平常点：40% 定期試験：60%						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材 著者(訳者) 駒場中国語教育研究会 孫軍悦、王雪萍、小野秀樹						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30349	S	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	火 2	150 教室	1 年 文科 理科
31071					木 5	150 教室	
30348			毛 興華		火 2	149 教室	
31072					木 5	149 教室	
30261			賈 黎黎		月 5	156 教室	
30888					木 1	150 教室	
30262			毛 興華		月 5	153 教室	
30887					木 1	149 教室	
30347			楊 凱栄		火 2	154 教室	
30849					水 5	149 教室	
講義題目 授業の目標概要			中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。火曜日 2 限と木曜日 5 限をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』) 火曜日 2 限では、主に発音・会話の訓練を行う。木曜日 5 限では主に発音・聞き取りの訓練を行う。 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。今学期は 5 クラス開講し各クラス定員を 20 名までとする。希望者多数の場合は抽選を行う。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：火 2 と木 5 抽選日：4 月 9 日 (火) 2 限 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：火 2 と木 5 抽選日：4 月 9 日 (火) 2 限 【C】担当教員：賈黎黎 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 8 日 (月) 5 限 【D】担当教員：毛興華 開講曜限：月 5 と木 1 抽選日：4 月 8 日 (月) 5 限 【E】担当教員：楊凱栄 開講曜限：火 2 と水 5 抽選日：4 月 9 日 (火) 2 限 ☆初回の授業でクラス分け (人数多数の場合には抽選) を行うため必ず出席をすること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。				
評価方法	定期試験など						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 『初級インテンシヴコース会話教材』及び『初級インテンシヴコース リスニング教材』 著者(訳者) 駒場中国語教育研究会編						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30188	S	中国語初級 (第三外国語)	林 立梅	中国語	月 3	164 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語入門 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。半年間のみの授業なので、続けて学習をしたい者は A セメスターに別の教員によって同じテキストで開講される、第三外国語の授業を継続的に履修することが可能である。						
評価方法 教科書	定期試験など 次の教科書を使用する。 書名 北京の風 著者(訳者) 木村英樹・小野秀樹・陳蓉 著 出版社 白帝社 ISBN 9784891742492						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30850	S	中国語初級 (第三外国語)	毛 興華	中国語	水 5	158 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語入門 中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。この授業は、S・Aセメスターを通して1年間開講する。両セメスターで同一テキストを使用し、中国語の発音、基礎的語彙、初級文法に関する知識を習得することを目指す。						
評価方法 教科書	定期試験など 次の教科書を使用する。 書名 北京の風 著者(訳者) 木村英樹・小野秀樹・陳蓉 著 出版社 白帝社 ISBN 9784891742492						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31133	S	中国語初級 (第三外国語)	張 玉萍	中国語	金 2	153 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。SセメスターはI、Aセメスターはその続きのIIである。(G1)						
評価方法 教科書	定期試験と小テスト・中国語での発表および授業参加など 次の教科書を使用する。 書名 おぼえチャイナI 著者(訳者) 八木章好 鄧麗媚 出版社 朝日出版社						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30101	S	中国語中級(演習)	鍾 非	中国語	月 2	105 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語作文と和訳 中国語作文(奇数週)と中文和訳(偶数週)を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文(和文中訳)。後者は近年出版された中国語の単行本(経済・政治・社会;向こうの出版社)を正確に朗読した後、きちんと和訳してゆく(中文和訳)。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせる。「和訳」である以上、みなさまに本格的な翻訳の醍醐味を存分に味わわせる。ありとあらゆるレベルの受講者に出来るだけ対応。日中両国の慣用語・ことわざ・熟語・成語を極力重視(電子辞書推奨)。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席を含む平常点(意欲重視)。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30105	S	中国語中級（演習）	李彦銘	中国語	月 2	102 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
30489			菊池 真純		火 3	1221 教室	
30630			菊池 真純		水 1	153 教室	
講義題目 授業の目標概要	<p>TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。</p> <p>この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。</p> <p>読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。</p>						
評価方法 教科書	<p>定期試験と小テスト、平常点</p> <p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 漢語縦横 精読課本 3 著者（訳者） 李焯東 出版社 北京語言大学出版社</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30889	S	中国語中級（演習）	何 珍時	中国語	木 1	156 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>ステップアップした中国語（中級レベル）の総合的学習 1年間の中国語学習を終えた人を対象に、中国語の読解力と表現力を中心に、やや高度な文法事項の学習を行う。初級の次のステップとして中級レベルの能力を養うことを目標とする。</p>						
評価方法 教科書	<p>定期試験などの成績を総合的に評価する。</p> <p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 中国語中級教科書 読物・文法編 著者（訳者） 中川正之・沈国威 編著 出版社 白帝社 ISBN 4-89174-188-0</p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31219	S	中国語中級（演習）	李 雲	中国語	金 3	113 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>ステップアップした中国語（中級レベル）の総合的学習 1年間の中国語学習を終えた人を対象に、中国語の読解力と表現力を中心に、やや高度な文法事項の学習を行う。初級の次のステップとして中級レベルの能力を養うことを目標とする。</p>						
評価方法 教科書	<p>定期試験などの成績を総合的に評価する。</p> <p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 中国語中級教科書 読物・文法編 著者（訳者） 中川正之・沈国威 編著 出版社 白帝社 ISBN 4-89174-188-0</p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30487	S	中国語中級（会話）	劉 岸麗	中国語	火 3	158 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	使える中国語を身につけよう 基礎文法、句型を使って日常会話、リスニングを練習する。会話、読解両方のテキストを勉強していくうちにその違いも自然にわかってきます。中検対策のために練習問題も充実しているので、中国語の基礎をより確かなものとなるでしょう。						
評価方法 教科書	中間テスト、セメスター末テスト 次の教科書を使用する。 書名 新ブラッシュアップ中国語 著者(訳者) 関中研 出版社 朝日出版						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30783	S	中国語中級（会話）	中原 裕貴	中国語	水 3	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「聞く」「話す」ことのできる中国語の達人になる。 「聞く」「話す」を通して、自分の言いたいこと、思っていること、聞いたこと、見たことを適切に自由に話せることを目指す。						
評価方法	平常点：50% 試験：50%						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30966	S	中国語中級（会話）	姚 毅	中国語	木 2	108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	コミュニケーション能力を高めるための実践的授業 初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やししながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践的授業である。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらおう。						
評価方法 教科書	平常点（授業の参加・小テスト）と定期試験を吟味して評価する。 次の教科書を使用する。 書名 会話と読解中心やさしく楽しい中級中国語—中国基礎知識 12 篇 著者(訳者) 郭 春貴 郭 久美子 出版社 白帝社 ISBN 978-4-86398-269-7						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31019	S	中国語中級（作文）	柴 森	中国語	木 3	105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	やや高度の中級作文練習 基礎復習から始め、中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	試験（定期試験）と平常点（課題など）による総合的評価。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30967	S	中国語中級（読解）	田原 史起	中国語	木 2	152 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語: 初級から中級への橋渡し 『読む中国語』をテキストとして、易しく短い本文を暗記するまで深く浸透させる。一年時の必修の授業では成し得なかった、少人数での、正しい発音の指導と定着に重点を置く。						
評価方法 教科書	平常点、およびテキストに関する口頭での和文中訳テストによる。 次の教科書を使用する。 書名 『読む中国語』 著者(訳者) 董燕・遠藤光暁 出版社 朝日出版社 ISBN 4-255-45049-8						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30190	S	中国語中級 (インテンシヴ)	李 彦銘	中国語	月 3	156 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング(中級会話) この授業は、トライリンガル・プログラム(TLP)の一環として位置づけられている。対象となる学生はTLPの二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLPクラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレイスメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・定期試験等を総合して評価する。 次の教科書を使用する。 書名 汉语纵横会话课本3 著者(訳者) 赵清永 出版社 北京语言大学出版社						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30560	S	中国語中級 (インテンシヴ)	白 春花	中国語	火 4	113 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング(中級会話) この授業は、トライリンガル・プログラム(TLP)の一環として位置づけられている。対象となる学生はTLPの二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLPクラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレイスメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。						
評価方法 教科書	授業態度・小テスト・定期試験等を総合して評価する。 次の教科書を使用する。 書名 汉语纵横会话课本3 著者(訳者) 赵清永 出版社 北京语言大学出版社						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30714	S	中国語中級 (インテンシヴ)	鄧 芳	中国語	水 2	166 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級作文) この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。						
評価方法 教科書	この授業では、日常的によく使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。 平常点と定期試験を総合的に見た上で評価する。						
ガイダンス	次の教科書を使用する。 書名 中国語作文のための短文練習—中文造句 著者(訳者) 中山時子・飯泉彰裕 出版社 東方書店 ISBN 978-4-407-99560-5 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31021	S	中国語中級 (インテンシヴ)	王 前	中国語	木 3	149 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級作文) この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。						
評価方法 教科書	この授業では、日常的によく使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。 平常点と定期試験を総合的に見た上で評価する。						
ガイダンス	次の教科書を使用する。 書名 中国語作文のための短文練習—中文造句 著者(訳者) 中山時子・飯泉彰裕 出版社 東方書店 ISBN 978-4-407-99560-5 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31123	S	中国語中級 (インテンシヴ)	白 春花	中国語	金 1	166 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級会話) この授業は、トライリンガル・プログラム (TLP) の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。						
評価方法 教科書	この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。 授業態度・小テスト・定期試験等を総合して評価する。						
ガイダンス	次の教科書を使用する。 書名 汉语纵横会话课本 3 著者(訳者) 赵清永 出版社 北京语言大学出版社 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31222	S	中国語中級 (インテンシヴ)	王 前	中国語	金 3	1221 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング (中級作文) この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。						
評価方法 教科書	この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。 平常点と定期試験を総合的に見た上で評価する。						
ガイダンス	次の教科書を使用する。 書名 中国語作文のための短文練習—中文造句 著者(訳者) 中山時子・飯泉彰裕 出版社 東方書店 ISBN 978-4-407-99560-5 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30710	S	中国語中級 (インテンシヴ)	毛 興華	中国語	水 2	112 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	耳を澄ませてリスニングチャレンジ この授業では主に聞き取りの訓練を行う。会話中心の中級インテンシヴ(金曜2限)とセットで履修することが望ましい。						
評価方法 教科書	耳の中で録音した自然な会話を聞き、初級で習得した単語や構文を点検するとともに、日常会話やテレビの報道番組などが聞き取れることを目指す。 受講生のレベルに応じ、教科書以外の資料を配布することがある。						
ガイダンス	授業課題、定期試験 次の教科書を使用する。 書名 街なかの中国語 著者(訳者) 孟国 主編、井田綾 訳 出版社 東方書店 ISBN 978-4-497-21208-5 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31134	S	中国語中級 (インテンシヴ)	賈 黎黎	中国語	金 2	150 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語中級インテンシヴ会話 中級インテンシヴ聴解をセットで履修することが望ましい。金曜日2限では、主に会話の訓練を行う。						
評価方法 教科書	定期試験がありません。出席率、受講態度、毎回の課題発表に基づいて評価します。						
ガイダンス	授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30350	S	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	火 2	157 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語映像翻訳実習 本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。(G8-10) ※ 履修希望者多数の場合は調整を行う。 ※ 字幕制作にはフリーウェア（Aegisub）を使用する。 ※ 国内外専門家、関係者のゲスト参加の可能性がある。					
評価方法 教科書 ガイダンス		提出物、授業貢献度（出席状況・授業への取り組み・発表など）と最終試験の成績から総合的に判断する。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30557	S	中国語上級（会話）	喬 志航	中国語	火 4	166 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語上級会話 授業概要 本科目はニアネイティブや中国語既修者を対象に、中国語の長文読解と文法事項を教え、そしてテーマごとに中国語会話の練習を行う。 中国語圏の歴史や文化、社会情勢などに関係する論題（テーマ）について、教員の用意した資料を踏まえ、学生たちが事前に収集・共有した中国語での資料をめぐって、言葉の背景にある中国の社会、政治、文化、歴史などについての知識をも積極的に取り入れて、言葉の微妙なニュアンスを感じ取り、真のコミュニケーション能力を養うと同時に、異文化への理解力を培うように心掛けたい。 授業のはじめに、教員による資料の内容確認をし、関連する表現や文法事項について説明を行う。そのうえで、学生による発表・討論、またはディベートを行う。それを通じて、中国語による表現力を強化させていく。 授業の目標 長文読解能力を向上させることと、広範で複雑な話題についても明瞭に自分の意見を表現できることを目標とする。 異文化の理解につとめ、多様な価値観への寛容性を身につけるよう期待する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点及び発表による。 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30102	S	中国語上級（作文）	鄧 芳	中国語	月 2	157 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。外国語で文章を書けると、外国語の勉強も一層楽しくなるので、そのために必要な書く技を分かりやすく説明し、また受講者自身が学んだ中国語の知識をフルに活用して、自分で文章を作成できる楽しい実践の場にした。中国語を2年以上学習し、発音、基本語彙、文法事項をマスターしている学生を対象とした作文の授業である。主として小論文などの執筆をとおして、表現力を鍛え、議論を論理的に展開できるための文章力を身につけることを目指すものである。					
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点(出席など)と定期試験を総合的に見たうえで判断する。 プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30711	S	中国語上級（読解）	菊池 真純	中国語	水 2	153 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語上級（読解） ・本講義は、中国語で書かれた学術論文を精読する。 ・平常点60%、定期試験40%					
評価方法 教科書 ガイダンス		プリントを配布する。 特に行わない。					

## 総合科目 L 系列 ロシア語

ロシア語初級(演習)①		開講区分	S	
授業の目標・概要	正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。			
成績評価方法	平常点など。			
教科書	プリントを配布する。			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
31031	木 4	Gutova Ekaterina	162 教室	1 年 文一二(4)
31032	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	154 教室	1 年 文科(TLP)
31038	木 4	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	517 教室	1 年 文三(4)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31059	S	ロシア語初級（演習）	ゴロウイナ クセーニヤ	ロシア語	木 4	154 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語演習 (TLP) ロシア語でのオーセンティックな内容（教科書以外）を理解し、それについて議論することができるための基礎を作る演習です。カードなどを用いて、テーマごとの内容と表現を多く覚えます。ミニレクチャーや音楽を聞いたり、ビデオを見たりした後、単語とモデル表現を練習した上で、簡単な議論やディベート、ロールプレイをします。宿題は主として新しい単語の復習であり、ポキャブラリー増加を目指します。 ※この授業は TLP 生用の授業です。						
評価方法 教科書	授業貢献度（出席、予習、宿題）、ナレッジ・チェック、定期試験などで評価します。 プリントを配布する。						
ガイダンス	書名                    Послушайте 1 出版社                Златоуст 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31295	S	ロシア語初級（演習）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	金 5	517 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級（演習） 正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようになる。 【この授業は理系 1 年生用のものです。】						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点など。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30351	S	ロシア語初級（会話）	ゴロウイナ クセーニヤ	ロシア語	火 2	104 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語会話ビギナーコース ロシア語会話ビギナーコースです。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語の聞く・話すの基礎を学習します。発音の練習も行います。						
評価方法 教科書	授業貢献度（出席、予習）、ナレッジ・チェック、定期試験などで評価します。 プリントを配布する。						
ガイダンス	書名                    Жили Были Часть 1: 28 уроков. 出版社                Златоуст 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30018	S	ロシア語初級 （インテンシヴ）	ゴロウイナ クセーニヤ	ロシア語	月 1	153 教室	1 年 文科 理科
31302					金 5	151 教室	
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級（インテンシヴ） TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースです。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語の聞く・話すの基礎を集中的に学習します。S セメスターではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始めます。単位取得を希望する参加者は、本授業を 2 コマ履修してください（月曜 1 限と金曜 5 限）。 ※TLP 生以外は受講できません。						
評価方法 教科書	授業貢献度（出席、予習）、ナレッジ・チェック、定期試験などで評価します。 プリントを配布する。						
ガイダンス	書名                    Русский сезон 出版社                Златоуст 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30263	S	ロシア語初級 (インテンシヴ)	奈倉 有里	ロシア語	月 5	155 教室	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級 (インテンシヴ) ロシア語の読解力を強化します。 ※インテンシヴ・クラスは週 2 回のセットで履修することが必要です。かならず水曜 5 限の授業といっしょに履修すること。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業への取り組みと試験等をあわせて総合的に評価します。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30851	S	ロシア語初級 (インテンシヴ)	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	水 5	516 教室	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級 (インテンシヴ) 必修のロシア語に加えて、さらなるロシア語知識の獲得を目指す。 【インテンシヴ・コースは週 2 回でセットです。かならず月曜 5 限と合わせて履修すること。】						
評価方法 教科書 ガイダンス	日常の授業、小テスト、および定期試験 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30852	S	ロシア語初級 (第三外国語)	丸山 由紀子	ロシア語	水 5	155 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語初級 (第三外国語) 基礎的なロシア語文法をゼロから学びます。平易な文章であれば辞書を使って読み、また口頭で簡単なコミュニケーションを取れるようになることが目標です。						
評価方法 教科書	出席、小テスト (月 1 回程度)、定期試験で総合的に評価します。 次の教科書を使用する。 書名 初級ロシア語 20 課 著者(訳者) 桑野 隆 出版社 白水社 ISBN 978-4-560-08614-8						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30830	S	ロシア語中級 (演習)	丸山 由紀子	ロシア語	水 4	155 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語中級 基本文法の定着を目指すとともに、その応用、さらにはより高度な文法事項の習得を目指す。また様々な文体のテキストに触れ、読解力の向上と強化を図る。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席、授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30968	S	ロシア語中級（会話）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	木 2	155 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語中級（会話） ロシア語での表現力の向上をめざす。1年以上、ロシア語を学習した者を対象とする。 平常点。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30240	S	ロシア語中級（作文）	奈倉 有里	ロシア語	月 4	155 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語中級（作文） これまでに習った文法の知識を生かし、中級レベルの和文露訳を行うなかで、使える語彙や慣用表現を増やしていきます。 様々な状況に合った文章を作成して、ロシア語の表現能力の向上を狙います。 必要に応じてその背景となる文化的知識についても解説します。 実用的なロシア語に限定せず、文化・文学的背景も踏まえた幅広い表現の習得を目指します。 授業の参加状況・課題提出状況・試験結果などを元に総合的に判断します。必要に応じて小テストを行います。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30316	S	ロシア語中級	ゴロウィナ	ロシア語	火 1	104 教室	1年 文科 理科
31079		（インテンシヴ）	クセーニヤ		木 5	154 教室	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語中級（インテンシヴ） TLP 生 2年生用のインテンシヴ授業です。週 2 コマ連続で行われ、ネイティブ・スピーカーの先生が聴取・発音・会話 に関して高度な運用能力を育成します。 ※TLP 生以外の学生は受講できません。 授業参加度（出席、課題、宿題）、小テスト、定期試験。 教科書は使用しない。 書名                   Русский сезон 出版社               Златоуст 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30558	S	ロシア語中級 （インテンシヴ）	渡邊 日日	ロシア語	火 4	1221 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語中級（インテンシヴ）／ Russian Language (Intermediate) ロシア語文法を1年以上学んだ、初級修了者を対象に、非ネイティブが迷いやすい文法事項（アスペクト、移動動詞、無 人称文など）について説明を行い、練習問題を解いてきてもらって、実践力を養います。 ※金曜 4 限の授業とできるだけセットで履修してください。 毎回の授業貢献度（試験を行うこともあります）。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31278	S	ロシア語中級 (インテンシヴ)	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	金 4	153 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	自分の考え方をロシア語で表現する実力を高める ロシア語短い作文,発表の訓練 授業参加、3回発表 プリントを配布する。 書名 Говорите по-русски 著者(訳者) С.Хавронина 出版社 М. Русский язык. 2014 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31303	S	ロシア語上級 (演習)	渡邊 日日	ロシア語	金 5	155 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語上級 (演習) / Russian Language (Advanced) TLP ロシア語 2年生は必ず履修する授業です。精読を繰り返しながら、中級文法を学びつつ、語彙を増やし、読解力の向上を目指します。 毎回の授業貢献度 (試験を行うこともあります)。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31135	S	ロシア語上級 (会話)	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	ロシア語	金 2	517 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語上級 (会話) (ロシア語既習入学者用) ロシア語を2年以上 (TLP 生の場合1年以上) 学んだ学生を対象に、高度なロシア語会話能力を習得する授業です。 ※前期課程でこの授業を履修できるのは、ロシア語既習で入学した学生だけです。それ以外の学生は履修できません。 平常点による。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30189	S	ロシア語上級 (作文)	ゴロウイナ クセーニヤ	ロシア語	月 3	153 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語作文の書き方・実力アップコース (Advanced Level) この講義では、文法の復習・実用やテキストの読解、翻訳、様々なジャンルの作文の書き方の練習を通して、ロシア語作文の実力アップを目指します。宿題は主として特定のテーマや文体のエッセーです。作文は受講者の希望に合わせて、手紙、体験記、ブログ、新聞や雑誌の記事、エッセーなどの文体を身につけた上で、最終的に学術論文の書き方を理解し、それに相当する短いものを書いてもらいます。文法に関しては、不完了体・完了体や複文、形動詞の使用などに焦点を当てます。最終回には筆記試験が行われます。 ※前期課程 (1・2年生) でこの授業 授業参加 (出席・予習)、宿題、テスト、レポート。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30712	S	ロシア語上級（読解）	丸山 由紀子	ロシア語	水 2	1105 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語論文講読（ロシア語既修入学者用） ロシア語を2年以上学習した学生を対象に、学術論文の精読を通して、アカデミックな文体で書かれたテキストを正確に読む力を養う。文法事項を正確に把握し、文脈を考慮して適切な訳語を選定しながらテキストを読むことで、今後、各自が必要なロシア語文献を読むための基礎力を身につけることを目指す。 ※前期課程でこの授業を履修できるのは、ロシア語既修で入学した学生だけです。それ以外の学生は履修できません。						
評価方法	1. 授業への貢献度、担当箇所の和訳の完成度。 2. 学期末レポート。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

## 総合科目 L 系列 スペイン語

スペイン語初級(演習)①		開講区分	S	
授業の目標・概要	スペイン語初級は共通教科書を用い、S セメスターでは1列で文法を学び、2列で講読を行う。この演習では、教科書の進度に合わせて、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。文系はクラス指定の演習を設けてある。理系ではこれに対応する「スペイン語初級(演習)」(理系生限定)を開講するので、積極的に参加してほしい。			
成績評価方法	各教員に任されている。			
教科書	次の教科書を使用する。 書名 スペイン語初級 第4版 著者(訳者) 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30051	月 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	166 教室	1年 文一二(7)
30054	月 2	ロサレス パトリシア	104 教室	1年 文一二(12)
30197	月 4	ロサレス パトリシア	104 教室	1年 文一二(9)
30929	月 4	イサベル カルロス	1212 教室	1年 文三(10)
30427	火 3	イサベル カルロス	112 教室	1年 文一二(10)
30428	火 3	ドニャス ベレニャ アントニオ	K211	1年 文一二(11)
30293	水 2	ドニャス ベレニャ アントニオ	1213 教室	1年 文一二(8)
31101	水 3	ドニャス ベレニャ アントニオ	1213 教室	1年 文三(7)
31039	木 4	イサベル カルロス	108 教室	1年 文三(8)
31237	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	104 教室	1年 文三(9)
31392	金 1	ドニャス ベレニャ アントニオ	106 教室	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31136	S	スペイン語初級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	108 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級（演習） スペイン語初級は共通教科書を用い、S セメスターでは1列で文法を学び、2列で講読を行う。この演習は理科学限定で、教科書の進度に合わせて、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力をいっそう高めることをめざす。理科学は積極的に参加してほしい。						
評価方法 教科書	授業の初回に説明する。 次の教科書を使用する。 書名 スペイン語初級 第4版 著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社 ISBN その他						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31388	S	スペイン語初級（演習）	イサベル カルロス	スペイン語	火 2	112 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	Seminario de español para el TLP TLP スペイン語演習 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.						
評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% Participación y tareas: 30% 小テストと定期試験 70 点 平常点 30 点						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Entre amigos 1 (2a edición) (総合スペイン語コース初級 改訂版) 著者（訳者） スペイン語教材研究会 編 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-55055-8						
ガイダンス	特定日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31073	S	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	104 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語（初級会話） 練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。 毎週の課題 40%、授業への参加度 10%、定期試験及び口頭試験 50% プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31296	S	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	113 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 授業では自己紹介から、天気、家族、趣味などについて日常的な会話ができるように演習を行う。スペイン語らしい発音 や自然なイントネーションの習得を目指す。文法の内容としては、規則動詞の現在形、現在進行形や近未来を学習する。 参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、口頭試験・作文 40%						
評価方法 教科書	次の教科書を使用する。 書名 東京大学教養学部スペイン語部会 “Primer curso de español” 出版社 朝日出版会 Editorial Asahi						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31137	S	スペイン語初級（作文）	有田 美保	スペイン語	金 2	156 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級（作文） 本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の初 修外国語（文科・理科）の授業で既習あるいは学習中である文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能動的 な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語彙や フレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げてほしい。						
評価方法	授業時間後半で行う類題西訳を Semester 中 4 回提出、出来栄や仕上げの丁寧さによって評点を受ける（1 回 = 2 5 点満点 × 4 回 = 1 0 0 点満点）。その得点から、欠席・遅刻・早退、宿題未遂行、態度不良などがある場合には減点し（最 大 3 0 点めやす）、また質問・発言など積極的な態度が伺える者にのみプラス評価（最大 1 0 点めやす）を入れ、最終評 価を算出する。 「特別な理由」（診断書のある疾病、立証書類で客観性の認められる就職活動・学業活動・冠婚葬祭、遅延証明のある交 通機関の遅延、等）による欠席（またはそれともなう未提出課題）については、都度教員に相談すること。 遅延提出物は受け取らない。						
教科書	試験は返却せず、教員からの総評コメント入りスリップを受け取る方式をとる。 次の教科書を使用する。 書名 Paso Doble~Primer Paso 著者（訳者） 有田美保 出版社 弘学社						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30264	S	スペイン語初級	イサベル カルロス	スペイン語	月 5	1212 教室	1年 文科 理科
31074		（インテンシヴ）			木 5	108 教室	
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話 と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週 2 回の 授業に出席することを義務とする。2 つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。						
評価方法 教科書	授業初回で示される。 次の教科書を使用する。 書名 Nuevo Avance Básico A1,A2 著者（訳者） Concha Moreno, Victoria Moreno, Piedad Zurita 出版社 SGEL ISBN 978-84-9778-595-2 その他 教科書の最初の半分、1 課から 9 課まで						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31387	S	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	月 1	156 教室	1年 文科 理科
31393					金 1	108 教室	
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ						
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。						
評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Entre amigos 1, 2da edición 著者(訳者) スペイン語教材研究会編 出版社 朝日出版社 ISBN						
ガイダンス	特定日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31389	S	スペイン語初級 (インテンシヴ)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	121 教室	1年 文科 理科
31390					木 1	102 教室	
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシヴ						
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。						
評価方法	Exámenes parciales y examen final: 70% 小テストと期末テスト 70 点 Participación y tareas: 30% 平常点 30 点						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Entre amigos 1, 2da edición 著者(訳者) スペイン語教材研究会編 出版社 朝日出版社 ISBN						
ガイダンス	その他 特定日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30014	S	スペイン語初級 (第三外国語)	栗林 ゆき絵	スペイン語	月 1	151 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級						
授業の目標概要	スペイン語の骨格を 35 の基本文を軸にしてひとつおろし学ぶ。スペイン語は動詞の活用と名詞修飾語句の変化が2つの柱であるが、その基本のしくみを身につけることを目標とする。また、活用形から不定詞(原形)を導きだし正しく辞書が引けるようになること(=講座終了後も独学で続けられること)も本講座の目標のひとつである。						
評価方法	平常点 20%(小テスト)、定期試験 80%の予定。 出席点は数値化しないが、小テスト(毎回開始時 5 分程度)を受けたものを出席とみなす。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 きらりスペイン語 著者(訳者) 栗林ゆき絵 出版社 朝日出版社 ISBN 4-255-55059-6						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31138	S	スペイン語初級 (第三外国語)	丸山 共恵	スペイン語	金 2	152 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級 (第三外国語) スペイン語文法の基礎を学び、「聞く、話す、読む、書く」の4技能を磨きながら、簡単な会話・読解・作文に取り組む。 文法だけではなく、スペイン語圏の文化(音楽・映画など)にも触れながら楽しく学ぶ。						
評価方法 教科書	平常点40% (小テスト、出欠) 定期試験60% 次の教科書を使用する。 書名 初級スペイン語文法 全音声 DL 版 著者 (訳者) 和佐 敦子 出版社 朝日出版社 ISBN 978-4-255-550770						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30853	S	スペイン語中級 (演習)	ガルシア ルイス カスティージョ カルロス	スペイン語	水 5	102 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	¡Habla en español! Español Intermedio Este curso está planteado como un primer paso para que los estudiantes lleguen a ser usuarios independientes del español. En las clases realizaremos actividades para practicar principalmente la expresión oral y aumentar el vocabulario. Practicaremos también la comprensión auditiva y la comprensión y la expresión escritas. Trabajaremos con diferentes tipos de textos y presentaremos aspectos socioculturales. この授業は、学生が自立したスペイン語話者となるための最初の一步として組み立てられています。 授業では主に口頭表現及び語彙を増やすための演習を行います。またリスニングと文章表現も学習します。様々な資料を用いて学習する中で、社会文化にも触れることができます。						
評価方法	40% Asistencia, participación y tareas de clase. 60% Exámenes 40%:出席、授業中の積極性、課題 60%:試験						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31279	S	スペイン語中級 (会話)	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	113 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	¿HABLAMOS? スペイン語を通じて西洋式のコミュニケーション 様々なトピックについて話せるようになることを目指す。スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を練習する。文法を復習しながら、会話を習得する。 日本語での婉曲的なコミュニケーションと違って、西洋人の「メタフォリックなコミュニケーション」を理解するためのスキルを養う。 This course prepares the learner to be able to hold intermediate-level conversations and to make uncomplicated though fluent and logical presentations. Intensive drilling is aimed at empowering communication.						
評価方法	Phonology, syntax, grammar, practice and conversation are covered every time dynamically, creatively and within a cultural context. 参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼンテーション・作文 40% Participation 30%、Performance, attitude, homework 30%、Presentation/written composition 40%.						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30352	S	スペイン語中級 (作文)	深澤 晴奈	スペイン語	火 2	K213	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語中級 (作文) 本コースは、初修外国語の文法知識を確認しながら中級レベルの作文練習をおこない、スペイン語表現能力の向上を目標とするものである。日本語の例文に対する複数のスペイン語訳例を提示し、それぞれの可否に対する解説をおこなうことによって、スペイン語の知識のより確実な習得を目指す。授業前半では短めの例文を大量にこなすスタイルを取り、授業後半ではより長い分量の文章課題に取り組んでもらう。また、セメスターの最後には、テーマを設定した上でより長い分量の文章課題を提出してもらう。						
評価方法	積極的な授業への参加と質問・コメント及びセメスター最後の提出課題への取り組みを通じて総合的に評価をおこなう。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 新訂版・スペイン語作文中級コース 著者(訳者) 木村琢也、中西智恵美 出版社 同学社 ISBN 978-4-8102-0437-7						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30265	S	スペイン語中級 (読解)	三浦 麻衣子	スペイン語	月 5	112 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語読解 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目 A 系列 スペイン語テキスト分析 I として開講される。この授業では、スペイン語で書かれた映画スクリプト、新聞、雑誌等の文章の読解と初級レベルの会話表現が出来るような応用力を身につけることを目的としています。年間を通して、様々な内容のテキストを多読し、映画等の映像資料も適宜扱います。スペイン語圏の国々の多様な社会文化的背景についても触れていきます。毎回相当量の予習が要求されますので、スペイン語を本気で習得したいというやる気のある学生の参加を期待します。						
評価方法	授業参加度、課題、試験から総合的に評価します。						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30353	S	スペイン語中級 (インテンシヴ)	ドニャス ベレニャ アントニオ	スペイン語	火 2	105 教室	1年 文科 理科
31139					金 2	106 教室	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Curso intensivo de español, nivel intermedio El objetivo del curso es consolidar y ampliar el conocimiento de la lengua española de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión oral, expresión oral, comprensión oral y comprensión escrita).						
評価方法	Participación en clase: 10 % Tareas: 30 % Exámenes: 60 %						
教科書	プリントを配布する。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31755	S	スペイン語上級 (作文)	ロサレス パトリシア	スペイン語	月 3	104 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Redacción de textos. Formales e informales. Narrativos e explicativos Cartas Blogs.						
授業の目標概要	Objetivo: El aprendizaje de la expresión escrita a partir en la gramática que se ha estudiado en los cursos precedentes. Para ello, ampliaremos los conocimientos ya adquiridos trabajando las estructuras y los contenidos de diversos medios de expresión escrita. Aunque el objetivo principal de la clase es el desarrollo de la destreza escrita, los estudiantes deben realizar igualmente ejercicios de comprensión de lectura y de expresión oral necesarios para la producción de los textos escritos.						
評価方法	10% Asistencia y actitud en clase. 20% Deberes 30% Participación y conocimiento gramatical. 40% Trabajos de redacción en clase.						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31777	S	スペイン語上級 (演習)	ドニャス ベレニャ ア ントニオ	スペイン語	月 3	166 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Práctica de español, nivel avanzado						
授業の目標概要	El curso de práctica de español avanzado tiene un triple objetivo: en primer lugar, consolidar y ampliar el conocimiento gramatical de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión oral, expresión oral, comprensión oral y comprensión escrita); a continuación, alcanzar una mayor fluidez oral; por último, fomentar el conocimiento por parte de los estudiantes de diversos temas relativos al mundo hispanico.						
評価方法	Participación en clase: 10 % Tareas: 60 % Exámenes: 30 %						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31778	S	スペイン語上級 (会話)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 2	512 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Spanish Language (Advanced) ("スペイン語上級 (会話)".						
授業の目標概要	この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行います。1年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとするをめざします。さらに発音を練習するとともに、スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 から A2 レベルに対応しています。						
評価方法	授業への参加、ショートテスト、課題の提出、/ 口頭試験。 70% / 30%						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Es noticia 著者(訳者) Nakajima, Satoko, Sato, Saichi, Taranco, David 出版社 Editorial Sanshusha ISBN ISBN: 978-4-384-4216-6 C 1805						
ガイダンス	特に行わない。						

## 総合科目 L 系列 韓国朝鮮語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30595	S	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 5	1231 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級（演習） 韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。 ※この授業の履修を希望する人は、「韓国朝鮮語初級（一列・二列）」または「韓国朝鮮語初級（第三外国語）」を履修中か、それと同等の学力を持っていることが望まれます。 授業への積極的な参加に基づく平常点と期末課題を用いて評価する。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31060	S	韓国朝鮮語初級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 4	156 教室	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級（演習） TLP 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。 定期試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31061	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 4	156 教室	1 年 文科(TLP)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初級（演習）① TLP 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。 定期試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30722	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 3	109 教室	1 年 文一二(5) 文三(5)
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	韓国朝鮮語初修（文系） 韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。 授業への積極的な参加に基づく平常点と定期試験を用いて評価する。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31075	S	韓国朝鮮語初級（会話）	金 東漢	韓国朝鮮語	木 5	102 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語の基礎固め（その1） 本講義は主に初心者の受講生が対象になります。 そのため、最初はハングルの形や発音を習い、続いて複数の文字が並ぶ際に起きる 様々な音の変化について勉強します。 その後、基本的な文法知識も交えながら、簡単な挨拶文や自己表現などの総合学習に移り、 次のステップの土台を築いていく予定です。						
評価方法 教科書 ガイダンス	課題などの平常点+授業最終日（7月11日）の小テスト 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30015	S	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	月 1	102 教室	1年 文科 理科
30368					火 2	152 教室	
講義題目 授業の目標概要	TLP 韓国朝鮮語初級 インテンシヴ 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動 中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31056	S	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	金 東漢	韓国朝鮮語	木 4	102 教室	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	基礎知識の確立と定着（その1） 韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当するこの「インテンシヴ」クラスでは、 ハングル文字と発音のルールを始め、初級レベルの文法・会話・作文などの 総合練習を通じて、一列・二列の授業で学んだ知識の応用・発展と 表現力の向上及びその定着を目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	毎週の課題の出来具合や受講態度などの平常点+授業最終週（7月11日）の小テスト 次の教科書を使用する。 書名 「大学韓国語演習」 著者(訳者) 金東漢 出版社 白帝社 ISBN 978-4-86398-154-6 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31146	S	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 2	102 教室	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ二列 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動 中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30314	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	張 銀英	韓国朝鮮語	火 1	151 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 文字と発音を確認しながら、基本的な文法と会話などを学ぶ。 「読む」「書く」「聴く」「話す」の基本をしっかりと身に付けるようにする。 できるだけ韓国朝鮮語を使って授業を行う。 通年で行う授業。A セメスターはS セメスターの続きの学習内容になる。						
評価方法 教科書	「小テスト」と「定期試験」と「課題」 次の教科書を使用する。 書名 easy Korean 1 for foreigners 著者(訳者) Easy Korean Academy 出版社 Hanguipark (韓国) ISBN 978-89-5518-726-7						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30354	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	10-304	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国語入門・初級 韓国語を本格的に身につけようとしている方を対象にした授業です。S・A 両セメスターの受講を前提として授業を進め、 通年で初級レベルの韓国語力が確実に身につくことを目標とします。 S セメスターは発音や文字等、入門レベルから始め、初級レベルの学習項目の前半部分を学びます。なお、履修にあたっては、必ずUTASの授業計画、履修上の注意を確認してください。						
評価方法 教科書	課題・小テストおよび定期試験 次の教科書を使用する。 書名 韓国語へのとびら 著者(訳者) 吉本一 出版社 朝日出版社 ISBN 9784255556178						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30969	S	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 2	109 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級の文法と会話 このクラスの履修を希望する人は、A セメスターの「韓国朝鮮語初級(第三外国語)」を履修済みか、それと同等の学力 を持っていることが望まれます。この授業では韓国朝鮮語の基礎文法と語彙を体系的に学習したうえで、様々な場 面で実践的に使用できるコミュニケーション能力を身につけることを目指します。						
評価方法 教科書	定期試験、小テスト、課題など 次の教科書を使用する。 書名 根と幹 著者(訳者) 生越直樹・生越まり子・池玖京 出版社 朝日出版社 ISBN 4255556393						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30355	S	韓国朝鮮語中級（会話）	張 銀英	韓国朝鮮語	火 2	151 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語中級会話 短文会話を覚え、なおかつ応用できるような練習を通じて会話力の上達を目指す。 漫画やニュースなどを題材にして、その裏にある文化的背景を踏まえながら、生きた表現を学ぶ。 できるだけ韓国朝鮮語を使って授業を行う。						
評価方法 教科書	「定期試験」と「課題」 次の教科書を使用する。 書名 「シャドウイングで学ぶ韓国語短文会話500」 著者（訳者） 張銀英 出版社 スリーエーネットワーク ISBN 978-4-88319-444-5						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31076	S	韓国朝鮮語中級 （作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	木 5	156 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語の作文練習(中級) 初級レベルの韓国朝鮮語の文法を理解したうえで「基本作文→発展作文→課題作文」の段階的な訓練を通じて、日常生活で必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指す。メールやエッセイ作成などの課題については、教師による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。						
評価方法 教科書 ガイダンス	※この授業は、2014年度以前入学者のうち、既修/初修 韓国朝鮮語語二列③ の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 出席、課題、発表などの平常点と期末課題による評価 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30356	S	韓国朝鮮語中級 （表現練習）	根本 理恵	韓国朝鮮語	火 2	10-101	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語中級 言葉と文化の理解を中心に 韓国朝鮮語の初級教材を学び終えた学習者を対象とする。基礎知識を発展させることを目標に日常会話を取り入れながら語彙を増やす他、さまざまな文章に触れる機会を設けて変則活用や慣用句など、文法事項のまとめも行う。会話練習と読解練習はもちろんのこと、視聴覚教材を活用してヒアリングにも力を入れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく伸ばしたい。						
評価方法 教科書 ガイダンス	※この授業は、2014年度以前入学者のうち、既修/初修 韓国朝鮮語語二列③ の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 平常点、課題の提出または定期試験。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30103	S	韓国朝鮮語中級 （読解）	橋本 繁	韓国朝鮮語	月 2	1211 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語の文章の講読 韓国朝鮮語の新聞や雑誌の記事、小説、論説など様々な種類の文章を講読していく。授業は、文法の説明とともに、日本語に訳す場合の難しさ、その背景にある日本語との違いについて確認しながら進めていく。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業での発表 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31220	S	韓国朝鮮語上級（会話）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 3	158 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語上級（会話） 様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		課題や授業参加などの平常点、定期試験 授業中に指示をする。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30559	S	韓国朝鮮語上級 （作文）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 4	1225 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語の作文練習（上級） 日本語の直訳ではなく韓国朝鮮語らしい表現を用いる作文練習を通じて、現地の大学や大学院への留学も想定した書籍・資料を読み込める読解力やレポート・論文を執筆できる表現力を身につけることを目指す。短いレポート作成などの課題については、教師による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への積極的な参加に基づく平常点と期末課題を用いて評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30106	S	韓国朝鮮語中級 （インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	月 2	114 教室	1年 文科 理科
火 1					152 教室	2年 文科 理科	
講義題目 授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語中級 インテンシヴ 韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 授業中に指示をする。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30715	S	韓国朝鮮語中級（演習）	崔 泰源	韓国朝鮮語	水 2	1224 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級演習（TLP用） TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的に韓国朝鮮語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業への積極的な参加に基づく平常点と期末課題を用いて評価する 授業中に指示をする。 特に行わない。					

## 総合科目L系列 イタリア語

イタリア語初級(演習)①		開講区分	S	
授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。			
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時）。			
教科書	授業中に指示をする。			
関連ホームページ	<a href="http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp">http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp</a>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30451	火 3	アンドレア チヴィーレ	102 教室	1年 文三(6)
31174	金 3	アンドレア チヴィーレ	K114	1年 文一二(6)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30315	S	イタリア語初級 (演習)	アンドレア チヴィーレ	フランス語・イタリア語	火 1	K501	1年 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Lingua italiana, livello elementare 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31140	S	イタリア語初級 (会話)	アンドレア チヴィーレ	フランス語・イタリア語	金 2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	Lingua italiana, livello elementare 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31297	S	イタリア語初級 (会話)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	金 5	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語初級会話 ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。 平常点と最終授業時の試験 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31057	S	イタリア語初級 (作文)	大崎 さやの	フランス語・イタリア語	木 4	122 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語初級 (作文) イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。 平常点と定期試験（最終授業時に行います）。 次の教科書を使用する。 書名 イタリア語練習問題集 著者 (訳者) ディ・ルッソ、長神、西本 出版社 白水社 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31141	S	イタリア語初級 (作文)	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	金 2	107 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語初級(作文) 本講義では、作文演習を主目的としているが、その前提としての基礎的な文法の知識、およびその運用力は不可欠であるから、まずその習得を目標とする。作文の演習にも配慮しつつ、現代イタリア語の基礎文法の理解をはかっていくことにしたい。						
評価方法	定期試験。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 イタリア語練習問題集 著者(訳者) マリーサ・デイ・ルッソ 長神悟 西本晃二 出版社 白水社 ISBN 4-560-00739-xc3087						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30854	S	イタリア語初級 (表現練習)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 5	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	E allora...? Questo corso è rivolto sia agli studenti che affrontano lo studio dell'italiano per la prima volta o con una conoscenza di base della lingua, sia a chi conosce già la grammatica ma vuole estendere la conoscenza del vocabolario e delle espressioni utili ad affrontare le situazioni più comuni della vita quotidiana. (この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です)						
評価方法	Si terrà conto delle presenze, della partecipazione e interesse alle attività proposte in classe e ai risultati positivi conseguiti attraverso tali attività. 授業への参加と、クラスでのアクティビティを考慮します。						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30357	S	イタリア語初級 (インテンシヴ)	日向 太郎	フランス語・イタリア語	火 2	155 教室	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	初級イタリア語(初修)の応用 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるためのコース。必修の時間にプラスして週に、読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用能力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修し、1年間のイタリア語学習によって、イタリア語の総合的な能力をしっかりと身につけて定着させ、今後さまざまな分野で用いることを確かなものとするのが目標。映画や音楽など、生きたイタリア語イタリア文化に触れる。						
評価方法	授業中の参加と、小テストなどの学期中の課題を考慮し、定期試験とあわせて評価する。						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30890	S	イタリア語初級 (インテンシヴ)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	木 1	K501	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Bravissimo! Questo corso è rivolto a chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello principiante-elementare intensivo (A1). 初修イタリア語・国際コミュニケーションのイタリア語科目に加えて、聞き取り・会話をより集中的に勉強したい人が対象です。						
評価方法	Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale. (出席点と平常点および最終試験を総合して評価します)						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30104	S	イタリア語初級 (第三外国語)	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	月 2	159 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書	イタリア語初級(第三外国語) I イタリア語の基本文法の理解。 定期試験(最終授業時)。 教科書は使用しない。 書名 イタリア語のスタート 著者(訳者) 東京大学イタリア語教材編集委員会 出版社 白水社 ISBN 978-4-560-01763-0 ガイダンス 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30358	S	イタリア語初級 (第三外国語)	宮坂 真紀	フランス語・イタリア語	火 2	116 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書	初修イタリア語 イタリア語共通教科書(東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』)を用いて、イタリア語の基礎を勉強します。昨年度 A セメスターからイタリア語を学び始めた人や初歩的な文法事項についてはすでに学習済みの人を対象に、今期は直説法未来(教科書 Lezione6)からはじめて初級～中級レベルの文法の習得を目指します。 学期中に随時提出してもらった課題と試験の結果をもとに評価を行います。 次の教科書を使用する。 書名 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 著者(訳者) 東京大学イタリア語教材編集委員会 出版社 白水社 ガイダンス 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30855	S	イタリア語初級 (第三外国語)	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	水 5	159 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書	イタリア語初級(第三外国語) I イタリア語の基本文法の理解。 定期試験(最終授業時)。 教科書は使用しない。 書名 イタリア語のスタート 著者(訳者) 東京大学イタリア語教材編集委員会 出版社 白水社 ISBN 978-4-560-01763 ガイダンス 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30784	S	イタリア語中級 (演習)	宮坂 真紀	フランス語・イタリア語	水 3	158 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書	イタリア語中級(演習) イタリア語の基本的な文法を学習し終えた人を対象とします。さまざまな分野のイタリア語の文章を読みながら、イタリア語の読解力の向上を目指します。授業で扱うテキストは受講者の興味や、どの程度イタリア語の学習経験があるのかなどを考慮して決めます。 授業態度(出席、予習)、定期試験(最終授業時)の結果をもとに総合的に評価します。 次の教科書を使用する。 書名 P i a z z a 著者(訳者) 東京大学イタリア語教材編集委員会 出版社 東京大学出版会 ガイダンス 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30970	S	イタリア語中級 (表現練習)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	木 2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イタリア語中級表現練習 (Lingua italiana, espressioni di livello medio) すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ビデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と最終授業時の試験。それぞれの開講時の能力・経験を考慮し、受講を通しての達成度を評価します。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30596	S	イタリア語中級 (読解)	岡本 太郎	フランス語・イタリア語	火 5	1312 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ダイアログを通してイタリア語の口語表現を探る イタリア映画の実際の映像とスクリプトや、雑誌、ガイドブックなど、生のイタリア語を教材に、現代イタリア語のさまざまな表現について学習し、その文化的背景を考察します。						
評価方法 教科書 ガイダンス	平常点と学年末の筆記試験。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30713	S	イタリア語中級 (インテンシヴ)	日向 太郎	フランス語・イタリア語	水 2	1231 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中級イタリア語の応用 初修クラス受講者がイタリア語能力を向上させるための中級コース。 読解・文法練習・作文を中心に運用能力を高める授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修する。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業中の参加や学期中の課題などを考慮し、定期試験とあわせて評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31122	S	イタリア語中級 (インテンシヴ)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	金 1	154 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中級イタリア語の応用 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力を高める授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修する。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業中の参加と、小テストなどの学期中の課題を考慮し、定期試験とあわせて評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31391	S	イタリア語上級 (会話)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	木 4	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Facciamo un passo avanti! Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1).. Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale.</p> <p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30785	S	イタリア語上級 (作文)	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 3	108 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>イタリア語上級作文 (Lingua italiana- composizione di livello avanzato) L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena di strutture e frasi fisse che sono probabilmente presenti anche nella tua lingua madre. Compiti durante il semestre e il test alla conclusione del corso</p> <p>プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

## 総合科目 L その他外国語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30369	S	アラビア語初級（会話）	エベード イハープ	古典語・地中海諸言語	火 2	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（会話） This course is offered by courtesy of the Arabic Islamic Institute in Tokyo (AIIT). The aim of the course is to acquaint the students with the fundamentals of the Arabic language. The emphasis will be on conversation, and the students will be taught to speak Arabic in the correct way using essential and useful daily life expressions. The students will also be introduced to the basics of Arabic writing and grammar, as well as to elements of Arabic art and culture. The classes will be conducted by Ehab Ebeid as a native-speaking adjunct lecturer.					
評価方法 教科書 ガイダンス		The evaluation will be based on attendance and participation, as well as small tests conducted in class time. 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30490	S	アラビア語初級 （第三外国語）	濱田 聖子	地域文化研究専攻	火 3	531 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（第三外国語） アラビア語初学者を対象に、文字の書き方・発音から始め、初級文法を概観する。授業では、アラブ諸国の共通語である正則アラビア語（文語・書き言葉）を扱い、1年間で基礎文法を網羅し、辞書を用いて、現代標準アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。					
評価方法 教科書		毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。 次の教科書を使用する。 書名 現代アラビア語入門 著者（訳者） 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 大学書林 ISBN 978-4-475-01838-8					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30856	S	アラビア語初級 （第三外国語）	杉田 英明	地域文化研究専攻	水 5	103 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（第三外国語） I アラビア文字の読み方から始めて、1年間で文語文法の構造を概観します。辞書を引きながら、現代アラビア語の文章が読解できるようになることを目標とします。毎回、教科書の練習問題を割り当てますので、復習が不可欠です。 なお、この時間は文語文法の説明が中心で、日常会話や口語表現などを直接扱っている余裕はありません。ただし、口語や会話の基礎も文語文法にありますので、将来自習したり現地で学んだりする場合には役立つことを申し添えます。					
評価方法 教科書		学期最終日の試験（75%）と提出物その他（25%）による。詳細は最初の回に説明いたしますので必ずご出席下さい。 次の教科書を使用する。 書名 現代アラビア語入門 著者（訳者） 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 大学書林 ISBN 978-4-475-01838-8					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30787	S	アラビア語中級 (第三外国語)	濱田 聖子	地域文化研究専攻	水 3	1211 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アラビア語中級 (第三外国語) 母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。原則として初級文法を一通り終えた方が対象ですが、なるべく文法や語彙を確認しながら進めます。自分で辞書を引きながら、文章の意味が取れるようになることを目標とします。						
評価方法 教科書	割り当ての担当などによる。 次の教科書を使用する。 書名 Arabic-English Dictionary: A Dictionary of Modern Written Arabic 著者(訳者) Hans Wehr 出版社 Spoken Language Services Inc. ISBN 0-87950-003-4						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30831	S	アラビア語中級 (第三外国語)	杉田 英明	地域文化研究専攻	水 4	1223 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アラビア語中級 (第三外国語) I 1) 初級文法を一通り終えた方を対象に、文法事項を確認しながら、母音符号の付いた正則アラビア語の比較的簡単な読み物を講読します。自分でアラビア語辞典を引きながら、文章の意味が取れるようになることを目標とします。これによって、母音符号のない文章が自由に読めるようになるまでの橋渡しをいたします。 2) 参加者の人数によって後半 30 分程度の余裕ができれば、関心に合わせて、コーランやハディースなどイスラム関連文献、あるいはアラブ音楽・映画など芸術作品の紹介を行なう予定です。						
評価方法 教科書 ガイダンス	割り当ての担当などによります。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31022	S	ヒンディー語初級 (第三外国語)	藤井 毅	地域文化研究専攻	木 3	1211 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ヒンディー語 (初級) インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声の習得より入り、S セメスターで指定教科書の 9 課までを終えることを目標とします。						
評価方法 教科書	初回の授業を除き、毎回宿題が出ます。もちろんのことですが、提出は不可欠です。成績は、その出来に基づき判断します。 次の教科書を使用する。 書名 Complete Hindi 著者(訳者) Snell, Ruper and Simon Weightman 出版社 London: John Murray Learning, 2016 ISBN 978-1444-106831						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31062	S	ヒンディー語中級 (第三外国語)	藤井 毅	地域文化研究専攻	木 4	1211 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ヒンディー語 (中級) Intermediate Hindi course インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語 (初級) で用いていた指定教科書の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。						
評価方法 教科書 ガイダンス	初回の授業を除き、毎回の予習の出来を評価します。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31023	S	インドネシア語初級 (第三外国語)	高地 薫	地域文化研究専攻	木 3	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語入門 (Indonesian language for beginners) インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、インドネシア語未修者を対象に、インドネシア語の基本的な文法と語彙を身につけ、基本的な読み書きができるようになることを目的とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31063	S	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫	地域文化研究専攻	木 4	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students) この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。 インドネシア語は文法が簡易であるため、長文を読むには西欧諸語とは違った技術が必要となる。そうした技術を身につけることを目標とする。 講読するテキストは新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説など、広い分野から取り上げ、様々なスタイルの文章を用いる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		演習の内容により評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31280	S	ベトナム語初級 (第三外国語)	加藤 栄	地域文化研究専攻	金 4	119 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベトナム語(初級)(1) ベトナム語の初級文法を学ぶ。S セメスターの授業では、ベトナム語の基本的な文の構造を理解し、正しい発音と基礎的な会話能力を身につけることを目標としている。					
評価方法 教科書 ガイダンス		課題の提出、小テスト、定期試験の結果をもとに評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30370	S	ベトナム語中級 (第三外国語)	大泉 さやか	地域文化研究専攻	火 2	1221 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ベトナム語文献講読 ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。 授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30371	S	広東語初級 (第三外国語)	郭 文ホウ	中国語	木 2	1211 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	広東語(初級) 広東語は中国の南方の方言である。広東・広西地域のほか、香港・マカオ両特別行政区では教育や公共放送の場で使用されている。本授業は広東語の発音の基礎を学ぶと同時に、文法や作文を学ぶ。広東語教授方法の授業ではないので、広東語ネイティブの受講は原則認めない。						
評価方法	学期中に1回、読みの小テストを行なう。これを定期試験の成績と総合評価する。受講者の顔ぶれによって、さらに小テストを課すこともある。試験時にはイェール式のローマ字表記と繁体字を使うので、習熟しておくこと。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 香港粵語 [基礎会話] 著者(訳者) 吉川雅之 出版社 白帝社 ISBN ISBN: 978-4-86398-094-5						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30716	S	ヘブライ語初級 (第三外国語)	飯郷 友康	地域文化研究専攻	水 2	761 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ヘブライ語文法初歩 ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようなること—すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。						
評価方法	単元を終えるごとに簡単な宿題、また期末にレポートの提出を課す。						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31147	S	上海語初級 (第三外国語)	李 雲	中国語	金 2	103 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	上海語を話そう 上海語の発音の仕方、ローマ字表記法について学び、繰り返し練習することで、発音を習得する。上海語の語彙、特に中国語の標準語と違うものの意味と用法を学習する。また上海語の文法や表現を学び、日常的なコミュニケーションができるよう「聞く」、「話す」能力を養成することを目指す。						
評価方法	基本的に上海語ネイティブの受講は認めない。 授業態度・小テスト・定期試験等を総合的に評価する。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 ニューエクスプレス 上海語 著者(訳者) 榎本英雄、范曉 出版社 白水社						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30372	S	ペルシア語初級 (第三外国語)	前田 君江	地域文化研究専攻	火 2	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ペルシア語の文字と基礎文法 本授業の目標は、Aセメスターのテキスト『ペルシア語の読解 初級編』につなげるための基礎固めをすることである。文字を習得したあとは、人称項目・動詞時制の学習が中心となる。併せて、イラン社会を知るための画像や映像・映画の視聴も行う。						
評価方法	ペルシア語は、英語と同じインド・ヨーロッパ語族で、文法的にも感覚的にも理解しやすい。覚えるべき文法規則も少なく、語順は日本語と同じであるため、最も習得しやすい言語のひとつであるとされる。言語のなじみややすさを入口として、広くアジアや中東の文化にも関心を向ける契機としてほしい。						
教科書	小論文と定期試験（文法テスト）で評価する。小論文は授業内で視聴した映画の感想を中心とするもの。なお、第2回授業での文字テスト、授業ごとの小テストの提出も考慮の対象とする。						
ガイダンス	次の教科書を使用する。 書名 ペルシア語の文法 初級編 著者（訳者） 前田君江 出版社 三恵社 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31148	S	セルビア・クロアチア語初級 (第三外国語)	山崎 信一	ロシア語	金 2	116 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	セルビア・クロアチア語（初級） セルビア・クロアチア語の初等文法をマスターし、簡単な会話能力を身につけることを目標とする。						
評価方法	定期試験による。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 ニューエクスプレス セルビア語・クロアチア語 著者（訳者） 中島由美・野町素己 出版社 白水社 ISBN 978-4-560-08529-5						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31223	S	セルビア・クロアチア語中級 (第三外国語)	山崎 信一	ロシア語	金 3	1226 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	セルビア・クロアチア語（中級） セルビア・クロアチア語の初等文法の学習を終えた者を対象に、読解力を身につけるための文章講読の授業を行う。						
評価方法	平常点による						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31281	S	ポーランド語初級 (第三外国語)	小椋 彩	ロシア語	金 4	107 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ポーランド語初級 ポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。						
評価方法	平常点と定期試験						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 ニューエクスプレス ポーランド語 著者（訳者） 石井哲士朗、三井レナータ 出版社 白水社 ISBN 9784560067949						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30788	S	タイ語初級 (第三外国語)	浅見 靖仁	地域文化研究専攻	水 3	K211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	タイ語初級 (第三外国語) 半年間で、タイ語の基本的な文法とタイ文字を修得することを目指します。 辞書を使えばタイ語の新聞や雑誌を読むことができるレベルに到達することを目指す人は、Aセメスターも継続して履修することを勧めます。Sセメスターの履修だけでも、タイを旅行する際、簡単な会話をしたり、看板に書かれているタイ文字を読んだりできるようになります。						
評価方法 教科書	宿題 10%、中間試験 10%、定期試験 80%。 次の教科書を使用する。 書名 ニューエクスプレス タイ語 著者(訳者) 水野潔 出版社 白水社 ISBN 978-4560067819						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31744	S	ポルトガル語初級 (第三外国語)	牧野 真也	スペイン語	木 5	152 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ポルトガル語の基礎 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、Aセメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席 1/4 以上で受験資格を失いますので留意してください。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31743	S	ポルトガル語中級 (第三外国語)	牧野 真也	スペイン語	木 4	152 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ポルトガル語の基礎 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席点 5割 + 平常点 5割 (講義の割り当て部分の発表など) で 60 点以上を合格とします。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30266	S	台湾語中級 (第三外国語)	王 嵐	中国語	月 5	105 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	台湾語会話 台湾語会話 (初級) 既習者を対象に授業を行う。 初級会話を既習の上、継続的に閩南語を勉強し、単語、表現力アップを目指す。						
評価方法 教科書	授業への取り組み及び定期試験によって評価する。 次の教科書を使用する。 書名 ニューエクスプレス 台湾語 著者(訳者) 村上嘉英 出版社 白水社 ISBN 978-4-560-00364-0						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30318	S	モンゴル語初級 (第三外国語)	荒井 幸康	地域文化研究専攻	火 1	122 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	モンゴル語 初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につける 会話では、挨拶や簡単な質問および、自己紹介ができるようにすることを目標とする						
評価方法 教科書	毎回小テストを行う予定であるので、その点数と最終テストおよび、授業での発言で評価する 次の教科書を使用する。						
ガイダンス	書名 すぐに役立つ 最新モンゴル語会話 日モ・モ日 常用語小辞典付 著者(訳者) 近藤 和正 出版社 テンブックス ISBN 978-4886960351 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30491	S	トルコ語初級 (第三外国語)	高松 洋一	地域文化研究専攻	火 3	109 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代トルコ語初級文法入門 I 現代トルコ語の初級文法を習得する。S セメスター、A セメスターの通年で完結する。一年後には新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。会話の練習などは行わず、文法体系を身に付けることが中心となる。トルコ語は文法 規則が厳格かつ整然としているので、最初にきちんと文法を身につけないと、簡単な文さえ作れないからである。その代わりあるところまでたどり着ければ、日本語に発想が似ているので文章読解は非常に楽になるだろう。トルコ語学習を通じて異文化に対する理解を深めると同時に、外国語学習でなじみのある印欧諸語や中国語とは全く異なった、むしろ日本語に近いタイプの言語を学ぶことによって、学習者の言語観を豊かなものにしてもらいたい。						
評価方法 教科書	S セメスターは文字と発音からはじめ、名詞の格、動詞の現在形、-di 過去形、未来形、中立形、存在文と所有文をマスターする。教科書の各課に付された練習問題を通して名詞・動詞につく基本的な接尾辞と付属語を完全に習得することを目標とする。とりわけトルコ語学習における最初の山場である母音調和、動詞接尾辞、格接尾辞、人称の付属語、所属人称 接尾辞をしっかりと身に付ける。						
ガイダンス	学期末最後の時間に行なう筆記試験の成績をもとに評価する。 次の教科書を使用する。 書名 『トルコ語文法 初級・中級 改訂版』 著者(訳者) 東京外国語大学 トルコ語専攻 編 出版社 東京外国語大学生協同組合出版部 ISBN 978-4-903386-18-8 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30561	S	トルコ語中級 (第三外国語)	高松 洋一	地域文化研究専攻	火 4	102 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	トルコ語中級文献講読 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに 出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30267	S 1	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 (1) リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 (2) シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 (3) 自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。						
評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 20%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31080	S 1	日本語中級	大久保 雅子	日本語	木 5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 (1) リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 (2) シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 (3) 自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。						
評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 20%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40021	S 2	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 (1) リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 (2) シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 (3) 自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。						
評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 20%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40225	S 2	日本語中級	大久保 雅子	日本語	木 5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要 な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 (1) リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 (2) シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 (3) 自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。						
評価方法	出席 10% 復習クイズ 20% 録音課題 30% 口頭発表 20% 授業中の課題 20%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30019	S 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	読解を通じ、日本の歴史を考える ※この授業は留学生向けの授業です。日本人学生の履修はできません。 日本の歴史について書かれた論説文・歴史小説等の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に係る文 化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになること を目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論して いきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行 うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。						
評価方法	授業への参加状況（出席も含む） 授業中随時実施するクイズ 最終レポート・プレゼンテーション						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30319	S 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	読解を通じ、日本の歴史を考える ※この授業は留学生向けの授業です。日本人学生の履修はできません。 日本の歴史について書かれた論説文・歴史小説等の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に係る文 化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになること を目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論して いきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行 うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。						
評価方法	授業への参加状況（出席も含む） 授業中随時実施するクイズ 最終レポート・プレゼンテーション						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40001	S 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	月 1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	読解を通じ、日本の歴史を考える ※この授業は留学生向けの授業です。日本人学生の履修はできません。 日本の歴史について書かれた論説文・歴史小説等の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。						
評価方法	授業への参加状況（出席も含む） 授業中随時実施するクイズ 最終レポート・プレゼンテーション						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40022	S 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	読解を通じ、日本の歴史を考える ※この授業は留学生向けの授業です。日本人学生の履修はできません。 日本の歴史について書かれた論説文・歴史小説等の読解を通じ、日本史における特定の事象や、その事象に関する文化的背景についての理解を深めるとともに、歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい、互いに共有し、議論していきます。こうした作業を通じ、自分が調査し考察したことを、他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに、他の学生との議論により、自己の考察をより深めていきます。						
評価方法	授業への参加状況（出席も含む） 授業中随時実施するクイズ 最終レポート・プレゼンテーション						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30894	S	古典語初級 (ギリシア語) I	上野 慎也	古典語・地中海諸言語	木 1	107 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	古典ギリシア語の手ほどき 古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。						
評価方法	平常点と定期試験による。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 古典ギリシア語初歩 著者（訳者） 水谷知洋 出版社 岩波書店 ISBN 978-4000008297						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30598	S	古典語初級 (ギリシア語) I	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	107 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>古典ギリシア語初級 (前半)</p> <p>1, 目標 初級文法を1年かけて学び, 古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにし, 難しい文章であっても文法書と辞書を使えば何とか読めるようにする. 一般に古典ギリシア語を学ぶにはかなりの負担を覚悟しなければならないと思われる。したがって, そのために学修をためらったり, 途中であきらめてしまう場合も少なくないと思われる。できるだけそのようにならないよう, 履修者の理解度や自宅学習の時間を適宜確認しつつ, 学修内容・進度と自宅学習の時間を調整するので, ためらわずに履修してほしい。</p> <p>2, 古典ギリシア語 ギリシア語の重要性については改めて説明するまでもないだろう。古代ギリシア文明は西洋文化の原点であり, 西洋文化の根底にあるものを知ろうとすれば, 必然的に古代ギリシア文明に触れることになる。古代ギリシア語を学ぶのは容易とは言えないが, これを学ぶと, 古代ギリシア語が擁する哲学・歴史学・文学・科学などあらゆる分野の膨大な文献に直接触れることができ, それらがどのように西洋文明やその他の文明に影響を与えているのかを知ることができるようになる。</p> <p>ギリシア語の文献は紀元前 15 世紀頃の線文字 B 粘土板にさかのぼる。使用地域はやがて東地中海地域から地中海地域全体へ, 一時はさらにインド方面にまで広がった。古典ギリシア語とは, 紀元前 5-4 世紀にアテナイを中心とする地域で使われていたギリシア語のことを言う。これを学べば, ホメロス (紀元前 8 世紀頃) から中世ギリシア語に至るまでの各時代・地域のギリシア語や新約聖書のギリシア語も容易に習得できる。文献の豊富さゆえにラテン語, サンスクリット語などとともに印欧比較言語学に豊富な資料を提供するという点でもギリシア語は重要である。</p>						
評価方法	<p>定期試験 (60 点) と小テスト (20 点), 練習問題の発表状況 (20 点) で行う。 練習問題を解く際は, 単語の形態 (名詞なら性・数・格, 動詞なら法・時称・相・数・人称など) をきちんと調べておき, また構文や語法については教科書のどの節に説明があるかを調べておくと上達が早い。すなわちそのようにすれば, 教科書の練習問題や定期試験の問題をよく理解して解くことができ, ギリシア語の原典も正確に理解することができるようになる。単に上手 (に見えるよう) な和訳ができただけでは評価を得ることができないことに注意せよ。逆に和訳がぎこちなかったとしても, 形態や構文等について教科書の内容をきちんと理解した上でのものであれば評価は高くなる。</p>						
教科書	<p>次の教科書を使用する。 書名 『古典ギリシア語初歩』 著者 (訳者) 水谷智洋 出版社 岩波書店 ISBN 978-4-00-000829-7 その他 3,500 円+税 (ただし変更されることがある)</p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30971	S	古典語中級 (ギリシア語) I	上野 慎也	古典語・地中海諸言語	木 2	8-418	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>古典ギリシア語散文講読 古典期 (前五～四世紀) のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し, 実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。</p>						
評価方法	<p>平常点による。毎回の訳読の首尾を以てこれに当てる。</p>						
教科書	<p>教科書は使用しない。</p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30020	S	古典語初級 (ラテン語) I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>ラテン語初級 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように, 基本的な文法事項を身につける。</p>						
評価方法	<p>平常点と定期試験に基づいて評価する</p>						
教科書	<p>次の教科書を使用する。 書名 標準ラテン文法 著者 (訳者) 中山恒夫 出版社 白水社 ISBN ISBN978-4-560-01761-6</p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30562	S	古典語初級 (ラテン語) II	ヘルマン ゴ チェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Grammatica Latina (2) - Coniugationes verborum						
授業の目標概要	注 この授業は 2018 年度の A セメスターで始まった一年間の初級ラテン語コースの 2 学期目に当たる。すでにこの授業で使われる教科書の 1～17 章を勉強した学生、または同じぐらいのラテン語力を身につけている学生を対象としています。最初からラテン語を始める学生は別の教員の授業を取るか、ゴチェフスキが 2019 年度 A セメスターに出す予定の古典語初級 (ラテン語) I を履修してください。						
評価方法	Finis huius cursus est linguam Latinam non per aliam linguam sed per illam ipsam discere.						
教科書	試験 (最後の授業で実施)						
教科書	その他 教科書は以下の二冊を使います。生協でお買い求め下さい。Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Pars I: Familia Romana Focus Publishing 同書の練習問題: Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Exercitia Latina I Focus Publishing						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30107	S	古典語中級 (ラテン語) I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	8-321	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ラテン語散文講読						
授業の目標概要	元首政時代の散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。						
評価方法	授業では小ブリニウスの『書簡集』を読んでいく。文中に盛り込まれた古代ローマの社会、文化、政治に関する豊富な情報と合わせ、帝政ローマを代表する文人政治家の端正なラテン語を味わってほしい。						
教科書	平常点に基づいて評価する。						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30320	S	古典語初級 (サンスクリット語) I	梶原 三恵子	地域文化研究専攻	火 1	153 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	サンスクリット初級文法 (I)						
授業の目標概要	古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。S セメスターは、文法の前半部 (音論、名詞・形容詞の変化) を扱う。						
評価方法	サンスクリット語は古代・中世インドで宗教聖典および各分野の学術書に用いられた古典語である。仏教などを通してアジアの諸地域の文化にも少なからぬ影響を与えた。また、印欧比較言語学分野においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。						
教科書	授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせる。						
教科書	授業参加状況 (宿題に出した練習問題への取組状況と、毎週の課題の提出回数) と、授業中に何度か行う小テストとの、総合評価による。前者に重点をおく。						
教科書	次の教科書を使用する。						
教科書	書名 『サンスクリット語初等文法』						
教科書	著者 (訳者) J. ゴンダ (鎧淳訳)						
教科書	出版社 春秋社						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30268	S	古典日本語	品田 悦一 高山 大毅	国文・漢文学	月 5	164 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>古典日本語の世界——文字とことばのダイナミクス            古典日本語について、文字とことばのダイナミクスという観点から、理解を深める。古典日本語を、平安朝の古文を典型とするものとしてではなく、漢文、和漢混淆文、カタカナ文も含めて、さまざまな文体が互いの存在を前提としながら機能し、干渉しあっている世界としてとらえることを目指す。毎年担当者が交代する授業だが、今年度は上代日本文学専攻の品田悦一と近世日本思想史専攻の高山大毅が担当する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験を行なう。            プリントを配布する。            第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30373	S	古典中国語	谷口 洋	国文・漢文学	火 2	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>語学としての漢文            中国の文章語は、戦国の諸子百家や『史記』『漢書』などの歴史書においてその骨格を確立し、中国はもとより日本・朝鮮・ベトナムなど東アジア世界における知の世界の共通語となった。日本ではそれを訓読の技法によって日本語の中に取り入れ、今なお国語科の中に「漢文」と称して位置づけている。しかしそのためにかえって、それが本来中国語であった事実は、学習の現場においては忘れられがちでもある。</p> <p>この科目を漢文と呼ばずに古典中国語と称するのは、その本来の姿に注意するからであるが、他方で、訓読を通じてそれを日本語化したものまで含めて扱う。近年の古代中国語の研究成果を踏まえて、高等学校で「漢文」として学習したものをいったん外国語として客観化し、より本質的な理解に到達することと並んで、国語学の研究成果をも参照しつつ、古典中国語を日本の先人たちがいかに日本語世界に取り入れてきたかを理解することもまた、この科目の目標である。</p> <p>この科目は、古典中国語が流通した東アジア諸地域の研究を志す者に、そのために必要な読解力の基礎を身につけさせることを目的とするが、それにとどまらず、日本語の使い手として、「漢文」を新たな角度から学び直してみたいと考える者の受講をも、大いに歓迎する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>最終回の授業で行う持ち込みなしの確認テストと、丁寧に辞書を引いて作成するレポート（指定された文献の訳注）との、両方によって評価する。片方のみでは単位は出ない。さらに、通常の授業で行う小テストの状況を加味する。</p> <p>その他 教材はプリントを配布する。漢和辞典を準備すること。これから準備するのであれば、『漢辞海』（三省堂）か『新字源』（角川書店）を勧める。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						

## 総合科目 A (思想・芸術)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30374	S	言語構造論	広瀬 友紀	言語情報科学専攻	火 2	K211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		言語学入門 コトバを科学する！ 私たちが普段使っていることばとはどのような知識の体系なのだろうか。音声、語の形態、文の構造、それぞれどのように整理・記述され、実際にヒトに運用されるのだろうか。違う言語の間で異なる要素はたくさんあるけれど、共通するしくみもあるのだろうか。言語学や文法について何も知らなくても言葉は使いこなせるけど、私達の頭の中の何がそれを可能にしているのだろうか。一緒にことばの不思議をさぐりましょう。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業内ミニ課題および試験。 授業中に指示をする。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31304	S	言語応用論	吉川 雅之	言語情報科学専攻	金 5	112 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		漢語派諸言語の漢字音 漢語を中心として東アジア大陸部の諸言語に於ける漢字音を、声調も含めて、変異と変化という視点から概観します。漢字音の音価を記すために国際音声記号 (IPA) を用いますが、授業中には国際音声記号の基本についての解説も行います。					
評価方法		成績評価については、作業と期末レポートの結果から習熟度を測り、これに発展的学習への意欲を加味して、判断します。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30857	S	記号論	山田 広昭	言語情報科学専攻	水 5	511 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		記号学から文化記号論、メディア学へ 二〇世紀後半において、文化現象や社会現象の捉え方、分析方法に刷新をもたらした記号論の基礎を、その始祖とされるソシュールとパースにおける記号の定義からはじめて、文化記号論のその後の代表的な展開を概観する。それに加えて後半では、テクノロジーの発展が果たした役割を重視するメディア学への接合をはかりたい。					
評価方法		リアクションペーパー (出席チェックを兼ねる) 20パーセント 定期試験 80パーセント					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31658	S	外国文学	後藤 和彦	文学部	火 3	1231 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	『ハックルベリー・フィンの冒険』を読む アメリカの作家、マーク・トウェインの代表作で、アメリカ文学史上の「古典」、『ハックルベリー・フィンの冒険』を読みます。アメリカ英語、特にヴァナキュラーと呼ばれる口語英語になれること、文学作品を鑑賞し、議論する方法を学ぶこと、マーク・トウェインという作家の生涯について知ること、作品の舞台となった南北戦争前、奴隷制度のあった時代の南部について知ること、作品が発表された南北戦争後のいわゆる「金メッキ時代」について知ること、などを目標とします。						
評価方法	レポーターとして指名されたときの報告のできふでき (40%)、指名されていないときのクラスディスカッションへの貢献度 (20%)、不定期に課スレスポンスペーパー (20%)、最終授業回で提出を求める 2000 字程度のレポート (20%)、以上を勘案して最終評価を行います。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 Adventures of Huckleberry Finn 著者 (訳者) Mark Twain 出版社 U of California P ISBN ISBN-10: 9780520266100, ISBN-13: 978-0520266100						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31657	S	外国文学	塩塚 秀一郎	文学部	火 4	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス文学のエチュード この授業は、文学部・フランス文学研究室の教員一名が可能な限り広範囲の時代・作家・作品を取り上げて講義し、フランス文学の全貌を解説すると同時に、文学研究の方法と意義についても教養学部前期課程のみなさんにわかりやすく解き明かすことを目的としている。 文学を読む喜びのひとつは、作家の奔放な想像力に身をまかせ、現実には存在しない虚構の世界に遊ぶことである。けれども、文学作品、とりわけフィクションが時間と労力を傾注する真剣な読書の対象となりうるのは、そこに描かれているものが単なる〈嘘ごと〉ではなく、なにがしかの〈真実〉が含まれているからであるの言うまでもない。フィクションは複雑すぎる現実世界を認識可能な形に整えたり、逆に、極端な状況を構築したりすることによって、現実の生活においては出会えない〈真実〉をとらえるための装置だとも言えるだろう。したがって、フィクションといえども100%想像の産物であるわけではなく、そこには時代状況をはじめとしてさまざまな〈現実〉が構成要素として含まれていることになる。 なまの世界がとらえがたいからこそフィクションが必要とされるのだとすれば、現実をそのまま描いているとされるドキュメンタリーやルポルタージュにも〈嘘〉がまじるのは必然であり、そうして混じり込んだフィクション要素は欠陥とみなされるべきものではない。むしろ、現実をそのまま写し取ろうとするときにすら混入せざるをえないフィクションこそが、文学を文学たらしめるものであり、今なお文学が必要とされるゆえんでもあるはずだ。 この授業では、前半は小説などフィクションから、後半は旅行記や自伝など広義のドキュメンタリーから、重要な作品を選び、いくつかの部分翻訳を通して掘り下げて読解することによって、その作品の魅力を説き明かす。みなさんは、授業を手がかりに読書を進めることによって、文学テキスト読解の実演に接すると同時に、文学の魅力、さらに言えば〈凄み〉を認識することになるであろう。						
評価方法	学期末に提出していただく 4000 字程度のレポートによる (詳細はガイダンスおよび授業中に指示する)。						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31659	S	言語文化論	長屋 尚典	文学部	金 5	1225 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	世界の言語と言語類型論入門 世界には 6000 から 7000 ほどの言語が存在すると言われるが、これらの言語はどのように同じでどのように異なるのだろうか。この問いに取り込む言語学の分野を言語類型論と呼ぶが、この授業ではその言語類型論という学問体系の導入をおこなう。言語類型論の基礎を学んだうえで、それがそれぞれの言語でどのように現れるのかを具体的なデータに基づいて考えていく。そこでは言語類型論的研究に還元され得ない、個別言語の特殊性も議論されることになるだろう。						
評価方法	出席・課題提出・発表 (50%) およびレポート (50%) 履修者多数でレポートによる評価が難しい場合はレポートに代えて試験を実施する。						
教科書	プリントを配布する。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30021	S	記号論理学 I (理科生)	岡本 賢吾	哲学・科学史	月 1	743 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	記号論理入門 - 命題論理・一階述語論理の証明論・意味論と、一階理論の代表的事例 記号論理の体系として現在最も標準的となっている、G・ゲンツェンが開発した「自然演繹の体系 (NJ/NK)」を、 初歩から丁寧に学び、実際の証明構成を行えるようにする。命題論理、述語論理と順を追って検討し、正規化・健全性・ 完全性など、メタ論理の基本的話題を学んだ後、実際の数学的応用 (公理的集合論、順序集合論の初歩など) をいくつ か見た上で、形式的自然数論 (ハイティング算術/ペアノ算術) に進み、数学的帰納法を含む証明構成を詳しく分析す る。論理学、哲学、計算機科学に関心のある人、またより一般的に、数学の論理的構造をよく理解したい人にとって、様々 に有用な事項や興味ある情報が提供されるだろう。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験による。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31306	S	記号論理学 I (理科生)	齋藤 浩文	哲学・科学史	金 5	743 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	現代形式論理学入門 現代形式論理学の基礎としての命題論理・述語論理について、自然演繹の体系を通して学び、証明の方法に習熟すると もに、意味論の意義についても理解することを目指す。時間が許せば、若干の進んだ話題にも触れる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験によって評価する。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31305	S	記号論理学 I (文科生)	上田 知夫	哲学・科学史	木 1	1101 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	記号論理学入門 この授業では、命題論理と述語論理について扱います。具体的には、命題論理と述語論理について、記号化の仕方、意味 論、構文論をそれぞれ扱います。 この授業での目標は、命題論理や述語論理についての意味論と構文論を具体的に学ぶことを通じて、論理的な思考の仕方 を身につけることにあります。						
評価方法 教科書 ガイダンス	基本的に定期試験によって評価します。 学期の途中で、自由提出課題を課すことがあります。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30895	S	表象文化論	一條 麻美子	超域文科科学専攻	木 1	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ヨーロッパ中世の受容 中世という時代を、その後のヨーロッパはどのように評価し、受容したのか。中世に創作された英雄叙事詩を軸に、 それらの文化、芸術、政治世界での取り扱いを時代ごとに追いながら、イメージとしての中世がリバイバルする理由を 考察する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験もしくは学期末レポート 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31149	S	演劇論Ⅱ	河合 祥一郎	超域文科科学専攻	金 2	1322 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	『ハムレット』論 ローレンス・オリヴィエ、メル・ギブソン、ケネス・ブラナーらの映画『ハムレット』を比較して、ハムレット表象の問題を視野に入れつつ、『ハムレット』という作品の核心に迫る。						
評価方法	最終試験(持ち込み可)。但し、他の人のノートのコピーの持ち込みは不可。(カンニングとみなし、厳しい処置があるので注意)。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31150	S	美術論	三浦 篤	超域文科科学専攻	月 5	1323 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	西洋絵画の見方(伝統絵画篇) 現代を生きる私たち日本人が、主体的に西洋絵画に接するために必要な構えやこつ、実践的な見方を学ぶための講義です。対象はルネサンスから18世紀までの伝統的な西洋絵画とし、神話画、宗教画、寓意画、肖像画、風景画、風俗画、静物画等々、主題ジャンル別に説明を加えます。知識だけではなく、絵と対話する姿勢や視点を身につけることを重視しているため、講義は画像を見せて、作品を具体的に分析しつつ行うつもりです。美術の好きな人も、美術に近づきたい人も、美術を少しはのぞいて見たい人も、1枚の絵のつぶやきに耳を傾け、背後の文化にも触れてみましょう。きっと新しい世界が広がるはずです。						
評価方法	レポートの提出。授業の内容に関連した絵画作品を実際に見て、授業で学んだことを生かしながら、記述、分析、考察した結果を報告する。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 『まなざしのレッスン 1. 西洋伝統絵画』 著者(訳者) 三浦篤 出版社 東京大学出版会						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31367	S	美術論	加治屋 健司	超域文科科学専攻	火 2	1331 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代日本美術史 第二次世界大戦後の日本で作られた主な美術作品を学びます。国外の美術動向や近年の研究成果を踏まえて、現代日本美術史を理解することを目指します。その際に、作品の形態、意味、社会的役割が従来と比べてどのように変化しているのか、美術表現がどのように歴史や社会と関係しているのか、現在と密接に関係する美術をどのように歴史的に考察するのかといった問題についても考察します。						
評価方法	指定した複数の展覧会を見ることを要件とし、現代日本美術史に関して書いた期末レポートに基づいて成績評価を行います。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30858	S	映画論	韓 燕麗	超域文科科学専攻	水 5	533 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	映画を読むこと、語ること 映像表現の基本的な概念について学ぶ。 映画を詳細に分析するのに役立つ原則を習得させることが目標である。						
評価方法	授業中に記入してもらったコメントおよび期末レポートなどによって総合的に評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30859	S	比較文化論	ヘルマン ゴチェフスキ	超域文科科学専攻	水 5	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>西洋音楽の演奏解釈史 1-録音以前 この授業は通年の講義の第一部として計画されており、第二部は科目名「音楽論」（講義題目「西洋音楽の演奏解釈史 2-録音時代」）で2019年度のAセメスターに行う予定である。ただし第一部でも第二部でも単独で履修できる。</p> <p>第一部「西洋音楽の演奏解釈史 1-録音以前」では主に19世紀の演奏史を扱う。18世紀以前の演奏者は主に同時代の音楽を演奏した。また、自作自演、即興なども重視され、今日のクラシック音楽の演奏者とはイメージがかなり違っていた。しかし1800年頃から音楽文化の中心が教会や宮廷から市民や音楽祭へ移っていくプロセスの中で聴衆の「教養」と演奏者の「レパートリー」である音楽的な「古典」（クラシック）が成立する。最初に「古典」として認められたのはハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの音楽である。彼らの作品が今日も「古典派」と名付けられていること、また後に同様な社会的構造の中で演奏されてきた、より広いレパートリー全体が「クラシック音楽」と呼ばれるようになったことは、この1800年前後の音楽文化の変化に原因がある。</p> <p>狭義の「古典派」にしても、広義の「クラシック音楽」にしても、「古典」の作品は日常の文化的環境から切り離された存在である。その点に関しては古典音楽が民俗音楽や大衆音楽と区別される。「古典」となるものは過ぎ去った時代の作品なので、その演奏法が自明でない場合や、音楽形式や美学的背景がただちに理解されない場合がある。つまりその「解釈」が問題になる。</p> <p>19世紀の市民音楽文化において、古典と見なされた音楽作品では、素人による演奏とプロによる演奏が同等に重視された。</p> <p>まず素人の場合を考える。録音が存在しない時代なので、素人にしても、作品を知るもっとも重要な情報源は楽譜である。しかし過ぎ去った時代の楽譜を読み解き、作品の性格と正しい演奏法について判断するには様々な予備知識と経験が必要である。「素人」はそういう知識を十分に持っていないから「素人」である。素人の演奏を重視する社会はその手助けとなる材料を提供しなければならない。従って音楽作品の歴史背景や分析を含む専門家の著作と、歴史的な楽譜を現代風に書き換え、著名な演奏家によって指使いや表情記号などを書き加えられた楽譜が出版される。このような、作曲家側から見て「二次的な」資料の豊富な存在は19世紀の音楽市場の一つの特徴である。これらの資料は演奏史の研究者には貴重な材料となる。つまり録音がない時代ではあるが、このような解説書と楽譜から具体的な演奏法を知ることができる。また専門家と素人がどういふところを重視し、どの問題に悩んでいたかということも知ることができる。</p> <p>プロフェッショナルな演奏家はそれに対して作品の解釈を、言葉と記号を使わず、演奏会での演奏を通して聴衆に伝えることができる。ドイツ語ではクラシック分野の演奏家が一般的に「Interpret」（解釈者）と呼ばれるのはそのためである。演奏者が解釈者、翻訳者、場合によって（「天才」と思われる作曲家を祀る）「司祭」と見なされてきたのは19世紀の古典音楽文化によって生じた一つの文化現象である。また「指揮者」という、演奏解釈において指導的な立場に当たる職業も、19世紀に初めて成立し、今日までクラシック音楽文化を特徴付ける存在である。</p> <p>19世紀の作曲家と演奏者（ピアニスト・指揮者）として大きな影響力を持っていたフランツ・リストは、音楽文化における「作曲」と「演奏」に同等の創造性があり、同等の価値があると主張した。ただしそれは例外的な見解である。原則的に19世紀の古典音楽の演奏者には「作曲家の指示に従う」義務があるとされた。その状況の中で演奏者の「個性」と「主観」がどのように位置付けるべきかという問題が、著名な演奏者を事例に、特に19世紀後半になってから広く議論された。</p> <p>19世紀末には録音技術が開発された。それにより同一の演奏が繰り返して聴かれるようになり、演奏そのものが演奏者の「作品」として後世に残るようになった。それによって演奏研究者に新しい材料が提供され、研究の方法も変わる。しかしそれより重要なのは、演奏者と聴衆の演奏に対する意識が変わり、演奏文化そのものが全く違うものになる。19世紀以前の音楽文化では歴史に残る作曲に対して現在にしか存在しない演奏があった。20世紀以後には演奏にも歴史性が認められる。しかしそれらの問題を主にAセメスターの講義で扱いたい。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>レポート提出または定期試験（参加者の数を見て決める） 教科書は使用しない。 第一回授業日に行く。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31661	S	比較文化論	蓑輪 顕量	文学部	水 5	108 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>心と身体と思想 インド・中国には人間の心を見つめる伝統が存在した。インドはヨーガに始まり、ヴィパッサナーと呼ばれる心の観察が存在したが、のちに仏教では独自の視点を入れて、サマタとヴィパッサナーに二分されるようになった。中国では、身体を流れる気と関連づけられて、心が見つめられた。人間の思想と身体的な実践の結びつきを考えながら、人間が自己と世界とをどのように捉えてきたのかを探究する。また、それは、現代の人々が直面する、苦悩などの様々な問題を解決する糸口に繋がるのが期待される。人間の心と体と、そして思想とが密接に関連しながら展開したことを、理解できるようにすることを目指す。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業途中で課すレポート3割 試験7割の割合で評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30375	S	比較思想	大石 紀一郎	超域文科科学専攻	火 2	514 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	歴史と規範ードイツ哲学史から考えるー カント、ヘーゲル、ニーチェ、ハイデガー、アドルノ、ハーバーマスなど、近現代ドイツの哲学者たちが歴史とその中における人間の生き方や行動の指針についてどのように考えてきたのかを紹介し、われわれが歴史の中でどのようにしてアイデンティティや生きる目的を得られるのかについて考える。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期末の定期試験によって評価するが、授業に十分な回数参加していることが条件となる。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31660	S	比較思想	西村 明	文学部	水 5	1222 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	宗教の世界、宗教と世界 宗教と呼ばれる領域には、さまざまな人や集団や考え方やふるまい方や物や場所やことがらが種々雑多に含まれている。しかし日常的にはそうした人々やものごとに触れる機会は限られている。「宗教はあやしい」とは言うが、では実際、私たちは宗教についてどれほどのことを知っているのだろうか？ それで、その「知る」とはどのような意味においてだろうか？ また、「日本人は無宗教だ」とよく言われるが、世界を見渡せば日本社会ほどさまざまな宗教的な事象にあふれた社会も珍しい。「無宗教」との自覚も自ら選択した結果というよりも、歴史的経緯として構築された側面も強い。そもそも、「宗教」という言葉自体、よくよく考えてみようとするほど輪郭がぼんやりとしてきてはつきりとした像を結ばなくなってしまう。						
評価方法 教科書 ガイダンス	この授業では、宗教をめぐるさまざまなトピックを紹介しながら、「宗教」について共に考えていきたい。そうした作業を通じて宗教を学問的にとらえるための基礎力を養う。 定期試験 (60%)・レスポンスカードおよび授業への積極度 (40%) プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31662	S	比較思想	菊地 達也	文学部	水 5	1214 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	イスラム教の形成 2003 年のイラク戦争以降の中東でイスラム教徒同士の争いが続いたためか、イスラム教では様々な宗派や勢力が常に争っているというイメージが一般的に根付いてしまったようである。だが、そのようなイメージは果たしてイスラム教の実像を捉えているのだろうか？ 本授業では、ユダヤ教、キリスト教という同系統の宗教と比較しながら、預言者ムハンマド没後に生まれた幾つかの争点を巡る思想史を追い、それらの争点がシーア派、スンナ派といった宗派の形成にどのように関わっていったのかを分析することで、ユダヤ教、キリスト教と一線を画すイスラム教思想史の特徴を明らかにする。その上で最終的には、最初期のイスラム思想と現代のそれとの異同を明確にすることを通じて、現在のイスラム教イメージを相対化する視座を構築することも目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期末レポートにより判定。授業時に取り組んでもらう課題(2、3回)も加味。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31307	S	東洋思想史	井ノ口 哲也	国文・漢文学	金 5	513 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国の思想と文化 われわれが生活する日本の思想や文化を理解するためには、歴史的に長い付き合いのある中国大陸の思想と文化について知っておく必要がある。この講義では、通史的に中国の思想と文化を概説する。その際、できる限り、点と線による中国思想史から脱却し、面的にあるいは立体的に捉え得る中国思想史の講義を試みたい。全体的に、中国(人)の「ものの考え方」を知りたい初学者向けの内容である。						
評価方法	定期試験やレポートを課すことはせず、毎回の講義直後に提出してもらうリアクションペーパーを評価する。1 回のリアクションペーパーを 10 点満点とし、講義の回数分の点数を 100 点満点に換算して成績評価を行う。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 『入門 中国思想史』 著者(訳者) 井ノ口哲也 出版社 勁草書房 ISBN 9784326102150 その他 定価：2,800 円+税						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31151	S	西洋思想史	石原 孝二	哲学・科学史	金 2	K212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	精神障害の思想史 精神障害と精神医学の歴史をたどりながら、理性と狂気が西洋の医学や哲学においてどのように捉えられてきたのかを探る。						
評価方法	授業への参加状況と定期試験						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 精神障害を哲学する：分類から対話へ 著者(訳者) 石原孝二 出版社 東京大学出版会						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30270	S	社会思想史	森 政稔	社会・社会思想史	月 5	1331 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近代社会形成期の社会思想:時間と空間の視点から 本年度の社会思想史の授業では、ヨーロッパの近代形成期を主対象として、これらが、先立つ古代および中世の思想に対するいかなる関係において成立したのかを、時間と空間の視点を中心に解明することを主目的とする。 この時期の社会思想といえば、16 世紀前半のマキアヴェリや宗教改革思想、そして大航海時代を受けて、主権国家の本格的な形成が始まり、それを巡ってボダンやモナルコマキらの論争があり、そしてイングランド革命期にはホブズやロックら契約説が形成された。この時期は比較的短い期間に、近代社会の骨格を形成する最重要の理論が形成された。しかもこれらはいずれも重要で現代に及ぼす影響も大きい、相互に対立する要素を含んでいることもたしかである。 このように一筋縄でいかないものとして、政治思想における近代とは何かを理解しようとするのが、この授業の主目的である。それに加えて、このような思想の形成を支えた条件として、大航海時代におけるヨーロッパ世界の社会空間の変化と、17 世紀に頂点を迎えるいわゆる「科学革命」を重要な要因として関係付けることにしたい。						
評価方法	定期試験による。論述タイプの問題を出します。						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30376	S	科学史	橋本 毅彦	哲学・科学史	火 2	1101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	科学史 (History of Science) 科学は何故、どのようにして西洋世界で生まれたのであろうか？ 本講義は、古代ギリシアからの現代の科学までの歴史的発展を概観することによって、科学が生まれ、近代の科学からさらに現代の科学へと大きく衣替えをしながら発展していった様子をたどっていく。						
評価方法 教科書	学期末に試験を課す予定 次の教科書を使用する。 書名 <科学の発想>をたずねてー 著者 (訳者) 橋本毅彦 出版社 左右社 ISBN 978--4-903500-42-3						
ガイダンス	特に行わない。						

## 総合科目 B (国際・地域)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30271	S	国際関係論	石田 淳	国際関係	月 5	K211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		戦争と平和の国際政治学 戦争と平和の問題を中心に、国際政治の概説的講義を行う。《政治》とは、関係者の同意に基づく価値配分にほかならない。この同意を確保する過程が《交渉》である。社会における正統な構成員の資格基準や適切な行動基準について主要な構成員の間に同意が成立すれば、そこに《秩序》があると言えるだろう。この講義では、政治、交渉、秩序をキーワードとして、国際政治がいかなる意味において《政治》であるかを浮き彫りにしたい。					
評価方法 教科書		定期試験 次の教科書を使用する。 書名 『国際政治学』 著者(訳者) 中西寛・石田淳・田所昌幸 出版社 有斐閣					
ガイダンス		第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30377	S	国際関係論	古城 佳子	国際関係	火 2	1313 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際関係における対立と協調 現在の国際関係は、様々な対立の要因を抱えており、国際秩序が揺らいでいると指摘されている。国家間で協調しなければ解決できない問題(大量破壊兵器の拡散、世界経済の不安定、民族紛争、地球環境汚染、貧困、感染症の流行など)も多い。そもそも国際秩序とは何だろう。国際関係の対立と協調はどのように考察すればよいのだろうか。 本講義の目的は、国際社会の特質を理解し、現代の国際社会の問題を考える上で必要な基礎を学ぶことにある。複雑多岐にわたる国際社会の問題の解決を考えるために、主権国家を中心的なアクターとする国際社会において、どのように権力や価値が配分され、それが対立と協調とどのように関係するのか、を考える。 個々の具体的な問題や現象を考えるのはもちろん重要なことであるが、本講義は、特定の現象やトピックの解説を行うことだけに主眼を置かない。それらの現象やトピックを考察する上で必要な概念やアプローチを確認しながら、国際社会の見方を習得して欲しい。対立はなぜ起こるのか、協調はどのように実現できるのかを政治学的視点から検討する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 4/9/20192 限/2nd Period					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30378	S	国際関係史	川島 真	国際関係	火 2	1323 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		東アジア国際関係史 19世紀から21世紀に至る東アジアの国際関係史について講義をおこなう。主に近現代の中国外交史、中国外交について述べるが、適宜、日本や台湾の視点を取り入れ、朝鮮半島も視野に入れながら、東アジア地域の国際関係史の歴史、現在についても講義する。現代から過去を振り返るといふより、歴史的な連続性の観点と、変化・変容の観点との双方から考察する。理系の学生も参加することを考慮し、基礎的な事項に触れながら講義することをできる限り心がける。この講義を受講することにより、東アジア国際関係史の基本的な内容とともに、その歴史的な連続性と変容、さらに現在起きている東アジアの諸問題の原因や背景について理解することができるようになるのではないかと考える。					
評価方法 教科書		受講者が多い場合は試験にするが、事前に問題を公開する。ただし、受験生が多い場合には一定程度マークシートを利用した試験を実施することも考える。 次の教科書を使用する。 書名 東アジア国際政治史 著者(訳者) 川島真・服部龍二 出版社 名古屋大学出版会 ISBN 978-4815805616					
ガイダンス		第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30379	S	現代国際社会論	篠田 英朗	国際関係	火 2	513 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	国際秩序と紛争解決 授業の前半部分では、ヘドリー・ブルらのイギリス学派の理論を提示しつつ、国際社会論の観点から国際関係学や現実世界を見ることの意義について考えていく。理論的な国際社会の構成要件を見た後、国際社会を歴史的に捉える視点および主要な制度的活動領域を論じていく。後半では、特に紛争解決論の視点に焦点をあて、国際社会の協調的活動の代表例としての国際平和活動の理論や実践について議論を進めていく。						
評価方法 教科書	授業参加度合いと、中間・期末レポート 次の教科書を使用する。 書名 国際社会の秩序 著者(訳者) 篠田英朗 出版社 東京大学出版会 ISBN 4130342517						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30861	S	現代国際社会論	阪本 拓人	国際関係	水 5	513 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代アフリカの政治と国際関係 【概要】 現代のサハラ以南アフリカの政治や国際関係について多角的に学ぶ概説的授業である。アフリカの歴史や風土に関する導入ののち、各回の講義で、国家、国民、開発、民主主義、グローバル化、人間の安全保障といった政治学や国際関係論の基本的な概念やテーマを取り上げ、これらを軸に、独立から今日に至るアフリカの国家と国際関係の特徴や変容を、アフリカ内の多様性にも留意しながら、コンパクトに解説していく。						
評価方法 教科書 ガイダンス	【目標】 アフリカは、近年世界の中で急速に重要性を増す地域のひとつである。この講義では、アフリカが直面してきた多様な課題や問題を取り上げることで、学生がこの地域を多角的に理解するための見取り図を構築していくきっかけを提供したい。また、国家や民主主義、グローバル化といった政治学や国際関係論の基礎的な概念をアフリカの文脈において具体化・操作化することで、アフリカのみならず、政治や国際関係全般に対する見方も豊かにしてもらいたい。 主に定期試験の成績に基づき評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30191	S	地域文化論 I	後藤 絵美	地域文化研究専攻	月 3	1108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本・アジア学概論：国際社会で活躍する基盤を身につける 日本の国内経済は曲がり角を迎え、多方面で構造改革が叫ばれている。一方で国境の垣根はますます低くなり、世界標準（グローバルスタンダード）が押し寄せてくるとともに地球全体で取り組むべき課題も山積している。これからは、国際社会で活躍できる人材が求められている。 近年、アジアの成長は目覚ましく、アジアにおける経済、政治、技術、環境など各動向は、国際社会全体を大きく左右する。すなわち、アジアを学ぶことは国際社会で活躍するために不可欠である。						
評価方法 教科書 ガイダンス	本講義は、本学の「日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET)」に参画する教員による日本・アジア学の概論と位置づけられる。様々な視点からアジアを切り取る方法論や知識を学ぶことにより、日本・アジア学の魅力を体験し、国際社会で活躍するためにどのような知識・能力・スキルが必要となるのかを理解する。 (1) 平常点（授業内での発言およびリアクションペーパー）、(2) 課題点（期末レポート）、(3) その他加点の合計によって評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30832	S	地域文化論 I	増田 一夫	地域文化研究専攻	金 2	531 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>「移民」と「統合」——フランスの事例を中心にヨーロッパでもアメリカでも、近年、「移民」が重要なキーワードとしてクローズアップされ、「移民」への反発で大きく政治が動いた。英国が決めた Brexit、アメリカにおけるトランプ候補の当選などはその顕著な例である。それほど問題になっている「移民」とは誰なのか？ なぜ「移民」がいるのか？ 「移民」と「国民」はどう区別されるのか？ そして「移民」と「外国人」の違いは？ 今semesterは、フランスの事例を中心にこれらの問いについて考える。フランスは、他のヨーロッパ諸国とは異なり、移民送り出し国になったことがなく、19世紀以来移民を受け入れている国である。また、2015年以降「テロ」と称される事件が続発していることは知られている。</p> <p>授業では、『移民の記憶』、『スカーフ論争——隠れたレイシズム』などのドキュメンタリーを適宜紹介しながら、フランスにおける移民受け入れの推移を紹介する。</p> <p>また、「移民」を「市民」として統合しようとする努力を重ねる一方で、独特の政教分離の原理である「ライシテ」、共同体主義批判、イスラームフォビアなどの主張が「移民」を招かれざる他者として扱っている状況も確認したい。</p> <p>人口減少のコンテキストにおいて、わが国でも「外国人労働者」をめぐる議論が起こりつつある。だが、「移民」という語はあまり用いられない。それはなぜなのか。この問いも授業の背景として頭の片隅に置いておきたい。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験、何回かのリアクション・ペーパーを通じて評価をおこなう。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31064	S	地域文化論 I	OPPENHEIMER Melanie	地域文化研究専攻	木 4	KALS	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>Australia and its World: cultural, historical and geopolitical perspectives</p> <p>This course investigates Australia's place in the world and its cultural, social and geopolitical histories. Australia is a unique country yet still unsure of its place in the world. What does it mean to be Australian? What is an Australian identity? Are we a British nation, or an Asian nation, or a multicultural nation? Why does Australia remain one of the most urbanized countries in the world yet has such a large land mass and small population? How is Australia viewed in our region? We will explore these questions and more through an historical interrogation of a range of events, issues and perspectives. The course will focus on four main themes: Aboriginal Australia, cross cultural conflict and modern society; war and identity; immigration and multiculturalism; and political structures and international relations with countries including Japan. Classes will offer opportunities for students to work on improving their English reading, writing and oral skills.</p>						
評価方法	<p>1 short essay; 1 final in-class test; In-class participation activities.</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31152	S	比較地域史	赤木 崇敏	歴史学	金 2	1312 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>中央ユーラシア交流史</p> <p>前近代において、ユーラシア全土にまたがる交通ネットワークの中心に位置する中央ユーラシアは、周縁の諸文明圏を結びつける大動脈として人・モノ・文化が行き交い、世界史を動かしてきた。この講義では、中央ユーラシアのなかでも特にオアシス地域にスポットライトをあて、この地域を軸に様々な民族や文化がどのように移動・交流し、ユーラシア世界がいかに変動したかを概観する。それにより前近代中央ユーラシア史の基礎知識を身につけるとともに、歴史の流れを巨視的に掴む力を養うことを目標とする。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験と平常点（毎回コメントシートを提出）で総合的に評価する。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31153	S	日本文化論 I	光延 真哉	国文・漢文学	金 2	512 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>歌舞伎の表現 外国人観光客の増加に伴う日本文化への関心の高まり、あるいは昨今の歌舞伎界における話題性のある数々のトピックスによって、歌舞伎を知りたい、理解したいという潜在的な欲求はいよいよ盛り上がりを見せつつある。このように歌舞伎に漠然とした興味は持っているが、何やら得体が知れず難しそう、だから敬遠する。これが現代日本人がしばしば口にする「歌舞伎は敷居が高い」という現象である。</p> <p>歌舞伎を現代人に難しいと感じさせるひとつの要因は、その「表現」の特殊性にある。現代人はテレビドラマや映画などで〈写實的〉な劇に慣れているが、歌舞伎は〈様式的〉な表現を主体とする演劇なのである。</p> <p>この授業では、歌舞伎における様々な表現技法について、適宜舞台映像を鑑賞しながら理解を深め、歌舞伎に対する「敷居の高さ」を解消することを目標とする。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>リアクションペーパーによる平常点とレポート プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31308	S	日本文化論 I	出口 智之	国文・漢文学	金 5	1331 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>樋口一葉を読む 近代を代表する作家の一人でありながら、現代とは異なる風俗習慣のうえに立って作品を執筆したため、注釈や解説などなしでは独力で読むことが難しい樋口一葉の小説を取上げ、解釈する。それを通じて明治 20 年代の文学・社会への理解を深めるとともに、文語で書かれた作品に親しみ、その後の近代文学を捉えなおす視座を身につけることを目標とする。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>受講人数にもよるが、実施が困難なほどの大人数でないかぎり、原則として定期試験による。 次の教科書を使用する。 書名 にごりえ・たけくらべ 著者(訳者) 樋口一葉 出版社 新潮文庫 ISBN 978-4101016016 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30862	S 1	日本語日本文学 I (理 科生)	品田 悦一	国文・漢文学	水 5	105 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>珠玉の『万葉集』 『万葉集』4500 首より、とびきり味のある歌を見繕ってお届けする。シェフの私が腕によりをかけて、素材の持ち味を最大限に引き出す調理法を披露するから、どうぞ堪能あれ。いい歌とそうでもない歌の違いが分かるようになればしめたもの。つまり「違いの分かる大人」になることが目標だ。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>試験によって評価する。持込可。ただし授業の進行次第ではリアクション・ペーパーを書かせる回があるかもしれない。 次の教科書を使用する。 書名 万葉集本文篇 著者(訳者) 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之 出版社 塙書房 ISBN 4-82773-0081-X 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31283	S	日本語日本文学Ⅱ	松岡 心平	国文・漢文学	金 4	1213 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>翁（おきな）論—日本演劇の発生と天皇制の変容 14Cに世阿弥が大成した「能」という仮面劇の源流は、鎌倉時代に生まれた〈翁〉という儀礼芸能にさかのぼる。この講義では、まずは〈翁〉という儀礼がどのようにして発生し、それがまた「能」という仮面劇にどのように展開していったのか、を考えてみたい。</p> <p>〈翁〉の発生のプロセスで重要なのは、〈後戸（うしろど）〉という空間ないし観念である。〈後戸〉は、仏堂中央に鎮座する本尊の背後あるいは裏側の空間である。〈後戸〉は、貴と賤、聖と俗、現世と冥界の接点・境界であって、力の発生の場所であり、見方をかえれば、国家の拠り所としての仏教と、大地神のような土着の神々が結びあい習合していく、結節点ともいえる空間であった。</p> <p>この〈後戸〉を母胎として〈翁〉が発生してくるという事象は、平安末から鎌倉時代にかけて、広般に日本の古層の神々、大地神のなものが復活してくる、その一環であった。</p> <p>天皇という存在もまた、『古事記』『日本書紀』に描かれるような国家的な神道世界だけに頼るのではなく、それらを支える古層の神々とも秘かな契約を結ぶことで新たな力を得て、復活をはかろうとするのである。天皇制の変容といえる事態である。</p> <p>ともあれ、能という芸能、とりわけその発生の局面を注視することで、日本の政治・文化・宗教史の読み換えをはかってみたいと思う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31309	S	東洋古典学	田口 一郎	国文・漢文学	金 5	1222 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>漢詩（中国古典詩）入門 東洋で広く古典として読まれてきた、中国古典詩（所謂漢詩）の基本的な知識の習得と、読解力の養成を目標とします（漢詩の制作については求めません）。</p> <p>各時代の代表的作者・作品に触れながら、漢詩の構造・読み方、基本的な背景知識について講義します。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>試験による 次の教科書を使用する。 書名 漢詩入門 著者(訳者) 一海知義 出版社 岩波書店（岩波ジュニア新書） ISBN 4005003044 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30863	S	西洋古典学	筒井 賢治	地域文化研究専攻	水 5	1212 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>ギリシア・ローマ文学の概要 ヨーロッパ系文化の基礎をなすギリシア・ローマ古典文学をひとつおり紹介する。 近現代の文学と異なり、ギリシア・ローマ文学には形式上の制約が数多くあるので、その点を特に詳しく説明する予定。 できるだけ原典（翻訳）を紹介するようにする。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30380	S	歴史社会論	桜井 英治	歴史学	火 2	1225 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		戦国時代史 応仁・文明の乱後、室町幕府が全国政権としての実体を失うと、各地に戦国大名が出現し、自立的な分国支配を展開する。さまざまな出自を有する彼らの権威・権力をささえていたものとは何か。戦国大名の権威の源泉と権力の構造、近世権力との連続性・断絶性の問題等を検討しながら、日本史における16世紀の意義について考える。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末の筆記試験で評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30896	S	歴史社会論	亀長 洋子	歴史学	木 1	1222 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中世ジェノヴァ人の対外進出～海に生きるジェノヴァ人～ この講義では、イタリア海洋都市国家の中でも中世地中海・黒海世界の雄として活躍したジェノヴァ人の行動様式の個性について、対外関係の問題を中心に、具体例を挙げながら考察します。扱う分野は外交・制度・植民とネットワーク・社会生活と多岐にわたり、時期も十字軍期から、近世前半まで幅広く扱う予定です。「ジェノヴァ人、すなわち商人」という言葉に象徴される、海洋都市国家の商人達のメンタリティー、中世のグローバリゼーションのなかで展開する国家と個人の関係などを楽しんで聞き、個々の歴史的事象の持つ意味を構造的に理解するいただければ幸いです。ジェノヴァ人の活動領域は北西ヨーロッパからアフリカ・アジアまで幅広いですが、特に黒海・エーゲ海世界の話に力点を置きたいと考えています。					
評価方法 教科書 ガイダンス		学期末のレポート提出が1回あります。出席はとりませんが、レポート内容はほぼ講義内容に基づくもののみが求められます。 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30381	S	近現代史	磯部 裕幸	歴史学	火 2	523 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「歴史における『転換点』—「出来事」と「構造」で学ぶドイツ近現代史」 近現代ドイツの歴史においては、しばしば政治体制や社会構造の大規模な転換を伴う出来事が起こった。歴史を学ぶ際には、そうした「出来事(事件)」の経過についての正しい知識が不可欠であることは言うまでもない。しかし同時にその「出来事」の背景や後の時代に与えた影響関係を知ること大切である。本授業では、ナポレオン期以降のドイツ史における「転換点」を取り上げ、その経緯を確認するとともに、その出来事によって何が、どのように変わったのかを考える。そうした作業を通じてドイツ近現代史の基本事項を学び、あわせて「変化の学」であり「構造の学」でもある歴史学の方法論についても考究することとしたい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期(期末)試験を実施する。 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31310	S	歴史と文化	井坂 理徳	歴史学	金 5	162 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		衣食住からみたインド近現代史 この授業では、19-20世紀におけるインド社会の変遷を、衣食住をめぐる議論に着目しながら考察する。それぞれの時代において、衣食住のあり方をめぐり、異なる立場やコミュニティに属する人々がいかなる見解を示し、それらを日常生活のなかでどのように実践していたのか、衣食住をめぐるどのような論争や対立が生じていたのか、などの問いを、具体例をもとに検討する。インド近現代史への理解を深めるとともに、様々な史料に触れながら、歴史研究の可能性について考察することを目的とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験による。ただし授業中に回収する課題も若干の割合で評価対象に含める。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31664	S	世界史論	島田 竜登	文学部	月 4	1323 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>近代世界とアジア・日本 本講義では、16 世紀以降の近代世界の諸相を検討しながら、グローバル化時代の現代に生きるわれわれにとって、世界史とは何かということを考える。15 世紀末から、アメリカ大陸を含めた世界の一体化が急速に進展する。モノや人、情報がグローバルなスケールで移動し、人々の生活が大きく変化し、現在のわれわれの住む社会を生み出していったのである。本講義は近年盛んとなっているグローバル・ヒストリーの立場から近代世界を考察し、その中で東洋史や西洋史、日本史といった歴史学の意義を考えてみたい。</p> <p>本講義は、いずれ文学部に進学し、東洋史、西洋史、日本史といった歴史研究を志す学生にはもちろん、社会科学や自然科学を専門とするも、とくに長期的な視点に立って現代を考えようとすることに関心のある学生にも有意義なものとなるであろう。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>試験を実施する。 プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30864	S	世界史論	大塚 修	歴史学	水 5	521 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>中東イスラーム地域の歴史から世界史を考える 現在、世界のイスラーム教徒の人口は、アジアやアフリカだけではなく、ヨーロッパにおいても増加傾向にあり、国際社会におけるそのプレゼンスは、日に日に高まっています。その一方で、イスラーム原理主義者やアメリカを中心とする西欧諸国から発信された、イスラームに対する偏った理解が広まっている状況にあります。この授業では、既存の理解から距離をとり、中東イスラーム地域の歴史と文化を勉強することで、歴史的な視点から、イスラームに関する基礎的な知識の習得を目指します。その上で、世界史における位置付けと人類の歴史に果たした役割について考えます。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験 (60%)、平常点 (40%) 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31663	S	世界史論	高山 博	文学部	水 5	518 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>国際政治、経済、社会の変容とメディア グローバル化と情報化が急速に進展する中、世界の構造も日本の社会やシステムも劇的に変貌しつつある。国内外で活躍する人材には、国外の情報を的確に選別・分析し、世界の中における日本の位置や、世界全体の動きを冷静に見通す能力がますます必要とされている。この授業では、国外のメディアから出される情報を検討しながら、現代世界のグローバル化を考察する。変革期を乗り越え、グローバル化した世界でリーダーシップを発揮できる人材となるために必要な知識の獲得と情報分析技術の取得を目指す。</p> <p>最初の授業で、受講者をヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア・アフリカ地域の三つのグループに分け、毎週各グループから一人ずつ、その担当する地域に関する重要な記事（日本語以外の新聞・雑誌からのもの）の報告と分析を行う。選考を行うので、氏名、学生証番号、学年、科類、連絡先（メールアドレスなど）とともに、受講希望理由を A4 サイズの紙一枚にまとめ、最初の授業に持参すること。</p> <p>※履修人数を 18 名に制限する。 授業での報告・ディスカッションを基に評価する。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業での報告・ディスカッションを基に評価する。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31154	S	世界史論	小澤 実	歴史学	金 2	522 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ヴァイキング世界論 本講義では、ヴァイキングと呼ばれる初期中世スカンディナヴィア出身の集団が、初期中世の西ユーラシア世界をどのように変容させ、ヴァイキング世界と呼ぶべき政治文化空間を形成したのかを概観する。また、そのようなヴァイキングの活動を事例として、中世におけるグローバルヒストリーの可能性についても論じる。</p> <p>学期末の筆記試験による評価 授業中に指示をする。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30865	S	文化人類学 I	田辺 明生	文化人類学	水 5	523 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>文化人類学入門—現代世界を問い直す 現代世界に生きる私たちにとって、人類学的知がもつ意義と可能性について論ずる。つきつめて言うならば、「自己」と「他者」、「人間」と「非人間」、「社会」と「自然」の関係における対立・分離（二）と融和・統合（一）の両面を奥深く認識することこそが、人類学的知の要諦である。一が二であり、二が一である世界とはどのようなものか。そうした知のありかたは、現代世界にいかなる意義と可能性を持つのか。私たちが生きるアクチュアルな問題群をとりあげながら、人類学からのオルタナティブの考え方を提示したい。本授業では、人類学的思考の基礎を学んでもらい、そこから現代世界を問い直すきっかけをつかんでもらうことを目標とする。</p> <p>授業毎のリアクションペーパー（20%）、最終レポート（80%） 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30382	S	民族文化論	岩本 通弥	文化人類学	火 2	1222 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>現代民俗学入門—日常学としての民俗学 授業の目標： 現代民俗学の概観を講義する。1970 年以降、認識論的な大転回を遂げたドイツの民俗学理論を、主として日本の事例に照らし合わせながら、紹介する。</p> <p>授業の概要： 民俗学とは何か。多様な定義があるものの、日本民俗学の創始者とされる柳田國男は「事象そのものを現象として、ありのままに凝視し、『わかっている』、『当たり前だ』といわれているその奥の真理を洞察すること」（『民間伝承論』1934）だと定義した。身の回りの日常的でありふれた事象への着目が、民俗学の起点となるが、1970 年の「ファルケンシュタインの原則」以降、ドイツでは「民俗」ではなく「日常（alltag）」を対象化し、文化形態の移転のプロセスを分析する科学としての民俗学が構築される。本講義では、未だロマン主義的傾向の強い日本の「民俗」学ではなく、科学としての民俗学を具体例を通して示していく。</p> <p>定期試験期間中に論述式試験 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31311	S	現代文化人類学	鈴木 舞	人類学	金 5	1102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>科学・テクノロジーの文化人類学</p> <p>文化人類学は元来、いわゆる伝統的世界をその対象とし、分析対象地での長期間の調査であるフィールドワークとそれに基づいたエスノグラフィによって、文化的社会的存在としての人間のあり様を描き出してきた。しかし、グローバル化等による伝統的世界の変容や文化人類学者の調査が内包する権力性への批判等により、文化人類学は転換を遂げ、近年、現代世界を対象とした研究、とりわけ現代世界で重要な役割を果たす科学やテクノロジーに関する文化人類学的研究が実施されている。科学やテクノロジーは、一見文化や社会とは無関係のように見えるが、実のところその生成プロセスは文化的社会的性格を帯びている。さらに、我々の日常がそれなしでは成立しえないことからわかるように、科学やテクノロジーは文化や社会へも大きなインパクトを与えており、文化人類学の分析対象として非常に重要である。</p> <p>本授業では、まず伝統的世界に関する文化人類学とその展開を概観した後、現代世界、特に科学的実践の現場であるラボラトリー(実験室)での活動やテクノロジーの形成プロセス、科学やテクノロジーと文化や社会との関係性に注目した文化人類学的研究を紹介し、現代世界の様々な課題が社会科学の観点からいかに分析可能かを明らかにする。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>リアクションペーパー(30%)と期末試験(70%)。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						

## 総合科目 C (社会・制度)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30897	S	日本国憲法	福岡 安都子	法・政治	木 1	1106 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書	<p>教養としての憲法 法学を必ずしも専攻しない学生を対象に、「日本国憲法」の基本的原理を、その歴史的背景にも配慮しつつ講義する。 定期試験による。ただし授業への出席も重視する。 次の教科書を使用する。 書名 『立憲主義と日本国憲法』 第4版 著者(訳者) 高橋和之 出版社 有斐閣(2017) その他 上記はシラバス入力時における最新版であるが、もし、授業開始時までの間にさらに新しい版が出版された場合はそちらを使用するので、購入の際には注意すること。</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行く。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30866	S	ジェンダー論	瀬地山 角	社会・社会思想史	水 5	1323 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>セクシュアリティとジェンダーの社会学 セクシュアリティとジェンダーについて、大学生として最低限知っておくべき知識を伝える講義です。 前半のセクシュアリティ編については、「下ネタの講義」という誤解、風評被害に悩まされていますが、きちんと履修した学生さんはそのような感想を決して持たないはず。そういった愚かな反応がなぜ起きるのかも含めて、一貫した問題意識の下で「社会科学の立場から性を考える」とはどのようなことなのかについて論じていきます。「本能」だと勘違いされている「性」を自然科学とは異なるアプローチで読み解きます。 ジェンダー編は、みなさんの人生設計そのものに関わります。この講義は東大全体で女性の履修者がもっとも多いもので、優秀な女子学生の未来が、男子学生のそれとどう関わりを持つのかについても、この講義を通じて、考えてもらいたいと思います。</p>						
評価方法 教科書	<p>今回 2017 年末に出した本を教科書として指定していますが、それに則って講義をするものではありません。講義で触れるいくつかの論点について、『ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア』の中で言及している、というだけです。 定期試験 次の教科書を使用する。 書名 ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア 著者(訳者) 瀬地山 角 編著 出版社 勁草書房</p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30272	S	日本の政治	竹中 治堅	法・政治	月 5	513 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>日本の権力構造：安倍長期政権の解明 安倍晋三内閣は7年目を迎え、長期政権となっている。 安倍首相は発足当初から「三本の矢」：大胆な金融緩和、機動的な財政運営、成長戦略を掲げ、経済成長政策に積極的に取り組んだ。2015年秋頃より「働き方改革」「人づくり革命」などを掲げ、重点を社会・労働政策に切り替えて、政権を運営してきている。冷静に見ると、安倍内閣はアナウンスなく、社会民主主義政策の本格的実施に踏み切ったとも言える。また対外政策ではTTP、次いでTPP11、さらに日EU間のFTA交渉を妥結に導いた。その一方、「積極的平和主義」を主唱、集団的自衛権についての憲法解釈の変更にも踏み切り、15年9月に安保関連法制を成立させた。この結果、日本は集団的自衛権を一定の条件のもとで行使できるようになった。また、従来に比べ、アメリカをはじめとする他国の軍隊に後方支援を行える条件が緩やかになったことにも注目しなくてはならない。さらには憲法改正に意欲を示し、自民党内で改憲議論が進んでいる。 安倍首相は以上の政策をどのように実現していくのだろうか。安倍内閣の下で政策はどのように立案され、実施されているのか。 振り返ってみると小泉内閣は2001年4月から2006年9月までの長期政権であった。その後、存続期間が1年前後の短命政権が続いた。安倍内閣の場合はどうか。 2000年代以降の日本の政治を分析する上で一つのことを留意する必要がある。それは、1990年代から2001年にかけて日本の統治構造が大きく変革されたということである。この変革は日本の権力構造を大きくかえ、その中で、長期政権や短期政権が現れている。基本的には首相の指導力は高まっており、その傾向は安倍内閣の下でも続いている。 2018年度の「日本の政治」の目的は二つである。第一の目的は、日本の権力構造や政策決定過程のあり方を理解することである。より具体的には次の三つを理解してもらいたい。一つは日本の権力構造の長期的変化のあり方。二つは日本の政策決定過程のあり方。三つは、この二つを踏まえた上での現在の安倍内閣の権力構造や官邸を中心とする政策決定過程のあり方。 また、講義と併せて、①戦後日本の政治の歩み、②現代日本の権力構造を分析する代表的な本、論文をシラバスにそって講読することが、重要な履修条件となる。 第二の目的は受講者にレポートの一つの書き方を修得してもらうことである。レポートを書くことには単にレポートで取り上げるテーマについて 情報としての知識を身につけることにとどまるものではない。レポートを書く作業を通じてわからないことを調べる力、ものごとについて考える力、多くの事象を重要な点にしばって観察する力を養うことになる。 授業ではSNSの活用などにより双方向性を作り出すことを試みる。 日本政治を見る力を養うために、本授業の受講者に多くのことを学んでもらいたい。従って、本講義の受講者は以下の三つの履行条件を満たすことが求められる。</p>						
評価方法	<p>① 定期試験 講義内容を基に出題される定期試験を受験すること。 ② 課題 毎週出される課題を宿題として行い、提出すること。 ③ レポート作成 受講者自身が「日本政治においてなぜXという現象がおきるのか」という問いをたてた上で、それに対する答えを議論すること。 課題、レポートの内容については第1回授業時に説明する。</p>						
教科書	<p>次の教科書を使用する。 書名 首相支配：日本政治の変貌、日本の統治構造、二つの政権交代、自民党：一強の実態 著者（訳者） 竹中治堅 飯尾潤 竹中治堅 中北浩嗣 出版社 中公新書 中公新書 勁草書房 中公新書 その他 首相支配はKindle版を利用</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31753	S	計量社会科学	清水 剛	経済・統計	火 2	K212	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>経営政策科学 【注意】この授業は、2014年度以前入学者には、総合科目C系列 経営政策科学 として開講される。 この授業では、現在の日本企業を理解するために、まず戦後の日本企業において典型的だと考えられてきた仕組み、すなわちいわゆる「日本型企業システム」を取り上げ、実際にどのような仕組みが動いており、またそれはなぜ機能しているのかを検討し、またとりわけ1990年代以降どのような変化を経て現在に至っているのかについても明らかにしていく。このような検討を通じて、日本企業、あるいは一般に企業というものの仕組みやそこで起こっている現象について一応の理解を得ることが本講義の目的である。</p>						
評価方法	<p>定期試験による</p>						
教科書	<p>教科書は使用しない。</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31637	S	現代経済理論	岡崎 哲二	経済学部	金 2	525 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	経済学研究の現在を理解する 経済学各分野の第一線で研究に従事している研究者が、それぞれの分野における研究の現状をわかりやすく解説し、経済学のおもしろさ、有効性についての理解を共有することを目標とする。						
評価方法	各講師がレポートの課題を設定し、履修者はその中から1つの課題を選択してレポートを作成、提出する。評価は選択された課題を設定した講師が行う。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31312	S	現代経済理論	鍾 非	経済・統計	金 5	525 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>経済分析の基礎：「数学的因果関係」である関数から始まるミクロ経済学・マクロ経済学・数理統計学</p> <p>数学的因果関係は、<math>y=f(x)</math> という関数 (函数：function) によって表される。函数における因果の「極端的つながり」を示す「微分」(<math>\Delta x \rightarrow 0, \Delta y/\Delta x</math>) について、(厳密性を度外視し) 面白く語ってみよう。紙幅の制限に配慮し、ほとんどの東大生にとって常識である微分の定義式を前頭葉に刻みつつ (場所とらず)、「知的想像力」も少し働かそう (「ユーモア」という特製調味料を小さじ 1/256)。恋人を喜ばせるため、誕生日にプレゼントを贈る者が多い。恋人の「笑顔の度合い (y：果)」と「プレゼントの値段 (x：因)」の関係に注目したい (いずれも「数値化可能」と仮定)。おにぎり一個に比べ、ドイツの高級車・ベンツ一台 (<math>\Delta x = \text{ベンツの値段} - \text{おにぎりの値段}</math>) をもらった後の恋人の「破顔の増加幅 (or 喜びの増分)」が天文学的数字に跳ね上がる (<math>\Delta y \rightarrow \infty</math>) のは至極当然であり、おにぎり一個と比べて幕内弁当ひとつ (<math>\Delta x = \text{幕内弁当の値段} - \text{おにぎりの値段}</math>) を食べさせた後の恋人の僅かな喜びの増分をも見逃さずきちんと比較するのが、微分。もちろん、「ゼロに限りなく近づく値段の (微小な) 増分」(<math>\Delta x \rightarrow 0</math>) をより正確に強調したければ、(一番安いのがおにぎりであることを考慮に入れて) やや高価な幕内弁当を二番目に安いだらう食パンに置き換えたほうが、もっと適切 (ただし、大多数の場合)。微分の親戚は、積分 (同じ事例による定義のユーモア溢れる展開は、ご想像にお任せしますよ)。本講義は、因果関係の大本を異なる角度から捉える微積分 (文系の高校数学でも必修) の紹介を皮切りに、経済分析における様々な概念を、その数量的本質を踏まえて詳しく解説。「ものの値段が上がれば、消費者はどれほど買い控えるか?」(ミクロ経済学)「一国の経済成長率が上昇すると、失業率はどう変わるか?」(マクロ経済学)「説明変数が 1% 上がると、従属変数はどう反応するか?」(数理統計学) などなど、ミクロ経済学 (例えば「効用」)・マクロ経済学 (例えば「比較静学」「動学」)・数理統計学 (例えば「回帰分析」) にとって、微積分を出発点とする数量分析こそ、揺るがぬ礎。数、実数、有理数、無理数、関数、因果関係、微積分、指数関数、対数関数、行列 (以上、文系の高校数学)、限界、平均、弾力性、(不) 効用、価格、収入、予算制約、利潤、費用、極大 (or 極小) 化、消費者・生産者 (or 企業) 行動、市場、均衡 (or 不均衡)、価格 (市場経済の自動調節機構 or 「神の見えざる手」)、競争、独占、市場の失敗、余剰、パレート最適 (or 効率性)、国家 (or 「政府の見えざる手」、習近平の台詞)、税、所得税、関税、公共財、モラル・ハザード、逆選択、ただのり、(不) 平等、Gini 係数、マクロ経済政策 (or 乗数効果)、GDP、貨幣、IS-LM 曲線、金融・財政、金利、財政赤字 (黒字)、腐敗 (or 「政府の失敗」)、経済成長 (率)、インフレ (デフレ)、失業 (率)、確率、平均、偏差、偏差値、分散 (標準偏差)、共分散、相関係数、最小二乗法 (少なからぬ専門用語を掲げたものの、全部ではない；英文省略) といった重要な基本概念を深く掘り下げて吟味。なお、授業中に試験と似通った計算問題をも適宜出題・解答。「地に足のついた姿勢で、根掘り葉掘りわからせる」のが、方針。絡み合った複雑な事柄を平易に解説することに努める。「脳筋 (≒天性)」を鍛えるのにこだわった授業を心掛ける。たとえば、成長率の表し方 (マクロ経済学) を紹介するとき、なぜ「<math>e</math>(Napier's Number)」という無理数を base とする指数関数 (<math>\exp x</math>) およびその「いとこ」にあたる自然対数 (<math>\ln x</math>) が決定的に重要であるかを、「逆関数」という指数関数と対数関数の関係にさかのぼって証明していく (市販のテキストには見られず)。一昔前、数学をほとんど使わぬ統計学のテキストを書いたある先生が、本のタイトルを「涙なし・・・」(未確認) とした。それと正反対の意味で (その考え方を否定したくなく、「悔し涙なし・・・」をむしろ肯定したい)、本講義のサブ・タイトルを「嬉し涙ありの経済分析」としてもなかなか興味深い。教育者の着眼点や意図が異なる、大層有益な意見対立だからだ。文系レベルの高校数学にアレルギーさえなければ、誰もが興味津々に受講可能。もちろん、理系受講生と数学を得意とする者を決して飽きさせない。一年生も二年生も他学部生も PEAK 生も聴講生も大歓迎。テキスト (分量多し、全部読まなくていい)、レジメ (テキストの一部=試験範囲；全部必読)、過去問 (詳細な解答を含む) は ITC-LMS (Information Technology Center-Learning Management System) にて公開 (閲覧するには、履修登録が必要)。思えば、ノーベル賞経済学者 Paul Anthony Samuelson (neo-classical synthesis：新古典派総合) は名著 Foundations of Economic Analysis (経済分析の基礎) の扉に、「Mathematics is a language」という、彼が尊敬していた数学者・物理学者・物理化学者 Josiah Willard Gibbs (1839-1903) の言葉を引用した。本講義を通じてその素朴にして興味深い言葉の醍醐味をほんの少しでも味わっていただければ幸い。世間にありふれた「物知りクイズ」と一味、二味も違う、頭の体操である「IQ クイズ」(地頭のみで考えるクイズ) を、授業の翌日にネット出題 (自信のある者は答えを zhongf@hotmail.co.jp まで送信)、翌々日に ITC-LMS で正解発表 (&amp; 正解者表彰)。ガイダンスの「こころ」(本質) を興味深く理解するには、初回 quiz の醍醐味をじっくり味わうのが、大前提。地頭のみで考えよう (以下の記述を、物知りクイズの達人にプレゼントする)。「因果関係」という前述のキーワードを踏まえて言えば、「物知りクイズ」は「果」のみを追い求める無味乾燥な暗記作業に過ぎず、「因あつての果」や両者のつながりを理路整然と究明するのが、IQ クイズ。AI (人工知能) が日進月歩するなか、IQ 指数を高めよう。</p>						
評価方法	定期試験 (筆記用具のみ持ち込み可)。						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 経済分析の基礎：ミクロ・マクロ・数理統計 180 講 著者 (訳者) 鍾 非 出版社 未出版 (故意)						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31776	S	経済政策	安部 竜一郎	経済・統計	水 5	1312 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	経済政策を問い直す 経済政策が常に論争的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能な のか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実逆行しているように見えるのはなぜ か。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学 など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間-社会との相互作用という視点から経済政策を考える。						
評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験 90%、レスポンスシート及び小テスト 10%。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30600	S	現代教育論	丹野 義彦 松島 公望	心理・教育	火 5	1106 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	教育・学校心理学 学校・教育に関連した以下のようなテーマについて、論点や事実を具体的に整理しながら解説する。 ① 「教育現場において生じる問題及びその背景」 世界と日本の学校教育制度 学歴社会の構造と病理 大学入試過熱と入試改革 大学教育の諸問題 教育病理の歴史と構造 ② 「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」 学習と発達心理学 教育現場における心理社会的課題 その1 非行・暴力 教育現場における心理社会的課題 その2 いじめ 教育現場における心理社会的課題 その3 不登校 教育現場における心理社会的課題 その4 不安障害 教育現場における心理社会的課題 その5 抑うつ・無気力 教育現場における心理アセスメント スクールサイコロジスト 教育現場における心理的支援 スクールカウンセラー ●公認心理師資格のための実践心理学科目「教育・学校心理学」に対応する。 ●教育学や教育心理学に関するアンケートや調査を頻繁におこない、フィードバックしていく予定。						
評価方法 教科書 ガイダンス	試験とレポート 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30867	S	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育	水 5	1311 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>教育・学校心理学 誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教え育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もしそうだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師-児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。</p> <p>上記のような立場を基本とする本講義は、教育に関して視野を拡大するとともに、根本的な発想の転換が図れるような力量を育成しながら、教育に関する見識を受講者なりに醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。</p> <p>第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。</p> <p>第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える-教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。</p> <p>第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてでなく、体験的に味わってもらふ。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>学期途中と学期末とで2回程度レポートを実施し、それを基本として成績評価する。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30898	S	教育臨床心理学	橋本 和幸	心理・教育	木 1	1313 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>臨床心理学概論 この授業では、臨床心理学の代表的な理論と技法、およびその実践例について説明する。具体的には、授業担当者の教育領域の心理臨床家（スクールカウンセラーや教育相談センター相談員）としての実践に基づいて展開する。障害や問題およびそれらに対する援助だけでなく、一般的な発達や対人関係なども教育領域での心理臨床の理解のために必要なので紹介する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>学期中にレポートの提出を求める。レポートと定期試験の成績を総合的に評価する。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31313	S	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育	金 5	900 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>臨床心理学概論 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験による。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。</p>						

## 総合科目 D (人間・環境)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30383	S	環境物質科学	佐藤 守俊	化学	火 2	1212 教室	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。</p> <p>本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO<sub>2</sub>による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験を行う。 プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31081	S	生態学	嶋田 正和 鈴木 準一郎	生物	木 5	511 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>生態学 生態学は、身近な環境での生き物の生活史から、地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで、広いスケールを対象にする。同時に、個体内の遺伝的多様性、個体レベルでの種多様性、個体群（集団）や生物群集の動態と多様性、そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで、多段階の階層性を持つことになるので、生態学の理解は多岐に渡り、一筋縄ではいかない面がある。しかし、それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり、生態学を学ぶ面白さでもある。</p> <p>本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半は鈴木が主に植物生態の視点から、日本の自然の特徴／環境と生物の応答／環境条件と生物群集／陸域のバイオーム／生態系での物質とエネルギーの流れ／土壌の生態学などを解説する。後半は嶋田が担当し、餌や住み場所の選択の利用／自然選択の論理と生活史の適応進化／縄張りから血縁集団の社会性の進化へ／個体数変動：安定からカオスへ／生物間相互作用と共進化／生物群集における多種共存機構などを解説する。</p> <p>全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30273	S	社会環境論	松原 宏	人文地理学	月 5	512 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>知識と文化の経済地理学 生産と消費に関わる狭義の経済現象を超えて、イノベーションに関わる知識や技術、創造性に関わる文化芸術産業の集積や地理的環境への関心が高まっている。本講義では、経済地理学の基礎理論である立地論について解説するとともに、知識と文化の経済地理学に関わる多様な話題を取り上げ、産業・企業や人々を取り巻く社会環境のあり方について考えていきたい。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>試験 数回書いてもらう質問票も評価に含める 次の教科書を使用する。 書名 知識と文化の経済地理学 著者（訳者） 松原 宏編 出版社 古今書院 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30244	S	社会生態学	永田 淳嗣	人文地理学	月 4	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	熱帯・亜熱帯地域の人文地理学 東アジア、東南アジアの熱帯、亜熱帯地域における、社会変容、資源利用、開発と環境の問題などを、具体的な事例に則して考えるとともに、人文地理学の基礎的な視点や方法論を学ぶ。						
評価方法 教科書 ガイダンス	試験 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31024	S	社会生態学	梶田 真	人文地理学	木 3	K011	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	公共事業と地域経済・社会 本講義では、マクロな制度や政策とミクロな地域との関係について、公共事業と地域経済・社会との関係を事例に検討していきます。この検討作業を通じて、受講者のみなさんに全国あるいはグローバルなスケールで起きている様々な動きとローカルな地域の動態とがどのように結びついているのかを(人文)地理学的な視点から理解していくための見方・考え方を習得してもらいたいと思います。						
評価方法 教科書 ガイダンス	成績はレポートによって評価します。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30384	S	地域生態学	平井 幸弘	人文地理学	火 2	1214 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ラグーンをめぐる環境誌 —動態地誌の視点から— 1992年の地球サミットでは、「気候変動枠組み条約」と「生物多様性条約」と言う環境に関わる2つの重要な国際条約が採択された。これに象徴されるように、地球温暖化への対応や生物多様性の保全という課題を抱える現代社会では、人と自然の関係を今一度捉え直すことが、私たちに求められている。						
評価方法	本講義では、主として東南アジアの水辺を対象とし、3つの視点(気候変動・海面上昇の影響評価、エビ養殖の集約化、新しいツーリズムの展開)から現代の環境問題について考えて見たい。						
教科書	具体的には、授業担当者が1990年代後半から研究対象地域としている、ベトナム中部フエにあるベトナム最大のタムジャンラグーンおよびその周辺地域を取り上げ、そこで近年起こっている特徴的な環境問題に焦点を当て、それぞれを相互に関連させながら、人と自然の関係また地域の特質について、動態地誌の視点から考える。						
ガイダンス	授業時のコメントペーパー、および最終レポートを合わせて評価する。 次の教科書を使用する。 書名 ベトナム・フエ ラグーンをめぐる環境誌 —気候変動・エビ養殖・ツーリズム— 著者(訳者) 平井幸弘 出版社 古今書院 ISBN 978-4-7722-7138-7 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30192	S	人間行動基礎論 (理科生)	本吉 勇	心理・教育	月 3	900 教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要	心理学概論 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれた知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。 本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、社会性といった「人の心の基本的な仕組み及び働き」を支えている脳情報処理の原理原則と、その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ。それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための視点を身につけることをめざす。人工知能を含めた現代と未来の脳工学技術や、「心理学の成り立ち」にも触れる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席および定期試験による。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30972	S	人間行動基礎論 (理科生)	大久保 街亜	心理・教育	木 2	1323 教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要	心理学概論 「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけて体系立てて説明できること、並びに「心理学の成り立ち」について理解することを目標とする。現生人類は <i>Homo sapiens</i> と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この講義では知覚、記憶、思考、感情といった基礎的な心的機能について紹介する。それらを通して人間の知的側面について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か?」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポート (30%、学期中に何回か提出を求める)、小テスト (20%、学期中に何回か行う)、定期試験 (50%) の3つから総合的に評価する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31315	S	情報認知科学	鈴木 宏昭	心理・教育	金 5	1313 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	知覚・認知心理学 記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験による。 次の教科書を使用する。 書名 教養としての認知科学 著者 (訳者) 鈴木宏昭 出版社 東京大学出版会 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30274	S	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育	月 5	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>神経・生理心理学 &lt;目標&gt; ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に活用できる。</p> <p>&lt;概要&gt; 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験成績による。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30385	S	認知脳科学	四本 裕子	心理・教育	火 2	1106 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>神経・生理心理学 認知脳科学、認知心理学、神経科学に関する幅広い分野の基礎を学ぶ。脳機能の各種測定法、脳刺激法を学ぶとともに、脳の構造やはたらき、脳の発達、感覚・知覚、記憶、睡眠など、さまざまな人間の認知的側面とそれに関連する脳のはたらきについて学ぶ。基本的な内容と合わせて、最近の研究によって明らかになった知見を紹介し、認知脳科学についての幅広い理解と興味をうながすことを目標とする。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>学期末の筆記試験。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30386	S	適応行動論	齋藤 慈子	心理・教育	火 2	900 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>ヒトの心と行動を進化から考える ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の産物である。そのような視点から見ると、人間の心や行動の理解がより深まる。本講義では、前半で進化とは何か、進化と心がどのように関係しているかを理解してもらうために、進化生物学の基本的概念を説明する。次にヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを生んだ系統である霊長類の特徴、ヒトの進化史について説明する。ヒトと霊長類、その他の動物の認知機能の相違についても概観する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。人間の心や行動に関する「なぜ」について、新たな見方を獲得する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>リアクションペーパー 15% 定期試験 85% 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30717	S	社会行動論	北村 英哉	心理・教育	水 2	1323 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>社会・集団・家族心理学 本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。</p> <p>人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、また家族関係が拡大していく毎にその新たな必要性は日々高まっていく「一生使える学問分野」である。その内容はしかしながら単なる「人間関係のコツ、ノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものではなく、実験や調査などの実証研究を土台とした定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるようなきわめて専門的な知識である。しかし、その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によって深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていけるものである。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。</p> <p>心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ場合によっては一生気づかずに過ごしてしまう実にもったいない知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見などは本人で気づくには圧倒的に不可能なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の相互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「相互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。</p> <p>世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っている。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新して行ってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。</p>						
評価方法	80%テストによる。それ以外の学期途中の小課題の提出3回によって20%を評価する。						
教科書	社会心理学のモデルを専門用語によって理解し、正確に説明できるかが求められる目標である。 次の教科書を使用する。 書名 『進化と感情から解き明かす社会心理学』 著者（訳者） 北村英哉・大坪庸介 出版社 有斐閣						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

	スポーツ・身体運動実習	開講区分	S
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解(肌でわかる・体感する)のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技術を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目の授業で、種目選択を行う。場所は9号館前の掲示板を参照すること。 スポーツコース(テニス、サッカー等)、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は <a href="http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/">http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/</a> を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。		
授業の方法	ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3回分の出席となる。 所定の場所で実施する。基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、選択種目、担当教員により様々なアプローチがなされる。雨天時等で実施場所に変更がある場合等の連絡は、教務課掲示板ではなく、9号館前の掲示板に掲示する。		
成績評価方法	1 出席 スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席(遅刻、早退、見学を含む)はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、そのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書 履修上の注意	教科書は使用しない。 種目選択後のキャンセルは認めない。併せて、1つの学期に3コマ以上登録することは認めない。 種目選択後の種目変更は、特別な事情(病気、怪我など)が無い限り認めない。		
学習上のアドバイス	1コマ1単位であり、2Sセメスター終了時までには2単位、2Aセメスターに2単位、計4単位を上限として履修することができる。盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	<a href="http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/">http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/</a>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30193	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30387	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30718	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
30899	木 1	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科
31155	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習 (メディカルケア)		開講区分	S
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解(肌でわかる・体感する)のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目 種目選択(場所は9号館玄関掲示板を参照) 月3、火2、水2、木1、金2のどれかのスポーツ・身体運動実習に出て、自分の選択するメディカルケアコースの登録をする。出席できない場合は身体運動棟で登録する。 第2回目以降 各自の選択した曜限での授業		
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。		
成績評価方法	1 出席 この授業の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席(遅刻、早退、見学を含む)はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	教科書は使用しない。		
履修上の注意	初回のみスポーツ・身体運動実習の授業に参加する。次回からMCの曜限に移行し、教務登録もMCの曜限です。体育館は土足、飲食禁止。盗難注意。		
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出によりメディカルケア担当教員の判断によって指示されれば、受講できる。またセメスター途中でも、メディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談する。		
関連ホームページ	<a href="http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/">http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/</a>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30022	月 1	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア3)	実技担当	2年 文科 理科
30275	月 5	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア1)	実技担当	2年 文科 理科
30322	火 1	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア3)	実技担当	2年 文科 理科
30633	水 1	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア2)	実技担当	2年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30388	S	身体運動科学	工藤 和俊	スポーツ・身体運動	火 2	761 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>運動の巧みさと上達の科学 一流のアスリートや、ダンサーや、音楽演奏家は、日々の弛まぬ練習によってきわめて高度な技(スキル)を体得します。本講義では、このような高度熟練パフォーマンスに代表される運動の巧みさ/上手(うま)さに関する以下のような素朴な疑問について、認知行動科学、神経科学、非線形数理科学など学際的立場から議論します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上手なひととそうでないひととはどこが違うの？</li> <li>・どうすれば運動が上手になるの？</li> <li>・スランプはどうして起こるの？</li> <li>・練習でできていたことが試合でできなくなることがあるのは何故？</li> </ul>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>レポートにより行う。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30900	S	身体運動科学	八田 秀雄	スポーツ・身体運動	木 1	1323 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>運動生理生化学 運動におけるエネルギー代謝の知識を健康増進や競技のトレーニングに役立てる 生きていることはエネルギーを生み出していることである。そしてエネルギーは基本的には糖や脂肪からミトコンドリアが酸素を利用して ATP の形で生み出されている。運動時にはさらにエネルギー必要量が高まる。そこで本講義では運動時を中心に糖や脂肪がどう代謝されているのかを中心にして、運動時における体内の変化を学ぶ。運動することはエネルギー消費量が高めるが、それだけが運動の効果ではない。運動を継続することで体内の状況をよくすることができる。エネルギー代謝の知識を活かし、今後の健康維持にどのように運動を取り入れていけばよいのかを学ぶ。また健康増進だけでなく競技におけるエネルギー代謝に関する内容も話題として取り上げる。 また乳酸及び運動と疲労に関する内容も多い。乳酸は糖からできるエネルギーであり、老廃物ではなく、無酸素状態からできるものではない。乳酸ができるから疲労するのではなく、むしろ疲労するような運動をしているので、それに対処するためにできるのが乳酸である。 世の中脂肪燃焼がよくいわれるが、あるサプリメントを摂ったからといって脂肪がどんどん減るようなことはあり得ない。運動で代謝を高めるから脂肪が減るのである。また運動では必ず糖を利用するが、糖を利用することは無駄なことではなく、糖尿病の予防になり、結果としては脂肪の減量にも結びつく。そこでこの講義でのもう一つの柱は、おかしな健康情報がいかに多いのかについても学ぶことである。お茶を飲むだけで脂肪が減るのかのようなおかしな情報を鵜呑みにせず振り回されない姿勢=メディアリテラシーを身につける。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>レポート(6月始めと学期末提出予定)2回で85%。 平常点15%。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30109	S	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1331 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>健康スポーツ医学 現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症(脂質異常症)、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善または予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>筆記試験(講義を分担する教員がそれぞれ出題する) 教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。 次の教科書を使用する。 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者(訳者) 東京大学身体運動科学研究室編 出版社 東京大学出版会 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30323	S	身体運動メカニクス	深代 千之	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	火 1	1313 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スポーツ動作を科学する 身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に迫られる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダイナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。						
評価方法 教科書	試験 次の教科書を使用する。 書名 身体と動きで学ぶスポーツ科学 著者(訳者) 深代千之ら 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-053701-8						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31754	S	情報メディア基礎論	関谷 直也	情報学環	月 5	K213	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	災害情報・基礎論 本授業では、現代の災害においてメディア、情報、コミュニケーションのように意味を持っているか、その基礎となる理論と方法について解説する。順不同で、地震研究者、ジャーナリスト、コミュニケーターなどゲストスピーカーによる講演がある。なお、情報メディア基礎論は、情報学環の教員が専門分野を紹介することを目的に行う授業であり、本年度は情報学環総合防災情報研究センターの関谷が担当し、その専門である「災害情報論」を講義するものである。						
評価方法	定期試験(70%)、出席点(30%)にて評価する。						
教科書	ゲストスピーカーの講義の際に出席をとる。						
ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30276	S	科学技術基礎論Ⅱ	佐野 和美	哲学・科学史	月 5	1214 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	科学技術と社会の間を考える 科学技術は、日々進歩し複雑化している。私たちの生活を便利かつ豊かにしてくれる反面、難解になりすぎて近寄り難いものだと思われがちである。科学は決して万能ではない。しかし、難しくなりすぎた科学技術は市民にとって遠い存在になってしまう。市民自らが科学技術の是非を判断するべきとされ科学リテラシーの必要性が叫ばれているが、科学技術と社会との距離が遠い状況では、なかなか理解が進まない。 この授業では、科学技術を享受する市民の立場、そして科学技術を使う科学者・技術者の立場、双方の立場にたって科学技術のあり方を考えていく。						
評価方法	テーマは、生命倫理に関わる問題、地球温暖化やゴミ処理などの環境問題、福島第一原子力発電所の事故関連の問題など身近な話題を中心に、受講者の興味と関心によって変える可能性がある(ちなみに、2018年度は、原子力、疑似科学、戦争と科学、科学の価値、生命倫理などを取り上げた)。テーマの数によって、授業の構成を変える可能性があります。						
教科書	ディスカッションをしながら、自分事として考えていくことを期待する。						
ガイダンス	出席状況とディベートへの貢献度、授業の感想等の提出物および最終のレポートでの評価。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30277	S	現代倫理	吉永 明弘	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月 5	522 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>「都市の環境倫理」入門 【注意】この授業は、2014 年度以前の入学者には、総合科目D系列 応用倫理学 として開講される。現代倫理学の一分野である「環境倫理学」について講義する。ただし、いわゆる自然環境の倫理学ではなく、都市や人工物の倫理学を主なテーマとする。現代人の半数以上は都市に住んでおり、都市の環境こそが身近な環境となっているからである。そのなかで、科学技術の倫理についても言及する。</p>						
評価方法 教科書	<p>学期末に試験を行う。 次の教科書を使用する。 書名 都市の環境倫理 著者(訳者) 吉永明弘 出版社 勁草書房 ISBN 4326602600</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31617	S	現代工学基礎 I	加藤 浩徳	工学部	水 5	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>社会イノベーションと国際プロジェクト わが国は戦後から 70 年以上が経過する間、急速な少子高齢化など多様な社会構造の変化を経験し、国内経済の様々な仕組みが曲がり角を迎えていることを受けて、近年多方面で構造改革が叫ばれている。一方でグローバル化の進展とともに人・カネ・モノ・情報が国境を超えて容易に移動するようになり、世界標準(グローバルスタンダード)が押し寄せてくるとともに、地球環境問題のようにグローバルスケールで取り組むべき課題も山積している。そのため、これからは、コミュニティのような地域社会で貢献できる人材とともに、国際社会で活躍できる人材が求められている。本講義では、貧困、環境・エネルギー問題といったグローバルで展開される問題と、人材育成、技術移転、紛争解決、地域開発、防災といったローカルな問題の両者について、社会イノベーションを切り口に議論する。</p>						
評価方法	<p>出席および、事例講義のレポートと WS のパフォーマンスにより成績評価を行う。出席については、毎回配布される出欠表に、自分のサイン(氏名)を記入すること。WS の詳細は後日提示される。</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31618	S	社会システム工学基礎 I	羽藤 英二	工学部	木 5	1106 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>「東京のインフラストラクチャー(社会基盤学)」 東京は世界有数のメガシティである。単に巨大であるだけでなく、緻密なインフラシステムを有する先端性、日本最大の城下町江戸の血を引く歴史性、豊かな海に面し繊細な地形と川に恵まれた自然性など、多様多彩な特徴や魅力を潜在的に備えたユニークな大都市である。同時に、幾度も深刻な災害に襲われ、その都度再生してきた復興都市でもある。本講義では、社会基盤を構成するそれぞれの専門学術領域の立場から東京のインフラストラクチャーを論じることを通じて、現代都市を構成する社会基盤と都市そのものを理解し考えるための視座と機会を提供するものである。</p>						
評価方法	<p>1)課題内容:3回のレポートの合計によって評価します(各33点)。1~13までの講義において、それぞれレポート課題が提示されます(講師が講義中に課題を指示します。感想を書かせる場合もあります)。そのうち任意の三回を選択して、レポートを提出してください。三回提出された場合のみ、成績評価の対象となりますので、注意してください。なお、四回以上の提出は認めません。 2)提出方法:レポートは、原則として、課題を指示されてから2回後の講義終了時に提出するものとします。ただし第12回・第13回の講義のレポートについては、7/20(木)17:00までに教務課前レポートボックスに投函すること。 3)レポートの体裁:各レポートは、表紙を含めてA4用紙3枚以内とします。左上を必ずホチキスで綴じること。レポート冒頭に対象とした講義タイトル及びその教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。以上の体裁を満たしていないレポートは採点できないことがありますので、充分注意してください。 4)念のため、レポートのコピーを必ず取っておくこと。</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 4/4/20195 限/5th Period524 号教室</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31619	S	社会システム工学基礎 I	安原 幹	工学部	金 5	1312 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		建築空間のデザイン&リサーチ 建築学とは、人間が抱える様々な問題を、人間の行為と空間のあり方を変えることによって解決する学問である。本講義では、建築学が包含する多様な領域、すなわち、空間のデザイン、人間の行為やコミュニケーションに立脚する計画学、人間と空間の蓄積した時間を扱う歴史学、工学的技術を用いて空間と人間の在り方を変えてきた構造力学、材料科学、環境学、そして、それらを適用する実務分野、行政分野等を幅広く対象とし、最新の研究事例や実務事例を各分野のスペシャリストから紹介することで、建築空間に求められるデザイン、学術、実務のあり方について伝える。人間や空間にはさまざまな社会的、物理的な制約条件があり、これをどうクリアしたのか、あるいは見逃されて来た問題をどう発見し、重要性を指摘したのか、といった事例の理解を通じて、人間の行為や建築空間・デザインの在り方、問題解決における制約条件の新しい捉え方、それを取り巻く技術の提案方法の紹介など、汎用な問題解決アプローチの訓練に資する実践的な能力や考え方を身につけることを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席および講義で出された課題に対する即日提出レポートの内容 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31620	S	総合工学基礎 I	小野 靖	工学部	金 2	1211 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		核融合プラズマ実験基礎講座－人工太陽は創れるか？－ 海中の重水素の原子核を融合して無尽蔵のエネルギーを得る核融合エネルギー開発は、いわば人工太陽の研究といえます。エネルギー問題の最終解と位置づけられる人工太陽=核融合開発は、ようやく実用炉が見渡せる段階となり、現在、工学実証のための国際熱核融合炉 ITER を建設する一方で、その先にある経済性の高い原型炉の開発が進み、この数年はベンチャー企業まで生んでいます。 この授業は、講義と実験を組み合わせた「新しいタイプの核融合エネルギー開発の入門授業」といえます。 講義では、核融合炉の原理、特に核融合炉の心臓部である炉心プラズマ閉じ込めと関連技術について理解を深めると共に、軽水炉に対抗しうる経済性の高い核融合炉実現へ進むための最新の研究動向について紹介します。 また、専門に進むための入門実験として東京大学本郷の核融合プラズマ閉じ込め実験を実際に体験し、プラズマの振る舞いについて考えてもらいます。美しく輝くプラズマの挙動を観察し、考える中で、核融合エネルギー開発の現状と将来について理解を深めていただければ幸いです。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業で教えた範囲について確認テストを行い、実験についてはレポートを提出してもらい、出席点を加味して成績評価を行う予定です。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31621	S 1	生体医工学基礎 I	高井 まどか	工学部	火 2	1102 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		バイオマテリアル入門－医療への貢献 今日の生物工学や遺伝子工学、医療工学などの目覚ましい発展により、従来の医療では困難であった疾患の早期発見や再生医療、遺伝子治療などの高度先進医療も現実のものになろうとしています。工学の領域でも、このような医療福祉に対する社会的要請に応じて、医用材料、すなわちバイオマテリアルの研究・開発が注目を集めています。この講義では、高度先進医療を支える先端バイオマテリアルについて様々な角度から紹介し、工学と医学・生物学の融合により切り開かれる未来型医療について、皆さんと一緒に考えていきます。バイオマテリアルの入門として、バイオマテリアルの基礎から最先端研究までを紹介します。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートおよび出席 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31622	S	生体医工学基礎 I	南 豪	工学部	金 2	1214 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		<p>化学生命工学基礎 「化学」によって我々は自らの創造力を駆使し、自然界に存在する分子を手本に、自然界にはない方法で新たな機能を持つ分子や美しい構造を次々に生み出すことができます。 「生命」は化学物質の変換を精妙に行い自律的に活動を続ける複雑なシステムです。生命を「化学」の視点で眺め、理解することは、我々自身を深く知ることになるのはもちろんのこと、生命現象を巧みに操り、役立てるという目標につながります。 21 世紀の人類社会がかかえる課題解決のためにはやがたかすことが出来ない「化学」と「生命工学」、そして両者の融合による「化学生命工学」。「化学生命工学」は我々の生活にどれくらい浸透し、我々の明日をどのように変え、未来に貢献していくのか？ これらの領域が果たす役割の重要性と魅力について、各講師が日本・世界の動向や、時に最新の成果も交えながら分かりやすく紹介します。 本講義では、有機化学、合成化学、触媒化学、グリーンサステナブルケミストリー、高分子化学、超分子化学、分子生物学、生化学、タンパク質工学、細胞工学、酵素工学、抗体工学、糖鎖工学、ケミカルバイオロジー、バイオイメージング、創薬、などのトピックについて扱う予定です。 化学生命工学科のホームページ(<a href="http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/">http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/</a>)から本講義の紹介・最新情報のページにアクセスできます。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>2 回のレポートの提出および出席により総合的に評価する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31625	S	環境・エネルギー工学基礎 I	馬渡 和真	工学部	火 2	164 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		<p>原子分子レベルで理解する化学基礎 化学は学問の基礎であると同時に、物質創成の学問であることからあらゆるものづくりの基盤でもある。しかし化学の本質的な理解には、原子や分子レベルのミクロな現象を理解することが求められ、高校化学でも取り扱っていないはじめての概念が多く、大学の化学とのギャップから理解が困難であることが多い。そこで本講義では化学が社会で活用されている身近な例を取り上げつつ、化学を理解するために必要な量子化学、熱力学、化学反応論、有機電子論、固体化学など、大学に必要な化学の重要概念にフォーカスして学習することで、大学で学ぶ化学の全体像を掴むことを目的とする。そして、暗記ではなく、化学を理解することを目指す。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席、レポート 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31624	S 1	環境・エネルギー工学基礎 I	森田 一樹	工学部	金 2	514 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		<p>環境・基盤マテリアル入門 我が国を支えてきたものづくり、すなわち製造業やその技術の発展には、経験や感覚を要する職人の育成はもとより、そのプロセスの根幹となる原理原則に則った技術革新もまた重要である。多くの材料や製品は原料から素材を作り、合成・加工することにより生産されているが、製品寿命を終えると循環されるという持続可能な新たなものづくりシステム構築も促進されつつある。中でも、ベースメタル、セラミックス、ポリマーなど社会の基盤を支えるマテリアルの循環システムやその機能が我々の生活にもたらす影響は非常に大きい。マテリアル循環プロセスにおいては古くは公害、今は CO2 問題、資源・エネルギー問題と枚挙に暇がなく、人類の持続的繁栄に直結している。また、密かに進化し続ける鉄鋼材料が、スカイツリーやゲートブリッジの出現をもたらし、ボディの高強度軽量化による自動車の燃費や安全性を大きく向上させている。 これらのプロセス技術やパフォーマンス設計を支える学理を体系化した学問領域が、環境・基盤マテリアル工学である。物質や材料を取り扱う工学の基本であり、教養学部で学ぶ物質科学を広くベースにしている。 本講義では、入学直後の皆さんが高校で学んだ物理や化学の知識から、環境・基盤マテリアル工学を通して、自然現象からものづくり技術、パフォーマンス設計、そして持続可能社会への繋がりを理解することを目標とする。その近道として、ものづくりのベースとなる熱力学や力学の基本を理解した上で、社会を支える基盤マテリアルの創成やその循環プロセス設計について、実例を交えて紹介する。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席および講義時間中に課すレポート 2 回 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31623	S	環境・エネルギー工学基礎 I	小野 靖	工学部	金 5	1211 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	エネルギー環境論 -サステナブルな社会は実現できるか- エネルギーは我々の日常から最先端の科学技術まですべての人間活動を生み出す根元といえます。エネルギーなしに考えられる技術は何一つ無いことは明らかですが、そのエネルギーをいかに作りだし、輸送し、制御して、人間が使いやすい形で利用していくかはまさに今世紀の最重要課題といえます。システムの構築次第で社会全体が効率的に働いたり、逆に危機に際して大混乱に陥ることも想定され、社会活動や地球環境を決定する第一義の技術なのです。この講義ではそのエネルギー・環境技術の現状はどんなものか？未来技術はどうあるべきなのか、最新技術はどこまで進んだのか？数人の教員が体系的な講義を行います。エネルギー発生では火力、原子力、核融合、太陽光、風力、シェールガス・オイル、バイオマス、燃料電池、エネルギー輸送では超高圧送電、水素エネルギー、スマートグリッド、電力貯蔵では SMES、エネルギー利用ではエネルギーシステム、交通システム、電気自動車、環境保全技術・・・等々、新聞を賑わす最新技術がどんなものなのか、日米の専門家による講義と双方向の演習、一部英語を織り交ぜた授業で理解を深めてもらう予定です。						
評価方法	出席と定期試験(持ち込み不可)による。授業で説明した基本事項について質問し、一部は数式を用いて定量的な結論を導いてもらいます。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31626	S	環境・エネルギー工学基礎 I	大友 順一郎	工学部	金 5	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	化学システム工学入門 -次世代社会のための化学と材料- 化学とは物質の性質、構造ならびにこれら相互間の反応を研究する自然科学の一部門である。物質を扱う限り、化学的な視点が不可欠であることはいうまでもない。一方、現実の環境問題やエネルギー問題などに取り組もうとすると、化学の知識だけでは不十分であることがわかる。なぜならば、我々が直面している課題は、様々な要因が絡みっており、複雑な様相を呈しているからである。このようなときには、対象を要素から構成されるシステムとしてとらえる、システム的アプローチが大きな力を発揮する。化学システム工学は、これらの問題を取り扱うための方法論を提示する学問である。 本総合科目においては、化学システム工学を基に、化学的な視点(化学反応、材料、エネルギー)に立脚しながら、我々人間社会が直面している課題を取り上げることで、エネルギー変換化学、環境化学、安全安心、医療を対象とした、現実の「マクロ」の問題にどのように取り組むかについて講義と議論を行う。						
評価方法	レポートと出席						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31636	S	ヘルス・サイエンス概論	近藤 尚己	医学部	金 5	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ヘルス・サイエンスへの招待 人間の健康問題を考えるためには、生命科学・行動科学・情報科学・社会科学などの多様なアプローチを統合した学際的努力が必要です。そのためには、生化学・生理学・解剖学・遺伝学などの生命現象の基礎をなす学問だけでなく、疫学・生物統計学・医療倫理学・精神保健学・医療経済学・人類生態学・国際保健学などの保健・医療に関わる応用学問の実践が不可欠です。本授業では、医学部・健康総合科学科の教員が行っている健康社会の実現を目指した実際の研究活動事例を通して、現代が抱える「ヘルス・サイエンス」の問題と将来展望について学びます。						
評価方法	出席 30%、講義態度 30%、レポート 40%						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31635	S	看護学概論 I	山本 則子 目 麻里子	医学部	木 5	525 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	看護学概論 I ー生きることを支える科学ー 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、逆説的ではあるが、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、健康への様々なニーズが顕在化してきている。このような社会では、従来の医学モデルでは解決できない様々な課題が生じ始めてきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルで扱った新たな対処方法を構築することに対する社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、人々の健康問題を、身体的、精神的、社会的、霊的に捉えることで、より人々に適合したケアを提供することが出来る。本講義では、看護学の概要と特徴を提示し、今日的な健康問題を解決するための最新の研究成果を紹介することで、今後の看護学発展による国民の健康向上への道筋を議論する。						
評価方法	出席(50%)、毎回講義中に作成する小レポートあるいは小テスト(20行程度、50%)の合計得点(途中退席、代筆は認めない。配慮が必要な場合には事前に申し出ること) 最終レポートはない。また、出席回数が7回以下の場合は、単位取得できない。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31640	S	環境と生物資源	宮下 直	農学部	月 5	159 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生物多様性と保全 いま、地球環境は激変の時代にあり、生態系の劣化や生物種の絶滅が急速に進んでいる。これは我々人類にとっても重大な問題となっている。水、土、大気、食糧、どれをとっても我々の生活に不可欠であり、そうした「自然の恵み」を抜きにして人類の将来を語ることはできないからである。本講義では、特に生物の豊かさを意味する「生物多様性」に焦点を当て、それが維持されている仕組みや、劣化の実態とその背景要因、生物多様性の保全や再生、そして持続的な利用の在り方の視点から、生物と人間社会の関係性を語る。 具体的には、最初の2回で講義全体の枠組みを概説した後で、生態学の基本理論に基づいた生態系のダイナミズムを紹介する。次いで、海、山、里山といった現場に焦点を当て、それぞれの生態系の構造や機能、そこで起きている諸問題とその解決法を紹介する。そして最後には、生物多様性の価値について、それが生み出される仕組みも含めて「生態系サービス」の観点から論じる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポートに出席点を加味 次の教科書を使用する。 書名 生物多様性概論：自然のしくみと社会のとりくみ 著者(記者) 宮下 直・瀧本 岳・鈴木 牧・佐野光彦 出版社 朝倉書店 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31638	S	食糧と環境	高橋 一生	農学部	金 5	1101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	海洋生物資源の特性と利用 地球表面積の70%を占める水圏(海洋および陸水)は、潮干帯から沿岸、外洋、深海、熱帯域、極域、陸水に至る、多様に変異に富む環境で構成される。水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が進化的に適応放散し、独自の生活史を発展させてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。そして、これら多様な生物の相互作用により、複雑で豊かな生態系が形成されてきた。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。一方、広大に見える水圏でも、そこに棲息する生物量は有限である。水圏生態系における物質循環および生物生産の仕組みを理解し、ヒトと水圏生態系の関わりあい方、および再生可能資源としての水圏生物の持続的有効利用のあり方を探ることが、これからの自然共生型の持続可能な社会を構築していくうえでの鍵となる。 本講義では、水圏に棲息する生物およびそれととりまく環境を対象に、(1)水圏環境および生態系内での物質循環と生物生産について理解すること、(2)食料資源、生化学資源、エネルギー資源などの観点から、水圏生物の持続的有効利用に向けた知識を習得すること、を目標に授業を進める。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席状況、受講態度、レポートの内容をもとに評価する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31641	S	森林環境資源学	蔵治 光一郎	農学部	水 5	101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>森の最終形、森とダム、森と癒し 世界の森林が危機的な状況にあり、植林によって環境問題に貢献していることをアピールする企業の CM が TV や新聞に頻りに流されている。その一方で、日本の国土の 68.5% は森林に覆われている。日本は世界有数の森林大国であり、森林は日本最大の「地主」である。さて、皆さんは、このような広大な面積をもつ森林の実態を、どれだけ知っているだろうか。</p> <p>高校までの生物や地理で、生き物としての樹木や森林に生息する動物、世界の森林の分布などを勉強した人は多いだろう。しかし森林の全体像を知るためには、森林内で何が起きているかを知る自然科学や、森林を取り扱うための技術といった「理系的アプローチ」だけでなく、森林の歴史、経済・経営、法制度、行政・財政といった「森林と人とのかわり」＝「文系的アプローチ」の両方をあわせて学ぶことが不可欠である。その意味で、森林は、東京大学前期課程の総合科目で学ぶ対象として最もふさわしい対象の一つである。</p> <p>森林を学ぶための場として、東京大学は、北海道、東京、千葉、埼玉、山梨、静岡、愛知の 7 県に、山手線の内側の面積の 5 倍以上の面積の森林を演習林として保有しており、その面積は、東京大学の全キャンパス面積の 98% を占めている。</p> <p>本講義は、駒場キャンパスの教室で、東京大学を卒業して社会で活躍する皆さんが教養として知っておくべき「森林の基礎の基礎」についての講義と、演習林で開講する 1 泊 2 日のフィールドワーク（現地講義）をあわせて行うことで、森林を机上での学習と実体験により総合的に理解することを目的として開講する。フィールドワークでは、現場に常駐して教育研究を行っている教員の指導のもと、森林の現物に触れるとともに、教員と学生のディスカッションを行う。※受講人数は 70 名に制限します。受講希望者が 70 名を上回った場合はセレクションを行います。</p> <p>※講義室での講義を 7 回行い、別に、1 泊 2 日のフィールドワークを行います。フィールドワークは以下の 1～3 から 1 つを選んで参加します。1～3 にはそれぞれ定員がありますので希望の場所に行けるとは限りません。また、もし空きがあれば、複数のフィールドワークに参加することもできます。</p> <p>1. テーマ：森の最終形 場所：千葉演習林（千葉県鴨川市） 日程：6 月 1 日（土）、2 日（日）</p> <p>2. テーマ：森とダム 場所：生態水文学研究所（愛知県瀬戸市） 日程：6 月 8 日（土）、9 日（日）</p> <p>3. テーマ：森と癒し 場所：富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村） 日程：6 月 15 日（土）、16 日（日）</p>						
評価方法	講義室での講義の出席、講義のレポート、フィールドワークのレポートの 3 つの得点を合算して評価する。2 つ以上のフィールドワークに参加し、それぞれレポートを提出した学生は、各フィールドワークのレポートの最高得点をフィールドワークの得点とする。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31639	S	水と土の環境科学	西村 拓	農学部	木 5	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>食をささえる水と土の環境科学 2050 年までに 90 億人を超えようとしている人口を養っていくためには、食料生産の維持・増大は欠かせない。2015 年 9 月の国連サミットで採択された SDGs を達成するためには、自然環境との調和を図りつつ食料生産の基盤を整備するとともに快適な地域空間を創出する必要があるが、これは容易ではない。様々な個別の問題を自然と社会の法則性や物質の普遍的な特性に基づいて解明し問題解決をすることを可能にするような高度の科学性と専門性が求められる。特に、植物の生育と生態系を条件づける水と土、さらに地域空間における物質循環に関する科学と技術が不可欠である。また、日本国内に限定すると今後、人口減少と高齢化が進むことも考慮すべき重要な事項となる。</p> <p>この講義では、食料生産、いわゆる農業について、生産効率向上の工夫や持続的な農業生産に関する課題を紹介するとともに農業に関連して生じている様々な環境問題やそのメカニズムを社会的背景と物質循環についての基礎知識やモニタリング技術を含めてわかりやすく解説する。</p> <p>この講義によって、普段気にしていない水と土を巡る物質循環の科学の私たちの社会・生活における重要性が理解できるようになることを期待する。</p>						
評価方法	出席を前提として、レポートで評価する。レポート課題は、各教員の講義において提示され（最終回でもまとめて提示）、そこから 4 課題を選択する。レポート提出の締め切りは 7 月下旬。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31634	S	心身の実践科学	佐々木 司	教育学部	木 5	1331 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		この授業は、急速に変化する現代社会を生きていく上で、またそのような社会の中で相互扶助による貢献を第一義とする市民的エリートとして成長するために不可欠な心身の実践科学とその知識について、理論と実践両面から学ぶことを目的とします。インターネットや SNS の急速な普及（四半世紀前にはこの世に存在しなかった）と情報氾濫、生活の 24 時間化・国際化、産業構造の変化、これらに伴う対人関係の変化など、現代のわれわれを取り巻く環境と状況は加速度的に変化し続けています。このような変化は、当然ながら、心身の健康、ストレス、学習に大きな影響を及ぼし、人間関係、将来設計、社会での適応のあり方、精神疾患などにも影響を及ぼしています。これらは学生の皆さんの現在の生活のみでなく将来の社会人としての活躍にも当然ながら深く関係する問題です。この授業では、教育学部身体教育学コースでの研究内容を紹介しつつ、生活習慣、学習、脳、精神医学、社会など様々な観点からこれらの問題について考えていきます。この中には、学生相談ネットワーク本部の先生方をゲストに招いて行う、学生支援の実際した講義も多数含まれます。この講義での学習を通じ、学生生活における健康の維持・向上とともに、将来の社会での活躍のあり方について考えを深める上でも必要な知識とスキルを習得してもらえればと思います。					
評価方法 教科書 ガイダンス		なお平成 27 年度から開始された学生同士の相互扶助を目的としたピアサポートプログラムに参加希望の学生には、特に履修を勧めます。学生ピアサポーター（一定の研修プログラムを修了した本学学生を学生相談ネットワーク本部長が認定）として必要な基礎知識の習得に必須の講義が含まれます。当然ですが、それ以外の学生の履修も大いに、かつ平等に歓迎します。 毎回レポートを授業時間内に課す。 教科書は使用しない。 特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31633	S	臨床心理学概論	能智 正博	教育学部	月 2	1313 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		臨床心理学概論 臨床心理学は、「科学、理論、実践を統合して、人間行動の適応調整や人格的成長を促進するとともに、不適応、障害、苦悩の成り立ちを研究し、問題を予測し、そして問題を軽減、解消することを目指す学問」として定義される。2015 年 9 月に公認心理師法が国会で成立し、心理職の国家資格化が実現した。この心理職の専門活動の基盤となるのが臨床心理学である。本講義では、①臨床心理学の成り立ち、②臨床心理学の代表的な理論、③専門職としての公認心理師の基本となる知識と技能、を解説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業の内容についての筆記試験を通じて成績評価を行う。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30389	S 1	システム論	福永 アレックス	情報・図形	火 2 金 2	K113	2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		システム論 「システム」とは、相互に影響を及ぼしあう要素から構成されるまとまりや仕組みであり、その概念は分野横断的に幅広く応用されている。例えば、国や企業等の社会システムはたんなる人の集合ではなく、複雑な社会システムである。一方、インターネット等の複雑な人工物も、たんなるコンピューターの集合でなく、「システム」である。本授業ではこのような複雑なシステムを理解、構築、操作する為に役立つ汎用モデル化技術を紹介する。一方、これらのモデル化技術の本質的な限界についても考察する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		第一回の講義で説明する。 教科書は使用しない。 特に行わない。					

## 総合科目 E (物質・生命)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30023	S	振動・波動論	島田 宏	物理	月 1	523 教室	1 年 文科 理科
30868		振動・波動論	澤井 哲		水 5	532 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>振動・波動論 音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。 音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。 たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際に砕けるのだろうかなど。 また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。 このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。 その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。 主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>序論</li> <li>1 自由度系の振動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単振動</li> <li>・減衰振動</li> <li>・強制振動、共鳴、Q 値</li> <li>*パラメーター励振</li> <li>*簡単な非線形振動</li> </ul> </li> <li>3. 連成振動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 自由度系</li> <li>・基準振動、うなり</li> <li>・N 自由度系</li> </ul> </li> <li>4. 1 次元の波動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・弦、弾性体、気柱</li> <li>・縦波と横波</li> <li>・波動方程式</li> <li>・反射と透過</li> <li>*波のエネルギー</li> <li>*インピーダンス</li> </ul> </li> <li>5. フーリエ級数、変換の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方、基本事項、線形性</li> <li>・波束</li> <li>・位相速度と群速度</li> <li>*不確定性関係</li> <li>*6. 2, 3 次元の波 <ul style="list-style-type: none"> <li>*波動方程式</li> <li>*平面波</li> <li>*球面波</li> <li>*水の表面波</li> <li>*反射と屈折</li> <li>*干渉、回折</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>						
評価方法	30023 島田 宏：定期試験 30868 澤井 哲：レポートによる平常点と定期試験						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30279	S	相対論	加藤 光裕	教養学部(前期課程) 物理	月 5	523 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>相対性理論入門 アインシュタインによる相対性理論は、量子力学と並んで、現代科学の基礎をなす基本法則のひとつである。本講義では、主に特殊相対性理論について、その歴史的背景も踏まえつつ入門的部分を学ぶ。時間があれば、一般相対性理論についても触れる。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>試験による。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30390	S	量子論	加藤 雄介	物理	火 2	524 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子力学入門 量子力学における基本的な概念と理論の枠組みを、基礎的な物理系の学習を通して体験する。また、発展的な例を通して、量子論が現代物理学の中でどのように展開しているか概観する。これによって量子論の概要を正しく把握し、今後の学習の基礎付けとすることをめざす。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポート（2割程度）と定期試験（8割程度）の結果によって行う。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30901	S	統計物理学	堀田 知佐	物理	木 1	531 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計物理学 統計物理学は、自然界の身近なマクロな現象をミクロなレベルから解き明かす、現代物理学の基礎的な学問である。鉄は何で磁石に引かれるのだろうか？ゴムは良く伸びるけど、手を離せばもとに戻ってしまう、そんな身近な疑問も、分子、原子、電子といったミクロな構成要素が無数に集まって統計的にどう振る舞うかを定式化すれば簡単明瞭に理解することができる。 熱力学では抽象的なマクロ変数をもとに熱平衡という概念を扱った。その際にエントロピーという一見正体不明の物理量が出てきただろう。 ところが統計物理学の言葉では、そのエントロピーの正体も少数の原理を仮定するだけで、実に明快に定義することができるのである。 本講義では、統計物理学の枠組みを初歩から理解し、そのうえでゴムや磁石などの問題を具体的に取り上げ、物理学の面白さを知ってもらい、また物理的なものの見方を理解してもらうことを目標にする。 定期試験をもとに評価する。場合によってはレポートを学期内に課すこともある。 教科書は使用しない。 特に行わない。						
評価方法 教科書 ガイダンス							

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31157	S	現代物理学	押川 正毅	物理	金 2	532 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	物理「的」数学 数学が物理学に必須の「道具」であることは良く知られているが、ニュートンによる微分積分学の確立の例に代表されるように、数学の発展にも物理学からの動機や「予想」が重要な役割を果たしてきた。 この授業では、物理的な発想によって解の簡明な「導出」が可能ないくつかの数学的な問題をとりあげる。物理学における議論では拡散現象や統計力学などの概念を用いることがあるが、必要な概念についてはその都度導入する。 「現代物理学」は 2017 年度・2018 年度に引き続き押川が担当するが、それらの講義と内容は全く異なる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	レポート提出による。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30391	S	物理科学 I (文科学)	池上 高志	物理	火 2	525 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	複雑系の科学の視点から この講義では、現在の科学の認識論を支えている 20 世紀の物理学、量子力学、非線形科学、カオス、を解説し、それが現在の科学技術とその思想；コンピュータ、インターネットウェブ、人工知能(AI)、人工生命(AL)、複雑系、にどのように関わっているかを議論する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期中の 2、3 回のレポートと、夏休みのレポート 1 教科書は使用しない。 特に行わない。						

基礎化学		開講区分	S	
授業の目標・概要		<p>「化学」は単に物質の名前を覚えたり、反応式を暗記するような学問ではなく、基礎的な概念に基づいて、多様な物質の構造や性質を体系的かつ包括的に扱う学問である。本講義では、高校で学んだ化学の知識を基礎として、化学に関わる身近な現象や最先端の技術を題材にしながら、その根底にある化学的な概念をできるだけ平易に解説する。これによって、化学の学問体系を大づかみに理解するとともに、化学の面白さを学ぶことを目標とする。また、本講義は、化学系の基礎科目や専門的な内容を扱う総合科目を学ぶための入門的な役割をもつ。本講義で扱う主な項目を以下に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物質の構成（原子の構造、分子の形成、固体の構造と物性、光と分子）</li> <li>2. 物質の変化（熱力学の法則、化学平衡、反応速度論）</li> <li>3. 有機化合物（構造と結合、有機電子論、分析化学、触媒化学）</li> <li>4. 機能性分子と生体関連分子（高分子化学、超分子化学、核酸、タンパク質）</li> </ol>		
成績評価方法 教科書		<p>定期試験の成績による。 教科書は使用しない。</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30249	月 5	野崎 京子、佃 達哉	511 教室	1 年 文科 理一(1-14)理二三(1-10)
30333	火 2	村田 滋、井上 将行	532 教室	1 年 文科 理一(15-26)理二三(11-16)
30879	木 1	寺尾 潤、山口 和也	524 教室	1 年 文科 理一(27-39)理二三(17-24)

有機反応化学		開講区分	S	
授業の目標・概要	<p>理科生はクラス指定された曜日・時間帯で受講する。この科目では、有機化合物の構造・性質・反応・機構について学ぶ。以下に標準的な講義項目を示す。ただし、項目の順序や内容は各教員によって若干異なる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>序論 <ul style="list-style-type: none"> <li>物質化学における有機化学の位置づけ。</li> </ul> </li> <li>炭素が関与する化学結合 <ul style="list-style-type: none"> <li>炭素の原子価状態、正四面体モデル、混成軌道、電気陰性度と結合の極性</li> <li>メタン、エチレン、アセチレンの分子軌道 (<math>\sigma</math> 軌道と <math>\pi</math> 軌道)</li> </ul> </li> <li>異性現象と立体化学 <ul style="list-style-type: none"> <li>異性体、立体配座、立体配置、不斉現象、キラリティー、RS 表示</li> </ul> </li> <li>有機化合物の性質 <ul style="list-style-type: none"> <li>分子間力、水素結合、分散力、酸と塩基、共役系、芳香族性</li> </ul> </li> <li>有機化合物の反応およびその機構 <ul style="list-style-type: none"> <li>脂肪族求核置換反応、脱離反応、付加反応、付加環化反応、転位反応、芳香族求電子置換反応、カルボニル化合物の反応</li> <li>一次反応、二次反応、反応中間体、反応遷移状態、化学平衡</li> </ul> </li> <li>目的化合物の合成 <ul style="list-style-type: none"> <li>逆合成解析、生理活性物質の合成、機能物質の合成</li> </ul> </li> </ol>			
成績評価方法	担当教員の UTAS シラバスを参照の事。			
教科書	その他。			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30837	水 5	滝川 浩郷	524 教室	2 年 文科 理一(1-3,12-19)理二三(1-3,10-13,18)
30838	水 5	福島 和樹	531 教室	2 年 文科 理一(5,8-11,27-28,32)理二三(4,7,9,19-20,22)
31124	金 2	後藤 佑樹	1102 教室	2 年 文科 理一(4,6-7,21-26)理二三(16-17,21,23-24)
31125	金 2	内山 真伸	1108 教室	2 年 文科 理一(29-31,33-39)理二三(5-6,8,14-15)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31066	S	物質化学 (文科生)	渡辺 正	化学	木 4	1101 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	<p>化学の知恵をもとに、日常生活 (食品・体のしくみ・身近な製品・環境) を見つけ直す。          中学校理科と高校『化学基礎』程度の知識をもとに、命や暮らしと化学のかかわりをつかむ。          原子・分子のミクロ世界を想像する力をつけ、生命のしくみや、暮らしを支える多彩な製品の特性、環境中で進む出来事の素顔を (エネルギーの出入りにも注目しつつ) 理解する。          カタカナの化学用語や物質名、英語の化学用語に関心をもつ姿勢も養う。</p>						
評価方法	出席、中間テスト (期日は開講後に決定)、最終試験の総合で評価する。						
教科書	<p>中間テストと最終試験で問う中身のうち 3 割程度は、講義中の補足説明 (教科書にない事項) から採る予定。          次の教科書を使用する。          書名 教養の化学——暮らしのサイエンス          著者 (訳者) 渡辺 正 (訳)          出版社 東京化学同人          ISBN 978-4-8079-0953-7          その他 定価 2400 円 + 税</p>						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31649	S	基礎方程式とその意味	岡田 康志	理学部	木 5	109 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>基礎方程式とその意味を考える          物理学がもつ「基礎方程式」(基本法則といってもよい) を掘り下げその意味を考える。          本講義では現代物理学の大きな柱として、相対論と量子力学を扱う。          高校までの知識をもとに、それらの基本方程式を導くとともに、具体的な現象への応用例を通じて、方程式の背後にある物理的な意味の理解を目指す。          これらの基礎方程式は、これまでの古典的なイメージと大きくかけ離れたものであるが、          学生の皆さんの新しい知的冒険を始める一助となるものとしたい。</p>						
評価方法	レポートによって成績を評価する。						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31650	S	分子化学概論	佃 達哉	理学部	月 5	521 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>分子化学概論          ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなどの新しい技術の誕生・発展に伴って、物質や生体が機能を発現するメカニズムを分子レベルでとらえ、制御することができつつある。一方で、化学を基盤とした基礎・応用科学の急速な発展に伴って、高校の化学と専門課程の化学のギャップは大きくなる一方である。本講義では将来、化学のみならず生物科学や物質関連科学を志向する 1、2 年生にとって不可欠である最新の化学の考え方を理学部化学科の教員がわかりやすく解説する。分子イメージング、環境に調和した有機合成、機能性無機材料などを具体的なテーマとして取り上げ、学部初年のレベルから化学研究の最前線に至る道筋を明らかにすることを目標とする。</p>						
評価方法	出席および試験 (一部はレポートに替える場合あり) による。						
教科書	プリントを配布する。						
ガイダンス	第一回授業日に行う。 4/8/2019						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31615	S 1	化学薬学概論	阿部 郁朗	薬学部	木 5	1311 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ケミカルバイオロジー I (化学からみたケミカルバイオロジー) 医薬を創製し、人類の健康を守ることは薬学の大きな目標の一つである。この目標のために、薬学では、生体や疾患の仕組みを解明するための研究、薬や毒などの物質と生体との相互関係を解明するための研究、生体に有用な物質を創製するための研究などが、互いに連携をとりながら日夜進められている。本講義では、薬学研究の中から主として有機化学あるいは物理化学研究を取り上げ、これらの研究が新薬の創製にいかにか重要であるかを平易に解説する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポート提出、授業態度 (出席等) 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30392	S	超分子化学	平岡 秀一	化学	火 2	511 教室	2年 理科
講義題目 授業の目標概要		分子認識と自己集合：分子間相互作用 殆どの場合、分子は孤立して存在するというより、常に他の分子と相互作用している。特に溶液中では、必ず分子間における相互作用が存在する。このような分子間相互作用は分子骨格を形成する化学結合（共有結合）に比べても弱い、分子間相互作用が生命系の複雑な仕組みと深く関わり、秩序立ったシステムの形成・維持に寄与している。本授業では、ほぼ全ての分子間相互作用を扱い、さらに分子間相互作用の理解を深めるため、分子軌道により解釈される共有結合との比較も行う。 水素結合やファンデルワールス力は分子間相互作用の一つで、高校化学の教科書でも取り扱われている。しかし、分子間相互作用について、いくつもの基本的な疑問がある。水素結合はどのような元素間で形成されやすく、なぜそうなるのか？DNA の塩基対は水素結合で形成されているが、AT ペアより GC ペアの方が強いのはなぜか？単に水素結合の数だけで説明して良いのか？タンパク質はポリペプチドから形成され、アミド間の水素結合により一義構造へ折り畳まれるが、なぜアミド結合が選ばれたのか？なぜ水に溶けにくい物質は水を嫌って集合化するのか？また、水以外にこのような特性を示す溶媒は存在するのか？ファンデルワールス力は分子間相互作用の中で最も弱い、無視できるほど弱いのか？分子が自発的に集合し、秩序構造を形成する自己集合という現象は、生命システムの形成に欠かせないが、どうやって自己集合体が形成されるのか？自己集合も化学反応の一つだが、その反応機構は、一般的な化学反応と同じような考え方で解釈できるのか？ 本授業では、これらの問題について「分子間相互作用」というキーワードをもとに合理的に考え、結論を導き出していく。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、定期試験による。 次の教科書を使用する。 書名 溶液における分子認識と自己集合の原理 著者 (訳者) 平岡秀一 出版社 サイエンス社 ISBN 978-4-7819-1403-9 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31627	S	物質・生命工学基礎 I A	竹中 充	工学部	火 2	109 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ナノ物理・情報エレクトロニクスの基礎 ナノテクノロジー、情報化社会、エレクトロニクス、電子技術という言葉聞いたことがあるだろう。これらの先端技術は、electron (電子) のもつ性質を自在に活用し、工学として人間社会に役立てるという考え方の上に成り立っている。エレクトロニクスや電子技術は、現代社会のあらゆる方面にわたって不可欠な基盤技術であり、21 世紀の高度情報化社会に向けてその重要性は増す一方である。この発展を支えているのは、トランジスタを多数組み合わせさせたプロセッサやメモリなどの集積回路(VLSI)であり、半導体レーザ、光スイッチ、光ファイバなどを用いた光エレクトロニクスである。半導体集積回路(VLSI)は、コンピュータなどあらゆる電子機器の心臓部であり高機能化をめざして活発な研究が続けられている。また、光通信や光情報処理技術の必要性が増すと共に、光ファイバ、半導体レーザなどの光エレクトロニクスデバイスも急速に発展しつつあり、グローバルな通信ネットワークを支えている。これらのシステムやデバイスの基盤となる半導体結晶や新しい光・電子材料の開拓など、ナノテクノロジーも含めた基礎物性の分野 (物性科学との境界領域) も重要である。特に次世代のデバイスは、ナノメートル(10 <sup>-9</sup> m)スケールの物理学 (ナノ物理) を理解することなしにありえない。本講義では、工学部電子工学科の教員が現代社会を支える情報エレクトロニクスの基礎をわかりやすく解説し、研究の最前線の状況についても紹介したい。					
評価方法 教科書 ガイダンス		A 半導体の基礎物性、B トランジスタ・電子デバイス、C 光エレクトロニクス・光通信、D 集積回路技術のトピックについてレポートを課して成績を決定する。定期試験は実施しない。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31628	S	物質・生命工学基礎 I B	古澤 明	工学部	水 5	164 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子コンピューター入門 量子コンピューターの研究は、微細加工技術が進歩し、情報処理を担う「素子」が原子レベルに近づきつつある今日、当然の流れと言えよう。「素子」が原子レベルに近づくと、その動作はニュートン力学ではなく量子力学という運動法則に支配される。そこでは、アインシュタインとボーアの論争に代表されるシュレーディンガーの猫状態や EPR 相関 (一種のテレパシー??) が実際に起こる。量子コンピューターでは、これらの摩訶不思議な「量子効果」を用いて、情報のやり取りや情報処理を行う。この講義では、量子コンピューターの原理と現状についての入門的な講義を行う。						
評価方法 教科書	前半、後半それぞれの課題に対するレポートおよび出席状況を考慮して評価を行う。						
ガイダンス	次の教科書を使用する。 書名 量子コンピューター入門 著者 (訳者) 宮野健次郎、古澤 明 出版社 日本評論社 ISBN 978-4-535-78479-6 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31629	S	物質・生命工学基礎 I B	北森 武彦	工学部	金 2	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	量子計測化学序論-化学を理解するための量子力学- 量子力学や量子化学に関する講義では、波動関数の基礎知識がないままいきなり s 軌道や p 軌道 (以上、原子軌道)、さらには分子軌道の内容が講義され、高校の化学とのギャップが大きく消化不良に悩むことも少なくない。そこで本講義では、数式の使用を極力避け、「色」などの身近な自然現象を取り入れ、波動関数や軌道などのイメージを掴むこと主眼を置く。量子力学や量子化学の理解の助けになるとともに、構造化学の講義への橋渡しとしても位置づけられる。						
評価方法 教科書	レポート、出席、場合によっては試験 次の教科書を使用する。 書名 北森武彦・宮村一夫 著者 (訳者) 「分析化学 II」 出版社 丸善 ISBN 基礎化学シリーズ						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30393	S	動物科学	道上 達男	生物	火 2	522 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	動物科学 本講義では、1 年生で履修した生命科学 I 及び II の内容を踏まえた上で、動物の機能・構造・分類などに関する内容を概説する。具体的には以下のような項目を予定している (順序や区切りは変更される可能性もあるので、初回の講義をよく聞くこと)。						
評価方法 教科書 ガイダンス	主に定期試験によって評価するが、小テストも 1~2 回行う (小テストの成績は全体の評価には反映させない)。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31158	S	動物科学	大杉 美穂	生物	金 2	524 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	動物科学 動物個体の発生、構造、機能についての基礎的な内容を、どのような実験によって得られた知見であるかについて触れながら概説する。特に、受精・発生については哺乳類と他の脊椎動物との間にはどのような違いがあるかといった視点からの解説を行い、がんや生殖医療・再生医療など、日常生活で耳にする事柄についての動物科学的な理解も目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験により評価する 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30394	S	植物科学	和田 元	生物	火 2	512 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	植物科学 植物学の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りである。 1. 生物の系統 真核生物と原核生物、共生説、植物・動物・菌類 2. 植物の構造 細胞壁、原形質連絡、細胞間隙、液胞、分裂組織、維管束、根・茎・葉 3. 水と溶質の吸収と移動 吸水、移動、蒸散、気孔の構造と機能、同化物質の転流 4. 成長と分化 発芽・伸長と分裂の制御、組織培養法、分化の全能性、植物ホルモン 5. 生殖 花の構造、重複受精、自家不和合性 6. 環境応答 屈性、青色光反応、フィトクローム、ストレス応答、生体防御、 二次代謝 7. 窒素代謝 窒素同化、窒素固定、アミノ酸の合成、根粒形成 8. 光合成 光合成細菌、ラン藻、葉緑体の構造と機能、光化学系 I、II、 光リン酸化反応、 カルビン回路、C3 植物と C4 植物、光呼吸、ペルオキシゾーム						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31159	S	植物科学	阿部 光知	生物	金 2	533 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	植物の形作りを知る 植物の発生現象に関するさまざまな内容を理解することを目標とする。 植物特有の発生現象に焦点を当て、環境に応じて姿・形を変えていく植物の発生の面白さを学んでいく。単なる知見の紹介にとどまらず、研究の内容や歴史に触れながら講義を進めていく。						
評価方法 教科書 ガイダンス	試験に加えて、授業のたびに質問・感想を書いてもらい、平常点として評価する。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30395	S	進化学	伊藤 元己	生物	火 2	1232 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	進化学 本講義は、生物進化の全貌を理解するために組まれている。適応進化と中立進化、有性生殖の進化、種分化と適応放散、系統解析、表現型可塑性と学習、生物多様性、系統進化の解明、生命の起源、光合成系の進化など、進化学の全貌がこの授業で解説される。本講義では、ガイダンスで自然界の生物を理解するには、一般性と多様性の両方の視点が重要であることを紹介する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31317	S 1	現代生命科学 I (文科生、理一生)	笹川 昇	生物	金 5	524 教室	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	ヒトを中心とした生命科学 われわれ人間にとって一番身近な生き物はヒトです。この講義ではヒトの話題を中心として、生命科学の現在の進展状況について概説していきます。総合科目の観点から、このくらいのことは知っておきたいという内容を授業で取り上げ、それについて科学的に論じられるようになることを目標とします。						
評価方法 教科書	試験を中心に評価しますが、最近では出席を取るようになりました。その場合は出席点も重要な評価対象となります。 次の教科書を使用する。 書名 現代生命科学 第2版 著者(訳者) 東京大学生命科学教科書編集委員会 出版社 羊土社 ISBN 978-4-7581-2091-3						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40226	S 2	現代生命科学 I (文科生、理一生)	坪井 貴司	生物	金 2	523 教室	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	人体の不思議をめぐる旅 生命科学は、どこまで進んでいるかという点について、私たちヒトを題材にして、講義を行います。遺伝子は何故必要なのか、精神異常は何が原因なのか、ホルモンは何故分泌されるのか、など、私たちに身近にある問題を例をにとり、最先端の生命科学がその問題に対して、どこまで理解出来ているのかについて、解説します。						
評価方法 教科書	定期試験によって、評価します。 次の教科書を使用する。 書名 みんなの生命科学 著者(訳者) 北口哲也、塚原伸治、坪井貴司、前川文彦 出版社 化学同人 ISBN 978-4-7598-1811-6						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
40027	S 2	現代生命科学 II (文科生、理一生)	FERJANI Ali	生物	火 2	531 教室	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	植物の不思議を考える 植物に関するさまざまな内容を幅広く理解することを目標とする。 植物特有の現象に焦点を当てながら、植物の形態、生理、生化学などを中心に取り扱う。特に、植物のからだの成り立ちとそれを構成する主要な器官の形態形成・発生制御の仕組みについて取り上げ、総合的に解説する。また、現代の植物生理学の中心となっているモデル植物「シロイヌナズナ」について詳説し、シロイヌナズナを利用することで、どのように遺伝子が持つ生理学的機能を明らかにできるかについて紹介する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	毎週の平常点と、課題レポート、および 期末試験。 具体的なことは講義の中で指示する。 プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31651	S	現代生物学	入江 直樹	理学部	金 5	1321 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代生物学／Modern Biology 現代生物学の目標は、生命現象の基本原則（普遍性）と多様性がどのような仕組みで生み出され、また、それらがどのような過程を経て進化してきたのか、という問題について、本質的理解を得ることにある。このため多様な生命現象を対象として、分子・ゲノム、オルガネラ、細胞、組織、器官、個体、集団に至るさまざまなレベルで研究がなされている。本講義では、今まさに進展しつつある最先端の生物学について、その基礎と発展を学ぶ。具体的には、理学部生物学科で人類学・動物学・植物学の各分野を担当する教員が、それぞれの専門研究分野について概説した後、当該分野の最新の研究成果を紹介し、今後、解決されるべき重要課題について講義する。この講義を通じて生物学の面白さを見だし、人類発展における生物学の意義を考えてもらうことを期待している。						
評価方法	出席点を重視し、最後に試験を行う。試験問題は、13 回の各講義から 1 題ずつ出題し、任意の 4 題を選択して解答する。ノート・参考書・辞書などの持ち込み可。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 4/5/2019						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31652	S	人類科学	井原 泰雄	理学部	火 5	525 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	人間の本質にせまる科学 生物としてのヒトをあつかう自然人類学の視点から、人類の進化、ヒトの特異性、現代社会におけるヒトの科学について学習し、我々自身に関する理解を深める。						
評価方法	出席およびレポートにより評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31653	S	生物情報科学	黒田 真也	理学部	水 1	511 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生物情報科学 生命科学の最先端の分野である生物情報科学についての基礎をオムニバス形式で紹介する。生物情報科学研究に必要とされる生命科学と情報科学の双方の基礎的な知識と技術を習得する。						
評価方法	出席状況および定期試験により評価する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31616	S 1	生物薬学概論	富田 泰輔	薬学部	金 5	1311 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ケミカルバイオロジーⅡ (生物系薬学からみたケミカルバイオロジー) 医療が発達したといわれる現在においても、治療が難しいあるいは治療手段すらない病気が多く、これらの疾患に対する新しい医薬品の開発・創製 (創薬) が切望されています。創薬の出発点は治療標的の同定、すなわち病気の鍵となる標的分子の発見とその作用機序の解明にあります。この理解に基づき医薬品の候補となる化合物 (低分子有機化合物から生体高分子までを含む) を探索し、安全かつ有効な医薬品が開発されていきます。こうした研究には、「化学的観点あるいは化学的手法を用いて生命現象を解明すると同時に、生体機能を制御する学問分野」であるケミカルバイオロジーの視点が極めて重要です。 病気は身体の中で日常的に営まれている正常な生命活動の破綻により惹起されます。つまり病気の理解のためには正常な生命活動のメカニズムを十分に理解することが不可欠です。実際、生命科学研究の進展により新しい病気の発症機構が次々と明らかになっており、生命科学研究の最先端が薬学研究のフロンティアでもあります。本授業科目では、ケミカルバイオロジーの視点から、生物系薬学分野での最先端の研究結果を織り交ぜながら紹介し、創薬への貢献について解説します。						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業への出席とレポートの提出による。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30280	S	惑星地球科学 I (理科生)	小宮 剛	宇宙地球	月 5	524 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	地球惑星科学概論 I 人類が生活する惑星地球の構成および進化の基本を理解する。地学の基礎を包括的に学ぶ授業として、惑星地球の全体像と進化を説明する。						
評価方法	定期試験を授業の最終日に行う。 出席を取る。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30902	S	惑星地球科学 I (理科生)	清水 久芳 川勝 均	宇宙地球	木 1	532 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	固体地球科学概論 固体地球および惑星を支配している物理化学的な枠組みを概説し、具体的な事象として火山と地震について学ぶ。						
評価方法	授業に出席し、4人の担当教員の出題するレポートを期限内 (原則として出題から2週間後: 具体的な締め切りは各担当者が指示) に提出することが単位取得の必要条件である。提出先は駒場アドミニ棟。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30110	S	惑星地球科学Ⅱ(理科生)	中村 尚 升本 順夫	教養学部(前期課程) 宇宙地球	月 2	1222 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>地球気候の形成・変動と大気海洋システム ノーベル平和賞に輝いた IPCC (気候変動に関する政府間パネル) から 2007 年に発表された評価報告書は、地球温暖化と環境変化に関する社会の大きな関心を生んだが、その後の経済状況の低迷や 2011 年の原発事故を経て、地球温暖化に関する社会の関心は一見低下したかのように見受けられる。その一方、2018 年夏に経験したように、社会に大きな影響を及ぼす猛暑・冷夏、暖冬・寒冬、豪雨・豪雪・早魃などの異常気象への関心は防災上の観点からも益々高まりつつあり、異常気象と地球温暖化との関連性が依然として指摘されている。こうした折、IPCC から評価報告書が 5 年前に発表され、地球温暖化への関心が再び高まりつつある。人間活動に伴い二酸化炭素など大気中の温室効果気体の濃度が増加し、地上気温に顕著な上昇傾向が見られるのは紛れもない事実である。IPCC 評価報告書に拠れば、今世紀末までには顕著な温暖化が予測されており、海面上昇や海氷域の顕著な減少、海洋の酸性化、中緯度大陸の乾燥化など、地球環境に及ぼす深刻な影響が懸念されている。温暖化対策の切り札の 1 つとして推進されてきた原子力発電事業が今後縮小される中、再生可能エネルギーへの移行が順調に進まない限り、温暖化リスクがさらに高まる可能性も否定できない。そのような中、2015 年末に「パリ協定」が締結され、地球温暖化に対する世界的な取り組みが開始された。</p> <p>このように、温室効果気体の排出や起こり得る環境変化に対して何らかの対策を採ろうとする動きが盛んであるが、そこにまず求められるのは地球気候の成り立ちとその過去から現在に至る変遷、さらには温暖化のメカニズムと予測される気候の将来変化に関する科学的理解である。本講義の目的は正にそれであって、地球温暖化を環境問題として社会倫理の観点から論じたり、温暖化の事実のみを盲目的に受け容れた上でその対策について論じたりすることでもない。将来平均状態として温暖化した大気海洋系も、内在する自然変動のために常に揺らぎ、天候変動が各地にもたらされ、異常気象が引き起こされる。また、最新の研究により、温暖化のシグナルがこうした自然気候変動パターンの変化として現れやすいこと、またそれ故に温暖化シグナルの地域予測にある程度の不確実性が不可避なこと、さらには 10 年規模の長期自然変動により、地球温暖化が加速したり停滞したりすることなどが示唆されている。よって、気候系の自然変動や天候変動のメカニズムの理解を深めることは、温暖化した将来の防災・社会適応上の観点からも重要である。本講義では、受講者が高校で地学を履修してこなかったことを前提とし、地球気候の成り立ちや大気・海洋の循環やその変動のメカニズムの基礎を解説したのち、地球温暖化やオゾンホールに代表される人為的気候変化のメカニズムや予測されている気候への影響について解説する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験により行なう。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31654	S	地球惑星物理学入門	横山 央明	理学部	火 2	1311 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>物理で理解する地球惑星学 地球惑星でおこる多くの現象は、物理学的なアプローチで研究されている。たとえば、気象は流体力学、地球内部は固体物理学、宇宙空間はプラズマ物理学、惑星形成は天体力学などを基礎としてさまざまに展開している。本講義では、このような物理学について基礎方程式を示すとともにその背景にある物理的意味を詳説し、具体的にそれがどのように最新の地球惑星物理学研究の中で使われているかを講義する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>出席と定期試験。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30245	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	月 4 月 5	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通し体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 実習室の広さ、使用する道具や材料の数に限りがあるので、受講者希望者数が予定数(40 人)を超えた場合は、初回授業時に抽選等による選択を行います。 月曜日、火曜日の 2 回同じ授業を行うので、いずれかの曜日を選択して下さい。また、本授業は 4、5 限の 2 コマ続きで行います。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>実習・実験の参加状況、授業態度、レポートによります。 また、全出席が求められます。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 4/8/2019 4 限 駒場 21KOMCEE EAST 5F 地球実習室</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30563	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	火 4 火 5	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	惑星地球科学実習 科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通して体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 実習室の広さ、使用する道具や材料の数に限りがあるので、受講者希望者数が予定数(40人)を超えた場合は、初回授業時に抽選等による選択を行います。 月曜日、火曜日の2回同じ授業を行うので、いずれかの曜日を選択して下さい。また、本授業は4、5限の2コマ続きで行います。						
評価方法	実習・実験の参加状況、レポートによります。 また、全出席が求められます。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 4/8/2019 4限 駒場 21KOMCEE EAST 5F 地球実習室						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30024	S	宇宙科学Ⅰ (理科生)	鈴木 建	宇宙地球	月 1	531 教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要	天文学・宇宙物理学の基礎的内容 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。						
評価方法	定期試験 (義務)+ 中間レポート (任意)						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30903	S	宇宙科学Ⅱ (理科生)	松原 英雄	宇宙地球	木 1	159 教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要	宇宙の物質循環を理解するために使われる物理・化学・数学 様々な宇宙の現象の中から、特に可視光・赤外線・電波天文学の研究の現場である「宇宙の物質循環」に関係したテーマを幾つか掘り下げて学習する。これにより、大学の1、2年生で学ぶ基礎的な物理学・化学・数学が、最前線の宇宙科学(特にスペースからの赤外線天文学)の研究の現場でどのように使われているか、具体的な例を通じて習得し、基礎科学の学習の重要性を再認識することを目指す。						
評価方法	生まれたる星や銀河とその母胎である星間物質、原始惑星系円盤や系外惑星など、赤外線天文学の観測対象について学習するだけでなく、宇宙飛行体(天文衛星・探査機)やその運用・データ処理など、研究を遂行するために我々研究者が日々の研究や業務の現場で直面している課題についても紹介する。 中間レポートと定期試験の成績の合計で評価する。中間レポートの提出が無い場合、定期試験の受講が無い場合は不合格となる。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30246	S	宇宙科学実習 I	吉田 慎一郎	宇宙地球	月 4	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
31284					月 5 金 4 金 5		
講義題目 授業の目標概要		観測データの解析による宇宙科学実習 この授業では、国内外の天体望遠鏡、宇宙望遠鏡による天体の観測データを用い、受講者が実際に手を動かして天体の物理学的、天文学的情報を引き出す方法の基礎を学びます。 場所:KOMCEE5階 宇宙実習室					
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートによる。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30833	S	宇宙科学実習 II	谷川 衝	宇宙地球	水 4	E41 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
31067					水 5 木 4 木 5		
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い、観測によって得られた星、星団、銀河、宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や、天体の運動に関する数値計算を、自ら行うことにより、現在明らかになっている宇宙像を認識する。また、それに伴いプログラミング言語やグラフィックスの初歩を学習する。データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は、特に要求しない。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席、実習課題、レポート課題によって行う。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30869	S	惑星地球科学 I (文科生)	磯崎 行雄	宇宙地球	水 5	K212	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		地球科学の基礎：とくに地球表層環境の物質とその変遷史 地球表層環境の歴史は、固体地球の歴史と密接に関連している。約 40 年に及ぶ地球生命および環境の歴史を、固体地球の歴史と対比しながら解説する。人類が直面する地球環境問題を考える上での基礎知識の習得を期待する。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験、および各講義ごとに行う小テストにより評価する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30281	S	宇宙科学 I (文科生)	土井 靖生	宇宙地球	月 5	1101 教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		天文学全般の基礎 現代科学による宇宙像の把握・天文現象の理解がどの様に進んでいるかを理解することを目標とする。					
評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験により評価する。また任意のレポートを課す予定。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31644	S	微生物の科学	日高 真誠	農学部	金 5	1108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	微生物のバイオテクノロジー バイオテクノロジーは、ヒト以外の生物、特に微生物が保持する特別な能力を人類のために役立てることを目的とした科学技術であり、食糧生産、環境浄化、医薬品生産などを通じて現代社会を支える重要な科学技術である。バイオテクノロジーの代表的な技術として遺伝子組換えが特に注目された時期もあったが、現在では、その発展的な技術であるゲノム編集、タンパク質工学など、さまざまな技術が複合的に用いられている。そこで、バイオテクノロジーの中身を正確に理解してもらい、それをとおして現代の科学と社会との関係を知ってもらうことを目標にする。						
評価方法	本講義では、バイオテクノロジーを支える主要な学問である応用微生物学に主眼を据えて、これが食糧、医薬品などの生産、開発に果たしている意義を、私たちが現在行っている研究を例に挙げつつ講義する。 試験の成績を主とする。授業後のメールも補助評価に用いる。 試験は、11 人の教員が 1 問ずつ出題する中から、5 問を選択して解答する。試験では、自分のノート、授業で配布したプリントのみ持ち込みを許可する。 詳細は、第 1 回授業でのガイダンスで告知する。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31645	S	植物医科学	山次 康幸	農学部	水 5	106 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	植物医科学概論 私達は文明の急速な進歩と共に、豊かで便利かつ快適な生活を手に入れました。しかし、それと引き換えに資源の枯渇という問題に直面しています。約 72 億の人口は、2050 年には 90 億を突破する勢いです。一方で食糧生産の増加率は鈍り、人口増加率の半分にも満たないのです。ところが、世界の食糧生産のうち三分の一は微生物病や害虫病、雑草害、生理病、気象害などからなる「植物病」によって失われ、特に微生物病による損失は全食糧可能生産量の 12%にも達します。これは世界の飢餓人口 8 億人を養える量です。この危機的な状況を克服するには、植物を病気から守り、治療する研究を推進する必要があります。その重要な使命を担う学問分野が「植物医科学」です。植物医科学は 21 世紀になくはならない重要な研究分野であり、植物学や医学、微生物学とも密接に関わります。 植物医科学は「植物基礎医科学」と「植物臨床医科学」の二つの側面を持ちます。植物病を防ぐには「なぜ植物は病気にかかるのか」、「なぜ病原体はある特定の植物にしかかからないのか」、「抵抗性の植物は病原体からどのようなしくみで自身を守ることができるのか」といった基本的なメカニズムを明らかにする必要があり、これらを研究する学問領域が「植物基礎医科学」です。近年急速に進展した分子生物学や細胞生物学により、今日、生命現象は分子の言葉「DNA」で語ることができるようになり、これらの疑問が分子レベルで説明できるようになりました。 一方、我が国だけで 2 万種類以上もある植物病を診断し、治療・予防する学問領域が「植物臨床医科学」です。この分野では、生産現場で発生する植物の病気を診断し治療する「植物医師」に当たる国家資格「植物保護士」の養成が急ピッチで進んでいます。また、「植物臨床医科学」は、「植物基礎医科学」で得られた基礎的な知見を生産現場に活かすことを目的に、植物病の診断・治療・防除・予防のための高度先端臨床技術の開発も行います。具体的には病原体の制御技術を確立し、植物病に対する抵抗性や高収量・優良形質等の機能を付加する技術の開発を目指します。 本講義では、「植物医科学」という学問領域について、基礎から最先端にわたり易しくかみ砕いて紹介し、「植物医科学入門」の講義構成を心掛けました。また、植物・微生物・昆虫の関わりについて、分子レベルの課題から有機農業、バイオテク作物など社会的課題に至るまで平易に紹介し、広く普遍的な生命現象を俯瞰できる重要な学問領域であることを理解していただけるように構成しています。この分野はこれまで触れたことのない方々が多いと思います。この講義を通じて皆さんが日頃見過ごしているに違いない身近にたくさんある植物の病気に興味をもって頂き、食糧・環境問題に植物の病気が深く関わっていることを知って頂きたいと考えています。						
評価方法	出席並びに試験による						
教科書	次の教科書を使用する。 書名 植物医科学 (上) 著者 (訳者) 難波成任 出版社 養賢堂 ISBN 978-4842504384						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31647	S	応用動物科学 I	村田 幸久	農学部	木 5	523 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	動物生命科学へのいざない 哺乳動物が持つ複雑で雑多な生命現象、新たなバイオテクノロジーについて最新の情報を含め、オムニバス形式で解説する。授業内容は、哺乳類生殖学・感染症学・ペットの問題行動・発生工学・記憶と学習・アレルギーの科学・栄養学・RNA 学・ワクチンの科学などが挙げられ、広範な話題が提供される。						
評価方法 教科書 ガイダンス	毎回の講義中（後）に小テストを実施し、評価します。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31643	S 1	食の科学	佐藤 隆一郎	農学部	火 5	1108 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	食に関する生命科学 食はヒトの生命活動に不可欠であり、栄養素の供給のみならず香り、味覚を介して感覚を刺激し、さらに体内において疾病の発症を遅延・予防する機能性を発揮する。食の持つ機能を多面的角度から学ぶ。						
評価方法	各講義の終了前に、当日の講義内容に関する小テストを行う。7 回の小テストの結果を総合的に判断し、成績評価を行う。						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31642	S 1	天然物の科学	高山 誠司	農学部	水 5	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生命を支える生理活性物質 生物が作り出す分子の実体解明から天然物科学がスタートした。それらの中には、生殖、発生・分化、成長、恒常性維持などにおいて、きわめて微量で特有の作用を示すものがある。これらを総称して、「生理活性物質」と呼んでいる。農学部ではこれまで、最先端の精製・構造解析技術を取り入れることで、ビタミン、薬理活性物質、ホルモン、フェロモンなど様々な生理活性物質の発見に成功してきた。新たな生理活性物質の発見は、生命の理解を飛躍的に深化させると同時に、人類の生活の向上に大いに貢献する。そして今日では、生物に関するゲノム情報など多彩な情報の蓄積に伴い、生理活性物質の探索は新たな局面を迎え、従来では全く想定されなかった分子が次々と発見されるに至っている。本科目では、新たな生理活性物質の発見に挑戦している教師陣による講義を通じて、生理活性物質化学の考え方と研究の現状について学ぶ。						
評価方法 教科書 ガイダンス	出席とレポートにより行う。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31648	S 1	生物素材の科学	齋藤 継之	農学部	木 5	158 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	バイオマスの科学 「バイオマス」とは、動植物などから生まれた生物 (bio) 資源 (mass) の総称で、再生可能素材・再生可能エネルギーの原料として、近年急速に注目が集まっています。地球温暖化対策、循環型社会の構築、農山村の活性化、地域環境の改善など様々な方面での活用が望まれており、化石資源の乏しい我が国において次世代社会での利用が期待されている重要な資源です。 本講義では、高校までの勉強で触れられることがなかったバイオマスに関する基礎を学ぶことができ、さらに地球上に存在する様々なバイオマスの化学的・生物学的変換に関する最新の研究およびバイオマスを材料として利用するための最先端の技術などに関して知識を深めることを目標としています。						
評価方法 教科書 ガイダンス	試験により評価します。試験は最終週（第 7 回講義）に、授業と同時限および同教室で行います。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31646	S	森の生物学	久保田 耕平	農学部	金 5	1214 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>森の生物学：共存する森林生物 授業の目標、概要 森林は、生物多様性のもっとも高い生態系のひとつである。そこでは、多種多様な植物、動物、微生物が互いに影響（相互作用）し合いながら、それぞれを取り巻く環境条件に適応して繁殖し、共存している。 森林内の植物は、取り巻く光環境や水環境に自らを適応させ、光合成により有機物を生産して、森林全体の物質収支を支えている。動物は、その植物を食べて有機物を得ている。さらに、植物や動物の遺体を分解して有機物を無機化するのには、菌類などの微生物の役目である。分解された有機物は、やがて再び植物によって有機物へと合成されていく。こうして、森林内で主役を演じる三者の間を有機物が巡っていくが、有機物の受け渡しに平行して、三者の間では、様々な相互作用が起こっている。例えばナラ類は、異なる光条件下でそれぞれの環境に適するよう、生理機能や樹形を変化させる。また、ブナアオシャチホコやスギカミキリはブナやスギの葉や幹を餌にするが、樹木は摂食を防ぐ様々な仕組みを発動して危害を抑制する。森林内には、植食性動物だけでなく、動物や菌類を捕食したり寄生したりする動物も多数生息しており、それらの間でも多種多様な相互作用が繰り返されている。一方、林床の落ち葉や枯れ木には、腐朽菌が生息しており、有機物の分解を進めている。その他微生物には、マツタケのようにマツの根に共生して植物の生長を助けたり、逆にならたけ病菌のように様々な樹木に甚大な病害を与えたりして、直接的に樹木と相互作用するものもいる。 この講義では、このような森林で見られる樹木の環境への適応と植物-動物-微生物間の複雑な相互関係を、多面的に紹介し、解説する。</p>						
評価方法	毎回の授業の終わりに授業内容に関する課題を与える。その課題に対するレポートを授業時間内に書いて提出する。さらに、最後の週に試験をおこなう。これら二つを合わせて評価をおこなう。						
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31318	S	自然現象とモデル	長谷川 宗良	統合自然科学科	金 5	512 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>自然現象とモデル 授業の目標、概要：自然科学では様々な現象のモデル化を行い、観測結果とモデルに基づいた計算結果を比べることで、モデルの成否を判断し、良いモデルは科学理論として受け入れられる。本講義では、物質の性質、すなわち物性科学にテーマを絞り、自然現象がモデルによっていかに説明されるか学んでもらう。 例えば、リニアモーターカー、スーパーコンピューター、量子通信技術といった最先端の科学技術は、物質の性質、例えば電気伝導度、比熱、屈折率、磁性などを巧みに制御することによって機能している。これらの性質は、物質中の電子の応答の結果である。 しかし、物質中の電子は、莫大な数があり、直感の通じない量子の世界にあるため、物質の性質と電子応答を関係づけるのは困難である。このため、電子の応答を上手にモデル化し、また多数の粒子に特有な現象をモデル化することで、物質の性質と電子の応答の関係を解説する。 本講義は、統合自然科学科・物質基礎科学コースの物理・化学の教員により行われ、実験を専門とする教員は演示実験を取り入れ、理論を専門とする教員はエレガントな学問体系や理論モデル、コンピュータを利用した先端的な科学について分かりやすく解説する。</p>						
評価方法	出席およびレポート						
教科書	教科書は使用しない。						
ガイダンス	第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31738	S	先進科学Ⅰα	野口 篤史	先進科学	月 5	E38 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	量子技術と量子コンピュータ (アドバンスド理科) 2019年1月に量子コンピュータの商品化の発表がなされ、夢のコンピュータである量子コンピュータを使える世界が近づいてきている。量子コンピュータが扱う量子情報を担う物理系は、分子や原子からなるものから、超伝導体の電気回路からなる人工的な素子まで様々なものが研究されてきた。この講義では、前提となる量子力学の基礎から、これら量子技術の発展を追うかたちで量子コンピュータの講義を行う。また講義の中では、IBM Q Experience が提供する超伝導量子コンピュータの実機が使用可能なクラウドサービスを利用し、量子コンピュータを用いた計算を演習として行う。						
評価方法 教科書 ガイダンス	受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に線形代数の基礎学力の確認と量子力学への理解や学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。 学期中のレポートと出席状況、定期試験をもとに評価する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 初回ガイダンス場所は 1225 教室						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31739	S	先進科学Ⅱα	市橋 伯一	先進科学	金 2	E38 教室	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	生命進化概論 (アドバンスド理科) 「生物学は進化という観点が無いと何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。そしてヒトの扱える技術やエネルギーの規模は拡大の一途をたどっている。なぜ生物は進化するのだろうか？ どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？ 生命とは何か？ なぜ死は不可逆なのか？ これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、私たち人類が一体どこまで理解するに至ったのかを概説する。さらに進化を理解するための方法論を解説し、受講者に実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらう。						
評価方法 教科書 ガイダンス	本講義の前半では、まず生命とは何か、その誕生の謎と人類に至るまでの進化について説明する。そしてその進化過程には一定のパターンがあることを学ぶ。そのパターンから私たち生命の過去と未来を議論する。本講義の後半では、これまでに生命進化の研究で行われてきた方法論を学ぶ。受講者には実際に進化シミュレーションを行ってもらう。シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。本講義により、進化という現象を計算機の中に再現できるようになる。これにより生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。 なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。 毎回の小レポート 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 初回ガイダンス場所は 1225 教室						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31740	S	先進科学Ⅲα	柳澤 実穂	先進科学	水 5	K301	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>物理学による生命の記述 (アドバンスト理科)</p> <p>我々の身の回りには、食品、医薬品、プラスチック等の石油化学製品など、柔らかな物質郡で溢れている。これらの総称である「ソフトマター」という単語が、Pierre-Gilles de Gennes のノーベル物理学賞受賞講演において用いられ普及すると共に、ソフトマターの物理的研究が進展してきた。ソフトマター物理学のいわば究極の研究対象として、生物がある。ソフトマターという単語が普及する以前に、Erwin Schrodinger は名著 “What is life?” のもととなる講演を行い、生命現象の物理的面白さや複雑さを紹介している。それから今日までの三四半世紀に実現されてきた生命の物理的記述を紹介し、生命現象に見られる一貫性と多様性を理解する。</p> <p>本講義の前半では、ソフトという力学的性質の定義から、従来の気体・液体・個体とは異なるソフトマター全般の力学的性質について理解する。その後、生物細胞を題材に力学や熱力学、統計力学の知識を総動員しながら、生命を特徴付ける「生物の形、物質の移送、運動」といった現象について物理的に表現する。さらに、ソフトマターを用いた最先端の応用研究として人工細胞を用いた生細胞の再現や、非平衡定常系という考え方により明らかとなりつつある生命と非生命の境界に存在する未解決問題について学ぶ。</p> <p>受講者数を 20 名程度に制限するため、ガイダンス時に微分積分と線形代数に関する基礎学力の確認と、生物学と物理学の複合領域への学習意欲に関する調査を行う。その結果、4 日以内に、第 2 回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板に発表する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>レポートと出席状況、定期試験をもとに評価する。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p> <p>初回ガイダンス場所は 1225 教室</p>						

## 総合科目 F (数理・情報)

微分積分学続論		開講区分	S		
授業の目標・概要	多変数の微分積分学における様々な基本的手法を取り上げ、例を中心として必要な理論を学び、具体的な問題を扱えるようにする。数学・物理学はもちろんのこと、幅広い理学・工学で用いられる重要かつ有用な手法を取り扱うので、将来少しでも数学的道具を使うのであれば必須の内容である。				
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。				
教科書	授業中に指示をする。				
関連ホームページ	<a href="http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/advanced_calculus.html">http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/advanced_calculus.html</a>				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス	
30396	火 2	高山 茂晴	742 教室	2年 文科 理科	
30397	火 2	橋本 義武	722 教室	2年 文科 理科	
31082	木 5	権業 善範	512 教室	2年 文科 理科	
31083	木 5	高山 茂晴	522 教室	2年 文科 理科	

常微分方程式		開講区分	S	
授業の目標・概要	種々の量の時間発展は、多くの場合、常微分方程式を用いて記述できる。また、電柱の間にぶら下がった電線の形状や屈折する光の経路をはじめ、さまざまな曲線の幾何学的性質を常微分方程式によって特徴付けることができる。常微分方程式は、自然科学や工学、社会科学などの多くの分野で重要な役割を演じている。この講義では、常微分方程式の理論的基礎を学ぶとともに、幾つかの重要な具体例を取り上げ、それぞれの方程式の解法と解の性質について解説する。これらの内容の理解には、微分積分学、および線型代数学で学んだ固有値・固有ベクトルに関する基礎知識が必要となる。したがって、本講義はこれらの知識の総合的応用篇であるとともに、進んで偏微分方程式論を学ぶための入門篇でもある。			
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポート等を含めて評価する場合がある。			
教科書	授業中に指示をする。			
関連ホームページ	<a href="http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/ode.html">http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/sugaku/ode.html</a>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30875	木 1	今井 直毅	721 教室	2年 文科 理一(1-10)
30876	木 1	河澄 響矢	724 教室	2年 文科 理一(11-17)
30877	木 1	坂井 秀隆	741 教室	2年 文科 理一(18-24)
30878	木 1	三竹 大寿	523 教室	2年 文科 理一(25-32)
30880	木 1	米田 剛	723 教室	2年 文科 理一(33-39)
30881	木 1	松尾 厚	511 教室	2年 文科 理二三(1-2,5,7-11,17)
30882	木 1	伊藤 健一	512 教室	2年 文科 理二三(3-4,13-16,18,21)
30883	木 1	時弘 哲治	513 教室	2年 文科 理二三(6,12,19-20,22-24)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30111	S	ベクトル解析	加藤 晃史	数学	月 2	521 教室	2 年 文科 理科
30112			権業 善範		月 2	522 教室	
31160			清水 勇二		金 2	724 教室	
31161			三竹 大寿		金 2	723 教室	
講義題目 授業の目標概要	ベクトル解析 1年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが、自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や、各点の電荷密度のように空間上の関数などが、よくあらわれる。さらに電磁気学における磁場のように、空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い。ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ、実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる。そのような種々の関数があらわれ、微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が、電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる。本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する。						
評価方法 教科書	主として定期試験によるが、小テストやレポートを含めて評価する場合もある。 加藤・権業・三竹：授業中に指示をする。						
ガイダンス	清水：次の教科書を使用する。 書名 基礎と応用 ベクトル解析 著者(訳者) 清水勇二 出版社 サイエンス社 ISBN 978-4-7819-1133-5 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30282	S	解析学基礎	金子 宏	数学	月 5	514 教室	1 年 文科 理科
30870			岡崎 龍太郎		水 5	722 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	解析学基礎 解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である。この講義では、実数の連続性と $\epsilon$ - $\delta$ 論法に基づき、数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める。						
評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30904	S	数理科学概論 I (文科生)	関口 英子	数学	木 1	521 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	数理科学概論 I 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科学向け総合科目「微分積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい。						
評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30398	S	数理科学概論Ⅲ(文科生)	高木 俊輔	数学	火 2	723 教室	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	数理科学概論Ⅲ 一年生向けの微積分学の講義では、実数の構成には立ち入らないことが多い。この講義では、有理数の完備化として実数を構成し、構成した実数が微積分学の講義で学んだ性質を満たしていることを確認する。また有理数の別の完備化として $p$ 進数を構成し、 $p$ 進数の基本性質についても解説する。 講義中に指示する。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30283	S	統計データ解析Ⅱ	吉田 朋広	数学	月 5	E41 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
30871			小池 祐太		水 5	E42 教室	
31084			小池 祐太		木 5	E42 教室	
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	統計データ解析Ⅱ ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析Ⅱでは、統計ソフトウェア R の説明の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微積分学、線型代数学等の前期課程数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。 出席、および課題の発表あるいはレポートによる。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。						

図形科学 B		開講区分	S	
<p>授業の目標・概要 3次元立体形状の図的表現および形状処理について、手描作図に基づいた図法幾何学を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。 主な項目は以下のとおり。</p> <p>1. 投影法 1.1 投影—投影の原理,各種投影法 1.2 軸測投影,透視投影 2. 正投影による空間図形の表現と解析 2.1 点・直線・平面—主・副投影,直線の実長,平面の実形,交わり 2.2 基本的立体—多面体,(円)錐,(円)柱,球,その他の曲面 2.3 基本立体の交わり—切断,相貫</p> <p>※初回授業は 192 教室を利用する 【注意】この授業は、2014 年度以前入学の理科生には総合科目 F 系列 図形科学 I として、文科生には総合科目 F 系列 図形科学(文科生)として、それぞれ開講される。 出席点、講義期間中に課したレポートおよびセメスター末試験。 授業中に指示をする。</p> <p>成績評価方法 教科書</p>				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
30077	月 2	横山 ゆりか	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(5-6,8,29)理二三(1-3,6-9,20-22)
30332	火 2	金井 崇	184 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(12-14,38)理二三(5,12-13,16,18-19,24)
30773	水 3	奈尾 信英	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(10,15,18,21,23,27-28,30)
30805	水 4	椎名 久美子	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(7,11,16-17,19,24,36-37)
31004	木 3	腰原 幹雄、佐藤 淳	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(1-4,9,26,31-34,39)
31251	金 4	齋藤 綾	184 教室, 192 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(20,22,25,35)理二三(4,10-11,14-15,17,23)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30399	S	図形科学演習 I	館 知宏 梅館 拓也	情報・図形	火 2	166 教室 192 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>平面図形、立体図形、立体模型の製作            目標：            形状を用いた思考は、言語や数式を用いたものとは本質的に異なるプロセスで理解や創造を飛躍的に手助けする。また図や模型製作による表現は、設計（デザイン）・製造分野における共同作業に欠かせないコミュニケーション手段でもある。本授業では、手描き製図と模型制作を通じて諸概念の図形的理解を深め、設計および、形を通した諸科学現象の解明のための基礎技能を修得する。</p> <p>概要：            1. 様々な物理現象に現れるポロノイ図について幾何学的理解を深め、平面図形のオフセット、二次曲線でできた Medial Axis の作図を行う。            2. 視覚における透視投影の仕組みについて理解し、実際に立体形状の透視図を作成する。            3. 線織面・可展面について学び、立体の切断と可展面の展開の作図、曲線折紙の設計・模型製作を行う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>ポロノイ図、透視図、模型製作課題について評価を行い総合点で評価する            教科書は使用しない。            第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30872	S	図形科学演習 II	山口 泰	情報・図形	水 5	E26 教室	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>グラフィクスプログラミング            Java プログラミングを通じて、2次元および3次元コンピュータグラフィクスの基礎について学習する。            基本的には課題(毎週全 12 or 13 回)で評価する予定である。            場合によって、学期末の筆記試験を実施する可能性もある。            次の教科書を使用する。            書名 『Java による 3D CG 入門』            著者(訳者) 山口 泰            出版社 朝倉出版            ISBN 978-4254122107            第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30025	S	基礎統計	安藤 雅和	経済・統計	月 1	1323 教室	1 年 文科 理一(1-10) 理二三(1-6,8,13) 2 年 文科 理一(1-7,36-38) 理二三(6,8,13-14,16)
講義題目 授業の目標概要	<p>基礎統計            統計学は、日常生活や社会で起こる様々な現象を観察し、そこから得られる数値データを分析（記述、検証など）して、その現象の法則性を探っていくことを目的としている。近年のコンピュータの普及に伴い、容易にソフトウェアを用いてデータ分析ができるようになってきたが、データの特性や分析の目的に応じた統計手法を用いるためには、統計学の基礎的概念を理解し、数値結果を適切に評価する能力を身につける必要がある。そこで、本講義では、統計学の基礎的概念と統計手法について解説し、どのように現実の問題に適用されているのかを身近な例を用いて説明する。通常、データには対象について知りたいと思う性質とは無関係な変動が加わる可能性があり、そのような偶然的な変動は、確率論の法則に従うものと考えられるため、確率論についても取り上げることにする。そして、確率論を背景にして体系づけられた統計的推測について、推定と仮説検定を通して学ぶ。受講後には、新たな問題に直面した時に自ら統計分析を行い問題解決ができるようになることを目指す。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>成績は、定期試験(70%)、レポート(30%)により総合的に評価する。括弧内は目安。            次の教科書を使用する。            書名 入門統計解析            著者(訳者) 倉田博史・星野崇宏            出版社 新世社            ISBN ISBN978-4-88384-140-0            第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30284	S	基礎統計	来島 愛子	経済・統計	月 5	743 教室	1年 文科 理一(26-33) 理二三(12,21-24) 2年 文科 理一(23-27,29-30,39) 理二三(5,12,24)
講義題目 授業の目標概要		統計学入門 コンピュータの発達により非常に多くのデータを収集し、分析することが可能となった現在、自然科学や社会科学、多くの分野において統計学の考え方と統計的方法を正しく使うことが必要不可欠となっている。本講義では統計学の基礎となる概念、考え方を解説する。統計学において確率論も重要な基礎であり、記述統計(データの収集・要約)、推測統計(推定・検定)と合わせて扱う。大学の専門課程などにおいてデータを統計的に分析することができるように考え方を身につけることが目標である。					
評価方法 教科書		定期試験による。 次の教科書を使用する。 書名 入門統計解析 著者(訳者) 倉田博史・星野崇宏 出版社 新世社 ISBN 978-4-88384-140-0					
ガイダンス		第一回授業日に行う。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31068	S	基礎統計	小林 正人	経済・統計	木 5	1323 教室	1年 文科 理一(13-17) 理二三(7,11,14-16) 2年 文科 理一(20-21,31-35) 理二三(17-19)
講義題目 授業の目標概要		基礎統計 確率論や推定・検定などの統計的推論の基礎は、理系、文系を問わずデータを扱う学問・技術には不可欠であり、共通言語となっている。この講義では、社会に出た後や後期課程に進学してから必要な統計学の知識と技術を提供することを目標としている。数学的な取扱いは省略し、データを用いた推論の実際の手続きに限定して解説する。回帰分析については教科書の内容を超えた内容も講義をおこなう。					
評価方法 教科書		定期試験に加え、講義中の発言を考慮する。 次の教科書を使用する。 書名 まずはこの一冊から 意味がわかる統計学 著者(訳者) 石井俊全 出版社 ベレ出版 ISBN 4860643046					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31162	S	基礎統計	倉田 博史	経済・統計	金 2	1106 教室	1年 文科 理一(11-12,18-25) 理二三(9-10) 2年 文科 理一(8-10,12-14,28) 理二三(1-4,7,9-10)
講義題目 授業の目標概要		統計学入門 本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布(=現象のモデル化)、独立同一分布性(=同一条件の下での繰り返し実験)、統計的推測(=データから母集団への推論)の考え方を理解することに焦点を当てる。					
評価方法 教科書		定期試験による。 次の教科書を使用する。 書名 入門統計解析 著者(訳者) 倉田博史・星野崇宏 出版社 新世社 ISBN 978-4-88384-140-0					
ガイダンス		特に行わない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31319	S	基礎統計	松浦 峻	経済・統計	金 5	1106 教室	1 年 文科 理一(34-39) 理二三(17-20) 2 年 文科 理一(11,15-19,22) 理二三(11,15,20-23)
講義題目 授業の目標概要	基礎統計 文理を問わず、あらゆる学問において、データを適切に解析・理解するスキルは重要であり、従って、統計学の素養を身に付けることは必須である。本講義では、(i)データを整理するための平均・分散・ヒストグラムなどの記述統計、(ii)データのふるまいを表す確率分布、(iii)記述統計と確率分布の両者を基礎としてデータを解析する統計的推測、それぞれの基本事項の修得を目標とする。						
評価方法 教科書	定期試験によって評価を行う。 次の教科書を使用する。 書名 入門統計解析 著者(訳者) 倉田博史・星野崇宏 出版社 新世社 ISBN 978-4-88384-140-0						
ガイダンス	特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30285	S	計算機プログラミング	山口 和紀	情報・図形	月 5	E42 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	プログラム構成論 本講義では、プログラミングの基礎となるデータモデルの考え方を理解し、代表的なデータモデル、例えば、リスト、スタック、キュー、集合、木、グラフ、論理などについては、活用できるようになることを目指す。 (プログラミングの経験があること。「アルゴリズム入門」を履修済みであることが望ましい。 この授業では Python を使用するが、これらの言語に慣れていない必要はない。 授業前に資料を読んだり、授業後に課題を解くための時間を十分に確保しておくこと。)						
評価方法 教科書 ガイダンス	演習への参加、課題レポートの完成度 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31656	S	計算機プログラミング	森 純一郎	理学部	月 5	E31 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	データマイニング入門 ビックデータ解析技術、人工知能技術の利活用が社会で進む中で、それらの基礎となるデータ分析技術は情報処理技術を学ぶ上で重要となっている。本講義では、データ分析・データマイニングの基礎について学ぶとともに演習を通して実際にデータを分析するプロセスを学ぶ。本講義は、学部後期課程におけるデータサイエンス、人工知能、機械学習、自然言語処理などの関連講義との接続を念頭に、それらの基礎となる知識を習得することを目標とする。						
評価方法 教科書 ガイダンス	主に各回の課題ならびにミニプロジェクトのレポート内容によって評価する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30400	S 1	計算機システム概論	森畑 明昌 千葉 滋 須田 礼仁	情報・図形	火 2 金 2	521 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>計算機システム概論 計算機システムは現代の情報化社会の基盤となっています。本講義では、計算機システムについて、様々な側面から、それがどのように構成されているか、それを設計・利用する上で理解しなければならない基本原理は何か、ということ学びます。 具体的に扱うトピックは以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計算機アーキテクチャと高速化技術</li> <li>2. Operating System</li> <li>3. データベースシステム</li> <li>4. 分散・並列処理</li> <li>5. 科学技術計算</li> <li>6. 人工知能</li> <li>7. セキュリティ</li> </ol>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験によって評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31655	S	計算の理論	今井 浩 小林 直樹	理学部	火 5	512 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>計算の複雑さと形式的意味論 計算は、小学校で学ぶ四則演算から始まって、高校までに多項式・関数そしてその微分・積分など様々なものを学ぶ。高校では、教科情報でコンピュータによる計算も少し学び、プログラミングも経験しているだろう。大学では、より高次の計算を対象として学び、情報科学技術が社会基盤となった現代における基盤の学問として理工系分野ではどの分野でも、社会科学分野でもかなりの分野で勉学していくことになる。 本講義は、情報科学の立場から、計算を科学していく。計算とは、何らかの機構を用いて入力情報から所望の条件を満たす出力情報を得る過程であり、人間が自ら能動的に得ることができる操作である。その立場からは、自然界の種々のことも計算という観点で解釈して、新たな世界を開くこともできる。ここでの計算は、高校までのものと違い、理論として確固たる基盤をもつ対象であり、その神髄を知ることは次世代の情報科学技術を創出し、今とは違った情報社会を構築していくことにつながる。 講義は、大学1, 2年次の学生を対象に、このような計算の理論をわかりやすく講究し、人類が自ら操作して得る新たな科学としての情報科学を理解することを目指す。計算の理論を学ぶことにより、知能に関する研究も自らの視野に入れることができるようになり、そのような方向も示すことにより、初学者を計算と知能を最先端で研究する情報科学の理論にいきなう。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>レポート提出。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31630	S	情報システム基礎 I	古関 隆章	工学部	金 5	1212 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>情報システム基礎 I 「足からロケットまで---走る／飛ぶ／探る科学入門」 人や物を効率良く運ぶことが、文明社会の成立に欠かせず、移動手段を提供する技術が、我々の生活の基本を支え、そして生活を楽しく豊かにするために大切です。実際、日常の生活の中で、自動車や鉄道などの身近な交通は不可欠なものとなっていることを実感しているでしょう。人々は太古の昔から、速くて、快適で、便利な移動手段を求めてきました。近年は、これに加えて、安全性への意識も高まっており、環境への負担の少ない交通、高齢社会への移行に伴い「交通弱者でも移動の自由が奪われない」バリアフリーに対応した交通など、移動手段の「質」に対する要求もさらに高いものとなっています。このような様々な要求に応える「運ぶ」営みのために、電気や情報の技術が貢献できることは多く、交通における電気・電子・情報技術の役割はますます大きくなっています。 本講義では、このような視点から、電気エネルギーおよび情報通信や計算機技術を積極的に用いて人や物を「うまく」運ぶ方法論をオムニバス形式で解説します。高校や教養学部で習う物理や数学の延長上にどのようにこれらの技術が構築されているかをできるだけわかりやすく具体的に解説するとともに、最新の研究動向を紹介します。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>講義への参加状況と、期末レポート 教科書は使用しない。 第一回授業日に行く。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31631	S	モデリングとシミュレーション基礎 I	神原 淳	工学部	木 5	E21 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	モデリングと未来予測入門 ～原子（マテリアル）から地球まで、1ピコ（1兆分の1）秒から100年先までを予測する～						
授業の目標概要	高効率なエネルギー利用や、地球温暖化、資源セキュリティなど、今日の日本は数多くの課題に直面しています。これら不確実な将来と向き合い、安全で快適なそして環境に優しい社会を構築していく必要があります。どんなに複雑な事柄であっても、それらをモデル化し、単純な数式で表現することで、将来起こりうる事がある程度の確度で予測することが可能になります。対象の大小、時間の長短に関わらず取り組む方法は基本的には同じです。						
評価方法	そこで、本講義は、身の回りで起きている様々な事象をモデル化してシミュレーションし、未来を予測する基本アプローチを実践的に修得することを目的とします。題材として、実験装置の中で起こる反応の原子・分子の動きから、実際の材料生産現場や台所での調理の際に制御している熱伝導現象、さらに地球規模での環境問題や市場発展など、1ピコ（1兆分の1）秒から数分、数10年の時間スケールを取り上げます。また、得られた結果をただ「見せる」だけでなく「魅せる」ためのプレゼン技術についても修得します。						
教科書	以上を通じて、文系理系を問わず多くの皆さんにモデル化と未来予測の全体像と楽しさと素晴らしさを学んでもらうことを目的としています。						
ガイダンス	講義への出席と、毎回の講義で出す課題に対するレポート提出にて評価。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31632	S 1	モデリングとシミュレーション基礎 I	菅野 太郎	工学部	火 2 金 2	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	コンピュータモデルで社会を観る－社会システムデザインのための科学的アプローチ						
授業の目標概要	社会問題の解決や社会制度設計に役立てるために、人の行動データやWEB上のビッグデータから統計、数理、認知科学、社会科学、計算機科学などの原理に基づいて様々な人間集団や社会のモデルを構築し、エージェントシミュレーション、ネットワークシミュレーション、インタラクティブシミュレーションなどのコンピュータシミュレーション技術を用いてその振舞いをダイナミックに予測、解析する手法が注目されつつある。本講義では、こうした社会モデリングとシミュレーション技術を活用した社会システムデザイン・分析の代表例と最新の適用事例について紹介しその可能性について議論する。						
評価方法	1 「社会システムのモデリングとシミュレーションのための基礎知識」						
教科書	1.1 基本用語と社会システムデザインの概要						
ガイダンス	1.2 ヒューマンモデリング I (ヒューマンモデルとは)						
	1.3 ヒューマンモデリング II (チーム・組織・インタラクション)						
	1.4 コンピュータシミュレーションの使い方 (理解・予測と検証、発見と共創)						
	2 「基本モデルの紹介」						
	2.1 ライフゲームと創発性						
	2.2 社会心理モデルとゲーム理論 I						
	2.3 社会心理モデルとゲーム理論 II						
	2.4 社会心理モデルとゲーム理論 III						
	3 「応用例の紹介 (金融市場のモデリングとシミュレーション)」						
	3.1 金融市場の特徴と金融データの統計解析						
	3.2 金融市場のモデリング						
	3.3 金融市場のコンピュータシミュレーション						
	3.4 金融市場制度設計に向けて						
	4 「まとめ」						
	4.1 まとめ						
	出席と期末レポートによって評価						
	教科書は使用しない。						
	第一回授業日に行う。						

## 学術フロンティア講義

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31505	S	最新生命科学入門 —駒場で芽生える新たな ライフサイエンスを例に—	浅井 禎吾	広域科学専攻	月 5	2	103 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	<p>本講義は体験型プログラム「最先端の生命科学研究を駒場で体験する」と連動した講義である。教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」では、ライフサイエンス研究のトップランナーが集結し、各々独立した研究グループを持ち、独創性の高い研究を展開し生命科学のフロンティアを開拓している。そこでは、時代にのりつつも流されない個性豊かな研究が行われており、日々サイエンスの新しい芽が生まれている。また、駒場キャンパスの一角という狭いエリアで極めて多様な研究が行われていることから、分野横断的な新しい研究の芽が生まれやすいのも駒場ライフサイエンス研究の特徴である。毎回、担当教員の研究について、基礎から最先端まで、独自の切り口で分かりやすく解説する。本講義では、生物レベルではカビ、植物、両生類、ほ乳類、分子レベルでは、低分子有機化合物、タンパク質、核酸と多様性に富む研究トピックを横断的に聴講することで、幅広い知識を得るだけでなく、今後自分が目指すサイエンスの方向性を見出すきっかけにしたい。また、研究を楽しむ研究者の話聞くことで、サイエンスの楽しさと魅力について触れてもらいたい。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>主に出席とレポート 教科書は使用しない。 第一回授業日に行く。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31611	S	Sound-Art Creation	STONE Carl 池上 高志	超域文化 科学専攻	月 5	2	学際交流 ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	<p>The class will aim to teach the history of sound expression, techniques of sampling and recording technology, and introducing new modes of listening. The course will be divided between practical exercising and lectures covering the history of sound expression, which will introduce different people's works in the field.</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>創造性 45% 勤勉/動機 45% 技術的能力 10% 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31540	S	サイバネティクス入門 - 物理・生物と情報を繋げ るシステム科学-	奈良 高明	工学部	火 2	2	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>サイバネティクスとは、生物と機械の内に潜む共通の原理を統一的に捉える科学技術の体系である。まず、生物が環境中の情報を計測し、処理し、自ら行動して環境に働きかける一連の流れを、信号の通信とフィードバック制御に関する数学で記述する。そしてこの原理を人工物に応用することで、自ら考え、判断し、動くことのできる知的な機械を実現する方法論を与える。数学者ウィーナーによって1947年に開始されたこの学問体系は、生物、機械を含むあらゆる物理的対象からの情報の抽出、解析、制御の方法論として今なお発展しつづけ、脳工学、生体工学、バーチャルリアリティ、システム工学といった現代的な工学技術の礎となっている。</p> <p>この授業は、最先端の工学技術に関する講義と研究室の見学を通して、サイバネティクスの原理を理解してもらうことにある。さまざまな物理的な対象に対して、数学・物理学・情報学を駆使して現象の解析やモデル化を通して、新しい原理や方法論あるいは機構やシステムを創り出し、様々な分野での応用を可能にするような工学の考え方やその実例の話題を、計数工学科システム情報工学コースの教員がオムニバス形式で紹介する。ブレインマシンインタフェース、バーチャルリアリティ、ロボティクス、音声・画像信号処理、生体医用工学といった最先端で非常に広範な話題に触れることができ、しかもそれらが計測・解析・制御というサイバネティクスの共通の原理で語られることに驚きを覚えるであろう。驚くべき人間の能力をいかにして機械が獲得できるかを知る上でも、数学・物理学・情報学の基礎がどのように広く役立つかを学ぶ上でも、人間と機械が共生する将来像を考える上でも、この科目は良い機会となるだろう。また、実際の研究現場を見学することにより、そのような講義内容がどのような環境で着想され、育てられ、完成されて行くのかを見ることもできる。</p> <p>具体的には以下に挙げるような、認識、行動、物理、情報、総合の5分野にわたるテーマに関する講義と研究室見学を行う。具体的な講義の内容の詳細と日程およびレポートの提出要領は掲示および初回の講義で案内する。 ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>レポート提出と出席によって成績評価する。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31559	S	新しい医療が社会に届く まで～データサイエ ンスが支える健康社会～	美馬 秀樹 松山 裕 大庭 幸治	教養教育高度化 機構	火 5	2	レクチャー ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>授業の目標概要</p> <p>コーディネータ：松山 裕（医学部） ナビゲータ：大庭 幸治（情報学環） 概要： 日々、進歩を続ける医療は、人を対象とした研究の成果を通してその技術が確立し、我々のもとへと届けられています。一言で研究と言っても、ゲノム情報を用いた研究から新薬開発のために実施される治験、更には、市販後の最適な治療法の評価、開発時には検出が困難な副作用に関する薬剤疫学研究、医療経済性の評価など、その種類は非常に多様なものです。そのため、医学のみならず、薬学、生物学、工学、経済学、統計学など様々な学問の専門家が関わって実施されています。</p> <p>一方で、全ての研究で共通していることは、それぞれで必要なデータを計画的に収集し、解析し、データに基づいた意思決定を行っているということです。近年、データサイエンスという新しい科学研究の方法論が注目を集めています。医療という分野は比較的早くからデータサイエンスを実践してきたとも言えます。本講義シリーズでは、薬や治療が社会に届くまでの全体像を俯瞰し、実際に研究に関わっている方からの話を伺うことで、健康社会を支える様々な学問の貢献を考えていきます。</p> <p>講義予定：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 4/9(火) 大庭 幸治（情報学環） 「新しい医療の開発と関連する様々な学問」</li> <li>・第2回 4/16(火) 松山 裕（医学部） 「医療におけるデータサイエンス」</li> <li>・第3回 4/23(火) 井元 清哉（医科学研究所） 「ゲノム情報と人工知能を用いた新しい時代のがん医療」</li> <li>・第4回 5/7(火) 小野 俊介（薬学部） 「「薬が効く」ことを政府が「認める」とはどういうことだろうか？」</li> <li>・第5回 5/14(火) 高橋 政代（理化学研究所） 「再生医療の治療開発について」</li> <li>・第6回 5/21(火) 大橋 靖雄（中央大学理工学部） 「臨床試験の実施と解釈」</li> <li>・第7回 5/28(火) 藤原 康弘（国立がん研究センター） 「アカデミアで行う臨床研究の意義」</li> <li>・第8回 6/11(火) 小出 大介（医学部附属病院） 「医療ビッグデータを用いた医薬品等の安全性評価（薬剤疫学）について」</li> <li>・第9回 6/18(火) 竹田 扇（山梨大学医学部） / 田邊 國士（早稲田大学理工学術院） 「質量分析と機械学習を融合したがん診断支援装置の開発：学際的研究から産学連携へ」</li> <li>・第10回 6/25(火) 康永 秀生（医学部） 「臨床疫学—医療の不確実性に挑む科学」</li> <li>・第11回 7/2(火) 五十嵐 中（薬学部） 「命とオカネ、くすりとオカネ...くすりの費用対効果とは？」</li> <li>・第12回 7/9(火) 高山 智子（国立がん研究センター） 「新しい医療や情報をどう患者や市民に届けるか」</li> <li>・第13回 7/16(火) 松山 裕（医学部） / 大庭 幸治（情報学環） 「コースのまとめ」</li> </ul> <p>評価方法 教科書 ガイダンス</p> <p>出席およびレポート 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31503	S	環境安全衛生入門 －身のまわりのリスクから 学び、安心へつなげる－ Introduction to Environmental Health and Safety	飯本 武志	環境安全衛生部	水 4	2	525 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		ふと目を向ければ、私たちの身のまわりには様々なリスクがあることに気がきます。いつも使っている駒場東大前駅のホーム。18時40分、やや狭いうえ柵もないホームに5限終わりの学生がひしめき合う横を、急行電車が猛スピードで走り抜けていきます。これまで事故が起きなかったからこれからは起きないという保証はありません。そこには常にリスクが存在しています。では、そのリスクを低減するためにはどうしたらよいでしょうか？安全で安心な社会の実現には、身のまわりの環境や安全についての多角的な視点と理解が必要です。本講義では、身近な話題から自然災害に至るまで、現在我々が抱えている諸問題とその解決に向けたアプローチについて、各分野の専門家が対話形式を盛り込んでわかりやすく解説します。文系・理系を問わずすべての学生を対象とし、将来の我が国を担う皆さんが環境と安全の分野に対して正しく興味をもち、安心へとつながる道筋を自分で考えることができるようサポートします。						
評価方法		9回以上の出席数と、毎回の講義中にまとめるショートレポートの内容によって合否を判定する。						
教科書 ガイダンス		なお、授業開始30分以内に入室しなければ出席として扱わない。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行く。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31576	S 1	科学技術の進歩と 作物生産の向上	妹尾 啓史	農学部	水 5	1	522 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		今世紀半ばには90億人を超えると予想されている世界の人口を支えるためには作物生産性の向上が必須である。そのためには、土壌が有する物質変換や肥沃度維持の仕組み、植物の養分吸収や栄養環境適応の仕組みを明らかにして生産性向上に結び付けることが必要である。また、問題土壌や環境変動下での作物生産、雑草を克服した作物生産は今後の重要課題であり、劣悪な土壌・気象などのストレスに耐性を持つ作物の育種や、根寄生雑草を防除する新たな化学的手法が開発されている。一方、生産性向上と環境保全を両立した農業技術の開発が地球環境と地域環境の保全のために重要である。本授業科目では、このような研究に携わっている農学部ならびに生物生産工学研究センターの教員による最先端の講義を行う。						
評価方法		出席と試験による						
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。 第一回授業日に行く。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31610	S	合唱音楽の実践的研究	辻 裕久 ヘルマン ゴチェフスキ	超域文化 科学専攻	木 2	2	音楽実習室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		音楽の実践を授業として学ぶ場である。テノール歌手として活躍し、合唱指導のキャリアも長い辻裕久氏を講師に迎え、さまざまな合唱作品の練習を通して、混声合唱を基本から学びながら曲を作っていく。可能ならば、最後に簡単な発表会（演奏会）のようなものを考えている。						
評価方法		平常点（出席）による。						
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。 第一回授業日に行く。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31504	S	心に挑む—東大の心理学	岡ノ谷 一夫 菊池 由葵子	心理・教育学	木 4	2	1313 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		東京大学の心理系教員によるオムニバス形式の講義である。心理学を目指す諸君には、東京大学における心理学研究の多様性と深みを知り、進路選択の参考にしてほしい。その他の学生諸君には、現代心理学がどのような方法で心の理解に挑戦しているのかを学ぶきっかけとしてほしい。それぞれの話題は最先端でありかつ親しみやすいことを目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス		レポート（詳細は初回ガイダンス時に指示する） 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31570	S	地球惑星科学の フロンティア	對比地 孝亘	理学部	木 4	2	K402	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		この講義は、地球や惑星の成り立ちや活動を研究する「地球惑星科学」という学問分野の最新事情を、網羅的に紹介することを目的とする。理学部・地球惑星物理学科および地球惑星環境学科の教員が、それぞれ各回完結型の講義をおこなう。約 4 5 億年前の太陽系の誕生、そしてそれから現在に至る進化。地球内部のダイナミックな活動。巨大地震。われわれ生命を育む、地球表層の環境の成り立ちとその変動。そしてわれわれの行く先は？・・・これら広範なトピックを俯瞰することで、わたしたちの住む地球とは、いったいどんな素性をもった星なのか、なぜわたしたちはこの地球上で生きることができるのか、を考えるきっかけになれば幸いである。 とりあげるテーマは以下のとおり： 【地球内部】 地震学、テクトニクス、内部ダイナミクス 【地球表層】 大気・海洋力学、気候変動、地球環境変動 【宇宙】 太陽系形成・進化、磁気圏、宇宙空間プラズマ						
評価方法 教科書 ガイダンス		各回レポート問題を課す。出席点と、それらレポート課題のうち、3 課題以上が合格基準に達していることを総合的に判断する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31508	S	歴史史料と地震・火山噴火	加納 靖之	地震研究所	木 4	2	K302	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		【概要】 東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。 この連携研究機構が提供する講義では、歴史史料を用いた地震・火山噴火の研究について、背景となる知識やこれまでの成果、今後の展望について解説する。全体を理解するために必要な概論ののち、具体的な事例—貞観の地震と富士山の噴火、明応の南海地震、慶長の豊後地震と伏見地震、宝永の南海地震と富士山噴火、安政の江戸地震など—を取り上げ、歴史学および地震学・火山学のそれぞれの立場から説明する。どのように歴史史料を読みとき、どのように現象を理解するのかを学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。 【目標】 ・歴史学や地震学の基礎を、具体的な事例を通して学ぶ ・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る ・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える 【こんな人に来てほしい】 文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。 (参考) 地震火山史料連携研究機構の概要 地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。						
評価方法		レポートによる評価。 レポートの内容（予定）：講義で扱った地震（噴火）の一つを選び、レポートを作成する。講義内容に自分で調べたことを加えてまとめること。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31539	S	数理工学のすすめ	山西 健司	工学部	木 5	2	113 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>数理工学とは、工学的問題解決のための数理的手法を（必要とあれば新しい概念や原理も）創り出す学問のことで、 (<a href="http://www.keisu.t.u-tokyo.ac.jp/">http://www.keisu.t.u-tokyo.ac.jp/</a> も参照してください。) 本講義では、数理工学において、どのようにして、新しい原理や数理的手法が開発され、発展していったか（発展しつつあるか）について、実例を交えて解説します。とくに、以下の7つの話題を扱います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械学習の数理解</li> </ul> <p>機械が学習するということはどういうことか？ 数理工学の立場からその基本原理を紹介し、現実のデータサイエンスや知識発見への応用例を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秘密計算とプライバシー保護データ分析</li> </ul> <p>複数のデータを持ち寄ってデータ全体の性質を調べたいときに、個々のデータの詳細は秘密にしたままで必要な性質のみを知ることができる暗号技術「秘密計算」について、その数学的原理と、現在期待されている応用例について紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値計算の数理解</li> </ul> <p>現在は、計算機による科学、すなわち「計算科学」が科学の大きな柱になっています。その根底を支える「数値計算」について、基礎と応用を紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続最適化入門</li> </ul> <p>連続最適化問題とは「与えられた制約の下でよりよい目的を達成するための数理解モデル」です。実社会における連続最適化問題の例とその解法について簡単に紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算代数統計</li> </ul> <p>データ解析で必要となる様々な計算において、抽象代数がどのように役立つか、身近な例を交えて説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組合せ最適化入門</li> </ul> <p>巨大な有限の組合せの中から最良の解を効率良く求める「組合せ最適化」の理論とアルゴリズムの入門的な解説を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動的現象のモデリング入門</li> </ul> <p>自然、人工物、社会には複雑な動的現象が多く存在し、それらを理解・制御するためには数理解モデリングと解析が不可欠です。モデリングがどのようになされるか、またどのような解析方法があるのか、いくつかの例を用いて解説します。</p>						
評価方法		<p>7テーマの講義のうち4テーマについて、講義内容のまとめと感想、自分自身でさらに調べた事、講義中の例題の解などをレポート形式で提出する。</p>						
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31509	S	数理科学の研究フロンティア：宇宙、物質、生命、情報	河東 泰之	数理科学研究科	木 5	2	514 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>本講義では、宇宙の起源、物質の起源、生命の進化、情報と人工知能などの現代科学のフロンティアを、最前線の若手研究者が数理科学という切り口で俯瞰する。授業担当教員がモデレータとなり、理化学研究所の若手研究者をゲストに招き、以下の話題を議論する。ゲスト氏名と話題は、初田哲男「数理解が拓く世界」、日高義将「物質の起源を探る」、小澤知己「トポロジカル物性物理の広がり」、黒澤元「数理解でせまる生物の時間の謎」、古澤峻「ニュートリノと重力波で探るコンパクト天体」、湯川英美「極微の世界を拓く量子センシング」、田中章詞「生成モデルの数理解」である。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席の把握のため、毎回、質問感想等をミニレポートとして提出してもらう。出席状況により可否を評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31512	S	現代の数学 - その源泉とフロンティア -	小木曾 啓示	数理科学研究科	木 5	2	521 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>この講義では、現在の数学研究の現場で話題になっている事柄を平易に解説する。高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席とレポートによる。 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31506	S	公認心理師の職責	丹野 義彦	心理・教育学	金 2	2	1101 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	2017年に公認心理師法が施行され、国家資格「公認心理師」が誕生することになった。公認心理師は、「医師」「教師」「薬剤師」等と並ぶ重要な国家資格であり、人文系ではほぼ唯一の本格的な国家資格である。資格者は心理学の知識にもとづいた仕事をする。働く場所は、病院、学校、福祉施設、司法施設、企業など5分野である。							
評価方法	公認心理師の資格を得るためには、大学で必修の25科目を履修して卒業し、大学院で必修の10科目を履修して修了し、国家試験を受けなければならない。今年度から東京大学でも公認心理師カリキュラムが開始される。							
教科書	●本科目『公認心理師の職責』は公認心理師の必修科目なので、公認心理師の資格を希望する者は必ず履修すること。							
ガイダンス	また、公認心理師の説明会も兼ねるので、関心のある者はこの科目を履修してほしい。 試験とレポート 次の教科書を使用する。 書名 公認心理師エッセンシャルズ 著者(訳者) 子安増生・丹野義彦 出版社 有斐閣 特に行わない。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31534	S	エコで安全で健康な社会 を実現する機械工学	牛田 多加志	工学部	金 2	2	162 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	機械工学は、エコで安全で健康な社会を実現するための重要な基盤技術として、社会や産業の発展に大きく貢献してきました。そして、機械工学は未来に向けてさらに飛躍的な発展を遂げようとしています。このような機械工学の全貌を外部講師も交えて分かりやすく解説します							
評価方法	※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。							
教科書	出席およびレポート							
ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31591	S	30年後の世界へ—— 「リベラル・アーツとしての東アジア学」を構想する	石井 剛	教養学部	金 5	2	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>いまから30年前、ベルリンの壁が崩壊し、第二次世界大戦後の世界秩序を支えてきた東西冷戦が終結しました。西側の自由と民主の価値が勝利することでイデオロギー対立が終了したことを称して、アメリカの政治学者フランシス・フクヤマは「歴史の終わり」だと宣言しました。それから30年。その間、コンピューターとインターネットが普及し、人々の生活はそれより以前とは一変しました。グローバリゼーションのうねりはフクヤマの予想を超えた規模で、宗教を背景にした紛争やテロリズムを喚び起こしました。インターネットは人々の自由を広げ民主を促進するとも言われましたが、その一方で人々の対立が激化しました。情報革命は新たな産業革命として世界の産業構造を大きく改変し、貧富の格差が拡大し、移民排斥情緒や狭隘なナショナリズムを助長しています。自由と民主を体現していたはずのヨーロッパ統合は頓挫し、「デモクラシーの帝国」アメリカはポピュリズム政権のもとで、自国中心の保護主義へと転換しようとしています。</p> <p>この30年間で急速に世界的な影響力を持つようになったのは中国です。1980年代から始まった改革開放政策のもとで、高度な経済発展を続け、中国は世界第二の経済大国となりました。西側先進諸国の産業高度化を促すように、安価な労働力で工業生産を拡大し、世界の工場と呼ばれました。また近年では、ベンチャービジネスが活況を呈し、豊かな資金力と人材力を背景に科学技術分野でも世界の最先端に行くものが増えています。保護主義に退く欧米諸国と対照的に、中国は「一帯一路イニシアティブ」を打ち出して、貧困や紛争に悩まされるユーラシア大陸とアフリカ大陸の「共同発展、共同繁栄」を目指す」と公言しています。フランシス・フクヤマが「1989年の精神」と称えた自由と民主の価値の普遍性が揺らぎ始めたのと軌を一にするように、体制がまったく異なり、しかも世界最大の人口を擁する中国が、新たなグローバルパワーとして人類の命運を左右するまでに大きな影響を持つようになった——この30年の変化を一言で表すなら、このように言えるのかもしれませんが。</p> <p>では、いまから30年後、世界は、人類は、いったいどうなっているのでしょうか。もし以上のようにこの30年を振り返るのが正しいのなら、わたしたちは中国のことを抜きにして、この問題を考えることはできないはずです。同時に、わたしたちはいま、第四次産業革命とも呼ばれる新たな大きな技術革新を経験しつつあります。AIやバイオテクノロジーの新しい技術は、人類そのもののかつてない進化を予示しています。わたしたちは、「人間とは何か」を根本的にとらえなおさなければならない時代をむかえているのです。</p> <p>30年後の世界を、少しでも人類の幸福な繁栄と平和な世界にするために、わたしたちは、まず、わたしたち自身の地点から考え直さなければなりません。つまり、中国をうちに含む、わたしたちの生活の現場としての東アジアから、既存の学問の枠を超えて、リベラルに思考しなければなりません。そこは、西洋の生み出した近代文明と、それとは異なるオータナティブを呈示しつつある中国文明との結節点でもあります。わたしたちは、そのような場を、自分たちが生きる現場として持っているのです。ここから始められることは、わたしたちに与えられたアドバンテージでもあり、また、わたしたちが担うべき責任であるとすら言えるかもしれません。</p> <p>東アジア発の、人と世界を根本的に考えるための教養としての新しい学問、それをわたしたちは「リベラルアーツとしての東アジア学」と呼びます。駒場がこれまで世代を超えた培ってきた「知の技法」のヴァージョン2.0が、いまから始まります。30年後の世界を担うみなさんと共に。</p> <p>なお、この講義は、今年度より新しく始まる東大と北京大学との「リベラルアーツとしての東アジア学」を標榜するジョイントプログラム（東アジア藝文書院、East Asian Academy for New Liberal Arts, EAA）のキックオフ企画です。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>毎回の授業の後に提出してもらいアクションペーパーによって評価します。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31502	S	「調査でみる社会、 歴史、アジア」	有田 伸	社会科学研究所	金 5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>本講義は、学部教育の総合的改革の一つとして、本郷地区キャンパスに設置された社会科学研究所、史料編纂所、東洋文化研究所の本郷文系研究所が連携・協力して開講する、学部前期課程 2 年生を対象とした、研究疑似体験型の講義である。</p> <p>3 研究所の教員が、それぞれの分野の研究者の立場から、調査とは何か、なぜ調査を行うのか、調査を解釈する上で大切なことは何か、といった問いについて解説する。具体的には各研究所で実際に研究をしている調査事例や調査対象などに直接・間接に触れることで、調査を行う上での基本と醍醐味を学ぶ。</p> <p>講義を通じて、受講者は後期課程進学後のあらゆる専門教育で必要とされる、調査に関する心構えや基本的な技法（「調査研究リテラシー」）を身につけることを目的とする。文系、理系を問わず、将来研究者となることに興味を持つ学生にとって特に有益な授業である。</p> <p>【参考 3 研究所の概要】</p> <p>社会科学研究所： 敗戦後の東京大学再生のための最初の改革として、南原繁総長（当時）のイニシアティブによって 1946 年に設置。戦時中の苦い経験の反省のうえにたち、「平和民主国家及び文化日本建設のための、真に科学的な調査研究を目指す機関」として構想された。法学・政治学・経済学・社会学の 4 つの社会科学のディシプリンを総合して研究を進めている。</p> <p>史料編纂所： 古代から明治維新期に至る前近代日本史史料に関する研究所。史料編纂事業の歴史は古く、塙保己一が江戸幕府の援助を得て創設した和学講談所にまで遡る。附置研究所としては 1949 年に設置。国内外に所在する各種史料の蒐集と分析を行い、これを史料集として編纂・公開する研究事業を通じ、広く日本史研究に寄与することを目的とする。</p> <p>東洋文化研究所： 「東洋文化に関する総合的研究」を目的として、1941 年に創設されたアジアに関する専門研究所。調査の対象は研究者によって多様だが、アジア全域にわたるそれぞれの対象地域について、資料調査と現地調査に基づき、政治、経済、宗教、歴史、考古、文学、美術など、さまざまな角度から、日々精力的に研究を進めている。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>出席状況とレポートの内容によって、可否の評価を行う。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 駒場キャンパス 1 号館 104 教室</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31553	S	海研究のフロンティア I	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>本講義は、東京大学海洋アライアンスを構成する教員による、駒場キャンパス、本郷キャンパス、柏キャンパスの実験施設の見学と講義を通して、海洋研究の最先端に触れることが目的である。例えば、海中ロボットの実験施設、船体運動を計測する大水槽、海洋生物などを研究する施設、洋上風車の研究をする施設、海洋の流れのメカニズムを解明する実験装置などを見学することができます。</p> <p>講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 <a href="http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/">http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/</a> ※このゼミは 4 月 5 日(金)6 限（18：45～）に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>出席および講義アンケート 教科書は使用しない。 特定日に行う。 4/11/2019 6 限 104 教室</p>							

## 全学自由研究ゼミナール

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40275	S 2	新書で考える教育と社会	中村 高康	教育学部	月 1 木 1	2	117 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		授業担当者の専門分野である教育社会学では、研究者たちによって学問的見識に基づく様々な社会発信が行なわれている。そうした社会発信の一つの手段である「新書」(岩波新書、中公新書、ちくま新書など)は初学者には格好のテキストとなる。そこでこのゼミナールでは、こうしたテキストを多数取り上げ、それに入門的な解説を加えつつ講読する。受講者全員で自由に議論を行うことで、学生諸君の教育と社会に関する知的好奇心喚起の一助となることを目指す。						
評価方法		成績は、授業参加度(報告+出席)が中心となるが、簡単なレポートを提出してもらったこともある。それらを総合的に評価する。						
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31565	S	平和のために東大生が できること	岡田 晃枝	教養教育高度化 機構	月 5	2	K401	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		戦争を知らないどころか、核戦争に巻き込まれる危険が真剣に議論されていた冷戦すら過去のものとなってから生まれた世代は、戦争体験や被爆証言をどのように受け継いでゆけばよいのか。特定の国民・民族・個人の歴史証言を記録する意味とは何か。そしてそれは世界の平和に寄与するものたりえるのか。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合う。 今学期は民族とナショナリズムの問題を取り上げる。中央アジア・コーカサス諸国を対象として、ソ連の民族政策が各国の国民統合に与えた影響や、独立後に起こった武力衝突における民族の役割について考察する。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する。						
評価方法		授業への貢献度による						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31598	S	大相撲の社会学	新田 一郎	法学部	月 5	2	115 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		その時々々の環境条件の中で少しずつ姿かたちを変えつつ江戸時代から現代に至るまで存続してきた「大相撲」の仕組みについて、可能な限り客観的な観察と学問的な分析を試み、この組織が抱えてきた(或いは現に直面している)諸々の問題点について考究する。併せて以て歴史社会学的な分析研究の方法を例示的に学ぶ。						
評価方法		授業中のパフォーマンスによるほか、学期末にレポートの提出を求めることもある。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31580	S	動物細胞研究法入門	高橋 伸一郎	農学部	月 5	2	517 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		動物の生命現象を解明しようという努力は、個体の観察から始まったことは言うまでもない。これが組織、そして細胞へと機能の解析が進んだのは、「細胞培養」という技術が開発されたことに依るところが大きい。細胞は、分離して培養することができる生物の最小単位と言われている。これらの細胞を用いて、それぞれの細胞に特異的な生命現象や、普遍的な現象の機構などを検討できるようになったのは大きな進歩である。その後、遺伝子工学技術が開発され、動物細胞に外来遺伝子を導入し高発現したり、内在性遺伝子の発現を抑制したりすることも可能となった。この技術の開発により、細胞レベルで、興味がある遺伝子の機能、これがコードするタンパク質の機能などを調べることができるようになり、細胞生物学的研究が開花した。本講義では、このような動物細胞を用いた研究の原理と手法、実例などを紹介、動物細胞を用いた研究で何ができるのかを知ることを目標とする。						
評価方法		出席と理解度テスト						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31516	S	モジュラー曲線と数論幾何学	三枝 洋一	数理科学 研究科	月 5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		モジュラー曲線とは、複素上半空間（虚部が正である複素数全体）を「折り畳んで」得られる図形のことである。一見全く明らかではないことであるが、モジュラー曲線の背後には多くの代数的・整数論的な現象が隠れている。この講義では、具体的なモジュラー曲線を通して、ヴェイユ予想、フェルマー予想、佐藤・テイト予想、ラングランズ予想、バーチ・スウィンナートン＝ダイアー予想といった、整数論における大定理・大予想がどのようなものであるかについて解説し、数論幾何学と呼ばれる分野への入門を試みる。						
評価方法 教科書 ガイダンス		レポートによる。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31501	S	現代ビジネス法務の最前線 ——「デザイン経営」と法	玉井 克哉	先端科学技術 研究センター	月 5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		このゼミの目的は、二つある。 一つは、現代のビジネスに関わる法の最前線に諸君を案内することである。法学の学習はスポーツに似ており、一定の水準に達するには長く困難なトレーニングが必要とされる。特に初学の段階ではトレーニングの必要性は理解しにくいし、我流のトレーニングで学習そのものが嫌になることもある。だが、法学を学ぶのが面白いということを実感すれば、学習意欲も湧いてくるだろう。いわば、登山を志す者をヘリコプターで山頂に案内して、法学の学習が進めばどのような景色が見えてくるのか、お見せするわけである。 いま一つは、学問研究というのがどういふものか、実際の現場をお見せすることである。ビジネスにおける法務はしばしば巨額の利益に関わるので、派手な話題になることが多い。しかしそれに関する研究は、地味な努力の産物である。一次資料を丹念に読み込み、独自の意見を創り上げ、トライアル・アンド・エラーによってそれを彫琢錬磨する。大学は学問研究の場であり、学問研究の方法論を身に着けることは、学生諸君の生涯にわたる財産となる。派手な話題に関する地味な学問研究のプロセスを一端でもご紹介することができれば、諸君にとって何らかの意味があることと思う。 参加希望者は、説明会までにアトキンソン『日本の勝算』（2019年1月、東洋経済。Kindle版もあり）を読み、それに基づいて自分が何を考えたか、A4で1枚程度にまとめて持参されたい。 駒場リサーチキャンパス（教養学部キャンパスから徒歩5分程度）の先端研4号館6階知的財産法研究室で実施するが、ゲストを招く場合などは、東京駅近辺のサテライトを使うことがある。						
評価方法 教科書 ガイダンス		平常点による。試験は実施しない。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 2019/04/08 5限 先端研（先端科学技術研究センター）4号館6階						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31614	S 1	実践的機械学習研究	松島 慎	情報・図形	月 5 木 5	2	516 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		少人数（4名前後）のグループワークで機械学習アルゴリズムの研究を行います。 まず研究に必要な方法論の講義とプログラミングに関する演習を行い、特定のデータに対する予測精度向上のための改良を最終目標として設定します。 毎週課題を課すことにより数学・プログラミングを基礎的な部分から学ぶことを前提としているので、負担の高い内容になると思います。 また、課題解決を通して、コンピュータ科学の研究者としての基礎的なライフワークを学ぶことも本講義の目的です。 人数が多すぎる場合には第一回の課題を選抜のために使用します。						
評価方法 教科書 ガイダンス		グループワークへの参加状況を考慮し評価する 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31612	S	実践的プログラミング	金子 知適	情報・図形	月 6	2	E38 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		プログラミングによる問題解決では、与えられた問題に対して、計算時間を見積りながら適切なアルゴリズムを考えることと、それをプログラムとして実現することの両方が必要となる。本授業では「国際大学対抗プログラミングコンテスト」などに出题された問題を題材として、アルゴリズムを考えてプログラムを作る能力を実践的に養うことを目指す。プログラミングの経験を受講の前提とする。また、プログラミングコンテストに参加する意欲のある受講者を歓迎する。詳細は <a href="http://www.graco.c.u-tokyo.ac.jp/icpc-challenge/">http://www.graco.c.u-tokyo.ac.jp/icpc-challenge/</a> を参照のこと。						
評価方法		演習問題の解答状況およびゼミへの参加状況によって評価する						
教科書		教科書は使用しない。						
ガイダンス		第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31560	S	MATLAB による生体信号 処理入門	坂口 菊恵	教養教育高度 化機構	火 2	2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		今年度より、東京大学と MathWorks 社との間で包括契約が締結され、授業内でデータ解析ソフトウェア MATLAB が利用できるようになる。 さまざまな脳機能イメージング手法に対応した Toolbox が作成されていることもあり、心理学や神経科学では MATLAB を用いた信号処理は多用されている。近年では IoT や機械学習による分析の普及とともに、脳波などの生体データを利用したサービスに対する関心も高まっており、工学的活用も期待される。 本ゼミナールでは教室内で利用できる簡易脳波計 (iCh) を使い、データの取得と分析の基礎を実習する。自分の脳波データをもとに神経科学的意味と分析の基礎、および機械学習による分類法を学ぶ。次に、MATLAB の Toolbox を用いた実験計画や、デジタル信号処理の技法による音声刺激や画像刺激の加工を体験する。発展編として多チャンネルの脳波計を用いて取得した脳波データをもとに、ノイズ除去や独立成分分析、信号源推定といったより高度な分析方法について学ぶ。						
評価方法		実習課題レポートの提出をもとに評価する。						
教科書		実習課題レポートの提出 次の教科書を使用する。						
ガイダンス		書名 脳波解析入門：EEGLAB と SPM を使いこなす 著者(訳者) 開一夫・金山範明編 出版社 東京大学出版会 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31561	S	より良い教育を考える	吉田 壘 星埜 守之	教養教育高度 化機構	火 2	2	KALS (17 号館 2階)	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> 本授業は、大学の授業における学びをより深めるために学生として具体的にできることを考えて実行することを目的とし、第1部「大学教育に関する基礎知識を得る」、第2部「プロジェクトを実行する」と2部構成で設計しています。</p> <p>第1部では、大学自体に関する知識、教育を受ける学生に焦点を当てた学習に関する知識、教育を提供する教員に焦点を当てた教員・教授法に関する知識を、アクティブラーニングの方法を交えながら学びます。</p> <p>第2部では、これまでの経験や第1部で得た知識を利用しながら、大学の授業における学びを向上させるために学生とすることができる具体的な活動をグループで考案し、授業期間内で実施して、それに関する発表を行います。</p> <p>具体的な活動としては、例えば、新しい授業方法のスムーズな導入に向けた支援、学生がよりよく学ぶための「学び方」に関するワークショップの開発と実施などが挙げられます。</p> <p>◆ 授業スケジュール 【第1部 大学教育に関する基礎知識を得る】 第1回 ガイダンス 第2回 大学に関する基礎知識 第3回 学習に関する基礎知識 1 第4回 学習に関する基礎知識 2 第5回 教員・教授法に関する基礎知識 1 第6回 教員・教授法に関する基礎知識 2 【第2部 プロジェクトを実行する】 第7回 テーマ・グループ決め 第8回 グループでの活動 第9回 グループでの活動 第10回 中間発表 第11回 グループでの活動 第12回 グループでの活動 第13回 最終発表</p> <p>◆ 補足 ・この授業では、受講生が互いに学べることが多いと考えるため、ペアワークやグループワークで学ぶ機会を多くつくり ます。 ・本授業は、教養教育高度化機構アクティブラーニング部門特任助教の吉田壘も担当します。 授業への出席、中間発表、最終発表をふまえて、総合的に評価します。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>								
<p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31564	S	「教える」と「学ぶ」を 学ぼう—教材から考える 教授学習支援論—	樺本 弥生	教養教育高度 化機構	火 2	2	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> 【概要】 学ぶことと、学んだことを他者に伝える（教える）ことは、私たちの生涯に深く関わる重要な認知的・社会的活動です。この講義では、「人に教えるための教材を、自分が好きなことを題材として作る・実際に使ってもらう・教材を評価する」という一連の演習を通じて、教えることと学ぶことについてメタ的な視点から考える機会を提供します。学問分野としては、教育工学です。工学と聞くと理系であるように思われますが、教育工学は「教育実践の現場を対象として、現場の問題を改善するための方法や道具を開発し、その方法や道具の効果を評価する」ことを目的としています。そのために教育学や心理学を基礎とする、文理融合の学問分野です。科類にかかわらず、学習や教育に関心がある人の受講を歓迎します。</p> <p>【目標】 上記の概要をうけて、この講義では以下の知識とスキルを習得することを目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材開発に必要な要件を説明できる</li> <li>・対象とする学習者を適切に分析し、学習者に適した教材を作成できる</li> <li>・作成した教材を適切な方法で評価することができる</li> <li>・周りの受講生と協力して演習に参加できる</li> </ul> <p>【こんな人に来てほしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教える・学ぶ」プロセス（What）や方法（How）に興味がある</li> <li>・よりよく教えられるようになりたい、よりよく学べるようになりたい</li> <li>・教育という営みを俯瞰的に見る視点を探したい</li> </ul>								
<p><b>評価方法</b> 各課題の累積点数で評価します。 ただし、(1) 全ての課題が合格点（60%）に達していること、(2) 10回以上講義に出席していること、の両方を満たすことが、成績評価対象となる前提条件です。</p>								
<p><b>教科書</b> 以下の割合で合計します：小テスト（30%）、教材企画書（30%）、最終発表（40%） 次の教科書を使用する。 書名 教材設計マニュアル—独学を支援するために— 著者（訳者） 鈴木克明 出版社 北大路書房 ISBN 9784762822445</p>								
<p><b>ガイダンス</b> 第一回授業日に行う。</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31592	S	創造的読書論を読む	郷原 佳以	教養学部	火 2	2	517 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		文学作品に対する関わり方として、「書く(創作する)」という仕方に関わる人もいますが、大多数の人は「読む」という仕方に関わっています。書く人もまずは読むことから始めます。批評も読むことなしにはありえません。文学理論というと、書くことをめぐる理論という印象がありますが、理論の進展に従って、読むという私たちの行為に焦点を当てる考察も多く出てくるようになりました。ここでは、読書の自由さらには創造性を説くタイプの理論と一緒に読み、読書、批評、解釈とは何かについて考えたいと思います。						
評価方法 教科書 ガイダンス		発表、授業中の討論、小レポートで総合的に評価する。 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31518	S	トポロジー入門	北山 貴裕	数理科学 研究科	火 2	2	515 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		松本幸夫著『トポロジー入門』の輪講によって、現代数学の支柱であるとともに、様々な科学で広く応用されている、トポロジーの初歩について理解を深める。トポロジーとは、図形や空間の連続的な変形で保たれる性質を調べることで、「かたち」の本質を捉える一つの考え方である。この本では、大学数学の初学者向けに、トポロジーの基礎的事項が限定されて一から丁寧に解説されており、読者の論理的理解と直感的理解が並行して進むように配慮されている。基本群と呼ばれるトポロジーにおける基本的な道具について、他者に分かりやすく説明できるようになることが目標である。						
評価方法 教科書 ガイダンス		発表による。 次の教科書を使用する。 書名 トポロジー入門 著者(訳者) 松本幸夫 出版社 岩波書店 ISBN 978-4000057295, 978-4007300134 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31520	S 1	プロジェクト志向の翻訳 と MT「実用化」時代の 翻訳者コンピテンス	影浦 峯	教育学部	火 3 火 4	2	E35 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		2016 年に Google が日本語に関わるニューラル MT を公開して以来、MT の実用性に関して(ほとんどの場合特を取るに足らない)議論がなされてきた。一方、翻訳論の領域では、翻訳者に必要なコンピテンスの概念が外在的に定式化される傾向にあり、それと翻訳の品質管理の関係も議論されている。本ゼミナールでは、プロジェクト志向の翻訳(実際のプロによる翻訳の大部分はプロジェクトとしてなされる)に必要な翻訳コンピテンスの概要を理解し、入門的にその一部を体験する。 ※履修人数を 20 名に制限する						
評価方法 教科書 ガイダンス		(1) 授業への参加度、(2) 簡単な課題、(3) 翻訳実習の結果、の 3 点から総合的に評価する。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31771	S	再生可能エネルギー実践講座	瀬川 浩司	教養学部	火 4	2	1105 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		再生可能エネルギーの利用拡大は世界的に急務となっており、わが国のエネルギー政策の中でも重要な位置を占めている。2012 年 7 月に再生可能エネルギーで発電する電力の固定価格買取制度が導入され、太陽光発電を中心として大規模な導入が進みつつある。しかしながらその一方で、様々な課題も明らかになってきた。本講義では、まず世界と日本のエネルギー事情を俯瞰し、そのうえで再生可能エネルギー全体の位置づけ、個々の再生可能エネルギーの特徴を講義する。そのうえで、再生可能エネルギーの具体的な導入拡大に向けた実践的アプローチを講義する。 本講義は、理系の内容と文系の内容を含む文理融合の講義であるが、履修にあたって特殊な基礎知識などは特に必要ない。						
評価方法 教科書 ガイダンス		レポート 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31524	S 1	Design Thinking	PENNINGTON Miles 新野 俊樹	生産技術 研究所	火 4 火 5	2	生産技術 研究所 S 棟 206	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		This is a seminar series that introduces people to the practical process of design - you will learn the basic methods that designers go through in creating ideas and developing products. Design Thinking - is an introduction module to design processes. It is a series of workshops where participants can taste the basics of design from creating projects through to prototyping and review. We approach this from the perspective of innovation and future thinking - so the emphasis is on new ideas (and not just form making - as in traditional design) This is an experiential course and is project based. A theme will be set and participants will learn about design through designing something for themselves. “There exists a designerly way of thinking and communicating that is both different from scientific and scholarly ways of thinking and communicating, and as powerful as scientific and scholarly methods of enquiry when applied to its own kinds of problems” Professor Bruce Archer						
評価方法 教科書 ガイダンス		This series is not graded 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 Design Lab (S-206), S-Block Komaba Research Campus						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31497	S	Medical Biology 入門	尾藤 晴彦	医学部	火 5	2	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b></p> <p>Medical Biology 入門：生命現象から病気の治療へ 多様な医学研究 当講義は、文系理系を問わず全科類の学生に向けて、医学部の教員によって行われる講義である。本学医学部では、「解明されていないこと、解決法が求められていることに対して新しい医学を発信する」、すなわち広い意味で医学研究を推進する人材の育成を目指している。本講義はその一環として行われる。 近年、遺伝子変異の情報を用いた治療、遺伝子診断による病気の予知、iPS 細胞による病態解明、免疫チェックポイント阻害剤を用いたがん治療など、医学研究の発展とそれに向けられた興味は著しい。巷にも健康や治療法の最新の研究結果に関連した情報があふれている。実はそれらの情報の背後には長年にわたる地道な基礎研究の積み重ねがあるが、そこに携わる研究者から直接研究についての考え方やより深い背景を学ぶ機会は驚くほど限られている。高校まではこうした最先端の医学研究を研究者自身が深く紹介するカリキュラムはほとんどなかったのではないだろうか。そこで将来多方面で活躍するだろう本学のみなさんに、この大学の医学系研究科で行われているこれらの研究活動についてなじみを持ってもらいたいと考え、本講義を企画した。2019年の講師陣と内容は以下を予定している。</p> <p>2019年講義日程 4月9日(火) 尾藤晴彦(神経生化学) 「ガイダンス」+「長期記憶の分子シグナリング」 4月16日(火) Radostin Danev(先端構造学) 「Structure and Function of Membrane Proteins」 4月23日(火) 岡明(小児科学) 「子どもの心と身体」 5月7日(火) 松山裕(生物統計学) 「データサイエンスが支える健康社会」 5月14日(火) 藤尾圭志(アレルギー・リウマチ内科学) 「役に立つ臨床免疫学入門」 5月21日(火) 小野稔(心臓外科学) 「心臓移植と人工心臓」 5月28日(火) 石川俊平(分子予防医学) 「がんのゲノム病理情報解析」 6月11日(火) 岡崎睦(形成外科学) 「形成外科の世界」 6月18日(火) 廣瀬謙造(細胞分子薬理学) 「シナプスのはたらきを視る」 6月25日(火) 岡本一男(免疫学) 「骨免疫学」 7月2日(火) 浦野泰照(生体情報学) 「新たな先端医療創製を目指した分野横断研究 ～蛍光ガイド手術を実現する小分子蛍光プローブから、がんを殺傷する機能性細胞まで～」 7月9日(火) 岡部繁男(神経細胞生物学) 「脳神経回路の発達とその障害」 7月16日(火) MD研究者育成プログラム室 まとめ「研究医の育成を目指す東京大学医学部」 上記のように、本講義の講師は、本学大学院医学研究科において、基礎・臨床を問わず、最先端の研究に携わる研究者たちである。様々な医学領域の多様な研究者が週ごとに分担して、医学におけるどのような問題に立ち向かっているのか、何に魅力を感じて研究世界に入り、活動を続けているか、何が明らかにされつつあるのか、を語る予定である。</p> <p><b>評価方法</b> 本授業は出席と提出するアンケートの記入内容で成績評価を行う。そのため、試験は行わない全学自由ゼミナールの形式でこの講義を開講している。</p> <p><b>教科書</b> 教科書は使用しない。</p> <p><b>ガイダンス</b> 第一回授業日に行う。</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31538	S	物理学汎論	沙川 貴大	工学部	火 5	2	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b></p> <p>物理学は、力学、熱力学、電磁気学、量子力学、...等といくつもの科目にわけて講義されることが多いが、実際は人類の膨大な思考の積み重ねによって、一つの統一された学問を形成している。そこで本講義では、歴史と最新の発展をふまえて、物理学の全体像を俯瞰することを目標とする。 まず前半では、相対性理論を解説する。時間の遅れやローレンツ収縮などの不思議な現象を通して、時空や対称性といった物理学の基本的な考え方を学ぶ。 次に後半では、「光子」を題材にして量子力学をゼロから学び、ミクロな世界の物理法則が如何にマクロな世界とは異なっているかを議論する。さらに、量子暗号や量子テレポーテーション、量子コンピュータのアルゴリズムなど、量子力学の性質をフル活用した最先端の量子情報技術の紹介を通して、量子力学をより深く理解することを目指す。 ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p><b>評価方法</b> レポートによる。</p> <p><b>教科書</b> 教科書は使用しない。</p> <p><b>ガイダンス</b> 特に行わない。</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31578	S 1	微生物研究の最前線	石井 正治	農学部	火 5	1	515 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		食品、医療、環境、農業分野など、微生物は私たちの生活と密接に関わっています。本講義では、本学大学院農学生命科学研究科に所属する若手教員が、それぞれの専門分野における微生物研究に関して最先端のトピックスを紹介します。諸々の最先端手法を駆使して、多様な微生物についてどのような研究が行われているかを知る絶好の機会となることを請け合います。						
評価方法		履修の制限はありませんが、微生物に興味を持っている学生諸君の積極的な履修を期待します。						
教科書		各回、講義の内容をまとめたレポート（A4 用紙、1-2 枚程度）を提出してもらいます。						
ガイダンス		教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31494	S	作曲＝指揮	伊東 乾	情報学環	火 5	2	学際交流 ホール	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		P.ブーレーズと伊東の「アンギュラーダイナミクス」を実技指導するとともに、関連する演奏の身体技法を支える脳認知の基礎的な測定など、芸術を支える基礎科学の初歩も学ぶ。毎学期、集中して実技を行う合宿参加を条件に単位を発給している。詳細は初回ガイダンスで確認のこと。						
評価方法		出席とレポート						
教科書		次の教科書を使用する。 書名 現代の指揮技法 著者（訳者） 伊東 乾 出版社 東京大学出版会（2019 年春刊行予定） その他 刊行が間に合わなかったときはコピーで配布。						
ガイダンス		第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31604	S 1	豊かな人生設計に必要な 金融リテラシーを学ぶ ～実務の最前線で奮闘 する官僚が語る～	湯山 智教 内田 善彦 仲 浩史	公共政策 大学院	火 5	1	119 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		人生 100 年時代の到来や、ライフスタイルの多様化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。加えて、FinTech の台頭や、低金利環境の長期化など、現在の金融をめぐる状況も急速に変化しています。こうした中で、豊かな人生を送る上では、金融についての正しい知識（金融リテラシー）を身に付け、安定的な資産形成を行っていくことの重要性が以前にも増して高まっています。						
評価方法		本講義では、金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招き、昨今の経済社会や金融をめぐる環境変化を踏まえながら、私たち一人一人が豊かな人生を送る上で知っておくべき金融リテラシーについて講義を行います。具体的には、ライフプランニング、資産形成、保険、FinTech、暗号資産（仮想通貨）といったテーマを扱うことを予定しています。						
教科書		文系・理系を問わず、金融リテラシーに関心のある学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。						
ガイダンス		授業への参加及び毎回の授業実施時にとるアンケートにより評価します。 教科書は使用しない。 その他 各回で使用する資料はプロジェクターにより投影・配布する。（ITC-LMS 等を使用する可能性あり） 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31752	S 1	国際人道法基礎 International Humanitarian Law - Foundation	キハラハント 愛	地域文化 研究専攻	水 2	1	K213	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	この授業は国際人道法（戦時国際法）の基礎を英語で講義し、S2タームに行われる赤十字国際委員会の国際人道法ロールプレイ大会（英語）出場・参加のための基礎知識を履修学生に習得してもらうことを目的とする。 S2タームに開講される「国際研修」40269（国際人道法ロールプレイ）の履修には、この授業を履修することが条件となる。 This course aims to provide basic knowledge of International Humanitarian Law and to build a foundation for necessary knowledge and understanding for entering/observing International Humanitarian Law Role Play Competition, organized by the International Committee of the Red Cross. For those students who wish to take Global Praxis course '40269' (International Humanitarian Law Role Play), registry and successful completion of this course is required.							
評価方法	国際人道法とは、国際人道法の歴史、国際人道法の原則、赤十字国際委員会の役割、国際人道法と国際犯罪、をカバーする内容で、別途国際研修から出します赤十字国際委員会の国際人道法ロールプレイ大会に出場・見学に行く授業最後の授業で模擬問題を利用してロールプレイをしてもらい、以下の要領で成績を評価する。 出席・参加 20%、授業中の課題：20%、人道法模擬問題ロールプレイ：60% Performance in the role play exercise during the last class will be evaluated.							
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行く。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31599	S	競争法・消費者法・情報法 からの法学入門	白石 忠志	法学部	水 2	2	1109 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	競争法（独占禁止法のこと）、消費者法（例えば不当表示の規制）、情報法（例えば個人情報保護法）、などで争点とされている具体的な問題を通じて、法学の応用・先端を垣間見るとともに、憲法・民法・刑法などの基本科目を学ぶ意義の一端に触れる。それぞれの具体的な問題について、ある回に導入的講義 → 次の回に学生が報告して質疑応答等 → その回の終了後に全ての学生がそれぞれ1000字程度の短い文章を書いて提出、という手順をイメージしている。 初回までに、教員個人ウェブサイト（ <a href="http://shiraishitadashi.jp/">http://shiraishitadashi.jp/</a> ）の「授業」欄に、もう少し具体的な計画を掲げる。							
評価方法	授業への参加・貢献と提出物の状況を総合して、可否によって成績評価する。							
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行く。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31568	S 1	国連と文化 1	井筒 節	教養教育高度 化機構	水 3	1	K214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	2015年に創設70周年を迎えた国連。 国連教育科学文化機関（UNESCO）憲章に「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあるように、国際社会では、これまでの軍事・経済・政治を中心とした視点に加え、人間の心のウェルビーイングに目を向けた国際的パートナーシップの必要性に注目が集まっています。 人々の心に働きかけるためには、文化や芸術が大きな役割を担います。よって、この授業では、国連システムの基礎や、2030年までの国際優先事項である「持続可能な開発目標（SDGs）」について学びながら、心の交流や文化・芸術の力に注目した、未来志向の国際協力について考えます。 *この授業は、S2タームの集中講義として行われる「国連と文化2」（夏休み期間中の約1週間、国連ニューヨーク本部にて実施予定）の事前準備および選考を兼ねます。ニューヨークでの集中講義に参加を希望する者は必ず初回ガイダンスに参加し、極力この授業を履修すること。ニューヨークでの集中講義を履修する予定のない者も、この授業の履修を歓迎します。							
評価方法	授業への参加とレポートにより評価を行います。							
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。 第一回授業日に行く。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31608	S	問題解決のための思考法	宇野 健司	学生による 全学自由研究 ゼミナール	水 4	2	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>通称「宇野ゼミ」。大手シンクタンク（調査研究機関）の現役プロフェッショナルによるMBA（ビジネススクール）形式のディスカッション授業です。企業の組織論・経営戦略論、個人のキャリア形成など実践的なテーマを取り上げます。ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。</p> <p>また講師の体験談（海外大学院MBA留学、専門スキル習得、就活、転職など）をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスをします。</p> <p>授業の目的は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）ディスカッション・スキルを身に付けること</li> <li>（2）自分のキャリアについて考えること</li> <li>（3）講師・クラスメイトから刺激を受け、意識を高め、将来に向けてより自発的に行動できるようになること</li> </ol> <p>一定の問題意識を持った意欲的な学生の参加を希望します。 （双方向でのディスカッション授業の性質上、例年、講師・クラスメイトがとても親密になり、授業外でも友好的なコミュニティとして、卒業後も存続している状況です。）</p> <p>履修希望者が定員（30名）を超える場合が多いので、第一回授業日に必ず参加するようにしてください。出席した学生を優先します。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業への参加度による評価（テスト、レポート等の提出はありません）</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31606	S	ベルカント研究ゼミナール	夏目 張安	学生による 全学自由研究 ゼミナール	水 5	2	音楽実習室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>イタリア、ベルカント唱法の発声と呼吸法を学び、イタリア古典歌曲を課題曲として、息に乗せた透明感のある美しい声と、表現豊かな歌唱力を身につける。</p>							
評価方法 教科書	<p>課題曲の演奏発表 次の教科書を使用する。</p>							
ガイダンス	<p>書名 コンコーネ 50番 著者(訳者) イタリア歌曲集 1、 第一回授業日に行う。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31600	S	East-West Interactions and the Formation of Modern Societies	松原 健太郎	法学部	水 5	2	1103 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		In the first instance, this seminar discusses how East-West interactions took place in the course of modern history, and how specific processes of interaction shaped modern societies. While starting with some of the epistemological problems of how to conceptualise East and West in the first place, and the implications of such concepts, our main focus will be on the formation of East Asian societies and the problems surrounding the integration of these "modernised" societies into the international order, the latter also undergoing significant change in this process. Topics will include: the dichotomies between (what are deemed) universal values on one hand and traditional social institutions on the other; the uneasy relationships between "modernisation" "westernisation" and "colonisation" in these societies; intellectual attempts to categorise and compare different civilisations; and how Myth, Memory and History are manipulated and recycled in such attempts. At a slightly deeper level, we aim to delve into some of the central issues related to how a student (or future graduate of this university) might form her/his intellectual identity as an individual who: a) was educated in a Japanese university, becoming part of Japanese society in the process; but b) wishes to operate in a global context, primarily (for better or for worse) in the English language. In this latter context, it will often fall on that future graduate to explain aspects of Japanese (or perhaps more widely East Asian) cultures and societies, and this will have to be done using a relatively universal language of concepts and categories, originating in European thought. In this seminar we will attempt to understand both the historical experiences of East Asian societies and the implications of the formation and existence of such a language.						
評価方法		Students will be evaluated on the basis of participation in class and a final report, to be written on a topic agreed upon by the student and instructor.						
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31601	S	エルンスト・ユンガーを読む	和仁 陽	法学部	水 5	2	1223 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		エルンスト・ユンガー(Ernst Jünger, 1895-1998)は、二十世紀のほぼすべてに亘って生きたドイツの文筆家である。この作家のテキストを、丁寧にドイツ語で読むことにする。非常に簡潔なドイツ語なので、文法・構文・語彙上の難易度は低い。ドイツ語初学者でも意欲ある方であれば奮ってご参加いただきたい。文芸的作品(小説・エッセイ)のみならず、日記・書簡など、さまざまなジャンルのテキストが膨大にあるので(最近の普及版全集だけで 22 巻、11,000 頁超)、何を取り上げるかは、参加者の関心に応じて柔軟に決定する。						
評価方法		平常点による。そのためにも、全回出席を大原則とし、無断で欠席すると単位を与えないことがありうる。						
教科書		プリントを配布する。						
ガイダンス		書名 Sämtliche Werke in 22 Bänden 著者(訳者) Ernst Jünger 出版社 Klett-Cotta その他 <a href="https://www.klett-cotta.de/buch/Juenger/Saemtliche_Werke_in_22_Baenden/62294">https://www.klett-cotta.de/buch/Juenger/Saemtliche_Werke_in_22_Baenden/62294</a> 特に行わない。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31569	S	最新の宇宙像	本原 顕太郎	理学部	水 5	2	107 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		近年、宇宙観測の技術は急速に発展を遂げており、私達人類が持つ宇宙像は、大きく塗り替えられている。最先端の宇宙観測とその成果を、理学系研究科天文学教育研究センターに所属する様々な分野の専門家がわかりやすく紹介する。天体現象だけでなく観測の手法についての解説も随時行う。天文学の知識を系統的に与えることが目的ではなく、多様な宇宙の姿やその観測技術・研究手法に興味を持ってもらい、科学的な思考方法に慣れてもらうことに主眼をおく。						
評価方法		レポートにより評価を行う。						
教科書		教科書は使用しない。						
ガイダンス		第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31579	S	昆虫と節足動物の生物学	松尾 隆嗣	農学部	水5	2	166 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> 「昆虫採集」や「夏休みの自由研究」、あるいは「ファール昆虫記」といった接点で昆虫や節足動物に子供のころ親しんだ経験を持つ人も、その後は疎遠になってしまうことが多いのではないだろうか。昆虫と節足動物は種数で動物全体の約8割を占めるグループであり、生態系で果たす役割や人間の社会に及ぼす影響はおそらく皆さんが考える以上に大きい。東大農学部では多くの研究室で昆虫や節足動物を対象にした研究が行われている。本ゼミナールでは、実際に昆虫や節足動物を扱っている農学部の教員がそれぞれの専門分野からトピックを紹介する。大学1・2年生にとっては高度な内容を含むこともあるが、昆虫と節足動物がいかに多様な観点から注目され研究されているのかを学んでいただきたい。予定している各回のトピックは以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫と節足動物の生物学の概論</li> <li>・昆虫の闘争行動</li> <li>・遺伝子組換え昆虫による害虫防除</li> <li>・クモ類の生態と進化</li> <li>・昆虫ウイルスとバイオテクノロジー</li> <li>・アワノメイガ類における雌雄間コミュニケーションの多様性</li> <li>・昆虫における匂い・味・フェロモンの受容体</li> <li>・昆虫の生殖隔離と種分化</li> <li>・農業をする昆虫：養菌性キクイムシ</li> <li>・環境保全型水田の豊かな節足動物群集：害虫—天敵—ただの虫</li> <li>・害虫管理に対する昆虫の多様な進化的応答</li> <li>・昆虫のバイオテクノロジー</li> </ul> <p>また実際の体験を通して理解を深めるために、弥生キャンパスの昆虫・節足動物関係の研究室を巡る見学会と、西東京キャンパス（演習林・農場）での昆虫野外調査の体験実習を企画している（それぞれ参加希望者が一定数を超えた場合に実施）。</p> <p>原則として、1回目の授業（ガイダンスを含む）に参加した人のみ履修を認めます（2回目以降からの履修を認めない）。事情により1回目の授業に参加できない場合は「事前に」担当教員から許可を得てください。履修希望者が多数になった場合は、何らかの方法により選抜することがあります。</p> <p>出席および受講態度で成績を評価する。受講態度を評価する目的で不定期に小テストを実施する。</p> <p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス 教科書は使用しない。 第一回授業日に行く。</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31519	S	対称多項式入門	阿部 紀行	数理科学 研究科	水5	2	512 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> 変数を入れ替えても変わらない多項式を対称多項式といいます。例えば <math>x+y+z</math> や <math>(2x+y+z)(x+2y+z)(x+y+2z)</math> は三変数の対称多項式です。素朴ではありますが豊かな理論を生み出す深い数学の対象です。解と係数の関係に表れる対称多項式を基本対称式と呼びます。例えば三変数の基本対称式は <math>x+y+z</math>, <math>xy+yz+xz</math>, <math>xyz</math> の三つです。対称多項式の理論の出発点が、対称多項式の基本定理でしょう。これはどのような対称多項式も基本対称式から加減乗（と定数倍）により作られることを主張します。本講義でも、この基本定理とその証明を出発点とします。その証明において、ヤング図形と呼ばれる組み合わせ論的対称が自然に現れます。これが対称多項式の理論におけるもう一つの主役です。対称多項式と、これらの組み合わせ論的対称の交わりを理解することを講義の目標とします。</p> <p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス レポートによる。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31495	S	室町・戦国時代の法制 史料を読む	前川 祐一郎	史料編纂所	水5	2	119 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> 日本中世の社会には、現代人の「常識」と大きく異なる法や慣習が存在した。それらの法や慣習は中世社会の独特のあり方を示しており、室町から戦国時代にかけての法制史料、たとえば戦国大名の分国法や単行法令などの中に多く残されている。この授業では、戦国大名の分国法などの法制史料を読むことにより、中世史料に慣れ親しみ、史料から中世社会の面白さ・興味深さを読み取る初歩的訓練・体験の場を、受講者に提供できればと考えている。</p> <p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス 受講者の授業への主体的な参加の状況（史料読解への挑戦意欲と習熟の度合いや、報告・発表など）および提出レポートによる。 プリントを配布する。 第一回授業日に行く。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31526	S	現代生物学研究の独創と創造	堀越 正美	定量生命科学研究所	水 5	2	150 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		現代の学生は将来、自分が研究者、科学者としてどのように人生を生きていくのか、研究の独創や創造はどのように生み出されるのか、また、論理的に考えるとはどういったことなのか等について、まったくと言ってよいほど力を身につけていない。そのような状況を踏まえ、教養学部の中から将来を考える志の高い学生に対して、現代生物学研究の現状や研究者のあり方について考える機会を設けたい。						
評価方法 教科書 ガイダンス		東京大学の授業の中では、異色な授業と言われている。考える力を身につけるにはどうしたらよいかと考えている学生、将来、科学者や研究者を目指したい学生、自分の考えを述べ議論するような授業に参加したい人に勧める。 出席 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31603	S	難民から学ぶ「人間の安全保障」	佐藤 安信	人間の安全保障プログラム	木 2	2	K113	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		日本が外交の原則とし、政府開発援助(ODA)の指針ともしている、「人間の安全保障」を理解し、実践するための入門的なセミナー。とりわけ、その中心的な地球規模の課題の1つである、「難民」に焦点を当てる。講師として難民を招き、その体験談から、難民の生活を知り、その解決と予防について考える。参加者も、グループで様々な難民について、調査し、可能ならば、難民や庇護申請者からの聞き取りをし、提言を含めた発表を行う。英語のみで行う場合もある。						
評価方法 教科書 ガイダンス		参加、発表、レポートで総合評価 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31567	S 1	図書館の学び・活用・提案①	岡本 佳子	教養教育高度化機構	木 4	1	K201	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		「図書館の学び・活用・提案」(通称「こまとちゃんゼミナール」)は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、図書館と学生の協働や学びのあり方について考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。						
評価方法 教科書 ガイダンス		S1 ターム実施分「図書館の学び・活用・提案①」では、大学図書館をよりよく利用するための実習を行います。具体的には、1. 駒場図書館の概要を知る、2. 学習や研究のための図書館の活用方法(参考図書スペースやレファレンスサービス等)を学ぶ、3. 情報を探するための基本的なデータベースの使い方を実習する(学外 GW サービスの利用を含む)を通して、学内で利用可能なリソースを使いこなすことを目標とします。詳細は Web サイト ( <a href="http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html">http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html</a> ) を参照の上、初回ガイダンスに参加してください。 ※受講人数を 20 名程度に制限します ※本授業の受講生は S2 ターム実施の「図書館の学び・活用・提案②」への連続履修が望ましいです ※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります ※「こまとちゃん」は駒場図書館の公式キャラクターです 出席状況、授業への貢献度、課題提出状況とその内容から合否判定を行います 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40286	S 2	図書館の学び・活用・提案②	岡本 佳子	教養教育高度 化機構	木 4	1	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> 「図書館の学び・活用・提案」(通称「こまとちゃんゼミナール」)は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、図書館と学生の協働や学びのあり方について考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。</p> <p>S2ターム実施分「図書館の学び・活用・提案②」では、駒場図書館所蔵の資料を発信するための実習を行います。具体的にはビブリオバトル実施(予定)のほか、チームでテーマを決め、関連する資料を選定し紹介文を執筆します。執筆した文章はチームでのブラッシュアップを経て、ウェブサイトや展示等で公開することを目指します。</p> <p>そのほか授業内外(授業外実施の場合は希望者のみ)にて、駒場図書館のバックヤード見学、学外図書館の見学を予定しています。詳細は Web サイト (<a href="http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html">http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html</a>) を参照の上、ガイダンスに参加してください。ガイダンスは4月11日(木)4限の「図書館の学び・活用・提案①」の第1回授業日と6月6日(木)4限の「図書館の学び・活用・提案②」第1回授業日、あわせて2回行います。</p> <p>※受講人数を20名程度に制限します                  ※本授業の受講希望者は「図書館の学び・活用・提案①」を受講済みであることが望ましいです                  ※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります                  ※「こまとちゃん」は駒場図書館の公式キャラクターです</p> <p><b>評価方法</b> 出席状況とチームワークへの貢献度、課題の提出状況とその内容で合否判定を行います  <b>教科書</b> 教科書は使用しない。  <b>ガイダンス</b> 特定日に行う。                  2019/04/11 4限/「図書館の学び・活用・提案①」実施教室</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31772	S	国際環境エネルギー経済学概論	瀬川 浩司	教養学部	木 4	2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> 国際環境エネルギー経済学「エネルギーのベストミックスとは～政策とビジネスの現場から」</p> <p>電気・石油・ガスの三大エネルギーは、現代の私たちの生活や産業活動に欠かせないものです。これらは、空気のように当たり前のものとして、我々の身近に存在しています。</p> <p>しかし、日本は国内でエネルギーをまかなうことは難しく、そのことが強く再認識されたのは、東日本大震災でした。原子力発電に対する厳しい見方と共に、電力不足に対する不安の高まりも見られました。</p> <p>他方、国際社会に目を向けると、地球温暖化は喫緊の課題であり、「パリ協定」によって日本を含む各国のCO2排出量抑制に向けた取組が進められようとしています。</p> <p>こうした中、日本がどのようにエネルギーを選択し確保するか、いわゆる「ベストミックス」をいかに実現するか、国を挙げて議論が行われています。エネルギー問題に適切に対応していくことが、日本の経済社会の発展における最大の鍵と言っても過言ではありません。</p> <p>そこで、本講義では、経済社会の帰趨を左右するエネルギー問題の実情を説明し、近い将来に経済界、官界、政界、学会、報道機関、などで我が国を支えることになる聴講生の皆さんが、自分なりにエネルギーのベストミックスを考えられるようになることを目的とします。このため、細かい事象やデータを覚えるのではなく、エネルギーを巡る大きな流れを理解できるよう解説すると共に、最近のトピックスについて質疑応答や議論を行います。</p> <p>エネルギー政策の有識者、最前線で取り組んでいる経済産業省若手官僚、エネルギービジネスの現場で活躍しているビジネスパーソンなどをゲスト講師として迎え、臨場感のある現場の話と共に、裏話なども披露していただきます。このため、教養学部のみならず、法学部、経済学部、文学部、工学部の学生にとっても有意義であると考えます。</p> <p>最終回では、それまでの講義を踏まえて、聴講生が考える日本のエネルギーのあるべきベストミックスを含め、今後のビジョンについて意見交換や議論を行います。</p> <p><b>評価方法</b> エネルギー、経済関連の事象について、それぞれの関連性などに関し大筋把握した上で、今後の我が国のあり方について聴講生がそれぞれの考え方をまとめるための材料を提供することを目的とした講義であることから、正解、不正解を評価するような試験は行わず、最後の講義において、それまでの講義を踏まえて聴講生からエネルギー問題に関する考え方をレポートに基づき発表をしていただき、その内容が論理的に整理されているかにより評価する。</p> <p><b>教科書</b> 教科書は使用しない。  <b>ガイダンス</b> 特に行わない。</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31607	S	日本の医療の光と影~医療と福祉 の現場から考える現代社会	土谷 良樹	学生による 全学自由研究 ゼミナール	木 5	2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>「医療は医学の社会的適応である」と元日本医師会会長は述べました。「社会的適応」とは何か、医学は医療から抽出されるエッセンスという逆方向の見方もできるのではないかと。このゼミでは、日本の医療現場で日常的に起きている問題を出発点として、その背景に何があるのか、それを探求していきます。</p> <p>患者側の要因、医療者側の要因、医療システムの問題、医療経済による制約、その他さまざまな社会的要因、政治的要因など、非常に多くの因子が医療の現実を規定しています。医療は日本に根付いた文化とも言える社会システムですが、根拠となる法は国会で制定され、日常的には厚生労働省が運営し、予算は財務省が管理します。その内容は頻繁に改定され、医療システムは常に変化しています。医学が発展しても、医療システムが足並みをそろえて発展しなければ、良い医療は提供できません。</p> <p>世界保健機構 WHO は、健康とは、単に病気がない状態ではなく、肉体的、精神的、社会的、霊的に well-being な状態であると定義しています。今学期は、「医療を求める人々」をテーマに据え、日本の医療のあり方について考えます。</p> <p>学生の科類は理系文系を問いません。履修しなくても、聴講することが可能です。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>講義への出席率 60%、最終回の感想文提出 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31577	S 1	生命の生存戦略をひもとく ケミカルバイオロジー	西村 慎一	農学部	木 5	1	1212 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>生物は同種・異種の他個体と共存・競争しながら生存しており、そこでは有機化合物を介したコミュニケーションが重要な役割を果たしていると考えられています。生物個体の中においてもホルモンや代謝物と呼ばれる有機化合物が恒常性の維持とライフサイクルの展開に欠かせません。一方、人類はそういった分子が示す強烈的な生物活性を利用して、医薬や農薬、研究解析ツールを開発してきました。</p> <p>本ゼミナールでは微生物間相互作用、植物ホルモン、有機合成、有機化合物探索、作用機構解析を得意とする教員がオムニバスで有機化合物にまつわる話題を提供します。化学で生命の生存戦略を理解しようとする研究分野、ケミカルバイオロジーにおける古典から最新トピックスについて受講生の皆さんと議論したいと考えています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席とレポートによって評価します。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31751	S	農作物を知る	河鰭 実之	農学部	木 5	2	105 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>普段何気なく食べ、また観賞する農作物はいったいどのようにつくられ、またどのような特徴があるのだろうか。それらの植物としての特徴、伝統的な栽培から最新の技術、生態系との関わり、社会文化との関わりなどを交えながら、文系の学生にもわかりやすく説明する。本セミナーを通して、人類にとって必須の食料・農産物の持続的生産に関する課題、新しい農業への取り組みなどをより具体的に知り、農業問題について身近に感じて考えてもらいたい。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席とレポート 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31500	S	読み破る政治学 - 多読・ 乱読・精読ゼミ -	牧原 出	先端科学技術 研究センター	木 5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>今年で7年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み破る」ことを目標にします。毎週1冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、反論をする、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの課題です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましよう。その上で他の学生からの質問で驚いたり考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。アフター・ブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーもあるでしょう。すでの多くの修了生がいますが、夏休み・冬休みにはOB・OGも参加する合宿を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は本の集中的な精読、冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。</p> <p>※受講人数：あらかじめ制限はしない。 ※開講場所：駒場Ⅱキャンパス・先端科学技術研究センター13号館2Fセミナー室（225号室）</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>平常点による。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31525	S	生命科学の最前線	新藏 礼子	定量生命科学 研究所	木 5	2	112 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>東京大学定量生命科学研究所では、最先端の生命科学研究が日夜活発に展開されている。Sセメスターに行われるゼミナールでは、研究所に所属する研究者による最先端の生命科学研究を紹介する。以下の授業計画に記載のように、基礎から応用まで、幅広い研究内容を含む。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31496	S	色と数字で読み解く中国 古典小説	上原 究一	東洋文化 研究所	金 1	2	103 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>四大奇書（『三国志演義』、『水滸伝』、『西遊記』、『金瓶梅』）に代表される中国明代の白話小説には、複数の作品に共通して用いられているモチーフや、作品をまたいで共有されている所謂「お約束」のようなものが少なからず認められる。この授業では、そうした「お約束」のうち、色に関するものと数字に関するものをそれぞれ幾つか取り上げて、それらが「お約束」として成立した背景を考えるとともに、白話小説を読み解くにあたっての勘所を養う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>期末レポート、授業への参加度（コメントシートやディスカッション） プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31563	S	芸術を言語化する	岡本 佳子	教養教育高度化 機構	金 2	2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>全学自由研究ゼミナール「教養としての芸術学」は講読や創作体験を通して、芸術を座学と実践の両面から学ぶ授業です。</p> <p>2019年度Sセメスター「芸術を言語化する」では、芸術を能動的に理解するための方法として、芸術を言語化し文章として表現することを学びます。具体的には音楽や演劇、メディアアート等を鑑賞して作品解説や批評を実際に執筆し、チームでブラッシュアップして冊子として発表することを目指します。実施にあたり、実践の場で活躍する学外のゲスト講師からの協力を得て開講する予定です。前提知識は不要ですので、「作品を鑑賞した感想を他の人と話してみたい、でも何と表現すればいいかわからない」という人も歓迎します。まずは話してみる／書いてみるのところから始めてみましょう。受講者には授業外でも積極的に劇場やコンサートに足を運び、芸術作品に多く触れる積極性を期待します。詳細はウェブサイトを確認の上、ガイダンスに参加してください。</p> <p>授業ウェブサイト：<a href="http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html">http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html</a>            ゲスト講師（予定）</p> <p>【音楽】松平あかね            音楽評論家。「読売新聞」にて音楽評を担当。プログラムノートやエッセイの執筆、雑誌への寄稿のほか、音楽賞などの選考委員を務める。「年刊ワーグナーシュンボシオン」編集委員、日本ワーグナー協会事務局長。歌手としても活動しており、おもに近現代作品を手がけている。ミュージカル（「舞台 FGO」）にて歌唱指導。自身の声による多重録音「MACHA ART～口切りの茶事」が伊藤園 web CM にて公開中。第一回一柳慧コンテンツボラリー賞受賞。</p> <p>【ビデオ・アート】河合政之            哲学的かつ先鋭的な映像、インスタレーション、パフォーマンスを国内外で発表。NY、パリ、イスラエルなどに滞在。展覧会のオーガナイザーとしても活動し、「Visual Philosophy」のコンセプトにもとづくさまざまなビデオアートのプロジェクトを展開。著書『リフレクション：ビデオ・アートの実践的美学』（水声社）他。</p> <p>【演劇】堀切克洋            演劇研究・批評。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻（表象文化論）博士課程単位取得退学。2013年、第17回シアターアーツ大賞受賞受賞。「日本経済新聞」「悲劇喜劇」などに寄稿。翻訳に『ヤン・ファープルの世界』『歌舞伎と革命ロシア』など。俳人としても活動し、2017年、第8回北斗賞受賞。句集『尺蠖の道』。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>全ての授業への参加を前提に、演習への貢献度、課題提出とその内容により総合的に判断します。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31581	S 1	伊豆に学ぶプラス2019S1 「感じる・考える・行動する」 サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	金 2	1	151 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
40290	S 2	伊豆に学ぶプラス2019S2 「感じる・考える・行動する」 サイクルの発動			金 2	1	151 教室	
授業の目標概要		<p>この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「育てるのがプラスの講義」「案ずるより産むが易し」と励ましたい。</p> <p>さて、近年「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されるなど環境教育の重要性は社会的認知度を増した。実際、「持続可能な社会の実現」というキーワードを意識せずには将来を考えられない状況にある。しかし、環境教育は初等・中等教育において既に「完了」したことになっており、大学生ともなればその手の「環境教育」は卒業済みなのでもう考えることはないといった風になってはいないだろうか。法が謳うように、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うような流れになっているだろうか。</p> <p>環境教育が重要だとされるが、その真意はなかなか学生の皆さんには伝わりにくいのではないか。もしかすると伊豆ゼミは、その伝わり難い部分を少しだけでも補えるのではなかろうか。これまでに受けて来た環境教育は、おそらく大学受験ではほとんど役に立たなかったと思われる。受験で役に立たなかったことを、社会に出てからも役に立たないことだと思いつまみ入っている節はなかろうか。「環境保全の意欲」が低いのは、身につまされる経験がなければ致し方ないことかも知れない。真に社会の役に立つ人材となるために、そんな誤解は早々に解くべきでしょう。</p> <p>「伊豆に学ぶ」シリーズでは、環境の問題、景観の問題、獣害の問題など身近な森林が抱える様々な問題を意識化するために、現地に足を運び、伊豆半島に特徴的な事象観察を行い、また、実体験を交えて自分の五感で体験学習した。受講者は色々なことを気付ける自分に気付くという思いがけない体験をしたと思う。そもそも学びとは一体何なのだろうかかと、少し自問する気分も生じたのではあるまいか。また、同じ体験をしながらも、自分とは違った見方、感じ方で捉える同世代の大きな存在も強く意識したに違いない。伊豆ゼミは、高い志と低い垣根の両立を目指して丁寧に組み上げ、第一に「感じる」ことを大事にしている。正味4日程の短い間に、様々な「つながり」を感じられる仕掛けに仕上げたつもりである。</p> <p>本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにするを大きな目標とし、真剣に考え・顧みて、議論することを大切に。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを半ば強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行つては、自由にとことん議論して真に和すということがないか心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っここの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)18時45分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定している。</p>						
評価方法	授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。							
教科書	教科書は使用しない。							
ガイダンス	第一回授業日に行う。							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31517	S	カオス力学系入門	林 修平	数理科学 研究科	金 2	2	117 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>決定性の中に潜む予測不可能性や不確定性を扱うカオス理論は自然科学のみならず広範な分野に登場します。この講義では、教養1年生程度の予備知識を前提として、数学としてのカオス力学系理論の重要なアイデアや手法を、下記の教科書前半の論講を通して学びます。初等的な1変数関数を繰り返して適用するだけで豊かなカオスの数学理論が展開されることを示したこの本は、カオス力学系を数学的に扱った最初の入門書として世界的に好評を博してきました。例えば、<math>f(x)=ax(1-x)</math> のような簡単な2次関数を通して、一般の非線形力学系においても重要な概念が提供されるので、必ずしも数学科志望でない学生にとっても近づきやすい内容になっています。</p> <p>※ 履修人数を20名程度に制限する。</p>						
評価方法	平常点およびレポートにより評価する。							
教科書	次の教科書を使用する。							
ガイダンス	<p>書名 カオス力学系入門 第2版 著者(訳者) Robert L. Devaney (國府ほか訳) 出版社 共立出版 ISBN ISBN-10: 4320017056 第一回授業日に行う。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31609	S	グラフィックデザイン概論	保田 容之介	学生による 全学自由研究 ゼミナール	金 5	2	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>デザインの本来の意味である「設計」という機能的な側面を概論的に解説し、基礎教養とすることで、将来各分野を牽引していく学生がデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。</p> <p>機能性と美しさを両立するという狭義の意味での「デザイン」はますます日常生活と切り離せない身近な存在になりました。例えばそれはみなさんが近い将来に頻繁に使用するプレゼンテーション資料のレイアウトなどでも感じ取ることが出来るでしょう。</p> <p>本講義では現役のデザイナー / クリエイティブディレクターにより、論理的・学術的な視点で「デザイン」をひもといていきます。</p> <p>座学としてグラフィックデザインの歴史から始まり、色などの基礎教養、書体解説、写真技法、デジタルツール解説などのデザインの実務で使用する知識や、UI/UX などの基礎知識を学び、積極的に手を動かして考えを発表するワークショップやフィールドワークも行います。</p> <p>それによって講義の外でもデザインを楽しみ、将来各分野を牽引していくみなさんがデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。</p> <p>是非本講義を経る前と後の視点の変化を実感してください。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席および授業内課題 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 2019/04/05 5限 K214</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31613	S	情報システム利用入門	松島 慎	情報・図形	金 5	2	E21 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>本学の教育計算機システムを利用して、一般的な情報システムの利用方法を初歩から学ぶ。情報システムのモデル、端末の操作方法、応用ソフトウェアの基本的な利用を中心とする。情報に関する深い理解や高度な機構の理解は対象としない。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>課題レポート提出による合格・不合格 授業中に指示をする。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31499	S	駒場すずかんゼミナール 『学藝饗宴』	鈴木 寛	公共政策 大学院	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>19世紀末のパリ、毎週火曜日の夜になると、詩人ステファノ・マラルメによって「火曜会」という会合が開かれていた。この会合にはモネやドガ、ヴァレリーやドビュッシーなど、多くの文化人が集って、学と芸をめぐって活発な議論を展開していた。</p> <p>過去長くさまざまな主題で駒場にて開講されてきた歴史をもち、2017年度より新しく本題にて開講されている本ゼミナールは、この「火曜会」をはじめとしたサロン文化の現代的復活を目指すものである。</p> <p>本ゼミナールはサロン形式で受講者を少人数に絞り、文部科学副大臣も務めた・東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を横断する教養教育を行うことを目指したゼミである。ゼミ生同士の議論、各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションが主な授業内容となる。</p> <p>学藝を横断する様々な講師陣の指導を受けながら、学生たちが主体となって徹底的な議論とアウトプットを成す。</p> <p>昨年度 A セメスターでは、「物語」をテーマとした。物語という表現形態の可能性を問い、「物語る」という行為について考察を深めた。物語とはありとあらゆる分野から見出されるものである。歴史もまた物語とは無縁ではなく、経営や建築にも物語がある。物語るという行為は「読み解く」という行為と表裏一体であり、それゆえに、ゼミ生には対象の読み解きについてもそれぞれの関心に即して実践を多く経験してもらうことになった。</p> <p>本ゼミナールは、特定の問題についての答えを与えるゼミではない。むしろ、自らの関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけでなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさ好奇心を抱き、それを自らの血肉としてゆっくりと結実させようと試みるような学生に参加してほしい。</p> <p>※選考をガイダンス時に行い、受講者を10～20名程度に限定する。 ※講義内容、予定課題図書、その他の詳細はFacebook ページを参照すること。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>ガイダンス時に説明する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/09 6限 1号館 159 教室 場所については関連ページ参照をすること。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31523	S	学部学生のための研究 入門コース-UROP1 (Undergraduate Research Opportunity Program 1)	川越 至桜	生産技術 研究所	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。                  駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、IT、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。</p> <p>研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。</p> <p>このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。</p> <p>授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ(<a href="http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/">http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/</a>)を参照のこと。</p> <p>※履修人数を20名に制限する。                  ※開講場所：生産技術研究所                  ※ガイダンスは、4月5日（金）および4月9日（火）の2日間、12時20分より教養学部1号館104教室にて行う。2回とも同一内容で実施。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>日頃の研究への取り組み、報告書、および研究発表により、成績を評価する。</p> <p>授業中に指示をする。                  特定日に行う。                  4月5日および4月9日の2日間、12時20分より 教養学部1号館104教室 で行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31544	S 1	バーチャルツールを使って医療 者の臨床業務を体験してみよう	水流 聡子	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>患者治療計画を臨床プロセスとして可視化し、個別計画に従って、臨床プロセスをすすめていく疑似体験を通して、病院が提供する入院医療サービスの概要・意義を理解する。                  ※このゼミは4月5日(金)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席 レポート 教科書は使用しない。                  特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31545	S 1	リチウムイオン電池を 作ってみよう	山田 裕貴	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>リチウムイオン電池はスマートフォンやノートパソコンなどに使われている繰り返し充電可能な電池です。最近では、電気自動車や電力貯蔵用途としての採用も進んでおり、貯蔵エネルギー量の更なる増加が求められています。本ゼミでは、まだ実用化されていない新規材料を含む様々な電極材料を用いてリチウムイオン電池を作製し、その充放電特性の違いを評価します。それにより、リチウムイオン電池の構造と反応メカニズム、更なる高性能化における課題について学びます。                  ※このゼミは4月5日(金)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席による評価                  教科書は使用しない。                  特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31546	S 1	細胞培養に挑戦してみよう	伊藤 大知	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>新規医薬品開発、医用材料の開発、材料の環境リスクの評価、再生医療にまで必要不可欠な、培養細胞を用いたバイオアッセイ法を体験学習する。培養細胞に抗がん剤やナノマテリアルを投与し、代表的な生存率測定アッセイにより細胞に与える影響を調べる。</p> <p>細胞培養は、化学システム工学・化学工学・生物化学工学・材料工学・バイオエンジニアリングなど工学系分野から、医学研究分野まで、幅広い分野で用いられている技術である。細胞も液体窒素で凍結保存されているものを解凍して容易に培養を始めることができる。さらに培養した細胞の状態を調べる各種アッセイ法は幅広く用いられている。近年は各種試薬がキット化されて、廃液などの環境や人体への影響を調べることにも応用できる。</p> <p>本ゼミではこれらに実際に行ってみて、バイオ技術がいかに身近なものになっているかを体感してください。</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席と理解度による総合的評価 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 日程は履修者と調整。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31547	S 1	医薬品工場を見学してみよう	杉山 弘和	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>最新鋭の医薬品工場を見学し、薬とその製造プロセスに関する理解を深めます。実施は5月25日(土)を予定しています。まず午前中に中外製薬浮間工場(JR 埼京線北赤羽駅徒歩約15分)を訪問し、竣工したばかりの最新・大規模製造ラインを見学します。見学する工場では、バイオ医薬品(具体的にはモノクローナル抗体と呼ばれるタンパク質からなる薬で、抗がん剤などに使われる)が製造されています。見学後、本郷キャンパスに移動し、見学内容をさらに理解するための講義とディスカッションを実施します。製薬企業のモノづくりを実際に見ることのできる大変貴重な機会です。</p> <p>※受け入れ人数に制限があるため、事前登録制とします。定員に達した場合は申し込みを締め切らせていただきます。</p> <p>締め切り:5月7日(火) 連絡先:化学システム工学専攻 白畑 春来 h-shirahata@psc.t.u-tokyo.ac.jp ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>工場見学への参加とレポート 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31548	S	化学システム工学を冒険しよう ～ショートオムニバス& 研究室見学～	脇原 徹	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>化学システム工学という学問は、その研究がどのように社会課題の解決に貢献できるか、課題解決のために求められる目的や機能は何かを常に考えることが求められます。化学システム工学における研究テーマは、基本的な原理を追究しているものから、社会における物質循環や安全の問題に取り組んでいるものまで、非常に多岐にわたっています。例えば昨今の地球温暖化問題に代表される環境問題は一つの技術だけでは解決できません。全体像を理解し、個別の問題を解決する能力が求められます。化学システム工学は、基礎としての「化学」に加え、分子から地球に至る各レベルでの様々な化学現象の解析・制御とそれらの構成要素のシステム化・設計を行うための方法論を学びます。そして、目的に応じて要素をモデル化し、全体をシステムとしてとらえるシステムの思考で各課題に取り組みます。</p> <p>この授業では、化学システム工学がどのような学問かを実際に本郷で体験してもらうことを目的としています。化学システム工学を取り扱っている研究室は多くありますが、いずれの研究室においても、現実の問題にどのように取り組むかという明確な視座を持ち、お互いに協力しながら研究活動を進めています。</p> <p>オムニバスと研究室見学を組み合わせた内容にします。</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席及びレポートにより評価を行う 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31562	S	ブランドデザインスタジオ20「新しい『音楽』のブランドを創る」	真船 文隆 宮澤 正憲 岡本 佳子	教養教育高度 化機構	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業に参加するには、履修登録とは別に「説明会への出席」と「エントリーシートの提出」が必要です。授業登録だけでは参加できません。</p> <p>●プログラムについて 『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21KOMCEE（理想の教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂ブランドデザインのコラボレーションにより学んでもらいます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド・コンサルタントがプログラム・デザインおよびファシリテーションを担当します。本プログラムでは参加者の多様性を重視する目的により、参加学生と一定数の社会人参加者が一緒になってプロジェクトチームを結成し、チームでのアイデア創出を行ってもらうことを予定しています。</p> <p>【URL】<a href="http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/">http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/</a></p> <p>●この授業について 2018年に発表された国際レコード産業連盟(IFPI)のレポートによれば、2017年の世界の音楽市場は約173億ドルとなり、過去10年で最高額を記録したそうです。ストリーミング分野の売上が約66億ドルと前年比41%増の伸びを見せ、市場の約4割を占めるまでに成長。これがCDなどのパッケージの売上減をカバーしたといえます。音楽ライブの市場も伸びており、ライブイベント・プロモーションの世界最大手ライブ・ネイション社の2017年の売上は前年比24%増の103億ドル。7年連続で過去最高を更新したとのこと。 日本でも、2018年には音楽配信分野で売上金額シェアベースでストリーミングのシェアがダウンロードのシェアをはじめ上回り、2017年のライブ・エンタテインメント市場の市場規模が過去最高を更新したとの調査結果が出るなど、さまざまな変化の兆しが表れているようです。 今回のブランドデザインスタジオは、大きな変容を迎えている「音楽」をテーマとして取り上げ、「音楽」に関する新しいブランドを創り出すことをゴールに置きます。参加いただく皆さんには、まず多様なリサーチや議論、あるいは実際に音楽を演奏してみる体験などを通じて「音楽」というテーマを多面的に捉え直してもらいます。その後、集めた情報を分析・統合し、テクノロジーの進化や社会の変化などの未来を見据えたいという「音楽」の持つ価値や課題を探求し、そこに立脚して新しいアイデアを創出していただきます。「音楽」に関する新たな商品やサービス、空間やイベントなどアイデアは自由に発想していただき、新しい「音楽」を世に問うていただきたいと思います。</p>						
評価方法		<p>本授業における最終成果物として、授業終了後に一般公開する形でプレゼンテーションをしていただく予定です。全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、最終プレゼンテーション内容により評価します。</p>						
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/11 21KOMCEE K502 教室 (17:30~20:30)</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31574	S	基礎植物学輪講 III	寺島 一郎	理学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>生物学の講義では現在の知見を解説することが多いが、受講する学生が最前線に立つころにはその知識は時代遅れになってしまう。現時点の知見を「暗記」するよりも「歴史的背景をふまえて基礎を理解」する方がはるかに大切である。このゼミナールでは、歴史的背景をふまえて基礎を理解するという姿勢を貫きながら、植物学の基礎的教科書を使って輪講を行う。今回は、受講生に特に強い希望がなければ、コケ植物、シダ植物について学ぶ予定である。</p>						
評価方法		<p>受講生各人について、このゼミナールによって植物学の基礎的理解がどれだけ深まったのかを評価する。物理・化学を受験科目とし、生物学の知識の乏しい受講生も歓迎する。ゼミナール開始時点での知識のレベルは問わない。</p>						
教科書		<p>次の教科書を使用する。 書名 Biology of Plants 著者(訳者) Raven, Evert and Eichhorn 出版社 Freeman ISBN 00-7167-1007-2 その他 プリントして配布する</p>						
ガイダンス		<p>特定日に行う。 2019/04/06 13時から 本郷キャンパス理学部2号館026号室</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31593	S	生命の普遍原理に迫る研究 体験ゼミ	石原 秀至	教養学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【注意】開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意して下さい。</p> <p>東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどうい状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBIでは、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。</p> <p>本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲のかつ野心的な学生を歓迎する。</p> <p>担当教員と研究テーマ（予定）</p> <p>【駒場キャンパス】</p> <p>金子 邦彦：生命システムの進化に関するモデル・シミュレーション  澤井 哲：細胞の形とナビゲーションを、実験的・理論的に理解する  若本 祐一：細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究  石原 秀至：生命現象の数理モデルのシミュレーション  太田 邦史・小田有沙：栄養飢餓時の分子の振る舞いと細胞の生存戦略を探る  佐藤 守俊：バイオイメージングに関する原著論文の輪講  道上 達男：胚の形態形成に関わる”力”を調べる実験  豊田 太郎・竹内 昌治：人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って、人工細胞を実際に観察する  小林徹也：細胞システムと細胞機能のエネルギー論</p> <p>【本郷キャンパス】</p> <p>入江 直樹：最も進化した脊椎動物はどれだ？ -遺伝子発現情報解析からの探索-  樋口 秀男：顕微鏡を創って、分子や細胞の運動を観察する  古澤 力：進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか？  岡田 康志：顕微鏡を作って生きた細胞を計測する</p> <p>最新の情報は以下を参照してください。 <a href="http://rcis.c.u-tokyo.ac.jp/education.html">http://rcis.c.u-tokyo.ac.jp/education.html</a>  講義・実習への出席、取り組み姿勢、成果報告会での発表をもとに評価する。  教科書は使用しない。  特定日に行う。  2019/04/10 昼休みに1号館101教室</p>							
評価方法								
教科書								
ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31594	S	最先端の生命科学研究 を駒場で体験する	新井 宗仁	教養学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b></p> <p>教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓している。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらう。研究の進め方は教員と相談して決める。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合がある。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する。</p> <p>統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、26もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。</p> <p>ガイダンス資料はゼミのウェブサイト (<a href="http://folding.c.u-tokyo.ac.jp/seminar/">http://folding.c.u-tokyo.ac.jp/seminar/</a>) にも掲載する。ガイダンス後に学生の希望を集計して配属先を決定する。ガイダンスに出席できない場合には、ウェブサイトに記載された方法で希望を提出すること。</p> <p>生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い想いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。熱い現場で、熱い教員たちが学生諸君を待っている。</p> <p><b>担当教員と研究テーマ：</b>                  浅井 禎吾 ポストゲノム型天然物探索                  新井 宗仁 計算機を使って理論的に新規タンパク質をデザインする                  大杉 美穂 マウス受精卵の細胞分子生物学                  佐藤 守俊 生命現象を操作する技術を作ろう                  坪井 貴司 真正粘菌の細胞内で起きている現象を目で視てみよう！                  道上 達男 ツメガエル胚の細胞形状と組織変形のダイナミズム                  矢島潤一郎 光学顕微鏡を用いたバイオナノマシンの機能定量</p> <p><b>研究への取り組みや成果報告会での発表をもとに評価する。</b></p> <p><b>教科書</b> 教科書は使用しない。</p> <p><b>ガイダンス</b> 特定日に行う。 2019/04/11 12:15～12:45 に1号館 108 教室</p>								
<p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31595	S	2019 年度 S セメスター 最先端のサイエンスを駒場 で研究体験するプログラム	内田 さやか	教養学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b></p> <p>本ゼミは、駒場キャンパスの後期課程「教養学部 統合自然科学科」に所属する研究室に直接来て、最先端のサイエンスを体験してもらおうプログラムである。これまで、講義科目や分野ごとに学習した自然科学が、先端のサイエンスへどのように深化、融合、創成されるのかを、研究室での実習を通じて実感できる。つまり、最先端のサイエンスと基礎科目や総合科目との“架け橋”が本ゼミの特徴といえる。受講者は、配属先の研究室で、実験、データ解析、討論、文献調査、などを体験することで、研究活動の実践的な方法論を学ぶことができる。</p> <p>1つの研究室が数名の学生を受け入れる。ゼミの進め方は、受け入れ教員との相談の上決定するが、研究室によって、曜日時限を指定する場合と、指定せずに集中で行う場合がある。成果報告会 兼 懇談会を定期試験終了後に開催し、教員、大学院生を交え、発表と討論を行う予定である。</p> <p>本ゼミのガイダンスは、4月11日（木）昼休み（12:15～12:30）に1号館 120 教室にて行う。その際に、各ゼミの内容や進め方について、資料を配布する。ガイダンス後に学生の希望を集計し、配属先を決定する。（ガイダンスに出席できない場合でも、下記の HP からガイダンス資料を参照し、資料に記載された手続きに則れば、本ゼミは受講可能である）</p> <p>※本ゼミに関する最新情報とガイダンス資料は、世話人（内田さやか）の HP : <a href="http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/suchida/">http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/suchida/</a> に掲載する</p> <p>ゼミへの取り組みによる</p> <p><b>教科書</b> 教科書は使用しない。</p> <p><b>ガイダンス</b> 特定日に行う。 2019/04/11 12:15-12:30 に1号館 120 教室</p>								
<p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31605	S	タイ医学ゼミナール	宮原 由佳	学生による 全学自由研究 ゼミナール	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> 【こんな方にオススメの集中講義です】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ古式マッサージやタイの伝統医学に興味がある！</li> <li>・自分の肩こりや疲労を癒したい！</li> <li>・タイ古式マッサージを習得し、家族や友人を癒したい！</li> <li>・プロの施術を受けてみたい！</li> <li>・ヘルスプロモーションに興味がある！</li> <li>・タイの医療の現状について知りたい！</li> <li>・タイ文化について知りたい！</li> </ul> <p>タイ古式マッサージの施術を受けているときはもちろん、施術をしている側も自身の心と身体に向きあうことができるこのレッスンは、自主ゼミ（2016年度 A セメ、2017年度 A セメ、2018年度 A セメ）、全学ゼミ（2018年度 S セメ）にて大変有意義な時間として好評を得、今回の全学ゼミに繋がりました。</p> <p>*****</p> <p>《1) 実技練習メイン》 [タイ古式マッサージ 全身リラクゼーションバージョン・ベーシック編/仰向け、うつ伏せ、横向き、座位。約60分の施術テクニック習得目標] プロ級の技に集中講義でチャレンジ!! ワットポー タイトラディショナル メディカルスクール (タイ王国第一級王立ワットポー寺院) にて、外国人として初めて伝統に基づいた本格的な修養を積み講師として認定された宮原が、これまでの多国籍にわたる方々へ施術・指導してきた経験をもとに、東大で特別レッスンをを行います。講師からの施術も交え、学生同士ペアになり、互いに施術をし合いながらレッスンをを行います。</p> <p>《2) 理論》 [タイ医学歴史・概要、タイハーブ療法、タイ国におけるタイ古式マッサージを活用したヘルスプロモーション政策、補完代替療法などについて学び、ディスカッション。] ※日程・場所については Web シラバス参照のこと。</p> <p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス 出席、レポートによる総合評価 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40287	S 2	国連と文化 2	井筒 節	教養教育高度 化機構	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>アントニオ・グテーレス新事務総長がリーダーを務める国連本部（米国ニューヨーク）を訪れ、国連システムによる平和と安全、開発、人道、人権をめぐる活動につき、国連事務局、国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（UNICEF）、国連人口基金（UNFPA）等で働く国連職員から、世界の現状と国連の活動の実際を学びます。</p> <p>また、各自ニューヨークの文化活動を体験し、これに基づき、国際課題に対する未来志向の提言をまとめ、グループ討議を行います。</p> <p>（国連職員による講義は、日本語と英語で行われ、通訳は入りません。また、渡米時期は8月中もしくは9月上旬の約1週間、旅費等は原則自己負担を予定しています。）</p> <p>*履修希望者は、S1タームの全学自由研究ゼミ「国連と文化1」の初回ガイダンスに参加し、履修登録して下さい。「国連と文化I」が、このニューヨーク集中講義の事前準備および選考を兼ねます。希望者が予定人数を超えた場合は、レポートによって選考を行います。</p> <p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス 授業への参加とレポートにより評価を行います。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 3限 「国連と文化I」実施教室</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31507	S 1	ミュオグラフィ科学 /Muography Science	田中 宏幸	地震研究所	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>東京大学は世界に先駆けて成功させた巨大物体の透視技術「ミュオグラフィ」は瞬く間に世界へと波及し、火山内部監視、福島原発メルトダウン調査、ピラミッド内部探査などに次々と成果を上げ、世界のセーフティーイノベーションへとその強いポテンシャルを示してきた。この最先端科学技術が生み出す、他方面への波及については社会的関心が世界的に高く、本技術がセーフティーだけでなく、放射線診断治療の高度化を通じたライフイノベーション、宇宙探査や資源開発などに活用されることが検討し始められている。</p> <p>本講義はミュオグラフィが生み出す新たな科学技術とテーマ、そしてそれを支える技術開発を中心に構成される。まず、ミュオグラフィは実験素粒子物理学や原子力工学で培われてきた荷電粒子の検出技術を核に持ち、その技術開発はミュオグラフィの技術革新全体における重要な一翼を担う。そのためこの部分は受講生がミュオグラフィ科学を学ぶ上で必要不可欠な要素となる。本講義では量子イメージング分野において機器開発、イメージング解析技術などにおいて数多くの成果を創出してきた工学部の講師により、イメージングに必要な粒子線検出器の原理から宇宙探査にも使える次世代ミュオグラフィへとつなげる最新的话题を提供する。さらに、ミュオグラフィの技術移転は医療の分野にも及ぶ。超高精細ミュオグラフィ観測技術をより高精度な放射線医療へとつなげられる可能性がある。本講義では、医学部で放射線治療装置の高度化を推進してきた講師がミュオグラフィを使い更なる高度化を目指す研究内容を紹介する。このように様々な分野へと波及する東大発の巨大物体透視技術「ミュオグラフィ」の測定原理と学内で進む展開を伝えるのが本授業の目標である。</p>						
評価方法		成績評価の方法及び基準：レポート、遅れ無し出席を総合して評価する。						
教科書 ガイダンス		Roll Call, Class Assignments and Final Exam 教科書は使用しない。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31532	S	ロボティック医療システム	光石 衛	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p><b>【注意】</b>この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。手術ロボットによって、(1)臓器や骨格の裏側や内部などの医師が通常では見ることができない部位を見ることができるようになる。また、(2)医師が通常手では困難な狭い領域や臓器の裏側の手術、微細な手術、高精度な手術が可能となる。さらに、(3)遠隔地での診断や手術も可能となる。</p> <p>本ゼミナールでは、当該研究室で開発されている世界最先端の深部脳神経外科超微細手術支援システム、眼科手術支援システム、最小侵襲人工膝関節置換術支援システム、遠隔低侵襲手術支援システム、集束超音波を用いた非侵襲結石破壊システムなどを実際に操作する。次に、ものづくり技術・知識、コンピュータ・ネットワークなどの情報学の知識、医学的知識を駆使して実現する手術ロボットはどのようにして構築されるのか、その入門を学ぶ。</p> <p>第1回(駒場)：ガイダンスと概略説明 第2回(本郷：土曜、あるいは、日曜)：手術ロボットの実体験(その1) 第3回(本郷：土曜、あるいは、日曜)：手術ロボットの実体験(その2)、手術ロボットをどのようにして構築するかの基礎の解説</p> <p>※受講人数：20名に制限する。 ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法		出席(2/3)と最終レポート1回(1/3)にて採点						
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。 特定日に行う。 2019/04/09 6限 1号館 102教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31533	S	電池レスIoTデバイスのための エネルギーハーベスティング	鈴木 雄二	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>近年、IoT(モノのインターネット)が目玉され、ばらまき型の無線センサやウェアラブルデバイスが我々の生活で使われ始めようとしています。これらのデバイスの電源には、電池が用いられていますが、頻りに交換や充電をしなければならず、普及の大きな障害になっています。本ゼミナールで対象とするエネルギーハーベスティング(Energy Harvesting、環境発電)は、環境の中に薄く広く存在する振動や熱などのエネルギーから微弱な電力を取り出すもので、無線センサやウェアラブルデバイスを電池なしに駆動できる技術として最近多くの取り組みが行われています。</p> <p>本ゼミナールでは、特に、環境の振動を用いた振動発電、熱・温度差を用いた熱発電をとりあげ、講義と体験を通じて発電原理・しくみの理解と応用デバイスの社会への展開について学習することを目標とします。</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法		出席とプレゼンテーション						
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31535	S 1	ナノマイクロ 3D アートを 探求しよう	高松 誠一	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		1. バイオミメティクスおよびナノマイクロ 3D 構造創製法の基礎を学ぶ 2. 自然界のマイクロ 3D 構造を、先端顕微鏡観察機器で、高分解能観察し、その芸術性を堪能するとともに、物理的機能を考察する。 ※このゼミは 4 月 5 日(金)6 限 (18:45~) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席, 発表内容, レポートにより評価する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 6 限 117 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31536	S 1	3次元スキャナ・プリンタを 使ったデジタルものづくり体験	高松 誠一	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		物体の形状をスキャンする装置を用いて、3次元形状をコンピュータに取り込み、そのデータ処理について実習する。また、処理したデータを 3D プリンタで出力し、オリジナルの物体との比較をし、再現性の確認を行う。 ※このゼミは 4 月 5 日(金)6 限 (18:45~) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席, 発表内容, レポートにより評価する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 6 限 117 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31537	S 1	ウェアラブル体感型 VR システムを作ってみよう	高松 誠一	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		布などウェアラブルな基板のうえに電子回路を精密に配線、実装する精密組み立て技術の基礎を学ぶ。さらに、この精密組み立て技術で作ったウェアラブルセンサ、アクチュエータを用いて、振動等をフィードバックする体感型 VR システムの構築を試みる。講義と実習を交えた体験型講義形式で学ぶ。 ※このゼミは 4 月 5 日(金)6 限 (18:45~) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席, 実習成果, レポートにより評価する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 6 限 117 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31572	S	未来を拓く化学	佃 達哉	理学部	集中	1	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		地球レベルから生命現象までの広範な物質世界を、分子レベル、分子集合体レベルで解明し、新しい自然観を探究する現代化学のフロンティアを講ずる。化学の各分野の教員が、最先端の研究について易しく解説し、化学の未来について考える。講義中に研究室見学を行う。						
評価方法 教科書 ガイダンス		出席 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/08 6 限 108 教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31582	S	ジビエを通して獣害問題と向き合う S 1 充実の学園祭。ジビエ販売を通して問題の本質を伝える企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【注意】web版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。 南伊豆も獣害と向き合う地域の一つで、農林業は獣の影響が深刻です。本ゼミを通して獣害問題を自分事として考えられるようにしたい。</p> <p>「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。</p> <p>伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。</p> <p>本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。</p> <p>感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。</p> <p>一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみたい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？</p> <p>このゼミでは五月祭・駒場祭に「ジビエを通して獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。</p> <p>※受講人数：特に設定しない                  ※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしなない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。                  ※開講場所：駒場（必要に応じて樹芸研究所を訪ねる）                  ※駒場での講義：火曜2限。企画進捗に合わせて3、4回とゼミ既修者との交流。                  ※五月祭：先学期のゼミ生が実施する模擬店（伊豆の獣害問題の提示とイノシシソーセージを販売する）経営に合流する。                  ※駒場祭：新たな企画を立ち上げ、駒場祭にて伊豆の獣害問題の提示やイノシシソーセージを販売する企画を実施する。                  ※このゼミは4月8日（月）18時45分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定している。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書は使用しない。 特定日を行う。 2019/04/09 2限1号館158教室（4/23, 5/14, 5/28にも実施します）</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31583	S	ビントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきこと S1 学園祭においてビントゥバーチョコレート体験教室を運営。 ビントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきを伝える 企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【注意】web版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。 南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てている。その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが3年前のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。</p> <p>「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。</p> <p>伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。</p> <p>本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。</p> <p>感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。</p> <p>一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものには価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？</p> <p>このゼミでは五月祭に（間に合えば駒場祭にも）「ビントゥバーチョコレート作り体験」を来訪者にしてもらう企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。</p> <p>※受講人数：特に設定しない ※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしなない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。 ※開講場所：駒場と弥生キャンパス（五月祭） ※駒場での講義：火曜2限。企画進捗に合わせて3、4回とゼミ既修者との交流。 ※五月祭：先学期のゼミ生が実施するビントゥバーチョコレート作り体験企画に合流します。 ※駒場祭：新たにビントゥバーチョコレート作り体験ができる企画を立ち上げます。（S2ゼミ） ※このゼミは4月8日（月）18時45分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定している。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/09 2限1号館158教室（4/16, 5/7, 5/21にも実施します）</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40276	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 コンピューター・マイクロ チップを作ろう	池田 誠 杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。</p> <p>最新情報は <a href="http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/">http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/</a>を参照のこと。</p> <p>受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。</p> <p>電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。</p> <p>皆さんが使っているパソコンからスーパーコンピュータ、また、ケータイからクレジットカード、Suicaに至るまで、その心臓部はVLSIと呼ばれるシリコンのマイクロチップである。簡単なコンピュータとして働くマイクロチップを自らデザインしてみよう。あなたがデザインは、企業の最先端のラインで製品となり、しばらくの後、あなたの許に戻ってくる。作製したマイクロチップを使用したコンピュータを構成し、実際にプログラミングして動作を確認してみよう。世界でたった1つの、あなたのデザインによるコンピュータが誕生する。</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>特定日に行う。</p> <p>2019/04/10 6限 164教室</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40277	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 神経回路でプラスチック地雷 を見つけよう	廣瀬 明 杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。</p> <p>最新情報は <a href="http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/">http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/</a>を参照のこと。</p> <p>受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。</p> <p>電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。</p> <p>われわれ人間は、人の顔を一目で見分けられます。これは普通のコンピュータには難しい芸当です。実は脳の中の神経回路（ニューラル・ネットワーク）は、人の顔の認識が得意だけでなく、壁の模様の中のわずかなシミなども簡単に見つけ出すことができ、そのような「パターン処理」が得意です。その原理を使って、地中に埋められた地雷を見つけ出す地中レーダの実験を体験してみましょう。</p> <p>体験実験のポイントは次の2つです。まず、あなた専用の高周波アンテナを自作して、地中を探るためのレーダ・システムを構築します。あなた自身のユニークなアンテナを作製してください。次に、実際に（模擬の）プラスチック地雷を地中に埋めてレーダ情報を取得し、「自己組織化マップ」とよばれるニューラル・ネットワークを上手に使うことで、地雷が見えるかどうか試してみます。レーダと脳機能を結びつけることで、難しい仕事が可能になることを体験してください。</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>特定日に行う。</p> <p>2019/04/10 6限 164教室</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40278	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 青色 LED を作ろう	杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 最新情報は <a href="http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/">http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/</a> を参照のこと。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 発光ダイオード(LED)は、電流を効率よく光に変換するデバイスである。LED でできた信号機が最近増えているのに気づいた人も多いのではないだろうか。最近注目を集めている青色 LED を実際に作製し、LED の原理、構造、作製プロセスを実感していただく。最先端の機器を用いて、窒化ガリウム (GaN) の結晶を作製するところから始める。自分で作製した LED が光ったときの感動は計り知れない。 ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 6限 164教室</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40279	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 マイクロマシン (MEMS) をつくろう	三田 吉郎 杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。 本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。 最新情報は <a href="http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/">http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/</a> を参照のこと。 受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。 電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。 半導体集積回路作製技術(プロセス)を用いて微小な機械構造を作ることができる。これをアメリカでは MEMS、日本ではマイクロマシンと呼び、加速度センサ、インクジェットプリンタのヘッド、プロジェクタ等幅広い分野での応用が期待されている。マイクロマシンの研究は、電気工学、機械工学、材料工学等、工学の幅広い分野にまたがる学際的要素を必要とし非常にエキサイティングである。本実習では、大規模集積システム設計教育研究センター(VDEC)の CAD を利用してマイクロ構造を設計し、武田先端知スーパークリーンルームにおいて試作し、評価を行なう。 ※このゼミは4月5日(金)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>実施期間中(8/1-7)研究室にて実験・実習を行い、8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 6限 164教室</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40280	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 身近なモノをインターネット につなごう	森川 博之 杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。</p> <p>最新情報は <a href="http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/">http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/</a>を参照のこと。</p> <p>受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。</p> <p>電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。</p> <p>ユビキタスコンピューティング環境では今まで予想し得なかったモノがネットワークに接続され、これまでにない革新的なサービスが実現される。このゼミでは、センシング機能と無線通信機能を備えたマイクロコンピュータを用いて、インテリジェントなモノを実際に作成する。例えば、カップが空になったら自動的に店員にメールを送ってくれるスマートカップの作成などを行う。センサネットワーク、インターネット、無線通信、電波伝搬、組み込みOS、マイクロコンピュータの仕組みなどをプログラミングならびにハードウェアいじりを通して学ぶとともに、10年後、20年後の世界に想いをめぐらす。</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法		実施期間中(8/1-7)研究室にて実験・実習を行い、8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 6限/164教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40281	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 セキュリティホールを調べて みよう	松浦 幹太 杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。</p> <p>最新情報は <a href="http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/">http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/</a>を参照のこと。</p> <p>受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。</p> <p>電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。</p> <p>情報セキュリティ技術は、情報通信システムの利用者を様々な脅威から守ってくれる。実際、Webブラウザや自動現金預け払い機のように身近なシステムの中でも、多様な情報セキュリティ技術が使われている。しかし、適切な使い方を心がけなければ、セキュリティホールの罠にはまりかねない。その仕組みを学び、インターネットによる実態調査や、本人確認装置あるいはセキュリティモジュールの攻撃実験などによって、脆弱性の実態を調べる。</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法		実施期間中(8/1-7)研究室にて実験・実習を行い、8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 6限/164教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40282	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 光ファイバでレーザを作ろう	山下 真司 杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催する。最新情報は <a href="http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/">http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/</a> を参照のこと。受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること（人数調整のため）。電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りする。普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。日ごろの受け身の実験とは異なり、貴方たち自身で考えて行動し、未知の結果を得る醍醐味をぜひ味わってほしい。レーザと光ファイバ、ともに現在の情報社会を支える、高速大容量通信の2大要素である。インターネット経由で動画を自由に楽しめるのも、大陸間の海底から都市の幹線まで網目のように張り巡らされた光ファイバを通して、レーザが作る光デジタル信号が縦横無尽に伝送されるおかげである。このレーザは、波長と位相のそろった光を放つ光源であるが、これを実際に作ったことのある人はいるだろうか？レーザを作るには、光を増幅する装置と、光を閉じ込めるための鏡、そして、光が発生するタイミングを制御する特殊なしくみがあれば良い。光の伝送路である光ファイバは、髪の毛ほどの太さのガラス線であるが、ある工夫を施した光ファイバは光の増幅作用を持つ。このような光ファイバを使うと、実験室にある道具・機器を用いて、自分自身でレーザをつくることのできる。光の物理や、情報伝達の仕組みに興味がある方には、非常に興味深い体験となること間違いなし。</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法		実施期間中(8/1-7)研究室にて実験・実習を行い、8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 6限/164教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40283	S 2	【電気電子情報体験ゼミ】 光学非線形現象で細胞を 可視化しよう	小関 泰之 杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。本郷キャンパスあるいは駒場Ⅱキャンパスにある電子・情報系の研究室にて集中開催します。最新情報は <a href="http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/">http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~sugiyama/taiken/</a> を参照のこと。受講するためには、ガイダンスに出席して履修許可を得ること(人数調整のため)。電気電子工学科・電子情報工学科の研究室に仲間入りし、普段研究室で行われている最先端の研究から1週間で実施可能なテーマを選び、教職員や大学院生の指導を受けて、1・2年生諸君が主体となって研究を進める。先端的な装置を用いて工夫しながら実験を進める醍醐味をぜひ味わってほしい。</p> <p>近年、エレクトロニクス、レーザ技術、情報処理技術が大きく発展しました。その結果、光を高度に制御し、物質を高速かつ高精度に計測し、解析することが可能になっています。そのような最先端のエレクトロニクスの応用の一つとして期待されているのがバイオ・医用領域です。特に近年、パルスレーザを高度に活用する光学顕微鏡が次々と開発され、活発な研究が進められています。短パルスレーザを用いた高精度計測技術、超解像顕微鏡、蛍光タンパク質など、関連技術がノーベル賞を受賞したことも記憶に新しいところです。</p> <p>本実習では、パルスレーザとレーザ顕微鏡に触れ、その仕組みを理解するとともに、様々な生体試料を観察し、その画像データを処理することで、細胞の状態や働き、食品中の生体分子の空間分布などを解析します。その中で、電子・情報技術がどのようにバイオ・医用領域で活用されているかを実感していただき、将来の発展の方向性を議論したいと考えています。</p> <p>※このゼミは4月5日(金)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法		8/7に行われる合同発表会にて成果報告をすることにより単位を取得する。						
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/10 6限/164教室						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40289	S 2	農地土壌から作物への 放射性物質の移行の実習	田野井 慶太郎	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>この講義では、福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見の習得を目標とします。実際に、各自植物を栽培する実習により放射性物質の移行について体験することで、本講義を深く理解することを目指します。</p> <p>チェルノブイリ原発事故や福島第一原発事故では多くの放射性物質が環境中に放出され、農地も広く汚染が広がりました。こうした汚染土壌において、放射性物質の少ない作物を栽培するための研究がなされてきました。本講義では、実際の農地で施された放射性物質低減策とその効果のメカニズムを学びます。さらに、実習として、農地土壌を使って植物を栽培し、その植物中の放射性物質を測定する実習を行います。</p> <p>受講者は5名程度を想定しています。履修希望者が上限を超えた場合には履修動機により選抜します。</p> <p>※このゼミは4月8日(月) 18時45分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席とレポートで評価します。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/08 6限/農学部合同ガイダンスにて</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40291	S 2	ジビエを通して獣害問題と 向き合う S 2 充実の学園祭。ジビエ販売 を通して問題の本質を伝える 企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>【注意】web版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。</p> <p>南伊豆も獣害と向き合う地域の一つで、農林業は獣の影響が深刻です。本ゼミを通して獣害問題を自分事として考えられるようにしたい。</p> <p>「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。</p> <p>伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。</p> <p>本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。</p> <p>感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。</p> <p>一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？</p> <p>このゼミでは五月祭・駒場祭に「ジビエを通して獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。</p> <p>※受講人数：特に設定しない</p> <p>※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしないうる気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。</p> <p>※開講場所：駒場（必要に応じて樹芸研究所を訪ねる）</p> <p>※駒場での講義：火曜2限。企画進捗に合わせて3、4回とゼミ既修者との交流。</p> <p>※五月祭：先学期のゼミ生が実施する模擬店（伊豆の獣害問題の提示とイノシシソーセージを販売する）経営に合流する。</p> <p>※駒場祭：新たな企画を立ち上げ、駒場祭にて伊豆の獣害問題の提示やイノシシソーセージを販売する企画を実施する。</p> <p>※このゼミは4月8日(月) 18時45分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/04/09 2限/1号館158教室(6/18, 7/2, 7/16にも実施します)</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40292	S 2	ビントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきこと S 2 学園祭においてビントゥバーチョコレー体験教室を運営。 ビントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきを伝える 企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>【注意】web版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。</p> <p>南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てている。その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが3年前のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。</p> <p>「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。</p> <p>伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。</p> <p>本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。</p> <p>感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。</p> <p>一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？</p> <p>このゼミでは五月祭に（間に合えば駒場祭にも）「ビントゥバーチョコレート作り体験」を来訪者にしてもらおう企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。</p> <p>※受講人数：特に設定しない</p> <p>※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしなない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。</p> <p>※開講場所：駒場と弥生キャンパス（五月祭）</p> <p>※駒場での講義：火曜2限。企画進捗に合わせて3、4回とゼミ既修者との交流。</p> <p>※五月祭：先学期のゼミ生が実施するビントゥバーチョコレート作り体験企画に合流します。</p> <p>※駒場祭：新たにビントゥバーチョコレート作り体験ができる企画を立ち上げます。（S2ゼミ）</p> <p>※このゼミは4月8日（月）18時45分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>特定日に行く。</p> <p>2019/04/09 2限/1号館158教室（6/11, 6/25, 7/9にも実施します）</p>							

## 全学体験ゼミナール

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40294	S 2	癒しの森と地域社会 (夏)	石橋 整司、齋藤 暖生 藤原 章雄、後藤 晋 浅野 友子	農学部	月 5	2	149 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>日本は先進国の中で極めて高い森林率を誇っている。農山村地域の大部分を占める森林は、高度経済成長期以降、単に木材生産だけでなく、保健休養活動や健康増進に資する環境資源としても期待されてきた。しかしながら、そのような目的に適うように森林が整備され、地域社会の中で観光資源あるいは健康増進インフラなどとして活用されている例は極めて稀である。</p> <p>癒しの場として適切な森林の実現が困難となる要因は、①植物の成長・枯死といった自然に由来するもの、②森林の所有権や法制度といった社会的なものに大別できる。本ゼミナールは、癒しの場としての観点から森林の特性および森林をめぐる社会のあり方について基本的な視点を学ぶことをねらいとする。駒場キャンパスでの講義、体験を重視した富士癒しの森研究所での現地講義を通じて、知性と感性を働かせながら学ぶ。</p> <p>富士癒しの森研究所の所在する山梨県山中湖村は、富士山の麓にある観光地であり、別荘も多数存在し、癒しの場として森林の活用が望まれている。しかし、近年ほとんどの森林では、枯れ木の処理、アクセス路の管理、適切な除伐や間伐、などの手入れが行われておらず、大きな樹木や繁茂した灌木がむしろ景観の阻害となったり、樹木が倒れて人や家屋に対して危険であったりする。つまり、ここにおいても森林が地域の環境資源として十分に活用されていない。</p> <p>富士癒しの森研究所では、この地域課題の解決に向けて、「癒しの森プロジェクト」という地域と協働した研究・教育活動に取り組んでいる。このプロジェクトでは、とくに森林の持つ人間への「癒し」の機能に着目し、地域の自然および社会の特性に応じて人々と森林との関係を再構築しようとしている。</p> <p>本ゼミナールは、癒しの森プロジェクトの一環として実施するものである。富士癒しの森研究所およびその周辺での現地講義では、観光やリゾート空間として利用されている森林をいくつか訪れる。そこで地域の方々の案内で、それぞれの森の楽しみ方を体験する。事前講義と現地講義を通じて、地域にある森林を「地域づくり」にどのように生かすかを考える機会にしてほしい。</p> <p>※受講可能人数：20 名まで。                  ※ガイダンス：6 月 17 日の第 1 回目の講義の際に行う。                  ※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所。                  ※現地講義開講期間：7 月 19 日（金）夜から 7 月 21 日（日）の 2 泊 2 日を予定。                  ※講義は駒場キャンパスにおける 4 回の講義（6 月 17 日（月）、6 月 24 日（月）、7 月 1 日（月）、7 月 8 日（月）の 5 限に実施予定）と 7 月 19 日（金）から 7 月 21 日（日）にかけて富士癒しの森研究所で実施する 2 泊 2 日の現地集中講義で行う。</p> <p>富士癒しの森研究所への交通費、宿泊費、食費等の実費は自己負担となる。負担額等の現地講義の概要については 6 月 17 日の第 1 回講義時に説明する。</p> <p>※このゼミは 4 月 8 日（月）6 限（18：45～）に駒場キャンパス 1313 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。</p>							
評価方法	出席とレポートで評価する。							
教科書	教科書は使用しない。							
ガイダンス	第一回授業日に行う。 2019/6/17 149 教室							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31596	S	ラテンアメリカ音楽演奏入門1	石橋 純	教養学部	月5	2	18号館ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ラテンアメリカの音楽を実演体験します。</p> <p>中心となるのは、南米北部～カリブの島々で演奏される4弦小型ギター《クアトロ》の演奏です。南米では400年以上も演奏されつづけている伝統楽器です。演奏しやすく、「ギターを始めたけれどFコードで挫折」という人でも簡単に弾きこなせます。しかもコードの響きが美しく、柔軟な音楽性を持っています。ダイナミックにかき鳴らしてよく、リズムカルにカッティングしてかっこよく、繊細に爪弾いても魅力的な楽器です。南米民謡はもちろん、JPOPからクラブミュージックまでどんなジャンルでも演奏することができます。持ち運びにも便利。この楽器を覚えれば、歌伴には6弦ギターがいらなくなります。</p> <p>授業では、主としてベネズエラの伝統音楽を練習する予定です。ラテンアメリカ音楽の知識や五線譜の読譜力などは不要ですが、ギターをいじった経験（スリーコードを押さえられる程度）があるほうが入りやすいです。弦楽器初心者も歓迎です。弦楽器初心者も歓迎です（ただし自習時間を確保してください）。義務教育のリコーダーと鍵盤ハーモニカ以外に楽器に触ったことがなかったという人が立派なクアトロ奏者になった過去の事例もあります。</p> <p>クアトロを通じてベネズエラ音楽の基礎を教習しますが、マンドリン、ヴァイオリン、フルート、クラリネット、ベース、パーカッションなどでベネズエラ音楽を演奏したいという方は随時これらの楽器で練習していただきます（クアトロ以外にクラシックギター、エレキベース、マンドリン、バンドーラ、マラカス、コンガ、ボンゴ、ギロ、クラベスその他小打楽器を備品として貸し出します。備品にない楽器は自前の楽器を持ち込んでください）。ソロ歌手志望も大歓迎します（とくに2外スペイン語選択の歌手募集。ソロ歌手には特別にスペイン語歌唱の個人指導を提供します）。</p> <p>クアトロの奏法ならびに南米音楽の実演だけでなく、学期末の成果発表コンサートを履修生が自主制作することも、このゼミで学ぶ重要な「体験」のひとつです。広報・音響技術・照明・舞台美術・舞台演出・舞台化粧・写真・ビデオ編集・グラフィックデザインその他イベント制作全般に興味のある方もふるってご参加ください。</p> <p>当ゼミは海外メディアからも注目されています。ネット経由でスペイン語を使って全世界とつながる活動に関心のある方もお待ちしております。</p>						
評価方法		<p>出席重視、遅刻厳禁。成果発表コンサートに演奏参加することが単位取得条件。演奏技術の優劣は評価しません。下手でも楽しんで演奏し、仲間と音楽を共有し、イベントを作ることに意義があります。</p>						
教科書 ガイダンス		<p>その他 楽譜と歌詞を揃えたオリジナル教材を頒布 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31513	S	数理解物理への誘い －解析力学と相対性理論－	加藤 晃史	数理科学 研究科	月5	2	157教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>現代的な物理学は難しいと考えられがちだが、数学的構造と物理的内容を区別してそれぞれをきちんと理解すれば、教養レベルの数学と物理の知識で十分に理解可能である。本ゼミナールは、解析力学と相対性理論を題材として数理解物理の広大な世界への入門としたい。</p> <p>予備知識としては1年次に学ぶ力学、線形代数、微積分、微分方程式などの基礎的な知識（特にテイラー展開や合成関数の微分の連鎖律など）を仮定するが、未修であっても必要に応じて適宜解説する予定である。</p> <p>わずかな基本原理を仮定し、論理的な考察によって驚くべき結果を次々と見出したアインシュタインら先人達の驚きを追体験しよう。</p> <p>出席・レポート・質問や発表等のゼミへの貢献度などで評価する。</p> <p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31557	S 1	英語で拓く工学世界への扉 / Let's Open the Door to the World of Engineering in English	秋山 友香	工学部	火 2	1	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>日本の成長を支えてきたのは科学技術の発達とその世界進出だと言っても過言ではない。本ゼミナールでは、日本の誇る科学技術を世界に発信するために戦ってきた先駆者を招き、苦労話や成功秘話を英語で聞くとともに、国際プロジェクトの進め方、技術交渉におけるサバイバル英語などを英語で学習する。また、履歴書やEメールの書き方、グループプレゼンの仕方などを授業で扱うことで、世界への扉を拓くのに不可欠な英語スキルを学ぶ予定である。本ゼミナールの受講生は、工学の世界展開について英語で学ぶことで、工学に関する国際理解を深めると共に、技術を世界発信するために必要な英語力を身に付けることが期待される。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>At the foundation of Japan's economic growth lies the advancement of technology and its global expansion. In this seminar, we will invite world-famous engineers who have striven to disseminate their knowledge to the world. We will hear about their success stories as well as challenges in working with engineers from other parts of the world. Students will also learn how to manage international projects and learn a type of "survival English" that becomes essential when engaging in negotiations with engineers who do not share the same cultural and linguistic background. Students will also learn English skills that are essential for "opening the door to the world of engineering" such as CV writing, email writing, and group presentation. It is expected that students will develop global understanding of engineering and acquire the English skills that are crucial for disseminating their engineering expertise to the world.</p>							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席・授業への積極的な参加 / Active participation</li> <li>・リアクションペーパー / Reaction papers</li> <li>・グループプレゼン / Group presentation</li> </ul>							
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。 特定日に行く。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31575	S	考える力を養う / コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2	114 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>「コントラクト・ブリッジ」(以下「ブリッジ」と呼ぶ)は、トランプを使用して行う競技(ゲーム)であり、チェス、囲碁、将棋と共に「マインド・スポーツ」と呼ばれている。世界中に愛好者がおり、ブリッジの国際組織(WBF=World Bridge Federation)には100か国以上が加盟している。本ゼミナールでは、ブリッジのルールを学び、推定力、判断力、分析力、集中力を駆使して確率を見積って最適なプレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に付ける。担当教員(浅井)は日本リーグ1部でプレイした経験を持つ上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。</p> <p>※受講人数:36名程度に制限する。</p> <p>合格・不合格:宿題の成績、ゲーム達成度および授業への出席実績に基づいて行う。</p> <p>その他 Web ページ及び無料学習用ソフトを使用</p> <p>第一回授業日に行く。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31521	S	工学研究の最前線を支える 実験装置を体感・体験する	菊本 英紀	生産技術 研究所	火 5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>大学における基礎的学習やこれをベースに展開する研究が、その後どのように社会に還元され実装されるかを実感する機会は今まであまり無かったであろう。本体験ゼミナールでは、工学研究を対象に、これが実社会とどのように結びついているか、その社会実装に向けてどのような工夫がなされているかについて、工学研究の実験的・実証的研究のために本学で活躍している試験装置や、普段は見かけることのあまり無い実験機器、可視化装置を実際に間近に見て体験することにより、工学研究の最前線・最先端の現場をより身近に臨場感を持って知り、理解を深めることを目的とする。本体験ゼミナールでは、これらの装置やそこから生み出される研究成果の理論的内容や背景を理解するというより、むしろこのような装置から社会に直接的・間接的に役立つアウトプットが生み出されている実態を「知ってもらう」ことに主眼を置いており、したがって文系、理系を問わず、実物を間近に見て体験することに興味を持つ学生諸君の参加を期待している。</p> <p>※ガイダンスは4月5日および4月9日の12:20~12:45に行う（場所は1号館105教室）。</p> <p>※受講人数を25名に制限する。</p> <p>なお、25名を超えた場合は受講者の公平を期してくじ引き等で受講生を選抜することがある。また、電力事情等により施設見学の日程が変更となる場合があるのでガイダンス時の情報提供等に注意されたい。</p> <p><b>評価方法</b>  <b>教科書</b>  <b>ガイダンス</b> 出席点とレポートの提出により評価する。                  教科書は使用しない。                  特定日に行う。                  4月5日および4月9日の12:20~12:45に1号館105教室</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31555	S	Arduino を使って応用システム を作ろう C	廣瀬 明	工学部	火 6	2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい!」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。</p> <p>まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。</p> <p>※受講人数：10名に制限する。</p> <p>※開講場所：駒場 KOMCEE West 3 階 K301 号室 を予定                  受講を希望する学生は、廣瀬 (ahirose@ce.t.u-tokyo.ac.jp) まで必ず事前にメールで申し込みこむこと。(希望者多数の場合には抽選とする)</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p><b>評価方法</b>  <b>教科書</b> ガイダンス、講義、実習、システム構築、プレゼンテーション、発表会への参加。                  次の教科書を使用する。                  書名 Arduino をはじめよう                  著者(訳者) Missimo Banzi (船田 巧)                  出版社 オーム社(オライリー・ジャパン)                  ISBN 978-4-87311-537-5</p> <p><b>ガイダンス</b> 特定日に行う。                  工学部の合同ガイダンスが設定される場合(別途周知される予定)にはこれに参加するほか、第1回講義で行う</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31530	S	フォーミュラレーシングカーを作る A	草加 浩平	工学部	水 5	2	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>本ゼミでは 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「全日本学生フォーミュラ大会」に出場するフォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5 限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。(詳細日程はゼミ参加者で相談して決める)</p> <p>授業では自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習(この部分を必修とする)を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。</p> <p>本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。</p> <p>具体的製作活動は「全日本学生フォーミュラ大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」、工学部 8 号館「草加研究室」で行う。</p> <p>※4 月 17 日(水)に安全教育を実施します。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。</p> <p>※開講場所；講義；駒場、実習；本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階「メカノデザイン工房」他</p> <p>※このゼミは 4 月 8 日(月)6 限(18：45～)に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。</p> <p>プリントを配布する。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31556	S	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>飛行ロボットとは無人航空機(ドローン)である。室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度、重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計、製作し飛行させることを目標とする。小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており、講義、実習を通じてこれを理解する。なお、秋に開かれる全日本学生室内ロボットコンテストに出場を目指すことも考える。</p> <p>※駒場からの移動時間を考慮し、17 時 40 分から開始する。</p> <p>開講場所は工学部 7 号館 70 号講義室</p> <p>※このゼミは 4 月 8 日(月)6 限(18：45～)に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>授業への参加、貢献度による。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31586	S	フィールドで考える 野生動物の保護管理	石橋 整司 尾張 敏章 久本 洋子 當山 啓介 福井 大	農学部	水 6	2	157 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。日本では現在、増えすぎた野生偶蹄類による農林業被害や生態系へのダメージが深刻化し、年間数十万頭にのぼる野生シカやイノシシが捕殺されている。その一方で、絶滅の危機にさらされ保護を必要としている動物種も多くある。これらの問題は、元をたどれば人間の社会構造や経済事情の変化によってもたらされたものである。野生動物との持続的な未来関係を築いていくためには、動物と人間社会の関係を深く理解し行動していく事が欠かせない。しかし残念ながら、渋谷近辺での大学生活では、野生動物と出会う機会すら限りなくゼロに等しい。</p> <p>このゼミでは、野生動物の「保護と管理」について、房総半島の自然の中で体得的に学習する。野生動物の調査方法を体験し、駆除動物の肉から料理を作り、実社会で野生動物問題に取り組んでいる人たちと出逢う中で、生命の多様性、そして人間自身の多様性について、深く考える機会を提供したい。経済学・法学・生態学・農学・林学など各分野からのアプローチが必要な分野であるため、全科類の学生が主体的に貢献できるのも本ゼミの大きな特長である。本ゼミは、長年に亘り個性豊かな(変)人たちを多数輩出してきた。みなさんも、異分野交流の刺激と、自分の直感で生命と対峙する楽しさを、雄大な自然の中でぜひ堪能して頂きたい。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)に駒場キャンパス 1313 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>出席と最終日のレポート、プレゼンテーションや討議により評価する。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行く。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31584	S	春の奥秩父を巡る	山田 利博 平尾 聡秀 鈴木 智之	農学部	木 5	2	120 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約7割は森林に覆われていますので、森林を知ることは、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることであり、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。</p> <p>本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系の見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然攪乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生衰退など、森林生態系の動きについて体験的に学びます。また、薪炭林としての二次林や放棄された人工林など、過去から現在までの森林利用を学ぶとともに、山村での郷土食を体験します。最終的には、手つかずの原生林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父地域の自然を体験し、経験的に自然を知るという科学の基本的なアプローチを学ぶことを期待しています。</p> <p>※受講人数を10名以下に制限します。</p> <p>※受講希望者はガイダンスに参加して下さい。</p> <p>※担当教員：山田利博・平尾聡秀・鈴木智之</p> <p>※このゼミは4月8日(月)18時45分~19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>出席とレポートで評価します。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行く。</p> <p>120 教室</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31585	S 1	危険生物の知識（春編）	石橋 整司 齋藤 暖生 井上 広喜 久本 洋子 前原 忠	農学部	木 5	2	157 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>森林に生息する生物の中には人間を含めた他の生物に対して有害ないしは不快なものも含まれている。こうした生物から被害を受けないようにする知識はフィールドで作業をする場合大切であるが、同時にそれらの生物が生態系の中で果たす役割についての理解なしに「有害」、「危険」と退けてしまうことは自然についての正しい知識を身につけることにはならない。そこで、人間にとって「有害」、「危険」、「不快」といわれる生物を実際のフィールドで観察、学習し、これらの生物に対する対処法を身につけると同時に、自然の中で人間との関わりについて学ぶ。</p> <p>※受講可能人数：最大 20 名まで。</p> <p>※ガイダンス：4/18（木）5 限の第 1 回事前講義時に行う。</p> <p>※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所および千葉演習林。</p> <p>※駒場キャンパスでの 2 回の事前講義と富士癒しの森研究所、千葉演習林における 2 回の現地講義、駒場での 1 回の事後講義を行う。開講日は以下のように予定している。</p> <p>第 1 回事前講義（ガイダンスを含む）【駒場キャンパス】</p> <p>4 月 18 日（木）5 時限 157 教室</p> <p>第 2 回事前講義【駒場キャンパス】</p> <p>4 月 25 日（木）5 時限 157 教室</p> <p>第 1 回現地講義【富士癒しの森研究所管内】</p> <p>5 月 11 日（土）～12 日（日）（1 泊 2 日）</p> <p>第 2 回現地講義【千葉演習林管内】</p> <p>5 月 25 日（土）日帰り</p> <p>事後講義【駒場キャンパス】</p> <p>5 月 30 日（木）5 時限 157 教室</p> <p>各演習林への交通費、宿泊費、食費等の実費は自己負担。負担額等の概要については第 1 回事前講義時に説明する。</p> <p>※このゼミは 4 月 8 日（月）6 限（18：45～）に駒場キャンパス 1313 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>出席とレポートで評価する。なお現地講義に参加できない学生の履修は原則として認められない。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31588	S	都市の緑のインタープリター 養成－子どもに伝える自然 体験－	楠本 大 竹本 周平 安村 直樹	農学部	木 5	2	115 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>●授業の目標</p> <p>東京大学演習林では大学生の野外実習や一般市民向けの森林体験活動などを数多く行っており、野外活動を実施するノウハウを蓄積しています。本ゼミナールでは自然に対する知識を学習するだけでなく、学生が自然体験指導者（インタープリター）となり、小学生を対象に自然体験教育を行っていただきます。こうした指導体験を通じて樹木に関する知識とコミュニケーション力の向上を図ることを目標としています。</p> <p>●指導体験の場</p> <p>西東京市にある田無演習林では「子ども樹木博士」を毎年春と秋に行っています。小学生を対象に 10～30 種類の樹木の解説し、樹木名に関わる学びを通じて森林や樹木の不思議を感じてもらうことを目的としています。学生のみなさんには「子ども樹木博士」での樹木解説、休憩時間に行うアクティビティを取り仕切っていただきます。</p> <p>●授業の概要</p> <p>みなさんがインタープリターとして活動するには、まずみなさん自身が参加者として体験することが不可欠です。本ゼミナールでは教員の指導による樹木解説やネイチャーゲームなどのアクティビティを体験してもらいます。この体験を通じて、人に興味を起こさせる会話や「気づき」を「わかちあう」方法について学んでいきます。講義では、人と森の関わり、リスク管理について学びます。最終的には小学生に樹木解説を行うとともに、アクティビティを企画・運営します。</p> <p>●講義予定</p> <p>講義は駒場での授業と田無演習林での野外実習で構成されています。田無演習林での野外実習は必ず参加する必要があります。受講希望者はガイダンスに参加すること。</p> <p>①4/18(木)5 限駒場：ガイダンス、②5/9(木)5 限駒場：樹木の見分け方と駒場の樹木観察、③5/11(土)田無演習林：子ども樹木博士やネイチャーゲームの体験、④5/16(木)5 限駒場：人と森とのかかわりに関する小講義とアクティビティの企画、⑤5/23(木)5 限駒場：リスク管理に関する小講義とアクティビティの準備、⑥5/25(土)田無演習林：樹木解説やアクティビティ実施のトレーニング、⑦5/30(木)5 限駒場：導入を考える 樹木解説の練習、⑧6/2(日)田無演習林：インタープリテーションの実践、⑨6/6(木)5 限駒場：ふりかえり</p> <p>授業終了後、レポートを提出</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p> <p>2019/4/18 115 教室</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40293	S 2	君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか？（入門編）	石橋 整司 尾張 敏章 齋藤 暖生 久本 洋子 當山 啓介 安村 直樹 蔵治 光一郎 藤原 章雄	農学部	木 5	2	157 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>日本には「森林の文化」、「木の文化」があるといわれる。たしかに日本の国土は森林が成長するのに適した温暖多雨な気候であるため、高山などの一部の地域を除いて森林に覆われており、自然が少なくなったといわれている現在でも国土の約 7 割を森林が占めている。古来日本人はその生活の中で森林と密接な結びつきをもち、衣食住に関わるさまざまな資源を得る場として、また生活空間の一部として利用してきた。</p> <p>こうした日本の「森林の文化」、「木の文化」を支えてきた代表的な樹種である「スギ」や「ヒノキ」は今でも国土の森林の多くの面積を占めており、日常的に森林や木材に関わることの少ない人々の間でもよく知られた樹種である。しかし、「スギ」や「ヒノキ」が日本で育まれてきた「木の文化」にどのように貢献してきたのか、日本人は「スギ」や「ヒノキ」の何に価値を見出して利用してきたのか、そもそも「スギ」や「ヒノキ」とはどのような特性を持つ樹なのか、という一歩踏み込んだ知識を持っている人は意外に少ない。</p> <p>全学体験ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか？（入門編）」では、「スギ」や「ヒノキ」という樹種の特性や日本人との関わり方の歴史、実態について広く学ぶことを通して、日本の「森林の文化」、「木の文化」そして日本人と森林との関係を学ぶものである。</p> <p>本ゼミナールはガイダンスを含む駒場での 6 回の講義（木曜日 5 限）と千葉演習林における 1 泊 2 日の現地講義で構成されている。講義の日程（予定）は以下の通りであるが、各回の講義内容や講義の順番は変更となる可能性があるのでガイダンスで確認してほしい。</p> <p>6 月 6 日（木）ガイダンスおよび第 1 回講義「日本人とスギ&amp;ヒノキ」          6 月 13 日（木）第 2 回講義「国土保全」          6 月 20 日（木）第 3 回講義「スギとヒノキの仲間達」          6 月 22 日（土）～23 日（日）千葉演習林での現地講義「林業、スギとヒノキを育てる現場」          6 月 27 日（木）第 4 回講義「木工素材としてのスギとヒノキ」          7 月 4 日（木）第 5 回講義「花粉症の社会的費用」          7 月 11 日（木）第 6 回講義「スギとヒノキを活かす」</p> <p>現地講義の際の交通費・宿泊費は自己負担となる。詳細な講義日程等についてはガイダンスの際に説明する。          ※このゼミは 4 月 8 日（月）6 限（18：45～）に駒場キャンパス 1313 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法		<p>出席とレポートで評価する。なお、現地講義に参加できない学生の履修は認められない。また、現地講義の宿泊施設や講義日程の都合により、履修希望者が多くなった場合はレポート等により履修者の制限を行う事がある。</p>						
教科書		教科書は使用しない。						
ガイダンス		第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31514	S	証明と計算機	植田 一石	数理科学 研究科	金 1	2	K114	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>数学における「厳密な証明」の概念は時代とともに変化しているが、現時点で最も厳密だと考えられている「形式的証明」や、その計算機科学との関わりを、文献の輪講によって学ぶ。</p>						
評価方法		発表を中心とした授業への参加をもとに評価する。						
教科書		教科書は使用しない。						
ガイダンス		特に行わない。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31510	S	多変数関数の微分	平地 健吾 清野 和彦	数理科学 研究科	金 2	2	511 教室	1 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>理系の1年生がSセメスターに学ぶ熱力学では、物理的な状態を表す関数が多変数関数であるため、状態の変化は多変数関数の微分によって表されます。しかし、大学に入学したばかりの1年生のほとんどは多変数関数の微分どころか多変数関数にさえ触れたことがありません。一方、多変数関数の微分が数学の講義で扱われるのはS2タームの後半からAセメスターのはじめにかけてです。そこで、このゼミナールでは多変数関数の微分についてゆっくりと学びます。必要なことは熱力学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって熱力学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たくもない数学の記号が出てきただけでめまいがして熱力学どころではなくなってしまふ、というような人を念頭において話を進める予定です。</p> <p>なお、熱力学の物理学としての内容には一切触れませんし、熱力学で使う数学のすべてを網羅するものでもありません。逆に、熱力学には直接出てこない内容も扱います。あくまでも数学の授業ですので、誤解のないようにお願いします。また、1変数関数の微分をよく理解していることを前提にしませんので、多変数関数の微分とはどんなものかということに興味のある文系の学生も歓迎します。</p> <p>毎回の小テストと、それを補充するレポートによる。 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス								

間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31602	S	オープンガバナンスによる 市民参加型社会の体験 (川崎市宮前区)	宇野 重規	社会科学 研究所	金 4	2	E39 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>これまで公共サービスの企画や提供は、一部のボランティア活動を除いてはほとんど行政が担い、大多数の市民は専らサービスの受益者と受け止められることが多かった。しかし、デジタル社会の到来で、多くの市民が行政の提供する情報（データと知識）の社会的な共有を通じて公共サービスに係る課題の発見、構想の提言と具体化、さらにはその実施に直接関わるムーブメントが萌芽しつつある。言い換えれば、市民が主体的に公共サービスの提案から提供までの一連のプロセスに積極的に関わり、行政はそのプラットフォームとなっていく市民参加型社会=オープンガバナンスの実現を可能とする、民主主義の新たな展開である。この展開は、市民にとっては働き方改革の次に到来する生き方改革（ワークライフソーシャルバランス）につながり、行政にとっては公共サービスの co-creation の舞台回し役への変革につながる。</p> <p>このようなオープンガバナンスは、米 EU をはじめとして世界各国で模索が始まっているが、まだスタートしたばかりの発展途上にあり、我が国でも、今後、若い世代の斬新なアイデアによる取組みが強く求められる。</p> <p>この体験学習では川崎市宮前区を取り上げ、現地訪問により地域課題を解決するための様々な取り組みを体験する一方、若者から高齢者までの区民と行政の新たな連携についての宮前区職員との意見交換などを踏まえて、これからの地域住民と行政の関係の具体的な新しい在り方を学生によるワークショップを実践しながら企画し、最終的に現地で発表する。</p> <p>学習過程における参加度と理解度（毎回の出席と何回かテーマを決めて執筆する各自の小レポート）。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31511	S	じっくり学ぶ数学 I	平地 健吾 牛腸 徹	数理科学 研究科	金 5	2	シラバス参照	1 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということになるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。</p> <p>一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。</p> <p>※開講場所：数理科学研究科棟 117 号室 ※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われる2年生の参加も歓迎します。</p> <p>問題を解いたノート提出 プリントを配布する。 第一回授業日に行う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31492	S	極限的プラズマの世界 —核融合から宇宙まで—	井 通暁	新領域創成科学 研究科	金 5	2	516 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>宇宙の物質のほとんどは、原子がイオンと電子に分離した「プラズマ」状態にあると言われており、惑星磁気圏や恒星表面、さらにはブラックホールなどの環境下においてプラズマの振る舞いが重要な役割を果たしている。また、日常的な蛍光灯やディスプレイだけでなく、半導体プロセスや医療分野、さらには電気推進ロケットや核融合発電においてもプラズマが応用されている。本ゼミナールでは、入門的なプラズマの講義を行った後に、日常では見られない極限的なプラズマとして、核融合実験装置での実験および地球上層大気での流星プラズマの観測を中心とした体験学習を実施する。</p>						
評価方法		出席点による評価を行うが、原則として講義および実習への出席が必須となる。						
教科書		教科書は使用しない。						
ガイダンス		特定日に行う。 4/5/2019S 限／5th Period 駒場						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31566	S	囲碁で養う考える力	森畑 明昌 金子 知適 石倉 昇 吉原 由香里 黒瀧 正憲	教養教育高度化 機構	金 5	2	K501	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>囲碁は、古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく、国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは、囲碁のルールを学び、お互いの実戦を通じて、判断力、分析力、洞察力、集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。囲碁は初めての人を対象として、基本のルールから教える。</p> <p>第1回にガイダンスを行い、希望者が多い場合は、第1回目のガイダンスの際に書いてもらう作文によって、履修者を（未経験者の中から）決定する。</p> <p>※受講人数：40名に制限する。</p>						
評価方法		講義への参加状況をもとに合否を判定する。						
教科書		次の教科書を使用する。						
ガイダンス		<p>書名 東大教養囲碁講座 —ゼロからわかりやすく</p> <p>著者（訳者） 石倉昇・梅沢由香里・黒瀧正憲・兵頭俊夫</p> <p>出版社 光文社（新書）</p> <p>ISBN 978-4334034108</p> <p>第一回授業日に行う。 KOMCEE West レクチャーホール</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31528	S	ロボット競技を体験しよう A	國吉 康夫	工学部	金 6	2	K113	1年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系的能力も不可欠である。</p> <p>本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。</p> <p>専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。</p> <p>本ゼミは1年SセメスターのAから2年AセメスターのDまでで構成される。Aに参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが、どうするかは本人の自由である。</p> <p>発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK 大学ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する。</p> <p>講義は平日5限後に駒場で行い、実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜、長期休暇中に行う場合がある）。</p> <p>※履修人数を20名に制限する。</p> <p>※関連 HP : <a href="http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/lectures/robot-semi.htm">http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/lectures/robot-semi.htm</a>  <a href="http://www.mech.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/">http://www.mech.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/</a></p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>							
評価方法	<p>講義及び実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。</p> <p>各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。</p>							
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31529	S	ロボット競技を体験しよう C	國吉 康夫	工学部	金 6	2	K113	2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系的能力も不可欠である。</p> <p>本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。</p> <p>専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。</p> <p>本ゼミは1年SセメスターのAから2年AセメスターのDまでで構成される。Aに参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが、どうするかは本人の自由である。</p> <p>発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK 大学ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する。</p> <p>講義は平日5限後に駒場で行い、実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜、長期休暇中に行う場合がある）。</p> <p>※履修人数を20名に制限する。</p> <p>※関連 HP : <a href="http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/lectures/robot-semi.htm">http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/lectures/robot-semi.htm</a>  <a href="http://www.mech.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/">http://www.mech.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/</a></p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>							
評価方法	<p>講義及び実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。</p> <p>各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。</p>							
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31587	S	人の手で造り管理する森林－林業・風景計画の視点から	石橋 整司、佐藤 貴紀 田中 延亮、水内 佑輔	農学部	金 6	2	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>日本は国土面積の約7割を森林が占めており、その広大な森林の4割にあたるおよそ1,000万ヘクタールは、人の手で造り管理している森林（人工林）である。戦後の木材需要増を背景に、木材生産を目的としたスギ・ヒノキ中心の森林造成が各地で進められたものの、その後の輸入木材の増加に伴い、木材生産を生業とした林業は衰退していった。そして林業の衰退とともに、スギ・ヒノキの森林には人手がかけられなくなり、森林を健全に保ち良質な木材を生産するための管理（間伐を中心とした育林）が放棄されるようになった。放棄され荒廃した森林は豪雨時の土砂災害の増加や水源涵養機能の低下につながっている。</p> <p>一方、木材生産目的の人工林と比べると事例は少なく面積も小さいものの、従来、自然環境保全やレクリエーションを目的とした森林造成も行われてきた。森林は、安らぎや癒しの効果をもつ空間であるためレクリエーションや保健休養の場として機能し、また森林の景観（ランドスケープ）は行楽、芸術や文化の創造・継承の対象であり、時に国家や都市のシンボルとしての役割が付与され、それらのアイデンティティー形成にも寄与してきた。林業の衰退した昨今、こうした木材生産とは異なる目的で造成された森林も注目を集めている。</p> <p>本講座では、造成目的の異なる森林や森林関連施設を訪れ、造成の背景や造成後の管理方法を学ぶ。またスギ・ヒノキからなる典型的な木材生産目的の森林へ立ち入り、地域住民とともに樹木や植生の調査を体験する。こうして様々な森林の現状や管理方法を学習、体験し、人の手で造り管理する森林への見識を深め、今後の望ましい森林造成や管理のあり方について考える。</p> <p>※このゼミは4月8日（月）6限（18：45～）に駒場キャンパス 1313 教室にて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>駒場の講義と2回の現地講義への出席（現地講義への出席は必須とする）と、レポートによって評価する。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p> <p>2019/4/19 K114</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31498	S	医学に接する	岡部 繁男	医学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>参加する学生を4～6人のグループに分け、医学部の研究室や病院の医局に行き、現在の医学を実際に体験してもらう授業です。</p> <p>平日の夕方に定期的に教室を訪問するコースと、夏休みを利用して集中的に医学の現状を体験するコースの2つのコースがあります。</p> <p>「授業計画」を確認し、履修希望者は4月6日（土）のガイダンスに必ず出席すること。</p>							
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>「合格」または「不合格」で判定</p> <p>出席状況が大きな比重を占めます。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>特定日に行う。</p> <p>4月6日 13：30から 医学部2号館3階大講堂（本郷キャンパス）</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31527	S	全国高校生社会 イノベーション選手権 I	小松崎 俊作	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>世界的に漂う閉塞感を打ち破るのは、新しい価値を生み出すイノベーションしかありません。世界の人々が賞賛する、日本らしい優れたモノやサービスを次々に生み出してゆくことが日本の生き残る道ではないでしょうか。そのためにはイノベーションを生み出すことのできる人材を育てることが重要です。</p> <p>中等教育においても、創造性を育てることが新たな教育指導要領に盛り込まれ、イノベーション教育が爆発的に広まろうとしています。そこで私たち（工学部社会基盤学科）は、イノベーション創造に取り組む全国の高校生にとって目標とする大会を創出すべく、2018年度から全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）を開始しました。（全国から11チームのエントリーがあり、広島高校（広島県）が優勝、今治西高校（愛媛県）、観音寺第一高校（香川県）が準優勝となりました。）</p> <p>この全学体験ゼミナールは、駒場生の皆さんにもイノチャン企画・運営に参加していただき、イノベーションを生み出す作法や楽しさを知っていただくこと、自ら新規事業（イノチャン）を興す体験を一度でも得ていただくことを目的としています。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>※全国高校生社会イノベーション選手権（イノチャン）は、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻（工学部社会基盤学科）主催事業です。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>大会運営への貢献と、ワークショップ（集中講義）での発言等を総合的に判断する</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31531	S	フォーミュラレーシングカー を作るC	草加 浩平	工学部	集中	2	シラバス 参照	2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意して下さい。</p> <p>本ゼミでは9月に開催が予定されている自動車技術会主催の「全日本学生フォーミュラ大会」に出場するフォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の5限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。（詳細日程はゼミ参加者で相談して決める）</p> <p>授業では自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。</p> <p>本ゼミは1学年Sセメスターの「フォーミュラレーシングカーを作るA」に始まり、Aセメスターの「同B」・・・と各セメスターに開講するが、Sセメスター開講のAで基礎を教える。2年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は「フォーミュラレーシングカーを作るA」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作るA」を受講した学生は「同B」以後の受講を可能とする「同B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の3年から4年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の1テーマとして、修士1年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の1テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。</p> <p>具体的製作活動は「全日本学生フォーミュラ大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部8号館「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」、工学部8号館「草加研究室」で行う。</p> <p>※4月17日（水）5限に安全教育を実施します。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。</p> <p>※開講場所：講義：駒場、実習：本郷キャンパス工学部8号館地下2階「メカノデザイン工房」他</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。</p> <p>プリントを配布する。</p> <p>特定日に行う。</p> <p>2019/4/10 5限/5th PeriodK302</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31549	S 1	生体分子機械の1分子分析 とその応用	鈴木 康介	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理科
31550		コンピューターで蛋白質分 子のしくみを調べよう			集中	2	シラバス 参照	2年 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>本授業の目的は工学部応用化学科の研究室で表記題目に関する化学実験を実施して、研究室の研究活動を体験することで化学に対する理解を深める。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>実験への参加状況で評価する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/4/11 6限/103教室</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31552	S	海で学ぶ－臨海実験所に おける海洋体験実習－	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意して下さい。</p> <p>海洋という幅広い分野を総合して考えることの出来る人材の育成および、海洋関連研究者・大学院生の活動を支援することが、機構「海洋アライアンス」の目的である。本講義は、海洋アライアンスに関連する教員が、東京大学三崎臨海実験所において行う学部1・2年生を対象とした体験ゼミナールである。臨海実験場は1886年にわが国最初の、世界でも最も古い臨海実験所の一つとして設立された。本講義では、海洋生物学だけでなく、広く理学・工学・農学における海洋分野の研究に関連する実習演習を、短期集中講義(宿泊施設を利用した合宿)として実施する。実験所内の最新設備を利用した実習、近隣の海浜における自然観察、定員25名の実習船臨海丸(17トン)における航海実習などを行う。また、専門教員が関連するレクチャーを行う。<a href="http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/">http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/</a></p> <p>以下、予定されている実習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨海丸による乗船実習(プランクtonネット、ROV観察)</li> <li>・ 臨海丸レーダー・ソナー見学</li> <li>・ 和船の操船実習</li> <li>・ ROV操作実習(栈橋にて)</li> <li>・ 栈橋での灯火採集</li> <li>・ 採集生物の分類</li> <li>・ 顕微鏡による生物観察</li> <li>・ 海岸での地質見学</li> <li>・ 海水分析</li> <li>・ 油壺マリパーク水族館見学</li> <li>・ Short Lecture Series</li> </ul> <p>※受講人数:20名に制限する。 ※ガイダンス:4月8日(月)、6限に教養学部104教室で行う。2回目のガイダンスは行わない。 ※開講期間:8/7から8/9の間の3日間 ※開講場所:東京大学三崎臨海実験所 ※このゼミは4月8日(月)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>アンケートおよびレポートをもって可否を判断する。 プリントを配布する。 特定日に行う。 2019/4/8 6限/104教室</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31558	S	東大アントレプレナーシップ・ サマー・ブートキャンプ (UTokyo Entrepreneurship Summer Bootcamp for Freshmen)	各務 茂夫	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>世界が直面する様々な問題の課題解決に主体的に貢献できるベンチャーマインドに溢れた東大生を育成するために、学部一年生を対象としたアントレプレナーシップ教育の短期集中プログラム（ブートキャンプ）を学外合宿で実施する。</p> <p>①クラス討議での貢献（30%）②演習・グループワークでの貢献（30%）③レポート（40%）</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31541	S	超高分解能電子顕微鏡で観る 物質中の原子のならば	宮田 完二郎	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>原子ってどんな姿をしていると思いますか？ 本体験ゼミでは、世界最高性能の電子顕微鏡を用いて物質中の原子像の観察に挑戦します。そして、その原理や仕組みを学びます。物質中の原子1つ1つを並べて、物質の機能や性質を自在にデザインできたら・・・というナノテクノロジーの夢に、少しずつ近づいている最先端技術の一端を体験してほしいと思います。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>これに加えて、本ゼミの個別ガイダンスを別途行います(日時や場所は合同説明会で伝えます)。参加希望者は合同説明会と個別ガイダンスの両方へ出席して下さい。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>実験や講義への参加による評価 授業中に指示をする。 特定日に行う。 2019/4/9 6限／105教室</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31542	S	感動体験！鉄の世界から未来 を眺める	松浦 宏行	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>皆さんは「鉄鋼」という言葉にどのようなイメージを持っていますか。「鉄は国家なり」、「鉄は産業の米」などと言われるように遙か以前より国家・産業・社会の基盤となる重要なキーワードとして捉えられてきました。鉄鋼材料は過去から現在に渡って社会の基盤材料として活躍し、おそらく今後もその位置を維持し続けるものと考えられます。</p> <p>本講義では鉄鋼材料の製造プロセスを学び、さらにその理解を深めるために、生産現場、つまり「製鉄所」を見学します。日本の製鉄所は100年以上の歴史と技術と先人の努力を蓄積し、世界随一の製造技術と効率を發揮しています。高さ100mにも及ぶ「高炉」や1600℃以上の溶鋼が作り出される「転炉」、総延長1km以上の「熱間圧延工程」など、いざれもテレビで見かけたことがあると思いますが、実際にそこでどのようなものがどのようにして作られ、そして最先端の製造技術が具体的にどうやって活かされているのか現場を通して学びます。</p> <p>日本の製造業の根幹である鉄鋼材料を生み出す現場とその技術、そしてそこで働く方々の想いを一緒に学びましょう。</p> <p>【注意】ゼミに関する重要事項は4月9日（火）6限に行われるマテリアル工学科共通の講義ガイダンスで説明しますので、履修希望者は必ず参加してください。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>工場見学への出席・レポート 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/4/9 6限／1号館105教室</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31543	S	バイオマテリアル作り体験	吉田 亮	工学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>人工臓器に代表される医療機器の材料をバイオマテリアルと呼ぶ。バイオマテリアルの中には、骨など代替するセラミックス、金属材料、さらには血管などに使われる高分子材料がある。本講義では、高分子で機能性バイオマテリアルである高分子ハイドロゲルをつくる体験、生体信号を検出するセンサーを作る体験、生体と材料が接した際に起こる反応を人工関節モデルとしてつくる体験、などを行う（内容は年によって若干変わります）。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席および実験のレポート 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/4/9 6限／1号館105教室</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31551	S	鉱物資源はどこでできるのか？ ーフィールド調査と鉱物採集の旅ー	加藤 泰浩	工学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>私達の文明の発展は、様々な鉱物資源によって支えられています。また、ある種の鉱物は宝石と呼ばれ、その美しさで私達の心を満たしてくれます。このような「鉱物資源」は、どこで、そしてどのようにして出来るのでしょうか？東京周辺でも、1970年代までは様々な鉱山が稼行し、鉱物資源が採掘されていました。また実は、美しい鉱物が採れる場所というの、東京近郊に多数存在しています。そこでこの授業では、東京周辺で日帰りの野外巡検を行い、こうした鉱物資源を実際に採取・観察してもらいます。そして、それを通じて鉱物の魅力に触れてもらうとともに、私達の生活を支える鉱物資源への理解を深めてもらうことを目標とします。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>野外巡検終了後にレポートを作成してもらい、その内容により成績評価を行います。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>野外巡検終了後にレポートを作成してもらい、その内容により成績評価を行います。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31554	S 1	医工学入門	酒井 崇匡	工学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>医学ならびに生命化学に関する工学技術を紹介し、実際に「眼科治療用ゲルの作製」、「生体高分子の精密分析」、「内視鏡下手術・超音波診断」を体験してもらいます。</p> <p>授業を通して、先端の医工学技術を理解するとともに、興味を深めてもらいます。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>出席とレポートで評価します。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 2019/4/20 13時から本郷キャンパス工学部</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席とレポートで評価します。 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 2019/4/20 13時から本郷キャンパス工学部</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31573	S	化学の最前線を体験する	佃 達哉	理学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意して下さい。数人のグループを単位として理学部化学科の研究室に加わり、教員の指導の下、最先端の化学に関する実験を経験する。通常の学生実験とは異なり、各研究室において、現在研究が繰り返されている、まさに「生きた」化学を体験する。本ゼミにより、化学研究のフロンティアに触れるとともに、基本的な研究の進め方や考え方、最新の実験設備の使用法や付随する技術を学ぶ。実験終了後には、成果発表会を開き、グループごとに研究の意義、実験の結果などについて報告する。同報告会を通し、研究成果のアピールの仕方やプレゼンテーションに関するスキルについても会得する。</p> <p>※受講人数：20名程度                  ※ガイダンス：4月8日(月) 6限駒場1号館108教室で行う。                  ※開講場所：理学部化学本館、西館、東館                  ※開講期間：8/1(木)、8/2(金)、8/5(月)の3日間を予定している。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席ならびに研究成果発表会における発表内容をもって成績を判定する 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/4/8 6限駒場1号館108教室</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31589	S	森に学ぶ(ふらの)前編 北海道の大地に学ぶ	鴨田 重裕 平尾 聡秀 鎌田 直人	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>※成績公開が所定日後となる場合がある</p> <p>【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味あるけど、サークルに属するほどではないかも知れない人に、安全に山を楽しんでもらう機会と、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらう機会を作るために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。</p> <p>伊豆ゼミでは伝えきれない自然を感じる部分を本ゼミにてお届けしたいと思っています。伊豆ゼミとセットでの履修をお奨めします。</p> <p>北海道・富良野と聞いて何を思い浮かべるだろうか。東大演習林!と答える君はもしかして演習林通?もちろんそういう答えを期待している訳ではない。でも、この体験ゼミ受講後、それはきっと強く印象に残るのではなかろうか(と書くのは簡単だ)。でもこのゼミではその北海道演習林にすぐには行かない。演習林にほど近い山を歩いてみる。十勝山系富良野岳。(ずっと演習林を見たいという向きは、もうひとつの体験ゼミを履修されるとよい。冬の北海道演習林を満喫できるゼミが用意されている。)富良野岳(ふらのだけ)は、北海道中央部にある山である。標高1,912m、大雪山の南西部から連なる十勝岳連峰の最南端に位置する。火山ではあるが、山麓の安政火口を除き、古い時代に活動を終えたと考えられる。そのため、安政火口近辺を除いて全山高山植物が豊富で、特に山頂部は夏の時期は広大なお花畑が広がる。隣接する十勝岳が有史以来の激しい噴火のため、山頂部に植物に乏しいのと対照的である。出典:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』</p> <p>本ゼミ主宰者が学生時分に何度も訪れた山。これまでに登った数ある北海道の山の中でもお気に入りの山のひとつだ。自然、自然と言えけれど、手つかずの自然など日本のどこにもほとんど残っていない。北海道の山上といえども完全なる自然とは言えないかも知れないが、大自然を感じるにはうってつけの場所だ。いつ行ってもその大きさに圧倒される。大自然のただ中に身を置いて、人間の小ささを感じてみよう。そして、自分が押しつぶされそうな日頃の重大問題のことを考えてみよう。何かしら道が開けることがあるかも知れない。このゼミでは、少なからぬ百名山登山家に見受けられるような、ただ頂上に立つことを主目的とするようなせわしない登り方はしない。ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩くので、とくに健脚でなくても大丈夫。大自然を十分に満喫したそのあとに、今度は人が向きあう森に向きあってもらう。そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち林業という一次産業を意識してみたい。大方の日本人は日本は先進国だと思っていると思う。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのだろうか?本当にそうなのだろうか?自然の中にどっぷりと身を置いたことで、内にちょっと変化が起きた君たちには、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答えはない。答えは君達が積み上げていくものなのだ。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>講義の受講態度と課題(レポート等)により可否を判定する。 無断欠席は不合格とする。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/4/11 6限/164教室</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31493	S	最先端メディカルゲノム サイエンスを体験する	松田 浩一	新領域創成科 学研究科	集中	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
<p><b>授業の目標概要</b> ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>メディカル情報生命専攻に所属する教員・若手研究者が、それぞれのキャンパスで実施する体験的プログラムに参加し、現代生物学・基礎医学研究の最先端の現場を体験することができます。</p> <p>合わせて、実施キャンパスの見学説明等も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところ、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。</p> <p>★履修ガイダンスとして、下記メディカル情報生命専攻 HP の「カリキュラム」→「教養学部生へ」→『全学体験ゼミナール』を是非訪問してください。</p> <p>『S セメスター開催予定プログラム』（履修者は下記から一つを選択できます）</p> <p>(1) 伊藤 耕一 先生「細胞のなかの生体分子同士の相互作用を検出する」</p> <p>(2) 野田 尚宏 先生「産総研を体験する」</p> <p>(3) 糸川 昌成 先生「医学研を体験しよう！ ー来て・見て・触れて医学研 ー」</p> <p>(4) 古川 洋一 先生「体質を調べる」</p> <p>※ 詳細や更新内容については、メディカル情報生命専攻のホームページ 【URL】：<a href="http://www.cbms.k.u-tokyo.ac.jp">http://www.cbms.k.u-tokyo.ac.jp</a> に掲示するので随時確認してください。</p> <p>※ 各プログラムは、それぞれの実施キャンパス、実施期間、予定日時が異なります。また、UTAS への履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採択される必要があります。詳細情報は「授業計画」を参照してください。</p> <p>各プログラム責任者からの出席状況を取りまとめこれに基づき評価(合格、不合格、欠席)を決定する。</p> <p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>								
<p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31597	S	空間デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>空間デザインを通して「アイデアをカタチにする」体験をするのがこの授業の目標である。概念と形象をつなぐことは、アートやデザインなど多くの創造的活動の根幹をなす作業である。この授業では、受講者自身が空間デザインのアイデアを立案し、具体的なカタチをつくりあげるまでを実習する。概念構築と形態創造における独創的かつ意欲的な取り組みに期待する。空間設計の知識や模型制作の経験は必要としない。文系/理系に関わらず、デザイン・造形・建築などに関心があれば、ぜひ履修してほしい。</p> <p>4月11日の授業ガイダンスにおいて小課題を実施する。履修希望者が予定数を上回るときはこの小課題によって選抜を行う。</p> <p>授業ガイダンスに参加できない者は、事前に担当教員に申し出ること（指定期限後の申し出は受け付けない）。該当者には小課題にかわるレポートの提出を求める（4月11日の内容とは異なる）。詳しくは UTAS/シラバスの「履修上の注意」の項を参照のこと。</p> <p>※履修人数を20名に制限する ※開講期間：2019年6月8日(土)、6月15日(土)、6月22日(土) ※開講場所：東京大学総合研究博物館小石川分館</p> <p>提出作品の内容により評価する。 プリントを配布する。 特定日に行う。 2019/4/11 5限 / 166教室</p>								
<p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
31522	S	工学体験ゼミ	川越 至桜	生産技術 研究所	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>工学や科学技術は、私たちの暮らしに深く関わる分野であり、実社会と密接に結びついている。一方で、これまでに学習してきた基礎的内容や、基礎がベースとなっている研究が、その後どのように社会に実装されているのかといった、科学技術と社会とのつながりを実感する機会は少ない。</p> <p>本授業では、工学や科学技術を通して、基礎学習が研究や社会にどのようにつながっているのかを実感することを目的とする。実際に研究している現場を見学するとともに、自ら手を動かして簡単な実験等を体験し、グループワークやディスカッションを通して、工学や科学技術の社会的意義や役割を理解していく。</p> <p>また、体験したことを一般社会に伝えるためのワークショップデザインについても考え、企画立案演習なども行う。</p> <p>※履修人数を15名に制限する ※開講場所：生産技術研究所（駒場Ⅱリサーチキャンパス）</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>レポートの内容、および、授業への参加状況、参加意欲、発表・発言の内容や積極性などを総合的に加味して評価する。授業中に指示をする。</p> <p>特定日を行う。</p> <p>4月8日(月)および4月11日(木)の2日間、12時20分より教養学部1号館104教室で行う。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40284	S 2	エネルギー資源の「開発」 を学ぶ	小林 肇	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>現代社会の基盤を支える一次エネルギー源の約6割は石油・天然ガスに依存しており、その傾向は今後も継続する。これら石油、天然ガスを含む地下資源の鉱床の探査、掘削、生産の一連の工程を「開発」と呼ぶ。石油産業は世界で最も巨大な産業の一つであり、石油企業大手（石油メジャー）の純利益は一社で4兆円を超えるが、その7-8割は「開発」部門での収益である。</p> <p>一方、エネルギー資源の約96%を海外から輸入している日本では、この「開発」を身近に感じる機会は少ない。しかし、先進国の中で石油産業が基幹産業となっていないのは日本だけであり、世界的には石油メジャーは収益力の強い超優良企業の代表と見なされている。また、近年のシェールガス革命でも明らかのように、資源開発は新技術が世界情勢を直接変革する技術革新の現場でもある。</p> <p>本体験ゼミナールでは、エネルギー資源の乏しい日本において貴重な資源開発の現場である国内の油ガス田を見学し、エネルギー資源の開発と、資源開発に関わる技術システムを実フィールドで学習する。また、海外石油開発現場における石油開発の最先端の紹介及びその開発・生産された化石燃料を環境負荷を最小限に抑えて有効に活用する水素SS、総エネハウス等の取り組みの紹介を通して、化石燃料の開発から生産・利用のそのライフサイクルの中での環境負荷低減・地球温暖化防止に向けての企業の取り組みへの理解を深める。学生は、資源開発の実際とそのエンジニアリングセンスをこの体験を通して習得する。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>産業と技術の理解には、現場で直接学んだ知識を自身でまとめ、体系的に捉え直すことが重要である。資源開発の現場を見学した後、そこで学んだ知見をまとめたレポートで成績を評価する。</p> <p>教科書は使用しない。</p> <p>特定日を行う。</p> <p>2019/4/8 6限／工学部合同ガイダンス</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40285	S 2	原子力・核融合の研究開発 現場を見てみよう	大野 雅史	工学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。原子力や核融合の研究開発現場を視察し、関連技術の現状と課題を理解することにより、これらの技術に対する認識を深め、将来に向けた展望を培うための契機とすることを目的とする。具体的には、原子力発電や原子力関連技術研究開発の現状と課題、核融合研究開発に関する現状と課題、加速器や量子ビームに関する研究開発状況とその多方面への応用、などについての視察や、現場の研究者・技術者とのディスカッションを通じた学習を行なうことにより、上記の目的を達成することとする。</p> <p>※このゼミは4月8日(月)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>出席状況調査結果とレポートによる。 プリントを配布する。 特定日に行う。 2019/6/5 6限/162教室を予定</p>								
<p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40300	S 2	海の生命科学入門	菊池 潔	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
<p><b>授業の目標概要</b> ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。日本は海に囲まれた島国ですが、学生たちが海の科学を体験的に学ぶ機会が多くありません。本ゼミナールでは浜名湖という現場を通して、水圏生物を対象とした研究の一面を学ぶことをめざします。</p> <p>浜名湖は狭い水路で太平洋とつながった海水・汽水湖です。入り口が浅く、奥が深い浜名湖の物理化学的な構造はどうなっているのでしょうか。そこではどのような生物が、どのように生息しているのでしょうか。それらはどのように生まれ発達していくのでしょうか。そして人々は水の中の生物生産をどのように利用して来たのでしょうか。これらを考えることで、海の科学の入り口に立ちます。</p> <p>※受講人数：12名程度に制限する。 ※開講場所：附属水産実験所 静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 ※体験実習期間：後日決定。 ※このゼミは4月8日(月)18時45分~19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>出席と学習状況で合否を決めます。 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>								
<p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40303	S 2	乳牛、馬、豚、山羊達と 触れ合い種による習性の 違いを知ろう。	李 俊佑	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>東天牧場では馬、牛、ヤギそして豚を飼育しています。一つの牧場でこのように多種の家畜を飼育し、またそれを学生達が自由に接する事ができるのはここだけかも知れません。多種の家畜を飼育する牧場は少ないし、防疫上で殆どの牧場では動物と直接に触れ合う事が禁止されています。だから、今はチャンス。実際の家畜飼育現場での体験活動を通じて、動物の種による習性の違いを勉強でき、又、多種の畜産品の生産コストの仕組みに関して一層の理解を深め、日本と世界の畜産がどう違うかを牧場体験ゼミナールで分かっていたらいい。トラクターとパワーショベルを体験して牧草生産と堆肥の処理等も学ぶ。他に、放射線による農業環境への影響に関しても勉強する。</p> <p>出席と実習に対する態度により評価する。 教科書は使用しない。 特定日に行う。 4/8</p>								
<p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40295	S 2	森に学ぶ（ふらの）後編 北海道の大地に学ぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>※成績公開が所定日後となる場合がある</p> <p>※「森に学ぶ（ふらの）前編」「森に学ぶ（ふらの）後編」をセットで履修すること。</p> <p>【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味あるけど、サークルに属するほどではないかも知れない人に、安全に山を楽しんでもらう機会と、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらう機会を作るために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。</p> <p>伊豆ゼミでは伝えきれない自然を感じる部分を本ゼミにてお届けしたいと思っています。伊豆ゼミとセットでの履修をお奨めします。</p> <p>北海道・富良野と聞いて何を思い浮かべるだろうか。東大演習林！と答える君はもしかして演習林通？もちろんそういう答えを期待している訳ではない。でも、この体験ゼミ受講後、それはきっと強く印象に残るのではなかろうか（と書くのは簡単だ）。でもこのゼミではその北海道演習林にすぐには行かない。演習林にほど近い山を歩いてみる。十勝山系富良野岳。（ずっと演習林を見たいという向きは、もうひとつの体験ゼミを履修されるとよい。冬の北海道演習林を満喫できるゼミが用意されている。）富良野岳（ふらのだけ）は、北海道中央部にある山である。標高 1,912m、大雪山の南西部から連なる十勝岳連峰の最南端に位置する。火山ではあるが、山麓の安政火口を除き、古い時代に活動を終えたと考えられる。そのため、安政火口近辺を除いて全山高山植物が豊富で、特に山頂部は夏の時期は広大なお花畑が広がる。隣接する十勝岳が有史以来の激しい噴火のため、山頂部に植物に乏しいのと対照的である。出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』</p> <p>本ゼミ主宰者が学生時分に何度も訪れた山。これまでに登った数ある北海道の山の中でもお気に入りの山のひとつだ。自然、自然と言っけけれど、手つかずの自然など日本のどこにもほとんど残っていない。北海道の山上といえども完全なる自然とは言えないかも知れないが、大自然を感じるにはうってつけの場所だ。いつ行ってもその大きさに圧倒される。大自然のただ中に身を置いて、人間の小ささを感じてみよう。そして、自分が押しつぶされそうな日頃の重大問題のことを考えてみよう。何かしら道が開けることがあるかも知れない。このゼミでは、少なからぬ百名山登山家に見受けられるような、ただ頂上に立つことを主目的とするようなせわしない登り方はしない。ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩くので、とくに健脚でなくても大丈夫。大自然を十分に満喫したそのあとに、今度は人が向きあう森に向きあってもらう。そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち林業という一次産業を意識してみたい。大方の日本人は日本は先進国だと思っていると思う。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのだろうか？本当にそうなのだろうか？自然の中にどっぷりと身を置いたことで、内にちょっと変化が起った君たちには、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答えはない。答えは君達が積み上げていくものなのだ。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。</p>							
評価方法	<p>講義の受講態度と課題（レポート等）により可否を判定する。</p> <p>無断欠席は不合格とする。</p>							
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。</p> <p>特定日に行う。</p> <p>2019/4/15 5限 / 162教室</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40296	S 2	伊豆に学ぶ (夏) 1 前編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>※成績公開が所定日後となる場合がある</p> <p>※「伊豆に学ぶ (夏) 1 前編」「伊豆に学ぶ (夏) 1 後編」をセットで履修すること。</p> <p>【注意】この紙面は情報が限られている。受講希望者はweb版シラバスを熟読のうえ申し込むこと。</p> <p>【注意2】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの方にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミ(通称:伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違ふとどう違うのか、その違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。</p> <p>伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と緑の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人の繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらおうとしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前のように使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまたよし。</p> <p>本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。</p> <p>「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。</p>							
評価方法	<p>講義の受講態度により可否を判定する。</p> <p>無断欠席は不合格とする。</p>							
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。</p> <p>特定日に行う。</p> <p>2019/4/11 5限 / 164教室 4/15の6限に同じ内容でガイダンス (伊豆に学ぶ (夏) 2参照)</p>							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40297	S 2	伊豆に学ぶ(夏)1後編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>※成績公開が所定日後となる場合がある</p> <p>※「伊豆に学ぶ(夏)1前編」「伊豆に学ぶ(夏)1後編」をセットで履修すること。</p> <p>【注意】この紙面は情報が限られている。受講希望者はweb版シラバスを熟読のうえ申し込むこと。</p> <p>【注意2】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの方にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。</p> <p>樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミ(通称:伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違っているとどうい違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。</p> <p>伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらおうとしている。本ゼミのメインディッシュは新炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまたよし。</p> <p>本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。</p> <p>「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。</p>							
評価方法	<p>講義の受講態度により可否を判定する。</p> <p>無断欠席は不合格とする。</p>							
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。</p> <p>特定日に行う。</p> <p>2019/4/11 5限 / 164教室 4/15の6限に同じ内容でガイダンス(伊豆に学ぶ(夏)2参照)</p>							

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40298	S 2	伊豆に学ぶ（夏）2 前編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
40299		伊豆に学ぶ（夏）2 後編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ			集中	1	シラバス 参照	
授業の目標概要		<p>■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>※成績公開が所定日後となる場合がある</p> <p>※「伊豆に学ぶ（夏）2 前編」「伊豆に学ぶ（夏）2 後編」をセットで履修すること。</p> <p>【注意】この紙面は情報が限られている。受講希望者は web 版シラバスを熟読のうえ申し込むこと。</p> <p>【注意2】本体験ゼミは農学部が主宰するものであるが、農学部以外の学部に進学するつもりの方にも知ってもらいたい農学分野のことを話題にあげる。文系学生にとってハードルが高いゼミにはしない。理系文系を問わず、日本の山林をどうするべきかに興味を持ってもらいたい、そして日本社会の行く末を考えるきっかけとしていただきたい。樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違ふとどう違うのか、そんな「森林」に関する「？」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。</p> <p>伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人の繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて十分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。</p> <p>本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。</p> <p>「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。</p> <p>講義の受講態度により可否を判定する。 無断欠席は不合格とする。</p> <p>教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/4/15 6限 / 162 教室 4/11 の5限に同じ内容でガイダンス（伊豆に学ぶ（夏）1 参照）</p>						
評価方法								
教科書 ガイダンス								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40274	S 2	アイデアを形にするモノづくり体験 ～ロボットから家電まで～	川原 圭博	情報理工学系研究科	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>人工知能や、バーチャルリアリティ、自動運転や 3D プリンタによるものづくり革命など、情報技術が今の時代の社会変革を牽引していると言っても過言では無い。今の時代、社会に出た後、どのような夢を実現するにおいても、情報技術を活用しない訳にはいかない。世界中でソフトウェアエンジニアが枯渇しており、腕利きのソフトウェアエンジニアは高待遇で迎え入れられている。とはいえ、ものづくりやプログラミングで必要となる知識は多岐にわたり、未だ初学者にはハードルが高い存在であることは確かである。</p> <p>本ゼミは、ものづくりやプログラミングに興味はあるけれど、どこから手をつけていいかわからない、もしくは、初学者から中級者へのステップアップを目指したいと思っている人に、コンセプト立案から、ものづくり、そしてプレゼンテーションまでを一気に体験することができる機会を提供することを目的としている。</p> <p>作るモノは、参加者一人一人が決める。例えば、日常の不便を解消する IoT デバイスやロボットなどなんでも構わない。ものづくりと、プログラミングの基礎を学ぶために、BBC Micro:bit のような初学者でも取りつきやすいシングルボードコンピュータを活用し、ものづくりのノウハウを体得し、流れを習得することに主眼を置く。</p> <p>※このゼミは 4 月 8 日(月)6 限 (18:45～) に駒場キャンパス 7 号館 743 教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>最終発表をした人に単位を認定する。</p> <p>その他。</p> <p>著者(訳者) Web サイトにて公開 特定日に行う。</p> <p>2019/6/5 6 限/ ホームページでお知らせします</p>								
<p><b>評価方法</b> 教科書 ガイダンス</p>								

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
40288	S 2	「それ何マグロ？」 身近な生命科学実習－マグロ属魚類の魚種類判別－	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p><b>授業の目標概要</b> ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、実験科学のお作法(実験器具の使い方や実験ノートのとり方)、ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR、次世代シーケンシングといった生命科学用語・技術、実験結果の解釈・考察方法を学習することを目的とする。</p> <p><b>【実習の内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本実習内容の説明</li> <li>② マグロから DNA 抽出</li> <li>③ 遺伝子増幅法 (PCR 法) による DNA の増幅と DNA 配列特異的切断酵素による切断</li> <li>④ DNA 断片を電気泳動により分離して検出</li> <li>⑤ 得られた DNA のパターンからマグロの種別判別</li> <li>⑥ 結果に関する発表および、ディスカッション</li> </ol> <p><b>【ガイダンス】</b></p> <p>2019 年 4 月 11 日 (木) お昼休み 162 教室 ※実施する教室など、最新情報は下記お知らせを各自確認すること。</p> <p><b>【実習実施日】</b></p> <p>集中講義として、下記の日時に行う。 (実験の進行状況により下記の時刻に終了できない場合がある。)</p> <p>2019 年 8 月 5 日 (月) 10:00～18:00 2019 年 8 月 6 日 (火) 10:00～18:00 2019 年 8 月 7 日 (水) 10:00～18:00</p> <p><b>【実習実施教室】</b></p> <p>KOMCEE EAST 3 階 生命科学実験室 (予定)</p> <p><b>【関連ホームページ】</b></p> <p>お知らせ: <a href="http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/news/practical/">http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/news/practical/</a> 実習 HP: <a href="http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/practical/">http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/practical/</a> <b>【2019S 実習専用連絡先】</b> <a href="mailto:practical2019s@adves.c.u-tokyo.ac.jp">practical2019s@adves.c.u-tokyo.ac.jp</a></p> <p><b>評価方法</b> ①出席、②実験ノートの提出、③課題の提出、④ミニプレゼンテーションにより評価する。 ※安全管理上、レクチャーを受講しない学生は実験に参加することはできない 詳細は、各自下記 URL を確認すること。 実習 HP: <a href="http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/practical/">http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/practical/</a></p> <p><b>教科書</b> 教科書は使用しない。 特定日に行う。 2019/4/11 昼休み 162 教室 お知らせ: <a href="https://goo.gl/YvGPCH">https://goo.gl/YvGPCH</a> から最新情報を確認すること。</p>								
<p><b>ガイダンス</b></p>								

## 「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、(1) 海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、(2) 海外教育機関との海外での共同教育プログラム、(3) 海外の学生との日本国内での研修、(4) 海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

2019年度Sセメスター（S1・S2ターム）には以下の7授業が開講される。

講義題目	研修地
The University of Tokyo Summer Internship Program in Kashiwa (UTSIP Kashiwa)	日本
ソウル大学校韓国語研修サマープログラム	韓国
国際人道法ロールプレイ International Humanitarian Law Role Play	マレーシア
ボン大学ドイツ語サマースクール	ドイツ
グローバルガバナンスにおけるEUと東アジア /The European Union and East Asia in International Relations and Global Governance	ドイツ
イタリアで考古学を体験する	イタリア
TLP フランス語夏季研修	フランス

## 国際研修

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40267	S 2	The University of Tokyo Summer Internship Program in Kashiwa (UTSIP Kashiwa)	伊藤 たかね	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>【注意】開講日程の都合上、この授業を履修する場合は、S セメスター/S2 ターム開講の他授業を履修することができないので、注意してください（開講日程の異なる集中講義等を除く）。</p> <p>Students attending this course cannot take credits for other courses in S semester or S2 term, except for intensive courses whose schedule does not overlap with this course.</p> <p>UTSIP Kashiwa is an international internship program provided by the Graduate School of Frontier Sciences (GSFS:新領域創成科学研究科) where Junior Division students can study together with undergraduate students from abroad in laboratories as well as in lectures. The program will be conducted in English.</p>					
評価方法		Students are required to submit a short report on their lab activities and research results, together with the slides used in the final presentation. The evaluation is based on these as well as comments on their achievements from the professor in charge of the lab.					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特定日に行う。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40268	S 2	グローバルガバナンスにおける EU と東アジア /The European Union and East Asia in International Relations and Global Governance	森井 裕一	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。</p> <p>この科目ではとりわけ現代のヨーロッパ政治と世界の関わり、とりわけ東アジアとの関係、グローバルガバナンスにおける位置づけについて理解することをめざす。ヨーロッパにおける和解の基盤として始まった経済統合は、経済領域ではほぼ統合を完成させ、外交・安全保障や司法・内務など多様な領域でも展開し、欧州連合 (EU) の制度は発展してきた。しかし財政統合の問題や構成国の経済・社会的問題との相互作用など、さまざまな課題が存在し、EU は危機の中にあるともいわれている。これらの諸課題の基礎知識と背景について学習する。</p> <p>トリーア大学修士課程との合同講義であるため、ドイツの大学の学生と共同で学び議論を行う。</p> <p>授業への積極的な参加と、帰国後のレポート (6000 字) の提出 (メールによる提出)。</p>					
評価方法		授業への積極的な参加と、帰国後のレポート (6000 字) の提出 (メールによる提出)。					
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。 特定日に行う。					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40269	S 2	国際人道法ロールプレイ International Humanitarian Law Role Play	キハラハント 愛	集中	2	シラバス 参照	2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>この授業は、履修学生が国際人道法に興味を持ち、柔軟なコミュニケーション能力を要するロールプレイという形式を使って国際人道法をテーマにアジア各国からプログラムに参加する学生達とコミュニケーションし、ネットワークを構築することを目的とする。</p> <p>英語の弁論、パブリックスピーキング、ロールプレイの技術についての講義、実践練習を行い、赤十字国際委員会主催の国際人道法ロールプレイ大会（日本大会、アジア大会）に出場・オブザーバー参加する。この授業を履修するには、S1 タームに開催される「全学自由研究ゼミナール」（国際人道法基礎 時間割コード 31752 共通科目コード CAS-TC1200）を履修していることが前提条件となる。ここで選抜されたメンバーとオブザーバーが本国際研修を履修できる。東京で行われる日本大会（夏頃を予定）と、日本大会で優勝すればマレーシア・クアラ Lumpur で行われるアジア大会に出場する。日本大会で優勝しない場合アジア大会には出場できないため、全員オブザーバー参加となる。</p> <p>This course aims to get registered students to gain interest and useful knowledge of International Humanitarian Law, build the capacity of registered students to display their knowledge through role play, and assist them build an international network through joining the International Committee of the Red Cross International Humanitarian Law Role Play competitions (Japan round and Asia round). In order to register for this course, students are required to have registered and successfully completed the course in the S1 term 'Specialized Seminar: International Humanitarian Law - Foundation' (Course Code: 31752 Common Course Code: CAS-TC1200) . Selected team members and observers can participate in the ICRC's International Humanitarian Law Role Play competition (Japan round: summer and Asia round in Kuala Lumpur: October). If the team wins the first prize in the Japan round, the team can enter Asia round competition; otherwise all would be travelling to observe the Asia round.</p>					
評価方法		<p>ロールプレイ練習でのパフォーマンス ロールプレイ大会でのパフォーマンス（オブザーバー参加の履修学生はリアクションペーパー） Performance in the role play practice Performance in the role play competitions (for observers, evaluation will be made on their reaction paper)</p>					
教科書 ガイダンス		<p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40270	S 2	ソウル大学校韓国語研修 サマープログラム	月脚 達彦	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。</p> <p>TLP 韓国朝鮮語を履修している2年生および共通韓国朝鮮語（前期課程において総合科目L系列の韓国朝鮮語）の中級以上の授業を履修している（履修したことがある）者を主たる対象として、ソウル大学校での語学研修を行う。会話を中心とした実践的な韓国朝鮮語力を身に付けることを目的とする。また、また、アクティブ・ラーニングや文化体験などを通じて韓国の社会や文化について学ぶ。</p> <p>現地での活動状況、修了試験によって評価する。</p> <p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>現地での活動状況、修了試験によって評価する。</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40271	S 2	TLP フランス語夏季研修	寺田 寅彦	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は選抜試験を5～6月、夏季研修を8～9月頃に実施しますが、履修登録及び成績の公開は【Aセメスター】に行います。履修許可者はAセメスターの履修登録期間に必ず履修登録を行うように注意してください。</p> <p>アンジェ市（Angers）フランスでフランス語研修を行いフランス語の運用能力を高め、学生交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなくエクスカッションや各種催しを通じて交流の現場を体験し、またホームステイ（予定）を通じて異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う</p> <p>研修への参加状況と現地での学習成果。</p> <p>授業中に指示をする。 特に行わない。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>研修への参加状況と現地での学習成果。</p>					

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40272	S 2	ボン大学ドイツ語サマースクール	森井 裕一	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。</p> <p>ボン大学 Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指す。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行う。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>授業への積極的な参加と、帰国後のレポート（4000 字程度）の提出、（メールによる提出）。</p> <p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
40273	S 2	イタリアで考古学を体験する	村松 真理子	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	<p>■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>【注意】この授業は履修者の選抜を S セメスター、夏季研修を 8～9 月頃に実施しますが、履修登録及び成績の公開は【A セメスター】に行います。履修許可者は A セメスターの履修登録期間に必ず履修登録を行うように注意してください。</p> <p>ナポリ近郊、ソルマ・ヴェスヴィアーナ市にある本学の研究施設で考古学発掘を体験する。ローマ時代のヴィラ建築で、専門家とともに発掘の現場がどのようなものか見学するだけでなく、その作業を体験する。国際的なチームによる発掘現場の作業やネットワークにふれると同時に、ナポリ近辺の他の発掘調査や研究機関・考古学博物館・大学を訪ね、現地の文化遺産と記憶の継承の問題についても考える。</p>						
評価方法	事前学習や帰国後の成果発表会への参加および現地での活動ぶりを評価し、あわせて帰国後の最終レポートを評価する						
教科書 ガイダンス	<p>プリントを配布する。 特定日に行う。 日程は教務課掲示板および教養学部地域文化研究「イタリア地中海コース」の HP で知らせる</p>						

## PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31314	S	社会・社会思想 (PEAK)	滝田 祥子	PEAK 前期	金 5	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Introduction to Japanese Social Theory Using the textbook specifically aiming at bridging a longstanding gap between Eastern and Western social theory, this course will offer an opportunity for students to explore the rich diversity of social-theoretical critique in contemporary Japanese social theory.</p>						
評価方法 教科書	<p>Class participation and presentations: 50% Final paper: 50%</p> <p>次の教科書を使用する。 書名 Japanese Social Theory: From individualization to globalization in Japan today 著者(訳者) :Anthony Elliott, Masataka Katagiri and Atsushi Sawai eds. 出版社 Routledge ISBN 978-0-415-67145-3</p>						
ガイダンス	<p>第一回授業日に行く。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30108	S	社会・制度Ⅱ(PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	月 2	515 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Earth System Governance Whether or not the Anthropocene is officially accepted as Earth's new geological epoch, the phenomenon demands transformative human responses – but how to bridge the gap between the reality of global environmental governance and the requirements identified by natural and social scientists who have taken the condition of the earth system seriously? Drawing on complementary fields of knowledge (Critical Environmental Law, Governance studies, STS*), this course explores the implications of the Anthropocene narrative for global-scale governance and examines the emergence of innovative governance frameworks for dealing with global 'environmental' challenges such as human-induced climate change and other kinds of anthropogenic transformations of ecosystems. Through short interactive lectures, case studies, scenario analysis and role-play simulations, we will discuss a variety of regulatory frameworks, decision-making processes, institutional arrangements, and mechanisms, at the interface of science and policy. In so doing, we will engage in a critical examination of both the relevance and legitimacy of these emerging forms of governance in an era of planetary transformation and disruption.</p>						
評価方法	<p>(* ) For 'Science, Technology and Society' studies Evaluation will be based on active participation to classroom discussions and learning activities (60%). Learning activities include individual or joint oral presentations as well as specific learning activities conducted on a collaborative basis (case studies, scenario analysis, and role-play simulations).</p>						
教科書 ガイダンス	<p>In addition, students will be asked to write 2 shorts essays during the semester on issues discussed in the classroom (40%). 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30834	S	統計学(PEAK)	リチャード シェフ アーンソン	PEAK 前期	水 4	E42 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 F 系列の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Fundamentals of Statistics To provide students with a basic knowledge of probability and statistics, and to introduce students to scientific programming using R, the statistical programming language.</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Class and Homework (25%), Practical exam (25%), Final exam (50%) 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

## PEAK 科目

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30631	S	思想・芸術Ⅱ(PEAK)	ダルグリーシュ ブレガム	PEAK 前期	火 4	184 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A 系列の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Introduction to Political Theory Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, make claims upon each other and encounter difference in a global world. It stands to reason that without philosophical reflection upon the core concepts at the heart of the social sciences and humanities, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely for these reasons that IPTII introduces students to some of the core concepts that they encounter and deploy in their undergraduate studies.</p>						
評価方法	<p>Multiple choice questions (20%) Participation (20%) Presentation (20%) Final Exam (40%)</p>						
教科書	<p>次の教科書を使用する。 書名 Political Theory: An Introduction (4th Edition) 著者(訳者) Andrew Heywood 出版社 Basingstoke, U.K. and New York: Palgrave Macmillan, 2015 ISBN 978-1-137-43726-6</p>						
ガイダンス	<p>特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30860	S	思想・芸術Ⅳ(PEAK)	HOLCA Irina	PEAK 前期	水 5	151 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A 系列の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>What is “Modern”, “Japanese”, “Literature”? Exploring Japan’s Modernity through Literary Discourse</p> <p>At the end of this course, students will have sufficient information about the historical, social, and cultural background of the literary works read in class, and will be able to put them into perspective, questioning the dichotomies “Japan-West”, “modern-traditional”, and looking at “literature” as their locus of dialogue. They will have also learned about various literary theories and analytical methodologies, which will allow them to engage with the texts in a critical way, in order to produce meaningful discussions, presentations, and essays.</p>						
評価方法	<p>Attendance: 15% Participation (comments): 25 % Presentation: 30% Final project (essay): 30%</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30599	S	歴史(PEAK)	バクスター, ジョ シュア	PEAK 前期	火 5	120 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B 系列の科目として扱われます。          ■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>History of Modern Japan          This course is designed to introduce students to the history of Japan from the Tokugawa period until the end of the twentieth century. As a survey course, the content will focus on major historical events such as the Meiji Restoration, the colonization of Korea, the rise of fascism, the fifteen-year war, the postwar economic recovery, and the bursting of the bubble in the 1990s. The use of translated primary sources and films will be used to supplement the readings.          The objective is to offer students a traditional historiography of Japan and to introduce them to prominent historical figures through readings of primary sources. Thus the structure of the course will follow the familiar narrative of western modernization, militarization and the postwar economic miracle so that students will have a strong foundation on which to later form a critique of this history in their senior courses.</p>						
評価方法	<p>2 Quizzes 10%          Group Assignments &amp; Participation 25%          Short Paper (5 double-spaced pages) 30%          Final Exam 35%</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。          特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30632	S	国際・地域Ⅱ(PEAK)	SHOKOUHI Marjan	PEAK 前期	水 1	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 B 系列の科目として扱われます。          ■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Introduction to Comparative Literature and Literature in Translation          From the ancient epic and dramatic traditions of the world to poetry written in different forms and languages to the novels of the modern period, there is not a single text that can be called truly self-sufficient. As Ben Hutchinson has mentioned in Comparative Literature: A Very Short Introduction (2018), literature, after all, exists only comparatively and the acts of reading and writing are integrated into an existing network of characters, plots, traditions, frameworks, etc. In other words, how we understand one work of literature depends on and relates to how we understand another work of literature.          This course starts with a survey of the first literary traditions around the world and the movement of ideas, forms, and influences from one period and geographical location to another. The students will read samples of literary texts (original and in translation) from a variety of traditions including English, Japanese, French, Spanish, German, and Persian and explore various themes and subjects within the areas Comparative Literature and Weltliteratur. The lectures will familiarize students with the basics of literary analysis and engagement with texts in the context of World Literature. The aim is to arrive at a more comprehensive understanding of literature and to share worldviews embedded in literary cultures around the world. The language of instruction is English and no prior knowledge of literary texts or a second language is necessary.</p>						
評価方法	<p>Class participation: 30%          Homework assignments: 20%          Final essay project: 50%</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。          特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31764	S	身体運動科学(PEAK)	竹下 大介 小川 哲也 笹井 浩行	PEAK 前期	月 5	515 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D 系列の科目として扱われます。 ■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Exercise and health science: Application of physiological concepts for the promotion of fitness and wellness The course is designed to provide a theoretical basis for understanding the physiological responses to exercise and the adaptations that occur during exercise. The lecture/discussion areas include the wellness concept, nutrition and support system of the body (cardiovascular, respiratory, metabolic, musculoskeletal and nervous) function. Upon successful completion of the course, students will understand the physiological adaptations that occur following exercise training, the benefits of exercise and the health risks associated with inactivity.</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Basically by reports 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31156	S	心理(PEAK)	渡辺 安里依	PEAK 前期	金 2	534 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D 系列の科目として扱われます。 ■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Introduction to Psychology This is an introductory course that will provide an overview of psychology. The course introduces basic concepts of psychology, including biological, developmental, and social explanations of human and animal behaviour, and how they apply to our everyday settings. Through discussions on various scientific approaches used in the field of psychology, the course provides opportunities for students to broaden their perspective, to pursue their interest, and to think critically.</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>class participation, quizzes, final exam その他。 その他 No textbooks assigned (handouts for assigned readings will be given out during class) 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31766	S	スポーツ・身体運動実 習 I (PEAK)	竹下 大介 稲葉 優希	PEAK 前期	木 4	(実習)	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 D 系列の科目として扱われます。 ■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Recreational activities for the promotion of fitness and wellness Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Basically by attendance and reports. 教科書は使用しない。 第一回授業日に行う。 Bldg.5, Room 518</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31316	S	エネルギー工学の基礎 (PEAK)	岡田 至崇 アーサン ナズムル	PEAK 前期	金 5	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目D系列の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Basic Energy Engineering Today's energy industry is dominated by fossil fuels (coal, oil and natural gas) and some nuclear power generation. However, the need for sustainable energy sources and also to reduce greenhouse gas emission will necessitate a move to renewable technologies in the future. The objective of this course is to understand different energy generating technologies such as fossil and nuclear power plants and also the emerging renewable sources such as solar and wind energy. We will cover the fundamental thermodynamic foundations of energy conversion, the operation of solar cells and associated semiconductor physics, photosynthesis and biomass/biofuels as means of energy conversion, and finally, wind power generation. Some examples of current and future energy projects around the world will also be covered.</p>						
評価方法	End of term exam (70% of total mark)						
教科書 ガイダンス	Assignments (20%) Attendance (10%) 授業中に指示をする。 第一回授業日に行う。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30564	S	全学自由研究ゼミナール (PEAK)(化学基 礎)(Introductory Chemistry)	ユウ ジョアン	PEAK 前期	火 4	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>An introduction to the key physical principles underpinning the whole of modern chemistry, focusing on key ideas from quantum mechanics, molecular statistics and thermodynamics. This course aims to provide a comprehensive introduction to the key ideas in Physical Chemistry with a focus on Quantum Mechanics and Thermodynamics. By the end of the course, students should be able to 1) Understand the failure of classical mechanics. 2) Explain the key principles of quantum mechanics. 3) Rationalize the structure of atoms based on quantum mechanics. 4) Explain why the periodic table has the form that it has. 5) Describe the models of chemical bonding and use these models to predict the shapes and stabilities of molecules. 6) Understand the structure of gases including the effects of intermolecular forces. 7) Make calculations based on the kinetic theory of gases 8) Understand the relationship between the properties of individual molecules and of bulk samples. 9) Appreciate the significance of the Boltzmann distribution 10) Understanding key ideas in thermodynamic including work, heat, enthalpy, entropy and Gibbs energy. 11) Applying the basic concepts of thermodynamics to chemical equilibria The course will be evaluated based on in class participation and a final examination.</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。 特に行わない。						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30026	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(物理学基礎) (Introductory Physics)	甘蔗 寂樹	PEAK 前期	月 1	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Introduction to Classical Mechanics This calculus-based Classical Mechanics course provides the foundation for further study of physics and engineering. Written examination at the end of the semester 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30194	S	生態学の基礎(PEAK)	リチャード シェフ アーンソン	PEAK 前期	月 3	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 E 系列の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Fundamentals of Ecology (Basic Ecology) To provide students with a foundational understanding of ecology and evolution Participation: 10%, Final exam: 90% 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31770	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Decision Analysis practice)	前田 章	PEAK 前期	水 2	K214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Decision Analysis practice This course serves as a practice session of the Decision Sciences course that has been offered in the autumn semester. It is designed to provide students who have taken that course with an opportunity to deepen their understanding of the theory and practice in Decision Analysis. Each student in this course will work on a group or individual project. The goal of the project is to identify, formulate, and solve a real world decision problem. First four weeks are review sessions. On the fifth week, students will start their project work, aiming at final presentations on the last two weeks. Grading (either "Pass" or "Fail") is based on performance in the project work. No final exam. プリントを配布する。 第一回授業日に行う。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30789	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(数学Ⅱ②)(Mathematics II②)	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	523 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Introductory course in linear algebra Students will study the properties of vectors, matrices and determinants as well as the concepts of abstract vector spaces and linear maps on such spaces. Various applications of these concepts will also be presented. Written examination at the end of the semester. プリントを配布する。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31025	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(数学Ⅰ②)(Mathematics I②)	鮑 園園	PEAK 前期	木 3	512 教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Multivariable calculus This course covers the differentiation and integration of a function of several variables. It mainly consists of three parts: partial derivatives, multiple integrals and vector calculus. Improper integral for single variable function, implicit function theorem will also be taught. Some applications of these mathematical concepts will be introduced. This course is a continuation of the single-variable Calculus that I taught in Autumn. Written examination at the end of the semester. 教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
30321	S	社会・制度Ⅲ(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	火 1	154 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 C 系列の科目として扱われます。 ■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Introduction to Economic Policy This course is designed to supplement a standard introductory course of economics and will discuss some of the fundamental concepts of economics, with a focus on policy evaluation and analysis. Drawing on the basics of microeconomics with a reference to some more contemporary frameworks (asymmetric information, game theory, behavioral economics, etc.), the course will provide conceptual foundations for evaluating various types of economic policy, including trade policy, antitrust policy, policy of public good provision (environment, knowledge, etc.), and macroeconomic policies. While the knowledge of advanced mathematics is not required for course participation, the students should note that the lectures will include discussions of some mathematical economic models. Meanwhile, although the course mainly targets students who have already studied introductory economics, it sets no prerequisites for registration and is open to all students.</p>						
評価方法	<p>1. Assignments Assignments (homework of technical problems and a final essay) will be given. 2. Quizzes Quizzes will be given in the class on random days during the semester.</p>						
教科書 ガイダンス	<p>教科書は使用しない。 特に行わない。</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
31282	S	ことばと文学(PEAK)	武田 将明	PEAK 前期	金 4	1109 教室	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	<p>■2015 年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目 A 系列の科目として扱われます。 ■2014 年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>Reading Modern Japanese Short Stories This class introduces the history of modern Japanese literature through reading representative short stories published from 1895 to 2012. We will spend two weeks for a story (or a set of stories). In the first week, I explicate the social and literary background of the story, ask your first impressions and decide the topics for discussion (so you are supposed to read through the story before attending the class). Then, you are to submit via email a short essay on any of the topics (about 300 words) by Friday night. The second week is mainly dedicated to the discussion based on your essay. Positive contributions to the discussion are always appreciated. The English translations of all stories are provided via itc-lms as pdf files. If you are interested in the originals, do not hesitate to ask me.</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>Your participation in the discussion (20 percent). Six short essays (50 percent). One long essay (about 1000 words: 30 percent). プリントを配布する。 第一回授業日に行う。</p>						